交野市本庁舎耐震・設備等改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
建　築		Ａ－６６	【現況】１階　平面詳細図２	Ａ－１３２	【現況】【改修後】外構詳細図２（車庫詳細）	構　造		Ｅ－２６	【現況・撤去】電灯設備地階平面図	Ｍ－２０	【改修】（空調設備）機器表－１
Ａ－０１	表紙・図面リスト	Ａ－６７	【改修後】１階　平面詳細図１	Ａ－１３３	【現況】【改修後】外構詳細図３（車庫構造）	Ｓ－０１	既存建物耐震改修工事仕様書（１）	Ｅ－２７	【改修後】電灯設備１階平面図	Ｍ－２１	【改修】（空調設備）機器表－２
Ａ－０２	特記仕様書（その１）	Ａ－６８	【改修後】１階　平面詳細図２	Ａ－１３４	【現況】【改修後】外構詳細図４（駐輪場Ａ）	Ｓ－０２	既存建物耐震改修工事仕様書（２）	Ｅ－２８	【現況・撤去】電灯設備１階平面図	Ｍ－２２	【改修】（空調設備）機器表－３
Ａ－０３	特記仕様書（その２）	Ａ－６９	【現況】２階　平面詳細図１	Ａ－１３５	【現況】【改修後】外構詳細図５（駐輪場Ｂ）	Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	Ｅ－２９	【改修後】電灯設備２階平面図	Ｍ－２３	【改修】（空調設備）機器表－４、系統図（ＥＨＰ）
Ａ－０４	特記仕様書（その３）	Ａ－７０	【現況】２階　平面詳細図２			Ｓ－０４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	Ｅ－３０	【現況・撤去】電灯設備２階平面図	Ｍ－２４	【改修】（空調設備）系統図（ＧＨＰ）
Ａ－０５	特記仕様書（その４）	Ａ－７１	【改修後】２階　平面詳細図１			Ｓ－０５	鉄骨工作標準図	Ｅ－３１	【改修後】電灯設備３階平面図	Ｍ－２５	【改修】（空調設備）B1階平面図
Ａ－０６	特記仕様書（その５）	Ａ－７２	【改修後】２階　平面詳細図２			Ｓ－０６	鉄骨ブレース接着工法特記仕様書	Ｅ－３２	【現況・撤去】電灯設備３階平面図	Ｍ－２６	【改修】（空調設備）１階平面図
Ａ－０７	アスベスト特記仕様書	Ａ－７３	【現況】３階　平面詳細図１			Ｓ－０７	鋼板内臓コンクリート構造による補強工法 特記仕様書 その１	Ｅ－３３	【改修後】電灯設備Ｒ階平面図	Ｍ－２７	【改修】（空調設備）２階平面図
Ａ－０８	付近見取図・【現況】配置図	Ａ－７４	【現況】３階　平面詳細図２			Ｓ－０８	鋼板内臓コンクリート構造による補強工法 特記仕様書 その２	Ｅ－３４	【現況・撤去】電灯設備Ｒ階平面図	Ｍ－２８	【改修】（空調設備）３階平面図
Ａ－０９	【改修後】配置図	Ａ－７５	【改修後】３階　平面詳細図１	仮　設		Ｓ－０９	フラットデッキ 特記仕様書	Ｅ－３５	【改修後】コンセント設備地階平面図	Ｍ－２９	【改修】（空調設備）Ｒ階平面図
Ａ－１０	【現況】【改修後】外部仕上表	Ａ－７６	【改修後】３階　平面詳細図２	Ａ－１５１	仮移転計画図１［第一段階：地階工事中］＜地階＞	Ｓ－１０	改修前・改修後伏図（１）	Ｅ－３６	【改修後】コンセント設備１階平面図	Ｍ－３０	【改修】（換気設備）機器表－１
Ａ－１１	【現況】【改修後】内部仕上表１	Ａ－７７	【現況】Ｒ階　平面詳細図	Ａ－１５２	仮移転計画図２［第一段階：地階工事中］＜１階＞	Ｓ－１１	改修前・改修後伏図（２）	Ｅ－３７	【改修後】コンセント設備２階平面図	Ｍ－３１	【改修】（換気設備）機器表－2、系統図
Ａ－１２	【現況】【改修後】内部仕上表２	Ａ－７８	【改修後】Ｒ階　平面詳細図	Ａ－１５３	仮移転計画図３［第二段階：３階工事中］＜１階＞	Ｓ－１２	改修前・改修後伏図（３）	Ｅ－３８	【改修後】コンセント設備３階平面図	Ｍ－３２	【改修】（換気設備）B1階平面図
Ａ－１３	【現況】【改修後】内部仕上表３	Ａ－７９	【現況】　展開図１	Ａ－１５４	仮移転計画図４［第二段階：３階工事中］＜2 階＞	Ｓ－１３	改修前・改修後軸組図（１）	Ｅ－３９	【改修後】コンセント設備Ｒ階平面図	Ｍ－３３	【改修】（換気設備）１階平面図
Ａ－１４	【現況】【改修後】内部仕上表４	Ａ－８０	【現況】　展開図２	Ａ－１５５	仮移転計画図５［第二段階：３階工事中］＜3 階＞	Ｓ－１４	改修前・改修後軸組図（２）	Ｅ－４０	【現況・更新】コンセント設備地階平面図	Ｍ－３４	【改修】（換気設備）２階平面図
Ａ－１５	【現況】地階平面図	Ａ－８１	【現況】　展開図３	Ａ－１５６	仮移転計画図６［第三段階：２階工事中］＜1 階＞	Ｓ－１５	改修前・改修後軸組図（３）	Ｅ－４１	【現況・更新】コンセント設備１階平面図	Ｍ－３５	【改修】（換気設備）３階平面図
Ａ－１６	【改修後】地階平面図	Ａ－８２	【改修後】　展開図１	Ａ－１５７	仮移転計画図７［第三段階：２階工事中］＜2 階＞	Ｓ－１６	改修前・改修後軸組図（４）	Ｅ－４２	【現況・更新】コンセント設備２階平面図	Ｍ－３６	【改修】（換気設備）Ｒ階平面図
Ａ－１７	【現況】１階平面図	Ａ－８３	【改修後】　展開図２	Ａ－１５８	仮移転計画図８［第四段階：１階工事中］＜1 階＞	Ｓ－１７	開口閉塞 補強詳細図（１）B1F Y1通 X3－X4通間	Ｅ－４３	【現況・更新】コンセント設備３階平面図	Ｍ－３７	【改修】（換気設備）１～３階　便所　平面詳細図
Ａ－１８	【改修後】１階平面図	Ａ－８４	【改修後】　展開図３	Ａ－１５９	仮設計画図１［配置］	Ｓ－１８	開口閉塞 補強詳細図（２）B1F Y1通 X2－X3通間	Ｅ－４４	【現況・更新】コンセント設備Ｒ階平面図	Ｍ－３８	【新設】（機械排煙設備）機器表、系統図
Ａ－１９	【現況】２階平面図	Ａ－８５	【現況】【改修後】内部改修　部分詳細図１	Ａ－１６０	仮設計画図２［地階］	Ｓ－１９	増打壁、開口閉塞 補強詳細図 B1F Y1通 X5-X6通間	Ｅ－４５	【現況】電話設備参考系統図	Ｍ－３９	【新設】（機械排煙設備）B1階、１、２平面図
Ａ－２０	【改修後】２階平面図	Ａ－８６	【現況】【改修後】内部改修　部分詳細図２	Ａ－１６１	仮設計画図３［１階］	Ｓ－２０	増打壁、開口閉塞 補強詳細図（１）B1F Y1通 X5－X6通間	Ｅ－４６	【現況・改修後】放送設備系統図	Ｍ－４０	【新設】（機械排煙設備）３階、Ｒ階平面図
Ａ－２１	【現況】３階平面図	Ａ－８７	【現況】【改修後】外部改修　部分詳細図３	Ａ－１６２	仮設計画図４［２階］	Ｓ－２１	増打壁、開口閉塞 補強詳細図（２）1F X8通 Y1－Y2通間	Ｅ－４７	【改修後】弱電設備地階平面図	Ｍ－４１	【新設】（監視・制御設備）系統図
Ａ－２２	【改修後】３階平面図	Ａ－８８	【現況】【改修後】地階　建具配置図	Ａ－１６３	仮設計画図５［３階］	Ｓ－２２	新設開口補強詳細図 2F X7通 Y3-Y4通間	Ｅ－４８	【現況・撤去】弱電設備地階平面図	Ｍ－４２	【新設】（監視・制御設備）設備概要図-1，機器姿図
Ａ－２３	【現況】Ｒ階平面図	Ａ－８９	【現況】【改修後】１階　建具配置図	Ａ－１６４	仮設計画図６［Ｒ階］	Ｓ－２３	柱鋼板巻き補強詳細図 B1F X2-Y3通柱	Ｅ－４９	【改修後】弱電設備１階平面図	Ｍ－４３	【新設】（監視・制御設備）設備概要図-2
Ａ－２４	【改修後】Ｒ階平面図	Ａ－９０	【現況】【改修後】２階　建具配置図	Ａ－１６５	仮設計画図７［北側立面］	Ｓ－２４	スリット　3F Y4通-Y6通柱・床新設詳細図	Ｅ－５０	【現況撤去】弱電設備１階平面図	Ｍ－４４	【新設】（監視・制御設備）盤結線図－１
Ａ－２５	【現況】屋根伏図	Ａ－９１	【現況】【改修後】３階　建具配置図	Ａ－１６６	仮設計画図８［断面１］	**Ｓ－２５**	B1F 水槽受け小梁・床補強詳細図	Ｅ－５１	【改修後】弱電設備２階平面図	Ｍ－４５	【新設】（監視・制御設備）盤結線図－２
Ａ－２６	【改修後】屋根伏図	Ａ－９２	【現況】【改修後】Ｒ階　建具配置図	Ａ－１６７	仮設計画図９［断面２］	Ｓ－２６	屋根ブレース補強詳細図	Ｅ－５２	【現況・撤去】弱電設備２階平面図	Ｍ－４６	【新設】（監視・制御設備）盤結線図－３
Ａ－２７	【現況】北側立面図	Ａ－９３	【現況】【改修後】建具リスト１	Ａ－１６８	仮設詳細図１	Ｓ－２７	RF 設備機器鉄骨支持架台詳細図	Ｅ－５３	【改修後】弱電設備３階平面図	Ｍ－４７	【新設】（監視・制御設備）1,2階風量制御系統図、インバーター収納盤結線図
Ａ－２８	【改修後】北側立面図	Ａ－９４	【現況】【改修後】建具リスト２	Ａ－１６９	仮設詳細図２	Ｓ－２８	鉄骨ブレース詳細図（１）	Ｅ－５３	【現況・撤去】弱電設備３階平面図	Ｍ－４８	【新設】（監視・制御設備）B1階平面図
Ａ－２９	【現況】南側立面図	Ａ－９５	【現況】【改修後】建具リスト３	Ａ－１７０	仮設計画図（ピタコラム工法 ）１	Ｓ－２９	鉄骨ブレース詳細図（２）	Ｅ－５５	【改修後】弱電設備Ｒ階平面図	Ｍ－４９	【新設】（監視・制御設備）１階平面図
Ａ－３０	【改修後】南側立面図	Ａ－９６	【現況】【改修後】建具リスト４	Ａ－１７１	仮設計画図（ピタコラム工法 ）２	Ｓ－３０	Y1通(X1～X6通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－１	Ｅ－５６	【現況・撤去】弱電設備Ｒ階平面図	Ｍ－５０	【新設】（監視・制御設備）２階平面図
Ａ－３１	【現況】西側・東側立面図	Ａ－９７	【現況】【改修後】建具リスト５	Ａ－１７２	仮設計画図（ピタコラム工法 ）３	Ｓ－３１	Y1通(X1～X6通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－２	Ｅ－５７	【改修後】防災設備系統図	Ｍ－５１	【新設】（監視・制御設備）３階平面図
Ａ－３２	【改修後】西側・東側立面図	Ａ－９８	【現況】【改修後】建具リスト６	Ａ－１７３	各段階の工事の流れ（案）	Ｓ－３２	Y1通(X1～X6通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－３	Ｅ－５８	【改修後】防災設備地階平面図	Ｍ－５２	【新設】（監視・制御設備）Ｒ階平面図
Ａ－３３	【現況】【改修後】ドライエリア・Ｒ階立面図	Ａ－９９	【現況】【改修後】建具リスト７			Ｓ－３３	Y4通(X7～X3通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－１	Ｅ－５９	【現況・撤去】防災設備地階平面図	Ｍ－５３	【現況】（ガス設備）配置図
Ａ－３４	【現況】断面図１	Ａ－１００	【現況】【改修後】建具リスト８			Ｓ－３４	Y4通(X7～X3通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－２	Ｅ－６０	【改修後】防災設備１階平面図	Ｍ－５４	【現況撤去・改修】（ガス設備）　屋外平面図、(本庁舎)B1,1階平面図
Ａ－３５	【現況】断面図２	Ａ－１０１	【現況】【改修後】建具リスト９			Ｓ－３５	ピタコラム工法 補強部材リスト	Ｅ－６１	【現況・撤去】防災設備１階平面図	Ｍ－５５	【現況撤去・改修】（ガス設備）　3階、屋上平面図 立面図
Ａ－３６	【現況】【改修後】断面詳細図１	Ａ－１０２	【現況】【改修後】建具リスト10			Ｓ－３６	ピタコラム工法 既設撤去復旧要領図	Ｅ－６２	【改修後】防災設備２階平面図	Ｍ－５６	【現況撤去・改修】（ガス設備）　Ｂ１階、１～３階湯沸室廻り平面図
Ａ－３７	【現況】【改修後】断面詳細図２	Ａ－１０３	【現況】【改修後】建具リスト11	昇降機		Ｓ－３７	土圧壁頂部撤去復旧詳細図	Ｅ－６３	【現況・撤去】防災設備２階平面図	Ｍ－５７	【改修】（壁・床・貫通図）B1階、１階平面図
Ａ－３８	【現況】【改修後】議場 断面詳細図	Ａ－１０４	【現況】【改修後】建具リスト12	ＥＶ－０１	昇降路平面図			Ｅ－６４	【改修後】防災設備３階平面図	Ｍ－５８	【改修】（壁・床・貫通図）2階、3階平面図
Ａ－３９	【現況】【改修後】地階天井伏図	Ａ－１０５	【改修後】建具リスト13（トイレブース）	ＥＶ－０２	昇降路断面図・レール立て図			Ｅ－６５	【現況・撤去】防災設備３階平面図	Ｍ－５９	【改修】（壁・床・貫通図）Ｒ階平面図
Ａ－４０	【現況】【改修後】１階天井伏図	Ａ－１０６	【改修後】建具リスト14（トイレブース）	ＥＶ－０３	出入口孔子明図	電気設備		Ｅ－６６	【改修後】防災設備Ｒ階平面図	Ｍ－６０	【改修】（壁・床・貫通図）B1階機械室平面詳細図
Ａ－４１	【現況】【改修後】２階天井伏図	Ａ－１０７	【改修後】建具リスト15（スライディグウォール）	ＥＶ－０４	Ｂ階出入口廻り意匠図	Ｅ－０１	特記仕様書	Ｅ－６７	【現況・撤去】防災設備Ｒ階平面図	Ｍ－６１	【改修】(壁・床・貫通図) B1階、1階　便所平面詳細図
Ａ－４２	【現況】【改修後】３階天井伏図	Ａ－１０８	【現況】防水改修図１（Ｒ階平面図）	ＥＶ－０５	1～3階出入口廻り意匠図	Ｅ－０２	【改修後】配置図	Ｅ－６８	防災無線・NTTケーブル等改修（参考図）	Ｍ－６２	【改修】(壁・床・貫通図) 2，3階　便所平面詳細図
Ａ－４３	【現況】【改修後】Ｒ階天井伏図・設備天井開口補強リスト	Ａ－１０９	【改修後】防水改修図２（Ｒ階平面図）	ＥＶ－０６	乗場位置図表示灯付ボタン意匠図１台口用	Ｅ－０３	配置図（迂回高圧ケーブル配線図）	Ｅ－６９	【改修後】旧消防庁舎受変電設備	Ｍ－６３	【現況・撤去】（給排水衛生設備）系統図、機器表
Ａ－４４	【現況】【改修後】階段１　平面詳細図	Ａ－１１０	【現況】防水改修図３（屋根伏図）	ＥＶ－０７	車いす用乗場ボタン意匠図１台口用	Ｅ－０４	【現況・撤去】配置図	Ｅ－７０	旧消防庁舎平面図（参考図）	Ｍ－６４	【現況・撤去】（給排水衛生設備）　B1階平面図
Ａ－４５	【現況】【改修後】階段１　断面詳細図	Ａ－１１１	【改修後】防水改修図４（屋根伏図）	ＥＶ－０８	かご意匠図	Ｅ－０５	【改修後】受変電設備			Ｍ－６５	【現況・撤去】（給排水衛生設備）　１階平面図
Ａ－４６	【現況】【改修後】階段２　平面詳細図 断面詳細図	Ａ－１１２	【現況】【改修後】防水改修図５（断面詳細図）	ＥＶ－０９	かご操作盤意匠図	Ｅ－０６	【現況・撤去】受変電設備	機械設備		Ｍ－６６	【現況・撤去】（給排水衛生設備）　２階平面図
Ａ－４７	【現況】【改修後】階段３　平面詳細図 断面詳細図	Ａ－１１３	【現況】【改修後】防水改修図６（Ｒ階部分詳細１）	ＥＶ－１０	車いす用主副かご操作盤意匠図	Ｅ－０７	非常用発電機設備	Ｍ－０１	特記仕様書-1	Ｍ－６７	【現況・撤去】（給排水衛生設備）　３階平面図
Ａ－４８	【現況】【改修後】階段４　平面詳細図 断面詳細図	Ａ－１１４	【現況】【改修後】防水改修図７（Ｒ階部分詳細２）	ＥＶ－１１	テレビモニター意匠図	Ｅ－０８	【改修後】動力盤結線図	Ｍ－０２	特記仕様書-2	Ｍ－６８	【現況・撤去】（給排水衛生設備）　Ｒ階平面図
Ａ－４９	【現況】【改修後】地階　便所詳細図	Ａ－１１５	【現況】【改修後】防水改修図８（Ｒ階部分詳細３）	ＥＶ－１２	身障者利用銘板 意匠図	Ｅ－０９	【現況・撤去】動力盤結線図	Ｍ－０３	【現況】（給排水衛生設備）配置図	Ｍ－６９	【現況・撤去】(給排水衛生設備) 便所平面詳細図 (1)
Ａ－５０	【現況】【改修後】１階　便所詳細図	Ａ－１１６	【現況】【改修後】防水改修図９（PHR階部分詳細）	ＥＶ－１３	インターホン親機 意匠図	Ｅ－１０	【改修後】分電盤リスト	Ｍ－０４	【現況・撤去】（給排水衛生設備）給水引込管配管平面図	Ｍ－７０	【現況・撤去】(給排水衛生設備) 便所平面詳細図 (2)
Ａ－５１	【現況】【改修後】２階　便所詳細図	Ａ－１１７	【現況】劣化補修１（立面図１）			Ｅ－１１	【現況】分電盤リスト	Ｍ－０５	【改修】（給排水衛生設備）給水引込管配管平面図	Ｍ－７１	【現況・撤去】（空調設備）　配管　系統図
Ａ－５２	【現況】【改修後】３階　便所詳細図	Ａ－１１８	【現況】劣化補修２（立面図２）			Ｅ－１２	【改修後】幹線系統図	Ｍ－０６	【改修】（給排水衛生設備）機器表、衛生器具表	Ｍ－７２	【現況・撤去】（空調・換気設備）　ダクト　系統図
Ａ－５３	【現況】各階 便所展開図１	Ａ－１１９	【現況】劣化補修３（軸組図１）			Ｅ－１３	【現況・撤去】幹線系統図	Ｍ－０７	【改修】（給排水衛生設備）系　統　図	Ｍ－７３	【現況・撤去】（空調・換気設備）　機器表－１
Ａ－５４	【現況】各階 便所展開図２	Ａ－１２０	【現況】劣化補修４（軸組図２）			Ｅ－１４	【改修後】幹線動力設備地階平面図	Ｍ－０８	【改修】（給排水衛生設備）B1階平面図	Ｍ－７４	【現況・撤去】（空調・換気設備）　配管・B1階平面図
Ａ－５５	【改修後】各階 便所展開図１	Ａ－１２１	【現況】劣化補修５（軸組図３）			Ｅ－１５	【現況・撤去】幹線動力設備地階平面図	Ｍ－０９	【改修】（給排水衛生設備）１階平面図	Ｍ－７５	【現況・撤去】(空調・換気設備) 配管・１階平面図
Ａ－５６	【改修後】各階 便所展開図２	Ａ－１２２	【現況】劣化補修６（軸組図４）			Ｅ－１６	【改修後】幹線動力設備１階平面図	Ｍ－１０	【改修】（給排水衛生設備）２階平面図	Ｍ－７６	【現況・撤去】(空調・換気設備) 配管・２階平面図
Ａ－５７	【現況】【改修後】各階 便所天井伏図１	Ａ－１２３	【現況】劣化補修７（伏図１）			Ｅ－１７	【現況・撤去】幹線動力設備１階平面図	Ｍ－１１	【改修】（給排水衛生設備）　３階平面図 ３階議場便所平面詳細図	Ｍ－７７	【現況・撤去】(空調・換気設備) 配管・３階平面図
Ａ－５８	【現況】【改修後】各階 便所天井伏図２	Ａ－１２４	【現況】劣化補修８（伏図２）			Ｅ－１８	【改修後】幹線動力設備２階平面図	Ｍ－１２	【改修】（給排水衛生設備）Ｒ階平面図	Ｍ－７８	【現況・撤去】(空調・換気設備) 配管・Ｒ階平面図
Ａ－５９	【現況】【改修後】便所廻り 部分詳細図１	Ａ－１２５	【現況】劣化補修９（伏図３）			Ｅ－１９	【現況・撤去】幹線動力設備２階平面図	Ｍ－１３	【改修】（給排水衛生設備）Ｂ１階機械室　平面詳細図	Ｍ－７９	【現況・撤去】(空調・換気設備) ダクト・B1階平面図
Ａ－６０	【現況】【改修後】便所廻り 部分詳細図２	Ａ－１２６	【現況】劣化補修10（伏図４）			Ｅ－２０	【改修後】幹線動力設備３階平面図	Ｍ－１４	【改修】（給排水衛生設備）Ｂ１階機械室　断面詳細図	Ｍ－８０	【現況・撤去】(空調・換気設備) ダクト・１階平面図
Ａ－６１	【現況】地階　平面詳細図１	Ａ－１２７	【現況】劣化補修11（伏図５）			Ｅ－２１	【現況・撤去】幹線動力設備３階平面図	Ｍ－１５	【改修】（給排水衛生設備）　食堂　平面詳細図	Ｍ－８１	【現況・撤去】(空調・換気設備) ダクト・２階平面図
Ａ－６２	【現況】地階　平面詳細図２	Ａ－１２８	【現況】劣化状況　集計表			Ｅ－２２	【改修後】幹線動力設備Ｒ階平面図	Ｍ－１６	【改修】(給排水衛生設備) B1、１階便所平面詳細図	Ｍ－８２	【現況・撤去】(空調・換気設備) ダクト・３階平面図
Ａ－６３	【改修後】地階　平面詳細図１	Ａ－１２９	【現況】外構平面図			Ｅ－２３	【現況・撤去】幹線動力設備Ｒ階平面図	Ｍ－１７	【改修】(給排水衛生設備) 2、3階　便所平面詳細図	Ｍ－８３	【現況・撤去】(空調・換気設備) ダクト・Ｒ階平面図
Ａ－６４	【改修後】地階　平面詳細図２	Ａ－１３０	【改修後】外構平面図			Ｅ－２４	【改修後】西側ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽ参考図	Ｍ－１８	【改修】（消火設備）機器表、系統図		
Ａ－６５	【現況】１階　平面詳細図１	Ａ－１３１	【現況】【改修後】外構詳細図１（東側出入口廻り）			Ｅ－２５	【改修後】電灯設備地階平面図	Ｍ－１９	【改修】（消火設備）B1階～3階平面図		

代表者	照　査	担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	表紙・図面リスト　縮尺 －(A1) －(A3)	―	令和７年１０月	A-01
						整理番号	― ―	

工事名称：交野市本庁舎耐震・設備等改修工事

工事場所	交野市私部１丁目１番１号

工事概要

棟　名	階数	構造	延床面積	耐震改修	外壁改修	防水改修	建具改修	電気設備	機械設備
交野市本庁舎	地上３階 地下１階	RC	4136.26 ㎡	○	○	○	○	○	○

工事範囲	図面、仕様書、補足説明書及び質問回答書に示す範囲
別途工事	○あり（電気設備、機械設備）　●なし
設計図書	図面３61 葉（本特記仕様書を含む）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書令和７年版（以下「改修標仕」という。）、同建築工事標準仕様書令和７年版（以下「標仕」という。）、補足説明書及び図面・補足説明書に対する質問回答書

第１章　一般共通事項

※	本特記仕様書の取り扱い方	特記事項は●印を付いたものを適用する。 ●印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。 ●印と※印の付いた場合は、共に適用する。
※	設計図書の優先順位	(1)図面・補足説明書に対する質問回答書　(2)補足説明書　(3)特記仕様書 (4)図面　(5)改修標仕　(6)標仕
※	現地調査	着工に先立って、現場の形状・寸法・その他の関係各所を適宜調査し、施工にあたり不明な点は監督職員と協議すること。
※	施工計画	設計図書によるほか、資材の搬出入経路・安全対策・実施工程等を、市庁舎の管理者と十分打合せのうえ監督職員の承諾を受けること。
※	指定材料	材料の商品名、製造所、施工業者などは、特記されたもの又は監督職員が同等以上と認めたものを使用すること。
※	材料についての注意事項	計画通知等において、使用できる材料、工法が限定されている場合で、それ以外の材料を使用する場合は、監督職員との協議により、適切に手続き等を行うこと。
※	工法の記載のない材料	特記仕様書、改修標仕に工法が記載されていない材料は製造所、施工業者等の標準仕様により施工すること。
※	防火材料	法定防火材料及び法定耐火材料、耐火構造、その他法に定めのあるものはその認定ラベル、認定番号等を示し監督職員の承諾を得ること。
※	再生材料の品質等	再生クラッシャランの品質及び粒度範囲は（社）日本道路協会『プラント再生舗装技術指針』の表４．５及び表４．６による。 再生加熱アスファルト混合物のマーシャル安定度試験の基準値及び粒度範囲は、プラント再生舗装技術指針の表４．５及び表４．６による。 再生材料の適用についてやむを得ない事情がある場合は、監督職員の承認の上、新材とすることが出来る。
※	工事に伴う諸手続	給排水、電気、その他の工事設備の配置、撤去の手続き及び道路交通法、災害、公害防止諸法その他の工事に伴う諸手続は、受注者が行うこと。
※	既存部分との取り合い	既設建物と今回工事との取合い部分その他で、はつり工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、今回仕上げ及び旧仕上同材によって完全に補修しなければならない。 取合い部分以外でも今回工事による損傷と認められた場合も同様とする。
※	境界杭の確認	隣地及び道路との境界は、工事着手と同時にこれを確認し、境界杭の理没、倒壊、滅失のおそれのある箇所は充分に養生及び保存を行う。
※	材料検査に伴う試験	試験の基準は、日本産業規格（JIS）、基本標準規格（JES）、日本農林規格（JAS）、日本建築学会標準仕様書（JASS）とし、これらの規格に規定のないものについては、本仕様書の該当各項目又は監督職員の指示による。
※	引き渡し及び管理責任	完成検査に合格したときは書類を添えて引き渡すものとする。 なお、工事完成後引渡しまでの管理責任は受注者とする。 また、引渡しの状況により引き続き維持管理を求めることがある。
※	別途工事に対する協力義務	関連工事等の関係者に対して、仮設建物用地の確保、工事進入路、足場、工事用人載エレベーター等の使用について協力すること。
※	分別解体等	工事に伴い副次的に生ずる建築資材廃棄物は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律を遵守し、その種類ごとに分別しつつ施工すること。
※	有価発生材の処置	特記なき限り本工事費から、有価発生材の見積価格を控除する方法によって受注者が引き取ること。
※	建設副産物の処理	建設副産物の処理の方法は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱（平成５年１月 12 日建設省経建発第３号）その他関係法令等を遵守して行うこと。 処理方法については、補足説明書等による。 又、監督職員が指示する場合は処理地への搬入日時、処理時の写真等を報告書にまとめて提出すること。

※	再資源化を図る建設副産物	再生資源化を図る建設副産物は、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、（　　）とする。 再資源化を図る建設副産物の処理地は、再資源化を行っている中間処理場とする。ただし、受入側の事情等やむを得ない事情により、処理地を変更する場合は監督職員の承諾を得なければならない。
※	特別管理産業廃棄物	●有（アスベスト（レベル１）　　）　※無
※	建設機械	超低騒音型・低騒音型及び低振動型の機械を使用すること。また、排出ガス対策型の機械の使用すること。
※	後片付け・清掃	工事完成に当たり、建築物の内外の後片付け及び清掃を行うこと。又、工事期間中は適宜建築物等の室内を清掃すること。
※	技能士	※適用しない ●適用する（適用工事種別：仮設、鉄筋、コンクリート、鉄骨、防水、木、屋根及びとい、金属、左官、塗装、建具、内装、排水、舗装） 適用する工事については、１名以上の一級技能士が従事すること。 (コンクリート圧送についてはポンプ車１台毎に一級技能士を１名配置すること) ※各工事できる限り、１名以上の技能士が従事するよう努めること。
●	設備工事等との取扱い	昇降機関連工事区分表

工事項目	本工事 建築	電気	機械	ＥＶ	備考
昇降路の築造（レール受用立柱を含む）	●	○	○	○	防水部分の機器取付に注意
昇降路天井にトロリービームの取付	●	○	○	○	
ピット内防水防塵塗装工事	●	○	○	○	
昇降路頂部の煙感知器の設置	○	●	○	○	
点検ピット内コンセント設置	○	●	○	○	
昇降路内制御盤までの電源引込（接地線含む）	○	●	○	○	注１
昇降路内制御盤以降の２次側配管配線（制御盤設置含む）	○	○	○	●	
昇降路内制御盤から監視盤までの配管配線	○	●	○	○	接続調整は別途工事(かごインターホン接続共)
昇降路内制御盤から監視用モニターまでの配管配線	○	●	○	○	
エレベーター監視盤の制作及び取付	○	○	○	●	盤内結線調整は別途工事
エレベーター内監視カメラ及び監視用モニターの設置	○	○	○	●	
ピット点検用タラップの設置	○	○	○	●	
フェツシャプレートの取付	○	○	○	●	
軌条中間ビーム等の昇降路内の鋼材取付	●	○	○	○	取付場所、寸法はEV設置業者と協議
ＡＬＣ用ファスナープレート取付	●	○	○	○	取付場所、寸法はEV設置業者と協議
各階出入口（インジケーター押釦用孔含む）の孔あけ	●	○	○	○	大きさはEV設置業者と調整
各階出入口（インジケーター押釦用孔含む）のモルタル詰め（シーリング含む）	●	○	○	○	
三方枠回りのモルタル詰め（シーリング含む）	●	○	○	○	
エレベーター設置に伴う内部改修	●	●	●	○	
動線上におけるスロープ等の整備	●	○	○	○	

注１　昇降機制御盤が 1F より上階に設置されている場合は、1F より制御盤までの配管配線は昇降機工事とする。
制御盤までの配線仕様は次の通りとする(接続も別途工事)。制御盤電源供給
3φ EM-CET14mm^2・EM-IE5.5mm^2(または EM-CE8mm^2-2C・EM-IE5.5mm^2)、
1φ EM-EEF2.0-3C 監視盤へ　EM-FCPEE0.9-20P・EM-5C-2E・EM-EEF2.0-3
火災管制用 EM-HP1.2-2C、非常放送用 EM-HP1.2-3C
ﾏｰｶｰﾋﾟﾝM

※	化学物質を放散する建築材料等	(1)ホルムアルデヒドの放散量が、「規制対象外材料」に該当する建築材料とは以下のものをいう。(以下「規制対象外材料」という。) ①JIS 及び JAS の F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のある JAS 規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 (2)ホルムアルデヒドの放散量が、「第三種材料」に該当する建築材料とは 以下のものをいう。(以下「第三種材料」という。) ①JIS 及び JAS の F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧 JIS の Eo 規格品 ④旧 JAS の Fco 規格品 (3)その他の化学物質対策

		使用建材は厚生労働省による室内濃度指針値が定められている化学物質が極力含まれていない材料を使用すること。 換気及び保温等（学校環境衛生基準（平成 21 年文部科学省告示第 60 号。以下「学校環境衛生基準」という。）に定める基準）に悪影響を与えない材料を使用すること。 (4)材料承諾について (1)、(2)については、認定書の写しを添付すること。 (3)については、可能な限り製品安全データシート（MSDS）等の写しを添付すること。
※	化学物質の濃度測定	揮発性有機化合物の室内濃度の測定：●　測定する　　※測定しない 測定室：内装改修を行った室のうち、仕上表に特記した室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。 なお、特記なき場合は全室測定すること。 測定箇所数：室の床面積（Ａ㎡）に対して、以下の箇所数以上とする。

室の床面積(㎡)	A≦50	50<A≦200	200＜A≦500	500＜A
測定箇所数	1	2	3	4

地階：６か所、１階：４か所、２階：12 か所、３階：17 か所　計：39 か所
測定対象化学物質：
（一般施設・住宅）ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
（学校）上記＋パラジクロロベンゼン
空気採取方式：※拡散方式(パッシブ型採取機器)・吸引方式
測定要領等：室内空気中化学物質の濃度調査要領（大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室）による。

※	1.5.1 事前調査	(1)石綿含有建材調査 調査範囲：改修範囲 既存設計図書：※有　○無 石綿含有材調査報告書：※有　○無

採取場所	部位	建築材料の名称	調査結果
■アスベスト含有あり（みなし建材）			
・軟質石綿板、有孔石綿板、石綿板、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ、ｼｰﾘﾝｸﾞ、カボスタック（煙突）、ﾈｵﾌﾞﾚｰﾝｶﾞｽｶｯﾄ（階段１・２）			
■アスベスト含有あり（分析調査済）			
本庁舎	床	ﾋﾞﾆﾙ系ﾀｲﾙ（接着剤共）	有
	巾木	ｿﾌﾄ巾木（接着剤共）	有
	壁	ｴｷﾋﾞｷｽﾄ吹付（下地調整材）	有
	壁	ｼﾞｭﾗﾗ調ｸﾛｽ（パテ共）	有
	壁	ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ	有
	天井	ｾﾗｶｯﾄ吹付（下地調整材）	有
	その他	岩綿吹付（ﾄﾑﾚｯｸｽ）　※1	有
※1：レベル１とし、それ以外はレベル３			

(2)書面調査及び目視調査の結果、石綿含有の有無が確定できなかった建材があるときは、監督職員に報告し、分析による調査をするか、石綿含有建材とみなして解体等工事をするか、監督職員と協議すること。
(3)(2)の結果、分析による調査を行う場合は、次のいずれかとする。
①JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第２部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）
②JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第１部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）により試料に石綿を含むと同定された場合は、
JIS A 1481-3（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第３部：アスベスト含有率のＸ線回折定量分析方法）、JIS A 1481-4（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第４部：質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法）、又は JIS A 1481-5（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第５部：Ｘ線回折法によるアスベストの定量分析方法（第１部の定性的判定方法を用いる場合の方法））を行う。
(4)調査結果報告書の提出部数：２部
(5)(3)の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

※	施工中の環境保全等	建築基準法、建設リサイクル法、環境基本法（平成５年法律第 91 号）、騒音基本法（昭和 43 年法律第 98 号）、振動規制法（昭和 51 年法律第 64 号）、大気汚染防止法（昭和 43 年法律第 97 号）、水質汚濁防止法（昭和 45 年法律第 138 号）、廃棄物処理法、土壌汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号）、資源有効利用促進法その他関係法令等に定めるところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努めること。
※	火災保険等	※要（建設工事保険）　○要（火災保険又は組立保険）　○不要
※	1.6.2 施工数量調査	調査範囲：※外壁、ﾊﾟﾙｺﾆｰｽﾗﾌﾞ・腰壁、庇　○（　　） 調査方法：※打診調査　　○（　　） 調査要領：第４章外壁改修工事の補修特記事項による。
※	1.8.1 完成時の提出図書	（１）完成図：※要　○不要

形式	部数	備考
完成製本　二つ折り（A1）	1	白焼き製本

（２）完成写真：※要　○不要

形式	部数	備考
２L 版	1	アルバム共

（３）保全に関する資料：※要　○不要

保全に関する資料	形式	部数	備考
物品引渡書	左折（A4）	1	最適幅のパイプファイルにインデックス綴りとする。
主要材料一覧			
使用材料一覧表			
主要機器図			
保証書			
取扱説明書			
試験成績書			
施工体系図			
建退共関係書類			
官公署届出書類（副本等）			
現場書類収納一覧表			
その他監督職員が指示する図書			

（４）以下の書類を CD-R 又は DVD-R に保存し、監督職員に２部提出すること。

電子データ	保存形式
完成図	オリジナル CAD、SXF（P21 又は SFC）、DXF、PDF
完成写真	Excel 又は PDF
物品引渡書	PDF
主要材料一覧	PDF
使用材料一覧表	PDF
主要機器図	PDF
保証書	PDF
取扱説明書	PDF
試験成績書	PDF
施工体系図	PDF
官公署届出書類	PDF
再生資源利用（計画・実施）書	Excel 又は PDF
再生資源利用（促進）（計画・実施）書	Excel 又は PDF
工事写真	PDF
施工図	オリジナル CAD、SXF（P21 又は SFC）、DXF、PDF
その他監督職員が指示する図書	PDF

第２章　仮設工事

※	仮囲い	○シート張 ※フェンスバリケード H=1.8m（※シート張） ●カラー鋼板囲い（●H=3.0m　○H=（　）m　（○設置済　○一部移設）） ○（　　）（H=（　）m　（○設置済　○一部移設）） ○防音シート　○防音パネル ●ﾊﾞﾈﾙｹﾞｰﾄ：W6,300　●ｷｬｽﾀｰﾀﾞｰﾄ：W6,000
※	2.2.1 足場その他	●本足場（ W=●600　●900　○1200）　●鋼製単管足場　●棚足場　●脚立足場 ○その他（　　） 定置する足場、作業構台等は、関連工事等の関係者に無償で使用させること。
※	災害防止シート	○ネット状養生シート（防炎Ｉ類）　○養生シート　●防音シート　○養生金網 ○防音パネル　●防護棚　○その他（　　）
※	材料,撤去材等の運搬方法	○A 種　●B 種　●C 種　※D 種　●E 種
○	2.3.2 仮設間仕切り	●A 種　●B 種　○C 種
※	2.4.1 監督職員事務所	●要（○１号：10 ㎡　●２号：20 ㎡　○３号：35 ㎡　○４号：65 ㎡　○５号：100 ㎡） ○不要 監督職員事務所の仕上げは下表を標準とする。

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

※	監督職員事務所の備品等	備品：●要　○不要 監督職員事務所には監督職員の指示により、電灯、給排水その他の設備を設ける。なお、設置する備品等は下記を標準とする。 机、いす、書棚、ホワイトボード、掛時計、寒暖計、会議机、折りたたみ椅子、電話及びファクシミリ、複写機、パソコン（プロバイダー契約含む）、カラープリンター、デジタルカメラ、文具一式、ゴム長靴、雨かっぱ、防護帽、懐中電灯、堅落制止用器具、流し台、湯沸器、冷蔵庫、衣類ロッカー、消火器、掃除具、冷暖房機器 維持管理（光熱水費、電話使用料、消耗品などを含む）
※	事務員	○要（　　人）　　※不要
※	交通誘導員	警備業法第２条第４項に規定する警備員で交通誘導業務に従事するもの ●要（工事期間中常駐　２人、うち、検定合格警備員　　人） ●要（スポット 500 人日、うち、検定合格警備員　　人日） ○不要
※	高圧洗浄機	○要（○　　台）　　※不要
※	工事用設備等	給排水、電気、その他の工事用設備の設置、撤去は受注者が行うこと。 また、工事期間中に掛かった費用についても、受注者負担のこと。

代表者		担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事		令和７年 10 月	A-2
					図面名称　特記仕様書（その１）	整理番号		

第３章　防水改修工事

１節　一般事項

●	3.1.4 改修工法の種類及び工程	防水改修工法の種類 ●（　S4S　）工法〔表 3.1.1〕　○（　L4X　）工法〔表 3.1.1〕 シーリング改修工法の種類 ※（シーリング再充填）工法〔表 3.1.2〕　○（　　）工法〔表 3.1.2〕
●	改修用ドレン	種類：●縦型（　100φ）　●横型（　100φ）

２節　既存防水層等の撤去及び既存下地の処理

●	3.2.6 既存下地の処理	下地調整 ●コンクリート面、モルタル面及び ALC 面：ケレン清掃、高圧水洗 ○改質アスファルトシート防水面：高圧水洗 ●合成高分子系シート防水面：高圧水洗 ●塗膜防水面：高圧水洗 既存防水層を撤去した場合は、樹脂セメントペースト（２回塗）を塗り付けること 既存防水層表面の仕上げ塗装の除去　○必要　　※不要

３節　アスファルト防水

○	3.3.2 材料	アスファルトルーフィング類 ○部分粘着層付改質アスファルトルーフィング及び改質アスファルトルーフィングシート JISA6013　改質アスファルトルーフィングシート 種類：(　　)　厚さ：(　　) ○部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート：非露出複層防水層Ｒ種 ○改質アスファルトルーフィングシート：露出単層防水用Ｒ種 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 厚さ：(　　) 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材（JISA9521　発泡プラスチック断熱材） 種類：(　　) 厚さ：(　　) 絶縁用シートに使用する材料 ○材料：(　　) ○屋根保護防水密着工法又は屋根保護防水絶縁工法： ○ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上 ○ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス(70g/㎡程度) ○屋根保護防水断熱工法： ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス(70g/㎡程度) 保護コンクリート： ○軽量コンクリート（○1 種　○2 種　気乾比重　t/㎥　※「標仕」6.10.1 による） ○普通コンクリート 設計基準強度：○　　N/mm²　○１８N/mm² スランプ：○　　cm　○１５cm　○１８cm　○２１cm 立ち上り部の保護 ○乾式保護材使用 ○れんが：(　　)
○	3.3.3 種別及び工程	【屋根保護防水】 絶縁工法：○B-1　○B-2 絶縁断熱工法：○BI-1　○BI-2 密着断熱工法：○AI-1　○AI-2　○AI-3 密着工法：○A-1　○A-2　○A-3 立上り部の保護工法：(　　) 【屋根露出防水】 密着工法：○C-1　○C-2　○C-3　○C-4 絶縁工法：○D-1　○D-2 絶縁断熱工法：○DI-1　○DI-2 仕上塗料塗り：※カラー 脱気装置　種類：※ステンレス製　○樹脂製　○（　　） 設置数量：(　　) 個 【屋内防水】 密着工法：○E-1　○E-2 保護層：○設ける　○設けない
○	3.3.5 保護層等の施工	平場の保護コンクリート ○軽量コンクリート　○普通コンクリート 厚さ：○　　mm　○こて仕上げ、水下 80mm　○床タイル張り等の仕上げ、水下 60mm 立上り部の保護 ○乾式工法　○れんが押え（目地幅：　　）　○モルタル押え（屋内等） ○コンクリート押え

４節　改質アスファルトシート防水

○	3.4.2、3.4.3 材料 種別及び工程	新規防水層〔表 3.4.1～3.4.3 による〕 材料：JIS A 6013 の規格品 屋根露出防水密着工法：○AS-T1　○AS-T2　○AS-J2 屋根露出防水絶縁工法：○AS-T3　○AS-T4　○AS-J1　○AS-J3 屋根露出防水絶縁断熱工法：○ASI-T1　○ASI-J1 脱気装置　種類：※ステンレス製　○樹脂製　○（　　） 設置数量：(　　) 個 仕上塗料塗り　種類：※アクリル系　○（　　） 断熱材（JIS A 9521　発泡プラスチック断熱材）：種類（　　）　厚さ（　　） M3ASI，P0ASI 工法　防湿層：○設置する　○設置しない

５節　合成高分子系ルーフィングシート防水

●	3.5.2、3.5.3 材料 種別及び工程	新規防水層〔表 3.5.1～3.5.3 による〕 材料：JIS A 6008 の規格品 接着工法：○S-F1　○SI-F1　○S-F2　○SI-F2 機械的固定工法：○S-M1　○SI-M1　●S-M2　○SI-M2 屋内保護密着工法：○S-C1 脱気装置　種類：※ステンレス製　○樹脂製　○（　　） 設置数量：(　　10　) 個 断熱材（JIS A 9521　発泡プラスチック断熱材）：種類（硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ）　厚さ（　　） 軽歩行仕様の場合　厚さ：2.0mm S-F1,SI-F1, S-M1,SI-M1 の場合　仕上塗料塗り　種類：※カラー SI-M1,SI-M2 の場合　防湿用フィルムの設置：○有　※無 機械的固定工法の場合は、風圧力に対応した工法とすること
○	3.5.4 施工	接着工法　プレキャストコンクリート下地の目地処理は製造所の指定による S-F1、SI-F1　プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張りは製造所の指定による

６節　塗膜防水

●	3.6.3 種別及び工程	新規防水層〔表 3.6.1～3.6.3 による〕 ●接着工法：※X-2　○X-2H ●絶縁工法：※X-1　○X-1H ○Y-2（保護層：図示による） 仕上塗料塗り　種類：※アクリル系　○（　　） 脱気装置　種類：※ステンレス製　○樹脂製　○（　　） 設置数量：(　1　) 個 ノンスリップ仕様は図示による

７節　シーリング

●	3.7.2、3.7.3 材料 目地寸法	シーリング材 種類：表 3.7.1 による 施工箇所及び目地寸法：図示による
	3.7.7 プリッジ工法	○ボンドブレーカー張り　○エッジング材張り
	3.7.8 シーリング材の試験	接着性試験：　※簡易接着性試験　○引張接着性試験

８節　とい

●	3.8.2 材料	材種 たてどい：○配管用鋼管（白管）　○硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　○（　　） 横走り管：○配管用鋼管（白管）　○硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　○（　　） 軒どい：○硬質塩化ビニル雨どい　○表面処理鋼板　○ステンレス鋼板 表面処理鋼板　規格等： ○JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ○JIS G 3318（塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯） ○JIS G 3322（塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） ○JIS K 6744（ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯） ○耐酸被覆鋼 ○（　　） 表面処理鋼板　塗膜：(表面：　　裏面：　　) 耐酸被覆鋼板　材質等：(　　)
○	3.8.3 工法	既存といその他撤去及び降雨等に対し、漏水等ないよう養生すること 鋼管製といの防露巻き：※表 3.8.4　○（　　） たてどい受金物の取付け：新設アンカーにて固定

９節　アルミニウム製笠木

○	3.9.2 材料	アルミニウム笠木： ○オーブン形式（○250 形　○300 形　○350 形　○板材折曲げ形） ○シール形式板材折曲げ形 板材折曲げ形：(本体幅：　　mm　板厚：※2.0mm　○（　　mm)） 表面処理：○AB-1 種　※BB-1 種　○（　　）
	3.9.3 工法	既存の笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の下地の補修：○図示による 板材折曲げ形　取付方法：図示による 笠木の固定金具　建築基準法に基づく風圧力に対応した工法：○図示による

その他

※	防水保証	防水工事の施工は防水施工業者による責任施工とする。 保証書は受注者、防水施工業者、製造業者の連名で提出する。 アスファルト防水：※10 年　○15 年 改質アスファルトシート防水：※10 年　○15 年 合成高分子系ルーフィングシート防水：※10 年　○15 年 塗膜防水：※10 年　○15 年 シーリング：※５年　　○１０年
○	漏水試験	試験箇所：○陸屋根　○便所 浴室　○受水槽　○防火水槽 48 時間水張り試験とする

第４章　外壁改修工事

●	補修特記事項 １．　ひび割れ、欠損、浮き等は補修に先立ち監督職員立ち合いのもとで下地調査を実施すること。 ２．　補修箇所をスプレーペンキでマークし、写真撮影（補修箇所のわかる全景又は、補修全箇所）、図面化のうえ数量計算書を作成し、監督職員と補修範囲を確認すること。 ３．　窓・扉等の開口部には、目張りを行うこと。 ４．　工事着手前に施工計画書を作成し、監督職員の承諾を得ること。 ５．　工事進捗に応じて工事写真を撮影し、工程写真として監督職員に提出すること。 ６．　設計図書に示す工事内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議すること。

３節　モルタル塗り仕上げ外壁の改修

※２節コンクリート打放し仕上げ外壁の改修を含む

●　ひび割れ部改修

4.3.6 樹脂注入工法

※自動式低圧　○手動式　○機械式

ひび割れの幅（mm）	材料
0.2～1.0 以下	※硬質形エポキシ樹脂
	○軟質形エポキシ樹脂

注入口の間隔（mm）：※200～300　○200 程度　○300 程度
注入量（ml/m）：(　製造所の指定による　)
コアの抜取り検査：○行う　※行わない

4.3.7 Ｕカットシール材充填工法

ひび割れの幅（mm）	材料
0.2～1.0 以下	○可とう性エポキシ樹脂
1.0 を超える	※可とう性エポキシ樹脂
	○シーリング材（※ポリマーセメントモルタル）

4.3.8 シール工法

ひび割れの幅（mm）	材料
0.2 未満	※パテ状エポキシ樹脂
	○可とう性エポキシ樹脂

欠損部改修

4.3.9 充填工法

平均深さ（mm）	状態	材料
5～40 未満	欠損	※エポキシ樹脂モルタル
		○ポリマーセメントモルタル
	露筋	※エポキシ樹脂モルタル
		○ポリマーセメントモルタル

※部分的に露出している鉄筋、アンカー金物等がある場合、監督職員と協議し、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去し、鉄筋コンクリート用防錆剤等を塗り付け、防錆処理を行う。

4.3.10 モルタル塗替え工法

塗厚（mm）	材料
25 以下	※表 4.3.3 による

浮き部改修 4.3.11～4.3.16

工法	1 箇所の面積（㎡）	浮き代（mm）	アンカーピン（本/㎡） 一般部	アンカーピン（本/㎡） 指定部	アンカーピン（本/m） 狭幅部	注入口（箇/㎡） 一般部	注入口（箇/㎡） 指定部	注入口（箇/m） 狭幅部
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		16	25	5	－－	－－	－－
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	13	20	5	12	20	5
アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25 以上	1.0 を超える	13	20	5	12	20	5

４節　タイル張り仕上げ外壁の改修

●　**4.4.2 ひび割れ部改修**

○タイル張仕上げを撤去する場合

種類	寸法（ｈ×ｗ×ｔ）	役物の有無	工法	㎡	使用場所	色
磁器タイル	×　×		○タイル部分張張替え工法 ○タイル張替え工法		図示による	○特注色 ○標準色

補修方法は 4.3.6 に準ずる

●タイル張仕上げを撤去しない場合

※自動式低圧　○手動式　○機械式

ひび割れの幅（mm）	材料
0.2～1.0 以下	※硬質形エポキシ樹脂
	○軟質形エポキシ樹脂

注入口の間隔（mm）：※200～300　○200 程度　○300 程度
注入量（ml/m）：(　製造所の指定による　)

○　**4.4.3 欠損部改修**

種類	寸法（ｈ×ｗ×ｔ）	役物の有無	工法	㎡	使用場所	色
磁器タイル	×　×		○タイル部分張張替え工法 ○タイル張替え工法		図示による	○特注色 ○標準色

●　**4.4.4 浮き部改修**

○タイル張仕上げを撤去する場合

種類	寸法（ｈ×ｗ×ｔ）	役物の有無	工法	㎡	使用場所	色
磁器タイル	×　×		○タイル部分張張替え工法 ○タイル張替え工法		図示による	○特注色 ○標準色

●タイル張仕上げを撤去しない場合

工法	1 箇所の面積（㎡）	浮き代（mm）	アンカーピン（本/㎡） 一般部	アンカーピン（本/㎡） 指定部	アンカーピン（本/m） 狭幅部	注入口（箇/㎡） 一般部	注入口（箇/㎡） 指定部	注入口（箇/m） 狭幅部
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		16	25	5	－－	－－	－－
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	13	20	5	12	20	5
アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25 以上	1.0 を超える	13	20	5	12	20	5

○　**4.4.8 タイル張替え工法**　伸縮調整目地位置：　○表 4.4.2 による　　※図示による

※　補修数量表

代表者		担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日 令和 7 年 10 月
図面名称	特記仕様書（その２）	整理番号	図面番号 A-3

モルタル塗り仕上げ外壁の改修
（コンクリート打放し仕上げ外壁の改修を含む）

名称	摘要	数量				合計
樹脂注入工法（硬質形エポキシ樹脂）【m】	－－					
U カットシール材充填工法（可とう性エポキシ樹脂）【m】	0.2~1.0mm 巾					
	1.0mm 超巾					
シール工法（パテ状エポキシ樹脂）【m】	－－					
充填工法（欠損）（エポキシ樹脂モルタル）【㎡】	－－					
充填工法（欠損）（エポキシ樹脂モルタル）【m】	－－					
充填工法（欠損）（エポキシ樹脂モルタル）【ケ所】	－－					
充填工法（露筋）（エポキシ樹脂モルタル）【㎡】	－－					
充填工法（露筋）（エポキシ樹脂モルタル）【m】	－－					
充填工法（露筋）（エポキシ樹脂モルタル）【ケ所】	－－					
モルタル塗替え工法【㎡】	厚~25mm					
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					
アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					

タイル張り仕上げ外壁の改修

名称	摘要	数量				合計
樹脂注入工法（硬質形エポキシ樹脂）【m】	－－					
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					
アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	一般部【㎡】					
	指定部【㎡】					
	狭幅部【m】					

● 4.5.2 材料

種類	呼び名	仕上げの形状	工法
●薄付け仕上塗材	○外装薄塗材Ｓｉ	○砂壁状　○ゆず肌状	吹付け
		○ゆず肌状　○さざ波状	ローラー塗り
	○可とう形外装薄塗材Ｓｉ	○砂壁状　○ゆず肌状	吹付け
		○ゆず肌状　○さざ波状	ローラー塗り
	●外装薄塗材Ｅ	●砂壁状　○ゆず肌状	吹付け
		○平たん状　○凹凸状	こて塗り
		○ゆず肌状　○さざ波状	ローラー塗り
		○着色骨材砂壁状	○吹付け ○こて塗り
	○可とう形外装薄塗材Ｅ	○砂壁状　○ゆず肌状	吹付け
		○平たん状　○凹凸状	こて塗り
		○ゆず肌状　○さざ波状	ローラー塗り
	○防水形外装薄塗材Ｅ	○ゆず肌状　○さざ波状	ローラー塗り
		○凹凸状	吹付け
	○外装薄塗材Ｓ	○砂壁状	吹付け
○厚付け仕上塗材	○外装厚塗材Ｃ	○吹放し　○凸部処理	吹付け
		○平たん状　○凹凸状 ○ひき起こし○かき落とし	こて塗り
	○外装厚塗材Ｓｉ ○外装厚塗材Ｅ	○吹放し　○凸部処理	吹付け
		○平たん状　○凹凸状 ○ひき起こし	○こて塗り ○ローラー塗り
※複層仕上塗材	○複層塗材ＣＥ ○複層塗材ＲＥ ○複層塗材Ｓｉ ※複層塗材Ｅ	○凸部処理　※凹凸状	吹付け
		○ゆず肌状	ローラー塗り
	○可とう形複層塗材ＣＥ	○凸部処理　○凹凸状	吹付け
		○ゆず肌状	ローラー塗り
	●防水形複層塗材ＣＥ ○防水形複層塗材ＲＥ ○防水形複層塗材Ｅ	○凸部処理　●凹凸状	吹付け
		○ゆず肌状	ローラー塗り
○可とう形改修用	○可とう形改修塗材Ｅ ○可とう形改修塗材ＲＥ ○可とう形改修塗材ＣＥ	○平たん状　○さざ波状	ローラー塗り
		○ゆず肌状	吹付け

多色吹き分けとする
その他の工法については図示による

● 4.5.4 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整
下地処理工法：
※水洗い工法（高圧水洗）（処理範囲：※既存仕上面全体　○図示による　○（　　㎡））
下地調整材：※下地調整塗材（○Ｃ－１　※Ｃ－２　○Ｅ　○（　　））
○ポリマーセメントモルタル　○（　　）

6節　マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修

○ 4.6 マスチック塗材塗り仕上げ
種別：○Ａ種　○Ｂ種

7節　外壁用塗膜防水材による改修

○ 4.7.2 材料
工法：○吹付け　（仕上げの形状：○凹凸状　○凸部処理）
○ローラー塗（仕上げの形状：ゆず肌状　○さざ波状）
吹付工法の模様材の種類：（　　）
仕上塗料の種類　：（　　）
仕上塗料の耐候性：（　　）

○ 4.7.3 施工一般
下地挙動緩衝材：○要　○不要

第５章　建具改修工事

● 5.1.3 改修工法
●かぶせ工法　（※カバー工法　○持出し工法　○ノンシール工法）
●撤去工法　（※はつり工法　○引抜き工法）
●新規に建具を設置する場合は図示による。

● 5.1.4 防火戸
●常時閉鎖式　●随時閉鎖式
自動閉鎖機構：○ヒューズ装置　○熱感知器連動　●煙感知器連動

● 5.1.5 見本の製作
建具見本の製作：※要

● 5.2 アルミニウム製建具

種別＼性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
○A 種	S-4	A-3	W-4	※70　○100
●B 種	S-5			※70　○100
○C 種	S-6	A-4	W-5	※100

（枠の見込み寸法は建具表を優先する）
表面処理　○AB-1 種　○AB-2 種　○AC-1 種　○AC-2 種　○BA-1 種　○BA-2 種
※BB-1 種(屋外)　○BB-2 種　※BC-1 種(屋内)　○BC-2 種
着色：※標準色　○着色Ａ種（自然発色）○特注色
○焼付　（※アクリル系　○ウレタン系　○フッ素系）
特殊サッシ：○遮音性（等級：　　）　○断熱性（等級：　　）　○耐震性
結露水の処理方法：形状に合わせて選択すること（排水、貯留等）

○ 5.2.3(5) 網戸
使用方法：○外面収まりの可動式
網の種類：※合成樹脂製　○ガラス繊維入り合成樹脂製　○ステンレス製

○ 5.3 樹脂製建具

種別＼性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
○Ａ種	S－4	A－4	W－4	○70　○100　○（　）
○Ｂ種	S－5		W－5	○70　○100　○（　）
○Ｃ種	S－6			○70　○100　○（　）

（枠の見込み寸法は建具表を優先する）
特殊サッシ：○遮音性（等級：○T-1　○T-2）
○断熱性（等級：○H-4　○H-5　○H-6　○H-7　○H-8）
○日射熱取得性（等級：○N-1　○N-2　○N-3）
ガラス：※複層ガラス　○（　　）
表面色：※標準色　○特注色

● 5.4 鋼製建具
簡易気密型ドアセット：○要
鋼板：※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっき付着量 Z12 又は F12
○JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）めっき付着量 Y08
鋼板類の厚さ
片開き、親子及び両開き戸の１枚の戸の開口有効幅 950mm 以上又は開口有効高さ 2400mm を超える場合を除き、下表及び表 5.4.2 の厚さ以上とする。

区分		使用場所	厚さ
窓	枠類	外部の下枠	※2.3　○
出入口	枠類	丁番及び枠付のピボットヒンジで吊る	※2.3　○
		外部に面するスイングドアの場合	※2.0　○

● 5.5 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセット：○要
材料：※鋼板　○ビニル被覆鋼板　○カラー鋼板　○ステンレス鋼板

○ 5.6 ステンレス製建具
種類：※SUS304　○SUS430J1L　○SUS443J1　○（　　）
表面仕上げ：※ＨＬ　○（　　）

○ 5.7 木製建具
建具材の加工及び組立時の含水率：※Ａ種　○Ｂ種
フラッシュ戸の材料
表面材の種類：○「合板の日本農林規格」の「普通合板の規格」
○「合板の日本農林規格」の「天然木化粧合板の規格」
○「合板の日本農林規格」の「特殊加工化粧合板の規格」
○JIS A 5905（繊維板）に基づくミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）
かまち戸の材料（樹種）：(かまち：　　、鏡板：　　)
ふすまの材料：(種別：○Ⅰ型　○Ⅱ型、上張りの種類：　　)
ふすまの材料の縁の仕上げ：○塗り縁　○生地縁
見込み寸法：建具表による
建物内部の木製建具に使用する表面材及びホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの放散量：※　規制対象外材料　○　第三種材料

● 5.8.4 鍵
鍵の製作本数：※３本　○（　　本）
既設マスターキーに合わせること：※要　○不要
マスターキーの製作本数：○要（　　本）　※不要

● 5.11 重量シャッター
種類及び形式：○管理用シャッター　○外壁用防火シャッター
●屋内用防火シャッター　○防煙シャッター
耐風圧性能：○50　○80　●120
開閉形式：※上部電動式（手動併用）　○上部手動式
安全装置　危険防止機構：※（a）　○（b）　※（c）
シャッターケース：※要　○不要
スラット及びシャッターケース鋼板：●JISG3302　○JISG3312
製造所：

○ 5.12 軽量シャッター
開閉形式：○電動式（手動併用）　※手動式
耐風圧性能：○50　○80　○120
スラットの形式：※インターロッキング形　○オーバーラッピング形
製造所：

● 5.14.2 ガラスの材料
●フロートガラス　（●t=3.0　●t=5.0）
○型板ガラス　（○t=4.0　○t=6.0）
●網入りみがき板ガラス　（●t=6.8）
●網入り型板ガラス　（●t=6.8）
○倍強度ガラス　（○t=6.0　○t=8.0）
●アルミパネル　（●t=3.0　○t=　）JISH4000 設備用穴あけ共

5.14 ガラスの留付材
種別：●シーリング（●SR-1(ガラス)　●MS-2(アルミパネル)）
○グレイジングガスケット（○グレイジングチャンネル　○グレイジングビート）

第６章　内装改修工事

● 6.1.3 取合部の改修範囲
●既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※図示の範囲
○既存壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
○天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※図示の範囲
○壁面から両側 600 ㎜程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
○天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修範囲
※図示の範囲
○既存のまま

○ 6.2.2(1)(イ) 除去等及び下地補修
合成樹脂塗床の除去工法：○機械的除去工法　○目荒工法

● 6.3.2(1) 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法：
※改修標仕 4.3.10 による　○（　図示による　）

● 6.5.2(1)(イ) 木材の含水率
※Ａ種　○Ｂ種

● 6.5.2(1)(ヵ) ホルムアルデヒド
ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料

○ 6.5.2(2) 製材
○下地用製材（JAS 1083-5）

施工箇所	寸法（㎜）	等級	含水率	保存処理
		※２級　○（　）	※Ａ種　○Ｂ種　○	
		※２級　○（　）	※Ａ種　○Ｂ種　○	

○造作用製材（JAS 1083-2）

施工箇所	寸法（㎜）	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節　○（　）	※Ａ種　○Ｂ種	
見え掛り面以外		※小節以上○（　）	※Ａ種　○Ｂ種	

○広葉樹製材（JAS 1083-6）

施工箇所	寸法（㎜）	等級	含水率	保存処理
		※1 等　○（　）	※10%以下　○（　）	
		※1 等　○（　）	※10%以下　○（　）	

○ 6.5.2(3) 集成材等
○造作用集成材（集成材の日本農林規格）

施工箇所	品名	樹種名	寸法（㎜）	見付け材面	見付け材面の品質
					※１等　○2 等

○化粧ばり造作用集成材（集成材の日本農林規格）

施工箇所	品名	樹種名	寸法（㎜）	化粧板の厚さ（㎜）	見付け材面	見付け材面の品質
						※１等　○2 等

○ 6.5.2(4) 造作用単板積層材
造作用単板積層材（単板積層材　JAS 0701）

施工箇所	品名	寸法（㎜）	表面材の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			あり（加工：○天然木化粧加工　○塗装加工）	○行う
			なし（等級：○１等　○２等　○３等）	○行わない

代表者		担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日 令和 7 年 10 月	図面番号
図面名称	特記仕様書（その３）	整理番号		A-4

○ 6.5.2(5) 直交集成板

CLT（直交集成板　JAS 3079）

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着の性能（使用環境）	樹種名	寸法（㎜）

○ 6.5.2(6) 合板等

○普通合板（合板の日本農林規格）

施工箇所	品名	厚さ（㎜）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5 ㎜ ○（　）		※1 類 ○2 類	広葉樹：※２等以上 針葉樹：※C-D以上	○行う ○行わない

○構造用合板（合板の日本農林規格）

施工箇所	品名	厚さ（㎜）	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※12 ㎜ ○（　）	○1 級 ※2 級		○（　） ※C-D		○行う ○行わない	

○化粧ばり構造用合板（合板の日本農林規格）

施工箇所	品名	厚さ（㎜）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				○1 類　○特類	○行う　○行わない

○天然木化粧合板（合板の日本農林規格）

施工箇所	化粧版に使用する単板の樹種名	厚さ（㎜）	接着の程度	防虫処理
			○1 類　○2 類	○行う　○行わない

○特殊加工化粧合板（合板の日本農林規格）

施工箇所	品名	厚さ（㎜）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			○1 類 ○2 類		○オーバーレイ　○プリント ○塗装　○（　）	○行う ○行わない

○パーティクルボード（JIS A 5908）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（㎜）
		※13 タイプ ○（　）	○REG（U）タイプ ※MR1（M）タイプ ○MR2（P）タイプ		※15 ㎜ ○（　）

○構造用パネル（JAS 0360）

施工箇所	品名	寸法（㎜）

○ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）（JIS A 5905）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ（㎜）

● 6.5.3(3) 接着剤　可塑剤を使用している木工用接着剤を使用する場合は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下「ユリア樹脂等」とする。）を使用したもののホルムアルデヒドの放散量：
※規制対象外材料　○第三種材料

○ 6.5.5 防腐、防蟻、防虫処理使用制限　木材保存剤は、クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルフ（以下「クロルピリホス等」という）を含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐、防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場に搬入する。現場における塗布又は吹付けは、現場において加工した箇所のみとする。
現場で塗布する木材保存剤は、(社)日本木材保存協会において「木材防腐、防蟻剤」の「表面処理用（油溶性）」及び「表面処理用（水希釈系）」として認定された製品とする。

● 6.6.2 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類：※１９形(屋内)２５形(屋外)　○（　　）

○ 6.6.3(1) 形式及び寸法　野縁受け等間隔(屋外)：（　　）

6.6.3(2)　野縁間隔(屋外)：（　　）

● 6.6.4(1) 工法　インサート：○既存のインサートを使用する（引き抜き試験を行うこと）
●あと施工アンカーを設ける（引き抜き試験：●行う　○行わない）

● 6.6.4 (5) 開口部の補強　※補強方法、補強箇所は図示による

● 6.6.4 (10) 耐震性を考慮した補強　※図示による

○ 6.6.4 (11) 耐風圧性を考慮した補強　※図示による

● 6.7.3(1) スタッド、ランナーの種類　※表 6.7.1 による

● 6.8.2(1) ビニル床シート　JIS A 5705
種類：※ＦＳ　○（　　）
色柄：※無地　○（　　）
厚さ：※2.0mm　○　　mm
機能：○抗菌　○防汚

○ 6.8.2 (2) ビニル床タイル　JIS A 5705
種類：※ＫＴ　○（　　）
色柄：※無地　○（　　）
厚さ：※2.0mm　○　　mm
寸法：（　　）

○ 6.8.2 (3) 特殊機能床材　種類：○防滑性ビニル床シート　○（　　）
厚さ：　　mm

● 6.8.2(4) ビニル幅木　厚さ：※1.5mm　○　　mm
高さ：※60mm　○　　mm

○ 6.8.2 (5) ゴム床タイル　種類：（　　）
厚さ：　　mm

● 6.8.2(6) ビニル床シート等の接着剤　JIS A 5536
トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料
セメント系下地及び木質系下地以外の場合：（　　）

● 6.8.3(1) 工法 下地　●モルタル塗り下地　○セルフレベリング材下地　○木下地　○（　　）

● 6.9.2 カーペット敷　○織じゅうたん(JIS L 4404)
織り方：（　　）、パイルの形状：（　　）
色柄：※無地　○（　　）、種別：○A 種　○B 種　○C 種
帯電性：※人体帯電圧の値 3kV 以下（JIS L 1021-16）　○（　　）
●タフテッドカーペット(JIS L 4405)
パイルの形状：（　ループ　）、パイル長：　6　mm
帯電性：※人体帯電圧の値 3kV 以下（JIS L　1021-16）　○（　　）

○タイルカーペット(JIS L 4406)
種類：※第一種　○第二種、パイルの形状：※ループパイル　○（　　）
寸法：※500mm 角　○（　　）、総厚さ：※6.5mm　○　　ｍｍ
見切り、押え金物：(材質：　　、種類：　　）　形状は図示による

● 6.9.2（6） カーペット用接着剤　ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○　第三種材料

● 6.9.3 (1) 工法の種類　※表 6.9.2 による
タフテッドカーペットの場合：○グリッパー工法　○全面接着工法

○ 6.9.3(4) タイルカーペットの敷き方　平場：※市松敷き　○（　　）
階段部分：※模様流し　○（　　）

○ 6.10.2 合成樹脂塗床の材料　トルエン等の含有量が少ない規格品を使用すること。
ユリア樹脂等を使用した塗料のホルムアルデヒドの放散量：
※規制対象外材料　○第三種材料

厚膜型塗床　○弾性ウレタン樹脂系塗床材
仕上げ：※平滑仕上げ　○防滑仕上げ　○つや消し仕上げ
○エポキシ樹脂系塗床材
工法：○薄膜流し展べ工法　○厚膜流し展べ工法　○樹脂モルタル工法
仕上げ：○平滑仕上げ　○防滑仕上げ

薄膜型塗床　工法：○薄膜型塗床工法
仕上げ：○平滑仕上げ

○ 6.11.3 フローリング張工法　ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料
可塑剤を使用している木工用接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。また、トルエン等の含有量が少ない規格品を使用すること。

工法	種別	樹種	厚さ（mm）	大きさ（mm）
○6.11.4 釘留め工法(根太張り工法) 接着剤（JIS A 5536）エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系又は変成シリコーン樹脂系とする。	○フローリングボード(根太張り用)	※なら(○　)	※15(○　)	※75×400(○　)
	○複合フローリング(根太張り用)	※なら(○　)	表 6.11.2 ○A 種 ○B 種 ※C 種(○　)(○　)	
○6.11.4 釘留め工法(直張り工法) 接着剤（JIS A 5536）エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系又は変成シリコーン樹脂系とする。	○フローリングボード(直張り用)	※なら(○　)	※12(○　)	※75×400(○　)
	○複合フローリング(直張り用)	※なら(○　)	表 6.11.4 ○A 種 ○B 種 ※C 種(○　)(○　)	
○6.11.5 接着工法 接着剤（JIS A 5536）エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系又は変成シリコーン樹脂系とする。	○フローリングボード(直張り用)	※なら(○　)	※8(○　)	※75×400(○　)
	○複合フローリング(直張り用)	※なら(○　)	表 6.11.6 ○A 種 ○B 種 ※C 種(○　)(○　)	
	○フローリングブロック	※なら(○　)	※15(○　)	※303×303(○　)

○ 6.11.6 現場塗装仕上げ　下地調整：（　　）
塗装：（　　）

● 6.12.2 畳敷き　種別：○A 種　○B 種　※C 種　○D 種（○　　）
○衝撃緩和型畳　畳表：○C1　○C2

● 6.13.2（1）(2) 材料 せっこうボード，その他のボード及びその他合板張り　合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量：
※規制対象外材料　○第三種材料

● せっこうボード類　※表 6.13.1 による
○特殊品（　　）

● けい酸カルシウム板　JIS A 5430 の規格品
※タイプ２（※0.8FK　○1.0FK）　○特殊品（　　）

○ 吸音板類　JIS A 6301 の規格品
○ロックウール系(岩綿吸音板)　○グラスウール系

○ 6.13.2(2) 合板類　耐水性能：※水掛かり箇所を１類、その他を２類とする。
全て「合板の日本農林規格」の難燃処理を施したものとする。
防虫処理：○　有　○　無

● 6.13.2(4) 接着剤　JIS A 5538
ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料

● 6.13.3 ボード類の工法　下地：●軽量鉄骨下地　○木造下地
張付け種別：○A 種　※B 種
目地：○継目処理工法　●突付け工法　○目透し工法

○ 6.14.2(1) 壁紙張り材料　JIS A 6921
防火性能：●不燃材料　○準不燃材料　○難燃材料　○（　　）
ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料

6.14.2(2) 接着剤　酢酸ビニル樹脂系エマルション系等と JIS A 6922（壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤），可塑剤を使用している壁紙用接着剤は、フタル酸ジ-n ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
また、トルエン等の含有量が少ない規格品を使用すること。
ユリア樹脂等を使用したもののホルムアルデヒドの放散量：
※規制対象外材料　○第三種材料

● 6.15.3(6) モルタル塗り材料　既製目地材の適用及び形状：※図示による　○（　　）

● 6.15.6(2) モルタル塗り工法　床の目地の工法：※押し目地　○（　　）
目地割　※2 ㎡程度　○（　　）
最大目地間隔　※3m 程度　○（　　）

● 6.16 タイル張り　伸縮調整目地（※図示による　○（　　））
材料：※JIS A 5209 の規格品
工法：●セメントモルタルによるタイル張り工法：
○内装タイル（○密着張り　○改良圧着張り）
○ユニットタイル（○マスク張り　○モザイクタイル張り）
○有機系接着剤によるタイル張：内装タイル（内装接着張り）

使用場所	工法	形状、寸法	きじの質	標準色、特注色の別	役物	試験張り	見本焼	耐凍害性の有無	耐滑り性
東側出入口		300 角							

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理の方法：（　　）
ユリア樹脂等を使用したもののホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料

○ 6.17 セルフレベリング材塗り　塗厚：（　　）

● 9.3 断熱材、防露材　ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量：※規制対象外材料　○第三種材料
種類：（　図示による　）
使用場所：（　図示による　）
厚さ：（　図示による　）

第７章　塗装改修工事

● 7.1.3 材料　トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という）を含有する塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒドの放散量：※規制対象外材料　○第三種材料
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量：
※規制対象外材料　○第三種材料

● 防火材料　※屋内の壁及び天井の仕上は、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
○次の箇所を除き防火材料とする。（　　）

● 7.4 錆止め塗料塗り　合成樹脂調合ペイント塗りをＳＯＰ、耐候性塗料塗りをＤＰ、つや有合成樹脂エマルションペイント塗りをＥＰ－Ｇと記載する。

下地	種別	下地調整又は素地ごしらえ	塗装種別
●鉄鋼面	新規	○A 種　※B 種（ＤＰ） ※C 種（ＳＯＰ）、（ＥＰ－Ｇ）	ＳＯＰ、ＥＰ－Ｇ ※A 種(見え掛り)　※B 種(見え隠れ) ＤＰ ※A 種　○B 種　○C 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　○B 種　※C 種
●亜鉛めっき鋼面	新規鋼製建具	○A 種　※B 種	※A 種　○B 種　○C 種
	新規	※A 種　○B 種	ＳＯＰ、ＥＰ－Ｇ ○A 種　※B 種 ＤＰ ※標準仕様書による
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　○B 種　※C 種

● 7.5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

下地	種別	下地調整又は素地ごしらえ	塗装種別
●木部	新規	※A 種　○B 種	屋外※A 種　○B 種 屋内○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
●鉄鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○A 種　※B 種
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○A 種　※B 種　○C 種
●亜鉛めっき鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○A 種　※B 種
	鋼製建具塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	※A 種　○B 種　○C 種
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○A 種　※B 種　○C 種

● 7.8 耐候性塗料塗り(DP)

下地	種別	下地調整又は素地ごしらえ	上塗りの等級
●鉄鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○1 級　○2 級　○3 級
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○1 級　○2 級　○3 級
○亜鉛めっき鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○1 級　○2 級　○3 級
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○1 級　○2 級　○3 級
○コンクリート面	新規	※A 種　○B 種	○1 級　○2 級　○3 級
	塗替え	○ＲＡ種　○ＲＢ種　○ＲＣ種	○1 級　○2 級　○3 級
○押出成形セメント板面	新規	○A 種　※B 種	○1 級　○2 級　○3 級
	塗替え	○ＲＡ種　○ＲＢ種　○ＲＣ種	○1 級　○2 級　○3 級

○ 7.9 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

下地	種別	下地調整又は素地ごしらえ	塗装種別
○コンクリート面	新規	○A 種　※B 種	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○押出成形セメント板面	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○モルタル面 ○プラスター面	新規	○A 種　※B 種	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○せっこうボード面 ○その他ボード面等	新規	※A 種（せっこうボード継目処理工法） ※B 種（その他）	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○木部	新規	※A 種　○B 種	※A 種　○B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○鉄鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	※A 種　○B 種
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	○A 種　※B 種　○C 種
○亜鉛めっき鋼面	新規	※7.4 錆止め塗料塗りによる	※A 種　○B 種　○C 種
	塗替え	※7.4 錆止め塗料塗りによる	※A 種　○B 種

● 7.10 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

下地	種別	下地調整又は素地ごしらえ	塗装種別
●コンクリート面	新規	○A 種　※B 種	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
○押出成形セメント板面	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
●モルタル面 ○プラスター面	新規	○A 種　※B 種	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種
●せっこうボード面 ●その他ボード面等	新規	※A 種（せっこうボード継目処理工法） ※B 種（その他）	○A 種　※B 種
	塗替え	○ＲＡ種 ※ＲＢ種 ○ＲＣ種	○A 種　※B 種　○C 種

代表者		担当		

工事名称　交野市本庁舎耐震・設備等改修工事
設計番号
設計年月日　令和 7 年 10 月
図面名称　特記仕様書（その 4）
整理番号
図面番号　A-5

第８章　耐震改修及びその他改修工事　**＜欠番＞**

第９章　環境配慮改修工事

※	9.1 石綿含有材除去工事	アスベスト特記仕様書による。

第１０章　土工事（標仕　第３章）

●	3.2.1 根切り	※人力掘削　　○機械掘削
●	3.2.3 埋戻し及び盛土	○A種　　※B種　　○C種　　○D種
●	3.2.5 建設発生土の処理	※場外処分（補足説明書による。） ○場内処分（○敷き均し　○　　）
○	3.3.1 山留め	○鋼矢板工法　○親杭横矢板工法（※H鋼　○　　）○（　　） 工事完了時　（○撤去　○存置　○図示による）
○	地盤改良（固化材添加量の決定）	室内配合試験： (1) 地盤改良範囲内の土質が不明な場合は、必要に応じ、監督職員と協議の上、試験掘により土質を確認し固化材添加量を決定する。なお、最小添加量は 50kg/m³とする。 (2) 配合設計時における地盤改良の強度試験は、室内配合試験（一軸圧縮試験にて目標強度 2.2kg/c ㎡）とし、試験の結果を報告書にまとめ、速やかに監督職員に提出するものとする。 (3) 室内配合試験において目標強度が得られない場合は、監督職員と協議の上、固化材添加量を変更するものとする
	地盤改良（改良深さの決定）	○サウンディング試験（　　ヶ所） (1)地盤改良範囲内の N 値が不明な場合は、サウンディング試験により N 値を求める。この際、換算式は（公社）地盤工学会刊行の「地盤調査法」に示す「稲田の式」による。 (2)上記の換算 N 値に基づき、「大阪府営住宅設計要領」により地盤改良深さを決定する。
	六価クロム溶出試験	(1)試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）（国土交通省）」による。平成 3 年環境庁告示 46 号溶出試験及びタンクリーチング試験とし、試験の結果を報告書にまとめ、速やかに監督職員に提出するものとする。 (2)配合設計時における六価クロム溶出試験の結果、六価クロム溶出濃度が土壌環境基準（0.05ｍｇ/ｌ）を越える場合は、配合設計もしくは工法の変更を行なうものとする。

第１１章　地業工事（標仕　第４章）

○	杭工事	※含む(別途特記仕様書による)　　○別途工事
	4.1.3 施工一般	(7)安全管理は、1.3.7「施工中の安全確保」による。 施工機械が傾斜し、転倒しないよう作業地盤を養生すること。
	4.3.8 杭頭の処理	※含む　　○別途
	杭芯ずれ補強	※含む（但し、補強費用は杭工事施工者の負担とする。）　○別途
	高止まり、低止まり補強	※含む（但し、補強費用は杭工事施工者の負担とする。）　○別途
○	直接基礎	○独立基礎　○布基礎　○べた基礎
	直接基礎の許容地耐力	（　　）kN/㎡（長期） 平板載荷試験：※要（　ヶ所）　○不要
○	地盤改良工法等	○地盤改良工法（別途特記仕様書参照） ○図示による。 許容地耐力（　　kN/㎡） 材料：○セメント系　○（　　）　使用量（　　kg/㎡程度）　製造所：（　　） 試験：○平板載荷試験（　ヶ所） ○六価クロム溶出試験（　ヶ所）（仕様は「標仕第３章　土工事」に準ずる。）
※	4.6.3 砂利及び砂地業	材料：砂利（※再生クラッシャラン(RC-40)　○切込砂利　○切込砕石） 厚さ：※60mm　　○（　　）mm 範囲：※基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下　○（　　）
※	4.6.4 捨コンクリート地業	厚さ：※50mm　　○（　　）mm コンクリートの種類：※普通コンクリート　○（　　） 設計基準強度：※18N/mm2　○（　　） スランプ：※15cm　○18cm　○（　　）cm
※	4.6.5 床下防湿層	材料：ポリエチレンフィルム　厚さ：※0.15mm（2 枚敷）　○（　　）mm（　枚敷） 範囲：※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く。）　○図示による。 重ね合わせ及び基礎梁際の折り下がりの長さ：※250mm　○（　　）mm

第１２章　コンクリートブロック・ALC パネル及び押出成形セメント板工事　（標仕　第８章）**＜欠番＞**

第１３章　石工事　（標仕　第１０章）**＜欠番＞**

第１４章　カーテンウォール工事　（標仕　第１７章）**＜欠番＞**

第１５章　ユニット及びその他の工事　（標仕　第２０章）

○	20.2.2 フリーアクセスフロア	工法：パネル構法（支柱分離型） 仕上床高さ：H＝　パネルは支柱脚に固定すること。 配線用切り抜き部：　ヵ所／枚以上とする。 スロープの構造：図示及び製造所の標準仕様とする。
●	20.2.5 トイレブース	材料:●メラミン樹脂系化粧板　　○ポリエステル樹脂系化粧板
●	20.2.6 手すり	材質：※SUS304 ○図示による
●	20.2.7 階段滑止め	材料:○真鍮　　※ステンレス（タイヤ入り）　　○アルミ 踏幅寸法：　　mm 工法:※接着工法　○埋込み工法
○	20.2.9 黒板及びホワイトボード	○黒板：JIS S 6007 既製品とする。区分：○焼付　○（　　） 種類：○鋼製黒板　○ほうろう黒板 ○ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ：図示による。 ※「特定調達物品等」該当品とする。
○	20.2.11 表示	○衝突防止表示：図示による ○法令に基づく表示：図示による ○室名札等 形式：○正面付け　　○片持出し　○図示による 材質：○アクリル製市場品　○図示による
●	20.2.12 タラップ	材質：※SUS304 ○19φ 丸鋼（※溶融亜鉛めっき C 種　○SOP 塗り） ○図示による
●	20.2.16 カーテン及びカーテンレール	種別：○ステンレス製　　※アルミ製 形式：●シングル　　○ダブル ○片引き　　●引分け
○	収納・収納家具	合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外材料　　○第三種材料 ※黄銅製ブロンズめっき 250mm×180mm　○（　　）
○	コンクリート擁壁	※図示による ○鉄筋コンクリート造（Fc=　　N/㎟） ○無筋コンクリート造（○Fc=　　N/㎟・容積比 1：3：6）
○	フェンス、外柵	材質、形状：○既製品　　※図示による 基礎：○布基礎(巾 120mm×根入れ 450mm 以上) ※既製独立基礎　　○図示による

第１６章　排水工事　（標仕　第２１章）

●	21.2 排水管	材料：○遠心力鉄筋コンクリート管　●硬質ポリ塩化ビニル管 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管
●	排水桝	材料：○現場打コンクリート　　●既製品
●	排水桝のフタ	材料：●グレーチング（※細目）（耐圧：○T-2 ●T-6 ○T-14 ○T-20）○コンクリート
●	21.3 側溝	材料：●現場打コンクリート製　　○JISA5372　U 字溝 ○JISA5372 鉄筋コンクリート L 型
●	側溝のフタ	材料：●グレーチング（※細目）（耐圧：○T-2 ●T-6 ○T-14 ○T-20）○（　　） 材質：※ステンレス　○スチール（溶融亜鉛メッキ）　○ＦＲＰ　○（　　）

第１７章　舗装工事　（標仕　第２２章）

●	22.1 一般事項	(a) 工事施工に際し、地下埋設物等工事に支障をきたす物を発見した場合は、監督職員と協議する。 (b) 工事の施工に際しては、交通安全その他保安に関する所轄警察署との協議事項を遵守するとともに、関係官公署等との協議が必要な時、又は協議を申し入れられた時は、監督職員に連絡の上指示を受ける。 (c) 道路等、第三者の通行がある箇所では施工をする場合は必要に応じ交通安全施設設置基準により標示施設、防護施設を設置し、毎日点検保全に努めること。
●	22.2 路床	工法：○在来土掘削　　○在来土盤転圧 ○盛土　（表 3.2.1　○A 種　○B 種　○C 種　○D 種） 支持力比試験：○行わない　　○行う（　　箇所） 締固め度試験：○行わない　　○行う（埋戻し及び盛土部　　箇所） 路床安定処理：○要（材料の種類：　　）　○不要 ＊在来砂利層を整正して路盤とする場合は、モーターグレーダーでかき起こして整正する。
●	22.3 路盤	厚さ：　150　mm 材料：※再生クラッシャラン（RC-40） ○クラッシャラン ○粒度調整砕石(RM-40) 路盤の締固め度試験：○行わない　　○行う（　　箇所）
●	22.4 アスファルト舗装	舗装構成 厚さ：　　50　mm 材料：※再生加熱アスファルト（混合物の種類、使用部位は、図示による。） ○加熱アスファルト（混合物の種類、使用部位は、図示による。） 試験：アスファルト混合物の抽出試験：○行わない　　○行う
○	22.5 コンクリート舗装	舗装構成 厚さ：　　mm コンクリート：※表 22.5.1 による 注入目地材料：※低弾性タイプ　　○高弾性タイプ コア抜き試験：○行う　　○行わない
○	22.6 カラー舗装	材料：図示による。
○	特殊舗装	○透水性アスファルト舗装　○ブロック系舗装 試験：アスファルト混合物の抽出試験：　○行わない　○行う（○透水性アスファルト）
○	22.9 砂利敷き	種別：○A 種（通路）　○B 種（建物周囲その他） A 種の下敷き材料：※再生クラッシャラン(RC-40)

第１８章　植栽工事及び屋上緑化工事（標仕　第２３章）**＜欠番＞**

第１９章　電気設備工事

●	電気設備工事特記仕様書による。

第２０章　機械設備工事

●	機械設備工事特記仕様書による。

第２１章　その他

○	保守工具等	工事完成にともない、監督職員の指示により以下の引渡し物品を準備し引渡しをする。 品名 / 数量 （　　）/（　　） （　　）/（　　） （　　）/（　　） （　　）/（　　） （　　）/（　　） （　　）/（　　）
※	撤去工事	既設取合部、ハツリ箇所は予めカッターにて切込んでおくこと。モルタル等撤去部材で周囲に損傷を与えるおそれのある場合は、図示なきもカッター切りを行うこと。撤去物については、特記なき限り全て場外処分とする。
●	非破壊検査	非破壊検査の結果により、鉄筋切断が必要となる場合は下記とする。 1．鉄筋切断回避の検討を行う。 2．上記 1.により切断となる場合は、鉄筋補強等の検討及び施工を行う。
●	設備配管	工事に際して、空調配管等に養生を行い、損傷を与えないように十分留意すること。 外壁に密着している設備配管は全てケレン下地調整の上DP 塗りとする。 外壁や柱型の配管撤去跡は、補修の上、色あわせを行い、吹替えること。
●	空調室外機等	外部足場を設置する部分に、室外機がある場合は、空調運転の支障とならないよう十分に留意して設置すること。
○	機械警備	○下記室内に設置してある機械警備機器を撤去の上、再設置すること。 室　名　：　階　室 ：　階　室 ：　階　室 ：　階　室 ：　階　室 ○消火用補給水槽警報盤新設に伴う、機械警備主装置に到る移報用ケーブルの配線工事 工事を行う際には、事前に下記の連絡先と十分に協議の上、行うこと。 連絡先：株式会社○○○○　(06-0000-0000)
●	衛生器具及び手すり等の設置	衛生器具及び手すり等が取り付く箇所はメーカーの取付方法に準じて、必ず下地補強を行うこと。

代表者		担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事		令和 7 年 10 月	A-6
					図面名称　特記仕様書（その 5）	整理番号		

第６章　石綿含有建材の除去及び処理（建築物解体工事共通仕様書）　第９章　環境配慮改修工事　１節　石綿含有建材の除去工事（公共建築改修工事標準仕様書）

※	1 共通事項	一般事項 施工に際しては、設計図書、石綿処理に関する諸法令及び以下の基準等を適用する。 建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）（以下「解体共仕」という。） 建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和３年３月）（以下「マニュアル」という。） 用語の定義 飛散防止幕　大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則（以下この章において「府条例規則」という。）別表第９の２の第三の項下欄イ及び同表の第四の項下欄イの幕等をいう。 作業場　石綿含有建材の除去等作業を行う場所をいう。 工事施工区画境界線　処理作業中、石綿の濃度が最も高くなると予想される工事施工区画と当該工事施工区画に隣接する場所との境界線をいう。 工事施工区画　処理作業を行うために占有した区画をいう。 その他の石綿処理に関する諸法令、改修標仕及び解体共仕に記載のない用語については、マニュアルによる。
※	2 除去工事共通事項	専門工事業者(解体共仕 6.2.1　改修標仕 9.1.2(1)のほか次による） (ｱ)石綿含有吹付け材の除去を行う者は、以下の①又は②の工事実績を有する者とし、証明する資料をあらかじめ監督職員に提出すること。 ①一般財団法人日本建築センターが実施する建設技術審査証明事業に係る吹付け石綿粉じん飛散防止処理技術（除去工法）についての審査証明を入札参加資格確認申請書の提出の日までに受けている者であること。 ②大気汚染防止法（昭和 43 年法律第 97 号）第２条第 11 項に規定する特定粉じん排出等作業を伴う建設工事の元請負人又は下請負人として、除去工事（入札参加資格確認申請書の提出日から過去 15 年間に同法第 18 条の 17 第１項の規定に基づく「特定粉じん排出等作業実施届出書（特定建築材料の種類は吹付け石綿に限る。）」に係る作業（完了したものに限る。））を実施した者であること。 なお、元請負人とは、当該届出をした者（法改正後の平成 26 年６月１日以降の届出については、当該届出書の「特定工事を施工する者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名」に記載された者）をいい、下請負人とは、当該届出書の「下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所」に記載された者（法改正後の平成 26 年６月１日以降の届出も同じ）をいう。 (ｲ)石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する者は、(ｱ)②を準用し、証明する資料をあらかじめ監督職員に提出すること。この場合、「特定粉じん排出等作業実施届出書（特定建築材料の種類は吹付け石綿に限る。）」を「特定粉じん排出等作業実施届出書（大気汚染防止法施行規則別表第７の第一の項中欄に掲げる作業に限る。）」と読み替えるものとする。 (ｳ)石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等（下地調整材に限る。）を隔離養生（負圧不要）及び湿潤化と同等以上の措置による工法により除去作業を行う者は、当該作業に相応した技術を有することを証明する資料として、あらかじめ当該工法により除去作業を行った工事実績を監督職員に提出すること。 石綿作業主任者（解体共仕 6.2.2　改修標仕 9.1.2(2)による） 除去作業者（解体共仕 6.2.3　改修標仕 9.1.2(3)による） 特別管理産業廃棄物管理責任者（解体共仕 6.2.4　改修標仕 9.1.2(4)による） 施工区画（解体共仕 6.2.5　改修標仕 9.1.2(5)による）マニュアル 3.3 参照 表示及び掲示（解体共仕 6.2.6　改修標仕 9.1.2(6)及び府条例規則第 16 条の６による）マニュアル 4.6 参照 保護具等（解体共仕 6.2.8　改修標仕 9.1.2(8)による）マニュアル 6.1 参照 保護衣、作業衣（解体共仕 6.2.9　改修標仕 9.1.2(9)による）マニュアル 6.1 参照。 作業計画の作成（マニュアル 4.4 による）官公署への届出の対象外であっても、施工計画書として提出すること。
●	3 石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む。）	次と併せて、マニュアル 4.7 により石綿飛散防止対策を行うこと。 作業場の隔離等　（解体共仕 6.3.1　改修標仕 9.1.3(1)よる） 除去工法（解体共仕 6.3.2　改修標仕 9.1.3(2)のほか次による） (ｱ)除去の対象となる石綿含有吹付け材表面の一部に対して、粉じん飛散抑制剤等を試験吹きして、抑制剤の浸透状況、散布量等を確認すること。 (ｲ)(ｱ)の確認後、粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に、除去すること。 (ｳ)石綿の飛散を防止するために行う散水その他の措置により、石綿を含む水を作業場から排出する場合は、ろ過処理その他の適切な措置を講ずること。 除去した石綿含有吹付け材等の梱包　飛散防止措置（　※湿潤化　○固形化　） 除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等（解体共仕 6.3.3　改修標仕 9.1.3(3)による） 処分方法（　※埋立処分　○中間処理　） 確認及び後片付け（解体共仕 6.3.4　改修標仕 9.1.3(4)による） 石綿濃度測定（※行う　○行わない） ７．石綿粉じん濃度測定による
○	4 石綿含有保温材等の除去	次と併せて、マニュアル 4.8 により石綿飛散防止対策を行うこと。 石綿含有保温材等の除去方法（解体共仕 6.4.1(ｲ)　改修標仕 9.1.4(1)(ｲ)による。ただし、原形のまま除去が困難な場合は監督職員と協議のうえ、3.石綿含有吹付材の除去による） 作業場の隔離等（解体共仕 6.4.1(ｳ)　改修標仕 9.1.4(1)(ｳ)による） 除去工法（解体共仕 6.4.2　改修標仕 9.1.4(2)のほか次による） (ｱ)石綿の飛散を防止するために行う散水その他の措置により、石綿を含む水を作業場から排出する場合は、ろ過処理その他の適切な措置を講ずること。 除去した石綿含有保温材等の保管、運搬及び処分（解体共仕 6.4.3　改修標仕 9.1.4(3)による） 処分方法（　※埋立処分　○中間処理　） 確認及び後片付け（解体共仕 6.4.4　改修標仕 9.1.4(4)による） 石綿濃度測定（○行う　○行わない） ７．石綿粉じん濃度測定による
●	5 石綿含有成形板等（下地調整材を除く。）の除去	次と併せて、マニュアル 4.11 により石綿飛散防止対策を行うこと。 石綿含有成形板等の除去方法（解体共仕 6.5.1　改修標仕 9.1.5(1)による） 作業場の隔離等（解体共仕 6.5.1　改修標仕 9.1.5（1）のほか次による） (ｱ)石綿含有成形板等の除去に伴い、作業場から外部への石綿の飛散防止のため、建築物等の周囲に、プラスチックシート等を用いて当該建築物等の高さ以上の飛散防止幕を設置すること。なお、除去作業周辺の開口部になりうる箇所は目張りをすること。 (ｲ)石綿含有成形板等の除去に伴い、床面をプラスチックシート等で養生すること。 除去工法（解体共仕 6.5.2　改修標仕 9.1.5(2)のほか次による） (ｱ)石綿含有成形板等の除去は、散水により湿潤化した後、原形のまま、手ばらしで行うこと。ただし、アスファルト防水材等を部分的に撤去するため、切断する場合は、常時湿潤化した状態で作業を行うこと。 (ｲ)やむを得ず切断、破砕等をしなければならない場合は、監督職員と協議のうえ、常時湿潤化した状態で作業を行うこと。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、隔離養生（負圧不要）を行うこと。((ｱ)の場合を除く。) (ｳ)除去後の石綿含有成形板等を切断する場合は、集じん装置を備えた切断機を使用すること。 (ｴ)除去後の石綿含有成形板等を破砕しないこと。 (ｵ)石綿の飛散を防止するために行う散水その他の措置により、石綿を含む水を作業場から排出する場合は、ろ過処理その他の適切な措置を講ずること。 除去した石綿含有成形板等の保管、運搬及び処分（解体共仕 6.5.3　改修標仕 9.1.5(3)による） 石綿含有成形板等の処分（石綿含有せっこうボードを除く） 処分方法（　※埋立処分　○中間処理） 確認及び後片付け（解体共仕 6.5.4　改修標仕 9.1.5(4)による） 石綿濃度測定（○行う　※行わない） ７．石綿粉じん濃度測定による
●	6 石綿含有仕上塗材（下地調整材を含む。）の除去	次と併せて、マニュアル 4.12 により石綿飛散防止対策を行うこと。 石綿含有仕上塗材の除去工法の種類（解体共仕 6.6.1　改修標仕 9.1.6(1)　8.石綿含有建材一覧表による） 作業場の隔離等（解体共仕 6.6.2　改修標仕 9.1.6(2)　8.石綿含有建材一覧表のほか次による） (ｱ) 石綿含有仕上塗材の除去に伴い、作業場から外部への石綿の飛散防止のため、建築物等の周囲に、プラスチックシート等を用いて当該建築物等の高さ以上の飛散防止幕を設置すること。なお、除去作業周辺の開口部になりうる箇所は目張りをすること。 (ｲ)石綿含有仕上塗材の除去に伴い、床面をプラスチックシート等で養生すること。 (ｳ)集じん装置付き超高圧水洗工法等、水を使用して除去を行う場合は、床面を防水シートで養生し、シート端部を立ち上げる等、廃水の流出を防止し、全量を回収して適切（ろ過等）に処理すること。 除去工法（解体共仕 6.6.3　改修標仕 9.1.6(3)のほか次による） (ｱ)アンカーボルト等の孔あけは、集じん装置付きドリルその他の隔離養生（負圧不要）と同等以上の効果を有する方法で除去すること。この場合、飛散防止幕の設置は不要とする。 (ｲ)集じん装置付きディスクグラインダー（湿式）により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で行うこと。なお、集じん装置付きディスクグラインダー（湿式）により除去することが困難な部分については、集じん装置併用手工具ケレン工法により除去すること。 (ｳ)石綿の飛散を防止するために行う散水その他の措置により、石綿を含む水を作業場から排出する場合は、ろ過処理その他の適切な措置を講ずること。

		(ｴ)除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、粉じん飛散抑制剤等の散布による固形化又は安定化のうえ、耐水性のプラスチック袋等により、二重で密閉梱包し、飛散防止の措置を講ずること。 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分（解体共仕 6.6.4　改修標仕 9.1.6(4)による） 処分方法（　※埋立処分　○中間処理　） 汚泥として処理（○必要　※不要） 確認及び後片付け（解体共仕 6.6.5　改修標仕 9.1.6(5)による） 石綿濃度測定　（※行う　・行わない（50 ㎡未満の場合）） ７　石綿粉じん濃度測定による
※	7 石綿粉じん濃度測定	表 7.1　測定方法、測定時期、測定場所及び測定個所数

測定時期	観測名称	測定方法	測定場所	測定個所数 （測定 1、3、4、5、7 は作業場ごと）	測定回数	備考
処理作業前	測定１	測定 B	○処理作業場内	２点以上	１回	注１
	測定２	測定 C	※工事施工区画境界線上の場所	１点 (3.石綿含有吹付け材の除去の場合２点)	１回	注２
処理作業中	測定３	測定 A	○処理作業場内	２点以上	１回	注１
	測定４	測定 B	○セキュリティゾーン入り口	１点	１回	注３　空気の流れを確認
	測定５	測定 B	○集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	１点	１回	注３　集じん・排気装置の性能確認
	測定６	測定 C	※工事施工区画境界線上の場所	１点	１回以上	注2、4
			○上記場所から処理作業を行う場所の中心を経て引いた直線が工事施工区画境界線と交わる場所	１点		
			○上記直線と上記中心で直交する直線が工事施工区画境界線と交わる場所	２点		
処理作業後（隔離シート撤去前）	測定７	測定 B	○処理作業場内	２点以上	１回	注１、５
処理作業後（隔離シート撤去後）	測定８	測定 C	※測定６ により測定した場所	１点 (3.石綿含有吹付け材の除去の場合４点)	１回	注６

注１　測定箇所数は、作業場（作業場が複数ある場合は作業場ごと）の面積が 50 ㎡以下の場合は２点、300 ㎡までは３点とする。300 ㎡を超えるものは、100 ㎡ごとに１測定点を追加する。
注２ 最も高濃度が予想される場所を含む。
注３ セキュリティゾーン及び集じん・排気装置を設けない場合にあっては、測定不要とする。
注４ 作業日数（石綿を除去した実作業日数に限る）が６日までごとに１回とする。
注５ 処理作業後に石綿粉じんが飛散する恐れがないことの確認として、マニュアル 4.15.4 によりに実施する。
注６ 隔離シート撤去後、直ちに測定すること。

表 7.2　石綿粉じん濃度測定方法

項目／名称	測定Ａ	測定Ｂ	測定Ｃ
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	１ リットル/min	５ リットル/min	10 リットル/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		アセトンートリアセチン法
計数条件	総繊維数 200 本又は視野数 100 視野		
計数対象繊維	直径３μｍ未満、長さ５μｍ以上、長さと幅の比（アスペクト比）３：１以上		
定量限界	10 ｆ/リットル	0.089 ｆ/リットル	0.056 ｆ/リットル

測定方法は表 7.2 によるほか、次の規定を適用する。
測定Ａ：作業環境測定基準（昭和 51 年４月 22 日労働省告示第 46 号）
測定Ｂ：アスベストモニタリングマニュアル（第 4.２版）（令和４年３月環境省　水・大気環境局　大気環境課）
測定Ｃ：府条例規則第 16 条の 13 の規定による石綿の濃度測定法（平成 29 年３月 31 日大阪府公告第 19 号）
空気中の石綿濃度の管理
以下の測定毎に速報値により、以下の管理値が満足していることを確認すること。管理値を超える場合は、作業を中断し改善策等を講じること。
測定６、８：石綿繊維数濃度 0.056ｆ/リットル（ただし、測定２で 0.056ｆ/リットル以上となる場合はこの限りでない。）
測定４、５、７：石綿繊維数濃度１ｆ/リットル（アスベストモニタリングマニュアル（第 4.２版））
測定３：石綿繊維数濃度 150ｆ/リットル（作業環境基準（昭和 62 年９月１日労働省告示第 79 号））
測定記録
測定記録には、除去する石綿含有建材の種類、測定位置の図面、測定日時、天候、気流、試料採取条件、標本作成方法、使用顕微鏡の種類（開口数を含む）、
計数条件、(HSE テストスライドの読取グループ番号含む)、繊維総数、定量限界等を含んでいること。

※	8 石綿含有建材一覧表	石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）

採取場所	部位／除去範囲	建築材料の名称	除去工法	作業場の隔離等	調査状況
3F 議場屋根	折版屋根吹付	石綿吹付(トムレックス)	レベル１　切断等	隔離養生（負圧）	分析調査済
3F 議場屋根鉄骨	耐火被覆	石綿吹付(トムレックス)	レベル１　切断等	隔離養生（負圧）	みなし
階段１	階段１段裏	セラカット吹付	存置	飛散防止幕	分析調査済
1F 玄関ホール	壁	エポキャスト吹付	存置	飛散防止幕	分析調査済

石綿含有保温材等の除去

採取場所	部位／除去範囲	建築材料の名称	除去工法	作業場の隔離等	調査状況
	各種配管	石綿含有保温材	レベル２　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし

石綿含有成形板等（下地調整材を除く）の除去

採取場所	部位／除去範囲	建築材料の名称	除去工法	作業場の隔離等	調査状況
執務室・廊下	床	ビニルタイル	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	分析調査済
地階休憩室	図示による	ジュラク調クロス	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	分析調査済
2F 市長室・3F 応接室	天井	アスベストラックス	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	分析調査済
1F～3F 木造間仕切壁	木造間仕切壁下地	アスベストラックス	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	分析調査済
	壁、天井	軟質石綿板	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
	壁	有孔石綿板	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
	壁・天井	石綿板	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
		ネオプレーンガスケット	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
		シーリング	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
	屋上	アスファルト防水	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし
	屋上	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ(ﾊﾟｰﾗｲﾄｺﾝｸﾘｰﾄ)	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	みなし

石綿含有仕上塗材（下地調整材を含む）の除去

採取場所	部位／除去範囲	建築材料の名称	除去工法	作業場の隔離等	調査状況
階段 1,2、BF ﾛｯｶｰ室	ソフト巾木塗料	塗料	レベル３　原形のまま手ばらし	飛散防止幕	分析調査済

代表者		担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事		令和　7 年 10 月	A-7
					図面名称　アスベスト特記仕様書	整理番号		

N

凡例

：改修対象建築物

敷地境界線
水路に放流
別館庁舎
駐車場
第２別館
口座開設
正面玄関
歩道
道路境界線
宅内最終桝
既設
公共下水へ排水
道路中心線
車道（幅員＝5,160）
接道長 L=94,400
歩道（幅員＝2,160）
DN
UP
ATM
ゴミ庫
駐車場（１０台）
駐車場（７台）
駐輪場
車道
HP150
HP100
花壇（撤去）
旧消防庁舎
本館庁舎
HP125
スロープ（撤去）
駐車場（６台）
ヒューム管
屋根（撤去）
物置
駐車場
駐輪スペース
植栽
52,000
19,000
4,000
X1
X8

【現況】配置図

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-08
				図面名称 付近見取図・【現況】配置図 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

N

凡例

：改修対象建築物

駐車場

第２別館

別館庁舎

口庇

正面玄関

敷地境界線

水路に放流

歩道

道路境界線

宅内最終桝

既設

道路中心線

車道（幅員＝5,160）

接道長 L=94,400

歩道（幅員＝2,160）

ATM

ｺﾝﾋﾞﾆ庫

駐車場（１０台）

駐車場（７台）

駐輪場

車道

旧消防庁舎

本館庁舎

スロープ（新設）

階段（新設）

駐車場（６台）

駐輪スペース

植栽

ヒューム管

雨水桝

集水桝

公共下水へ排水

52,000

19,000

10,000

4,000

5,000

8,800

6,250

9,920

【改修後】配置図

代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年 **月
				図面名称	【改修後】配置図 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —	図面番号 A-09

■外部仕上表

部位	仕上 現況	仕上 改修後
屋根1	平　場：均しモルタルt20+アスファルト防水層+軽量コンクリートt80+防水モルタルこて押え	既存ｺﾞﾑｼｰﾄ防水 不具合部分（15%）補修+塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
	+ゴムシート防水【撤去】	
	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
	竪型ルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
	脱気筒：ステンレス製【撤去】	ステンレス製【新設】
	スチール手摺【撤去】、基礎ブロック【一部撤去】	既設基礎ブロックの上、樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
	目隠し壁：CBt150化粧積の上、モルタルこて押え【撤去】	
	各種設備基礎【既設のまま】	既設設備基礎の上、樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
		鉄骨架台：CON基礎+鉄骨架台（亜鉛メッキ品）+デッキプレート敷+鉄骨階段【新設】※一部、既設CON基礎使用
屋根2	平　場：均しモルタルt20+アスファルト防水層+軽量コンクリートt80+防水モルタルこて押え	既設防水モルタルの上、仮防水+ウレタン塗膜防水t2.0（絶縁工法）【新設】
	+ウレタン塗膜防水	
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	各種設備基礎【既設のまま】	既設設備基礎の上、目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去】	横引きルーフドレイン：塗膜防水用ストレーナーφ100用【新設】
屋根3	平　場：均しモルタルt20+アスファルト防水層+軽量コンクリートt80+防水モルタルこて押え	既設防水モルタルの上、仮防水+絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
	+ウレタン塗膜防水	
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
屋根4	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）裏打材のみ【撤去】レベル1	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
		既設折板裏打材　ロックウール吹付t10【新設】
	立上り・天端：ゴムシート防水　端部：塩ビ鋼板（水下側：鋼製笠木）	既設躯体の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
		塩ビ鋼板　70×45×10　裏打ちシーリング共（水下側：アルミ笠木W300）【新設】
	内樋：耐候製鋼板t0.4　W300×H300	内樋：既設耐候製鋼板の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4【新設】
外壁	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	化粧型枠コンクリート打放市の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	水切・笠木：防水モルタル【一部、浮き部分撤去】	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
		耐震補強壁、新設手摺壁：コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	サイン	既存のまま
バルコニー	平　場：防水モルタルこて押え(2階)、モルタルこて押え(3階)	目荒し、下地調整の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）ノンスリップ【新設】
	立上り：防水モルタルこて押え(2階)、モルタルこて押え(3階)	目荒し、下地調整の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	腰　壁：モルタルこて押えセラスキン吹付(2階)、モルタルコテ押えセラカット吹付(3階)	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	垂　壁：モルタルこて押えセラスキン吹付(2階)、モルタルコテ押えセラカット吹付(3階)	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え(2階)、モルタルコテ押えセラカット吹付(3階)	目荒し+樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	軒　天：ベニヤ型枠コンクリート打放しアルコン２回吹付(2階)	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
	ベニヤ型枠コンクリート打放しセラスキン吹付(3階)	
	飾り壁(3階バルコニー)：鋼製ＯＰ塗(下地金物等)【撤去】	既存のまま
	アルミ製目隠しパネル(3階バルコニー)	下地調整＋ＤＰ塗【一部、新設】
	手摺：手摺壁に取付　鋼製ＯＰ塗【一部、撤去】	
	2階　耐震補強取付部【撤去】	躯体は同形状に復旧【新設】
	3階　耐震補強取付部【撤去】	庇上場：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】ﾘｯﾌﾟ【新設】
		笠　木：モルタルこて押えの上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
		軒　天：コンクリート打放の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
	避難器具(3階)【仮撤去】	3階　避難器具【再取付】
竪樋（耐震補強部分）	竪樋カバー：ステンレス製t1.2　HL【撤去】	
	内部側：竪樋：塩ビ製φ100【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
竪樋（上記以外）	3階：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
	R階：塩ビ製φ100【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】　飾り桝：塩ビ製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】　飾り桝：新設【新設】
	竪樋カバー：ステンレス製t1.2　HL【仮撤去】	竪樋カバー：ステンレス製t1.2　HL【仮復旧】
玄関	ポーチ床：御影石	既存のまま
	くつ拭きマット：アルミ製　L3700×D900　四周枠：アルミ製	既存のまま
	ノンスリップ：役物タイル	既存のまま
	庇天端：キーストンプレートt1.0+シート防水	既存のまま
	庇鼻先：アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
	庇裏：アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
	庇竪樋：鋼管　□-65×65　OP塗	庇竪樋：下地調整の上、SOP塗【新設】

部位	仕上 現況	仕上 改修後
東側出入口	屋根：モルタル防水こて押え	下地調整＋ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
	鼻先：ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整+フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	軒裏：ベニヤ型枠コンクリート打放しの上、VP塗	下地調整＋可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
	ポーチ床：御影石【一部、撤去】	一部補修
	くつ拭きマット：ビニール製L1200×D700　枠：ステンレス製	既存のまま
	スロープ：鋼製 L1500×D1000×H200【撤去】	スロープ【新設】　床：磁器質タイル　立上り：CON打放しの上、撥水材塗　2段手摺：ステンレス製H800
西側出入口	ポーチ床：モルタルこて押え	既存のまま
	ポーチ鼻先：段鼻タイル	既存のまま
	ダストシュート側外壁：モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	ダストシュート側外壁：既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	天井：モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	天井：既設モルタル面補修の上、下地調整＋可とう形外装薄塗材E吹付【新設】
落下防止柵1・2	1：南側ドライエリア上部　スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	スチール製＋ＤＰ塗【新設】
	2：西側階段3上部　スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	スチール製＋ＤＰ塗【新設】
タラップ1・2・3	スチール製＋ＯＰ塗	スチール製＋ＤＰ塗
	1：L3630×D150×W430【撤去】	1：L3630×D150×W430【新設】
	2：L4900×D150×W450【既存のまま】	2：L4900×D150×W450【塗替】
	3：L5480×D350×W430【撤去】	3：L5480×D350×W430【新設】
建具	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
	東側・西側1階出入口：アルミ製自動ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング
	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)　既存のまま・新設・改修
	カーテンウォール：階段1：フロート発色ガラス、階段2：フロートワイヤーガラス	既存のまま、建具廻りシーリング
	機械搬入口：重量防火シャッター（手動）	既存のまま
		建具表参照
機械搬入口 ドライエリア	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、塗床（ノンスリップ）【新設】
	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、塗床【新設】
	壁：ベニヤ型枠コンクリート打放	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	擁壁：ベニヤ型枠コンクリート打放	既設コンクリート面補修の上、下地調整+フッ素樹脂塗料吹付【新設】
	柱：ベニヤ型枠コンクリート打放	既設柱型の上、コンクリート打放＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	耐震補強に伴い一部アルミサッシ【撤去】	耐震補強に伴い外壁の一部を開口閉塞【新設】
	フロアー用ルーフドレイン	
	タラップ：スチール製W400×H5150　@300	スチール製ＤＰ塗【塗替】
階段3	平場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、塗床（ノンスリップ）【新設】
	踏面・蹴上：防水モルタルこて押え、ノンスリップタイル付	下地調整の上、塗床（ノンスリップ）【新設】
	巾木：防水モルタルこて押え　H100	下地調整の上、塗床【新設】
	擁壁：モルタルコテ押えの上、セラカット吹付	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	壁：47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
	軒　天：モルタルコテ押え	下地調整の上、可とう形外装塗材Ｅ【新設】
	くつ拭きマット：ビニール製L1200×D700　枠：ステンレス製	
	手摺：SUS製パイプΦ50	既存のまま
外　構	階段3入口付近床：300角t50　擬石ブロック【仮撤去】	不陸調整の上、下地調整＋300角t50　擬石ブロック【復旧】
駐車場（鉄骨造・平屋建）	屋　根：折版屋根H　t0.8、フェルトン裏打ち、折版取付金物とも【撤去】	
	軒樋：カラー鉄板100×100　ＯＰ、受金物FB-6×32@500　ＯＰ【撤去】	
	竪樋：VPΦ100、掴み金物とも【撤去】	
	柱・梁：鉄骨の上、ＯＰ塗	既存鉄骨部：下地処理＋ＤＰ塗【塗替え】
駐輪場（鉄骨造・平屋建）	屋　根：波型スレート	既存のまま
	腰　壁：ビニール波板	既存のまま
	柱・梁：鉄骨ＯＰ塗	既存鉄骨部：下地処理＋ＤＰ塗【塗替え】
ゴミ庫（鉄骨造・平屋建）	屋　根：波型スレート	既存のまま
	壁：鉄骨下地、金属製サイディング	既存のまま
	柱・梁：鉄骨ＯＰ塗	既存鉄骨部：下地処理＋ＤＰ塗【塗替え】
	出入口：ネットフェンス扉	既存のまま
敷地境界	ネットフェンス	既存のまま
西側出入口（駐車場）	門柵：コンクリート打放の上　【撤去】	コンクリート打放の上、防水型複層塗材Ｅ吹付【新設】
	門扉：スチール製　【撤去】	スチール製　既製品
共通	※塗床は、エスケー化研・水性アーキフロア又は同等品	
	※フッ素樹脂塗料は、エスケー化研・水性セラタイト又は同等品	
	※可とう形外装薄塗材は、エスケー化研・ソフトリシン又は同等品	
	※カーペットは、東リ・グレース又は同等品	
	※特記なき限り、造作材の材種は米栂程度とする。	

代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和 7年 10月	A-10
図面名称 【現況】【改修後】外部仕上表　縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号 — —		
***			

■内部仕上表１

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
地階	警備員 詰所	現況	ビニール系タイル張【撤去】 カーペット敷	木製　框ｔ24　OP	60	CON	モルタルコテ押え　EP	木 【撤去】	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】	2080	【撤去】カウンター、室名札 【仮移設】ベッド
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整の上、EP塗【新設】 一部、石膏ボードt12.5+EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボード9.5【新設】	2080	【新設】カウンター 【復旧】ベッド
	宿直室	現況	木製床組　ころばし根太 タタミ数【撤去】	タタミ寄せ			ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え+難燃ｸﾛｽ張【撤去】 木造 石綿板ｔ6+プリント合板【撤去】	木 【撤去】	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】	2200	【撤去】室名札 押入れ(中段付・天袋付)
		改修後	既設木製床組 ころばし根太の上、 タタミ数【新設】	既設のまま			既設仕上下地調整の上、 ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボード9.5【新設】	2200 一部 1950	
	【現況】 用務員室 ↓ 【改修後】 倉庫　5	現況	ビニール系タイル張【撤去】 ビニール系タイル張りの上、木製床組 ころばし根太の上ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ【撤去】	木製 框t24　OP	60		モルタルコテ押え　EP	木 【撤去】	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】	2450 2350	【撤去】室名札、木上り框H100 【仮撤去】流し台、コンロ台
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450	【新設】配管ﾊﾞｯｸ 【復旧】流し台、コンロ台
	現像室	現況	ビニール床シート貼	木製 框t24　OP	60		有孔石綿板t6 底目地張 EP 裏ロックウール25	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張　石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9【撤去】	2450	【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450	
	文書室	現況	ビニール系タイル張【撤去】 ビニール系タイル張りの上、木製床組 ころばし根太の上カーペット【撤去】	木製 框t24　OP	60		モルタルコテ押え　EP	木 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 底目地張 EP【撤去】	2450	【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450 一部 2150	【新設】室名札、外部開口部閉塞
	電話交換室 前室	現況	框 縁甲板張t15 カーペット敷 一部ビニール系タイル張	木部:框t24 OP	60		有孔石綿板t6 底目地張 EP 裏 ロックウールt25	木 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 捨張 岩綿吸音板t12【撤去】	2450 2500	踏込 配線ダクト 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450 2500 2150	【再取付】パーティション
	組合事務所	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 框t24 OP	60		モルタルコテ押え　EP 石綿板　EP	LGS 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 底目地張 EP【撤去】	2500	【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2500 一部 2150	
	休憩室1	現況	木製床組　ころばし根太 タタミ数【撤去】	タタミ寄せ			RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え　ｼﾞｭﾗｸ調ｸﾛｽ 木部：石綿板ｔ6　ｼﾞｭﾗｸ調ｸﾛｽ	LGS 【撤去】	杉柾ベニヤ底目地張【撤去】	2250	【撤去】室名札
		改修後	既設木製床組 ころばし根太の上、 タタミ数【新設】	既設のまま			下地調整の上、ビニルクロス張【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2250 一部 2150	【新設】外部開口部閉塞
	休憩室2	現況	木製床組　ころばし根太 タタミ数【撤去】	タタミ寄せ			RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え　ｼﾞｭﾗｸ調ｸﾛｽ 木部：石綿板ｔ6　ｼﾞｭﾗｸ調ｸﾛｽ 一部:窯業小口タイル張の上　塗装	LGS 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 捨張 岩綿吸音板t12【撤去】	2400	押入
		改修後	既設木製床組 ころばし根太の上、 タタミ数【新設】	既設のまま			下地調整の上、ビニルクロス張【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2400	
	食堂	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木	60		モルタルコテ押え ﾗﾌﾄﾝ吹付	木 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 捨張 岩綿吸音板t12【撤去】	2450	【仮撤去】流し台W1200、コンロ台W600×2、手洗 鏡、うがい器 【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2450 一部 2150	【新設】配管バック、外部開口部閉塞+増打 【復旧】流し台W1200、コンロ台W600×2、手洗 鏡、うがい器
	男子ロッカー室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押 EP 石綿板　EP【撤去】	CON	木毛板(太毛)t20 打込 梁型:モルタルコテ押え EP【撤去】	3400	【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450	
	女子ロッカー室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押 EP 石綿板　EP【撤去】	CON	木毛板(太毛)t20 打込 梁型:モルタルコテ押え EP【撤去】	3400	【撤去】室名札
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2450	
	耐火書庫	現況	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え EP	60		モルタルコテ押え	CON	木毛板(太毛)t20 打込 梁型:モルタルコテ押え	3400	
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		
	書庫	現況	ビニール系タイル張	木部　OP			モルタルコテ押え	CON	木毛板(太毛)t20 打込 梁型:モルタルコテ押え	2400 2500	【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		
	倉庫　1	現況	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え EP	60 60		モルタルコテ押え	LGS 【撤去】	石膏ボード9 底目地張【撤去】	2400	【撤去】室名札
		改修後	防塵塗床【新設】	既設のまま	60		既設のまま	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
	倉庫　2	現況	防水モルタルコテ押え	防水モルタルコテ押え	60		モルタルコテ押さえ	CON	コンクリート打放しのまま	1400 3000	下部:汚水槽 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
地階	倉庫　3	現況	防水モルタルの上　タイル張り	防水モルタルコテ押え EP	60		防水モルタルコテ押え	木 【撤去】	化粧石膏ボードt9.0【撤去】	2400	
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
	倉庫　4	現況	防水モルタルコテ押え （軽量コンクリート下地）	防水モルタルコテ押え EP	60		防水モルタルコテ押え	CON	木毛板(太毛)t20打込	3700	下部:冷却水槽 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま	3700	
	文書置場	現況	ビニール系タイル張【撤去】 ビニール系タイル張りの上、木製床組 ころばし根太の上ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ【撤去】	防水モルタルコテ押え EP	60		防水モルタルコテ押え　EP【撤去】	木 【撤去】	化粧石膏ボードt9.0【撤去】	2400 2500	【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】 2000	2500	
	【現況】 男子便所 女子便所 ↓ 【改修後】 女子トイレ	現況	磁器質モザイクタイル張【撤去】	100角施釉タイル張 【タイルのみ撤去】			100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	木 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2380	【撤去】トイレブース、鏡、室名札、床点検口
		改修後	嵩上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5 (GL工法)+化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2300	【新設】トイレブース、洗面台、配管ﾊﾞｯｸ、大型鏡、 手摺、床点検口
	【現況】 化粧室 ↓ 【改修後】 女子トイレ	現況	磁器質モザイクタイル張【撤去】	100角施釉タイル張 【タイルのみ撤去】	60		100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	木 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2380	【撤去】トイレブース、スクリーン、鏡、室名札
		改修後	※仕上は、上記【改修後】女子トイレによる							2300	
	【現況】 浴室 ↓ 【改修後】 シャワー室	現況	磁器モザイクタイル張				100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	木 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2250	【撤去】浴槽
		改修後	嵩上げモルタルの上 ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		不陸調整の上、耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】、一部、LGS+耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2200 一部 1950	【新設】シャワーユニットO808
	脱衣室	現況	木造床組、框縁甲板張t15【撤去】	雑巾摺【撤去】			防水モルタルコテ押え VP	木 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2200 (2350)	【撤去】室名札、手洗、鏡
		改修後	既存木造床組、耐水合板t12【新設】 の上、ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2200 (2350)	【新設】配管ﾊﾞｯｸ、手洗い、鏡
	物置	現況	防水モルタルコテ押え	防水モルタルコテ押え	60		腰：モルタルコテ押え 壁：コンクリート打ち放しのまま	CON	コンクリート打ち放しのまま	1800 ～ 800	【撤去】室名札、防火戸
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		【新設】防火戸（枠共）
	【現況】 電気室 ↓ 【改修後】 倉庫B	現況	防水モルタルコテ押え （軽量コンクリート下地）	防水モルタルコテ押え EP	60		防水モルタルコテ押え	CON	木毛板(太毛)t20 打込 白セメント吹付	直天	ピット 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		
	【現況】 空調機械室 ↓ 【改修後】 倉庫A	現況	防水モルタルコテ押え （軽量コンクリート下地）	防水モルタルコテ押え			ベニヤ仮枠コンクリート打放し コンクリートブロック化粧積	CON	木毛板(太毛)t20 打込	直天	ピット、受水槽、煙突、排気口、新鮮空気取入口 【撤去】室名札、パーティション
		改修後	既設のまま	既設のまま 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5【新設】			既設のまま 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5【新設】	CON	既設のまま		
	【改修後】 消火ポンプ室	改修後	既設のまま	既設のまま 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5【新設】			既設のまま 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5【新設】	LGS 【新設】	既設のまま	直天	【新設】戸、外部開口部閉塞
	階段 1	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地ゾラコート吹付 一部窯業小口タイル張	CON	コンクリート打放し セラカット吹付	–	【撤去】階数表示板、防火戸(枠共)
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼 【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】 タイル面 既設のまま	CON	下地調整の上、吹付タイル【新設】	–	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	階段 2	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押えEP	CON	コンクリート打放し パールスキン吹付	–	手摺 【撤去】階数表示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	下地調整の上、吹付タイル【新設】	–	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	廊下 ・ 通路	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 框t24　OP	60		柱型のRC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え EP 木部:石綿板t6 底目地張 EP【撤去】	木 【撤去】	石膏ボードt9 底目地張 EP パールスキン吹付【撤去】	2300 2800	【撤去】防火戸(廊下中央部)
		改修後	ビニール床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2300 2800	

【凡例】
SOP（OP）：合成樹脂調合ペイント塗
EP　　：合成樹脂エマルションペイント塗
SCL　　：着色クリアラッカー塗
・木部は、特記なき限りSOP塗とする。

【アスベスト含有建材】
レベル１(分析調査済)：岩綿吹付(トムレックス)
レベル３(分析調査済)：ビニール系タイル（接着剤共）、アスベストラックス、ジュラク調クロス（パテ共）、ソフト巾木（接着剤共）
レベル３(みなし建材)：軟質石綿板、有孔石綿板、石綿板、アスファルト防水、シーリング、軽量コンクリート
レベル３(分析調査済)：セラカット吹付(下地調整材)、エポキャスト吹付(下地調整材)

代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計書号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和　7年　10月	A-11
図面名称 【現況】【改修後】内部仕上表１　縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号		
＊＊＊	―	―	

■内部仕上表２

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
1階	風除室	現況	御影石貼	ステンレスフレーム	100		ﾃﾝﾊﾟｰﾗｲﾄﾌﾚｰﾑﾚｽ	LGS	鋼製パネル	2450	テンパーライトドア ８枚 フレームレス工法
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま		既設のまま		
	玄関ホール	現況	ゴムタイル張 ビニール系タイル張【撤去】	木製 松t24 OP	60		エポキャスト吹付 柱型:タイルコート吹付【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t19張 梁型ゾラコート吹付【撤去】	3090	移動式受付台 壁固定案内パネル、ＡＥＤ
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】 （柱型共）	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3090	
	ホール	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 松t24 OP			ゾラコート吹付 一部窯業小口タイル張	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t19張 梁型ゾラコート吹付【撤去】	2700	【撤去】防火シャッター
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】 タイル面：既設のまま	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】耐震補強(ブレース)、防火シャッター
	応接室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 ラワンt24 SCL【一部撤去】	60		ｱｽﾍﾞｽﾄﾚｯｸｽt8下地【一部撤去】 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	3000	戸棚、天板(メラミン樹脂板)、カーテンBOX 東側壁【撤去】
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス張【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3000	
	金融機関	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP 柱型:タイルコート吹付	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	2400	ステンレス製スクリーン、カウンター 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2400	
	会計室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP 柱型:タイルコート吹付【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	3000	カーテンBOX、移動用カウンター 【仮撤去】パーティション 【撤去】戸棚(ベニヤフラッシュ)、室名札、西側壁の一部
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗 柱型：下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3000 一部 2700	【再取付】パーティション
	税務室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP 柱型:タイルコート吹付【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	3000	カーテンBOX、移動用カウンター 【仮撤去】パーティション 【撤去】戸棚(ベニヤフラッシュ)、室名札、防煙垂れ壁
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗 柱型：下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3000 一部 2700	【再取付】パーティション 【新設】防煙垂れ壁
	医療保険課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP 柱型:タイルコート吹付【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9	3000	カーテンBOX、移動用カウンター 【仮撤去】パーティション 【撤去】戸棚(ベニヤフラッシュ)、室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗 柱型：下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0	3000 一部 2700	【再取付】パーティション
	市民課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP 柱型:タイルコート吹付【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	3000	カーテンBOX、移動用カウンター 【撤去】戸棚(ベニヤフラッシュ)、室名札、防煙垂れ壁
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗 柱型：下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3000 一部 2700	【新設】防煙垂れ壁
	待合	現況	ビニール系タイル貼【撤去】	木部 OP			ゾラコート吹付 トラバーチン張り	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t19張 梁型:ゾラコート吹付【撤去】	3140	移動式カウンター
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】			既設クリーニング	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	3140	
	【現況】 自動販売機コーナー ↓ 【改修後】 多目的トイレ	現況	ゴムタイル張【撤去】	木製 檜t24 OP【撤去】			タイルコート吹付【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	2700	
		改修後	抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		耐水石膏ボードt12.5（GL工法） +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、各種手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ、ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾍﾞｯﾄﾞ 衣服掛用ﾌｯｸ
	【現況】 男子便所 【改修後】 男子トイレ	現況	モザイクタイル張 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ、防水層【撤去】	100角施釉タイル張【撤去】			100角施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板ｔ6 底目地張 VP【撤去】	2425	【撤去】ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ｽｸﾘｰﾝ、鏡、手摺、室名札
		改修後	嵩上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5 （GL工法）+化粧ｹｲｶﾙ板t6.0【新設】 一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、鏡、手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ
	【現況】 女子便所 ↓ 【改修後】 女子トイレ	現況	モザイクタイル張 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ、防水層【撤去】	100角施釉タイル張【撤去】			100角施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板ｔ6 底目地張 VP【撤去】	2425	【撤去】ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ｽｸﾘｰﾝ、鏡、手摺、室名札
		改修後	※仕上は【改修後】男子トイレによる							2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、大型鏡、手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ
	湯沸室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え VP	木 【撤去】	軟質石綿板ｔ6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】室名札 【仮撤去】流し台、コンロ台
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ 【復旧】流し台、コンロ台

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	天井	CH	備考
1階	書庫	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	石膏ボードt9 底目地張 EP【撤去】	2400	【撤去】手洗器、鏡、室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
	廊下	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		柱型モルタルコテ押え タイルコート吹付	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	2700	移動用カウンター 【撤去】防煙垂れ壁
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		柱型：下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】防煙垂れ壁
	授乳室	現況	ゴムタイル張【撤去】	ステンレスフレーム 木製 松t24 OP	100 60		ﾃﾝﾊﾟｰﾗｲﾄﾌﾚｰﾑﾚｽ エポキャスト吹付	LGS	鋼製パネル	2450	【撤去】案内板
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	既設のまま 下地調整の上、SOP塗【新設】			既設のまま		既設のまま		
	階段1	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】 側板:ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ加工 2mm	60		腰：モルタル刷毛引き、 タイルコート吹付【撤去】 壁：フロート発色ガラス、タイル張 ネオプレーンガスケット止め		段裏:モルタル刷毛引き セラカット吹付【撤去】	－	パイプ手摺 一部吹付 階数表示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】 側板:既設のまま	60		腰：下地調整の上、吹付タイル【新設】 壁：既設ガラス・タイル面 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	階段2	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル押え EP【撤去】		段裏:モルタル刷毛引き パールスキン吹付【撤去】	－	パイプ手摺 階数表示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
2階	情報サーバー室 相談室１、２、３	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【再取付】パーティション
	総務課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	
	人事課	現況	ビニール系タイル張 カーペット敷【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	【再取付】パーティション
	財産管理課	現況	ビニル床シート貼	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札 カーテンBOX
		改修後	既設のまま	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	
	第1会議室	現況	ビニール系タイル張 カーペット敷【撤去】	木製 塩地t24 SCL	60		モルタル押え 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃） 【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0	2700 一部 2400	
	第2会議室	現況	ビニール系タイル張	木製 塩地t24 SCL	60		モルタル押え 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札 カーテンBOX
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃） 【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	
	放送室	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	木製 檜t24 OP	60		有孔ｱﾙﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 EP ロックウール25【撤去】	LGS 【撤去】	ケイカル板 底目地張 EP【撤去】	2400	【撤去】室名札
		改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
	男・女更衣室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9	2700	カーテンBOX、戸棚(ベニヤフラッシュ) 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0	2700 一部 2400	【再取付】パーティション
	行政委員会	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX、戸棚(ベニヤフラッシュ) 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	【再取付】パーティション
	情報マーケティング課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX、戸棚(ベニヤフラッシュ) 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	【再取付】パーティション
	財務課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 檜t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX、戸棚(ベニヤフラッシュ) 【仮撤去】パーティション 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	【再取付】パーティション

【凡例】
SOP（OP） ：合成樹脂調合ペイント塗
EP ：合成樹脂エマルションペイント塗
SCL ：着色クリアラッカー塗
・木部は、特記なき限りSOP塗とする。

【アスベスト含有建材】
レベル１(分析調査済)：岩綿吹付(トムレックス)
レベル３(分析調査済)：ビニール系タイル（接着剤共）、アスベストラックス、ジュラク調クロス（パテ共）、ソフト巾木（接着剤共）
レベル３(みなし建材)：軟質石綿板、有孔石綿板、石綿板、アスフォルト防水、シーリング、軽量コンクリート
レベル３(分析調査済)：セラカット吹付(下地調整材)、エポキャスト吹付(下地調整材)

代表者	照査	担当		

工事名称	設計書号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和 7年 10月	A-12
図面名称 【現況】【改修後】内部仕上表２ 縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号 ― ―		
* * *			

■内部仕上表３

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
2階	【現況】 情報ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ課倉庫	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　框ｔ24　OP	60		難燃石綿板t6下地 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】パーティション
	↓ 【改修後】 副市長室	改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼（不燃）【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）遮音(GW充填)【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	
	【現況】 副市長室	現況	カーペット敷【撤去】	木製　框ｔ24　OP	60		棟付ベニヤ張 木目シート張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
	↓ 【改修後】 秘書政策課	改修後	※仕上は、下記【改修後】秘書政策課による。								
	秘書政策課	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　框ｔ24　OP	60		難燃石綿板t6下地 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】 石膏ボードt12.5の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 一部 2400	
	市長室	現況	モルタル下地 カーペット敷	木製　框ｔ24　OP	60		棟付ベニヤ張 一部木目シート張	LGS 【撤去】	ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃ﾊﾞﾘｱ張【撤去】	2700	カーテンBOX、手洗器、ロッカー 【撤去】室名札
		改修後	既設のまま	既設のまま			既設のまま	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	会議室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　框ｔ24　OP	60		難燃石綿板t6下地 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	【現況】 洗浄室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　框ｔ24　OP【撤去】			モルタルコテ押え　EP【撤去】	LGS 【撤去】	軟式石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】流し2台､コンロ台
	↓ 【改修後】 男子トイレ	改修後	※仕上は下記【改修後】男子トイレによる								
	【現況】 男子便所	現況	モザイクタイル張	100施釉タイル張【撤去】			100施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟式石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2470	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
	↓ 【改修後】 男子トイレ	改修後	軽量コンクリート 防水層【撤去】 嵩上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100	LGS 【新設】 LGS	不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5 （GL工法）+化粧ｹｲｶﾙ板t6.0【新設】 一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面台、鏡、手摺 ﾍﾟﾋﾞｰﾁｪ
	【現況】 女子便所	現況	モザイクタイル張	100施釉タイル張【撤去】			100施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟式石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
	↓ 【改修後】 男子トイレ	改修後	※仕上は【改修後】男子トイレによる								
	廊下	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　框ｔ24　OP	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 難燃ｸﾛｽ張 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃ｸﾛｽ張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2400	【撤去】防火戸(廊下中央部)
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2400	
	階段1	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地タイルコート吹付 一部ｱﾙﾐｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ 70ｰ1発色ｶﾞﾗｽ	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	－	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		腰：下地調整の上、吹付タイル 壁：既設ガラス面 クリーニング	CON	段裏:下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	階段2	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP【撤去】	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	－	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	階段4	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP【撤去】	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	－	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
1階 2階	【現況】 DS（廊下東側）	現況	なし	なし			コンクリート打放 一部　廊下側壁【撤去】	CON	なし　(2階) コンクリート打放　(3階)		【撤去】ガラリ、屋内消火栓
	↓ 【改修後】 換気機械室	改修後	【新設】鉄骨下地　デッキ床の上 コンクリートこて押え	なし			既設のまま	CON	【新設】鉄骨、デッキ床現し　(2階) 既設のまま　(3階)		【新設】鋼製建具

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
3階	【現況】 チームみんなの交野	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
	↓ 【改修後】 議員控室１	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	文書室	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2400	【撤去】室名札
		改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2400	
	【現況】 にじいろ対話の会	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札
	↓ 【改修後】 議員控室２	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	前室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製框t24　OP	60		化粧合板 底目地張【撤去】	木 【撤去】	クロス張 下地ベニヤ6【撤去】	2400	
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
	【現況】 公明党	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700 2400	カーテンBOX 【撤去】室名札
	↓ 【改修後】 議員控室３	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	【現況】 日本共産党	現況	ビニール系タイル張 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700 2400	【撤去】室名札、カーテンBOX
	↓ 【改修後】 第1委員会室	改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX
	【現況】 未来創生会	現況	ビニール系タイル張 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札、カーテンBOX
	↓ 【改修後】 第1委員会室	改修後	※仕上は、上記【改修後】第1委員会室による。							2700	【新設】カーテンBOX
	【現況】 大阪維新の会	現況	ビニール系タイル張 カーペット敷【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札、カーテンBOX
	↓ 【改修後】 第1委員会室	改修後	※仕上は、上記【改修後】第1委員会室による。							2700	【新設】カーテンBOX
	【現況】 第二委員会室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	塩地練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札、カーテンBOX
	↓ 【改修後】 第二委員会室	改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX
	【改修後】 廊下2	改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX、アルミサッシ
	【現況】 第一委員会室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	チーク練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	【撤去】室名札、カーテンBOX、西面壁 壁付黒板
	↓ 【改修後】 議員控室４	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX
	【改修後】 議員控室５	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX
	【改修後】 議員控室６	改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】カーテンBOX
	議長室	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	チーク練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	軟質石綿板t6 難燃クロス張【撤去】	2700	カーテンBOX、手洗器、ロッカー 【撤去】室名札、東面壁
		改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】東面壁
	応接室	現況	モルタル下地 カーペット敷【撤去】	チーク練付 SCL	60		RC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	難燃クロス張 アスベストラックt8 下地【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	
	議会事務局	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製框t24　OP	60		RC部:モルタルコテ押え EP【撤去】 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 底目地張 EP【撤去】	LGS 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700 2400	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼(不燃)【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700 2400	
	議会図書室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	塩地練付 SCL 難燃クロス張【撤去】	60		RC部:モルタルコテ押え 木部:ﾌｧｲﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	カーペット敷【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2700	【新設】配管ﾊﾟｯｸ

【凡例】
SOP（OP）：合成樹脂調合ペイント塗
EP　　：合成樹脂エマルションペイント塗
SCL　　：着色クリアラッカー塗
・木部は、特記なき限りSOP塗とする。

【アスベスト含有建材】
レベル１(分析調査済)：岩綿吹付(トムレックス)
レベル３(分析調査済)：ビニール系タイル（接着剤共）、アスベストラックス、ジュラク調クロス（パテ共）、ソフト巾木（接着剤共）
レベル３(みなし建材)：軟質石綿板、有孔石綿板、石綿板、アスファルト防水、シーリング、軽量コンクリート
レベル３(分析調査済)：セラカット吹付(下地調整材)、エポキャスト吹付(下地調整材)

代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計書号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和 7年 10月	A-13
図面名称 【現況】【改修後】内部仕上表３　縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号		
＊＊＊	―	―	

■内部仕上表４

階	室名		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
3階	理事者控室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		ﾓﾙﾀﾙ下地､木部:ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9【撤去】	2700	カーテンBOX 【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃） 【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2500 2700	
	空調機械室	現況	モルタルコテ押え 軽量コンクリート下地【撤去】	モルタルコテ押え	60		木毛板(太毛)t30 白セメント吹付	CON	木毛板(太毛)t30 白セメント吹付	直天	【撤去】室名札
		改修後	下地調整の上、塗床【新設】	下地調整の上、床材立上げ【新設】	60		現況のまま	CON	現況のまま		
	議場	現況	モルタル下地 カーペット敷	－			ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 Hﾊﾞｰ工法 ハマウッドチーク柾張	LGS 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9+岩綿吸音板t19【撤去】 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 VP【撤去】	4700 5000	【撤去】室名札、天井見切 木製OSCL
		改修後	既存のまま	－			既存のまま	LGS 【新設】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5+岩綿吸音板t15【新設】 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】	4700 5000	【新設】天井見切 木製OSCL
	傍聴席	現況	ビニール系タイル張【撤去】	塩地t24 SCL	60		ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 Hﾊﾞｰ工法 ハマウッドチーク柾張	LGS 【撤去】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9+岩綿吸音板t19【撤去】 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 VP【撤去】	3300 3600	【撤去】室名札、天井見切 木製OSCL
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	既設のまま	60		既設のまま	LGS 【新設】	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5+岩綿吸音板t15【新設】 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】	3300 3600	【新設】天井見切 木製OSCL
	階段5上	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 捨t24 OP	60		モルタルコテ押え EP	CON	ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ネオパールスキン吹付	2400	【撤去】室名札
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	既設のまま	2400	
	通路1 通路2	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 捨t24 OP	60		RC部モルタルコテ押え 木部:ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 下地 難燃クロス張	木 【撤去】	ベニヤ仮枠コンクリート打放し 一部軟質石綿板t6 溶剤性合成樹脂吹仕	2400	
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗	60		下地調整の上、ビニルクロス貼（不燃）	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5	2400 通路2 2250	
	ロビー	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押えEP	LGS 【撤去】	石膏ボードt9 ネオパールスキン吹付【撤去】	2700	
		改修後	ビニル床シート【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2700	
	廊下1	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 捨t24 OP	60		RC部モルタルコテ押え 木部:ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽt8 下地 難燃クロス張【撤去】	木 【撤去】	岩綿吸音板t12 捨張石膏ボードt9【撤去】	2400	
		改修後	ビニル床シート貼【新設】	下地調整の上、SOP塗【新設】	60	LGS 【新設】	下地調整、ビニルクロス貼（不燃）【新設】 一部、石膏ボードt12.5+ビニルクロス貼（不燃）【新設】	LGS 【新設】	石膏ボードt9.5（捨張） +岩綿吸音板t9.0【新設】	2400	
	【現況】洗浄室 ↓ 【改修後】女子トイレ	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 捨t24 OP	60		モルタルコテ押え VP【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】室名札、流し、コンロ台
		改修後	※仕上は、下記【改修後】女子トイレにならう。								
	【現況】男子便所 ↓ 【改修後】女子トイレ	現況	モザイクタイル張 軽量コンクリート 防水層【撤去】	－			100角施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
		改修後	嵩上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100	LGS 【新設】	不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5（GL工法）+化粧ｹｲｶﾙ板t6.0【新設】 一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、強化石膏ボードt12.5+12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面台、大型鏡、ﾍﾟﾋﾟｰﾎｭﾙﾀﾞｰ
	【現況】女子便所 ↓ 【改修後】女子トイレ	現況	モザイクタイル張 軽量コンクリート 防水層【撤去】	－			100角施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
		改修後	※仕上は、上記【改修後】女子トイレにならう。								
	【現況】便所 ↓ 【改修後】男子トイレ	現況	モザイクタイル張 軽量コンクリート 防水層【撤去】	－			100角施釉タイル張【撤去】	LGS 【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2360	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
		改修後	嵩上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		耐水石膏ボードt12.5（捨張） +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS 【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2300	【新設】配管ﾊﾟｯｸ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、手摺、鏡
	階段1	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地 タイルコート吹付【撤去】	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	2400	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	2400	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
	階段2	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP		石膏ボードt9 ネオパールスキン吹付【撤去】	2700	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)、防煙垂れ壁
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		化粧石膏ボードt9.5【新設】 下地調整の上、吹付タイル	2700	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)、防煙垂れ壁
	階段4	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP		軟質石綿板t6 底目地張 ネオパールスキン吹付【撤去】	2700	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		化粧石膏ボード【新設】	2700	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)

階	室名		床	巾木	壁	天井	備考
3階	階段5	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	モルタルコテ押え EP	CON コンクリート打放し ネオパールスキン吹付【撤去】 2400	【撤去】防火戸(枠共)
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	下地調整の上、吹付タイル【新設】	CON 段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】 2400	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
R階	空調機械室	現況	モルタルコテ押え 軽量コンクリート打下地	モルタルコテ押え	ベニヤ仮枠 コンクリート打放し DS、PS 壁(RC、CB)【撤去】	CON 木毛板(太毛)20 白セメント吹付 直天	【撤去】DS、PS壁
		改修後	既設のまま	既設のまま	既設のまま 一部【新設】DS壁(1時間耐火) LGS+強化石膏ボードt21+21	CON 既設のまま	【新設】PS壁
	防災無線室	現況	モルタルコテ押え 軽量コンクリート打下地	モルタルコテ押え	ベニヤ仮枠 コンクリート打放し	CON 木毛板(太毛)20 直天	
		改修後	既設のまま	既設のまま	既設のまま	CON 既設のまま	
	EV機械室	現況	モルタルコテ押え 軽量コンクリート打下地	モルタルコテ押え	ベニヤ仮枠 コンクリート打放し	CON 木毛板(太毛)20 直天	
		改修後	既設のまま	既設のまま	既設のまま	CON 既設のまま	
	階段1	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	モルタル下地 タイルコート吹付	LGS 軽量鉄骨天井下地 【撤去】 軟度石綿板6底目地張 溶剤性合成樹脂吹仕【撤去】 2400	室名札
		改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	下地調整の上、吹付タイル【新設】	LGS 化粧石膏ボードt9.5【新設】 【新設】 2400	
	倉 庫 (議場天井裏と一体)	現況	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	ベニヤ仮枠 コンクリート打放し	CON 折版屋根 岩綿吹付(トムレックス)t20【撤去】	議場屋根鉄骨：耐火被覆(トムレックス)t20【撤去】 トムレックス(アスベスト含有建材)レベル1
		改修後	既設のまま	既設のまま	ウレタンt30吹付【新設】	CON 折版屋根 既設のまま ロックウール吹付t10【新設】(30分耐火) (FP030RF-9324)	議場屋根鉄骨：ロックウールt25【新設】(1時間耐火) (FP060RF-9408)

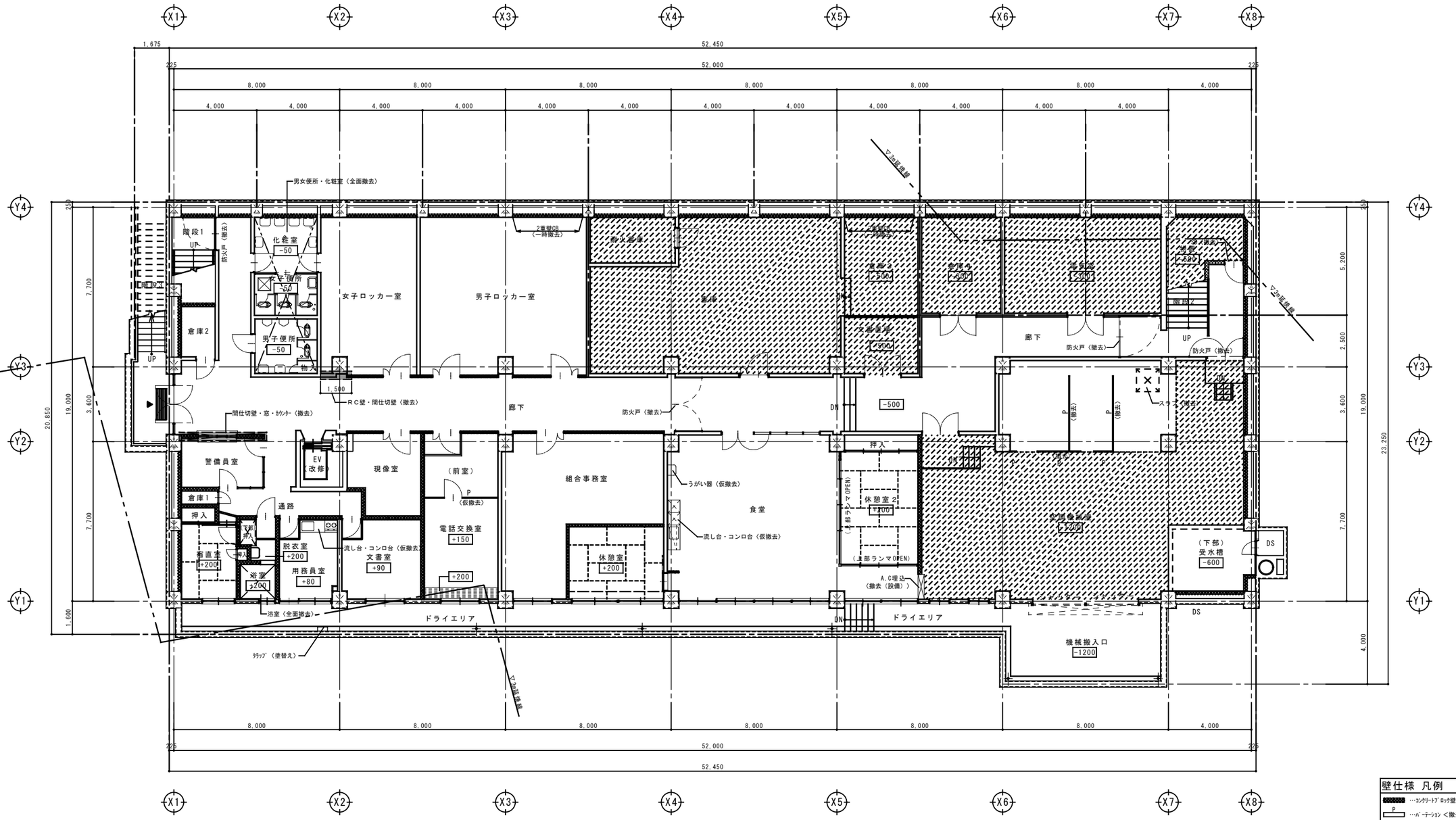
【凡例】
SOP（OP）：合成樹脂調合ペイント塗
EP　　：合成樹脂エマルションペイント塗
SCL　　：着色クリアラッカー塗
・木部は、特記なき限りSOP塗とする。

【アスベスト含有建材】
レベル１(分析調査済)：岩綿吹付(トムレックス)
レベル３(分析調査済)：ビニール系タイル（接着剤共）、アスベストラックス、ジュラク調クロス（パテ共）、ソフト巾木（接着剤共）
レベル３(みなし建材)：軟質石綿板、有孔石綿板、石綿板、アスファルト防水、シーリング、軽量コンクリート
レベル３(分析調査済)：セラカット吹付(下地調整材)、エポキャスト吹付(下地調整材)

代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和 7年 10月
図面名称	【現況】【改修後】内部仕上表４ 縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-14

N



【現況】地階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ ＜撤去＞
- …木製間仕切壁

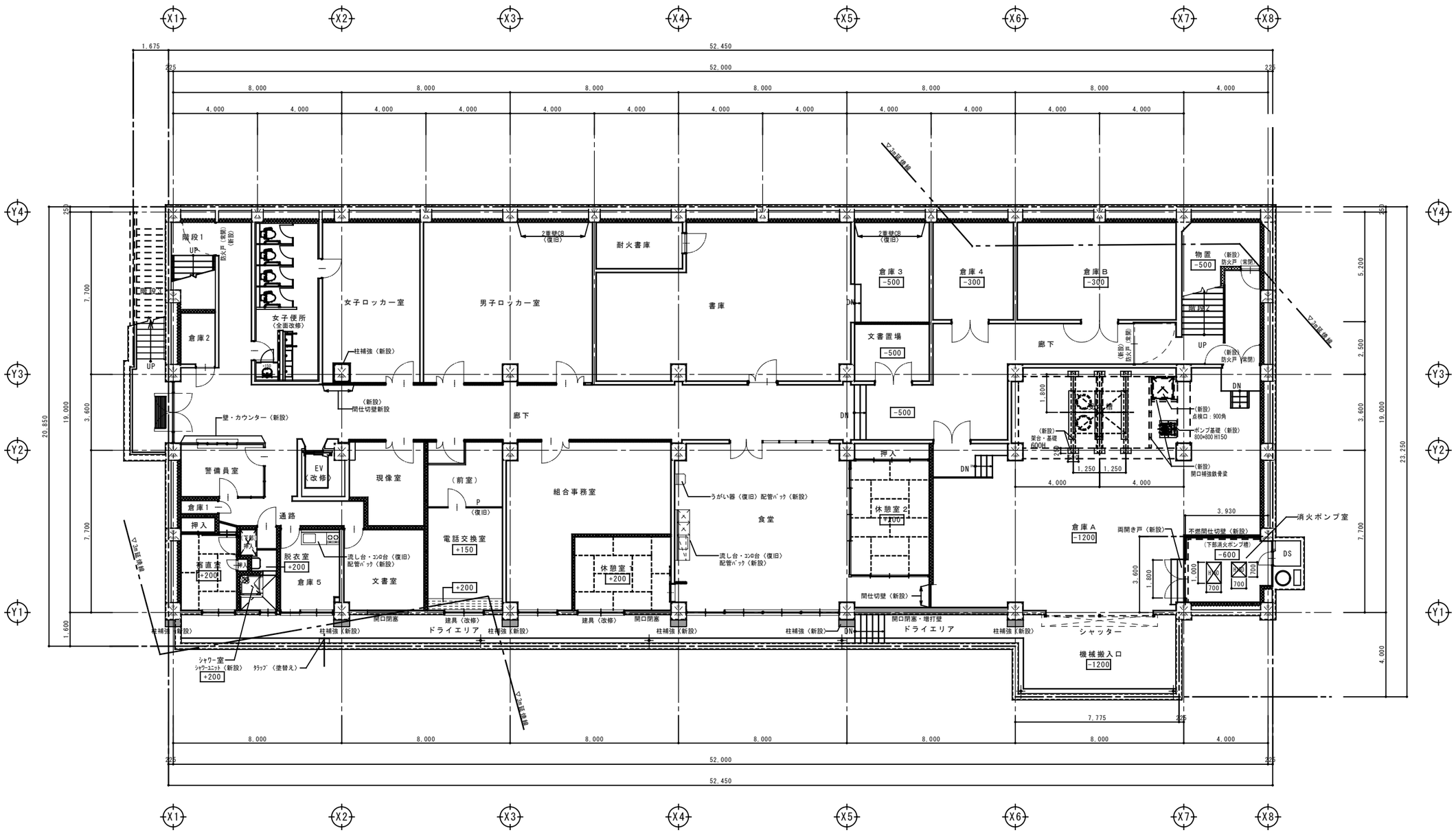
※上記以外はRC壁とする。

撤去範囲　凡例

- …既存まま存置の範囲
- …範囲内全撤去の上、全面改修の範囲
- …部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）
※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-15
				図面名称 【現況】地階平面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【改修後】地階平面図

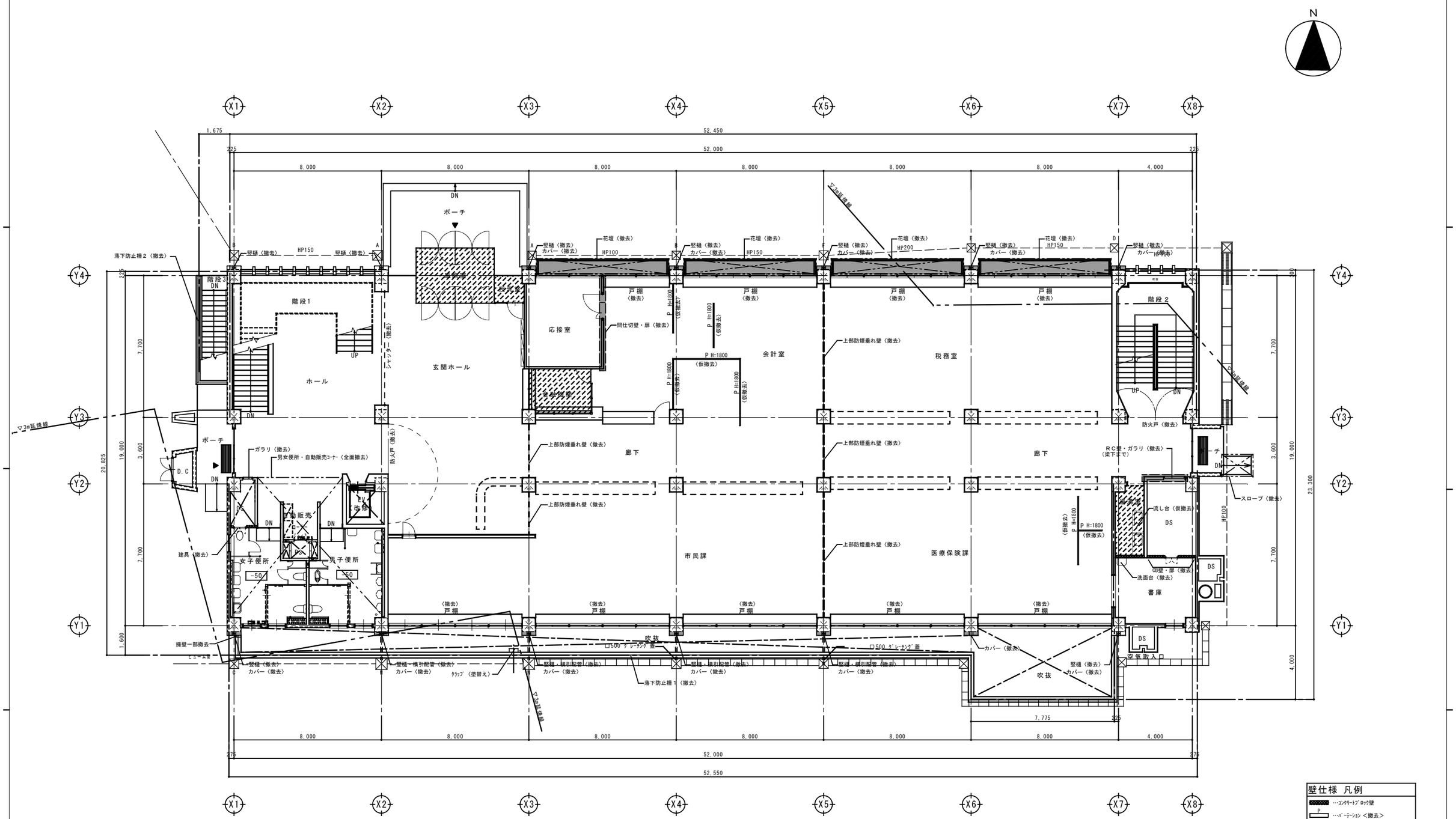
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ　＜復旧＞
- …木製間仕切壁
- 間仕切壁新設 …新設間仕切壁（LGS下地）

※上記以外はRC壁とする。

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-16
					図面名称 【改修後】地階平面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【現況】１階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ ＜撤去＞
- …木製間仕切壁

※上記以外はRC壁とする。

撤去範囲　凡例

- …既存まま存置の範囲
- …範囲内全撤去の上、全面改修の範囲
- …部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）
※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-17
			図面名称 【現況】１階平面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)		整理番号 — —	

N

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

1,675 52,450

225 52,000 225

8,000 8,000 8,000 8,000 8,000 8,000 4,000

20,850 19,000 3,600 7,700 7,700 1,600

19,000 7,700 7,700 4,000

23,300

DN

ポーチ

風除室

授乳室

階段3

階段1

ホール

UP

落下防止柵2（新設）

シャッター（常閉）（新設）

玄関ホール

応接室

金融機関

P H=1800（復旧）

会計室

税務室

上部防煙垂れ壁（新設）

階段2

防火戸（常閉）（新設）

階段（新設）

スロープ（新設）

ポーチ

D.C

ガラリ開口閉鎖

防火戸（常閉）（新設）

EV（改修）

待合

廊下

廊下

湯沸室

換気機械室

設備基礎 1800×2055 H250（新設）

デッキ床（新設）

RC壁増打ち（新設）

SD新設

PS

男子便所（全面改修）

女子便所（全面改修）

多目的トイレ（全面改修）

RC壁増打ち（新設）

市民課

医療保険課

流し台・コンロ台（復旧）配管パック（新設）

書庫

DS

ピタコラムブレース

□500 グレーチング蓋

竪樋（新設）

縦樋（一部補修）

ヒューム管

竪樋・横引配管（新設）

ﾀﾗｯﾌﾟ（塗替え）

落下防止柵1（新設）

吹抜

空気取入口

マス内配線

【改修後】１階平面図

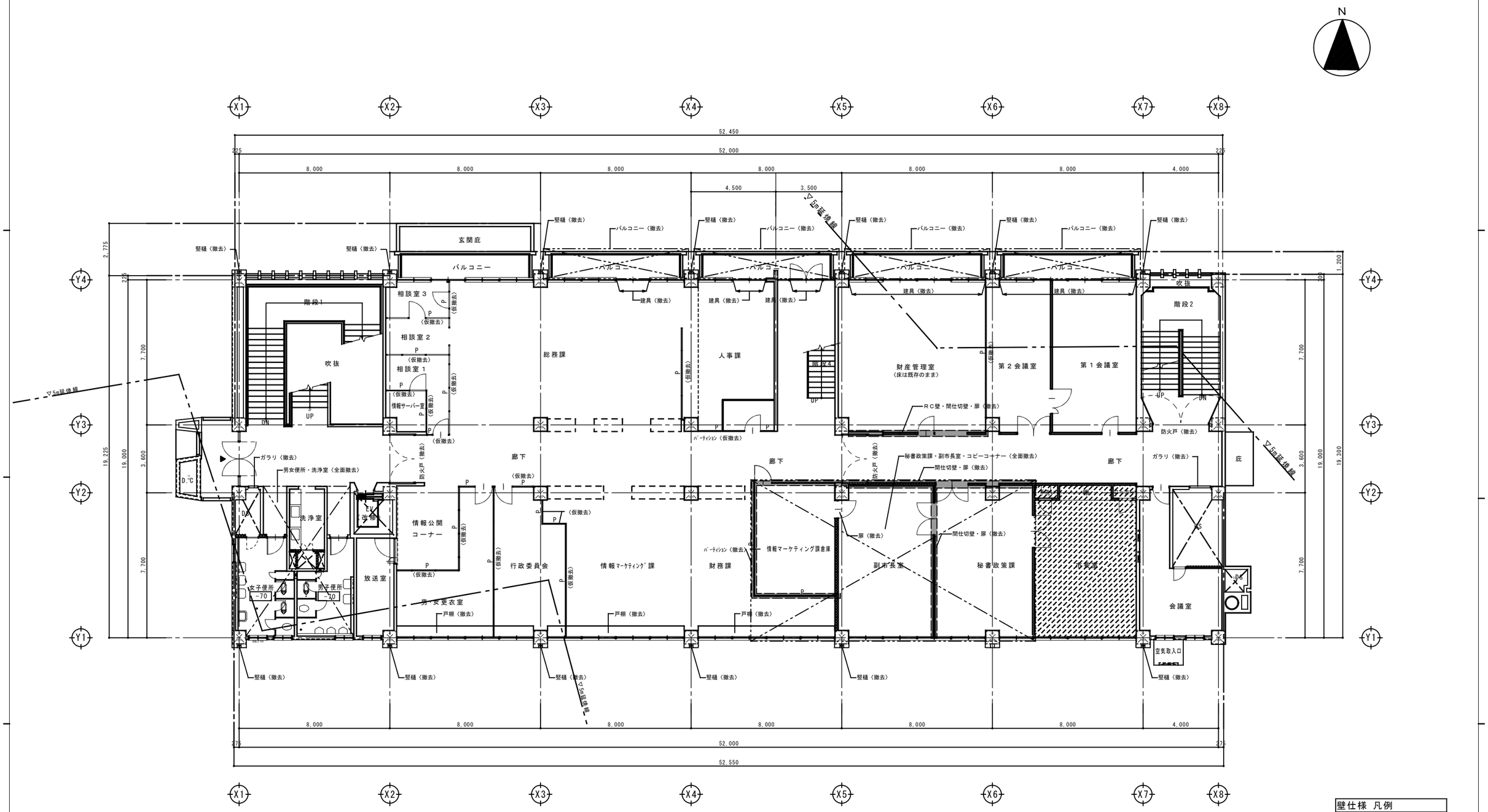
注） ＊ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様 凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟﾃｰｼｮﾝ ＜復旧＞
- …木製間仕切壁
- …新設間仕切壁（LGS下地）

※上記以外はRC壁とする。

代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-18
			図面名称 【改修後】１階平面図 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【現況】２階平面図

注）★ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様 凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ〈撤去〉
- …木製間仕切壁

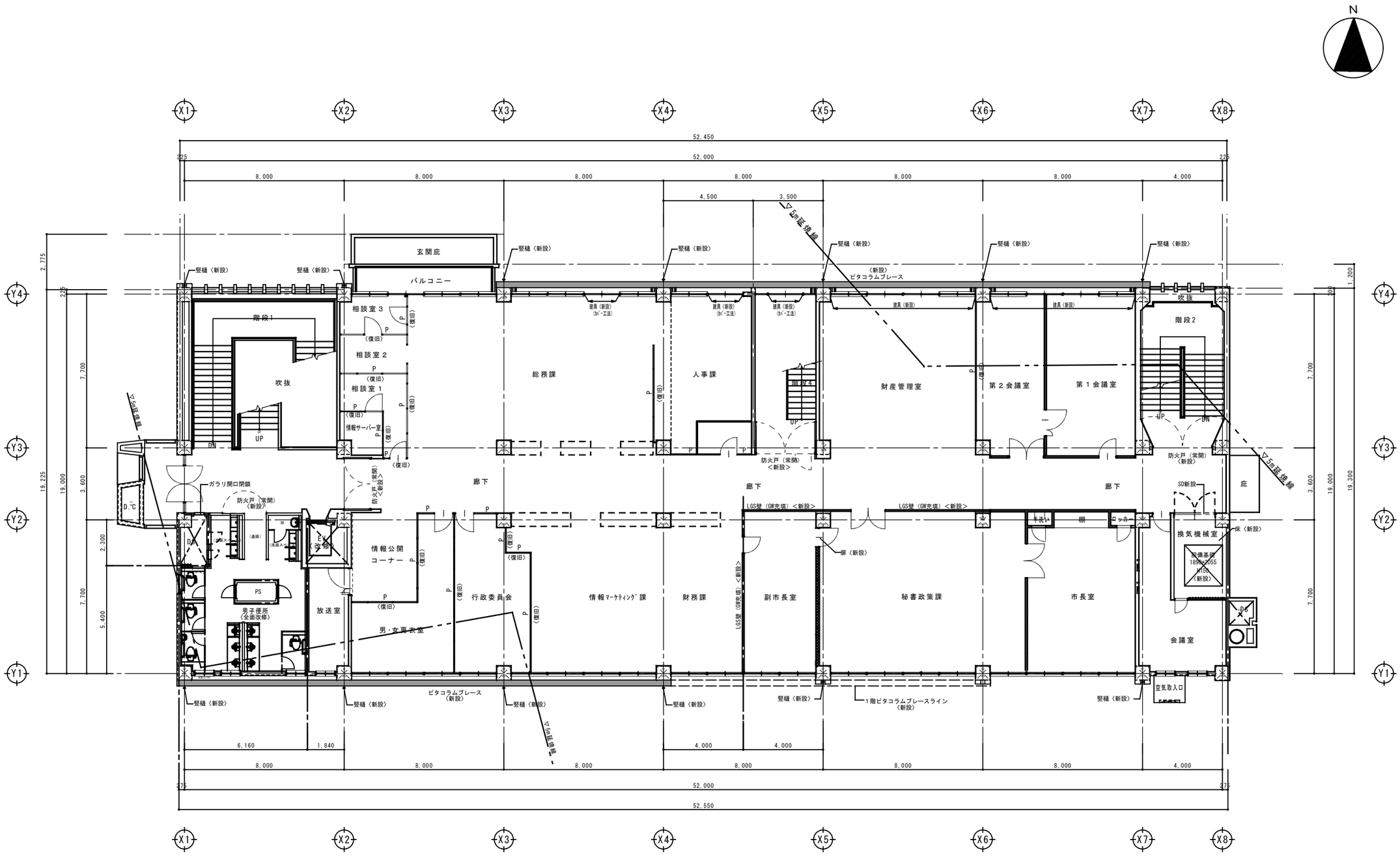
※上記以外はRC壁とする。

撤去範囲 凡例

- …既存まま存置の範囲
- …範囲内全撤去の上、全面改修の範囲
- …部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）
※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-19
				図面名称 【現況】２階平面図 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【改修後】２階平面図

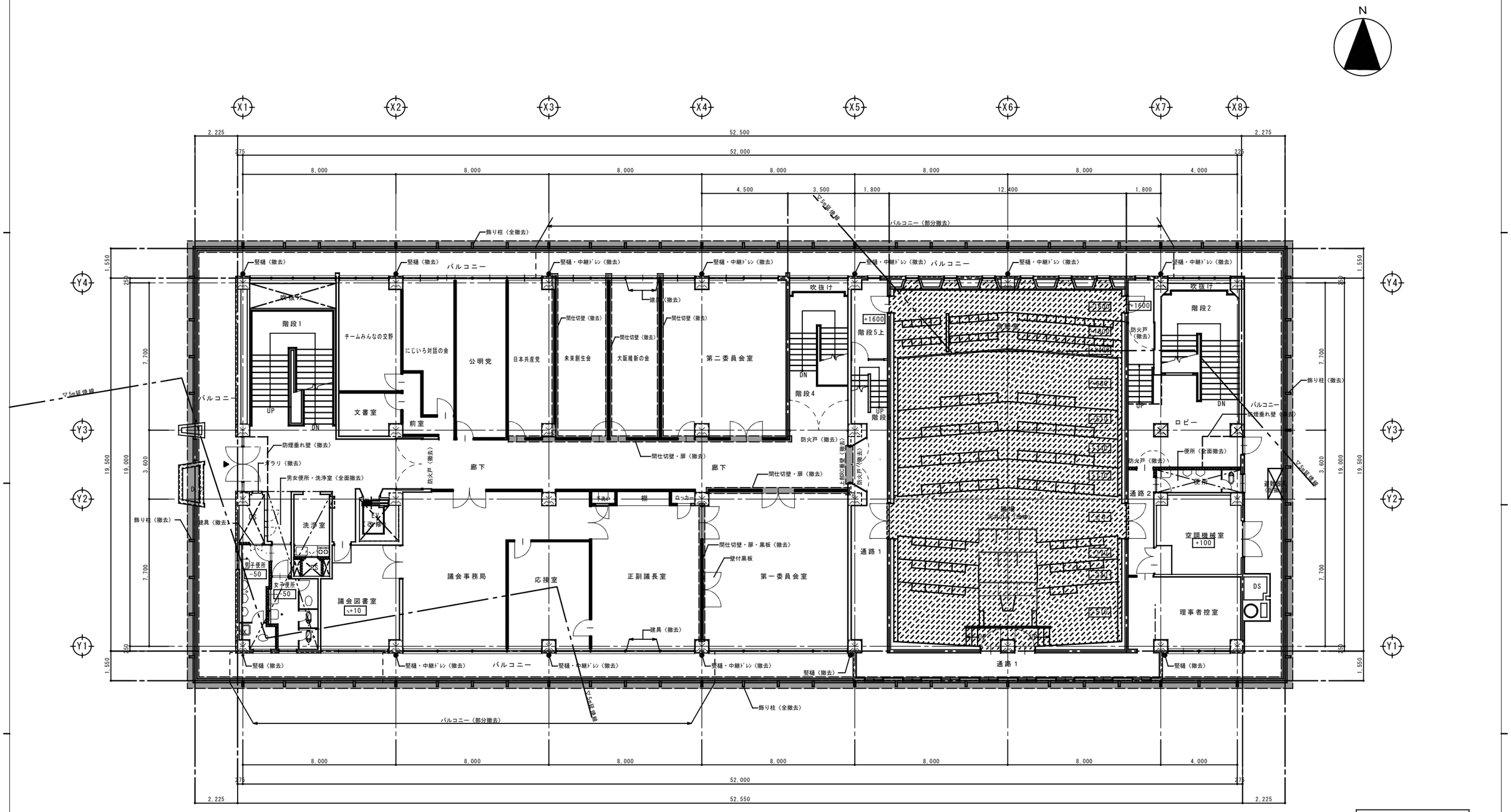
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ　＜復旧＞
- …木製間仕切壁
- 管仕切壁新設 …新設間仕切壁（LGS下地）

※上記以外はRC壁とする。

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-20
					図面名称 【改修後】２階平面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【現況】３階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ ＜撤去＞
- …木製間仕切壁

※上記以外はRC壁とする。

撤去範囲　凡例

- …既存まま存置の範囲
- …範囲内全撤去の上、全面改修の範囲
- …部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）
※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-21
					図面名称 【現況】３階平面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

N

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

Y1 Y2 Y3 Y4

2,225 / 275 / 52,500 / 52,000 / 2,275 / 225

8,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 4,000

4,500 / 3,500 / 1,800 / 12,400 / 1,800

3,100 / 2,725 / 2,175 / 5,825 / 2,175 / 2,400 / 2,100

1,550 / 450 / 7,700 / 19,500 / 19,000 / 3,600 / 2,300 / 5,400

竪樋（新設） 竪樋・中継ドレン（新設） 竪樋・中継ドレン・横引配管（新設）

バルコニー バルコニー〈ハッチング範囲新設〉

2階ピタコラムブレースライン（新設）

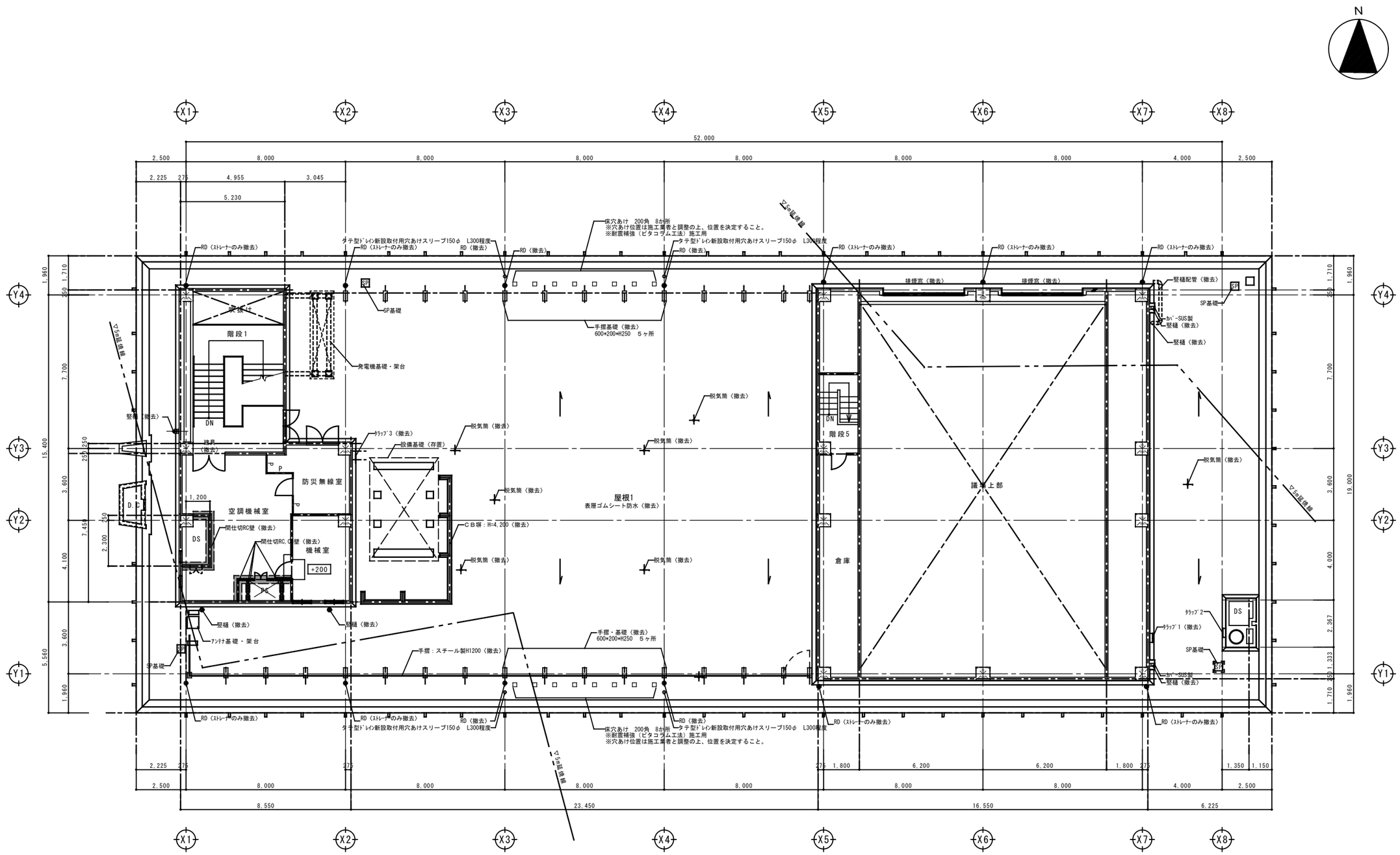
マスク壁撤去

吹抜け 階段1 階段2 階段4 階段5上 UP DN

議員控室1 議員控室2 議員控室3 第一委員会室 第二委員会室 廊下2 廊下1

文書室 前室 傍聴室 ロビー 通路1 通路2

建具（新設）（ﾊﾞｰ工法） 間仕切壁（GW充填）（新設） 建具（LSD）（新設） 防火戸（常開）（新設） 防煙垂れ壁（新設） 引違い防火戸（新設） 引違い防火戸（常開）（新設） 引違い防火戸（常閉）（新設） 引違い防火戸（常閉）（新設） 引違い防火戸（常閉



【現況】R階平面図

注）　＊　床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

壁仕様　凡例

- …ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ壁
- P …ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ　＜復旧＞
- …木製間仕切壁
- 間仕切壁新設 …新設間仕切壁（LGS下地）

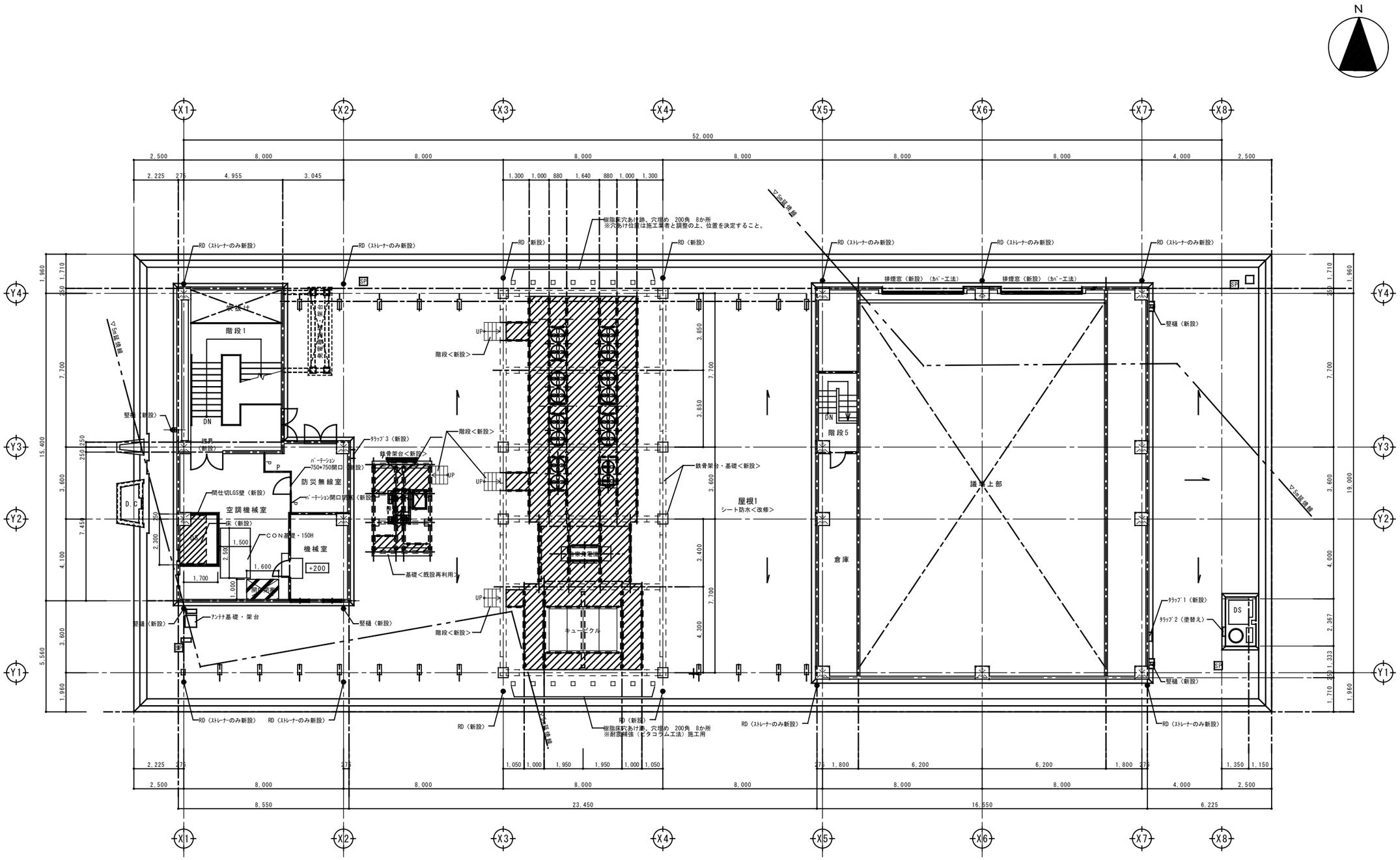
※上記以外はRC壁とする。

撤去範囲　凡例

- …既存まま存置の範囲
- …全撤去の上、全面改修範囲
- …部分撤去範囲（間仕切壁）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）
※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

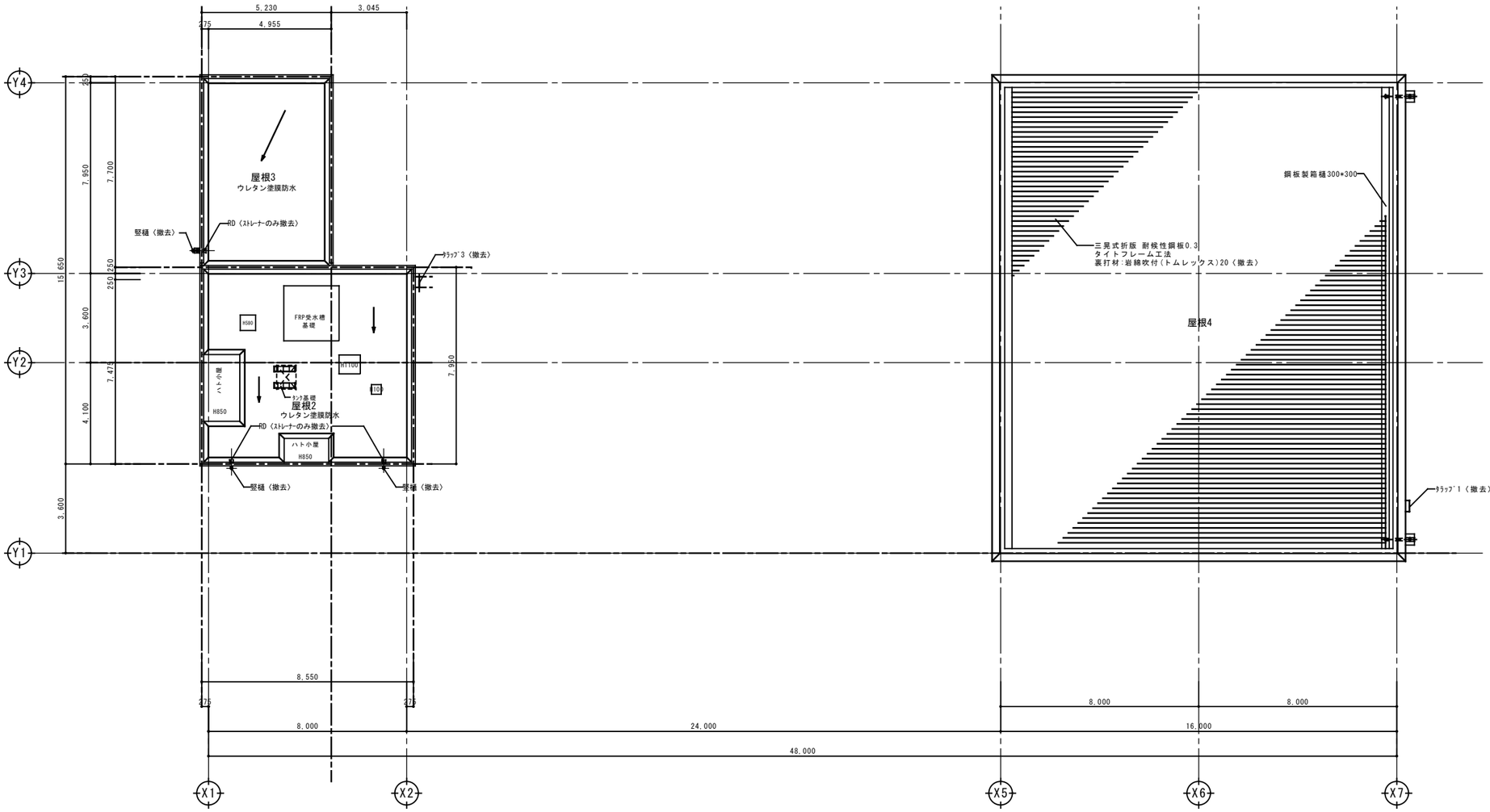
代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和**年　**月	A-23
				図面名称　【現況】R階平面図　縮尺　1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 ― ―		



【改修後】R階平面図

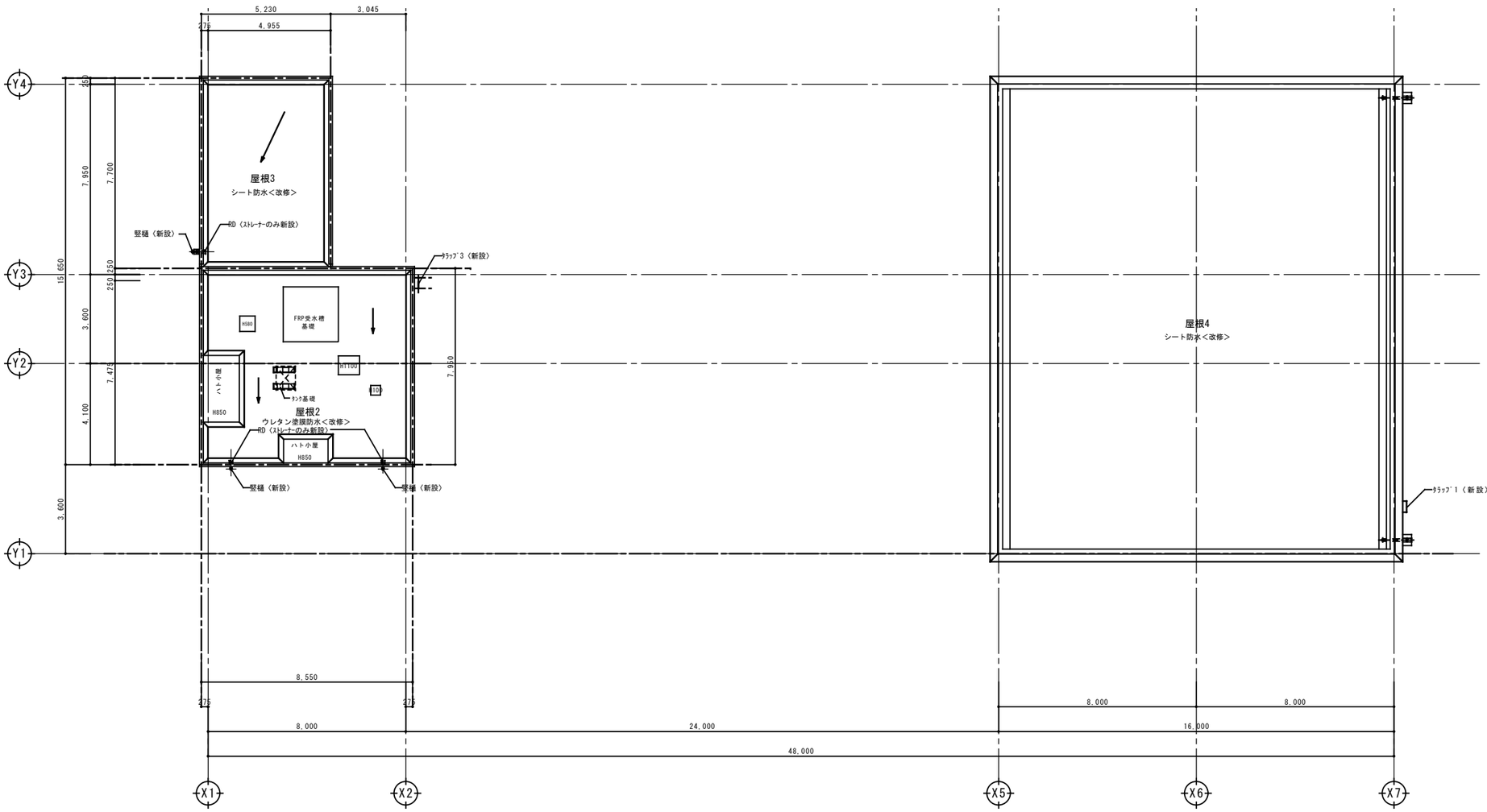
注） ★ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-24
					図面名称 【改修後】R階平面図 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【現況】屋根伏図

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-25
					図面名称 【現況】屋根伏図 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【改修後】屋根伏図

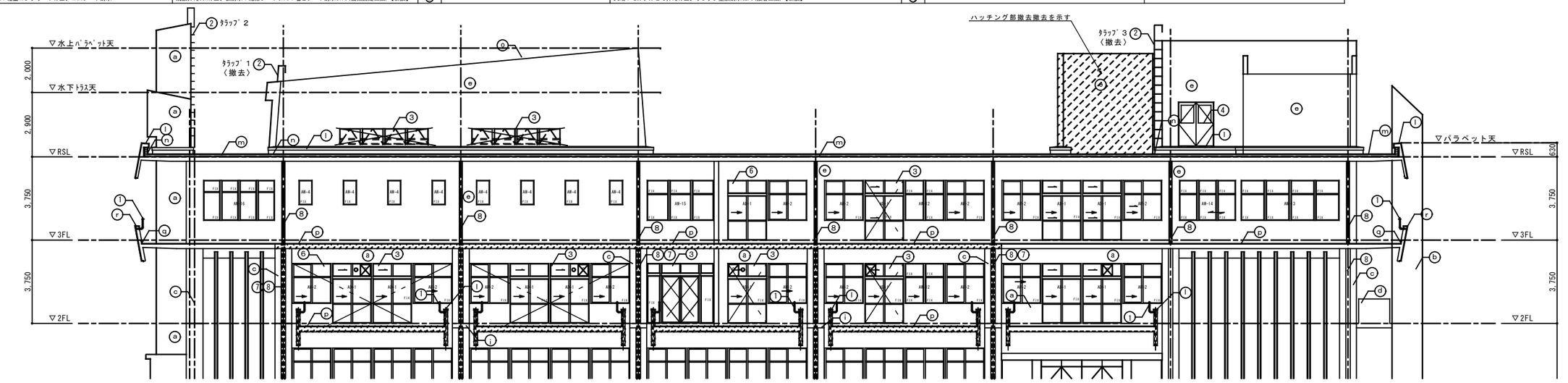
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-26
					図面名称 【改修後】屋根伏図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

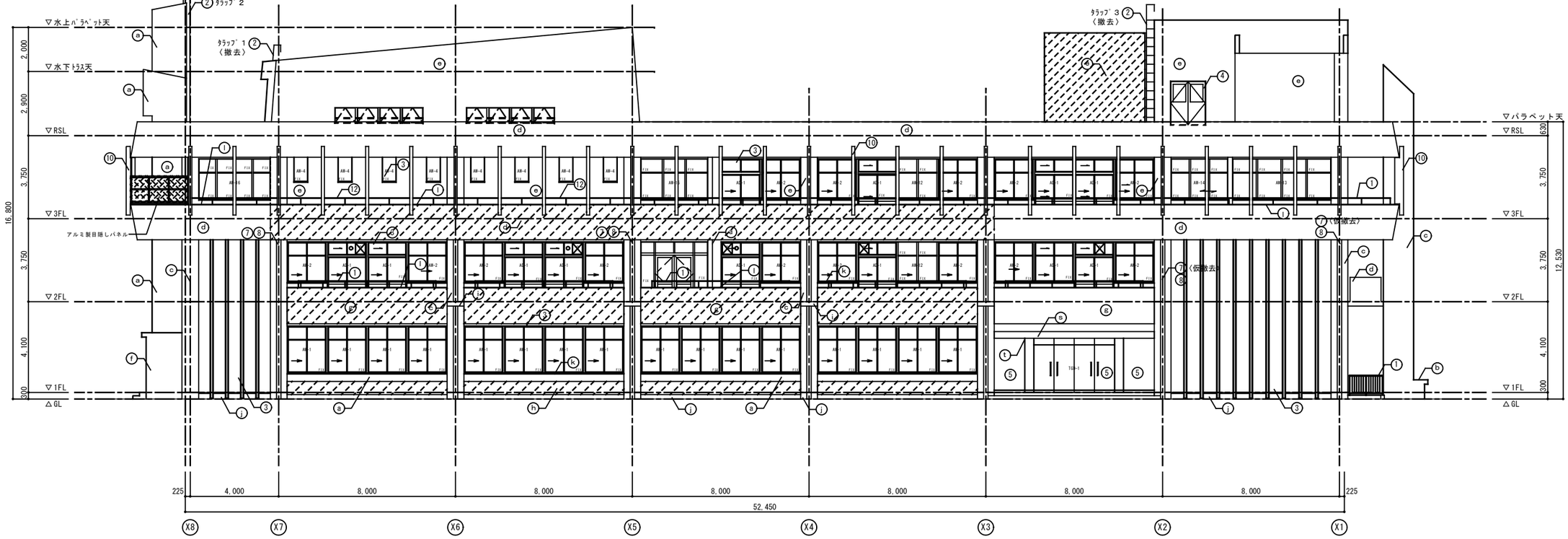
記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】

記号	既設仕上	改修方法
m	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
n	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
o	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
p	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
q	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
r	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既存のまま
s	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
t		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
u		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
v		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
w		パルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
x		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
y		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】

記号	既設仕上	改修方法
1	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
2	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
3	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
4	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
5	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
6	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
7	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
8	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
9		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
10	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
11	化粧型枠コンクリート打放し　7本ｽﾝ2回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
12	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
13		

（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て撤去とする。





【現況】北側立面図

▨——ハッチング部撤去撤去を示す

代表者	照　査	担　当		

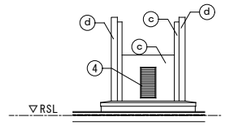
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-27
図面名称 【現況】北側立面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
* * *	—	—	

記号	既設仕上	改修方法
ⓐ	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓑ	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓒ	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓓ	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓔ	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓖ	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓗ	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
ⓘ	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓙ	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓚ	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓛ	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
ⓜ	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】

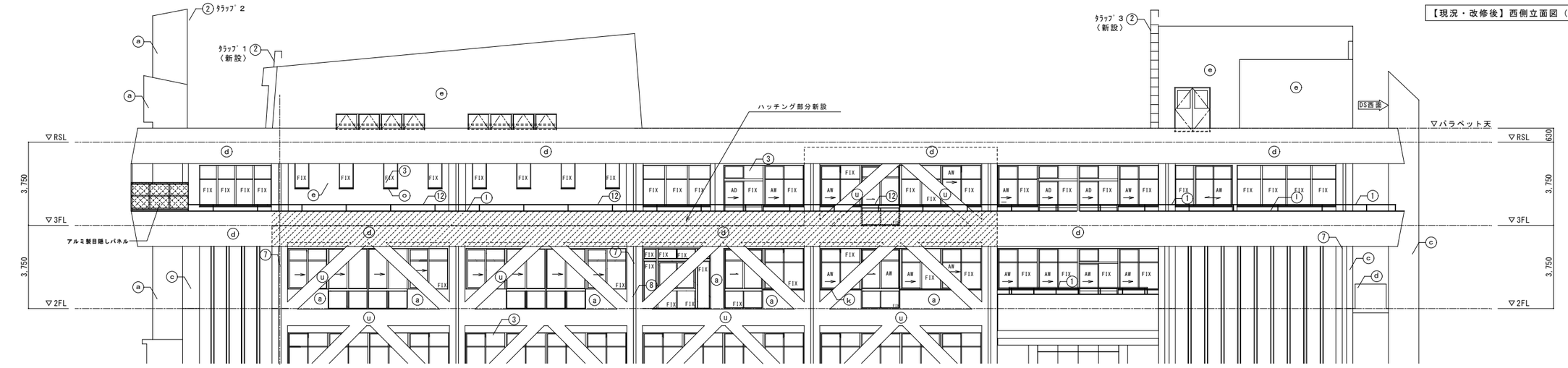
記号	既設仕上	改修方法
ⓝ	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
ⓞ	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
ⓟ	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
ⓠ	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
ⓡ	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
ⓢ	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既存のまま
ⓣ	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
ⓤ		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓥ		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
ⓦ		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
ⓧ		パルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
ⓨ		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
ⓩ		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】

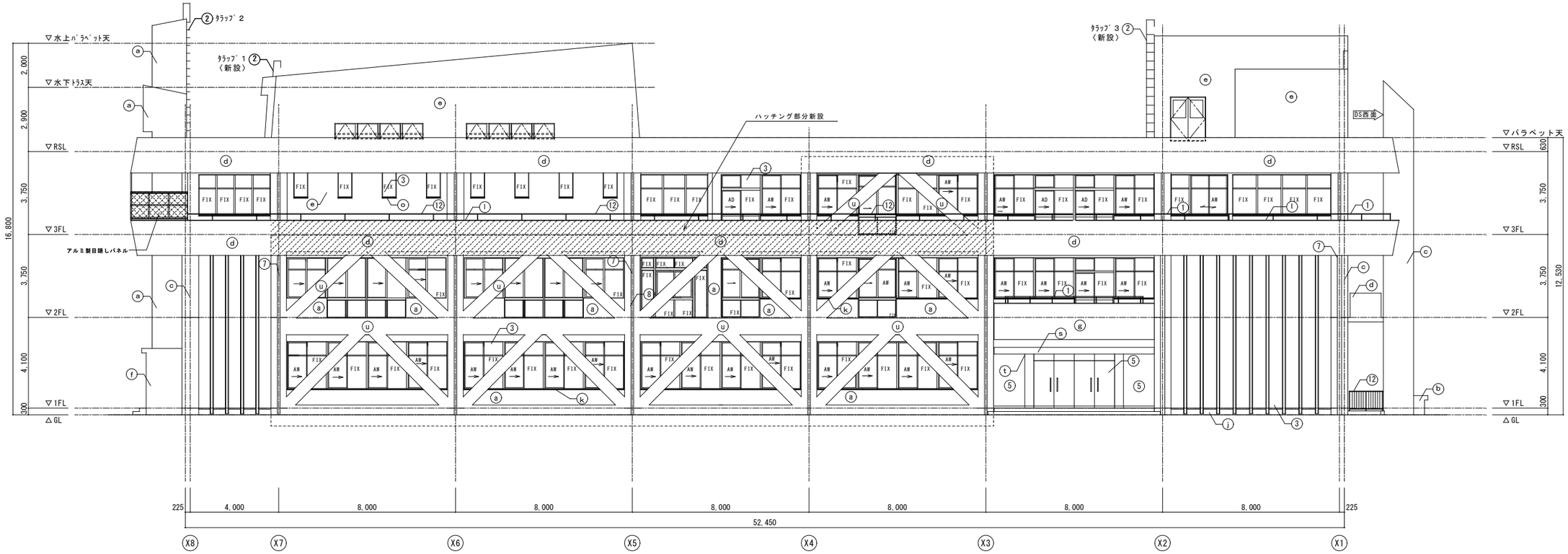
記号	既設仕上	改修方法
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング（4周）、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
⑦	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掘み金具新設
⑧	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掘み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掘み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掘み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板（下地金物等）【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し　7本/2回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て新設とする。



【現況・改修後】西側立面図（DS）





【改修後】北側立面図

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】北側立面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	図面番号
	* * *	— —	A-28

記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【KS-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】

記号	既設仕上	改修方法
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
s	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既存のまま
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
x		パルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
y		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】

記号	既設仕上	改修方法
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
⑦	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
⑧	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し　ﾌﾗｲｱｯｼｭ２回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て撤去とする。



【現況】南側立面図

ハッチング部撤去撤去を示す

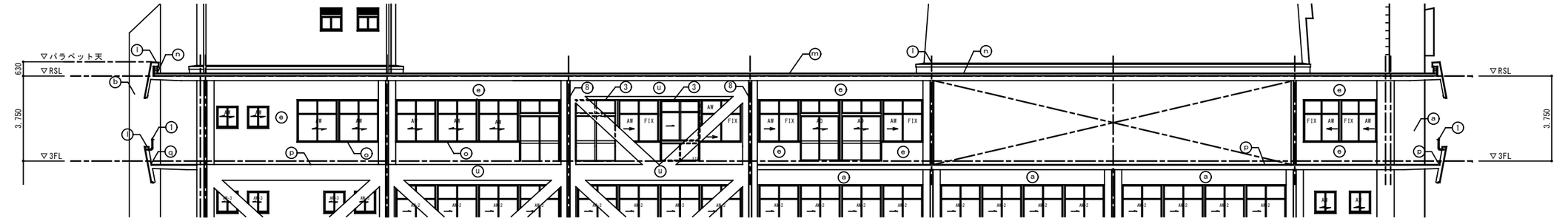
代表者	照　査	担　当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-29
			図面名称 【現況】南側立面図	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —	
			＊＊＊			

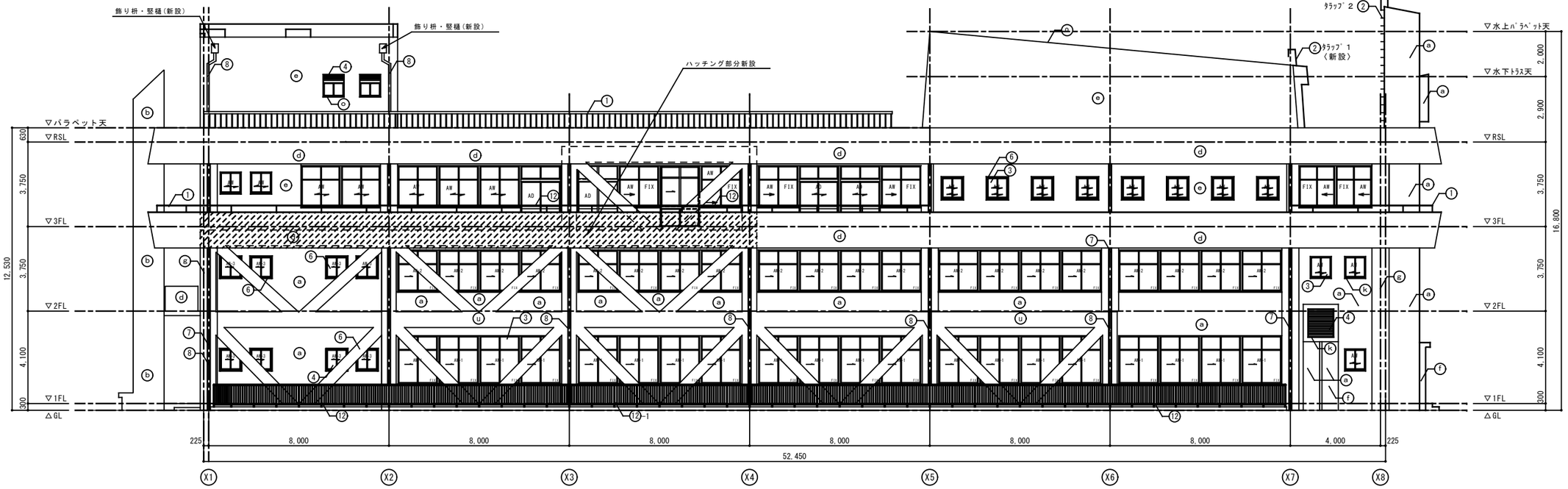
記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小ロタイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】

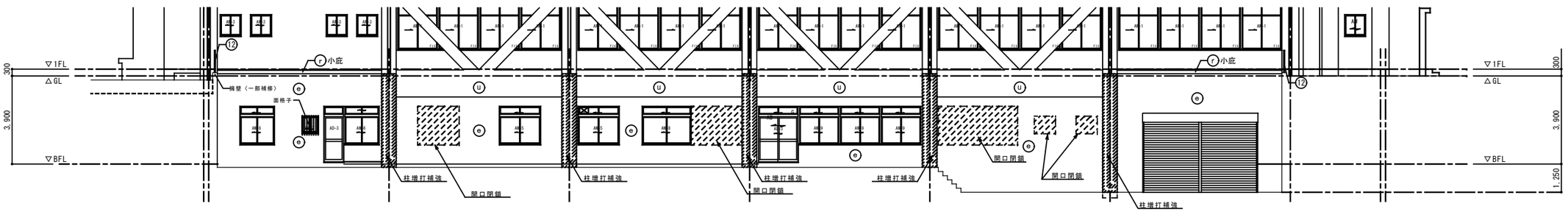
記号	既設仕上	改修方法
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
s	玄関庇天端：キーストンブレートt1.0＋シート防水【撤去】	既存のまま
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
x		パルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
y		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】

記号	既設仕上	改修方法
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング（4周）、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
⑦	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
⑧	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板（下地金物等）【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し　7本ｽﾘ２回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て新設とする。







【改修後】南側立面図

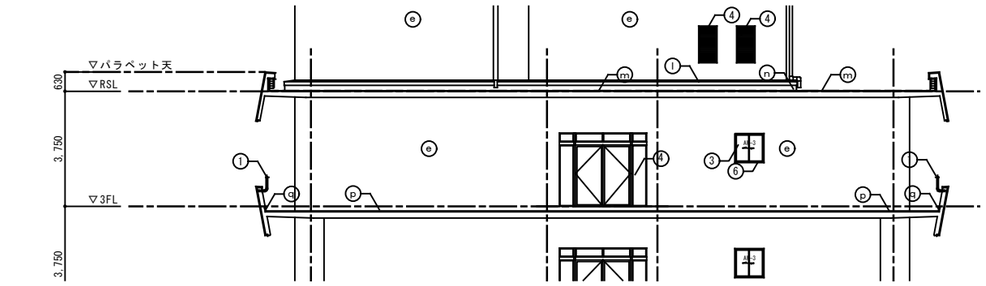
代表者	照　査	担　当		

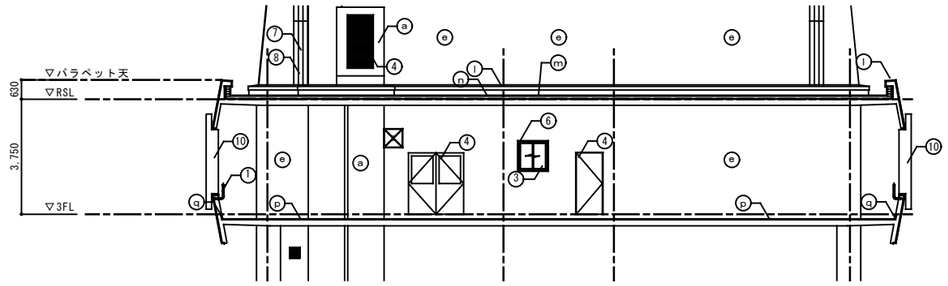
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A→30
図面名称　【改修後】南側立面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	—	—
* * *			

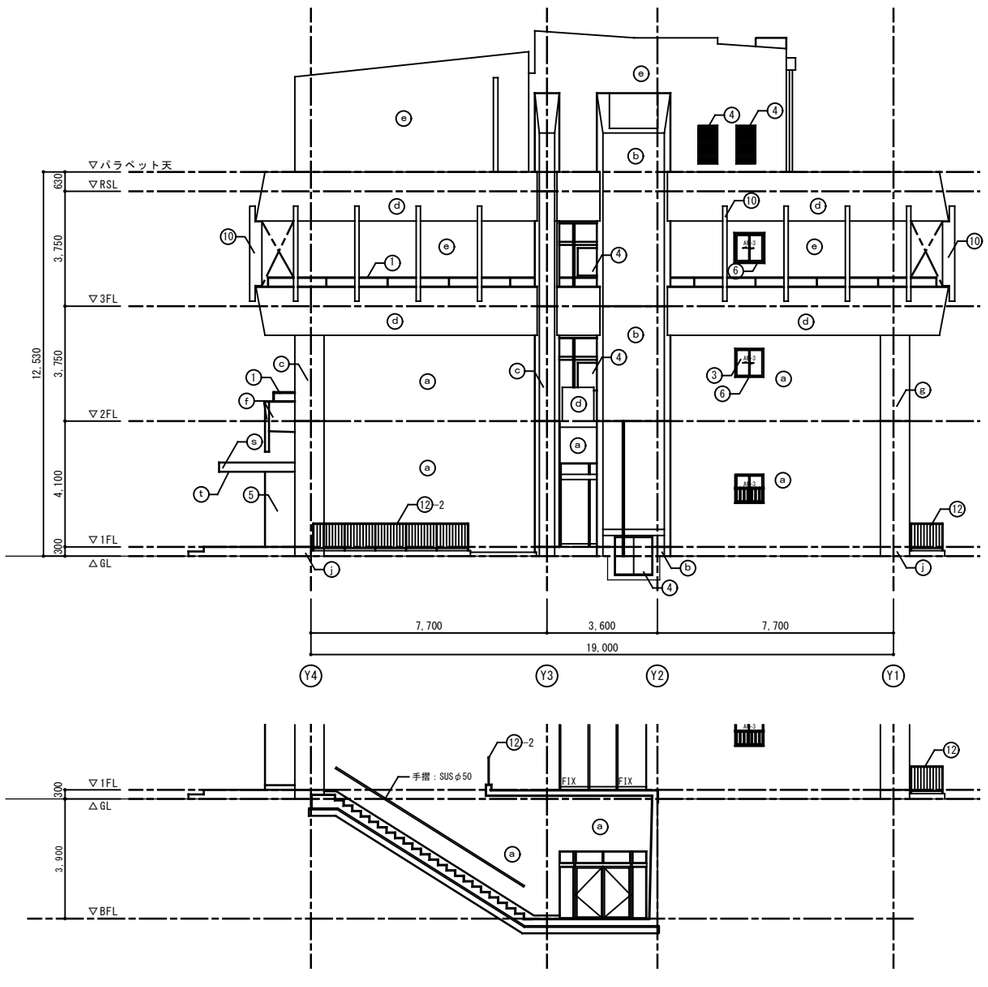
記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【KS-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
s	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0+シート防水【撤去】	既存のまま
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
x		パルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
y		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】

記号	既設仕上	改修方法
1	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
2	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
3	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
4	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
5	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
6	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
7	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
8	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
9		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
10	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
11	化粧型枠コンクリート打放し　7本ｽﾗｲｽ2回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
12	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
13		

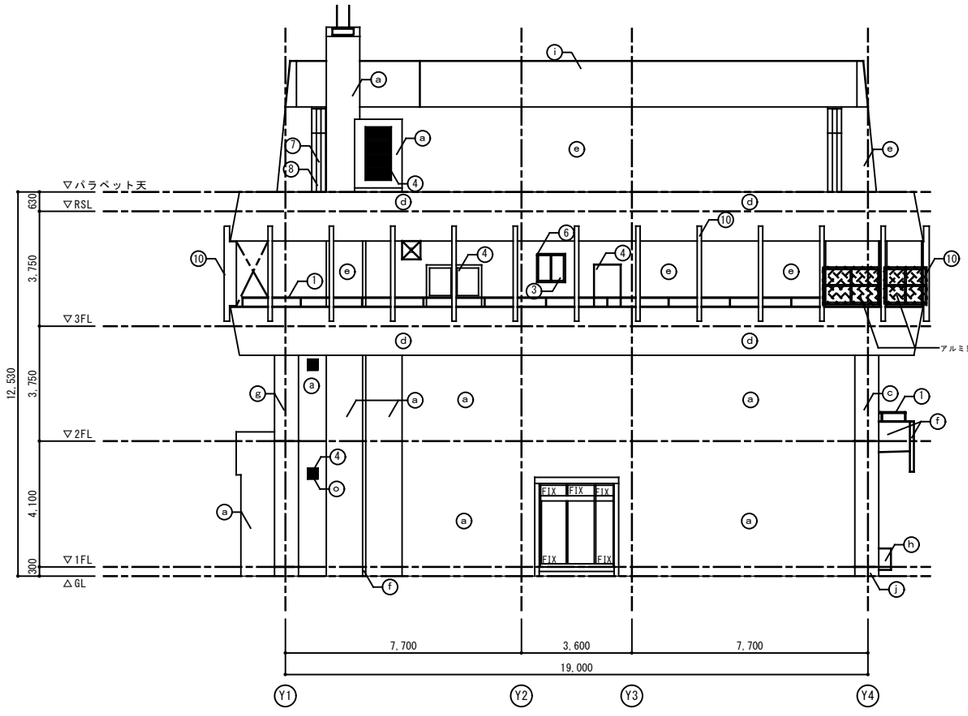
（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て撤去とする。







【現況】西側立面図



【現況】東側立面図

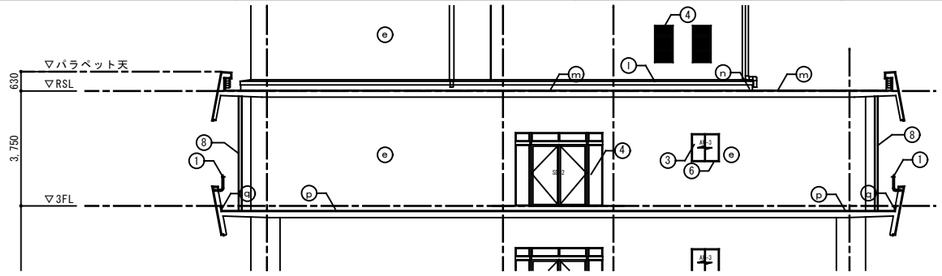
ハッチング部撤去撤去を示す

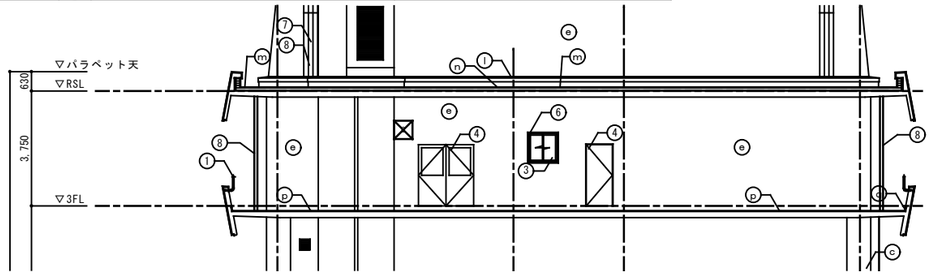
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-31
					図面名称 【現況】西側・東側立面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

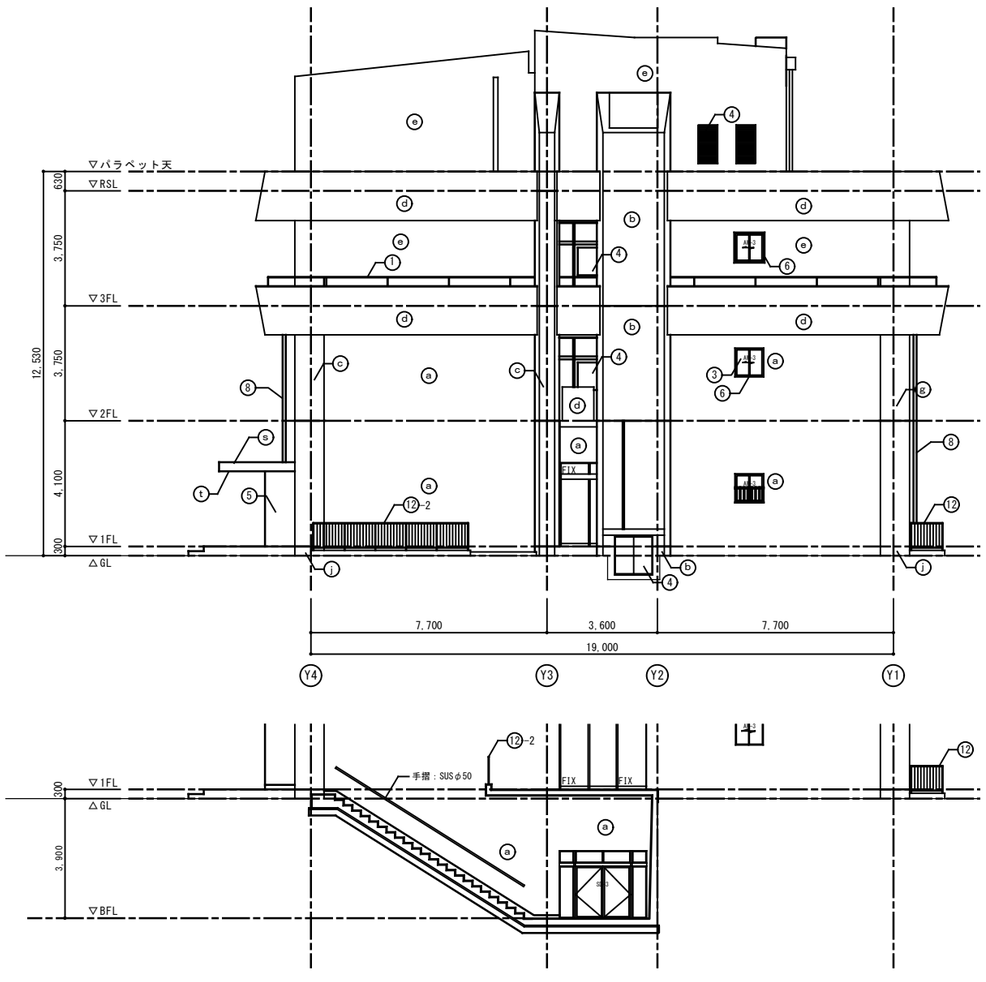
記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7箇：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
s	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0+シート防水【撤去】	既存のまま
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
x		パルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
y		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】

記号	既設仕上	改修方法
1	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
2	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
3	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
4	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
5	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
6	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
7	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【撤去】　揚み金物：スチール製【撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　揚み金具新設
8	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　揚み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　揚み金物：ステンレス製【新設】
9		竪樋：カラーVPφ100【新設】　揚み金物：ステンレス製【新設】
10	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
11	化粧型枠コンクリート打放し　7ﾀｽﾝ2回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
12	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
13		

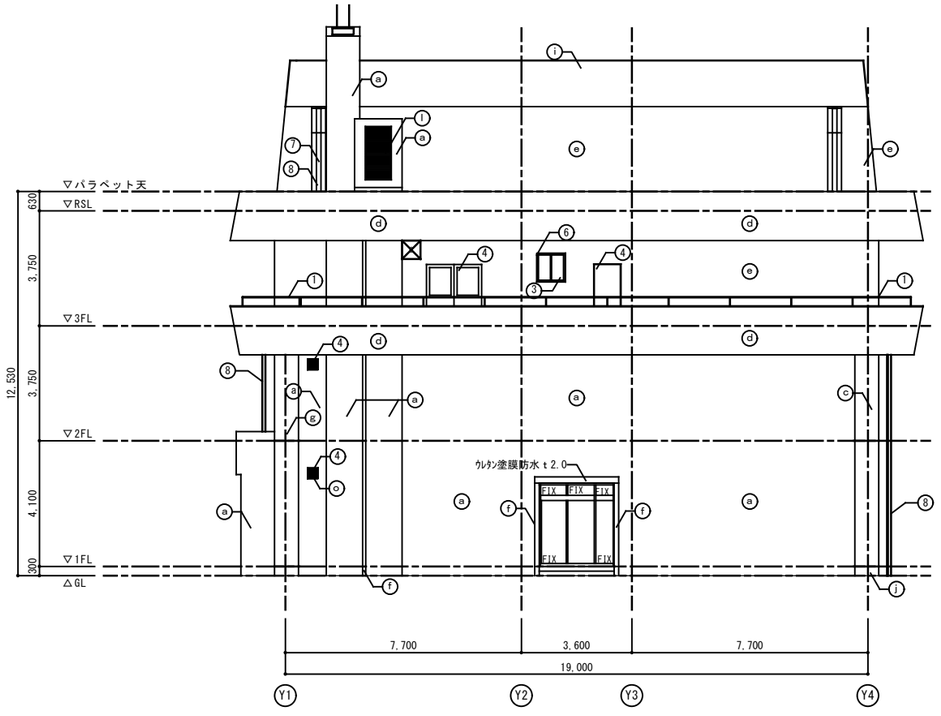
（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て新設とする。







【改修後】西側立面図



【改修後】東側立面図

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】西側・東側立面図	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号
	* * *		— —

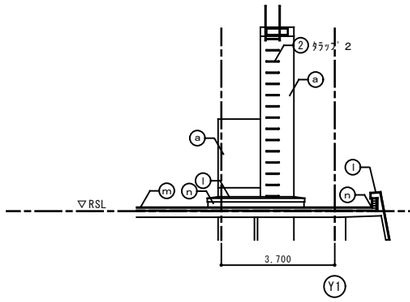
図面番号 A-32

記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】

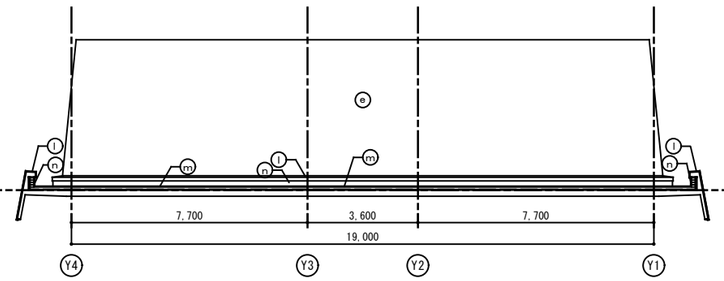
記号	既設仕上	改修方法
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
s	玄関庇天端：キーストンブレートt1.0＋シート防水【撤去】	既存のまま
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
x		パルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
y		パルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】

記号	既設仕上	改修方法
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング（4周）、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
⑦	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
⑧	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板（下地金物等）【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し　ﾌﾀｴｽ２回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

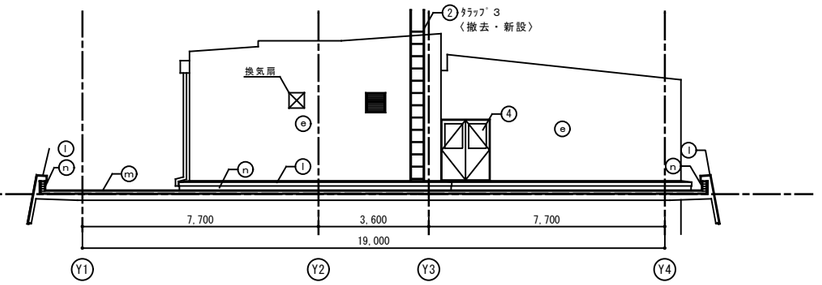
（共通）
※外部建具廻りのシーリングは全て撤去とする。



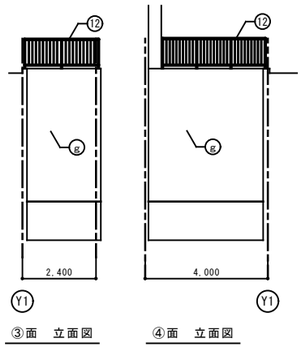
【現況・改修後】Ｒ階　西側立面図（DS面）



【現況・改修後】Ｒ階　西側立面図（議場面）

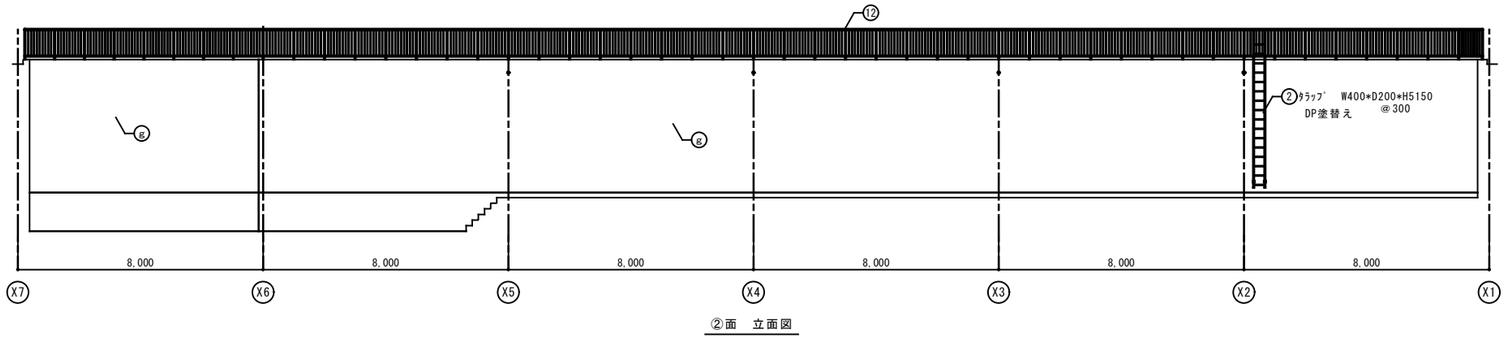


【現況・改修後】Ｒ階　西側立面図（機械室西面）

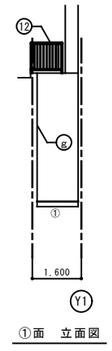


③面　立面図

④面　立面図

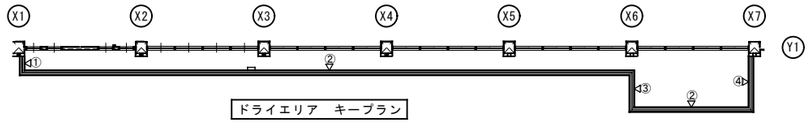


②面　立面図



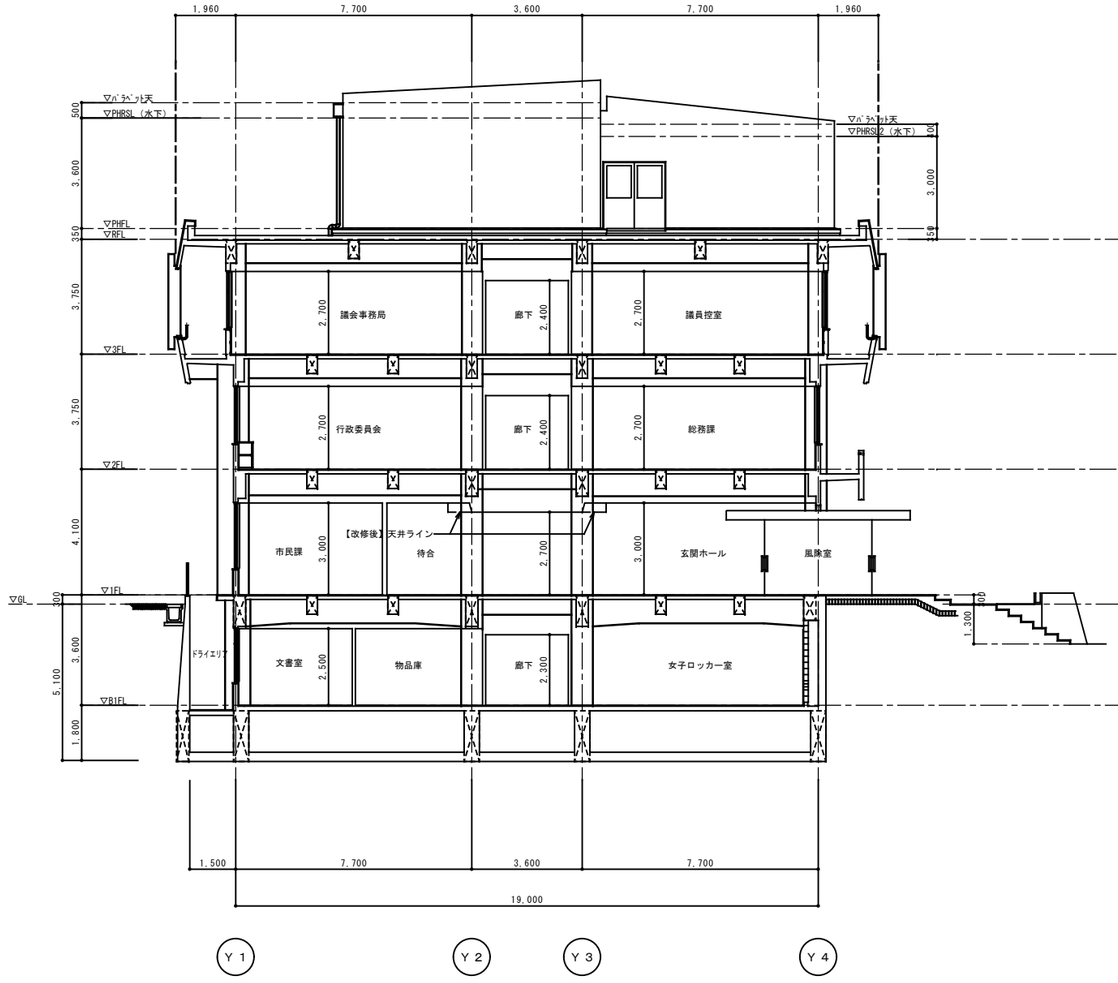
①面　立面図

【現況・改修後】ドライエリア立面図

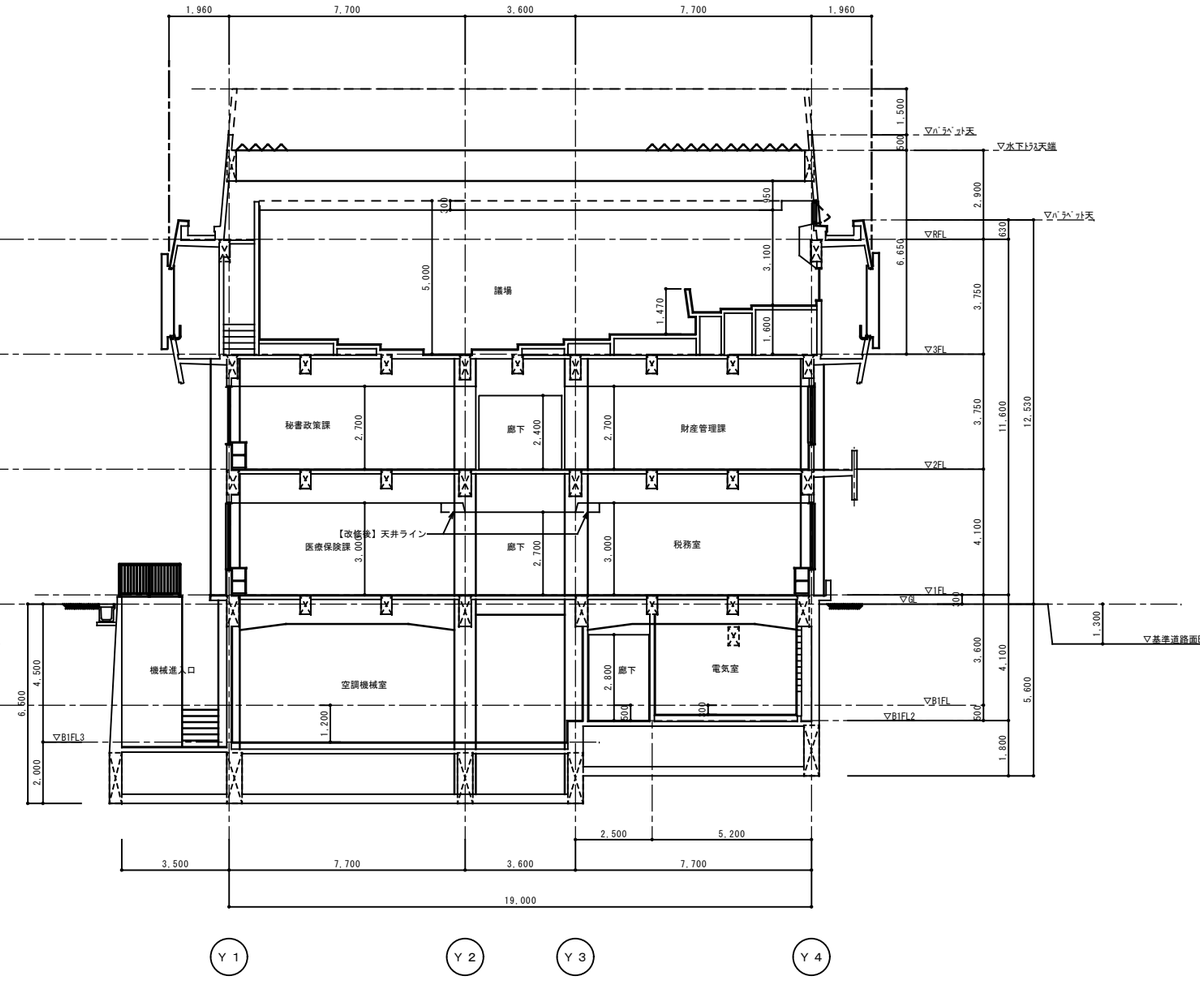


ドライエリア　キープラン

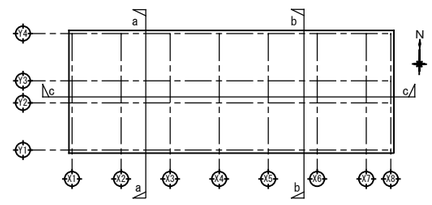
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-33
					図面名称　【現況・改修後】ドライエリア・R階立面図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	



a－a 断面図



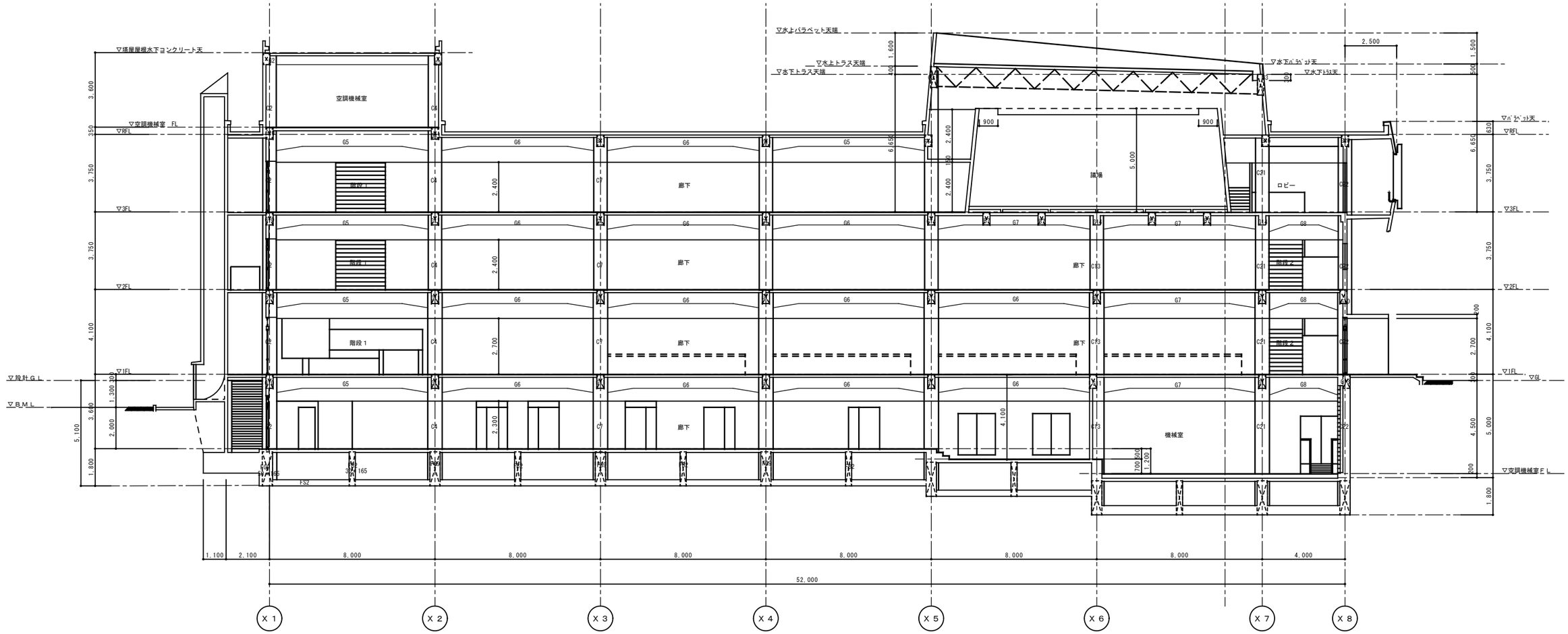
b－b 断面図



KEYPLAN

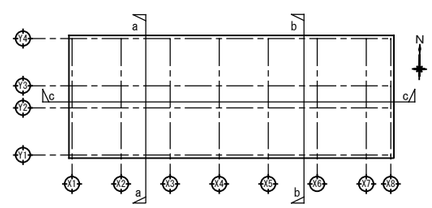
【現況】断面図１

代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年 **月
				図面名称	【現況】断面図１	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —
					＊＊＊		図面番号 A-34



c－c 断面図

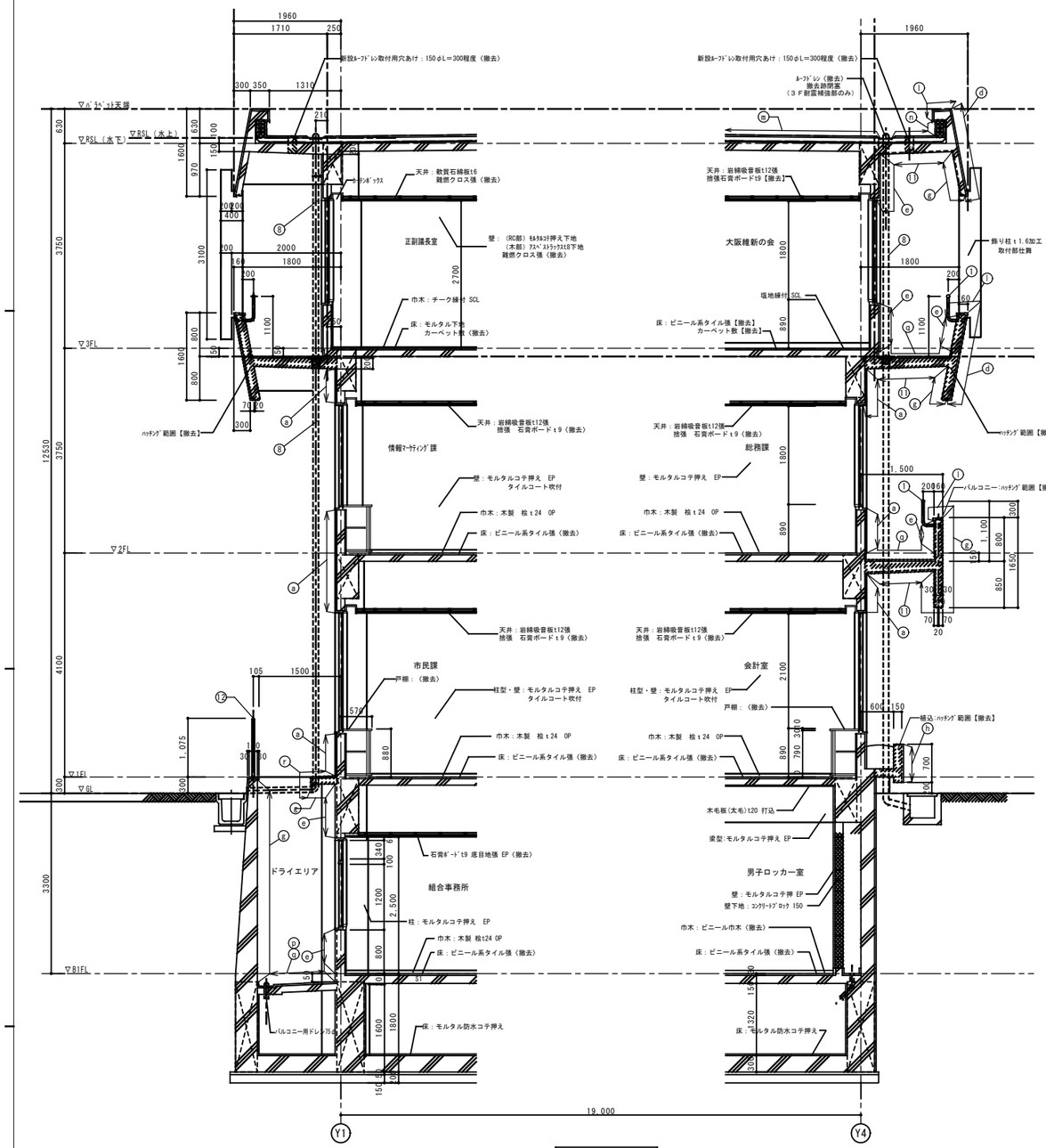
【現況】断面図２



KEYPLAN

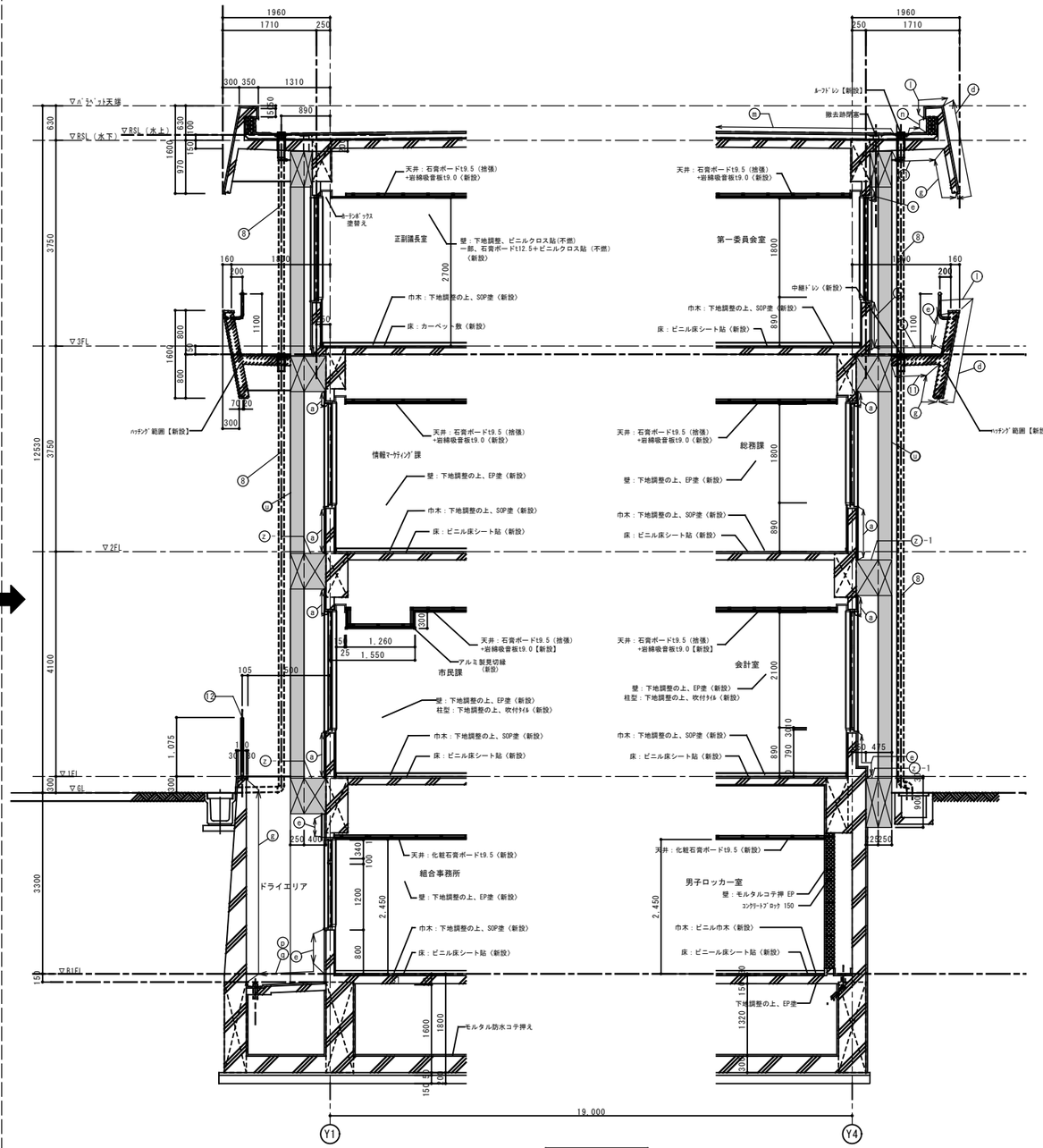
代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-35
				図面名称 【現況】断面図２ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
				***	—	—	

【現況】断面詳細図　（ａ－ａ）



ａ－ａ断面

【改修後】断面詳細図　（ａ－ａ）

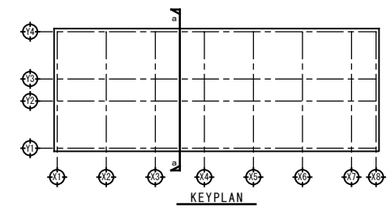


ａ－ａ断面

記号	既設仕上	改修方法
A	47角磁器質施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
B	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
C	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
D	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
E	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
F	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
G	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
H	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
I	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
J	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
K	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
L	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
M	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
N	立上り：ゴムシート防水層【撤去】　　樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】	

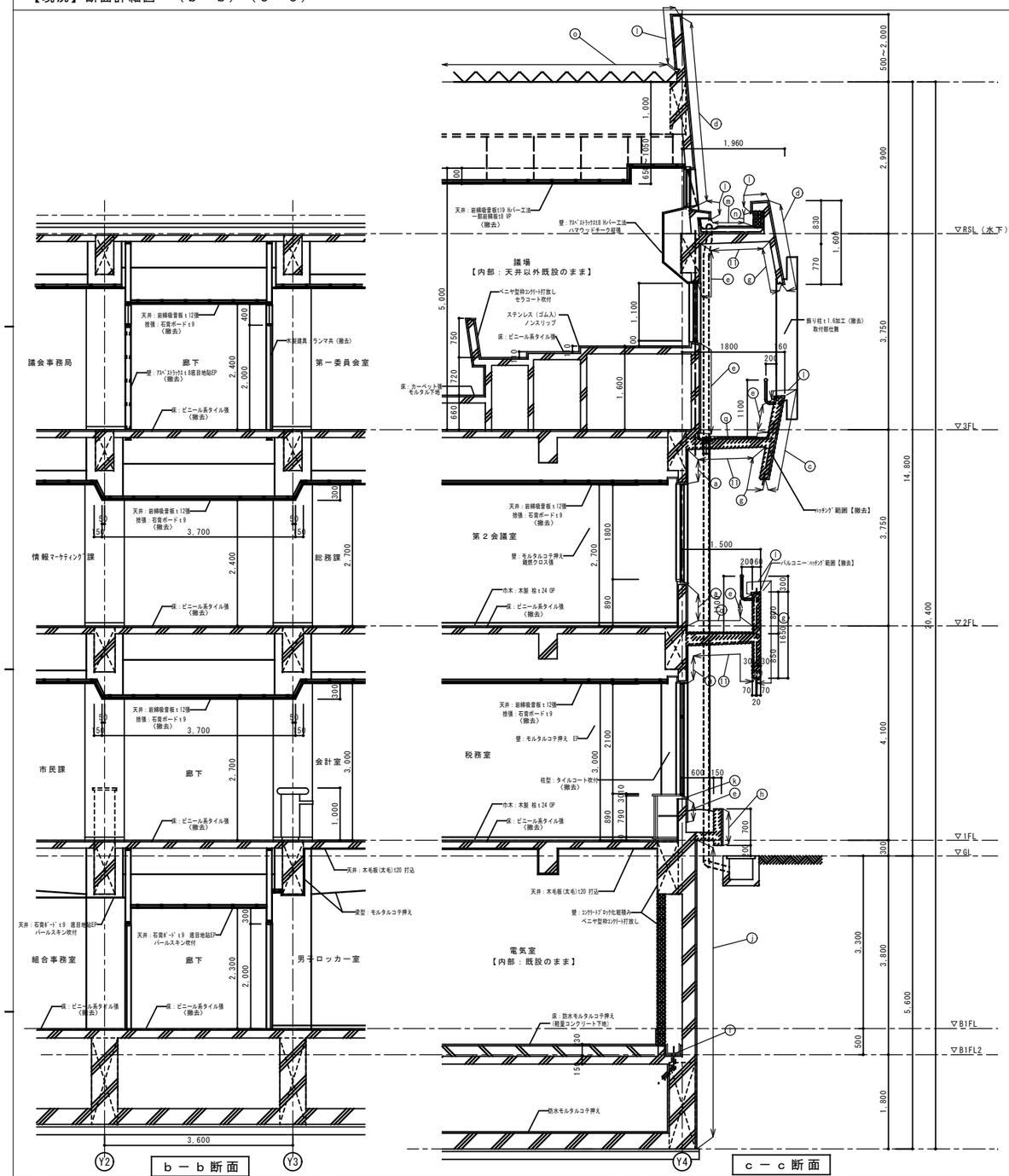
記号	既設仕上	改修方法
O	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt150＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
P	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
Q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0（ノンスリップ）（接着工法）【新設】
R	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
S	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
T	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
U		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
V		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
W		屋上庇立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
X		バルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
Y		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
Z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】
Z-1		天端：コンクリート金こて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0（接着工法）【新設】

記号	既設仕上	改修方法
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具周りシーリング（4面）、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＳＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具周りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具周りシーリング
⑥	縁繰・水切：アルミ製	既存のまま
⑦	樋カバー：ステンレス製t1.2　ℍL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　縞み金具新設
⑧	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　縞み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　縞み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】　縞み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板（下地金物等）【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し 7ぉ2ぉ2回 吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		



代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-36
				図面名称 【現況】【改修後】断面詳細図１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—
				＊＊＊			

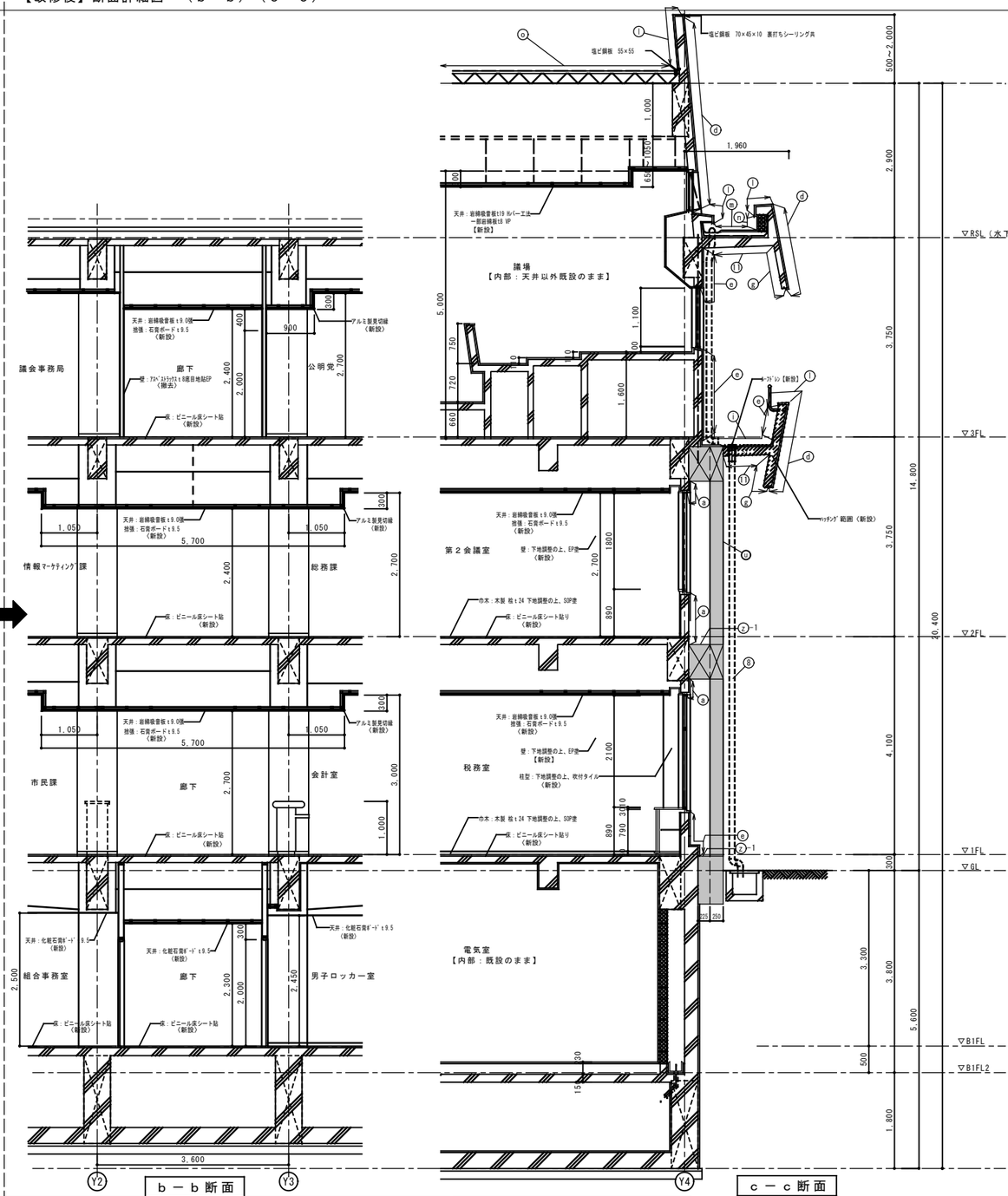
【現況】断面詳細図　（ｂ－ｂ）（ｃ－ｃ）



ｂ－ｂ 断面

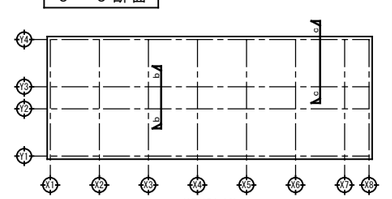
ｃ－ｃ 断面

【改修後】断面詳細図　（ｂ－ｂ）（ｃ－ｃ）



ｂ－ｂ 断面

ｃ－ｃ 断面



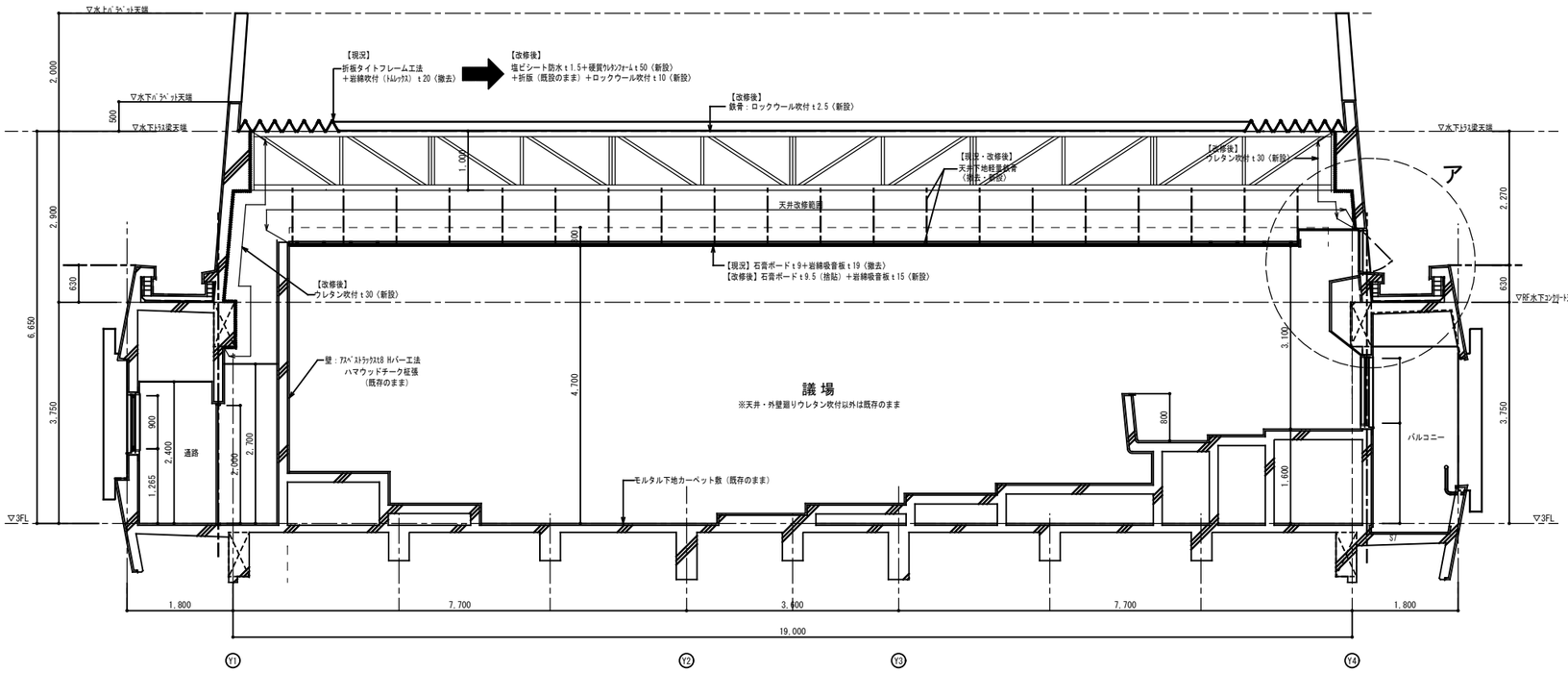
記号	既設仕上	改修方法
a	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
b	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
c	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
d	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
e	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
f	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
g	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
h	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
i	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
j	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
k	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
l	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
m	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えDCMの上、仮防水＋絶縁シート t1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
n	立上り：ゴムシート防水層【撤去】　　樹脂モルタル t1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】	

記号	既設仕上	改修方法
o	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
p	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
r	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
s	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0+シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
t	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま
u		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
v		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
w		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
x		バルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
y		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
z-1		天端：コンクリート金こて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】

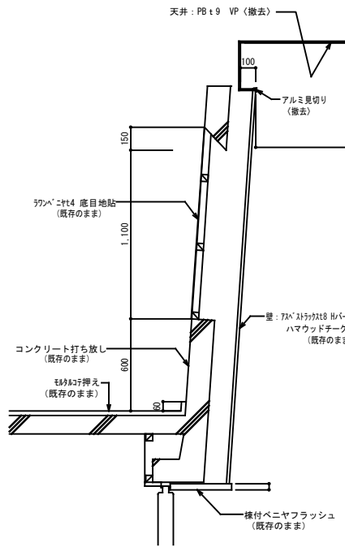
記号	既設仕上	改修方法
1	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
2	ララップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
3	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
4	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
5	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
6	額縁・水切：アルミ製	既存のまま
7	樋カバー：ステンレス製t1.2　HL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　掴み金具新設
8	樋：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
9		竪樋：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
10	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
11	化粧型枠コンクリート打放し 7ﾀｽﾝ2 回 吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
12	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
13		

代表者	照　査	担　当

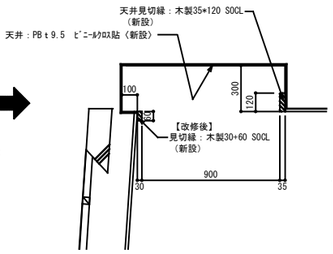
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事
図面名称	【現況】【改修後】断面詳細図２
縮尺	1/50(A1)　1/100(A3)
＊＊＊	
設計番号	—
設計年月日	令和**年　**月
整理番号	— —
図面番号	A-37



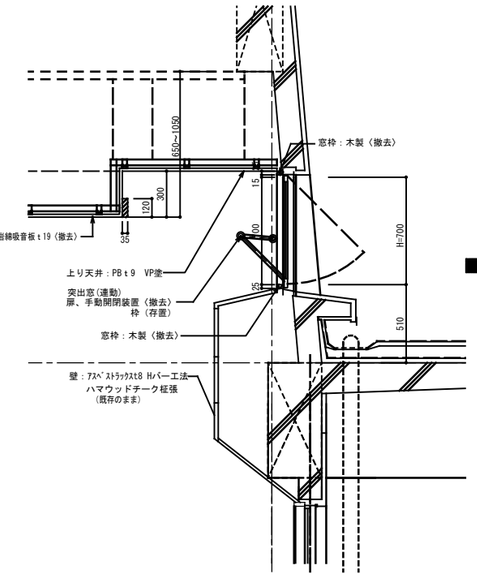
a － a 断面図　1/50



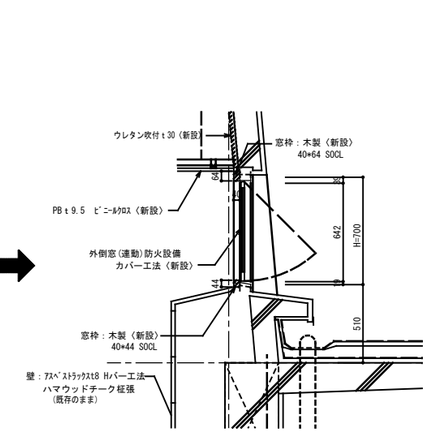
【現況】イ部詳細図　1/20



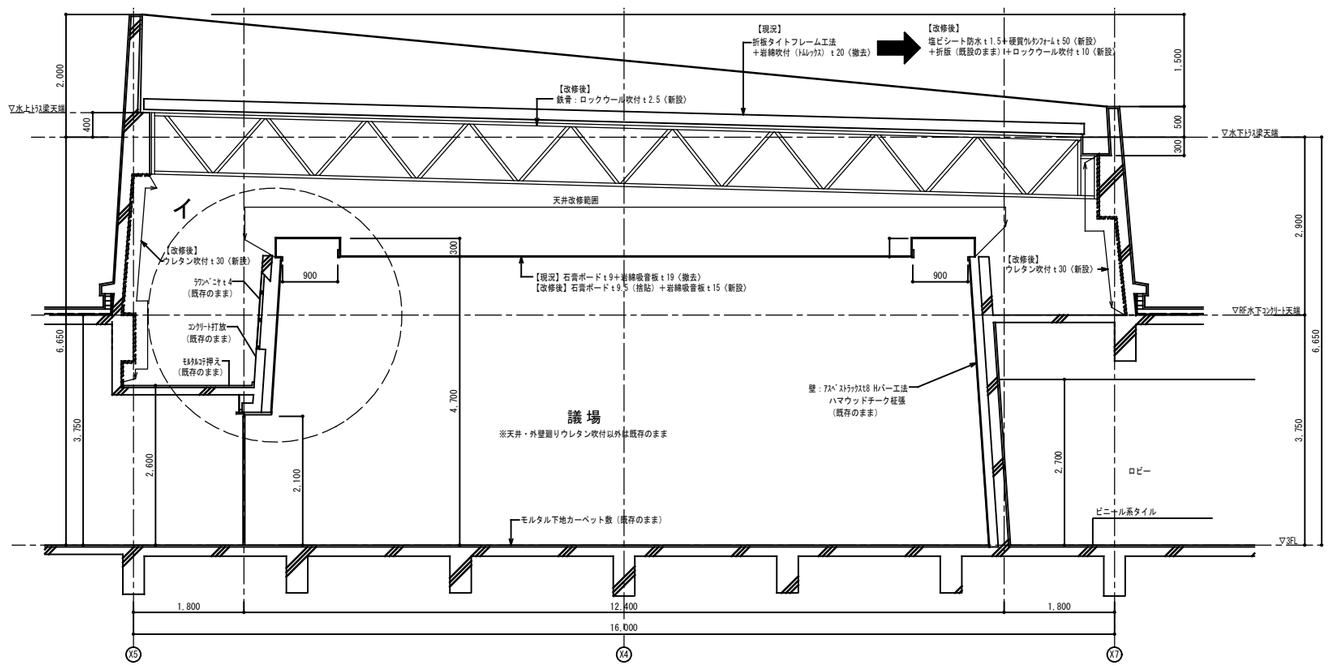
【改修後】イ部詳細図　1/20



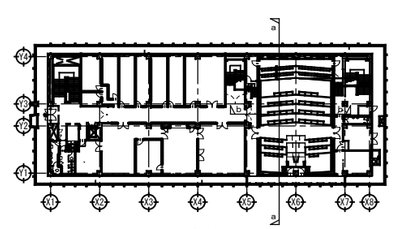
【現況】ア部詳細図　1/20



【改修後】ア部詳細図　1/20

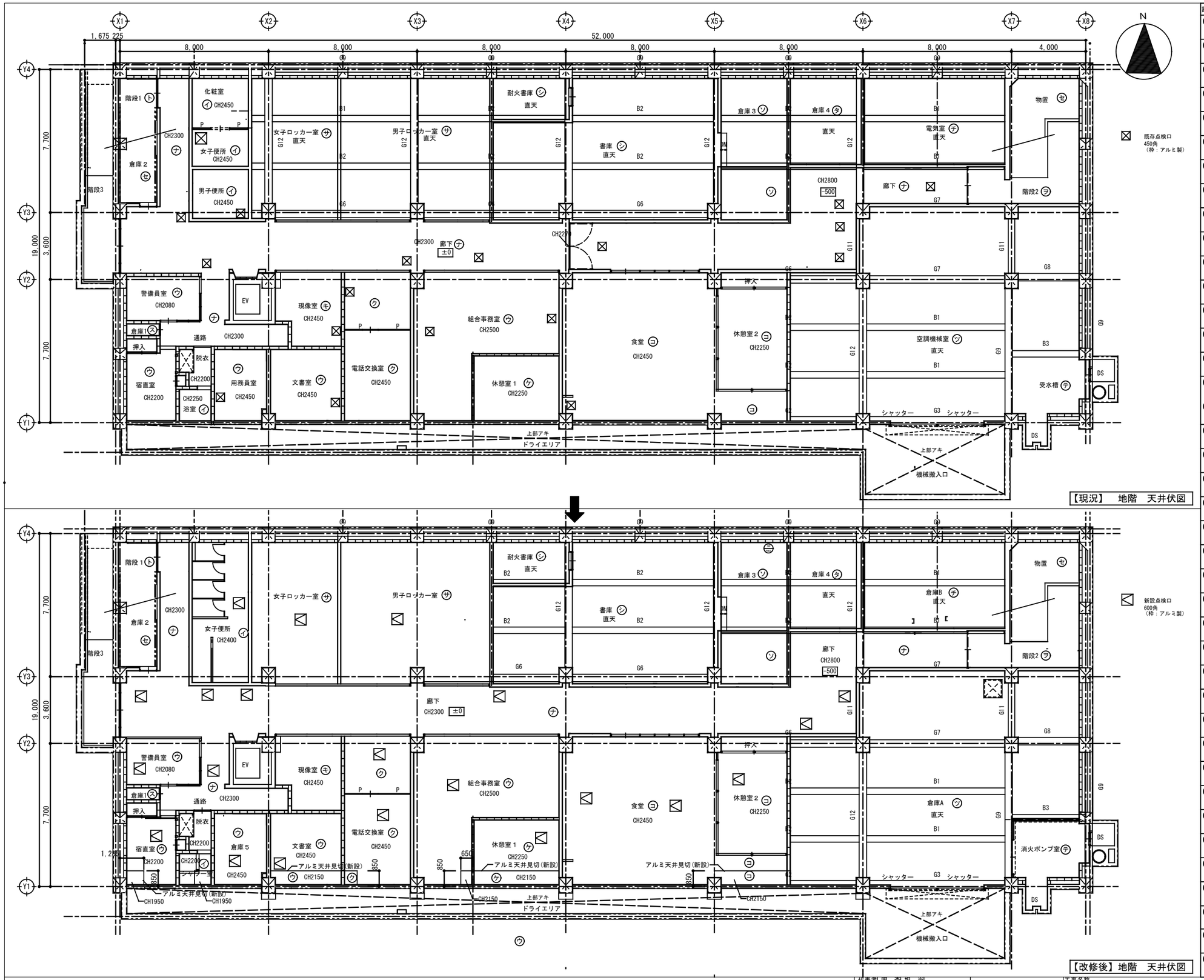


b － b 断面図　1/50



KEYPLAN

代表者	照　査	担　当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年　**月	図面番号 A-38
					図面名称 【現況】【改修後】議場 断面詳細図	縮尺 1/20,1/50(A1) 1/40,1/100(A3)	整理番号 — —	
					＊＊＊			

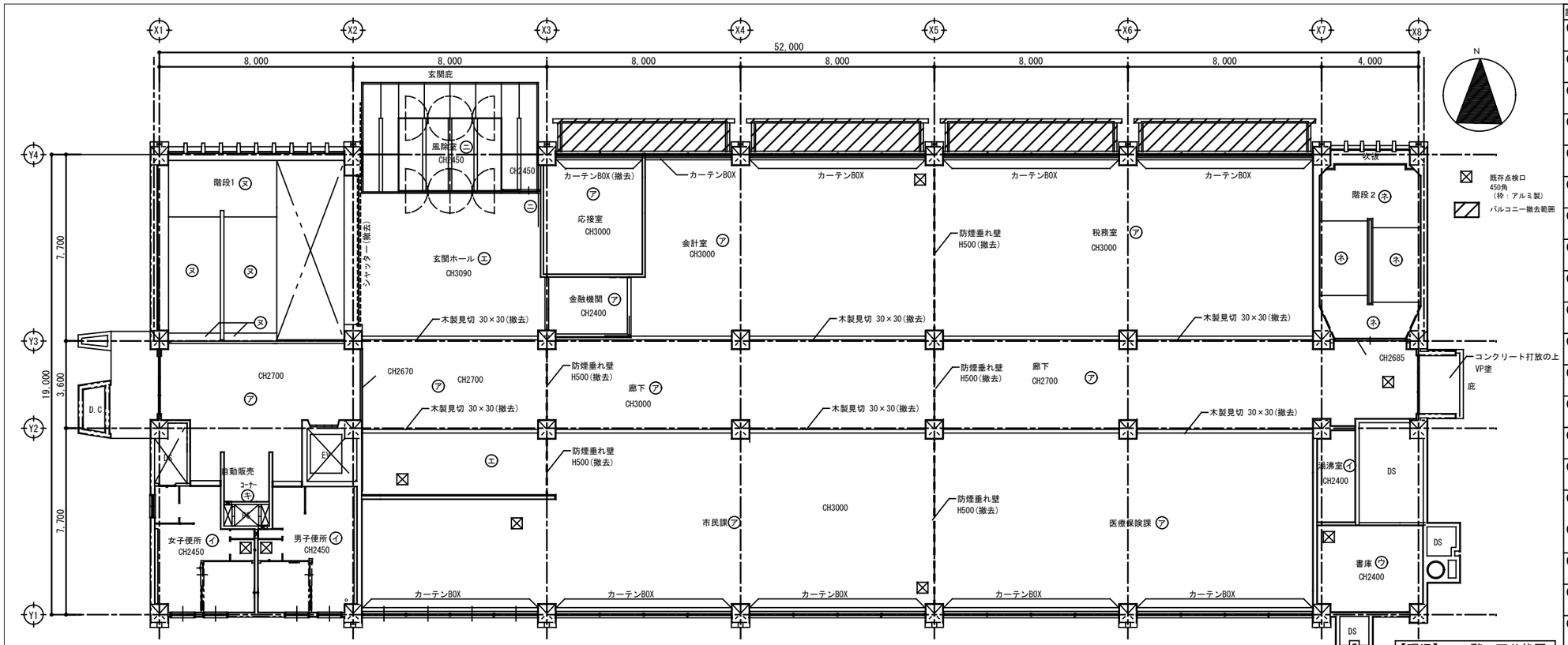


【現況】 地階 天井伏図

【改修後】地階 天井伏図

記号	現況・改修	既設仕上・改修方法
ア	現況	岩綿吸音板t12張 捨張 石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5 捨張 岩綿吸音板t9.0
イ	現況	軟質石綿板t6 底目地VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ウ	現況	石膏ボードt9 底目地張 EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
エ	現況	岩綿吸音板t19 梁型ゾラコート吹付
	改修	石膏ボードt9.5 岩綿吸音板t9.0
オ	現況	RC部：ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
カ	現況	難燃石綿板t6 底目地張VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
キ	現況	岩綿吸音板t12 捨張 石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ク	現況	石膏ボードt9 捨張 岩綿吸音板t12
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ケ	現況	杉柾ベニヤ底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
コ	現況	石膏ボードt9 捨張 岩綿吸音板t12
	改修	石膏ボードt9.5 捨張 岩綿吸音板t9.0
サ	現況	木毛板(太毛)t20 打込 梁型モルタルコテ押え EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
シ	現況	木毛板(太毛)t20 打込 梁型モルタルコテ押え EP
	改修	既設のまま
ス	現況	石膏ボードt9 底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
セ	現況	コンクリート打放しのまま
	改修	既設のまま
ソ	現況	化粧石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
タ	現況	木毛板(太毛)t20
	改修	既設のまま
チ	現況	木毛板(太毛)t20 白セメント吹付
	改修	既設のまま
ツ	現況	木毛板(太毛)t20 打込
	改修	既設のまま
テ	現況	木毛板(太毛)t20 打込
	改修	ケイカル板t6.0
ト	現況	コンクリート打放し セラカット吹付
	改修	下地調整の上、吹付タイル
ナ	現況	石膏ボードt9 底目地張 EP パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ニ	現況	鋼製パネル
	改修	既設のまま
ヌ	現況	段裏：モルタル刷毛引き セラカット吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
ネ	現況	段裏：モルタル刷毛引き パールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
ノ	現況	ケイカル板 底目地EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ハ	現況	石綿吸音板t12 捨張 石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5 捨張 岩綿吸音板t9.0
ヒ	現況	コンクリート打放し セラカット吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
フ	現況	クロス張 下地ベニヤt6
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ヘ	現況	軟質石綿板t6 難燃クロス張
	改修	石膏ボードt9.5 捨張 岩綿吸音板t9.0
ホ	現況	難燃クロス張 アスベストラックt8 下地
	改修	石膏ボードt9.5 捨張 岩綿吸音板t9.0
マ	現況	木毛板(太毛)t30 白セメント吹付
	改修	既設のまま
ミ	現況	石膏ボードt9.0 捨貼 岩綿吸音板t19 一部石綿板t8 VP
	改修	石膏ボードt9.5 捨貼 岩綿吸音板t15
ム	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	既設のまま
メ	現況	軟質石綿板t6 溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
モ	現況	石膏ボードt9 ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ヤ	現況	石膏ボードt9 ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5 下地調整の上、吹付タイル
ユ	現況	軟質石綿板t6 底目地張 ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボード
ヨ	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し セラスキン吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
ワ	現況	軽量鉄骨天井下地 軟質石綿板6底目地張 溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ラ	現況	コンクリート打放し パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5

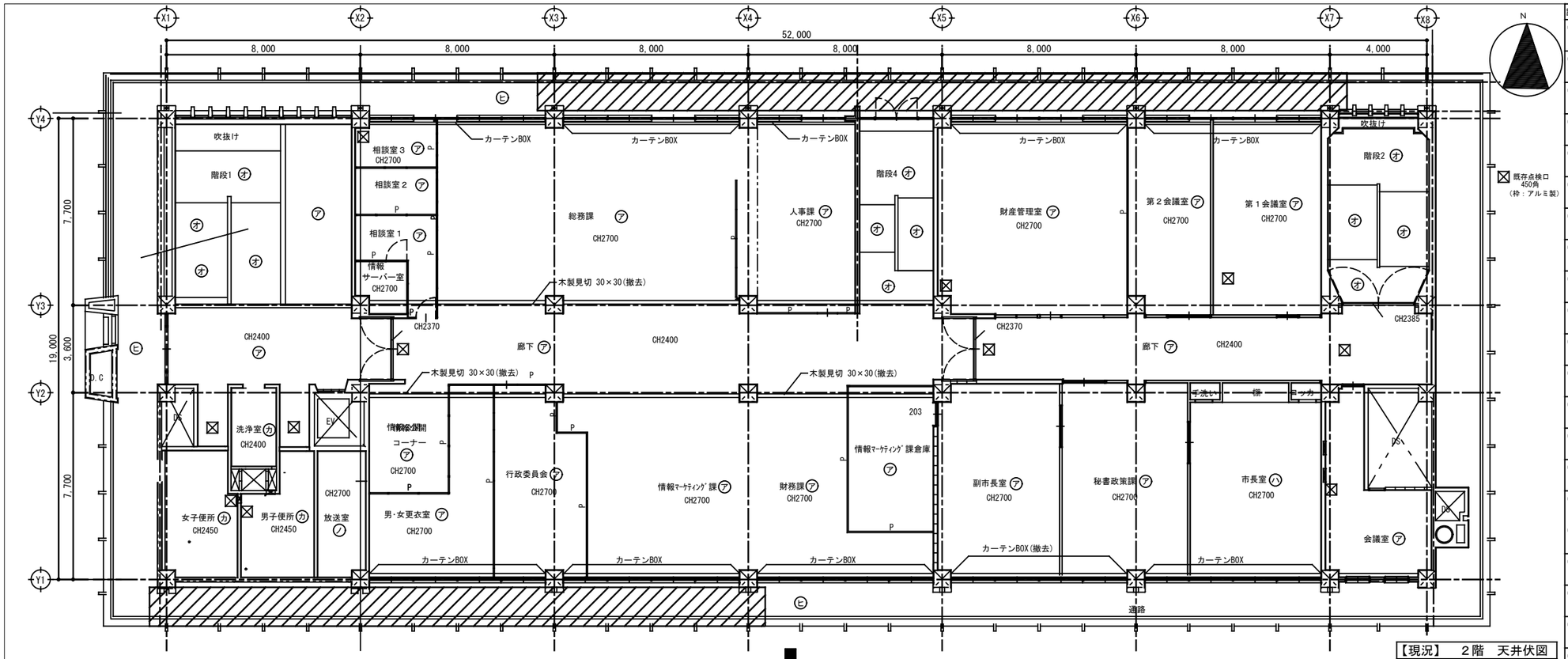
代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【現況】【改修後】地階天井伏図 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	—	令和 7年 10月	A-39
					＊＊＊	整理番号 — —		



記号	現況・改修	既設仕上・改修方法
㋐	現況	岩綿吸音板t12張　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋑	現況	軟質石綿板t6　底目地VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋒	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋓	現況	岩綿吸音板t19　梁型ゾラコート吹付
	改修	石膏ボードt9.5　岩綿吸音板t9.0
㋔	現況	RC部：ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋕	現況	難燃石綿板t6　底目地張VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋖	現況	岩綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋗	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋘	現況	杉柾ベニヤ底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋙	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋚	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋛	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	既設のまま
㋜	現況	石膏ボードt9　底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋝	現況	コンクリート打放しのまま
	改修	既設のまま
㋞	現況	化粧石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋟	現況	木毛板(太毛)t20
	改修	既設のまま
㋠	現況	木毛板(太毛)t20　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋡	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	既設のまま
㋢	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	ケイカル板t6.0
㋣	現況	コンクリート打放し　セラカット吹付
	改修	下地調整の上、吹付タイル
㋤	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋥	現況	鋼製パネル
	改修	既設のまま
㋦	現況	段裏：モルタル刷毛引き　セラカット吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋧	現況	段裏：モルタル刷毛引き　パールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋨	現況	ケイカル板　底目地EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋩	現況	石綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋪	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋫	現況	クロス張　下地ベニヤ6
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋬	現況	軟質石綿板t6　難燃クロス張
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋭	現況	難燃クロス張　アスベストラックt8　下地
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋮	現況	木毛板(太毛)t30　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋯	現況	石膏ボードt9.0　捨貼　岩綿吸音板t19　一部石綿板t8　VP
	改修	石膏ボードt9.5　捨貼　岩綿吸音板t15
㋰	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	既設のまま
㋱	現況	軟質石綿板t6　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋲	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋳	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5　下地調整の上、吹付タイル
㋴	現況	軟質石綿板t6　底目地張　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボード
㋵	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し　セラスキン吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋶	現況	軽量鉄骨天井下地　軟質石綿板6底目地張　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋷	現況	コンクリート打放し　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5

代表者	照　査	担　当		

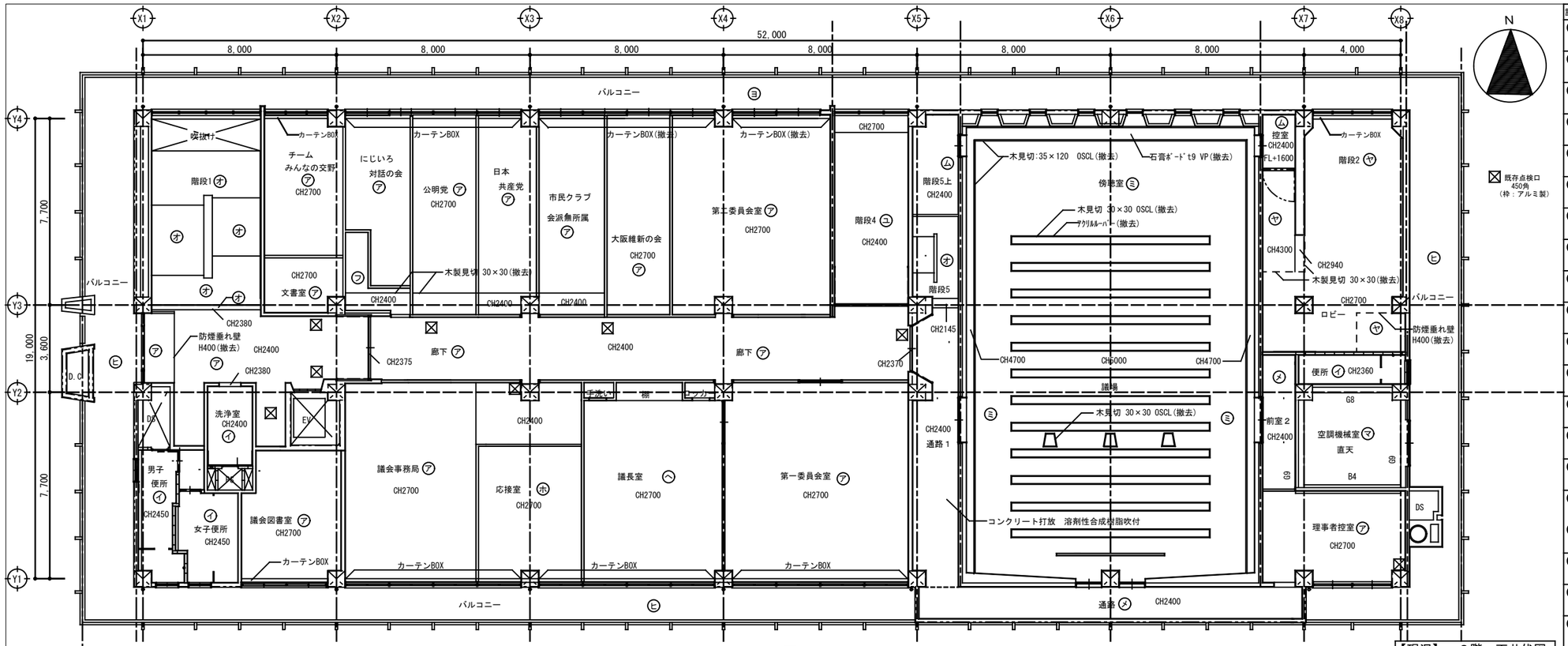
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和 7年　10月
図面名称	【現況】【改修後】1階天井伏図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	A-40
	＊＊＊	— —	



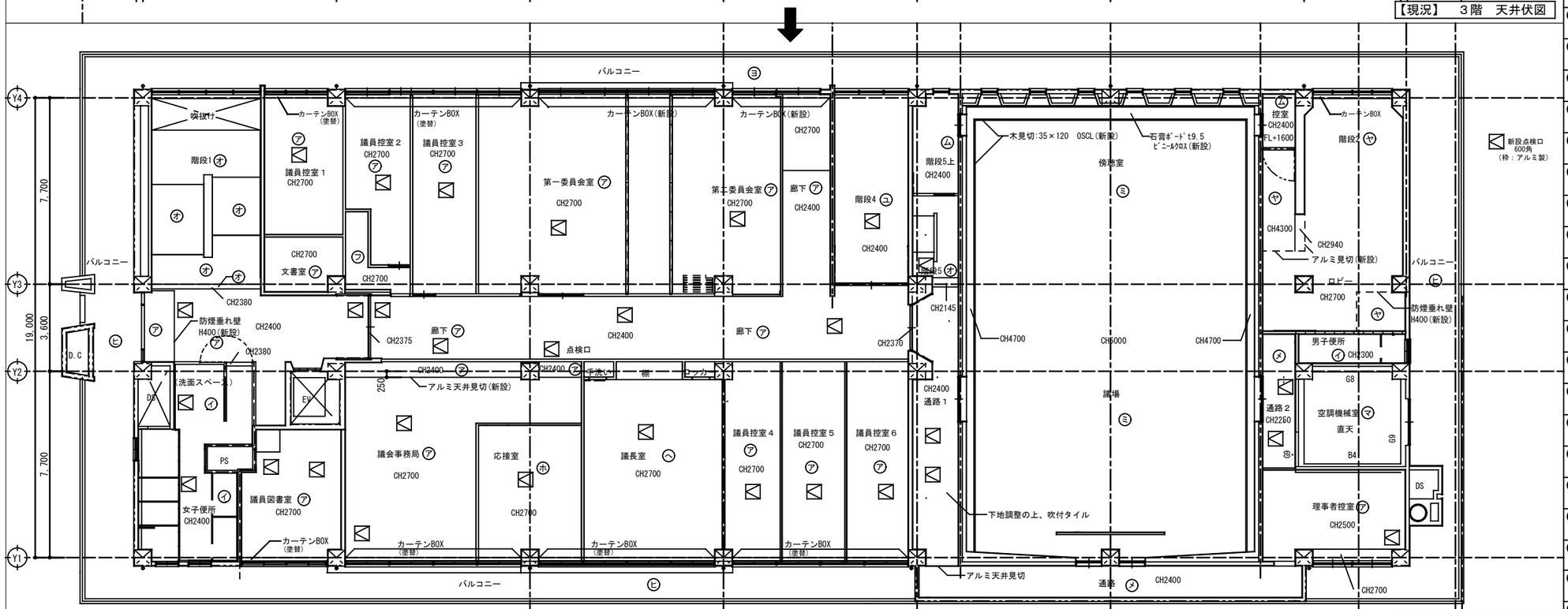
記号	現況・改修	既設仕上・改修方法
㋐	現況	岩綿吸音板t12張　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋑	現況	軟質石綿板t6　底目地VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋒	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋓	現況	岩綿吸音板t19　梁型ゾラコート吹付
	改修	石膏ボードt9.5　岩綿吸音板t9.0
㋔	現況	RC部：ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋕	現況	難燃石綿板t6　底目地張VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋖	現況	岩綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋗	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋘	現況	杉柾ベニヤ底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋙	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋚	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋛	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	既設のまま
㋜	現況	石膏ボードt9　底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋝	現況	コンクリート打放しのまま
	改修	既設のまま
㋞	現況	化粧石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋟	現況	木毛板(太毛)t20
	改修	既設のまま
㋠	現況	木毛板(太毛)t20　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋡	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	既設のまま
㋢	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	ケイカル板t6.0
㋣	現況	コンクリート打放し　セラカット吹付
	改修	下地調整の上、吹付タイル
㋤	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋥	現況	鋼製パネル
	改修	既設のまま
㋦	現況	段裏：モルタル刷毛引き　セラカット吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋧	現況	段裏：モルタル刷毛引き　パールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋨	現況	ケイカル板　底目地EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋩	現況	石綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋪	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋫	現況	クロス張　下地ベニヤ6
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋬	現況	軟質石綿板t6　難燃クロス張
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋭	現況	難燃クロス張　アスベストラックt8　下地
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋮	現況	木毛板(太毛)t30　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋯	現況	石膏ボードt9.0　捨貼　岩綿吸音板t19　一部石綿板t8　VP
	改修	石膏ボードt9.5　捨貼　岩綿吸音板t15
㋰	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	既設のまま
㋱	現況	軟質石綿板t6　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋲	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋳	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5　下地調整の上、吹付タイル
㋴	現況	軟質石綿板t6　底目地張　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボード
㋵	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し　セラスキン吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋶	現況	軽量鉄骨天井下地　軟質石綿板6底目地張　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋷	現況	コンクリート打放し　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和 7年　10月
図面名称	【現況】【改修後】２階天井伏図　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-41



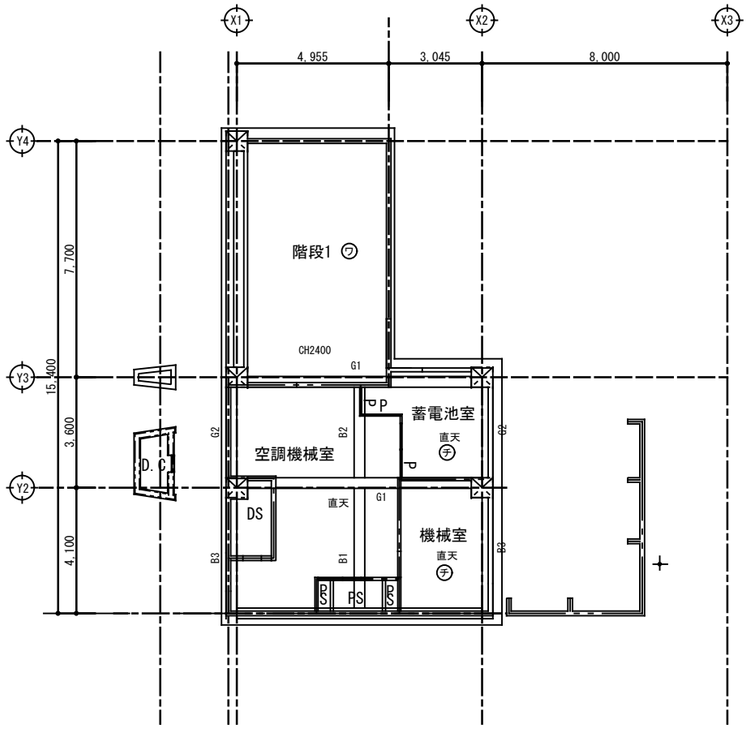
【現況】 3階 天井伏図



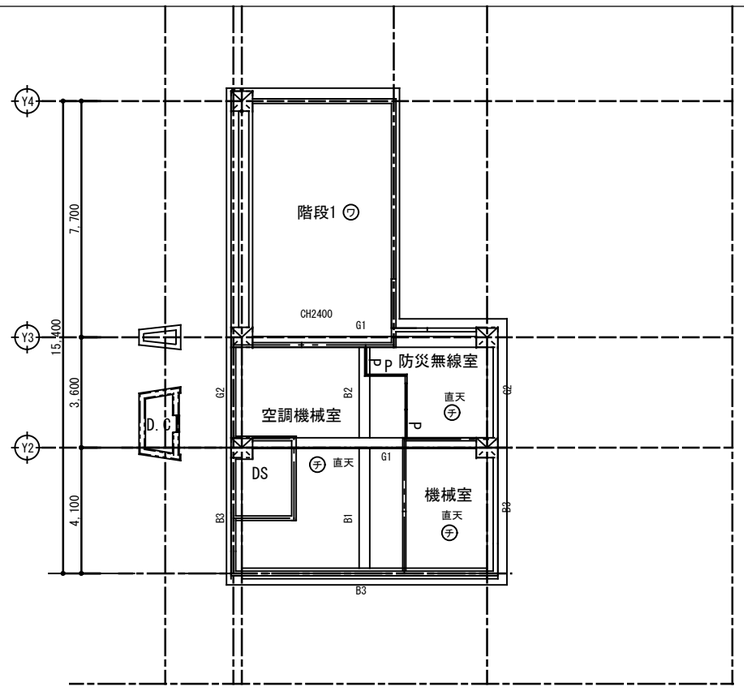
【改修後】３階 天井伏図

記号	現況・改修	既設仕上・改修方法
ア	現況	岩綿吸音板t12張　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
イ	現況	軟質石綿板t6　底目地VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ウ	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
エ	現況	岩綿吸音板t19　梁型ゾラコート吹付
	改修	石膏ボードt9.5　岩綿吸音板t9.0
オ	現況	RC部：ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
カ	現況	難燃石綿板t6　底目地張VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
キ	現況	岩綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ク	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ケ	現況	杉柾ベニヤ底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
コ	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
サ	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
シ	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	既設のまま
ス	現況	石膏ボードt9　底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
セ	現況	コンクリート打放しのまま
	改修	既設のまま
ソ	現況	化粧石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
タ	現況	木毛板(太毛)t20
	改修	既設のまま
チ	現況	木毛板(太毛)t20　白セメント吹付
	改修	既設のまま
ツ	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	既設のまま
テ	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	ケイカル板t6.0
ト	現況	コンクリート打放し　セラカット吹付
	改修	下地調整の上、吹付タイル
ナ	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ニ	現況	鋼製パネル
	改修	既設のまま
ヌ	現況	段裏：モルタル刷毛引き　セラカット吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
ネ	現況	段裏：モルタル刷毛引き　パールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
ノ	現況	ケイカル板　底目地EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ハ	現況	石綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
ヒ	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
フ	現況	クロス張　下地ベニヤ6
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ヘ	現況	軟質石綿板t6　難燃クロス張
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
ホ	現況	難燃クロス張　アスベストラックt8　下地
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
マ	現況	木毛板(太毛)t30　白セメント吹付
	改修	既設のまま
ミ	現況	石膏ボードt9.0　捨貼　岩綿吸音板t19　一部石綿板t8　VP
	改修	石膏ボードt9.5　捨貼　岩綿吸音板t15
ム	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	既設のまま
メ	現況	軟質石綿板t6　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
モ	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ヤ	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5　下地調整の上、吹付タイル
ユ	現況	軟質石綿板t6　底目地張　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボード
ヨ	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し　セラスキン吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
ワ	現況	軽量鉄骨天井下地　軟質石綿板6底目地張　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
ラ	現況	コンクリート打放し　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5

代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【現況】【改修後】３階天井伏図	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	令和 7年 10月	A-42
					＊＊＊	整理番号 — —		



【現況】　R階　天井伏図



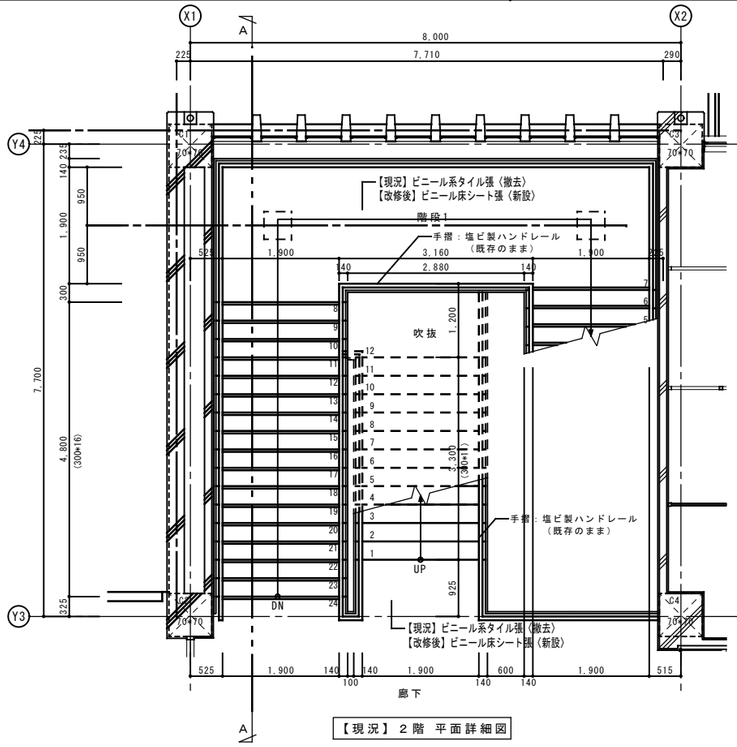
【改修後】R階　天井伏図

設備天井開口補強リスト

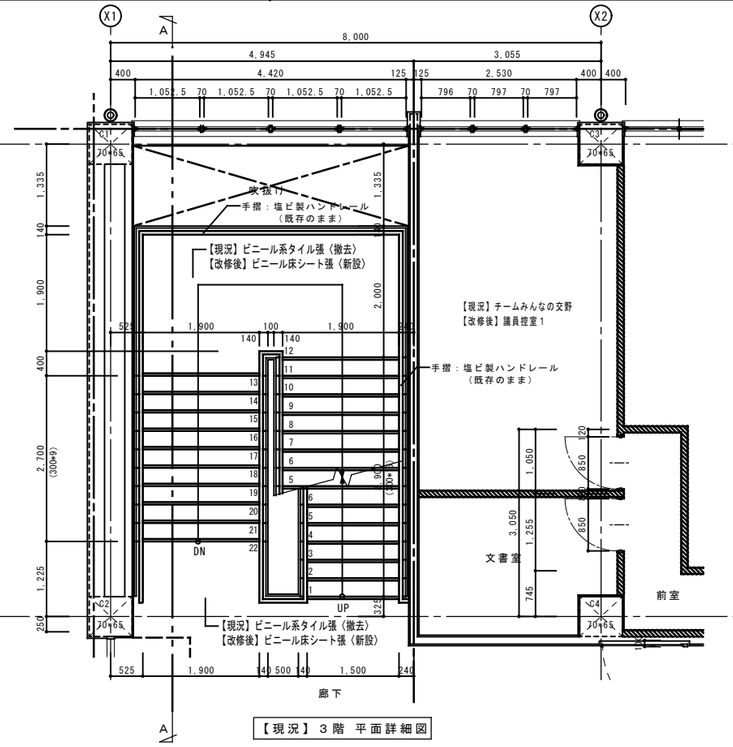
種別		埋込寸法	BF	1F	2F	3F		計（台）
電気	照明器具	150×1235	30	168	181	120		499
		150×2445				48		48
		600×600		24	14	8		46
		φ100	9	18	29	37		93
		φ175	12	25	22	23		82
		φ200				19		19
	スピーカー	φ300	13	16	14	25		68
空調	エアコン	900×900	8	16	13	18		55
	制気口	1100×500			8			8
		500×500		1	12	3		16
		1200×100		2				2
		1300×250		1	1			2
		1500×200		10	9	10		29
		1500×450		1	1			2
		2000×200			1			1
		2500×200			1			1
		4000×200		1				1
換気	ロスナイ	500×500	5	1	1	6		13
	制気口	300×300				4		4
		350×350		2				2
		700×250		6				6
		850×300				6		6
		1400×250		1				1

記号	現況・改修	既設仕上・改修方法
㋐	現況	岩綿吸音板t12張　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋑	現況	軟質石綿板t6　底目地VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋒	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋓	現況	岩綿吸音板t19　梁型ゾラコート吹付
	改修	石膏ボードt9.5　岩綿吸音板t9.0
㋔	現況	RC部：ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋕	現況	難燃石綿板t6　底目地張VP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋖	現況	岩綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋗	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋘	現況	杉柾ベニヤ底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋙	現況	石膏ボードt9　捨張　岩綿吸音板t12
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋚	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋛	現況	木毛板(太毛)t20　打込　梁型モルタルコテ押え　EP
	改修	既設のまま
㋜	現況	石膏ボードt9　底目地張
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋝	現況	コンクリート打放しのまま
	改修	既設のまま
㋞	現況	化粧石膏ボードt9
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋟	現況	木毛板(太毛)t20
	改修	既設のまま
㋠	現況	木毛板(太毛)t20　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋡	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	既設のまま
㋢	現況	木毛板(太毛)t20　打込
	改修	ケイカル板t6.0
㋣	現況	コンクリート打放し　セラカット吹付
	改修	下地調整の上、吹付タイル
㋤	現況	石膏ボードt9　底目地張　EP　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋥	現況	鋼製パネル
	改修	既設のまま
㋦	現況	段裏：モルタル刷毛引き　セラカット吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋧	現況	段裏：モルタル刷毛引き　パールスキン吹付
	改修	段裏：下地調整の上、吹付タイル
㋨	現況	ケイカル板　底目地EP
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋩	現況	石綿吸音板t12　捨張　石膏ボードt9
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋪	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋫	現況	クロス張　下地ベニヤ6
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋬	現況	軟質石綿板t6　難燃クロス張
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋭	現況	難燃クロス張　アスベストラックt8　下地
	改修	石膏ボードt9.5　捨張　岩綿吸音板t9.0
㋮	現況	木毛板(太毛)t30　白セメント吹付
	改修	既設のまま
㋯	現況	石膏ボードt9.0　捨貼　岩綿吸音板t19　一部石綿板t8　VP
	改修	石膏ボードt9.5　捨貼　岩綿吸音板t15
㋰	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し、ネオパールスキン吹付
	改修	既設のまま
㋱	現況	軟質石綿板t6　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋲	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋳	現況	石膏ボードt9　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5　下地調整の上、吹付タイル
㋴	現況	軟質石綿板t6　底目地張　ネオパールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボード
㋵	現況	ベニヤ型枠コンクリート打放し　セラスキン吹付
	改修	下地調整の上、可とう形外装塗材E
㋶	現況	軽量鉄骨天井下地　軟質石綿板6底目地張　溶剤性合成樹脂吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5
㋷	現況	コンクリート打放し　パールスキン吹付
	改修	化粧石膏ボードt9.5

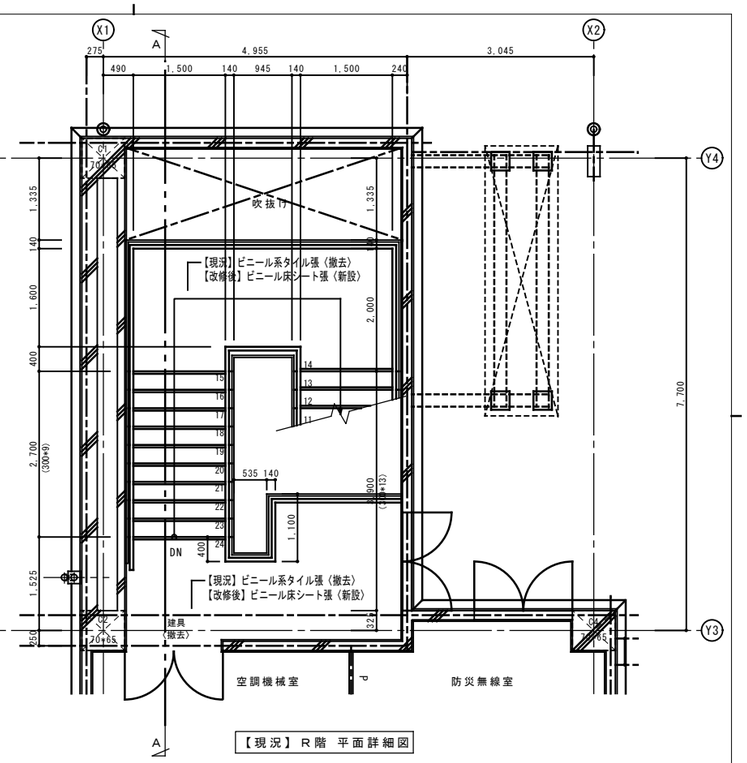
代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
							—	令和 7年　10月	A-43
					図面名称	【現況】【改修後】R階天井伏図・設備天井開口補強リスト　縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	整理番号		
						＊＊＊	—	—	



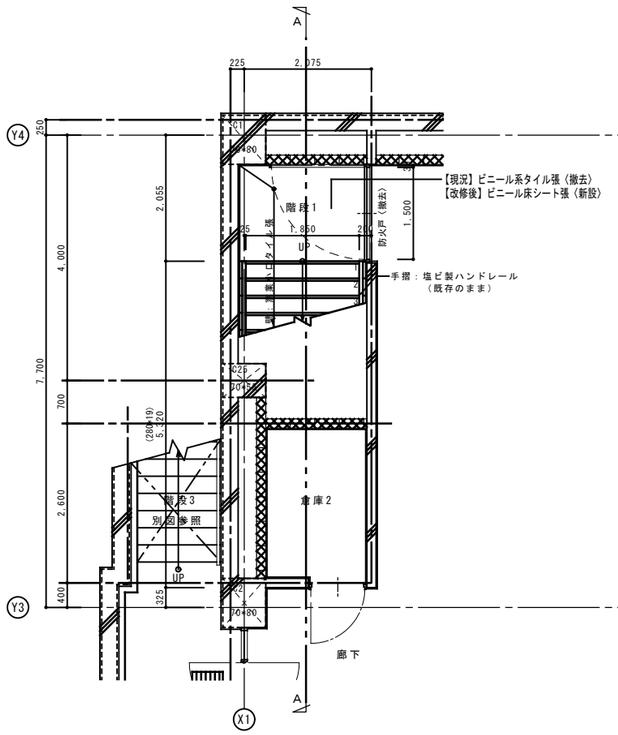
【現況】２階 平面詳細図



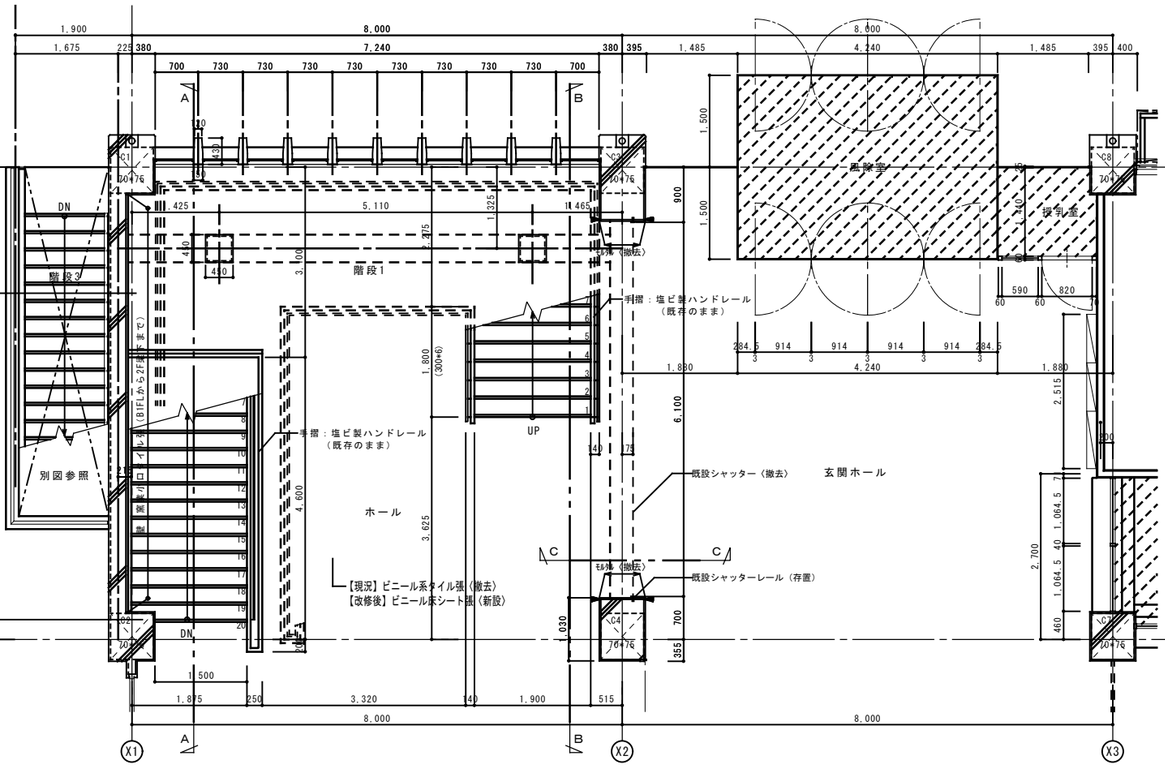
【現況】３階 平面詳細図



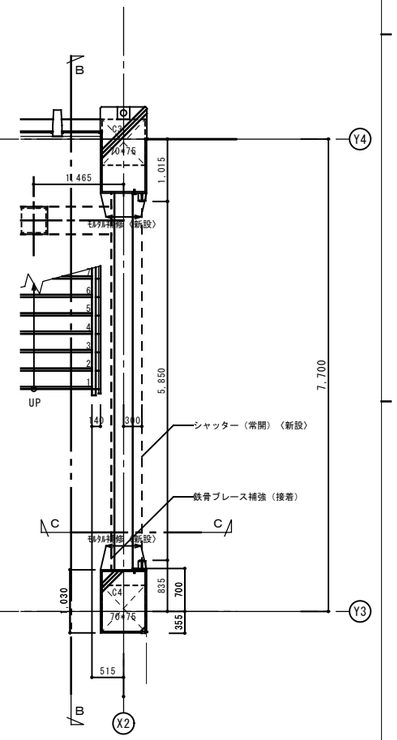
【現況】Ｒ階 平面詳細図



【現況】地階 平面詳細図



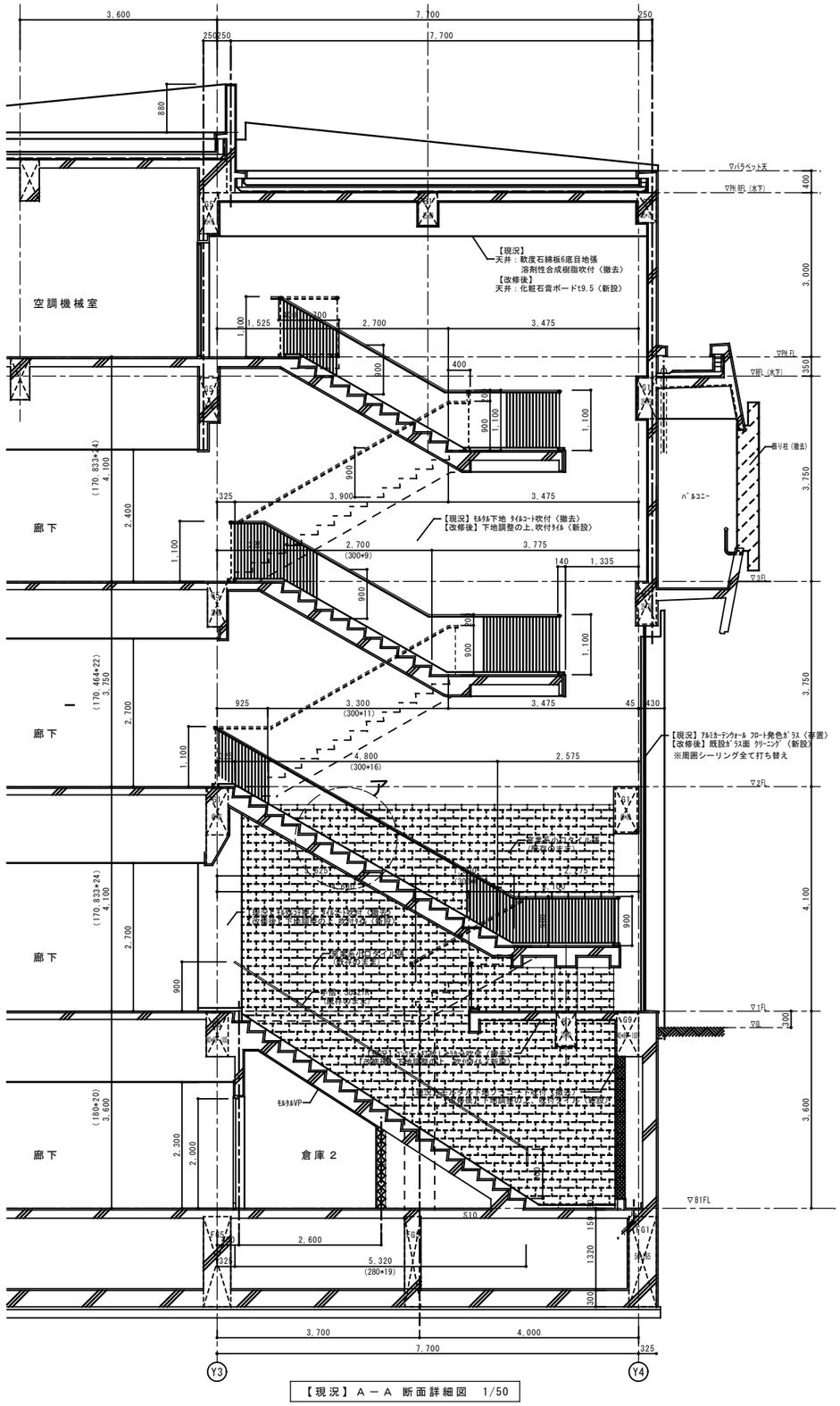
【現況】１階 平面詳細図



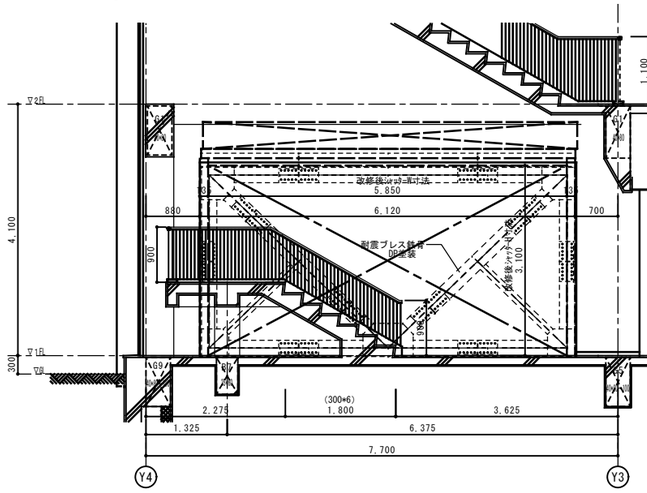
【改修後】１階 平面詳細図（X2通）

代表者	照 査	担 当		

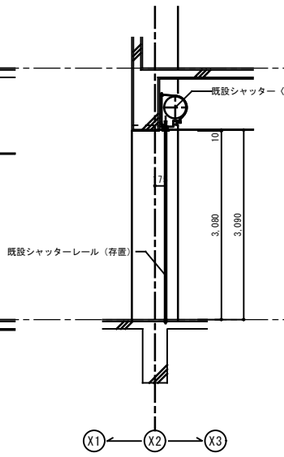
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年 **月
図面名称	【現況】【改修後】階段1 平面詳細図	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号 A-44
	* * *	整理番号 — —	



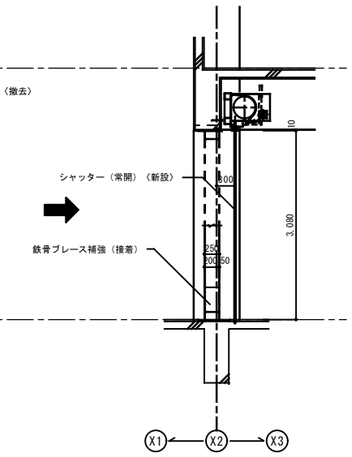
【現況】Ａ－Ａ 断面詳細図 1/50



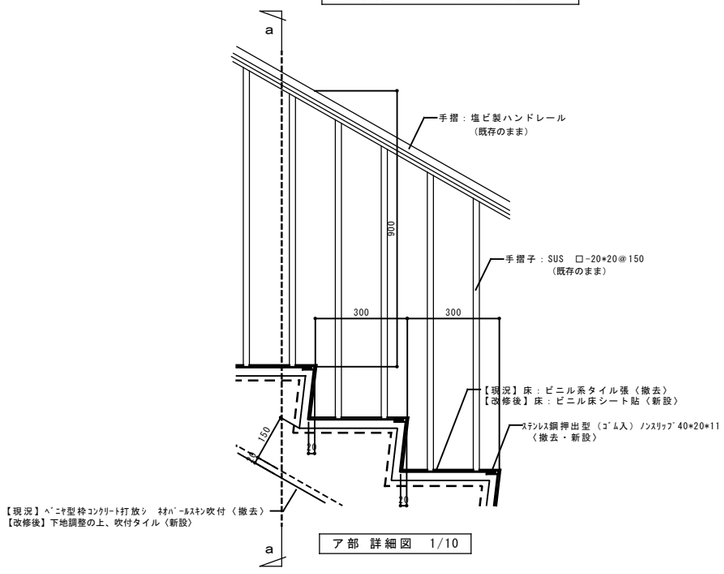
【改修後】Ｂ－Ｂ 断面詳細図 1/50



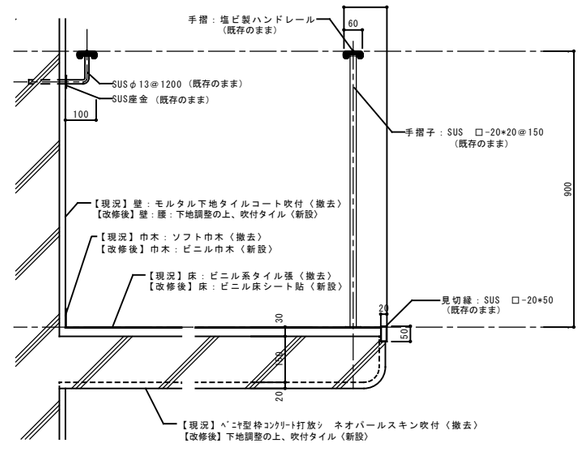
【現況】Ｃ－Ｃ 断面詳細図 1/50



【改修後】Ｃ－Ｃ 断面詳細図 1/50



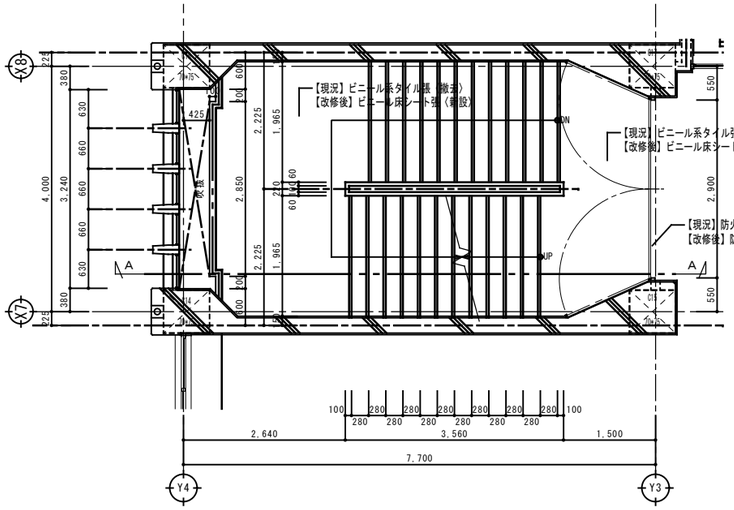
ア部 詳細図 1/10



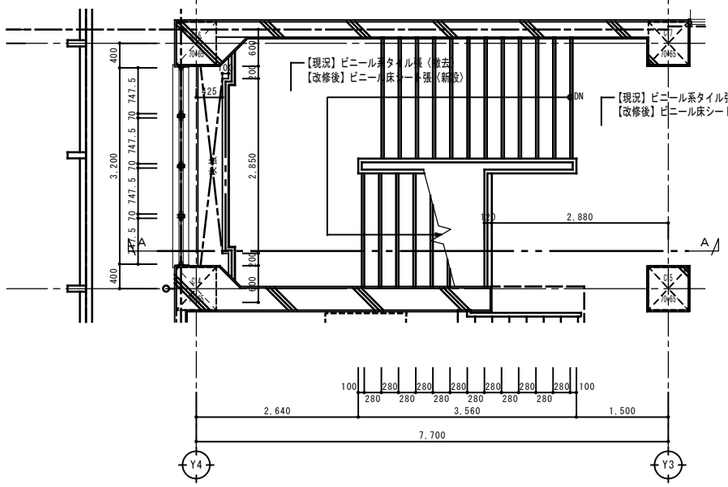
ａ－ａ 断面図 1/10

階		床	巾木	H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	CH	備考
R階	現況	ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地 タイルコート吹付	LGS【撤去】	軽量鉄骨天井下地 軟度石綿板6底目地張 溶剤性合成樹脂吹付【撤去】	2400	室名札
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】	LGS【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	
3階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地 タイルコート吹付【撤去】	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	2400	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60	【新設】	下地調整の上、吹付タイル【新設】 （不燃）【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	2400	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
2階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地タイルコート吹付 一部ｱﾙﾐｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ ﾌﾛｰﾄ発色ｶﾞﾗｽ	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ ネオパールスキン吹付【撤去】	－	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		腰：下地調整の上、吹付タイル 壁：既設ガラス面 クリーニング	CON	段裏:下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
1階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】 側板:ｽﾃﾝﾚｽﾍﾏﾗｲﾝ加工	60 2mm		腰：モルタル刷毛引き、 タイルコート吹付【撤去】 壁：フロート発色ガラス、タイル張 ネオプレーンガスケット止め		段裏:モルタル刷毛引き セラカット吹付【撤去】	－	パイプ手摺 一部吹付 階数表示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】 側板:既設のまま	60		腰：下地調整の上、吹付タイル【新設】 壁：既設ガラス・タイル面 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
地階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル下地ゾラコート吹付 一部窯業小口タイル張	CON	コンクリート打放し セラカット吹付	－	【撤去】階数表示板、防火戸(枠共)
	改修後	踏面・蹴上：ビニール床シート貼 【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、吹付タイル【新設】 タイル面 既設のまま	CON	下地調整の上、吹付タイル【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)

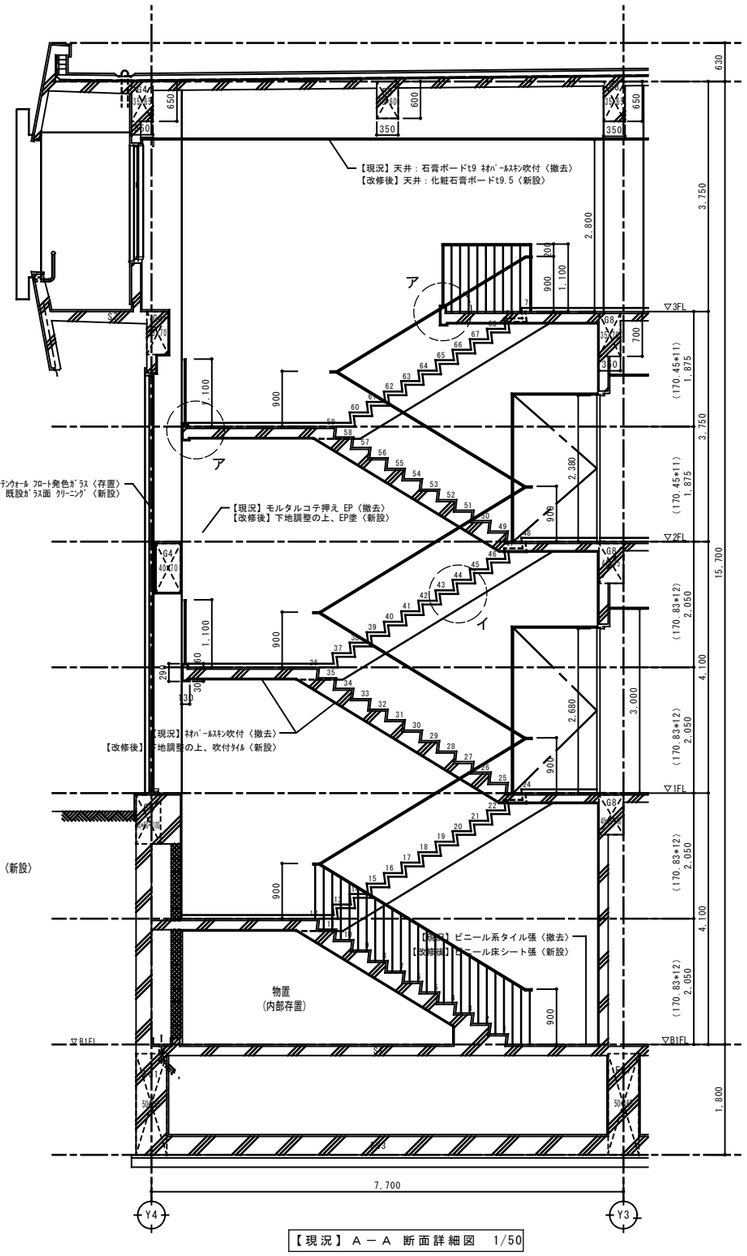
代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和**年 **月	A-45
				図面名称 【現況】【改修後】階段１ 断面詳細図 縮尺 1/10,1/50(A1) 1/20,1/100(A3)	整理番号 ― ―		
				* * *			



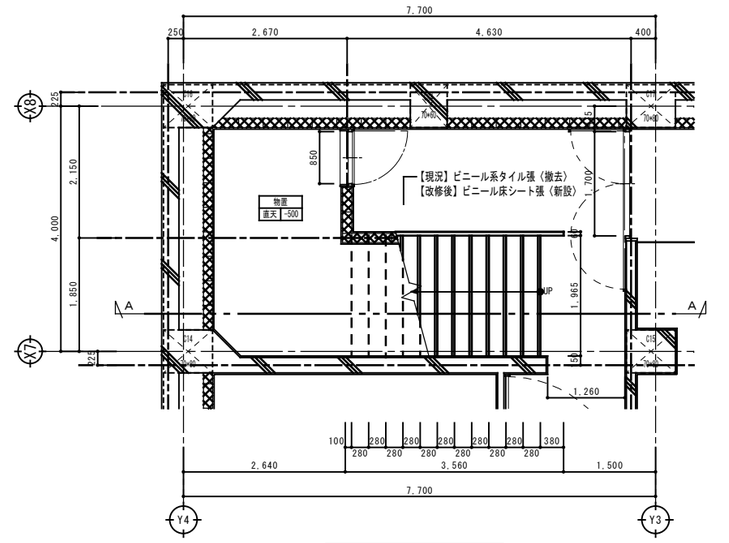
【現況】１階 平面詳細図



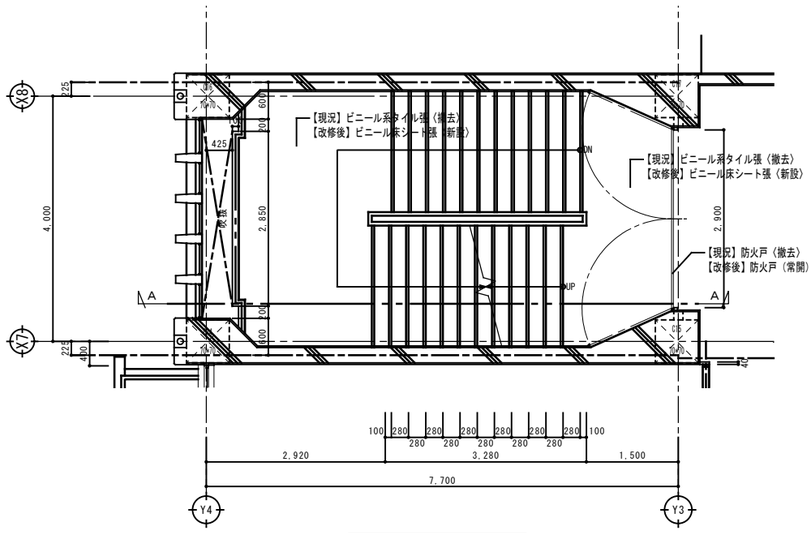
【現況】３階 平面詳細図



【現況】Ａ－Ａ 断面詳細図 1/50

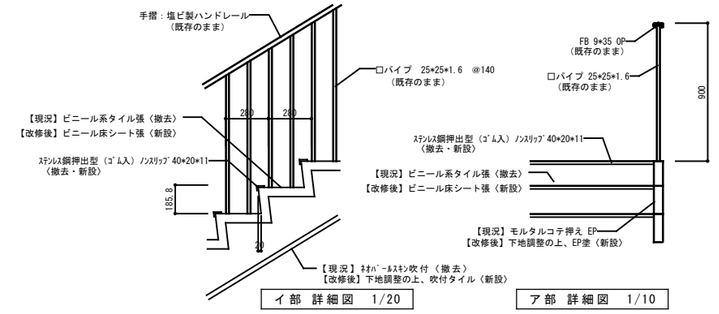


【現況】地階 平面詳細図



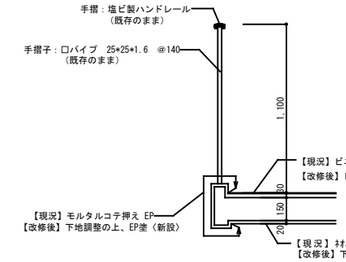
【現況】２階 平面詳細図

階		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
3階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP		石膏ボード t9 ネオパールスキン吹付【撤去】	2700	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)、防煙垂れ壁
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		化粧石膏ボード t9.5【新設】 下地調整の上、吹付タイル	2700	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)、防煙垂れ壁
2階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP【撤去】	CON	RC部:ベニヤ型枠コンクリート打放し ネオパールスキン吹付【撤去】	—	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付ﾀｲﾙ【新設】	—	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
1階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタル押え EP【撤去】		段裏:モルタル刷毛引き パールスキン吹付【撤去】	—	パイプ手摺 階数表示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		段裏:下地調整の上、吹付タイル 【新設】	—	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
地階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押えEP	CON	コンクリート打放し パールスキン吹付	—	手摺 【撤去】階数表示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニール床シート貼	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	下地調整の上、吹付タイル【新設】	—	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)



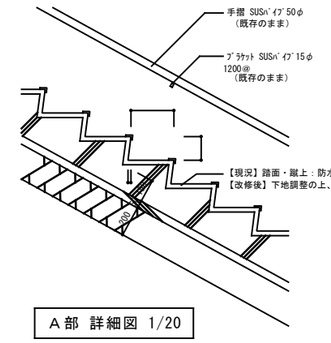
イ部 詳細図 1/20

ア部 詳細図 1/10

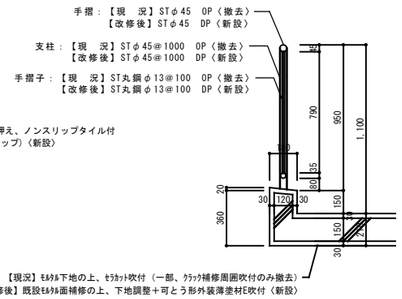


ア部 詳細図 1/10

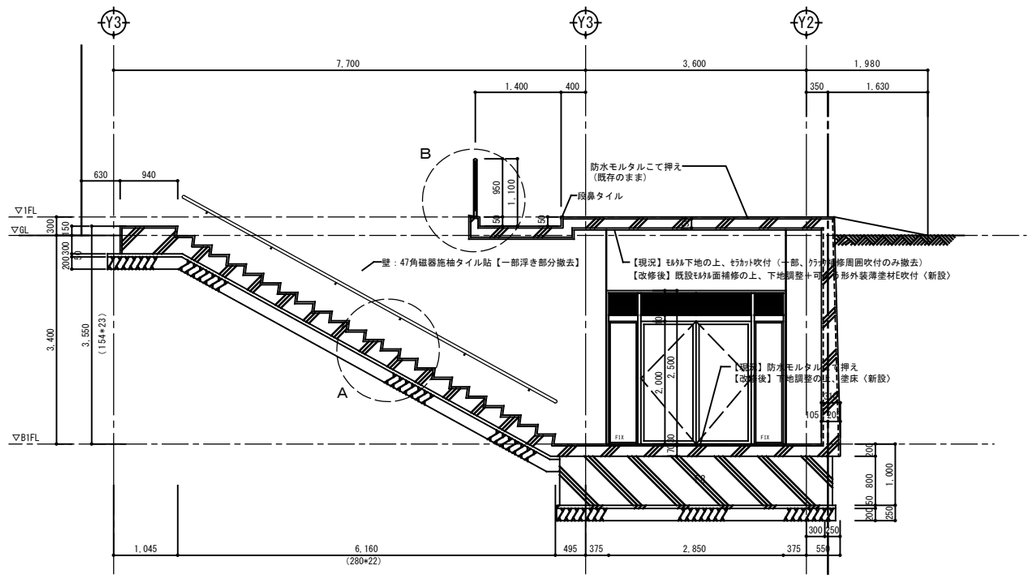
代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【現況】【改修後】階段２ 平面詳細図 断面詳細図	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	A-46
					＊＊＊			



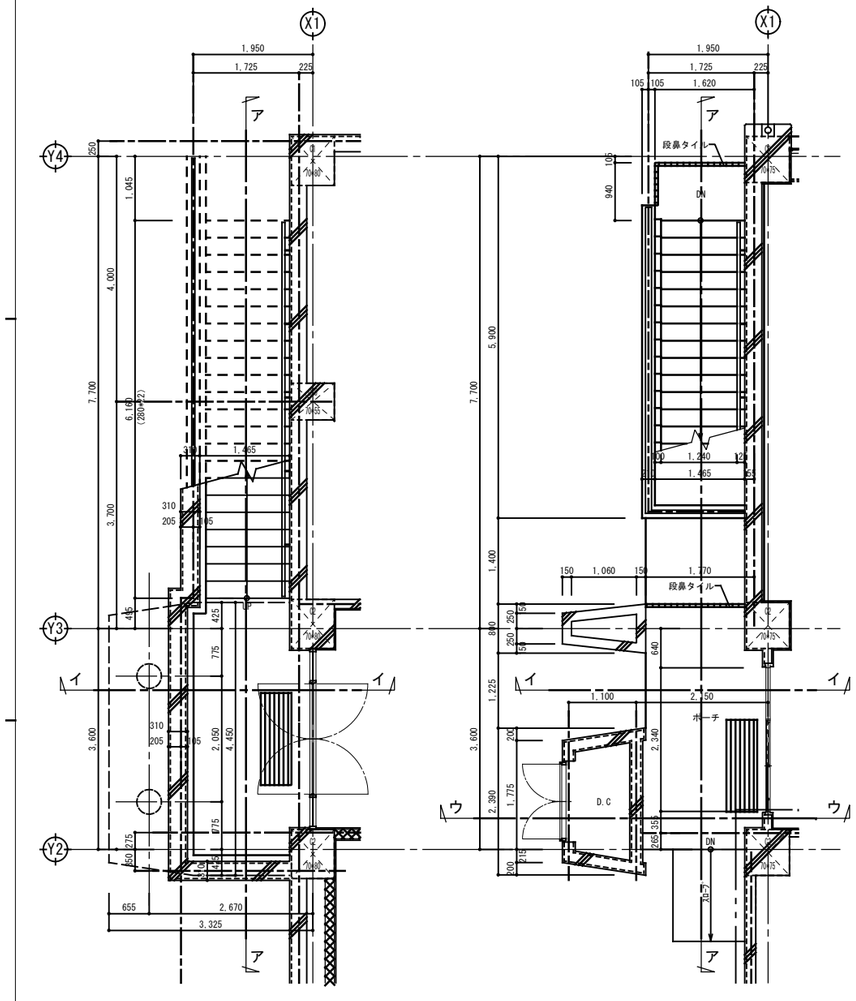
A部 詳細図 1/20



B部 詳細図 1/20

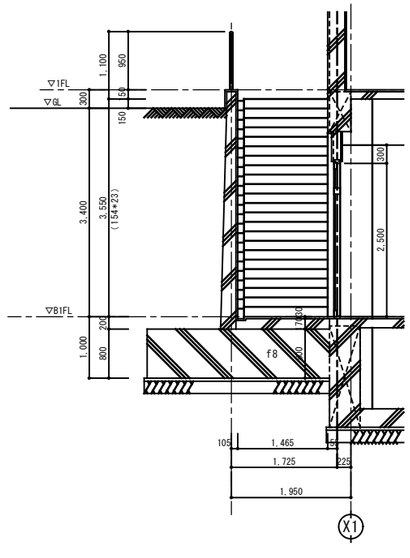


アーア 断面詳細図 1/50

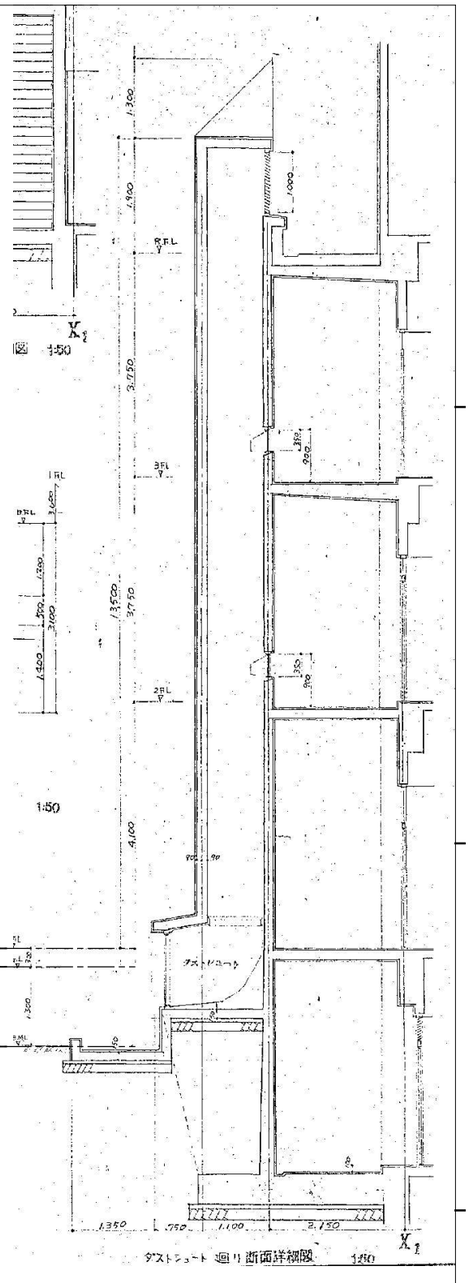


【現況】【改修後】地階 平面詳細図 1/50

【現況】【改修後】１階 平面詳細図 1/50



イーイ 断面詳細図 1/50

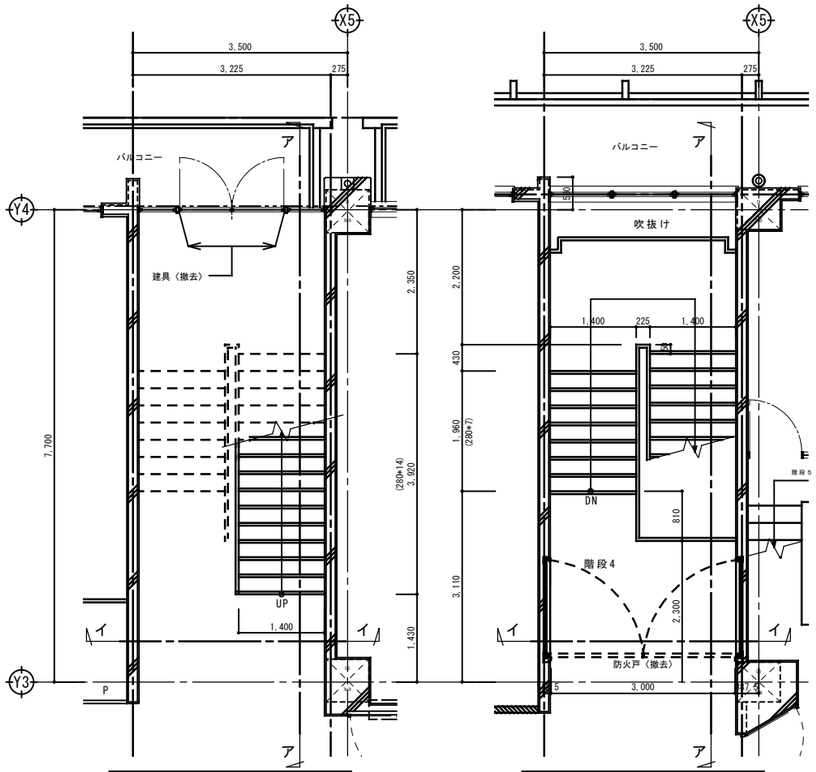


ウーウ 断面詳細図 1/50

部位	仕上	
	現況	改修後
西側出入口	ポーチ床 モルタルこて押え	既存のまま
	ポーチ巾木 段鼻タイル	既存のまま
	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ現打壁、モルタル下地の上、ｾﾗｶｯﾄ吹付（一部、ｸﾗｯｸ補修周囲吹付のみ撤去）	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ現打壁、既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材CE吹付【新設】
	天井：モルタル下地の上、ｾﾗｶｯﾄ吹付（一部、ｸﾗｯｸ補修周囲吹付のみ撤去）	天井：既設モルタル面補修の上、下地調整＋可とう形外装薄塗材E吹付〈新設〉
階段3	床面：防水モルタルこて押え	下地調整の上、塗床（ノンスリップ）【新設】
	踏面：縁上 防水モルタルこて押え、ノンスリップタイル付	下地調整の上、塗床（ノンスリップ）【新設】
	巾木：防水モルタルこて押え	下地調整の上、塗床【新設】
	踏面：モルタルコテ押えの上、ゼラート吹付	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材CE吹付【新設】
	壁【外装薄張磁タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材CE吹付【新設】
	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ現打壁	下地調整の上、ｾﾗｶｯﾄ吹付塗装仕上【新設】
	ｽﾁｰﾙ手すり（ﾋﾞﾆｰﾙ被ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ50×9）W ステンレス巾	既存のまま
	手摺：SUS製パイプ50φ	既存のまま

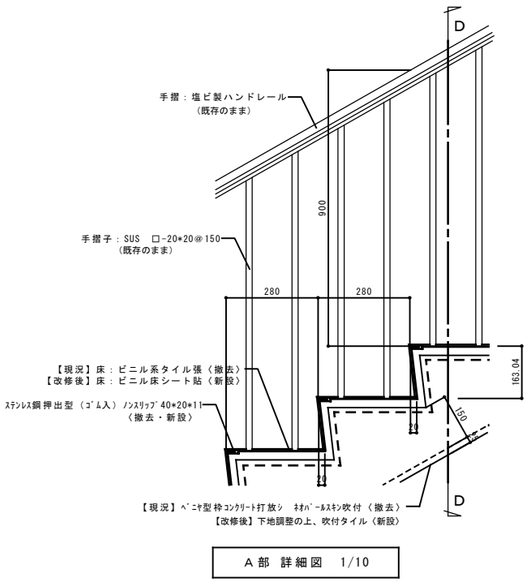
代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-47
図面名称 【現況】【改修後】階段３ 平面詳細図・断面詳細図	縮尺 1/20,1/50(A1) 1/40,1/100(A3)	整理番号	— —
* * *			

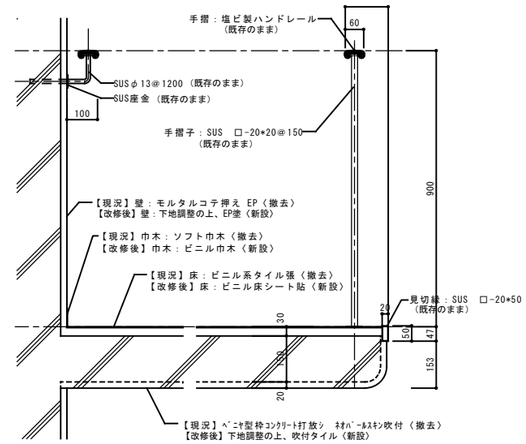


【現況】２階 平面詳細図 1/50

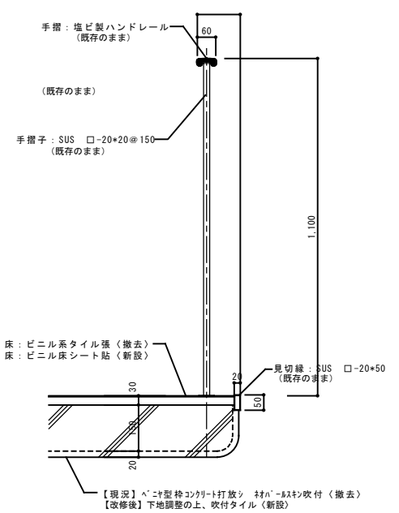
【現況】３階 平面詳細図 1/50



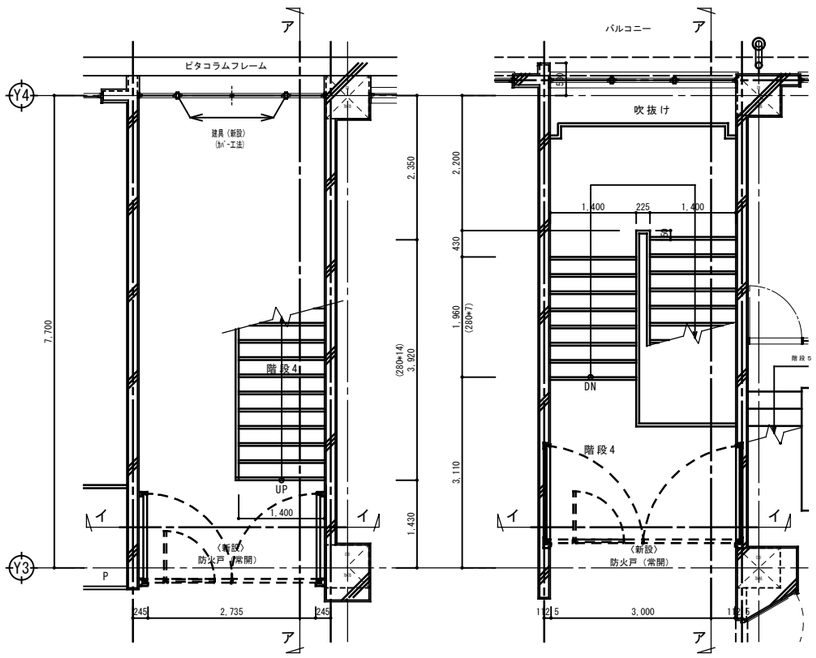
Ａ部 詳細図 1/10



Ｄ部 断面詳細図 1/10

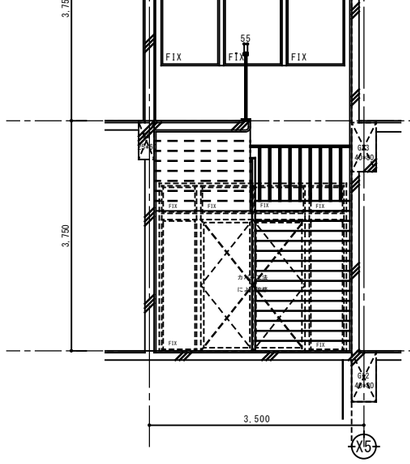


Ｂ部 詳細図 1/10

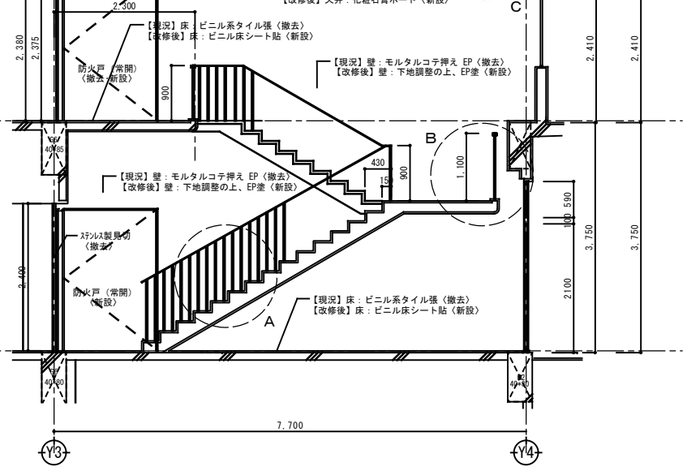


【改修後】２階 平面詳細図 1/50

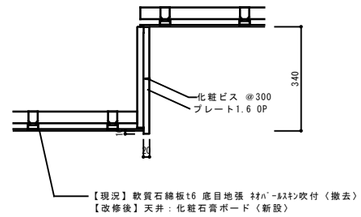
【改修後】３階 平面詳細図 1/50



イ－イ 断面詳細図 1/50



ア－ア 断面詳細図 1/50

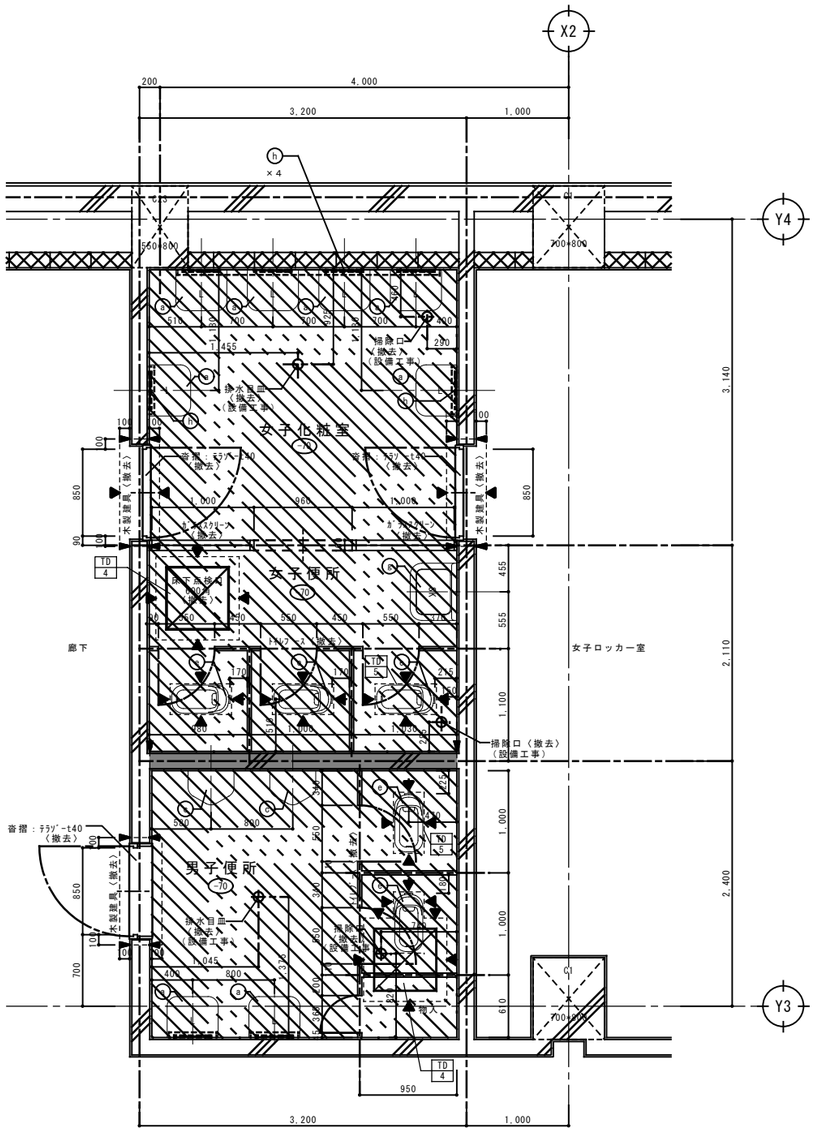


Ｃ部 詳細図 1/10

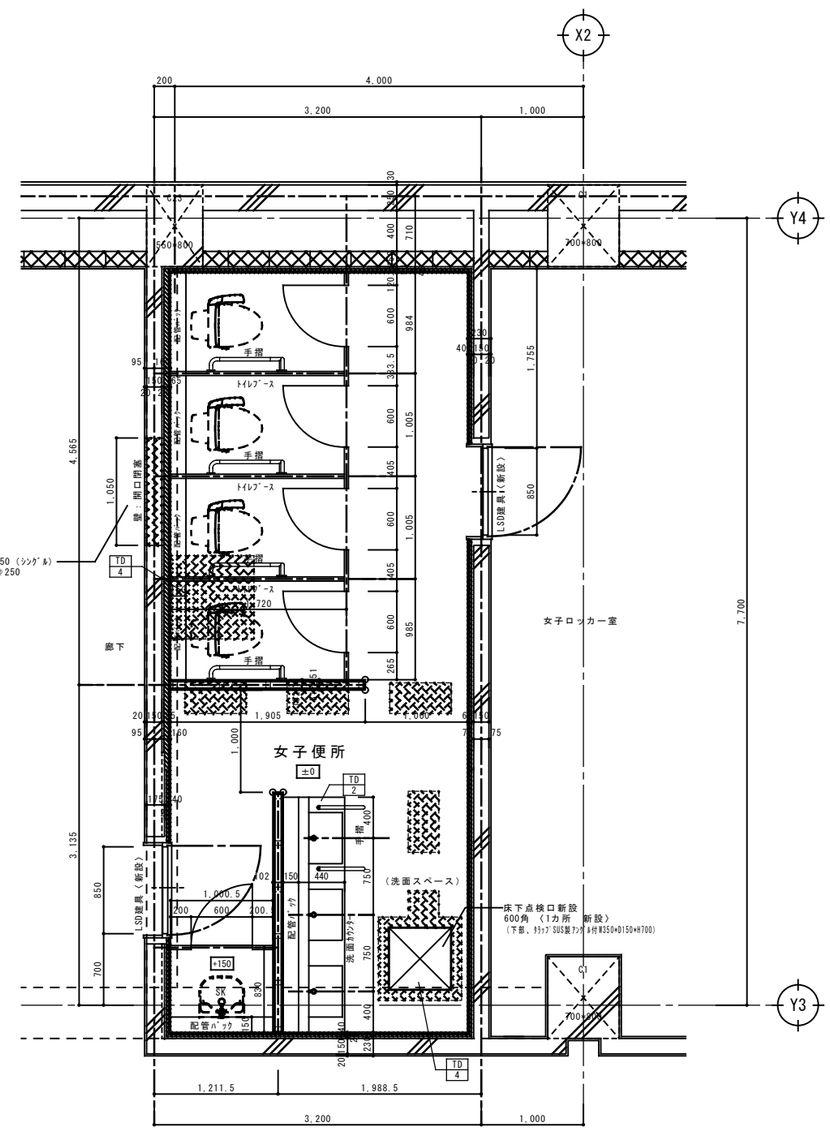
Ｃ詳細図

階		床	巾木	H	下地	壁	下地	天井	CH	備考
3階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP【撤去】		軟質石綿板t6 底目地張 ネオパールスキン吹付【撤去】	2700	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板、防火戸(枠共)
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】		化粧石膏ボード【新設】	2700	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)
2階	現況	踏面、蹴上共 ビニール系タイル張【撤去】	ソフト巾木【撤去】	60		モルタルコテ押え EP【撤去】	CON	RC部:ﾍﾞﾆﾔ型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ネオパールスキン吹付【撤去】	－	手摺、一部吹抜 【撤去】階数提示板
	改修後	踏面・蹴上：ビニル床シート貼【新設】	ビニル巾木【新設】	60		下地調整の上、EP塗【新設】	CON	段裏:下地調整の上、吹付ｹｲﾙ【新設】	－	【新設】防火戸(枠共、遮煙、煙感連動)

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-48
					図面名称 【現況】【改修後】階段４ 平面詳細図・断面詳細図 縮尺 1/20,1/50(A1) 1/40,1/100(A3)	整理番号 — —		
					* * *			



【現況】地階平面詳細図　1/30



【改修後】地階平面詳細図　1/30

※タラップ：杉田エース・SUSアングルタラップ700又は同等品

展開

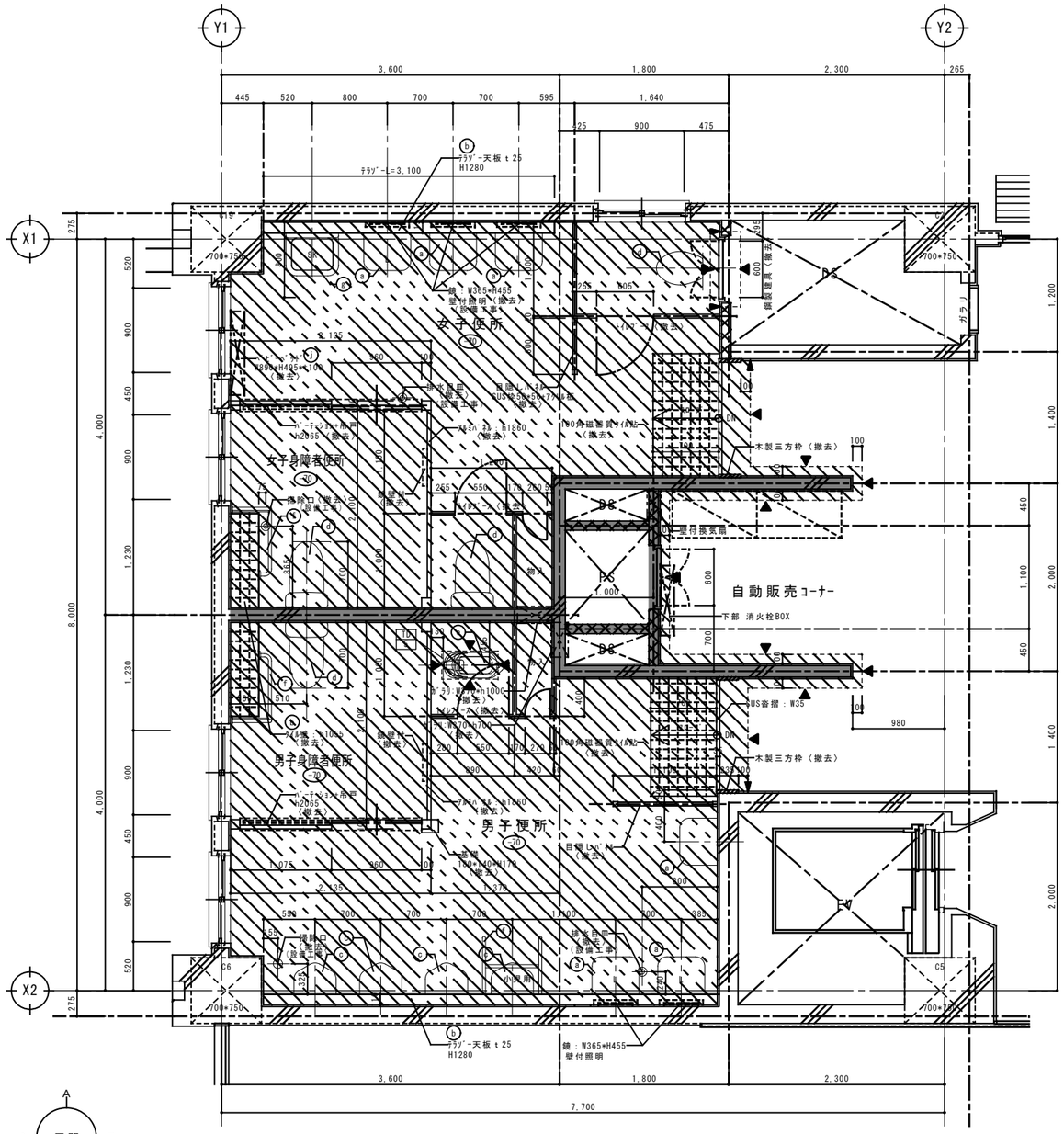
室名		床	巾木	h	下地	壁	下地	天井	CH	備考
【現況】男子便所 女子便所 ↓ 【改修後】女子トイレ	現況	磁器質モザイクタイル張【撤去】	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】			100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 既日地張 VP【撤去】	2380	【撤去】トイレブース、鏡、室名札、床点検口
	改修後	薬上げモルタルの上、抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5（GL工法）+化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2300	【新設】トイレブース、洗面台、配管パック、大型鏡、床点検口
【現況】化粧室 ↓ 【改修後】女子トイレ	現況	磁器質モザイクタイル張【撤去】	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	60		100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 既日地張 VP【撤去】	2380	【撤去】トイレブース、スクリーン、鏡、室名札
	改修後	※仕上は、上記【改修後】女子トイレによる								

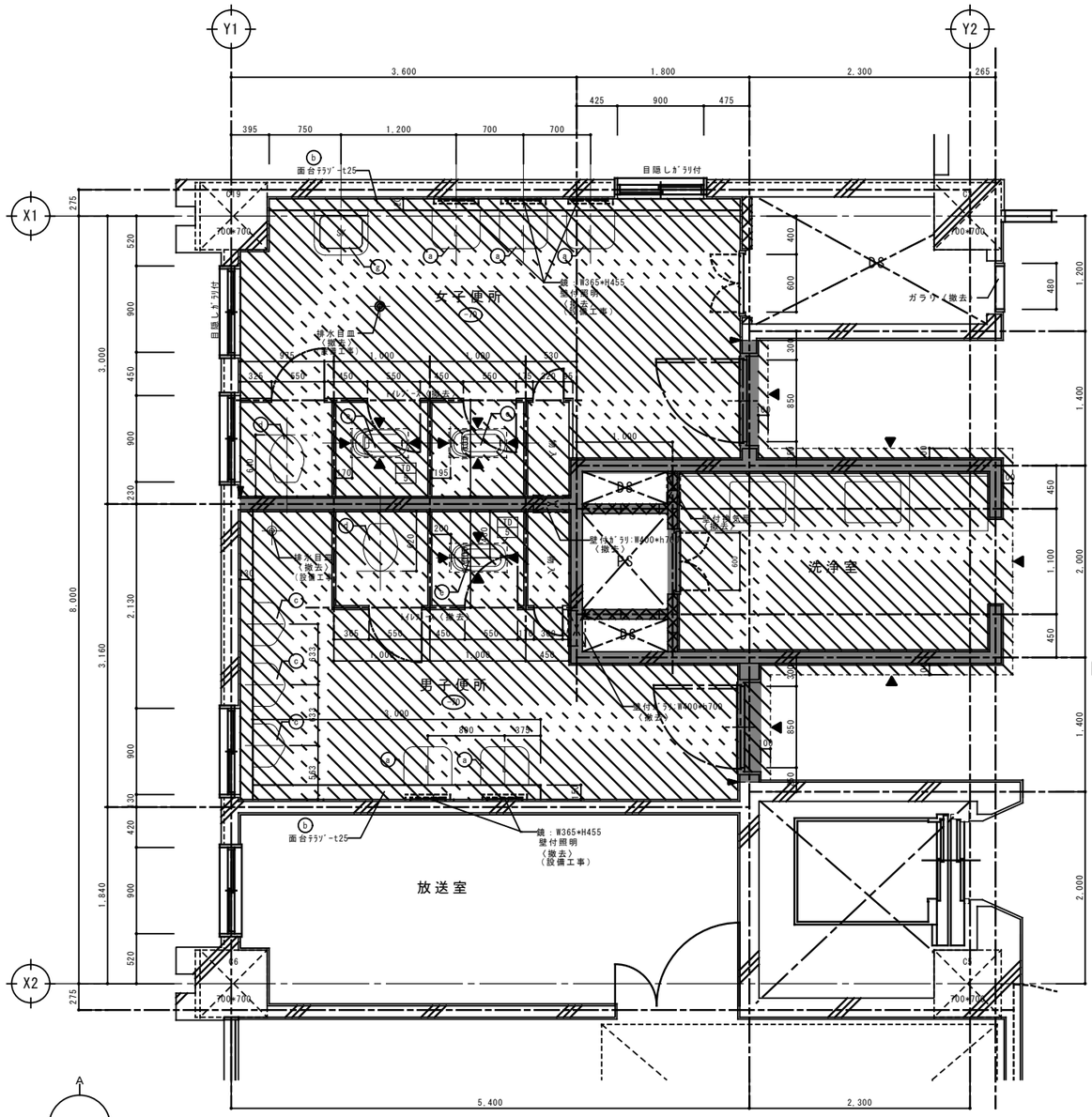
凡例<撤去>			
a	手洗い器<撤去>（機械設備）		床スラブ撤去を示す<D-12>
b	配管パック<撤去>		開口閉塞を示す<D-12>
c	小便器撤去<撤去>（機械設備）		撤去壁（RC、CB、ﾓﾙﾀﾙ）を示す
d	洋便器<撤去>（機械設備）	○	壁：ｺｰﾅｰｼﾞｮｲﾝﾄ　ﾀｲﾙ製　15*15
e	和便器<撤去>	▼	床：カッター切（モルタル）を示す
f	SUS製補助手摺φ45<撤去>	▼	壁：カッター切（モルタル）を示す
g	SK<撤去>（機械設備）	▽	ピクトサイン位置を示す<D-13>
h	鏡・陶器製棚<撤去>（機械設備）		
i	壁付照明<撤去>		
j	ベビーベッド（W800xD150xH450）<撤去>		
k			
l			

	床タイル撤去範囲を示す（モルタル下地共）
	コンクリートブロック壁を示す
	ＧＬ工法の範囲を示す
LGS	LGS下地（65型）の壁を示す
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
TO 1	トイレ内部詳細図記号

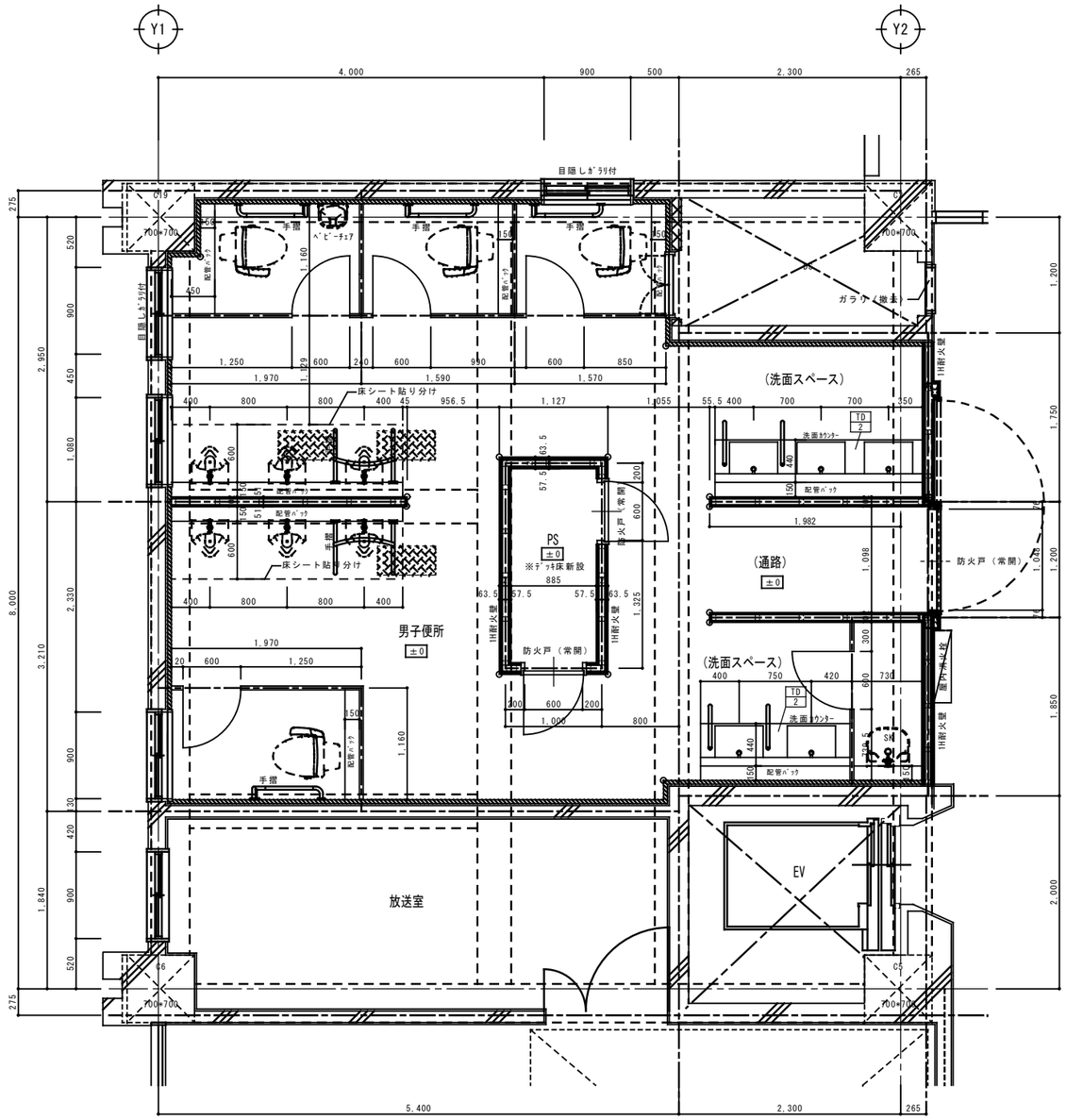
代表者	照　査	担　当	

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【現況】【改修後】地階　便所詳細図 縮尺 1/30（A1） 1/60(A3)	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-49


Y1
Y2
X1
X2
女子便所
女子身障者便所
男子身障者便所
男子便所
自動販売コーナー
下部 消火栓BOX
木製三方枠（撤去）
壁付換気扇
手洗い（撤去）
鏡 W365×H455
壁付照明（撤去）
ﾃﾗｿﾞｰ天板 t 25
H1280
ﾃﾗｿﾞｰL=3,100
ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ共用
H2065（撤去）
ｶｳﾝﾀｰ H1060
（撤去）
ｶｳﾝﾀｰ H1360
（撤去）
ｶｳﾝﾀｰ H1055
（撤去）
ｶｳﾝﾀｰ H1060
（撤去）
ｶｳﾝﾀｰ H1360
（撤去）
ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ共用
H2065



【現況】２階平面詳細図　1/30



【改修後】２階平面詳細図　1/30

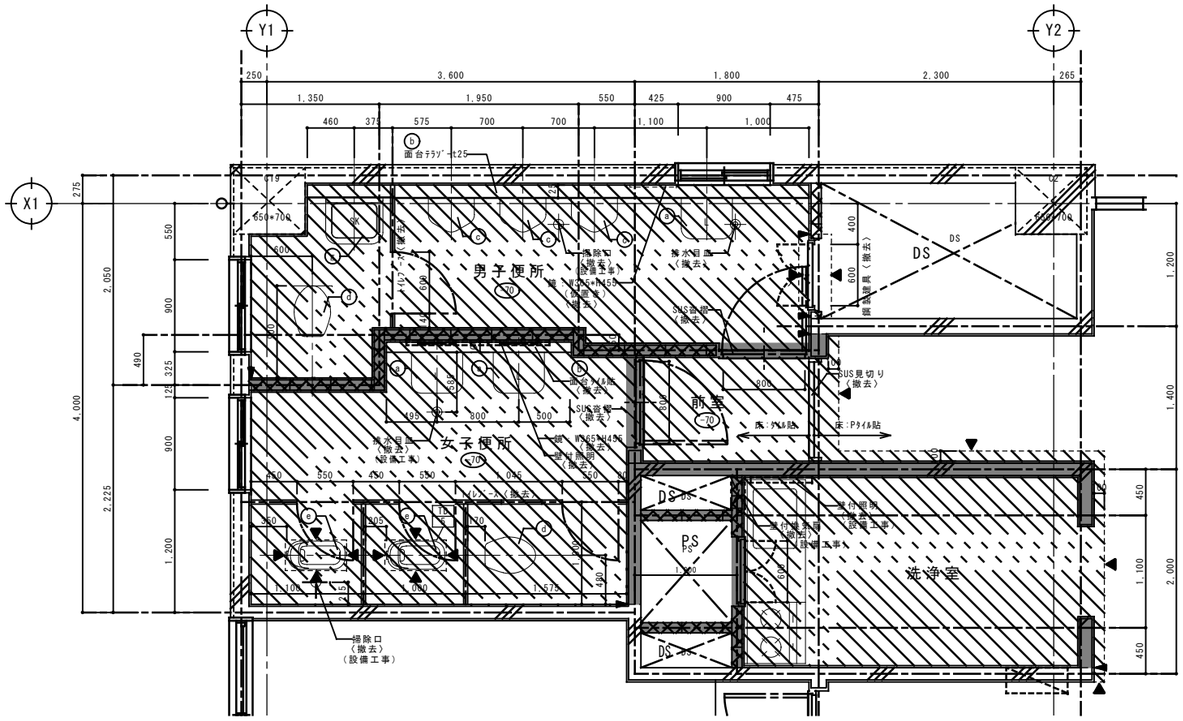
室名		床	巾木	巾	下地	壁	下地	天井	CH	備考
【現況】洗浄室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製　桧t24　OP【撤去】			モルタルコテ押え　EP【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6	2400	【撤去】流し2台,コンロ台
↓【改修後】男子トイレ	改修後	※仕上は下記【改修後】男子トイレによる						座目地張 VP【撤去】		
【現況】男子便所	現況	モザイクタイル張	100抜釉タイル張【撤去】			100抜釉タイル張【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
↓【改修後】男子トイレ	改修後	軽量コンｸﾘｰﾄ、防水層(便器廻りのみ)【撤去】 薄上げモルタルの上、 抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100	LGS【新設】 LGS	不陸調整の上、耐水石膏ボードt12.5 (GL工法) +化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】 一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、強化石膏ボードt12.5+t12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS【新設】	座目地張 VP【撤去】 化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】トイレブース、洗面台、鏡
【現況】女子便所	現況	モザイクタイル張	100抜釉タイル張【撤去】			100抜釉タイル張【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
↓【改修後】男子トイレ	改修後	※仕上は【改修後】男子トイレによる						座目地張 VP【撤去】		

※1H耐火壁・防火戸上部内たれ壁は、上階床スラブ裏まで1H耐火壁仕様とする。

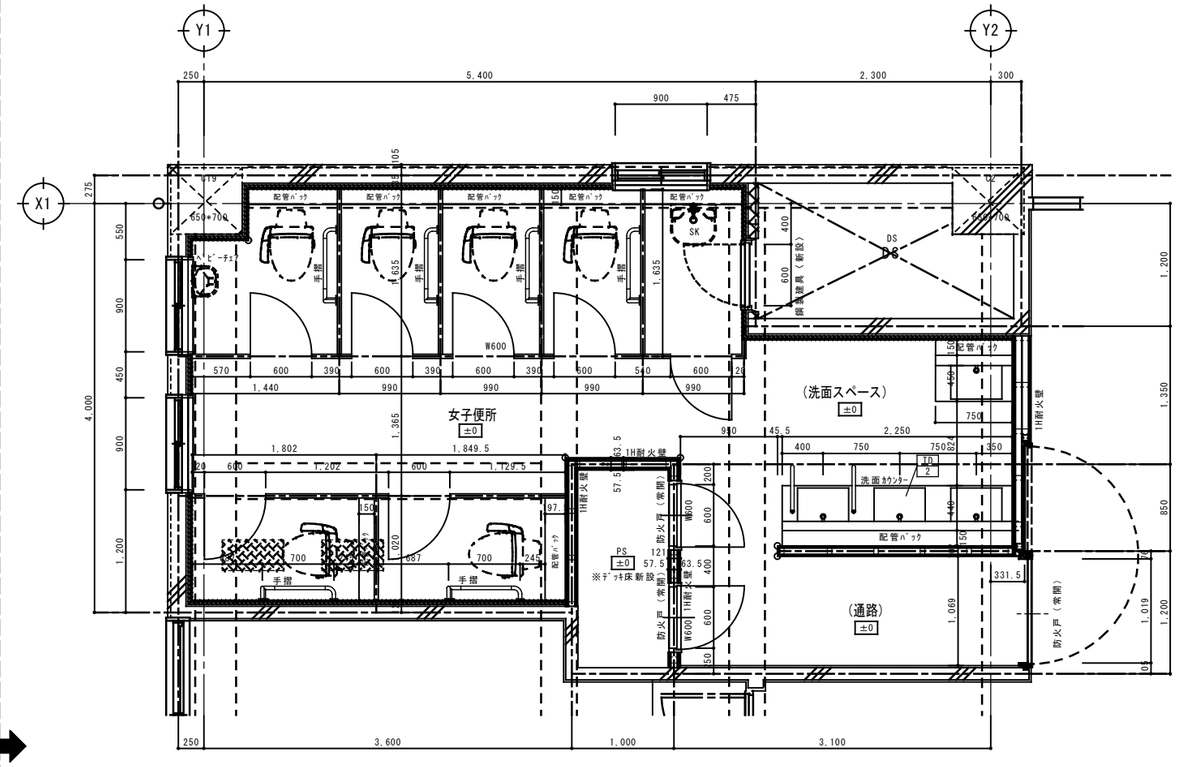
凡例<撤去>			
a	手洗い器<撤去>（機械設備）		床スラブ撤去を示す<D-12>
b	配管パック<撤去>		開口閉塞を示す<D-12>
c	小便器撤去<撤去>（機械設備）		撤去壁（RC、CB、ﾓﾙﾀﾙ）を示す
d	洋便器<撤去>（機械設備）		壁：ｺｰﾅｰｶﾞｲﾄｰ　ﾀｶｽ製　15*15
e	和便器<撤去>		床：カッター切（モルタル）を示す
f	SUS製補助手摺φ45<撤去>		壁：カッター切（モルタル）を示す
g	SK<撤去>（機械設備）		ピクトサイン位置を示す<D-13>
h	鏡・陶器製棚<撤去>（機械設備）		
i	壁付照明<撤去>		
j	ベビーベッド（W800xD150xH450）<撤去>		
k			
l			

	床タイル撤去範囲を示す（モルタル下地共）
	コンクリートブロック壁を示す
	ＧＬ工法の範囲を示す
	LGS下地（65型）の壁を示す
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
TO 1	トイレ内部詳細図記号

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-51
				図面名称 【現況】【改修後】２階 便所詳細図 縮尺 1/30 (A1) 1/60(A3)		整理番号	
				＊＊＊		— —	



【現況】３階平面詳細図　1/30



【改修後】３階平面詳細図　1/30

室名		床	巾木	h	下地	壁	下地	天井	仕上	備考
【現況】洗浄室	現況	ビニール系タイル張【撤去】	木製 拭t24 OP	60		モルタルコテ押え VP【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】室名札、流し、コンロ台
↓【改修後】女子トイレ	改修後	※仕上は、下記【改修後】女子トイレにならう。								
【現況】男子便所	現況	モザイクタイル張	−			100角施釉タイル張【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
↓【改修後】女子トイレ	改修後	置上げモルタルの上、抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100	LGS【新設】	不燃認定の上、耐水石膏ボードt12.5（GL工法）+化粧ｹｲｶﾙ板t6.0【新設】	LGS【新設】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2400	【新設】トイレブース、洗面台、鏡
					LGS【新設】	一部、石膏ボードt12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】				
					LGS【新設】	一部、強化石膏ボードt12.5+12.5 +化粧ケイカル板t6.0【新設】				
【現況】女子便所	現況	モザイクタイル張	−			100角施釉タイル張【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2400	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
↓【改修後】女子トイレ	改修後	※仕上は、上記【改修後】女子トイレにならう。								

室名		床	巾木	h	下地	壁	下地	天井	仕上	備考
【現況】洗浄室	現況	モザイクタイル張	−			100角施釉タイル張【撤去】	LGS【撤去】	軟質石綿板t6 底目地張 VP【撤去】	2360	【撤去】トイレブース、鏡、室名札
↓【改修後】女子トイレ	改修後	軽量コンクリート 防水層【撤去】 置上げモルタルの上、抗菌性ビニル床シート貼【新設】	床材立上げ【新設】	100		耐水石膏ボードt12.5（接張）+化粧ケイカル板t6.0【新設】	LGS【撤去】	化粧石膏ボードt9.5【新設】	2300	【新設】鏡

※1H耐火壁・防火戸上部内たれ壁は、上階床スラブ裏まで1H耐火壁仕様とする。

凡例<撤去>

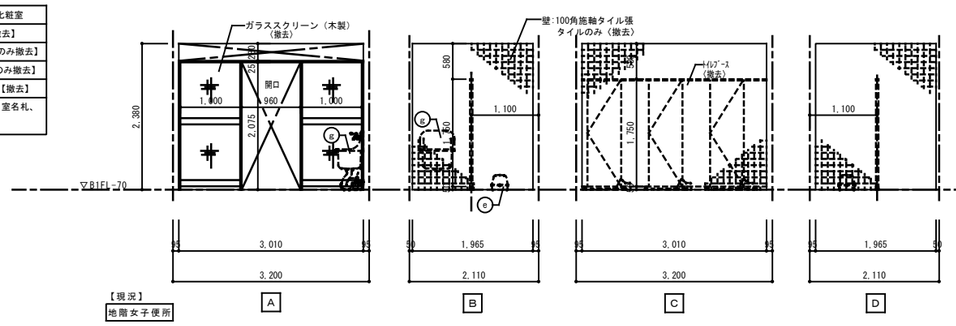
a	手洗い器<撤去>（機械設備）
b	配管パック<撤去>
c	小便器撤去<撤去>（機械設備）
d	洋便器<撤去>（機械設備）
e	和便器<撤去>
f	SUS製補助手摺φ45<撤去>
g	SK<撤去>（機械設備）
h	鏡・陶器製棚<撤去>（機械設備）
i	壁付照明<撤去>
j	ベビーベッド（W800xD150xH450）<撤去>
k	
l	

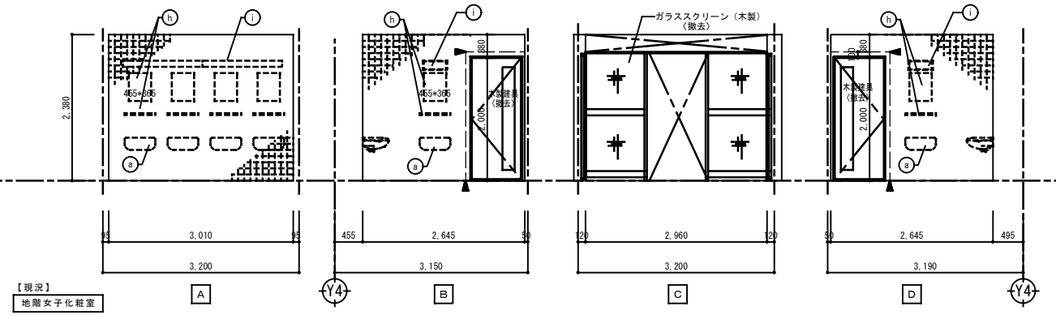
	床スラブ撤去を示す<D-12>		床タイル撤去範囲を示す（モルタル下地共）
	開口閉塞を示す<D-12>		コンクリートブロック壁を示す
	撤去壁（RC、CB、ﾓﾙﾀﾙ）を示す		ＧＬ工法の範囲を示す
	壁：ｺｰﾅｰｼﾞｮｲﾝﾄ　ﾅｶﾐ製　15*15		LGS下地（65型）の壁を示す
	床：カッター切（モルタル）を示す	±0	現況レベルを示す
	壁：カッター切（モルタル）を示す	±0	新設レベルを示す
	ピクトサイン位置を示す<D-13>	TO 1	トイレ内部詳細図記号

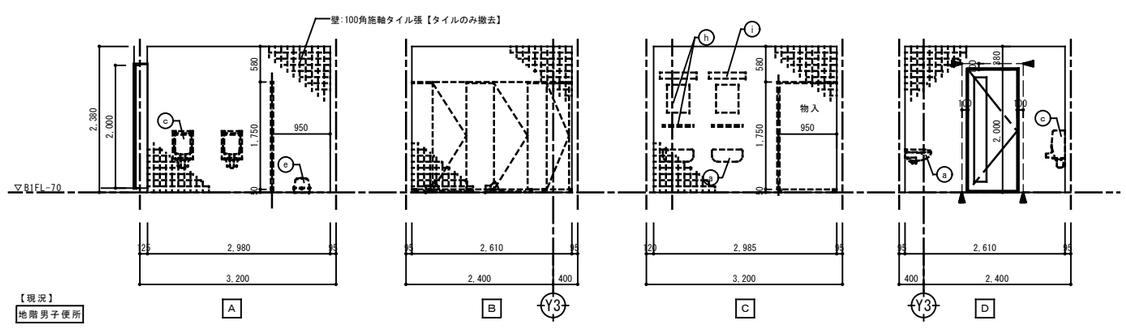
代表者	照査	担当	

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【現況】【改修後】３階　便所詳細図　縮尺 1/30（A1） 1/60（A3）	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-52

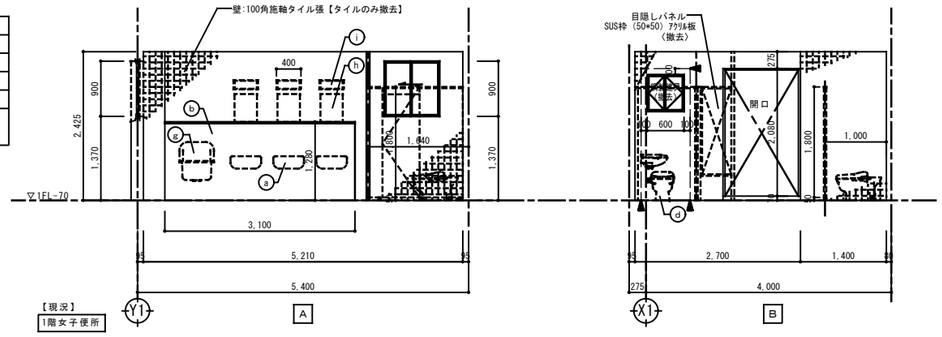
【現況】地階 男子･女子便所･化粧室	
床	磁器質モザイクタイル張【撤去】
巾木	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6　底目地張 VP【撤去】
備考	【撤去】トイレブース、鏡、室名札、床点検口

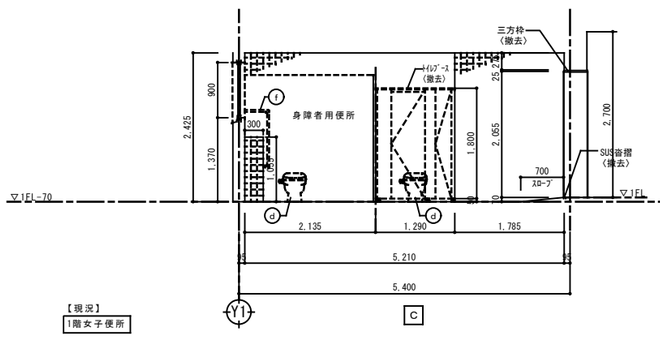


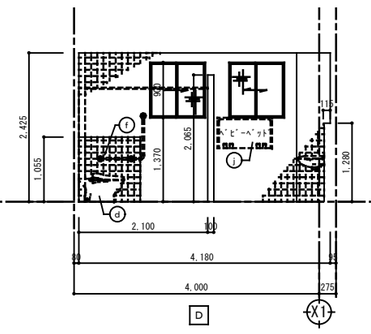


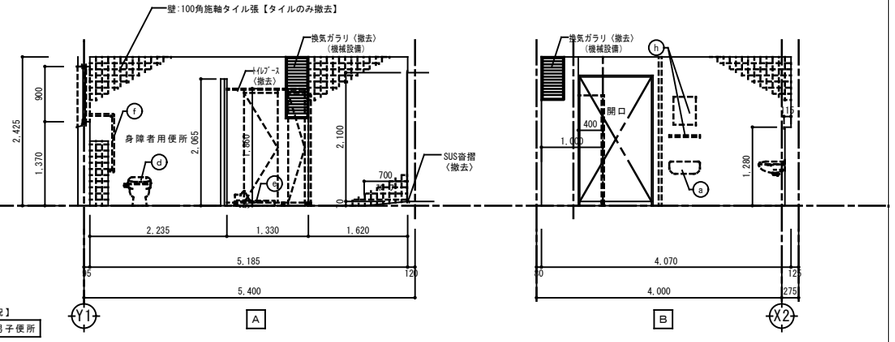


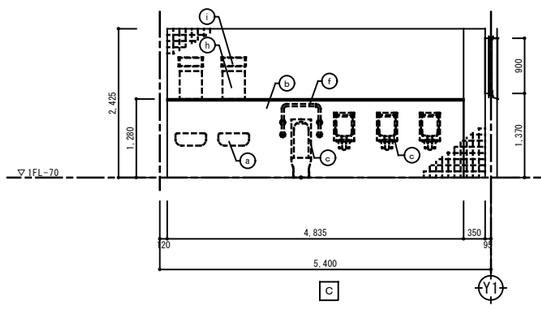
【現況】1階　男子･女子便所	
床	磁器質モザイクタイル張 【撤去】
巾木	100角施釉タイル張【撤去】
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6　底目地張 VP【撤去】
備考	【撤去】ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ｽｸﾘｰﾝ、鏡、手摺、室名札

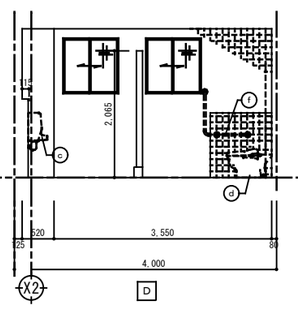


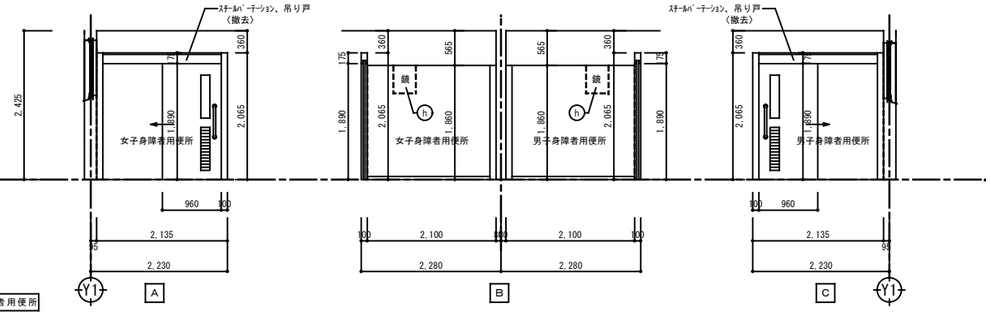










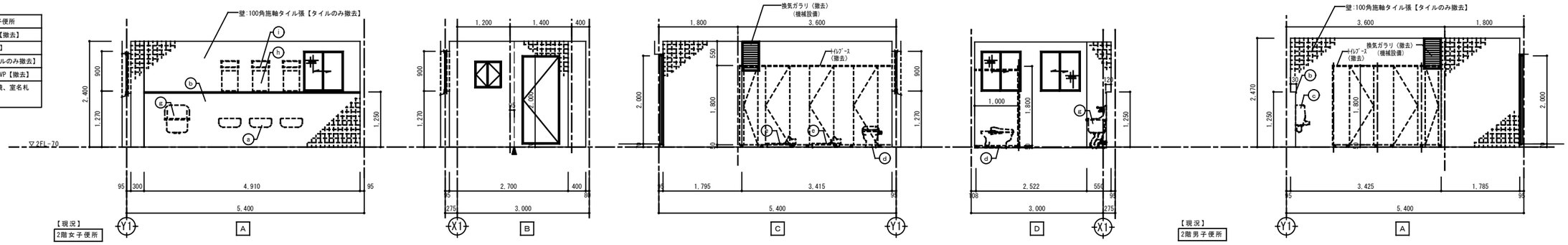


凡例<撤去>	
a	手洗い器<撤去>（機械設備）
b	配管パック<撤去>
c	小便器撤去<撤去>（機械設備）
d	洋便器<撤去>（機械設備）
e	和便器<撤去>
f	SUS製補助手摺φ45<撤去>
g	SK<撤去>（機械設備）
h	鏡・陶器製棚<撤去>（機械設備）
i	壁付照明<撤去>
j	ベビーベッド（W800xD150xH450）<撤去>

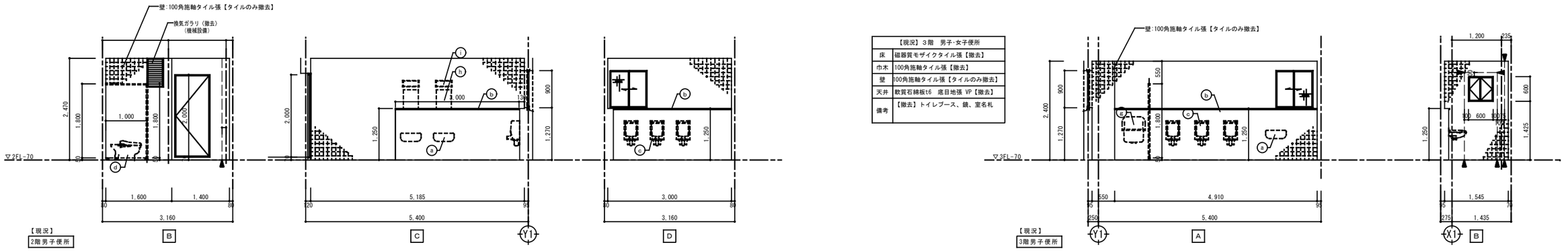
代表者	照　査	担　当		

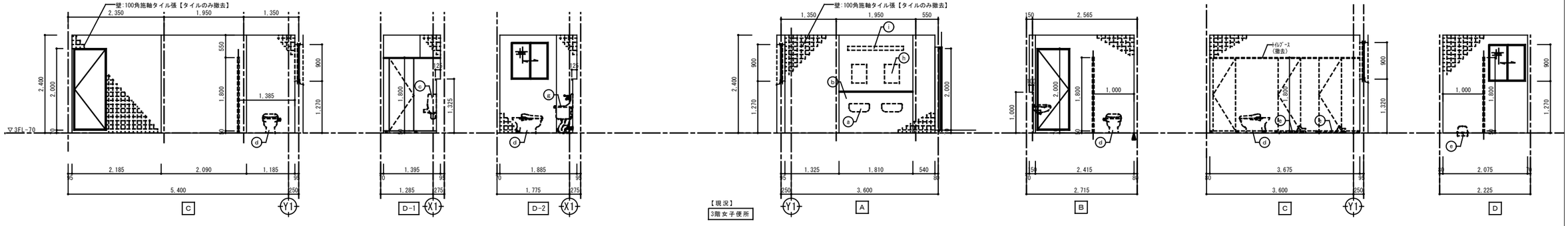
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【現況】各階 便所展開図 1　縮尺 1/50 (A1) 1/100(A3)	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-53

【現況】2階　男子･女子便所	
床	磁器質モザイクタイル張【撤去】
巾木	100角施釉タイル張【撤去】
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6　底目地張 VP【撤去】
備考	【撤去】トイレブース、鏡、室名札

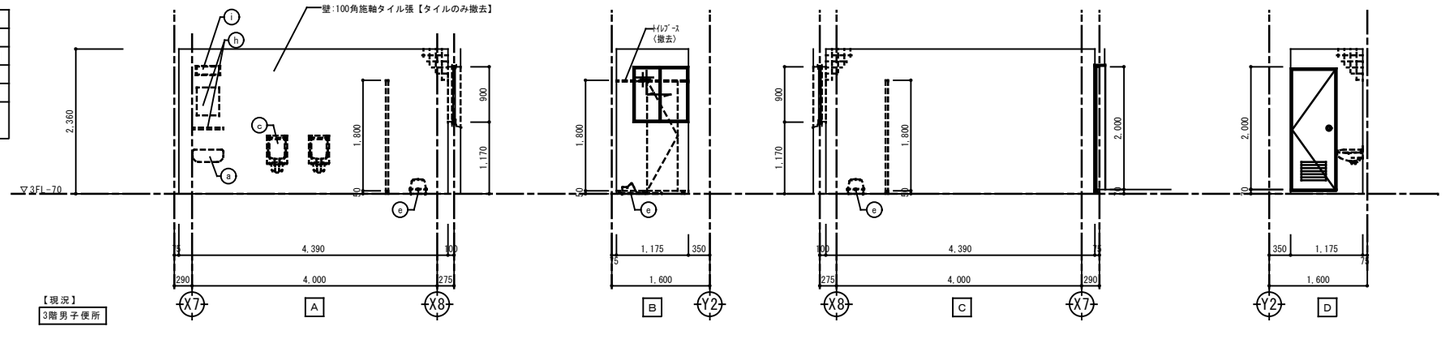


【現況】3階　男子･女子便所	
床	磁器質モザイクタイル張【撤去】
巾木	100角施釉タイル張【撤去】
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6　底目地張 VP【撤去】
備考	【撤去】トイレブース、鏡、室名札





【現況】3階　便所	
床	磁器質モザイクタイル張【撤去】
巾木	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6　底目地張 VP【撤去】
備考	【撤去】トイレブース、鏡、室名札

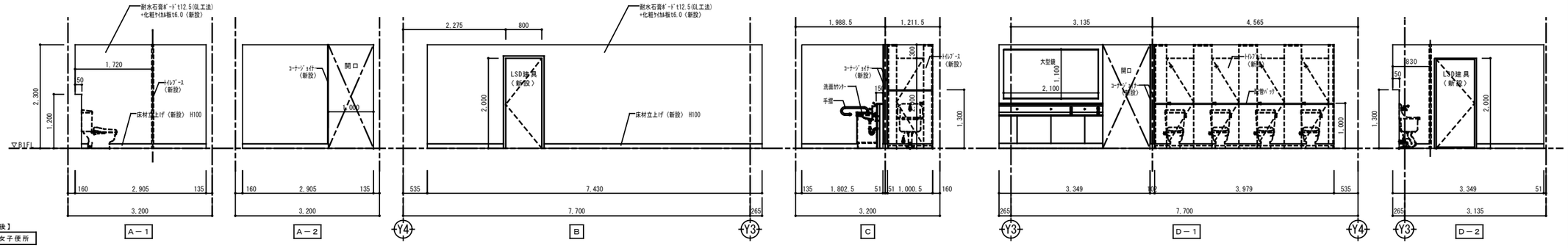


凡例<撤去>	
a	手洗い器<撤去>（機械設備）
b	配管パック<撤去>
c	小便器撤去<撤去>（機械設備）
d	洋便器<撤去>（機械設備）
e	和便器<撤去>
f	SUS製補助手摺φ45<撤去>
g	SK<撤去>（機械設備）
h	鏡・陶器製棚<撤去>（機械設備）
i	壁付照明<撤去>
j	ベビーベッド（W800xD150xH450）<撤去>

代表者	照　査	担　当		

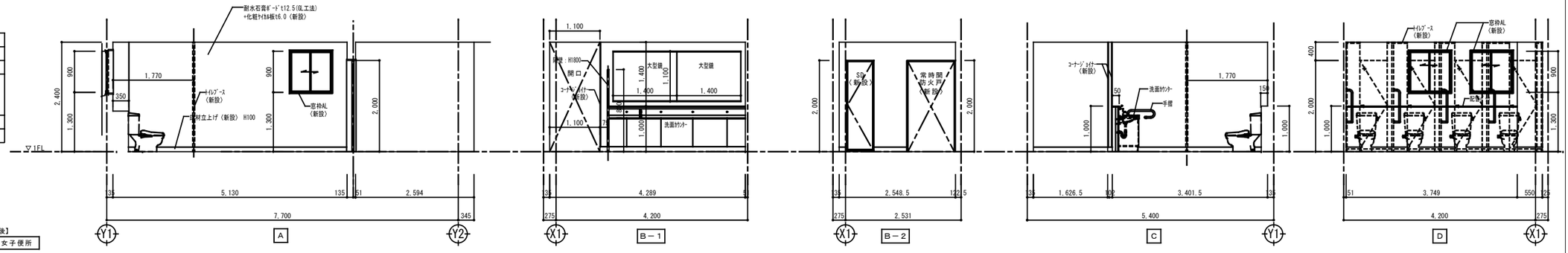
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和**年　**月	A-54
図面名称	【現況】各階 便所展開図２ 縮尺 1/50 (A1) 1/100 (A3)	整理番号	— —	
	＊＊＊			

【改修後】地階　女子便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】トイレブース、洗面台、配管ﾊﾞｯｸ、大型鏡、床点検口

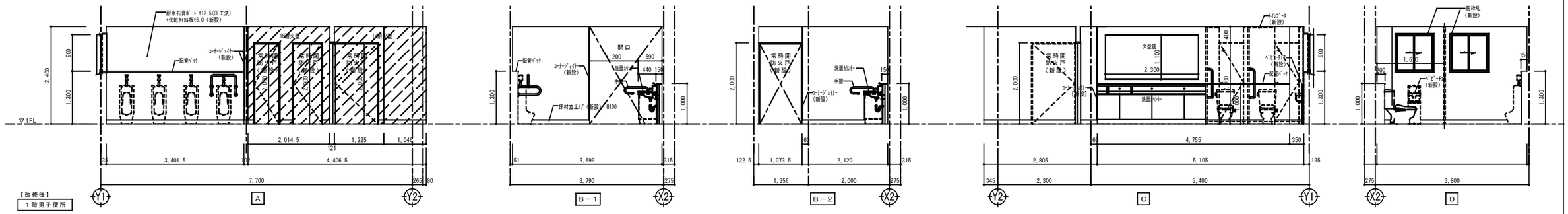


【改修後】
地階女子便所

【改修後】１階　男子便所・女子便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】 一部、LGS下地 石膏ボードt12.5+化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、LGS下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+12.5+化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】トイレブース、洗面台、配管ﾊﾞｯｸ、大型鏡

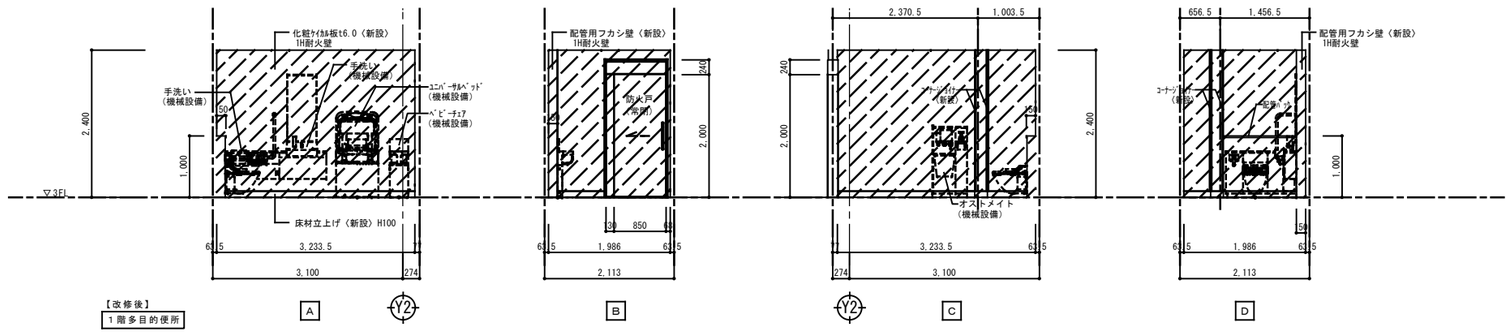


【改修後】
１階女子便所



【改修後】
１階男子便所

【改修後】１階　多目的便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】 一部、LGS下地 石膏ボードt12.5+化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、LGS下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+12.5+化粧ｹｲ酸板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】配管パック、各種手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ、ユニバーサルベッド

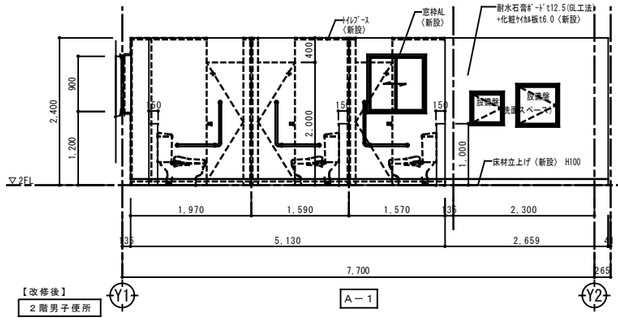


【改修後】
１階多目的便所

代表者	照査	担当		

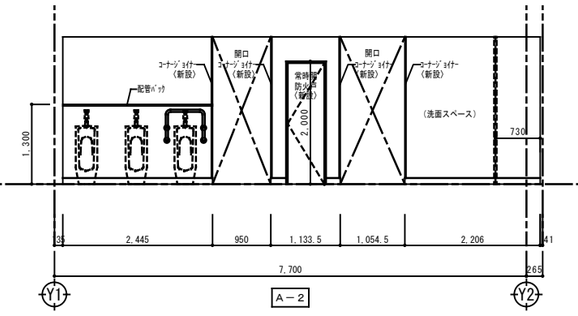
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-55
図面名称 【改修後】各階 便所展開図１ 縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	整理番号 — —		
* * *			

【改修後】２階　男子便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲﾀ板t6.0【新設】 一部、LGS下地 石膏ボードt12.5+化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、LGS下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+12.5+化粧ｹｲﾀ板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】トイレブース、洗面台、大型鏡

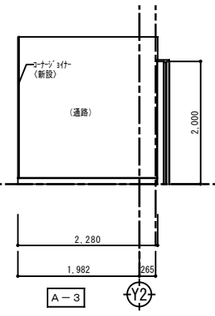


【改修後】
２階男子便所

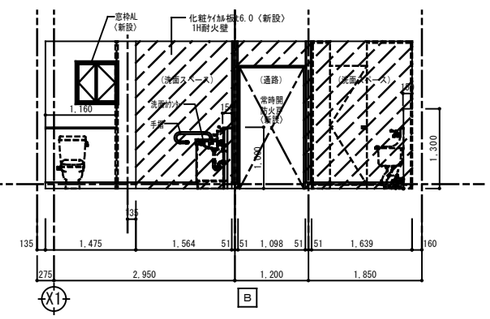
A－１



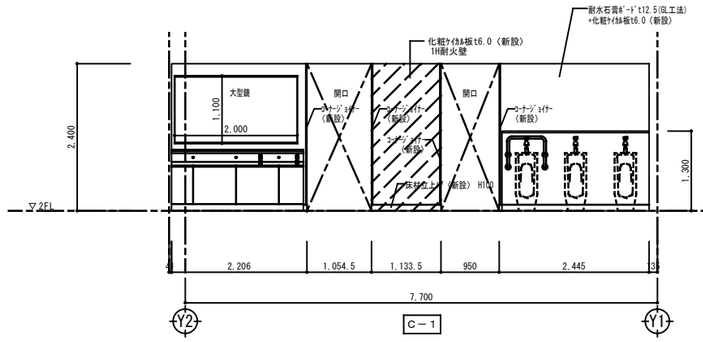
A－２



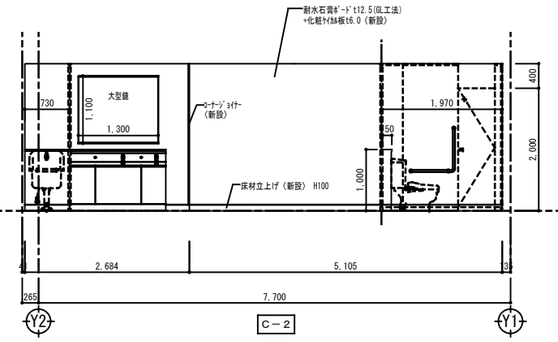
A－３



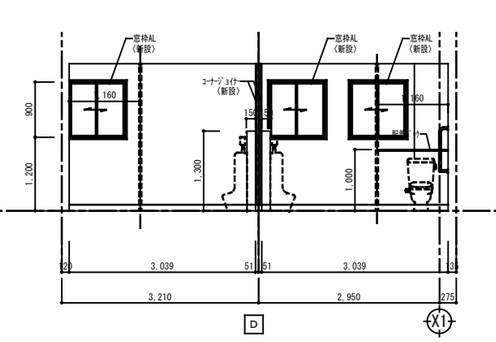
B



C－１

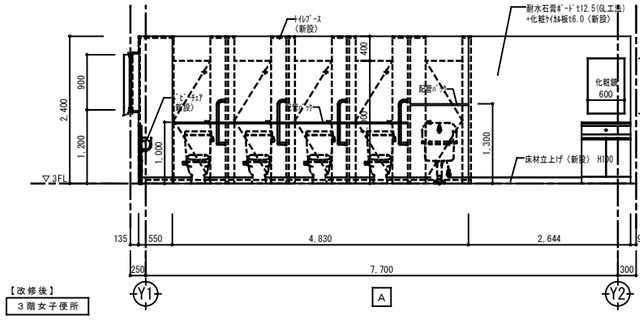


C－２



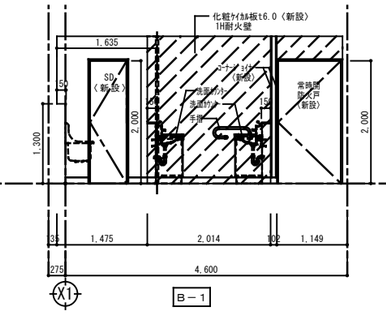
D

【改修後】３階　女子便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲﾀ板t6.0【新設】 一部、LGS下地 石膏ボードt12.5+化粧ケイカル板t6.0【新設】 一部、LGS下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+12.5+化粧ｹｲﾀ板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】トイレブース、洗面台、大型鏡

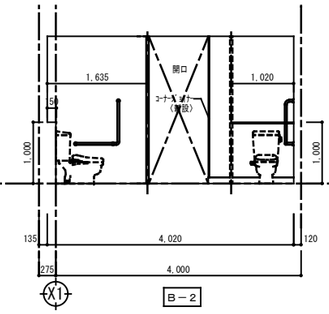


【改修後】
３階女子便所

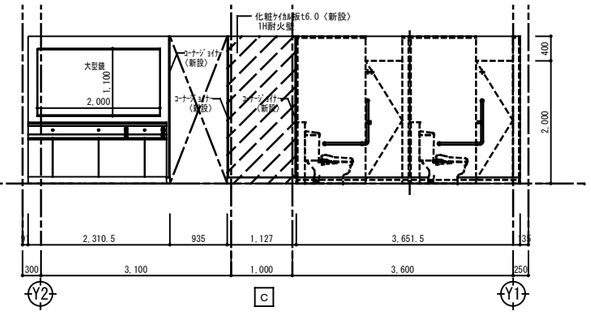
A



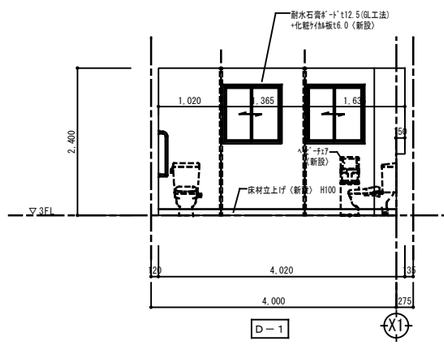
B－１



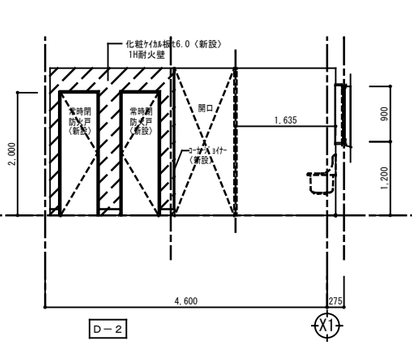
B－２



C

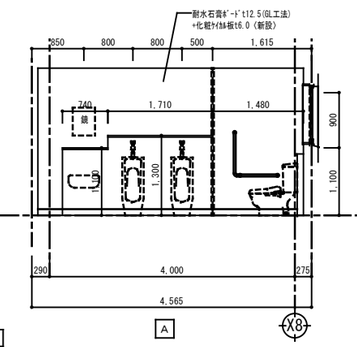


D－１



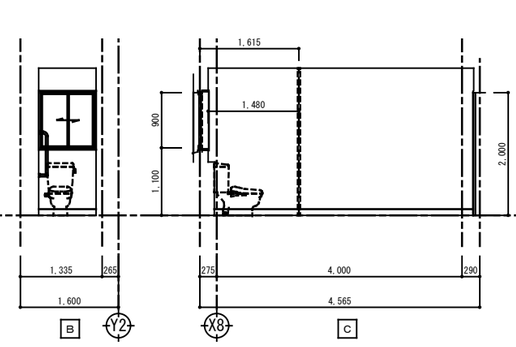
D－２

【改修後】３階　男子便所	
床	抗菌性ビニル床シート貼【新設】
巾木	床材立上げ【新設】 H100
壁	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+化粧ｹｲﾀ板t6.0【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】鏡



【改修後】
３階男子便所

A

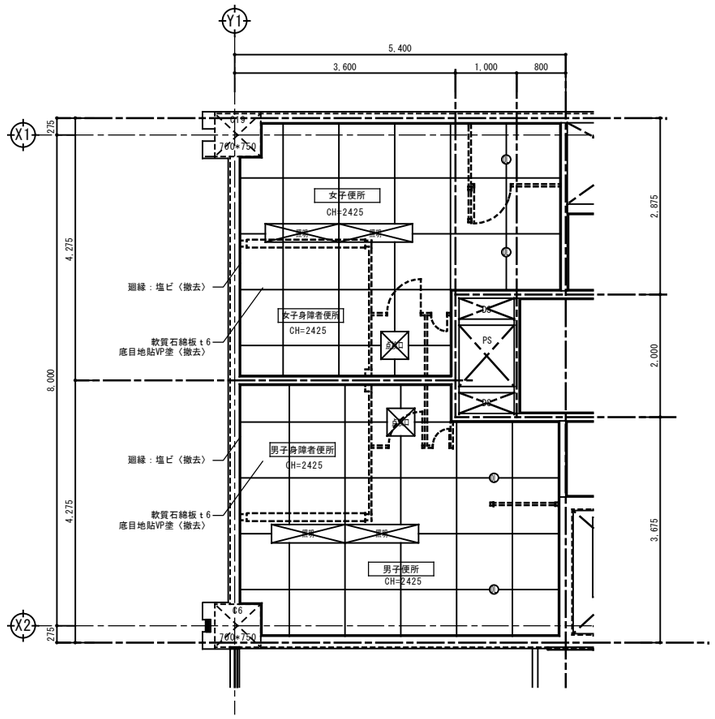


B　C　D

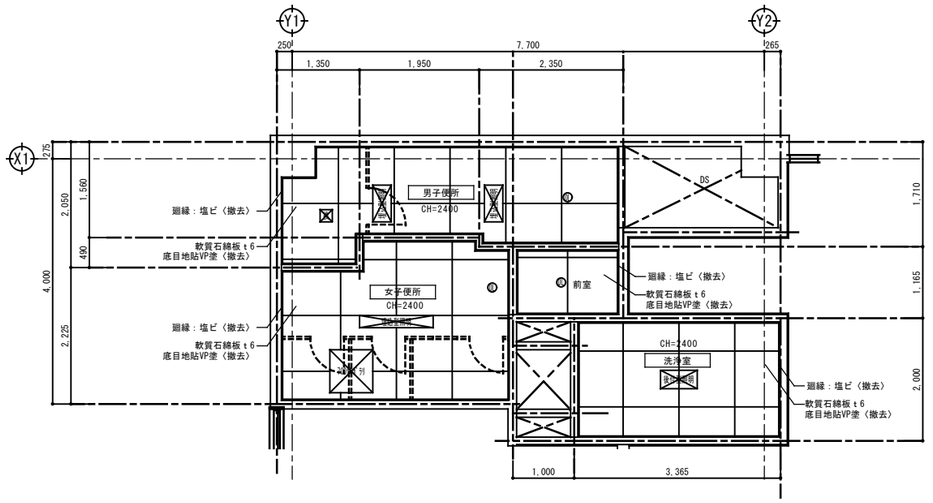
代表者	照査	担当		

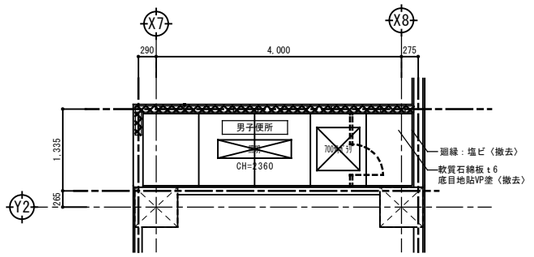
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-56
図面名称 【改修後】各階 便所展開図２ 縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	整理番号 — —		
＊＊＊			

現況・撤去


Y1
5,400
3,600
1,000
800
X1
X2
275
4,275
8,000
4,275
275
760*750
女子便所
CH=2425
女子身障者便所
CH=2425
男子身障者便所
CH=2425
男子便所
CH=2425
巡回
PS
CW
EPS
SK
SK
SK

現況・撤去

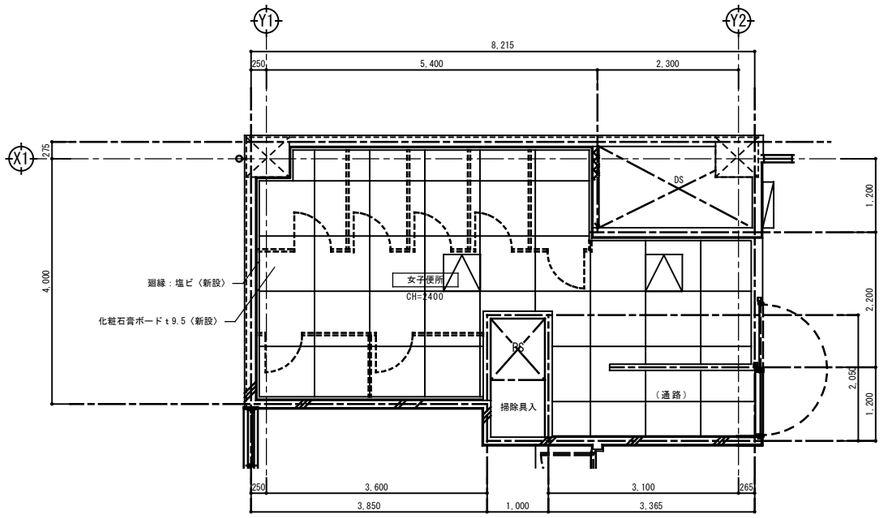


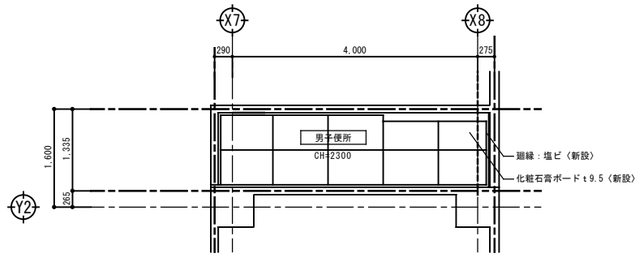


【現況】３階　天井伏図　1/50

※天井はすべて下地共撤去

改修後



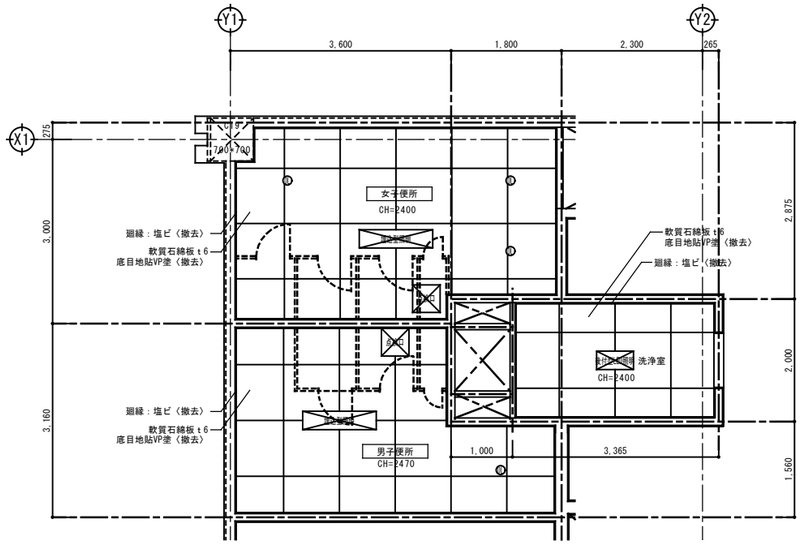


天井点検口（600*600）新設を示す

※天井はすべて下地共新設

【改修後】３階　天井伏図　1/50

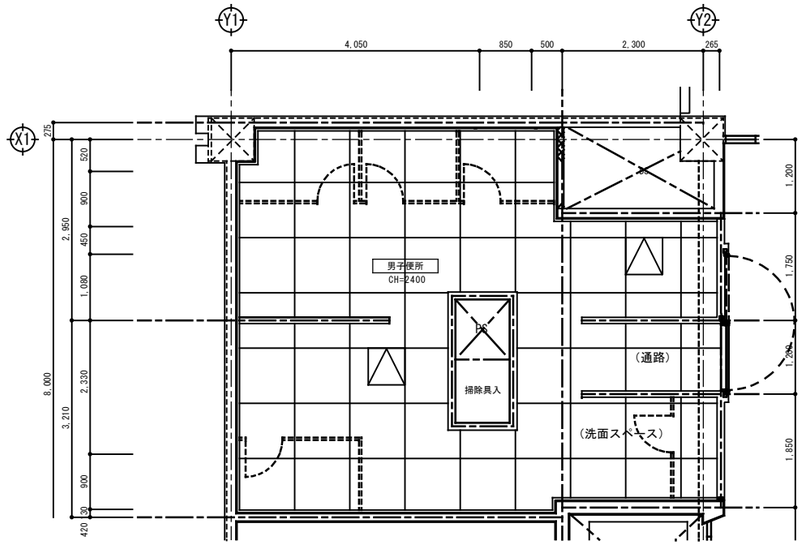
現況・撤去



【現況】２階　天井伏図　1/50

※天井はすべて下地共撤去

改修後



天井点検口（600*600）新設を示す

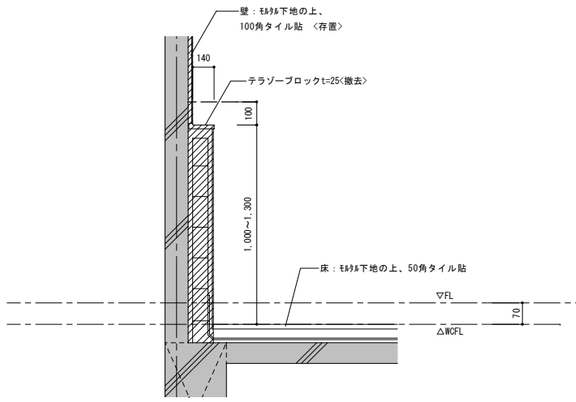
※天井はすべて下地共新設

【改修後】２階　天井伏図　1/50

代表者	照　査	担　当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年　**月	図面番号 A-58
					図面名称 【現況】【改修後】各階 便所天井伏図２ 縮尺 1/50 (A1) 1/100(A3)	整理番号 — —		
					＊＊＊			

TD-1　配管パック（便所内）詳細図　　1/20

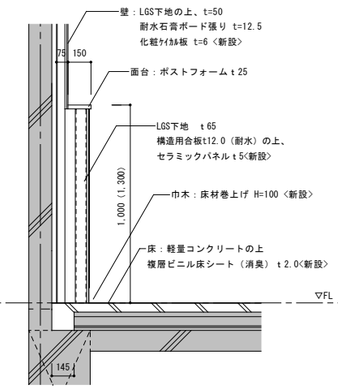
新設



現況断面図　1/30

既存のままを示す。

改修

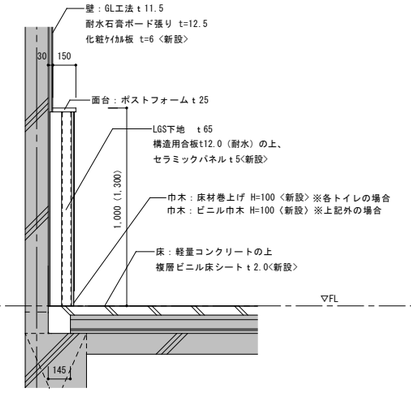


改修断面図（LGS50の場合）1/30

既存のままを示す。

※（ ）は小便器用配管パックの場合

改修



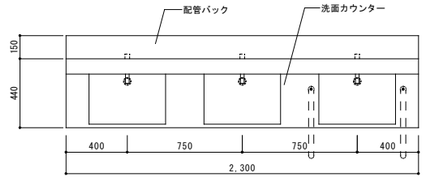
改修断面図（GL工法の場合）1/30

既存のままを示す。

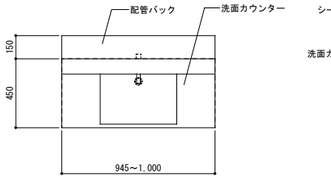
※（ ）は小便器用配管パックの場合

TD-2　洗面カウンター詳細図　　1/10・1/20

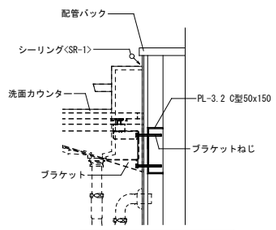
新設



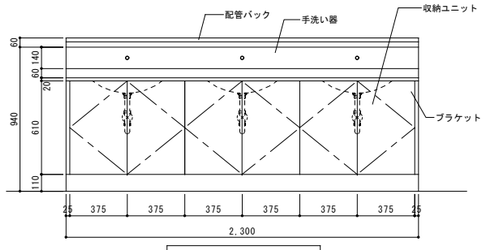
平面図（地階女子トイレ）1/20



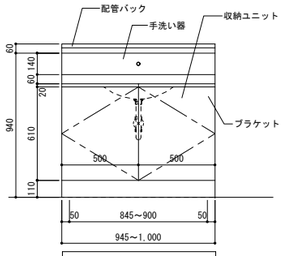
平面図　1/20



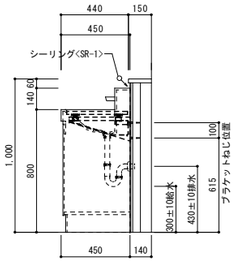
カウンター補強詳細図　1/10



姿図（地階女子トイレ）1/20



姿図　1/20

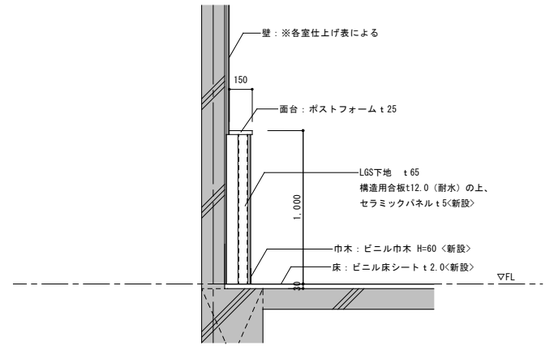


断面図　1/20

特記）㈱LIXIL　マーベリイナカウンター　品番：MB-450H　同等品以上とする。

配管パック（便所以外）詳細図

新設



改修断面図　1/30

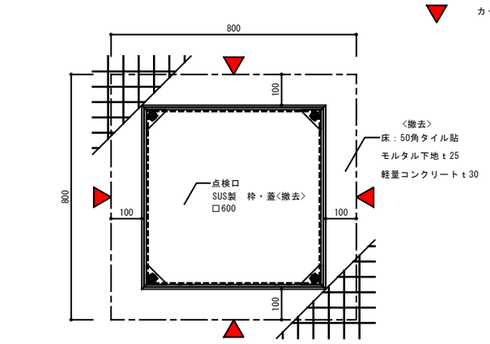
代表者		担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
						—	令和**年　**月
				図面名称	【現況】【改修後】便所廻り　部分詳細図 1　縮尺 A3-図示／2 A1-図示	整理番号	図面番号
						— —	A-59

TD-4　床下点検口詳細図

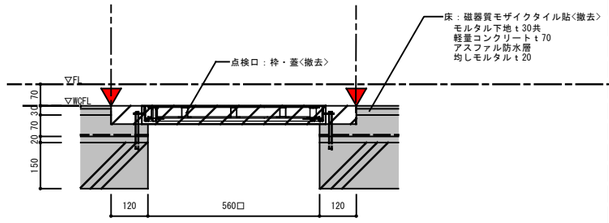
現況

既存のままを示す。

カッター切りの位置を示す

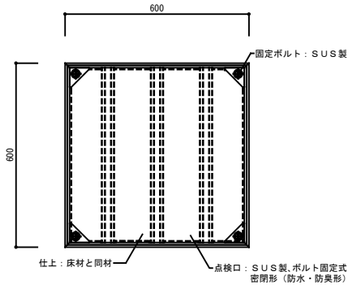


平面図 1/10

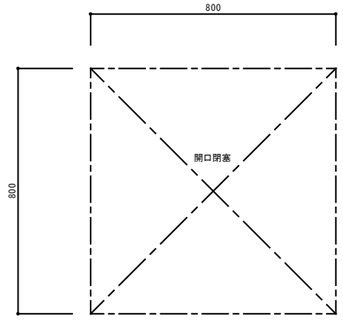


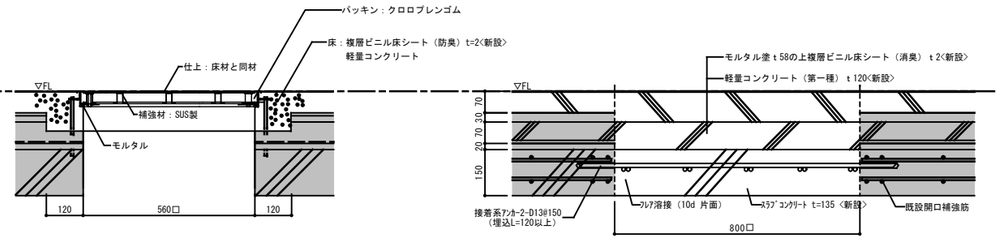
断面図 1/10

新設



平面図 1/10





断面図 1/10

断面図 1/10

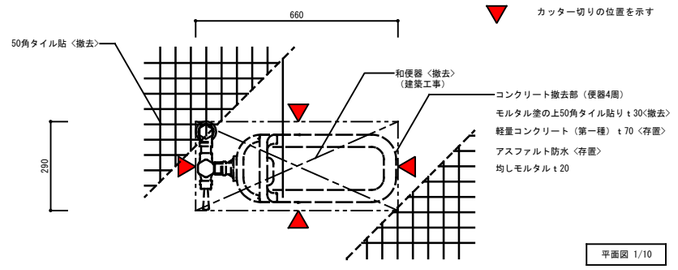
特記）床下点検口：ナカエ実㈱　品番　ＮＨＳＴ-600　同等品以上とする。

TD-5　1階便所 床塞ぎ詳細図（現況・撤去）　1/10

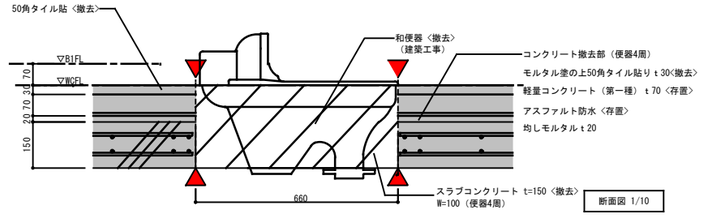
新設

既存のままを示す。

カッター切りの位置を示す



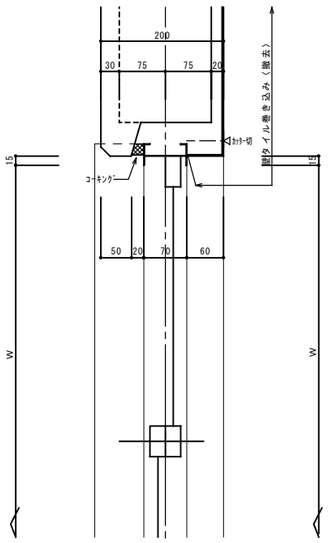
平面図 1/10



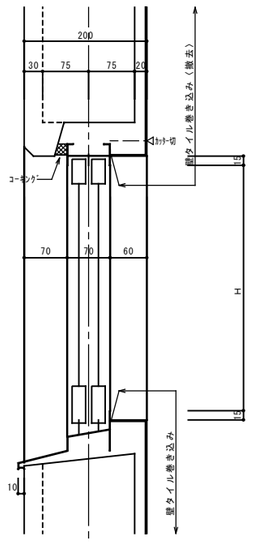
断面図 1/10

TD-6　外壁面開口部詳細図

現況

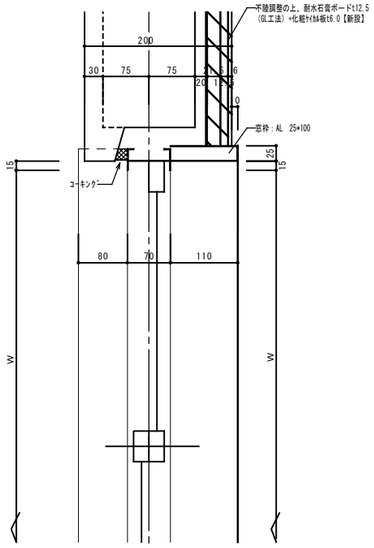


平面図 1/10

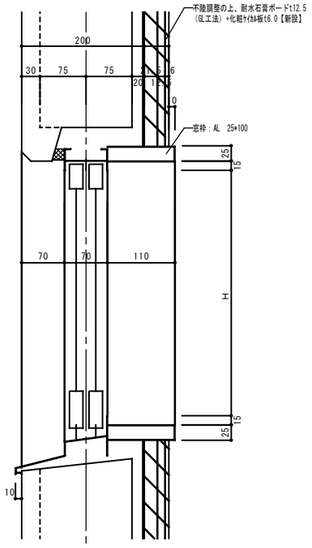


断面図 1/10

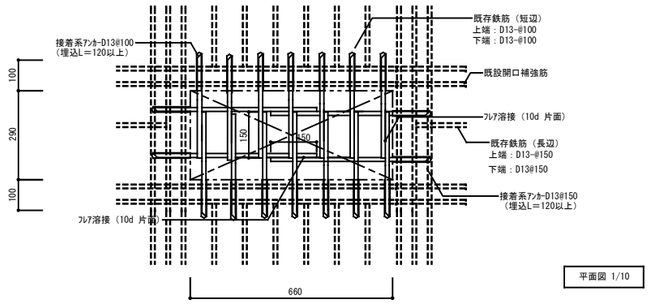
新設



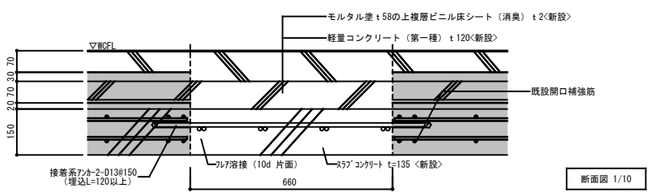
平面図 1/10



断面図 1/10

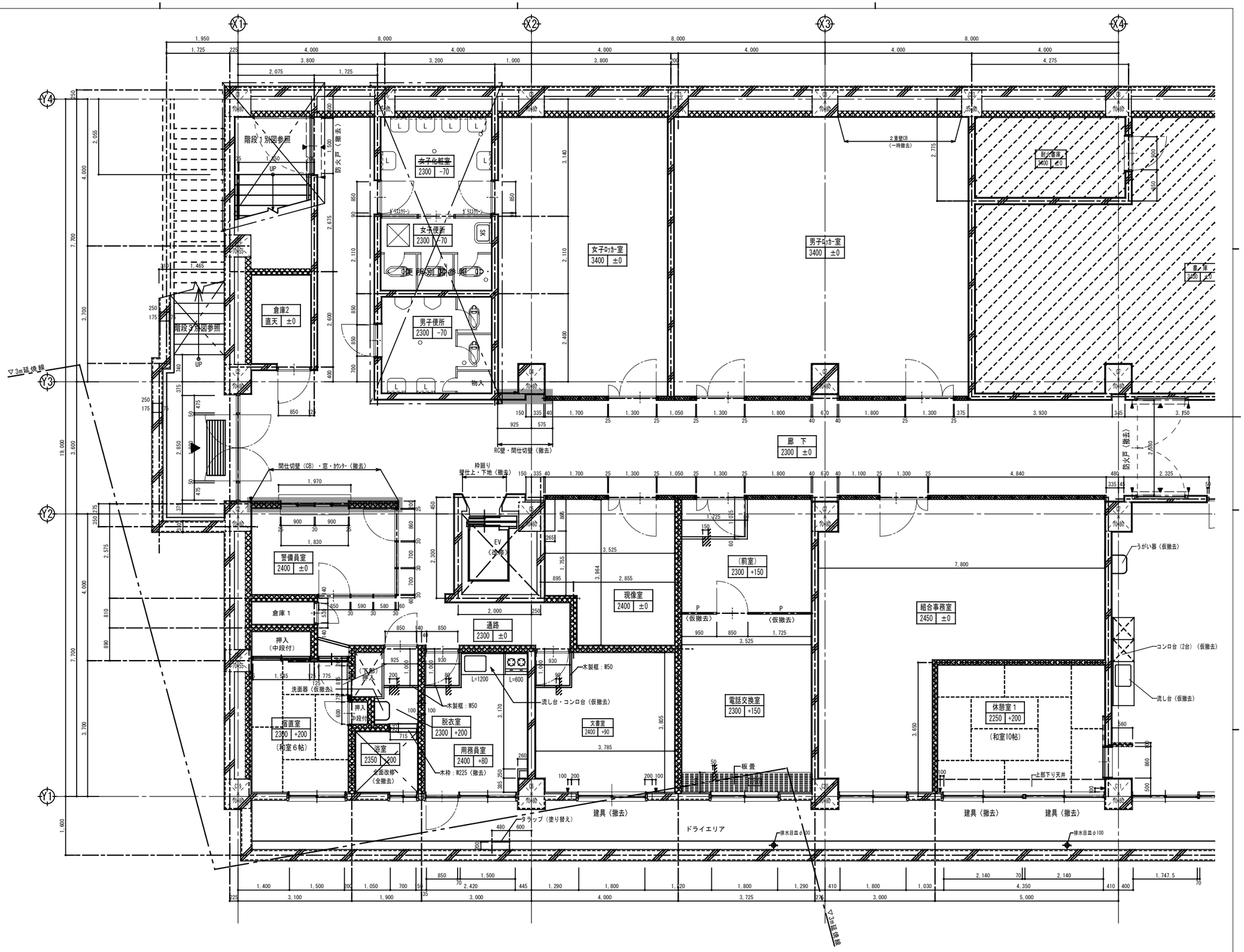


平面図 1/10



断面図 1/10

代表者		担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年　**月	図面番号 A-60
				図面名称	【現況】【改修後】便所廻り　部分詳細図２	縮尺 A3-図示/2 A1-図示	整理番号 — —	



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-61
					図面名称 【現況】地階平面詳細図１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—
					＊＊＊			

X4 X5 X6 X7 X8 / Y4 Y3 Y2 Y1

倉庫 3 ※ -500
倉庫 4 3700 -300
電気室 3700 +300
物置 直天 -500
廊 下 2800 -500
廊 下 2800 -500
交番待場 ※ -500
休憩室2 2400 +200
（和室12帖）
食 堂 2450 ±0
倉庫 3400 ±0
耐火倉庫 3400 ±0
産調機械室 4600 -1200
下部受水槽 -600
機械搬入口 -1200

階段２別図参照
UP
SD（撤去）
防火戸（撤去）
防火戸（撤去）
防火戸（撤去）
スラブ（撤去）
P〈撤去〉
P〈撤去〉
P〈撤去〉
建具（撤去）
建具（撤去）
建具（撤去）
建具（撤去）
建具（撤去）
うがい器（仮撤去）
コンロ台（2台）（仮撤去）
流し台（仮撤去）
上部ランマOPEN
上部下り天井
2.5m幅CB（二時施式）
▽1G床 仮設線
▽2G床 仮設線
DN
排水目皿φ100
排水目皿φ100
排水目皿φ100

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
内	内部詳細図記号

撤去範囲 凡例

…既存まま存置の範囲
…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲
…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-62
					図面名称 【現況】地階平面詳細図２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	

X1 X2 X3 X4
Y4 Y3 Y2 Y1

階段 1 別図参照
UP
倉庫2
直天 ±0
階段3
便所別図参照
女子便所
2300 -70
LSD建具（新設）
物入
女子ﾛｯｶｰ室
3400 ±0
男子ﾛｯｶｰ室
3400 ±0
倉庫
3400 ±0
2重鎖CB
（復旧）
耐火書庫
3400 ±0
柱補強（新設）
間仕切壁（LGS下地）（新設）
廊 下
2300 ±0
壁：LGS65下地+石膏ボードｔ12.5 EP（新設）
▽3m延焼線
間仕切壁（LGS65下地）・窓・ｶｳﾝﾀｰ（新設）
カウンター
警備員室
2400 ±0
倉庫1
押入
宿直室
2300 +200
（下部）
押入
脱衣室
2200 +200
押入
上段付
シャワーブース（新設）
シャワー室
2200 +200
木製三方枠：W250×t40（新設）
倉庫5
2400 +80
通路
2300 ±0
枠廻り
壁MO下地補修
EV
（改修）
現像室
2400 ±0
文書室
2400 +80
（前室）
2300 +150
電話交換室
2300 +150
P
（復旧）
P
（復旧）
板 畳
組合事務室
2450 ±0
うがい器（復旧）
配管パック（新設）
流し台・コンロ台（復旧）
配管パック（新設）
洗面器（復旧）
配管パック（新設）
流し台・コンロ台（復旧）
配管パック（新設）
休憩室1
2250 +200
タラップ（塗り替え）
開口閉塞 RC壁（新設）
建具（改修）
ドライエリア
建具（改修）
開口閉塞 RC壁（新設）
柱補強（新設）
柱補強（新設）
柱補強（新設）
柱補強（新設）
排水溝
排水溝
▽3m延焼線

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年　**月
図面名称	【改修後】地階平面詳細図 1	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号 A-63
	* * *	整理番号 — —	

X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

8,000 / 4,000 / 3,725 / 3,775 / 1,850 / 2,150 / 225

防火書庫 3400 ±0

書 庫 3400 ±0

倉庫3 ※ -500

倉庫4 3700 -300

倉庫B 3700 -300

2重壁CB（復旧）

文書置場 ※ -500

廊 下 2800 -500

物置 直天 -550

防火戸（常閉）〈新設〉

階段２別図参照

UP

防火戸（常開）〈新設〉

防火戸（常閉）〈新設〉

▽3m延長線

壁：LGS下地+石膏ボードｔ12.5 EP〈新設〉

廊 下 2800 -500

受水槽

車検口 500角 〈新設〉

開口補強鉄骨梁 〈新設〉

〈新設〉 架台・基礎600H

CON基礎

ポンプ：CON基礎（新設） 800×800×H150

DN

挿入 （中段付）

うがい器（復旧） 配管パック（新設）

流し台・コンロ台（復旧） 配管パック（新設）

食 堂 2450 ±0

休憩室2 2400 +200

倉庫A 4600 -1200

（下部消火ポンプ槽）

-600

CON基礎

H450

H450

700

700

不燃間仕切壁（新設）

横断溝 （新設）

間仕切壁：LGS+PBｔ12.5 EP（新設）

開口閉塞 RC壁（新設）

柱補強（新設）

ドライエリア

排水溝

機械搬入口 -1200

D10@200（タテ・ヨコ共）

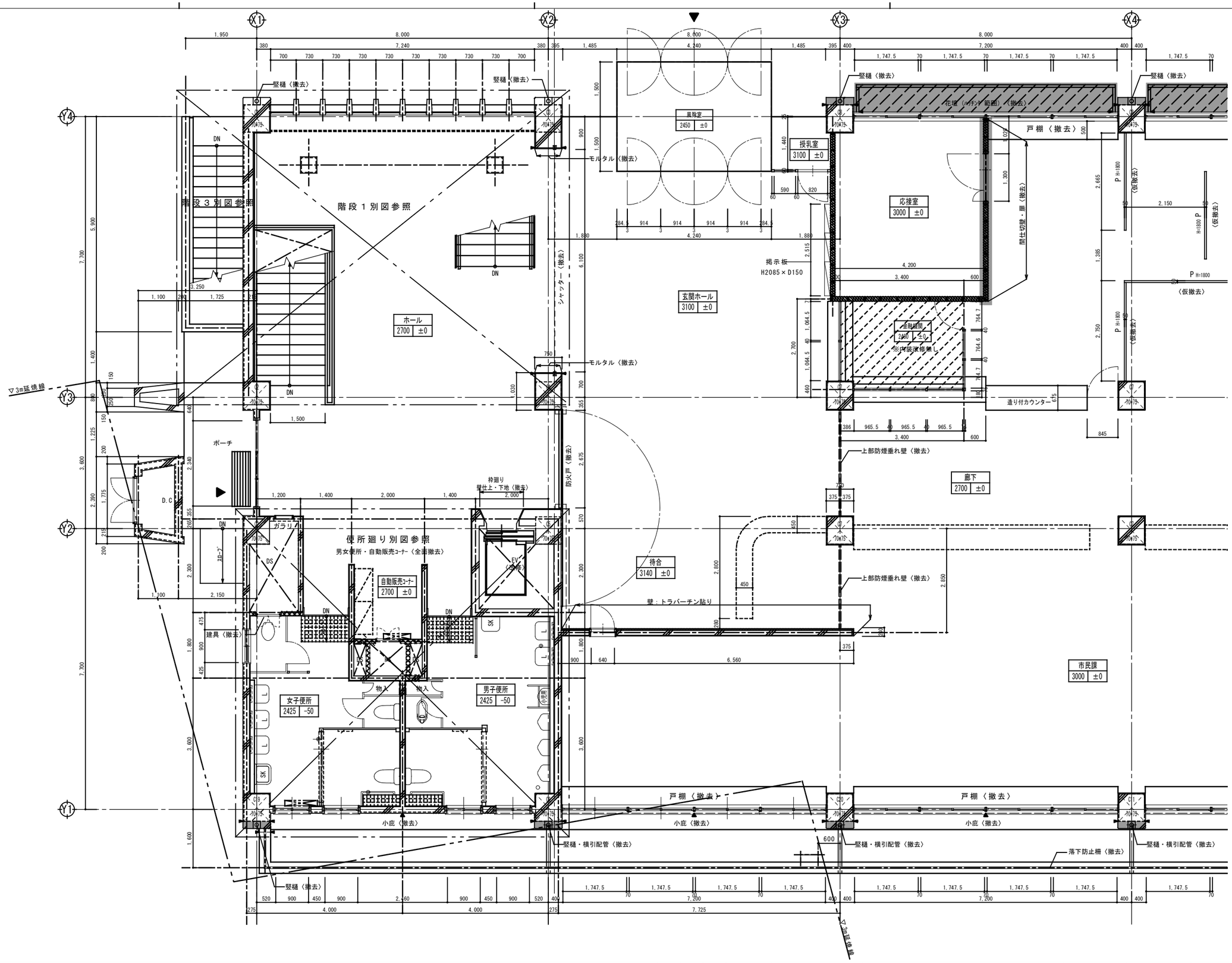
あと施工アンカーD10（外周のみ）

<CON基礎 詳細 1/20>

【凡 例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
3 / 1	内部詳細図記号

代表者	照 査	担 当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-64
				図面名称 【改修後】地階平面詳細図２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)		整理番号	
				* * *		— —	



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【現況】１階平面詳細図１	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	* * *	整理番号	— —
			図面番号 A-65

X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

▽3m延焼線

花壇（ﾊﾟﾁﾝｶﾞ範囲）（撤去）

竪樋（撤去）

戸棚〈撤去〉

上部防煙垂れ壁（撤去）

階段２　別図参照

手摺

UP DN

防火戸（撤去）

スロープ周り別図参照

スロープ（撤去）

流し台（仮撤去）

DS

CB壁、ﾓﾙﾀﾙ共（撤去）

建具（撤去）

洗面台
鏡（356×457×t5）（撤去）

モルタル（撤去）

ガラリ・RC壁（撤去）

会計室
3000 ±0

税務室
3000 ±0

廊下
2700 ±0

市民課
3000 ±0

医療保険課
3000 ±0

湯沸室
2400 ±0
内装改修無し

書庫
2400 ±0

小庇（撤去）

竪樋・横引配管（撤去）

落下防止柵（撤去）

カバー（撤去）

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
3/1	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

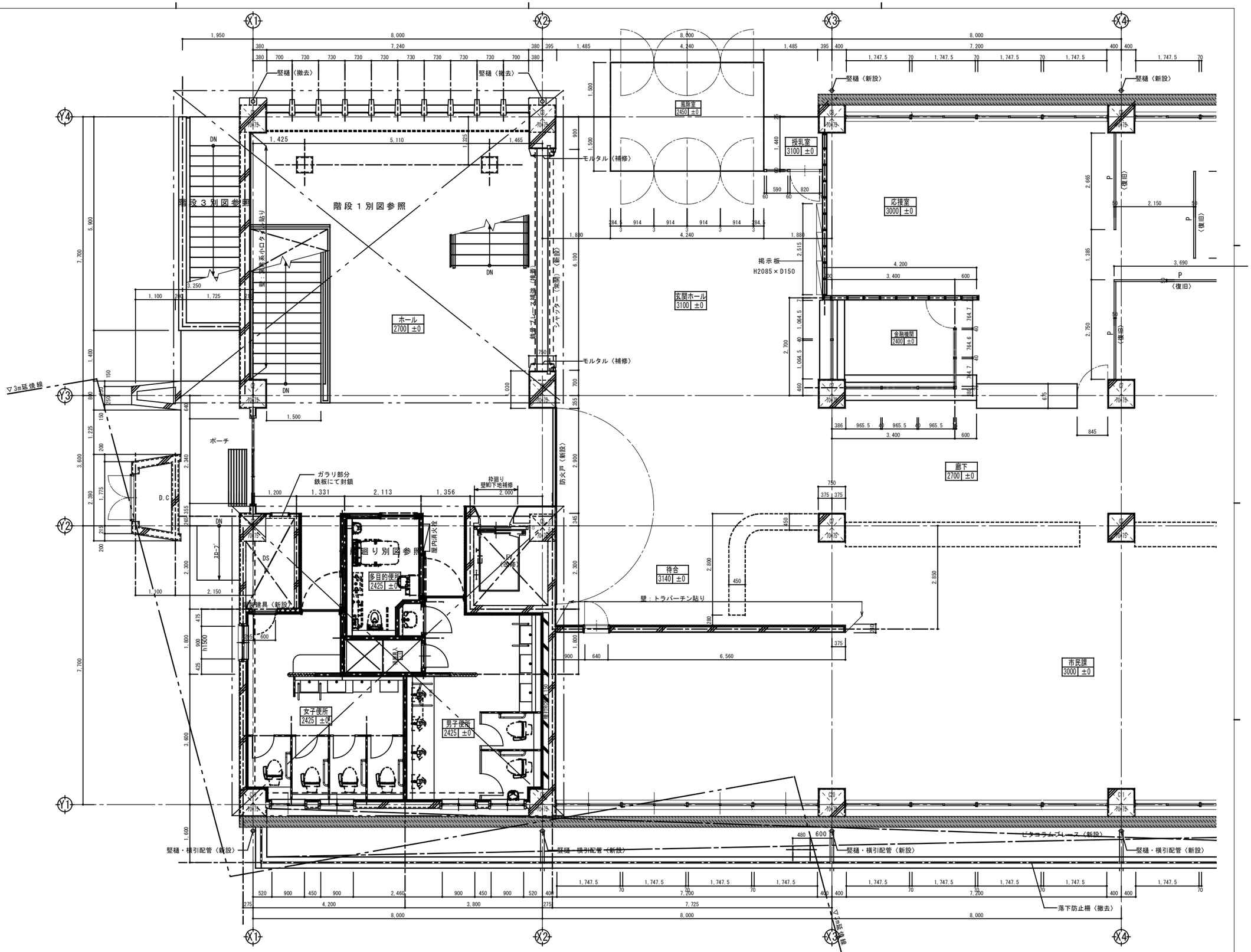
※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【現況】１階平面詳細図２	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号
	＊＊＊		— —

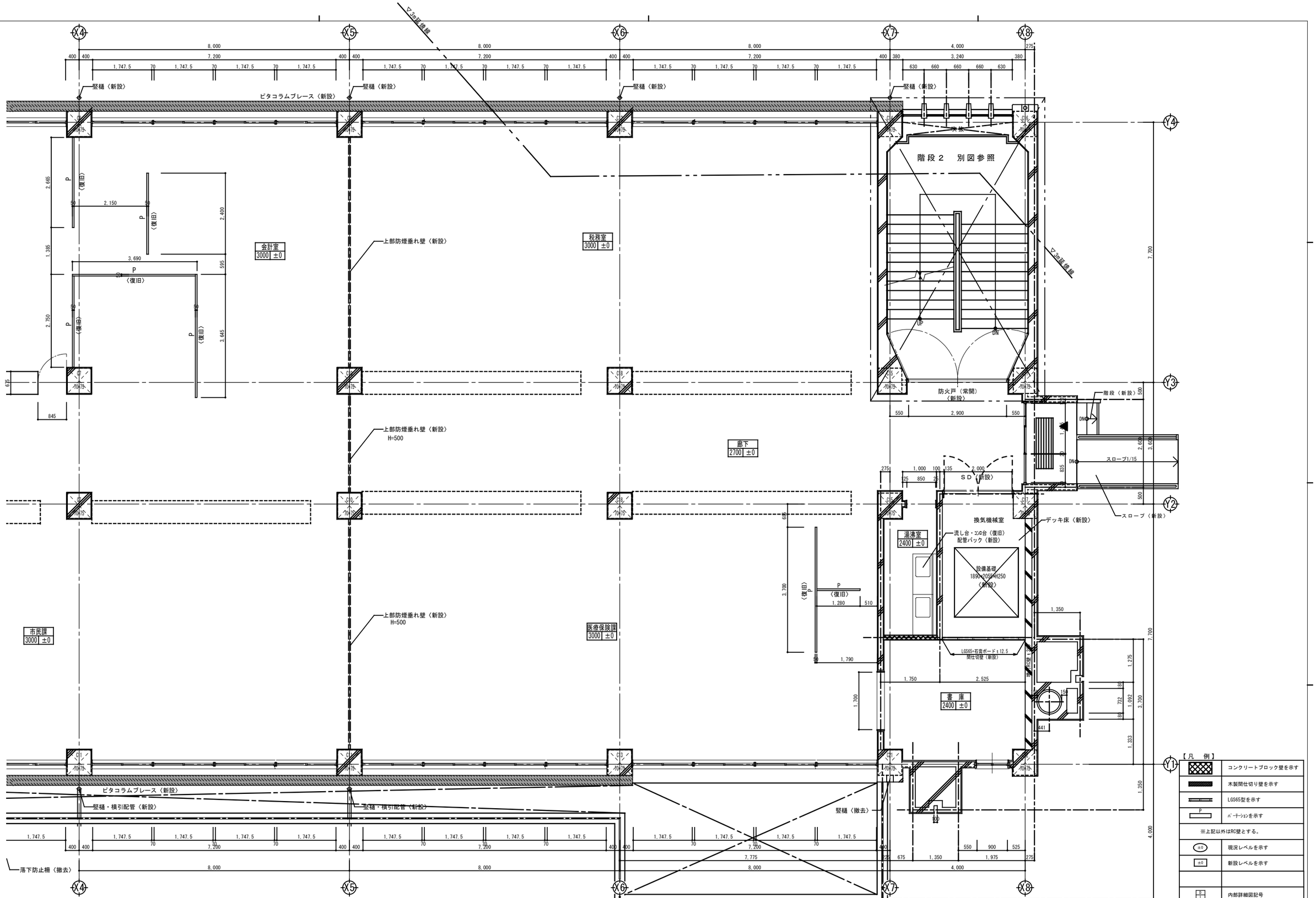
図面番号 A-66



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-67
				図面名称 【改修後】１階平面詳細図１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—
				＊＊＊			



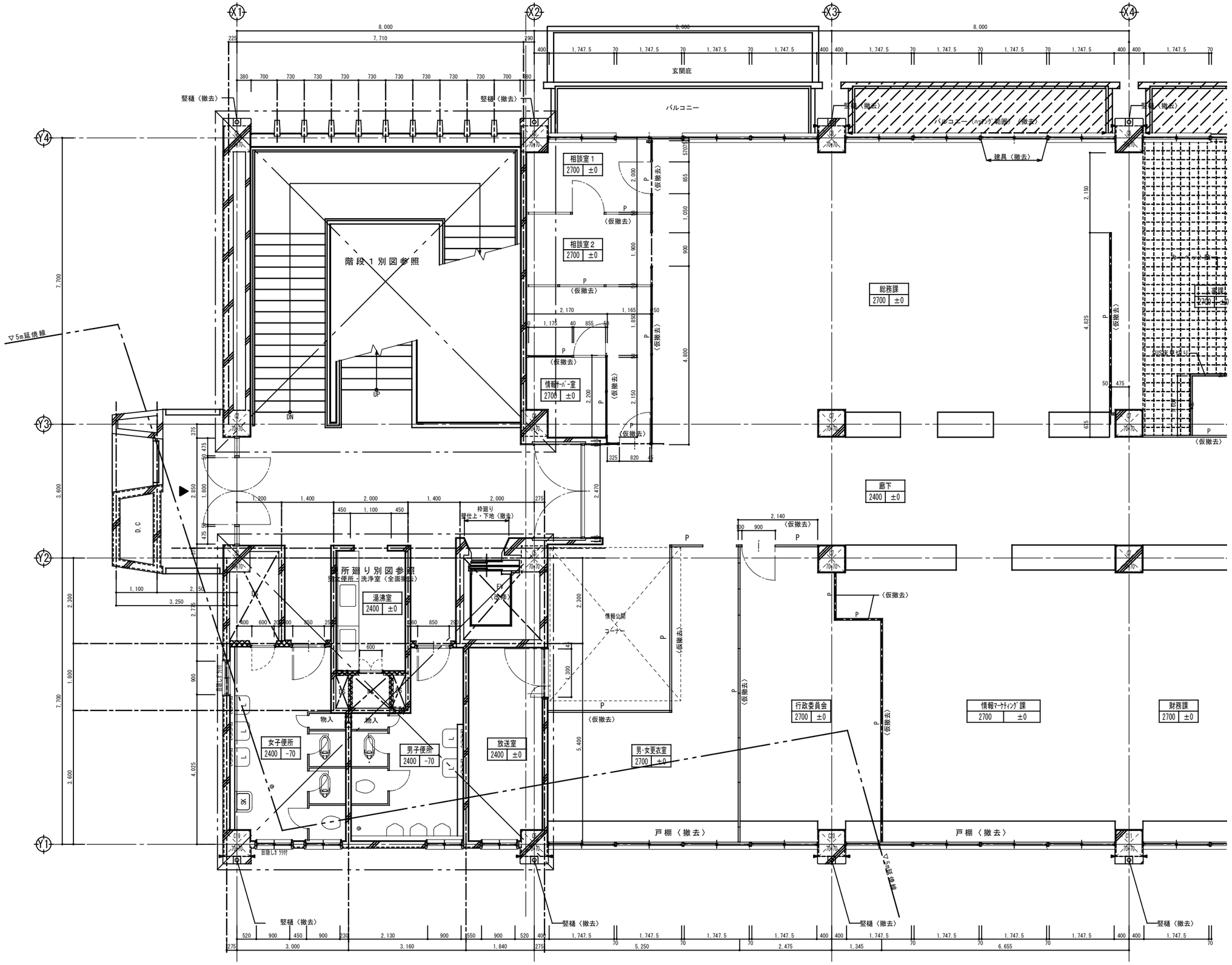
【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
3 / 1	内部詳細図記号

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】１階平面詳細図２	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号
	＊＊＊		— —

図面番号 A-68



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

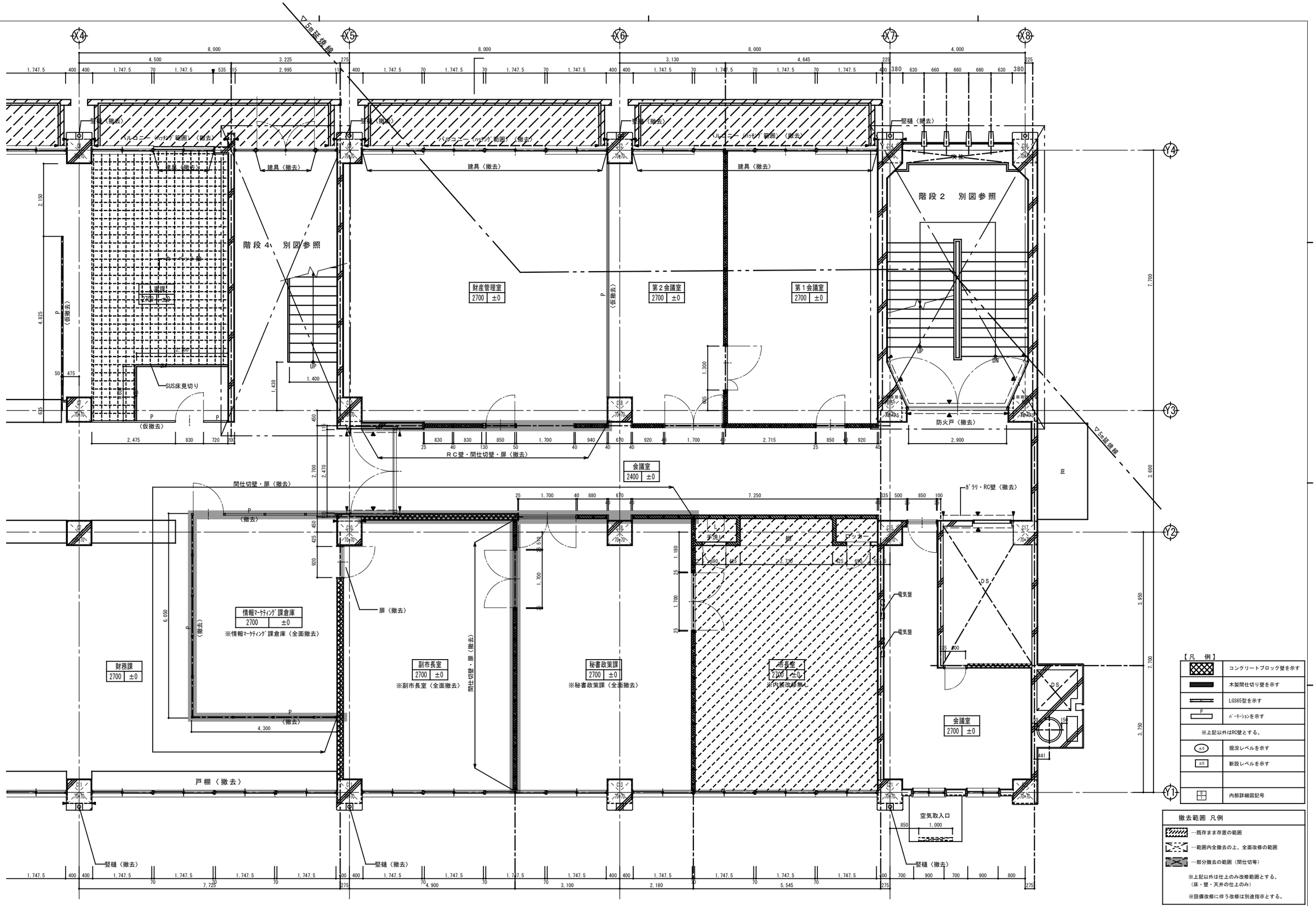
…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-69
			図面名称 【現況】２階平面詳細図１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—
			＊＊＊			



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
5 / 1	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

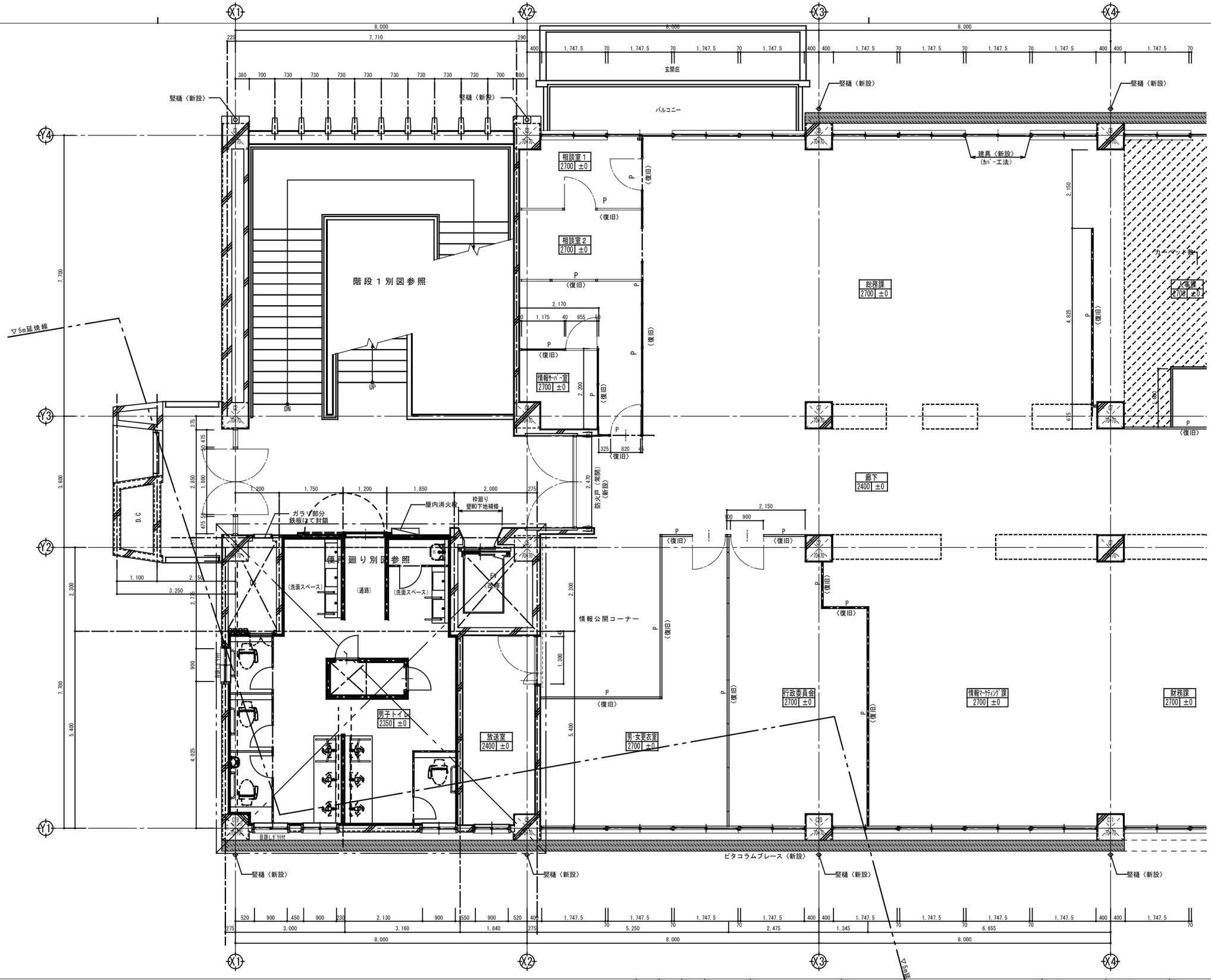
…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-70
			図面名称 【現況】２階平面詳細図２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	— —	
			＊＊＊			



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-71
				図面名称 【改修後】2階平面詳細図1　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	— —	
				***			

X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

竪樋（新設）

▽3m延焼線

ピタコラムブレース（新設）

建具（新設）（カバー工法）

建具（新設）

階段４別図参照

階段２　別図参照

吹抜

カーペット敷

床見切：SUS製

UP DN

財産管理室 2700 ±0

第２会議室 2700 ±0

第１会議室 2700 ±0

廊下 2400 ±0

壁：（LGS+PB t12.5）（新設）

防火戸（常開）（新設）

〈新設〉建具（LSD）

LGS壁（GW t50充填）＜新設＞

建具（防音仕様）（新設）

財務課 2700 ±0

副市長室 2700 ±0

秘書政策課 2700 ±0

市長室 2700 ±0

会議室 2700 ±0

換気機械室

デッキ床（新設）

設備基礎 1890×2055×H250 （新設）

電気盤

SD（新設）

DS

空気取入口 1,000

1階ピタコラムブレースライン（新設）

庇

【凡　例】

	床タイル撤去範囲を示す（モルタル下地共）
	コンクリートブロック壁を示す
	GL工法の範囲を示す
	LGS50型を示す
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	開口閉塞を示す
	床：カッター切（モルタル）を示す
	壁：カッター切（モルタル）を示す
	コーキング位置を示す
D 1	内部詳細図記号

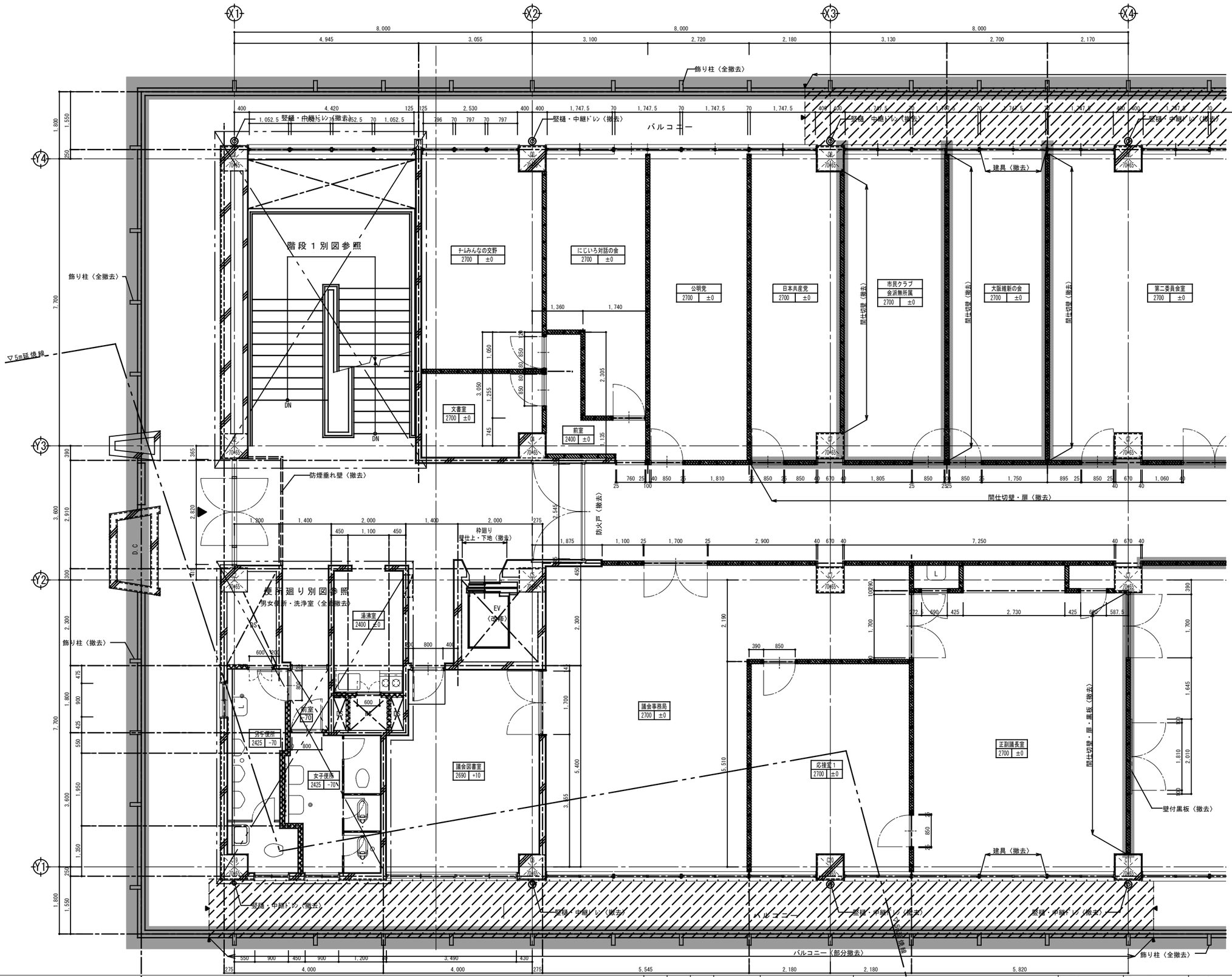
壁仕様　凡例

- ：コンクリートブロック壁
- P：パーティション　＜撤去＞
- ：木製間仕切壁

※上記以外はRC壁とする。

※LGS壁＜新設＞仕様：LGS65+石膏ボードt12.5の上、ビニルクロス（不燃）貼

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-72
				図面名称 【改修後】２階平面詳細図２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
				＊＊＊	—	—	



【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
LGS	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-73
				図面名称 【現況】３階平面詳細図１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —		
				* * *			

X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

▽5m延長線路

バルコニー（部分撤去）

階段４別図参照

階段５

階段２　別図参照

第二委員会室
2700 | ±0

第一委員会室
2700 | ±0

記者控室
2400 | +1600

傍聴席
3400～3600 | +1400～1600

議場
4320～5000 | ±0～+1000

通路１
2400 | ±0

通路２
2400 | ±0

ロビー
2700 | ±0

男子便所
2425 | ±0

空調機械室
3400 | +100

理事長控室
2700 | ±0

便所廻り別図参照

男子便所（全面撤去）

防火戸（撤去）

間仕切壁・扉（撤去）

間仕切壁・扉・黒板（撤去）

壁付黒板（撤去）
W2,010×H1,200

アコーディオンカーテン
H=1800
（撤去）

土部防煙垂れ壁
H=500（撤去）

飾り柱（全撤去）

避雷導体
（仮撤去）

竪樋・中継ﾄﾞﾚﾝ（撤去）

CH=2700

CH=2895

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
5 / 1	内部詳細図記号

撤去範囲　凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当		

工事名称　交野市本庁舎耐震・設備等改修工事

図面名称　【現況】３階平面詳細図２　　縮尺　1/50(A1)　1/100(A3)

＊＊＊

設計番号　―

設計年月日　令和**年　**月

整理番号　―　―

図面番号　A-74

階段１別図参照

便所廻り別図参照

竪樋・中継ﾄﾞﾚﾝ（新設）

竪樋・中継ﾄﾞﾚﾝ（撤去）

バルコニー

建具（新設）
（ｶﾊﾞｰ工法）

▽5m延焼線

防煙垂れ壁（新設）
H500

ガラリ部分
鉄板にて封鎖

防火戸（常閉）
（新設）

枠廻り
壁MO下地補修

防火戸（常閉）（新設）

EV
（改修）

DN

DS

SD（新設）

D.C

議員控室１	2700 ±0
議員控室２	2700 ±0
議員控室３	2700 ±0
第一委員会室	2700 ±0
第二委員会室	2700 ±0
文書室	2700 ±0
前室	2700 ±0
廊下１	2700 ±0
議会事務局	2700 ±0
議会図書室	2700 +10
女子トイレ	2375 ±0
応接室	2700 ±0
議長室	2700 ±0
議員控室４	2700 ±0

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
	内部詳細図記号

※LGS壁＜新設＞仕様：LGS65+石膏ボードｔ12.5の上、ビニルクロス（不燃）貼

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】３階平面詳細図１	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	＊＊＊	整理番号	— —
			図面番号 A-75

X4 X5 X6 X7 X8

Y4 Y3 Y2 Y1

バルコニー・手摺（ハッチング範囲）〈新設〉

竪樋・中継ドレン・横引配管〈新設〉

上階ピタコラムウェーターサン〈新設〉

階段４　別図参照

階段５

階段２　別図参照

傍聴席
2400～3600 400～1600

記者控室
2400 1600

第二委員会室
2700 ±0

廊下２
2700 ±0

通路１
2400 ±0

議場
4320～5000 ±0～+1000

議員控室４
2700 ±0

議員控室５
2700 ±0

議員控室６
2700 ±0

ロビー
2700 ±0

理事長控室
2700 ±0

男子トイレ
2375 ±0

女子トイレ
2375 ±0

通路２
2400 ±0

空調機械室
3400 +100

可動間仕切（GH先端）〈新設〉

間仕切壁〈新設〉（GH先端）

間仕切壁・扉〈新設〉

防火戸（常開）〈新設〉

建具（LSD）〈新設〉

建具〈新設〉

土部防煙垂れ壁 H=500〈新設〉

避難器具〈既設在〉

設備基礎 H=50〈新設〉

DS

バルコニー

UP

DN

CH=2700

+1600 +1500 +1400 +680 +510 +340 +170 ±0 +360 +850 +1000

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
	※上記以外はRC壁とする。
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
9 / 1	内部詳細図記号

※LGS壁＜新設＞仕様：LGS65+石膏ボードｔ12.5の上、ビニルクロス（不燃）貼

代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】３階平面詳細図２	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	* * *	整理番号	— —

図面番号 A-76

X1 X2 X5 X6 X7

Y4 Y3 Y2 Y1

2,500 8,000 8,000

2,225 275 4,955 3,045 275 8,000 8,000 275

16,550

2,075 12,400 2,075

1,210 4,030 1,920 4,020 1,220

1,800 1,550 250 7,700 390 3,600 2,960 250 2,300 1,550 300 550 500 550 1,800 750 1,800

▽5m延焼線

▽5m延焼線

SP

改掘り

位置変更

階段1

DN

1,600 410

1,600 415

クラッブ3（撤去）

設備基礎（存置）

P P P

410 1,600

1,200

D.C

DS

書電池室 2700 ±0

空調機械室 2700 ±0

機械室 2700 +200

間仕切RC,CB壁（全撤去）

2,700

200 600 400

1,125

CB塀：H=4,200（撤去）

脱気筒（撤去）

アンテナ基礎・架台

SP

階段5

DN

脱気筒（撤去）

議場上部

倉庫

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
1 / 1	内部詳細図記号

撤去範囲 凡例

…既存まま存置の範囲

…範囲内全撤去の上、全面改修の範囲

…部分撤去の範囲（間仕切等）

※上記以外は仕上のみ改修範囲とする。
（床・壁・天井の仕上のみ）

※設備改修に伴う改修は別途指示とする。

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-77
				図面名称 【現況】R階平面詳細図	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —	
				* * *			

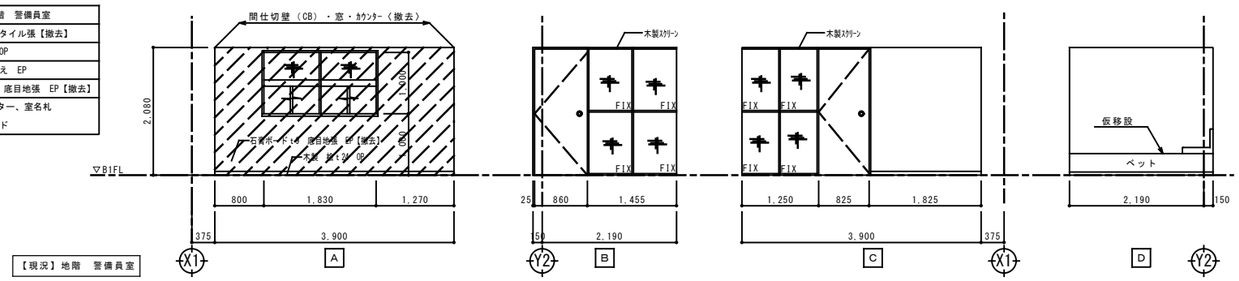
X1 X2 X5 X6 X7
Y1 Y2 Y3 Y4
2,500 8,000
2,225 275 4,955 3,045
8,000 8,000
275 16,550 275
2,075 12,400 2,075
4,030 1,920 4,020
1,800 7,700 3,600
RD〈ストレーナーのみ新設〉
SP
▽5m延線線
吸排気ダクト
排煙窓〈新設〉〈カバー工法〉
竪樋〈新設〉
DN
階段1
階段5
1,600 410
1,600
415
SD〈新設〉
ﾀﾗｯﾌﾟ〈新設〉
430
鉄骨架台〈新設〉
階段＜新設＞
UP
P
ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ：750*750開口〈新設〉
410 1,600
防災無線室
2700 ±0
1,700
間仕切壁：（LGS+PBt21+21）〈新設〉
ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ：開口閉塞〈新設〉
750
空調機械室
2700 ±0
D.S
床〈新設〉
PS
CON基礎・150H
〈新設〉
500
330 600
1,200
800
1,000
1,600
1,000
1,800
開口閉塞
1600*1000
〈新設〉
1,235
基礎〈既設再利用〉
機械室
2700 +2000
排煙ﾀﾜｰ
議場上部
倉庫
1,550 300 500 550 750
2,300 1,800 7,700
3,600
アンテナ基礎・架台
SP
RD〈ストレーナーのみ新設〉
ﾀﾗｯﾌﾟ1〈新設〉
450
竪樋〈新設〉

【凡　例】

	コンクリートブロック壁を示す
	木製間仕切り壁を示す
	LGS65型を示す
P	ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝを示す
※上記以外はRC壁とする。	
±0	現況レベルを示す
±0	新設レベルを示す
6 / 1	内部詳細図記号

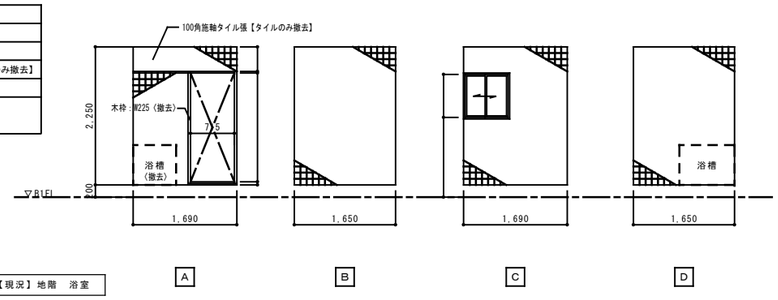
代表者	照　査	担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
						—	令和**年　**月	A-78
				図面名称	【改修後】R階平面詳細図	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	
					***		— —	

【現況】地階　警備員室	
床	床・ビニール系タイル張【撤去】
巾木	木製　框ｔ24　OP
壁	モルタルコテ押え　EP
天井	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】
備考	【撤去】カウンター、室名札 【仮移設】ベッド



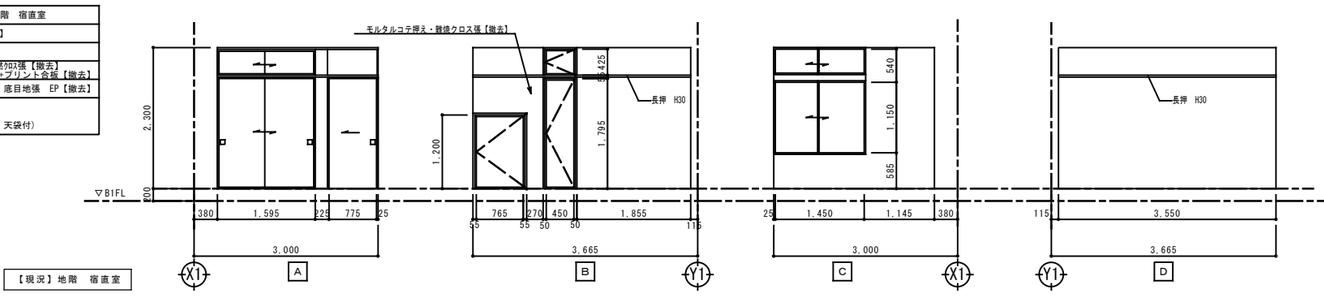
【現況】地階　警備員室

【現況】地階　浴室	
床	磁器モザイクタイル張
巾木	
壁	100角施釉タイル張【タイルのみ撤去】
天井	軟質石綿板t6
備考	【撤去】浴槽



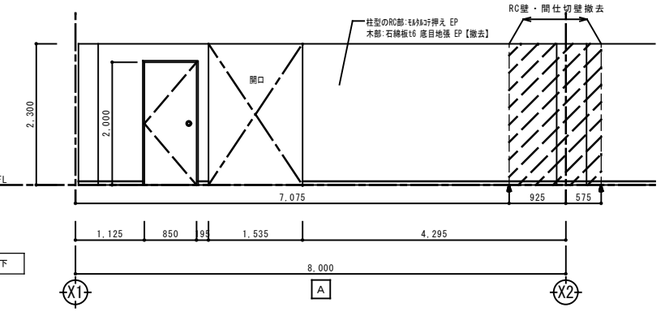
【現況】地階　浴室

【現況】地階　宿直室	
床	タタミ数【撤去】
巾木	タタミ寄せ
壁	ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え＋難燃ｸﾛｽ張【撤去】 木造 石綿板ｔ6+プリント合板【撤去】
天井	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】
備考	【撤去】室名札 押入れ(中段付・天袋付)

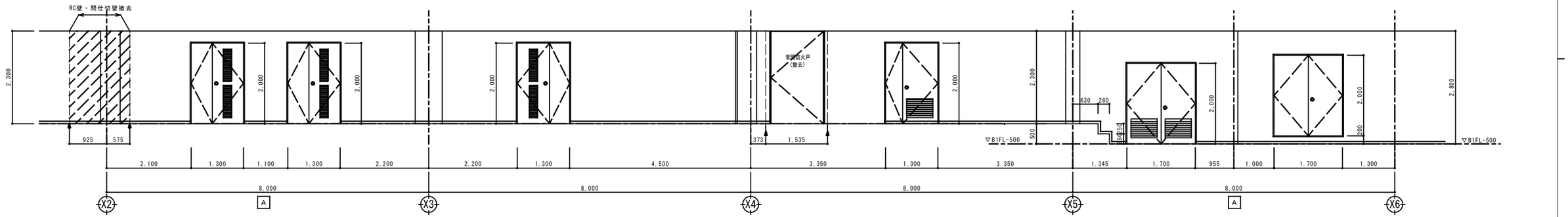


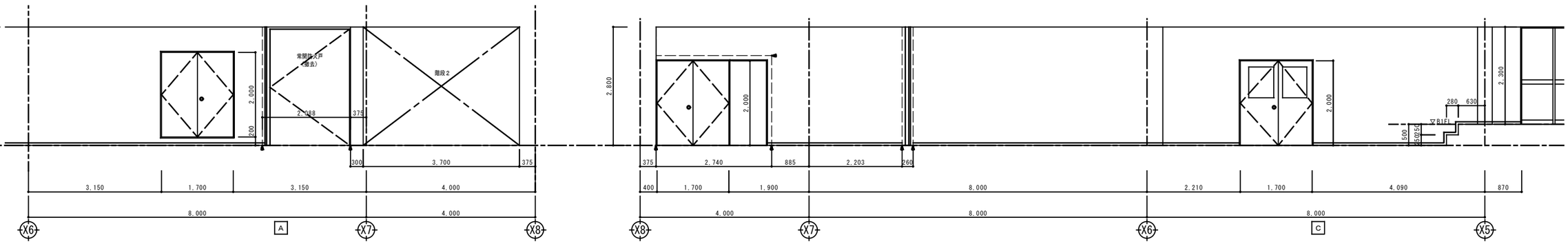
【現況】地階　宿直室

【現況】地階　廊下	
床	ビニール系タイル張【撤去】
巾木	木製　框ｔ24　OP
壁	柱型のRC部:ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え　EP 木部:石綿板t6 底目地張　EP【撤去】
天井	石膏ボードｔ9　底目地張　EP【撤去】 パールスキン吹付【撤去】
備考	【撤去】防火戸(廊下中央部)



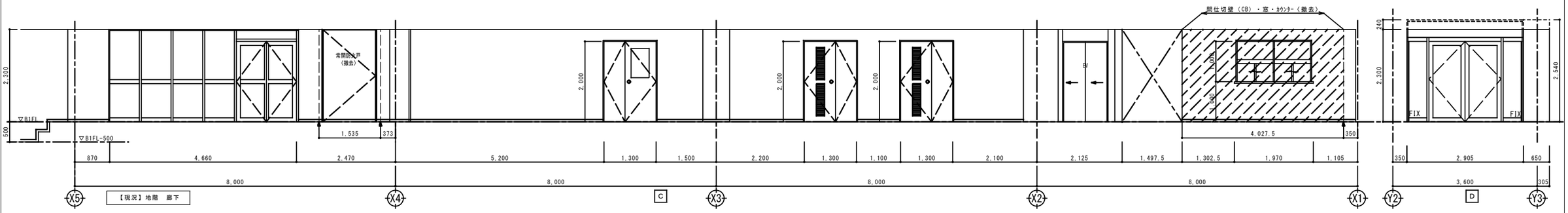
【現況】地階　廊下



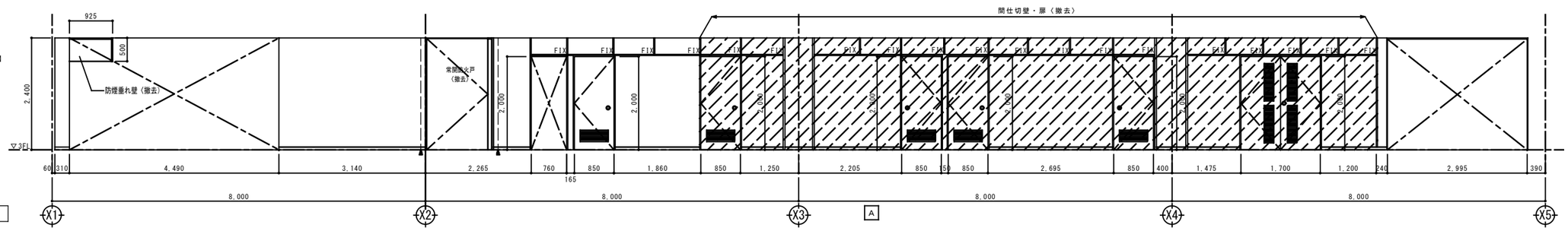


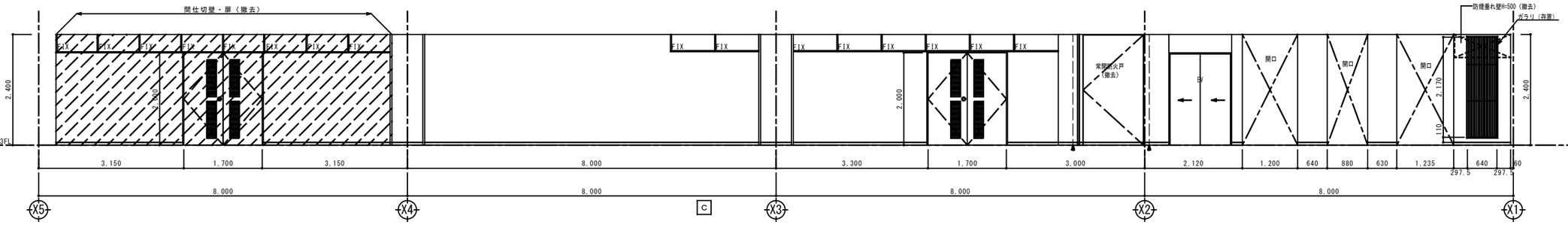
代表者	照　査	担　当		

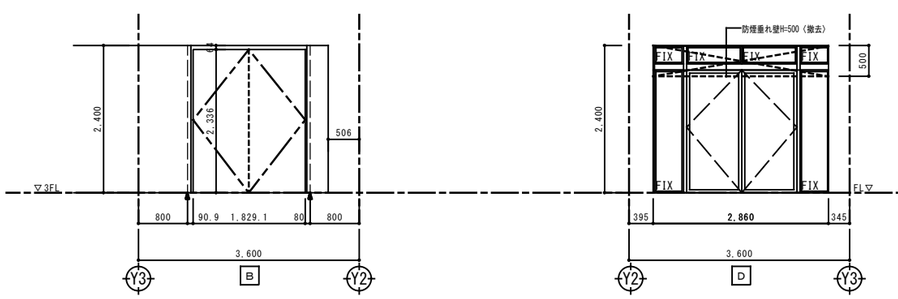
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和**年　**月	A-79
図面名称	【現況】展開図 1　　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
	* * *	—	—	



【現況】３階　廊下	
床	ビニール系タイル張【撤去】
巾木	木製　桧ｔ24　OP
壁	RC部モルタルコテ押え 木部ﾌｧﾝ.ｴﾘｱ2210下地　難燃ｸﾛｽ張【撤去】
天井	岩綿吸音板t12. 強化石膏ボードt9【撤去】
備考	

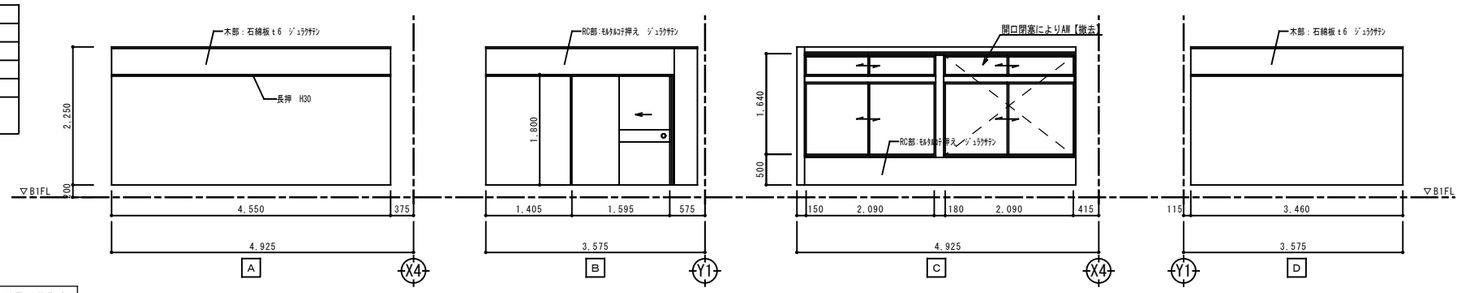






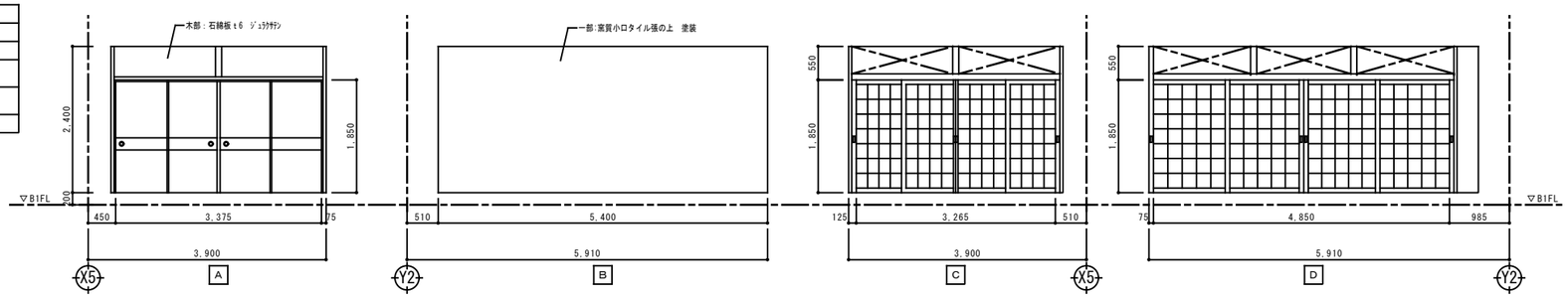
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-80
					図面名称 【現況】展開図２　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3) ＊＊＊	整理番号 — —		

【現況】地階　休憩室１	
床	タタミ敷【撤去】
巾木	タタミ寄せ
壁	RC部:ﾓﾙﾀﾙ吹付え　ｼﾞｭﾗｸｻﾝ 木部：石綿板ｔ6　ｼﾞｭﾗｸｻﾝ
天井	杉柾ベニヤ底目地張【撤去】
備考	【撤去】室名札



【現況】地階　休憩室１

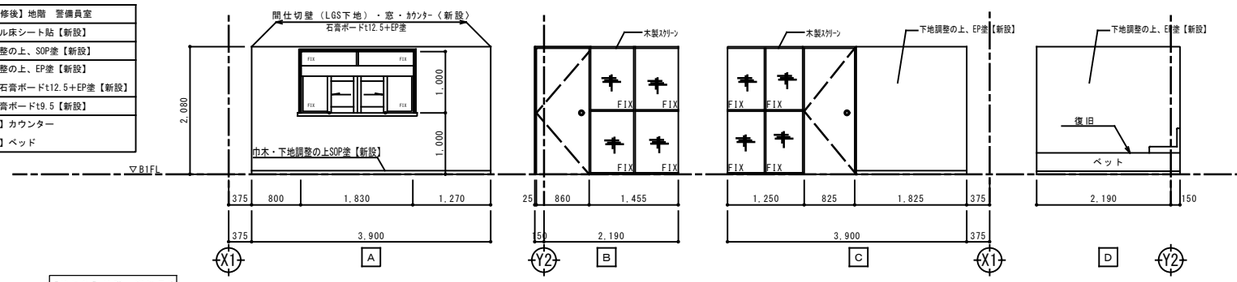
【現況】地階　休憩室２	
床	タタミ敷【撤去】
巾木	タタミ寄せ
壁	RC部:ﾓﾙﾀﾙ吹付え　ｼﾞｭﾗｸｻﾝ 木部：石綿板ｔ6　ｼﾞｭﾗｸｻﾝ 一部:窯質小口タイル張の上　塗装
天井	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 捨張 岩綿吸音板t12【撤去】
備考	押入



【現況】地階　休憩室２

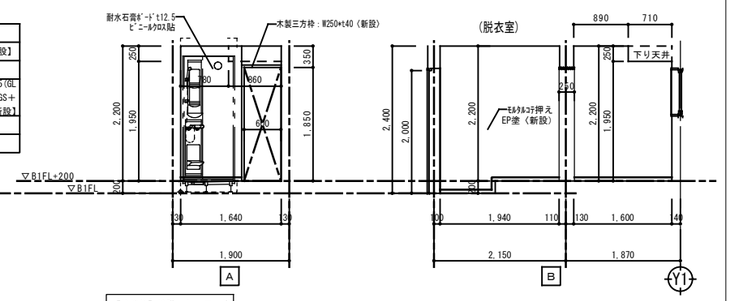
代表者	照　査	担　当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和**年　**月	図面番号 A-81
					図面名称 【現況】展開図３	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —	
					＊＊＊			

【改修後】地階　警備員室	
床	ビニール床シート貼【新設】
巾木	下地調整の上、SOP塗【新設】
壁	下地調整の上、EP塗【新設】 一部、石膏ボードt12.5+EP塗【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】カウンター 【復旧】ベッド

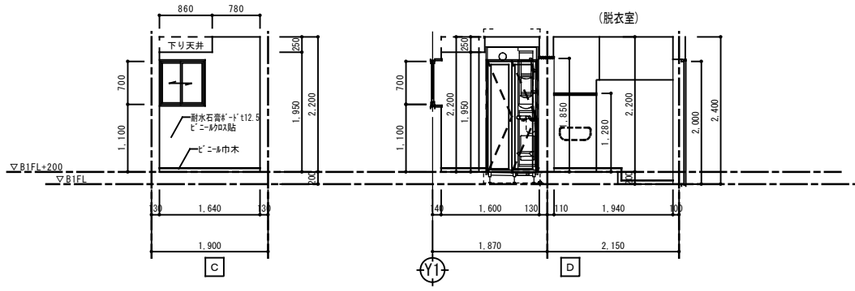


【改修後】地階　警備員室

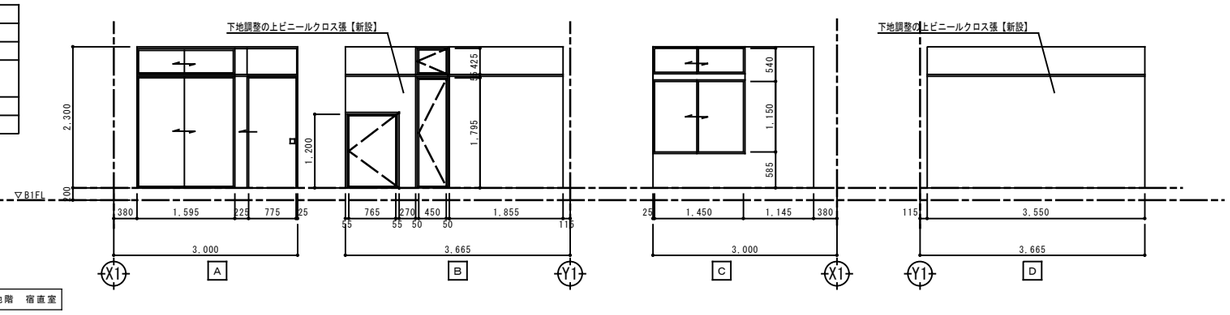
【改修後】地階　シャワー室	
床	張上げﾓﾙﾀﾙの上、ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ貼【新設】
巾木	ビニル巾木【新設】
壁	不陸調整の上、耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5(GL工法)+ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】、一部、LGS+耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】シャワーユニットO808



【改修後】地階　シャワー室
(脱衣室)

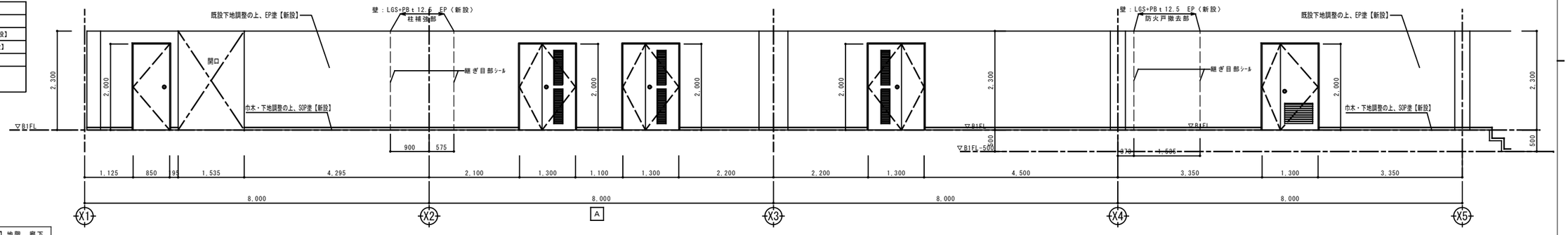


【改修後】地階　宿直室	
床	タタミ数【新設】
巾木	タタミ寄せ（既設のまま）
壁	既設仕上下地調整の上、 ビニルクロス貼（不燃）【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	

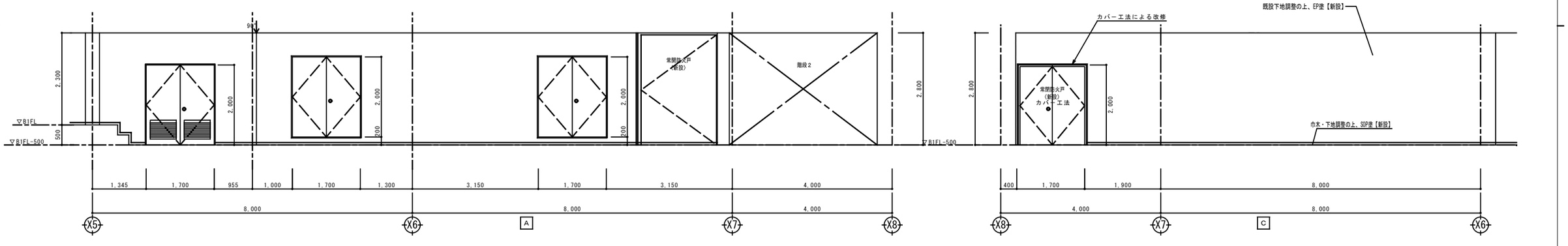


【改修後】地階　宿直室

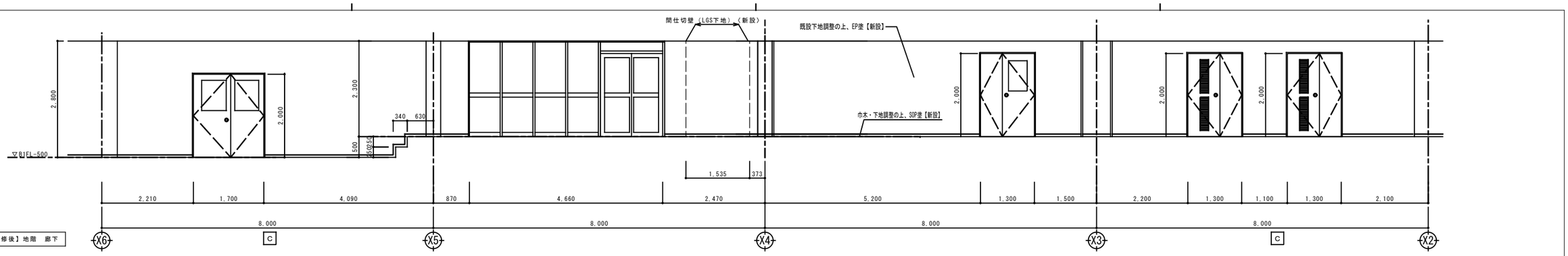
【改修後】地階　廊下	
床	ビニール床シート貼【新設】
巾木	既設下地調整の上、SOP塗【新設】
壁	既設下地調整の上、EP塗【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	



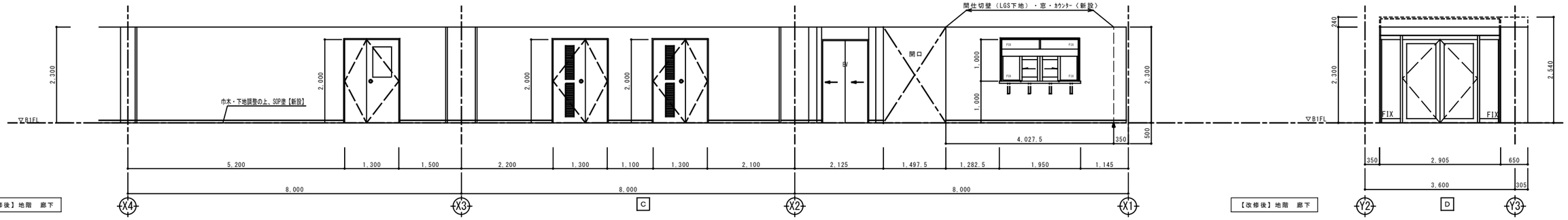
【改修後】地階　廊下



代表者	照　査	担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【改修後】展開図 1	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	令和**年　**月	A-82
					***		整理番号	



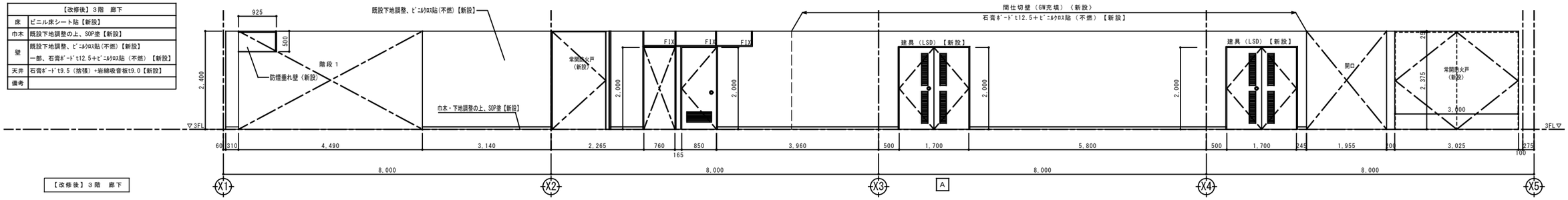
【改修後】地階　廊下



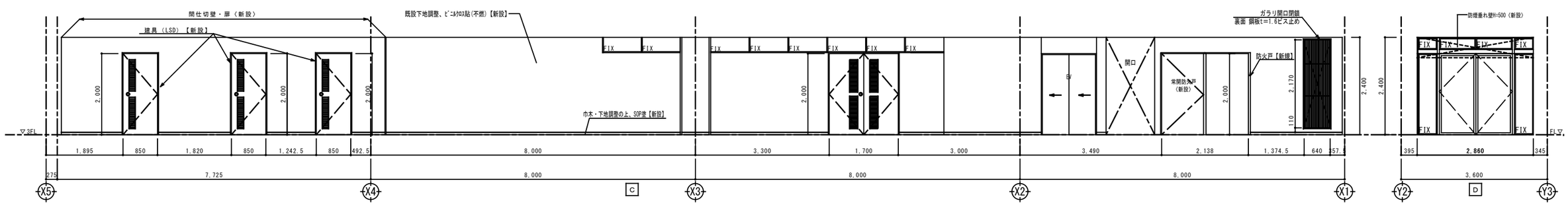
【改修後】地階　廊下

【改修後】地階　廊下

【改修後】３階　廊下	
床	ビニル床シート貼【新設】
巾木	既設下地調整の上、SOP塗【新設】
壁	既設下地調整、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(不燃)【新設】 一部、石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼（不燃）【新設】
天井	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5（捨張）+岩綿吸音板t9.0【新設】
備考	



【改修後】３階　廊下



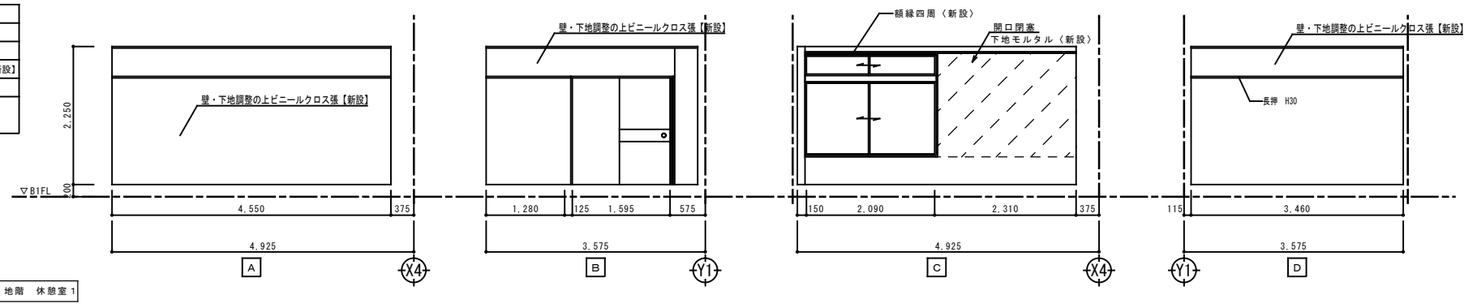
【改修後】３階　廊下

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和**年　**月
図面名称	【改修後】展開図２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	図面番号
	＊＊＊	— —	A-83

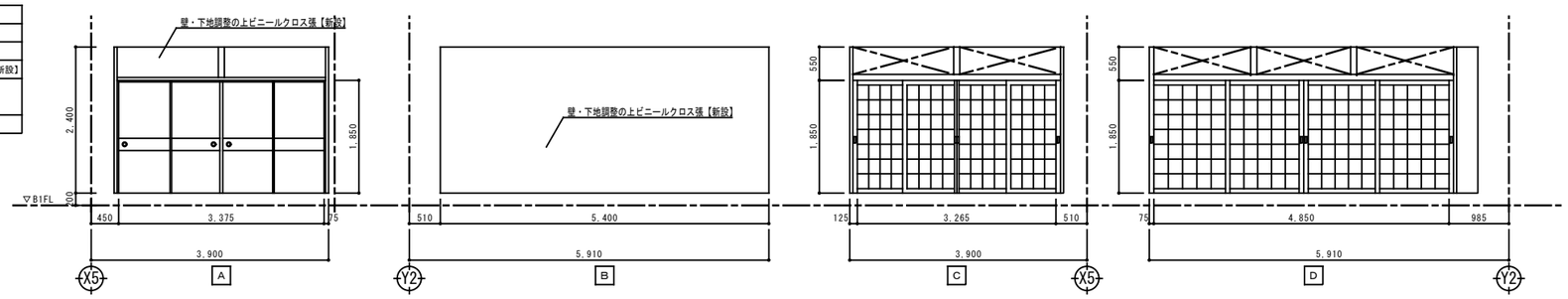
【改修後】

【改修後】地階　休憩室１	
床	タタミ敷【新設】
巾木	タタミ寄せ（既設のまま）
壁	下地調整の上、ビニルクロス張【新設】
天井	化粧石膏ボードt9.5【新設】
備考	【新設】外部開口部閉塞



【改修後】地階　休憩室１

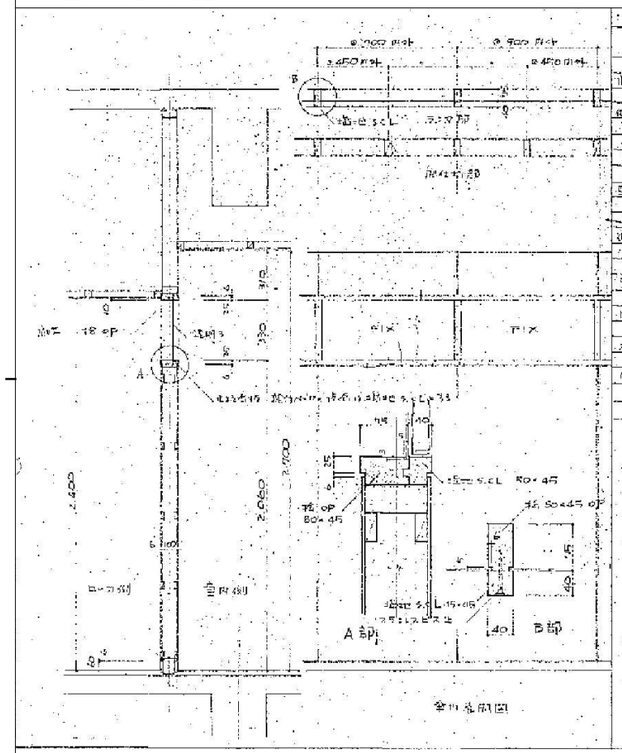
【改修後】地階　休憩室2	
床	タタミ敷【新設】
巾木	タタミ寄せ（既設のまま）
壁	下地調整の上、ビニルクロス張【新設】
天井	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9 捨張 +岩綿吸音板t9.0【新設】
備考	押入

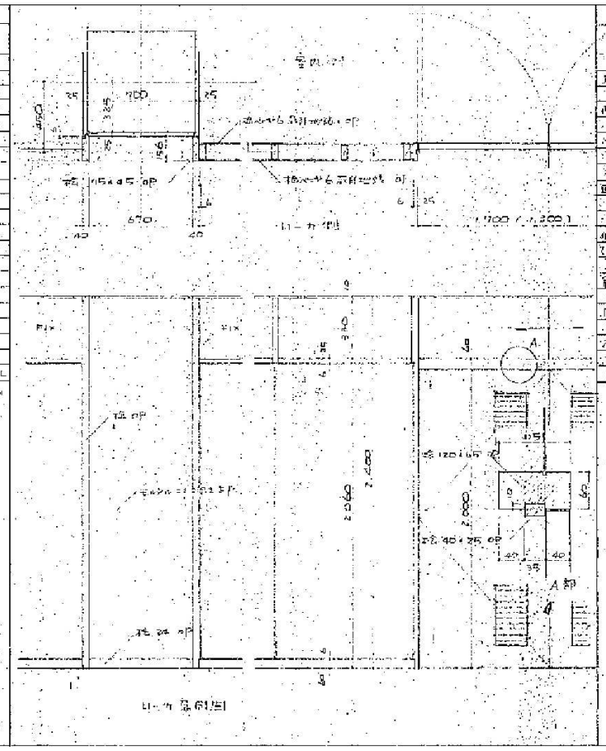


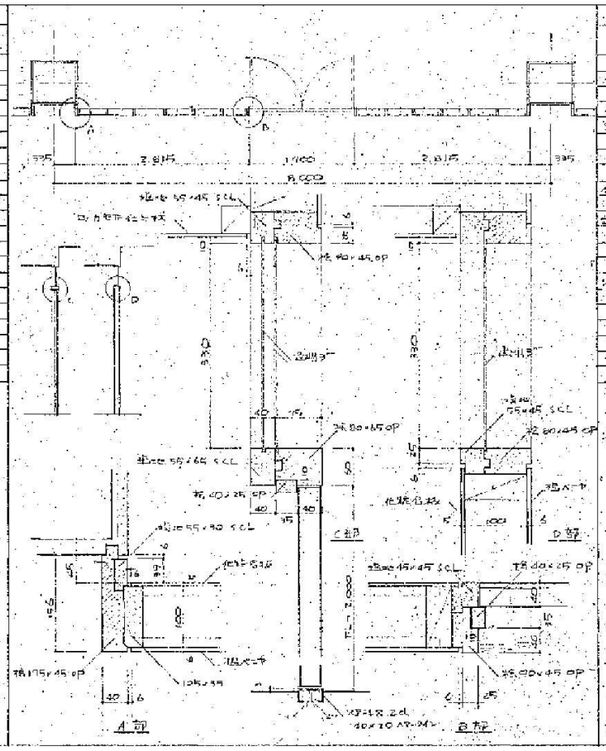
【改修後】地階　休憩室２

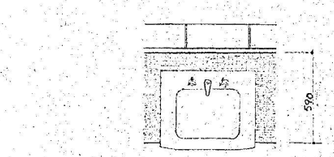
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-84
					図面名称 【改修後】展開図３ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—
					＊＊＊			

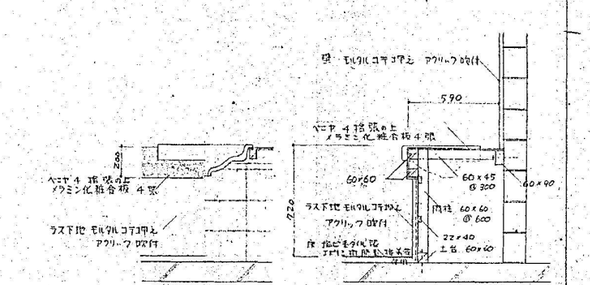
【現況】内部部分詳細図　1/20

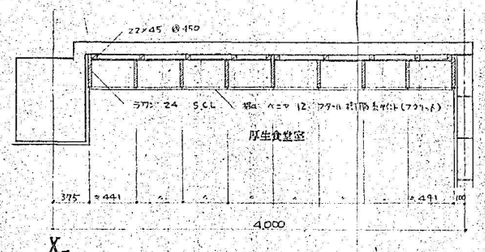


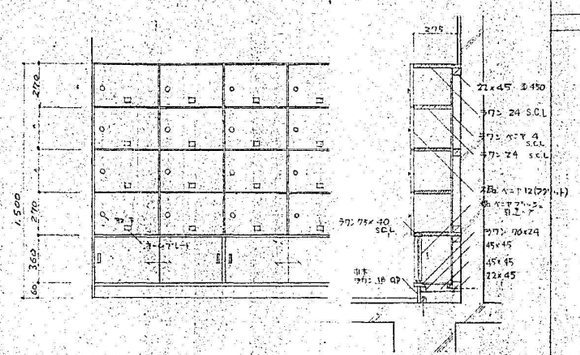


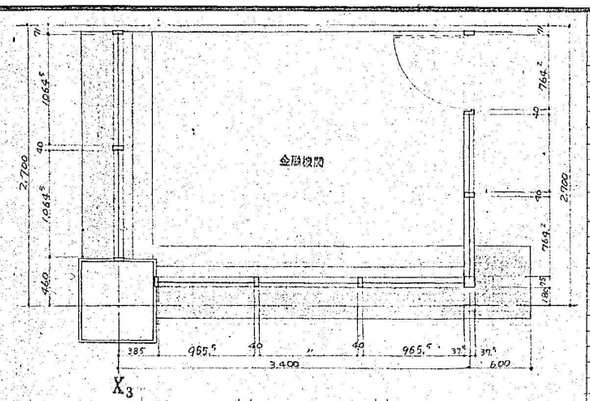


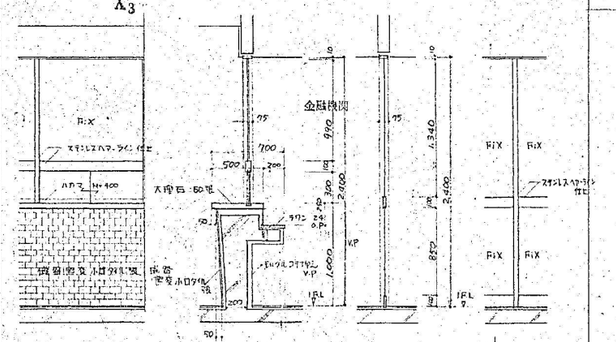








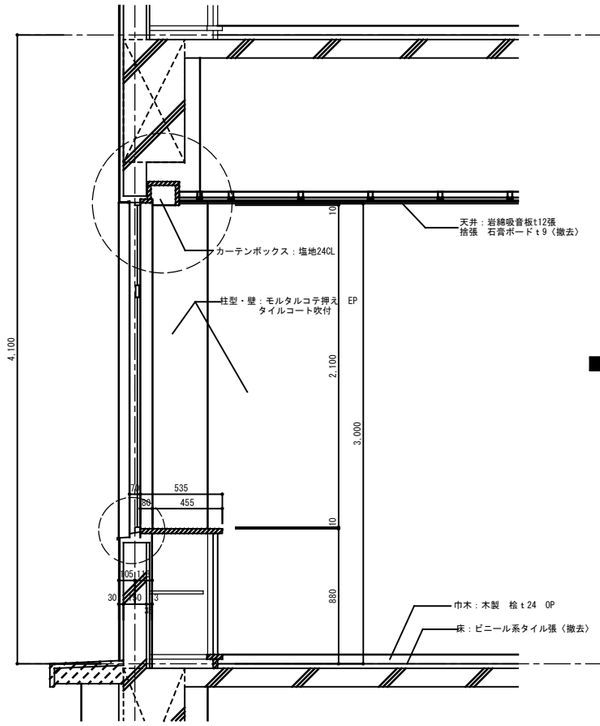




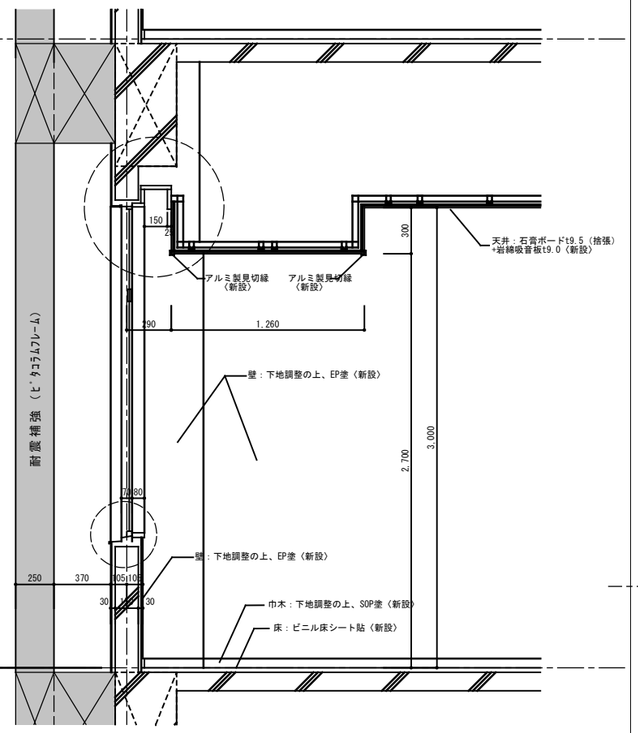
代表者	照査	担当	

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	—
設計年月日	令和**年　**月	図面番号	A-85
図面名称	【現況】内部改修　部分詳細図 1	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
整理番号	—	—	
* * *			

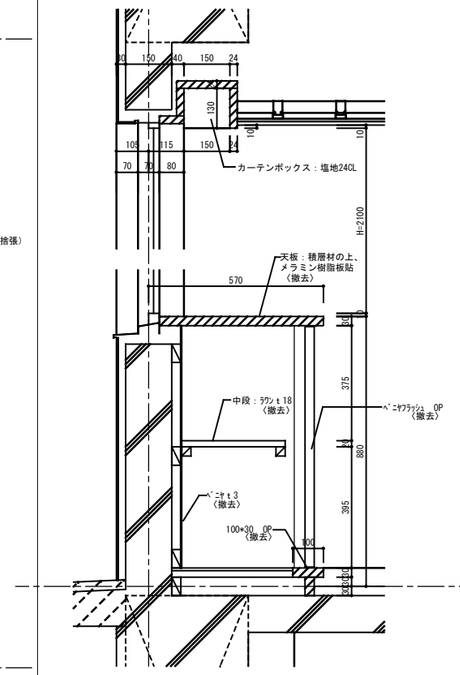
【現況・改修後】外壁廻り詳細図　1/20



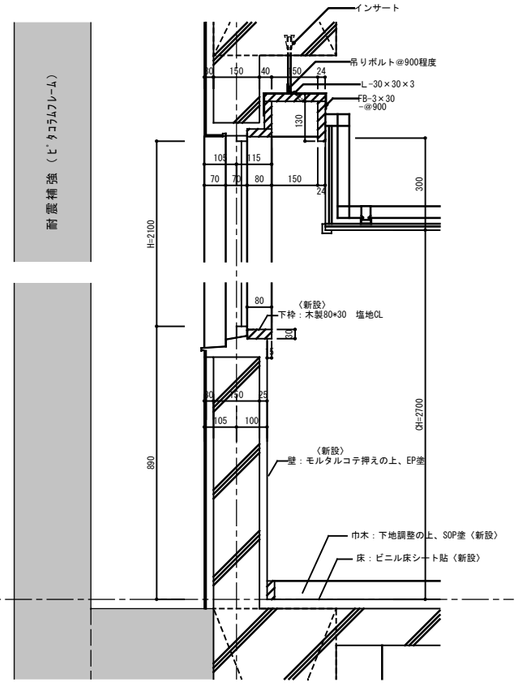
【現況】１階断面詳細図　1/20



【改修後】１階断面詳細図　1/20

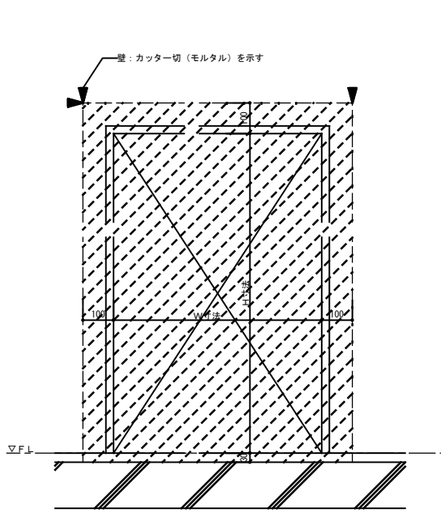


【現況】部分詳細図　1/10

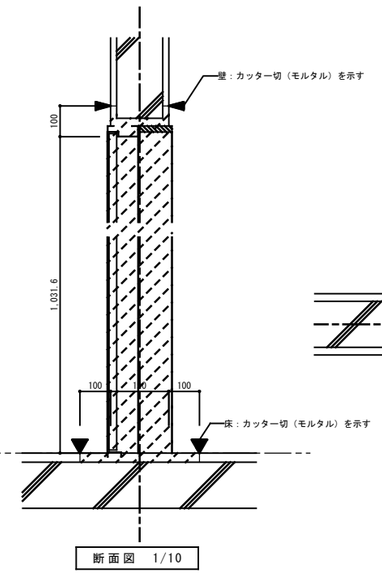


【改修後】部分詳細図　1/10

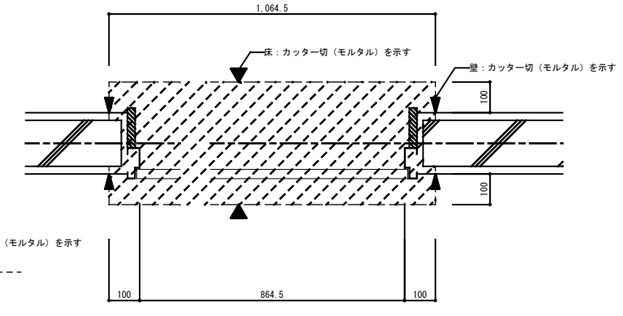
【現況撤去】建具廻り撤去要領図　1/10



立面図　1/10



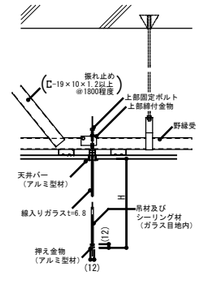
断面図　1/10



平面図　1/10

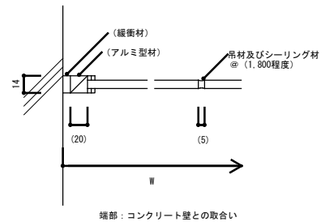
【現況・撤去】防煙垂れ壁廻り詳細図　1/10

防煙垂れ壁：固定式（ガラス，ボード製）

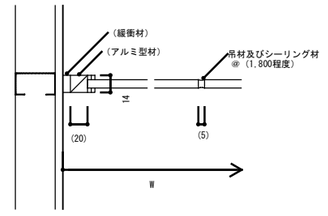


断面　1/10

※Ｈ寸法は、【現況撤去】H=400、H=500　【改修後新設】H=400、H=500、H=800
位置は天井伏図を参照



端部：コンクリート壁との取合い

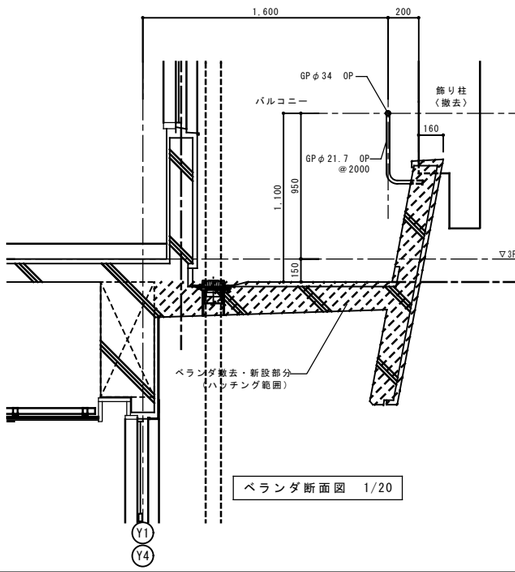


端部：軽量鉄骨下地壁との取合い

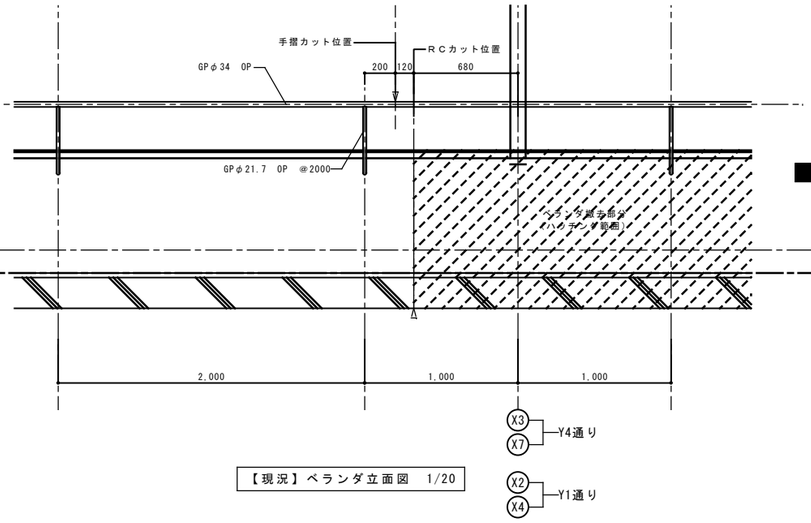
平面　1/5

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-86
					図面名称 【現況・改修後】内部改修　部分詳細図２　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	

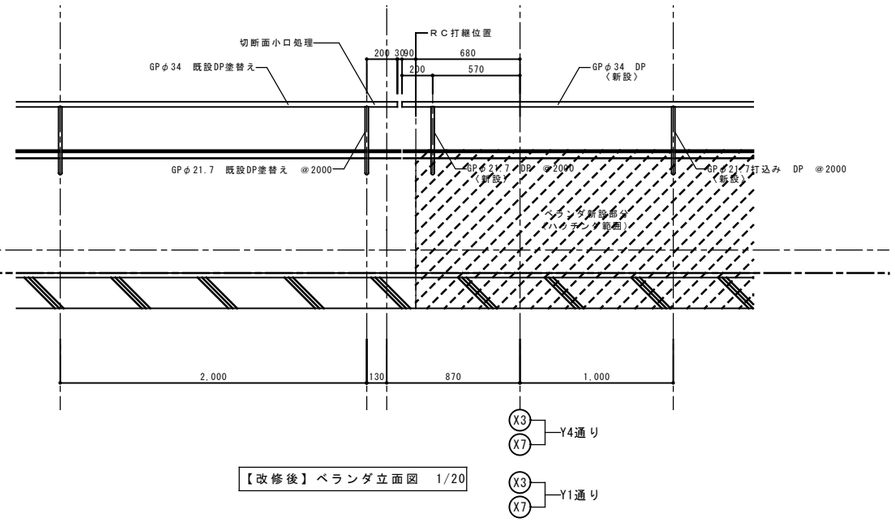
【現況・改修後】バルコニー手摺　詳細図　1/20



ベランダ断面図　1/20

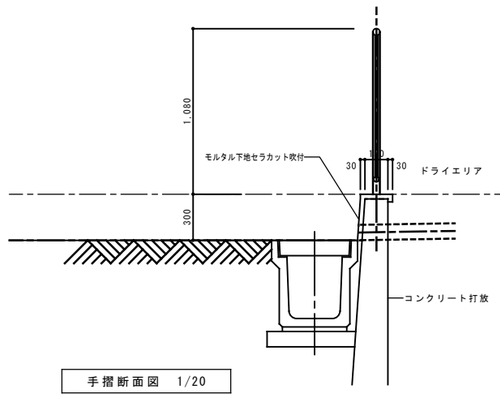


【現況】ベランダ立面図　1/20

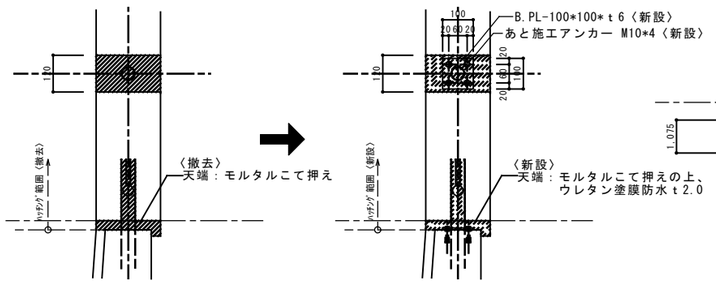


【改修後】ベランダ立面図　1/20

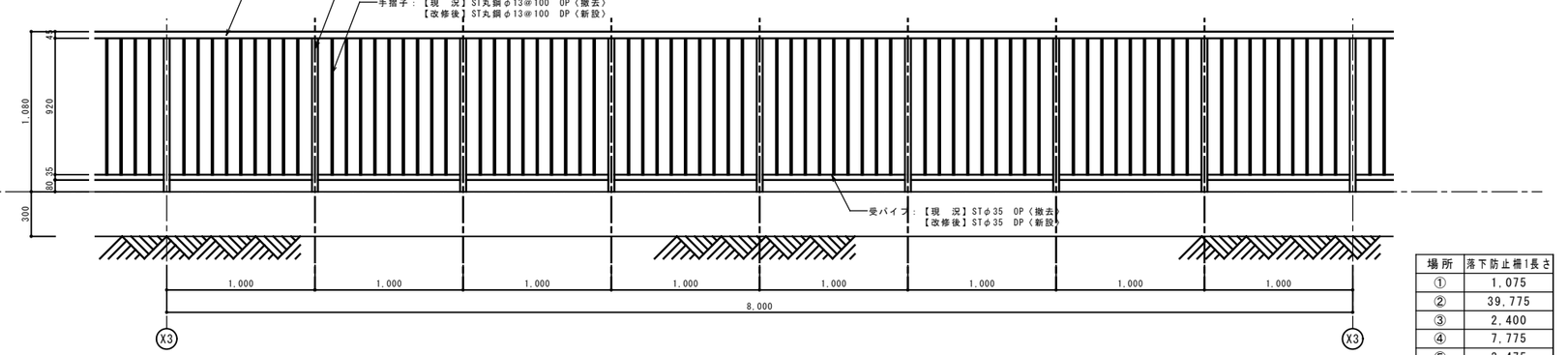
【現況・改修後】落下防止柵1　詳細図　1/20



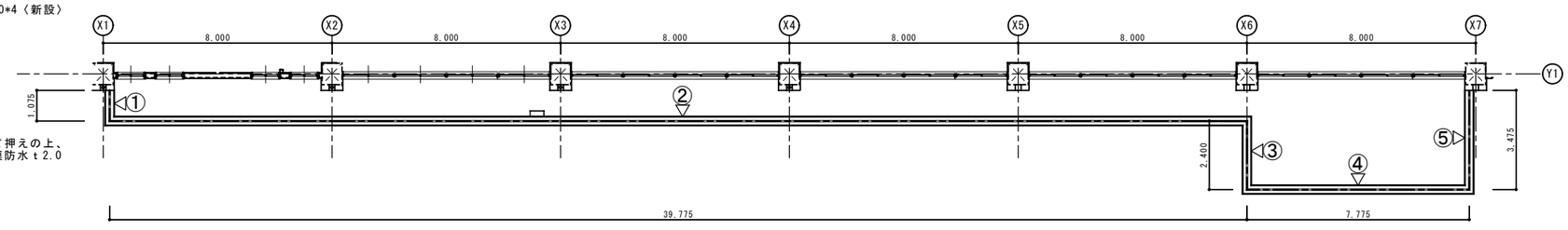
手摺断面図　1/20



撤去詳細図　1/10　　新設詳細図　1/10

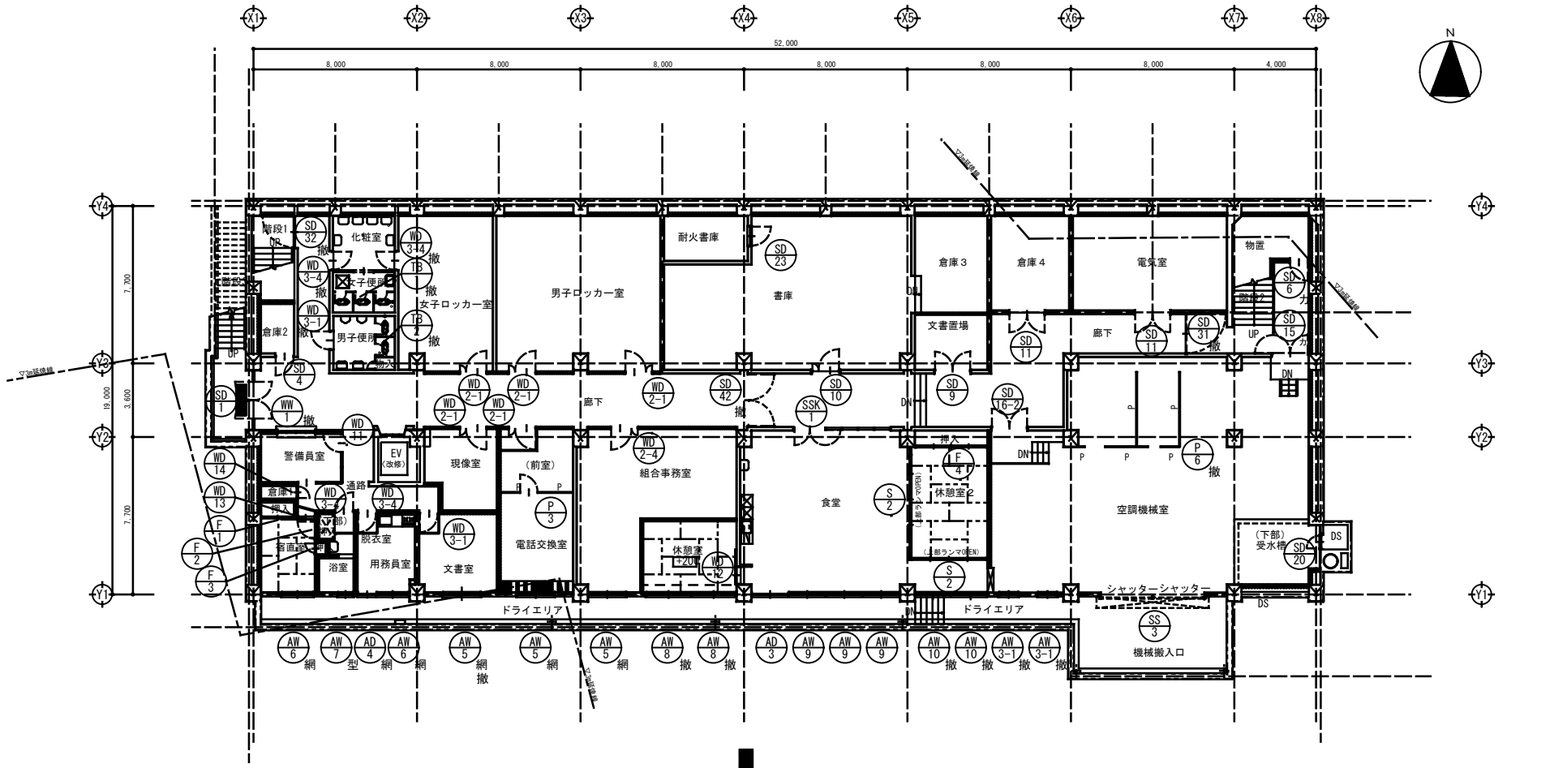


場所	落下防止柵1長さ
①	1,075
②	39,775
③	2,400
④	7,775
⑤	3,475
合計	54,500

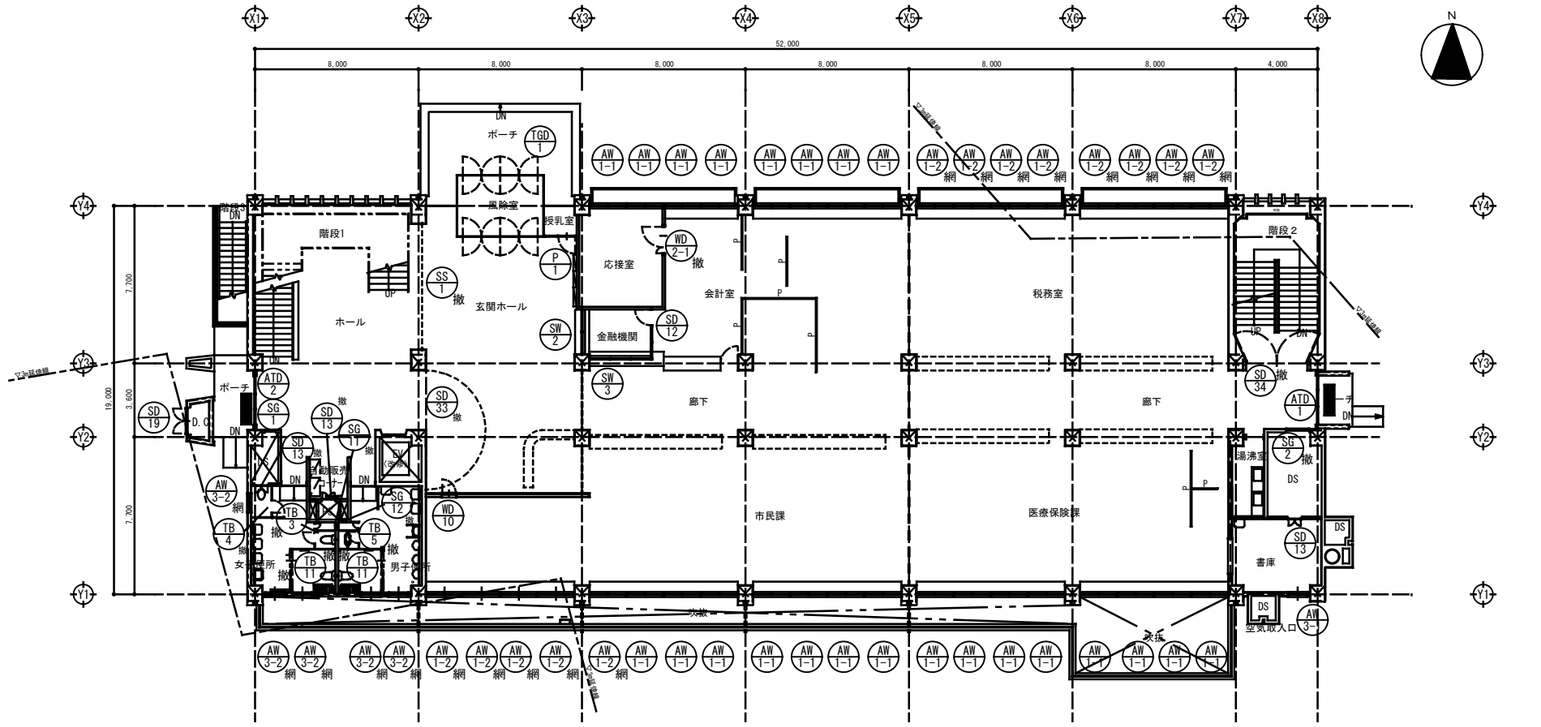


ドライエリア　キープラン

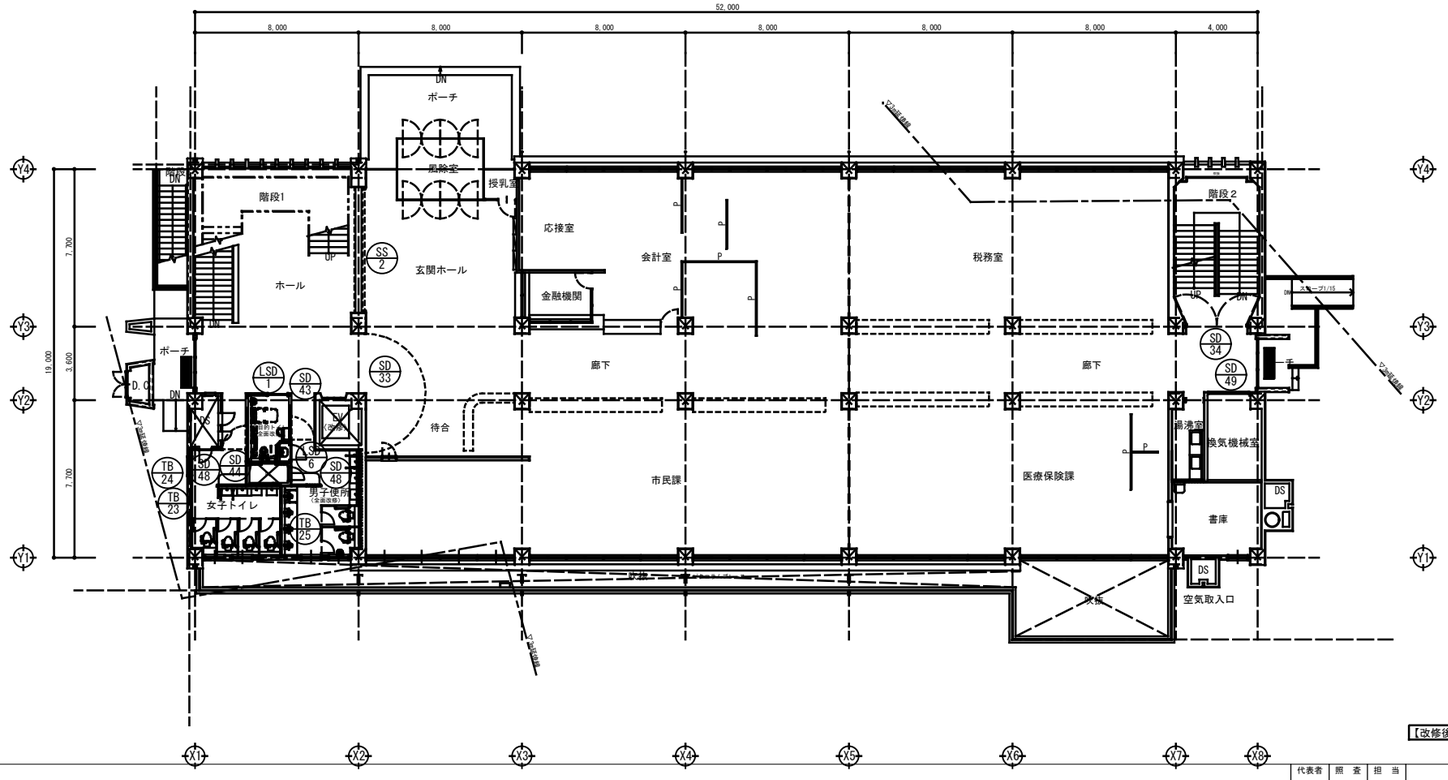
代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-87
				図面名称 【現況・改修後】外部改修　部分詳細図3　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
				***	—	—	



代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【現況】【改修後】地階　建具配置図	縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)	整理番号	A-88



【現況】１階平面図

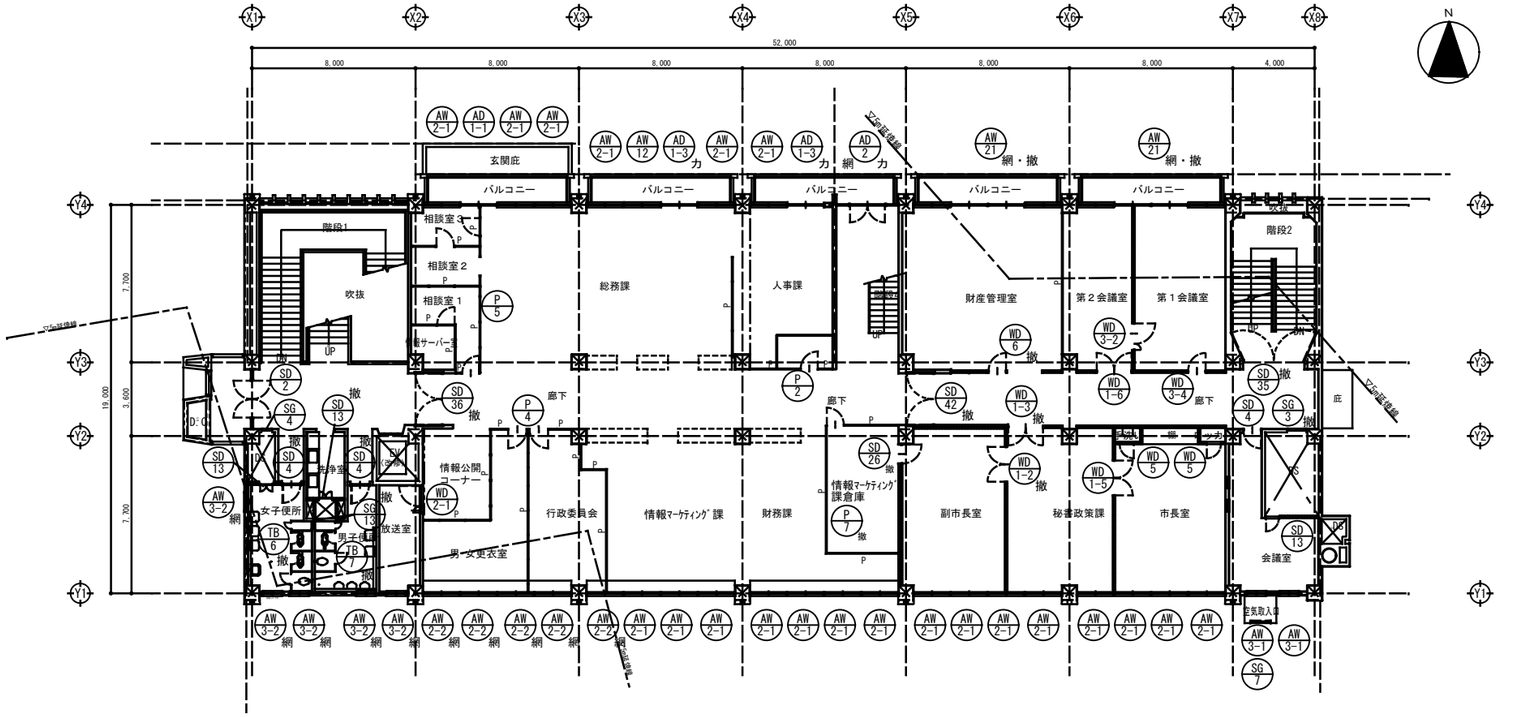


【改修後】１階平面図

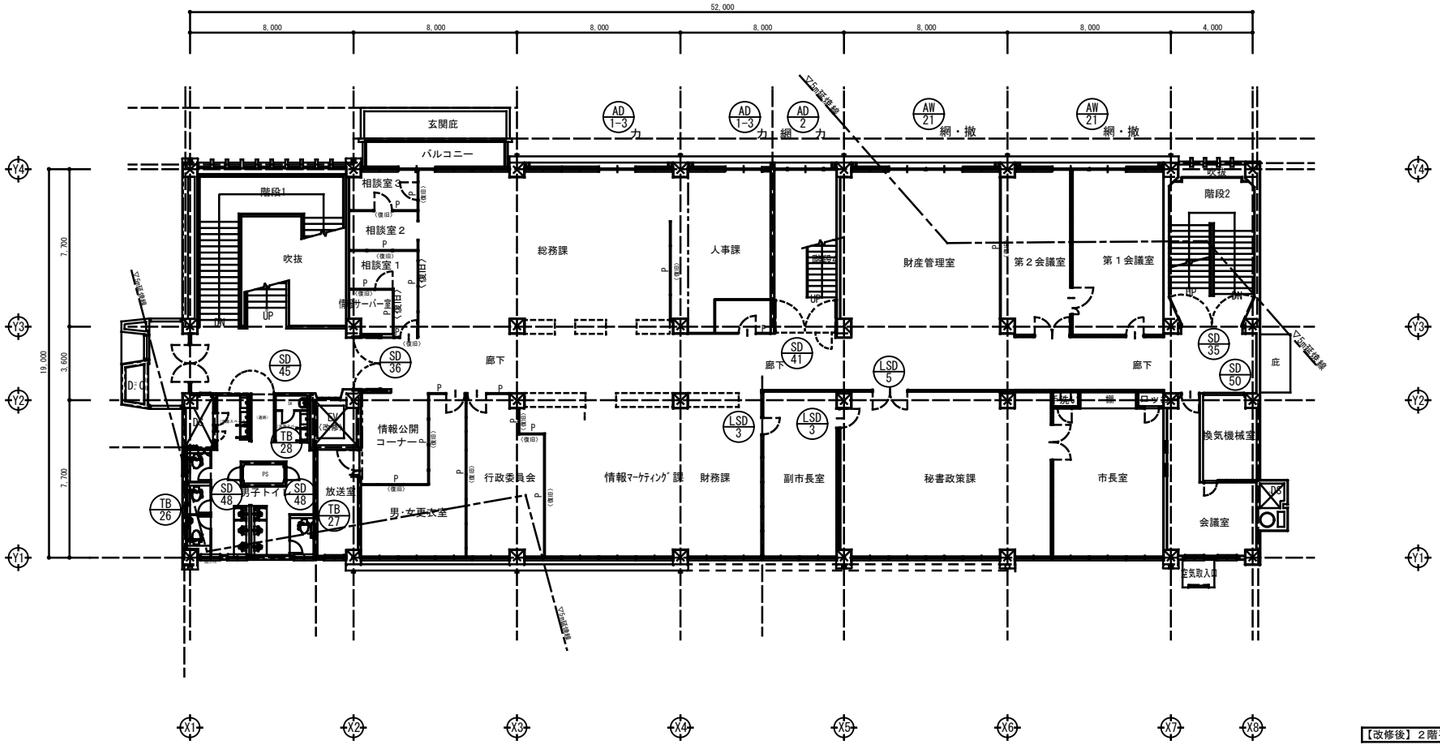
凡例

- 網 建具　網入ｶﾞﾗｽ　PW6.8
- 撤 撤去建具（枠共全撤去）
- カ 撤去建具（枠以外撤去）カバー工法により改修

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和 7年 10月	A-89
					図面名称 【現況】【改修後】１階 建具配置図 縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)	整理番号 — —		



【現況】２階平面図

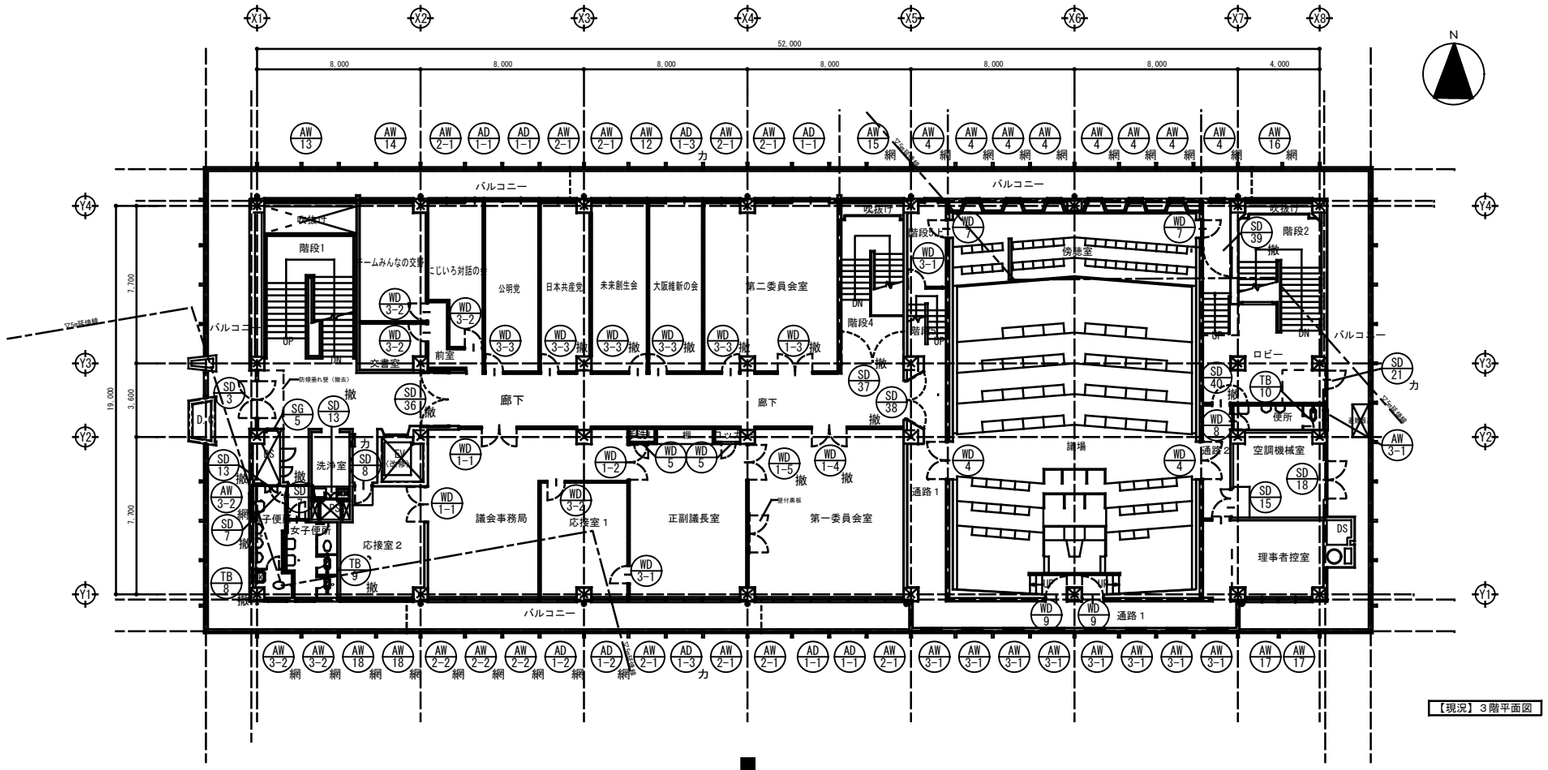


【改修後】２階平面図

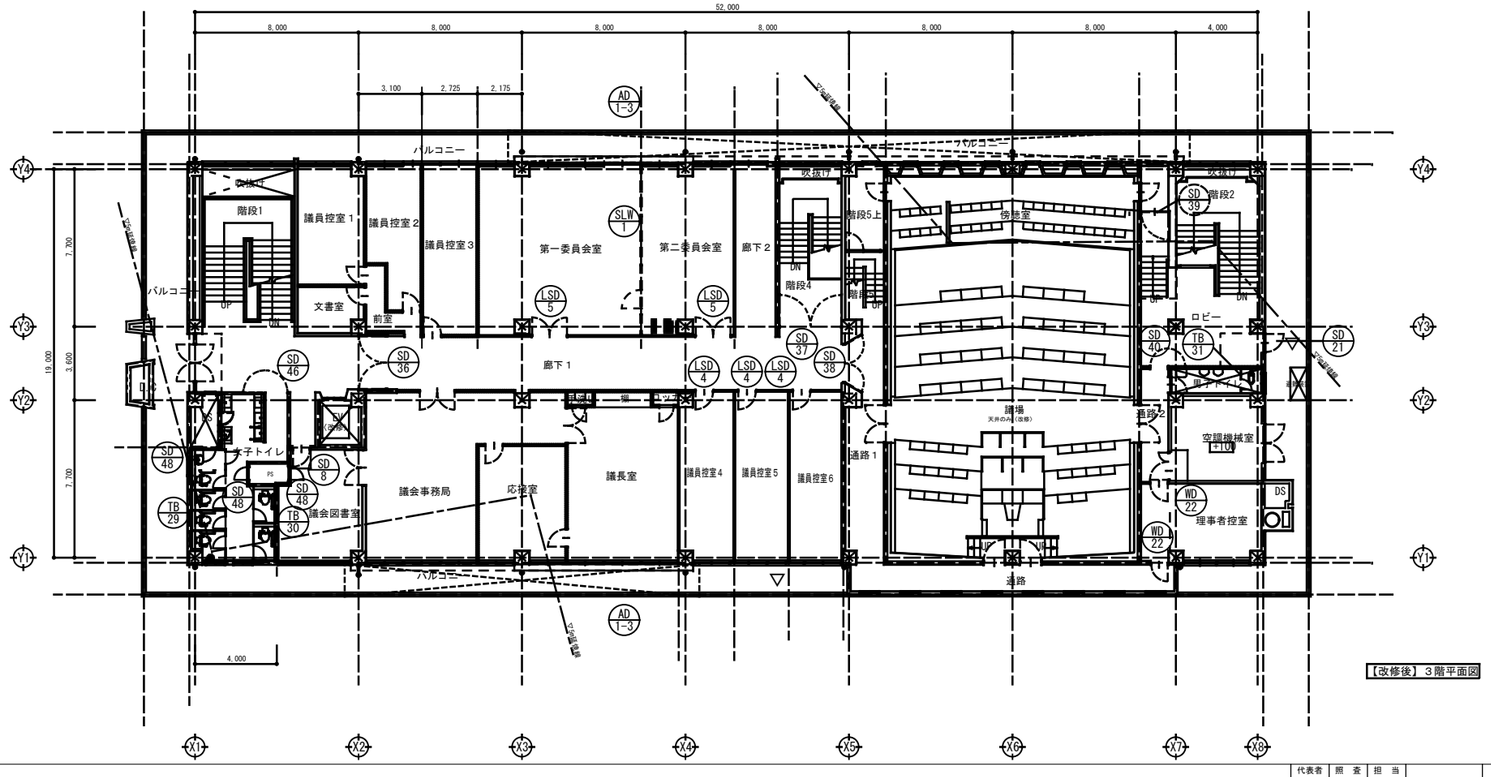
凡例

- 網　建具　網入ｶﾞﾗｽ　PW6.8
- 撤　撤去建具（枠共全撤去）
- 力　撤去建具（枠以外撤去）カバー工法により改修

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和 7年 10月	A-90
					図面名称 【現況】【改修後】２階 建具配置図　縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)	整理番号 — —		



【現況】３階平面図



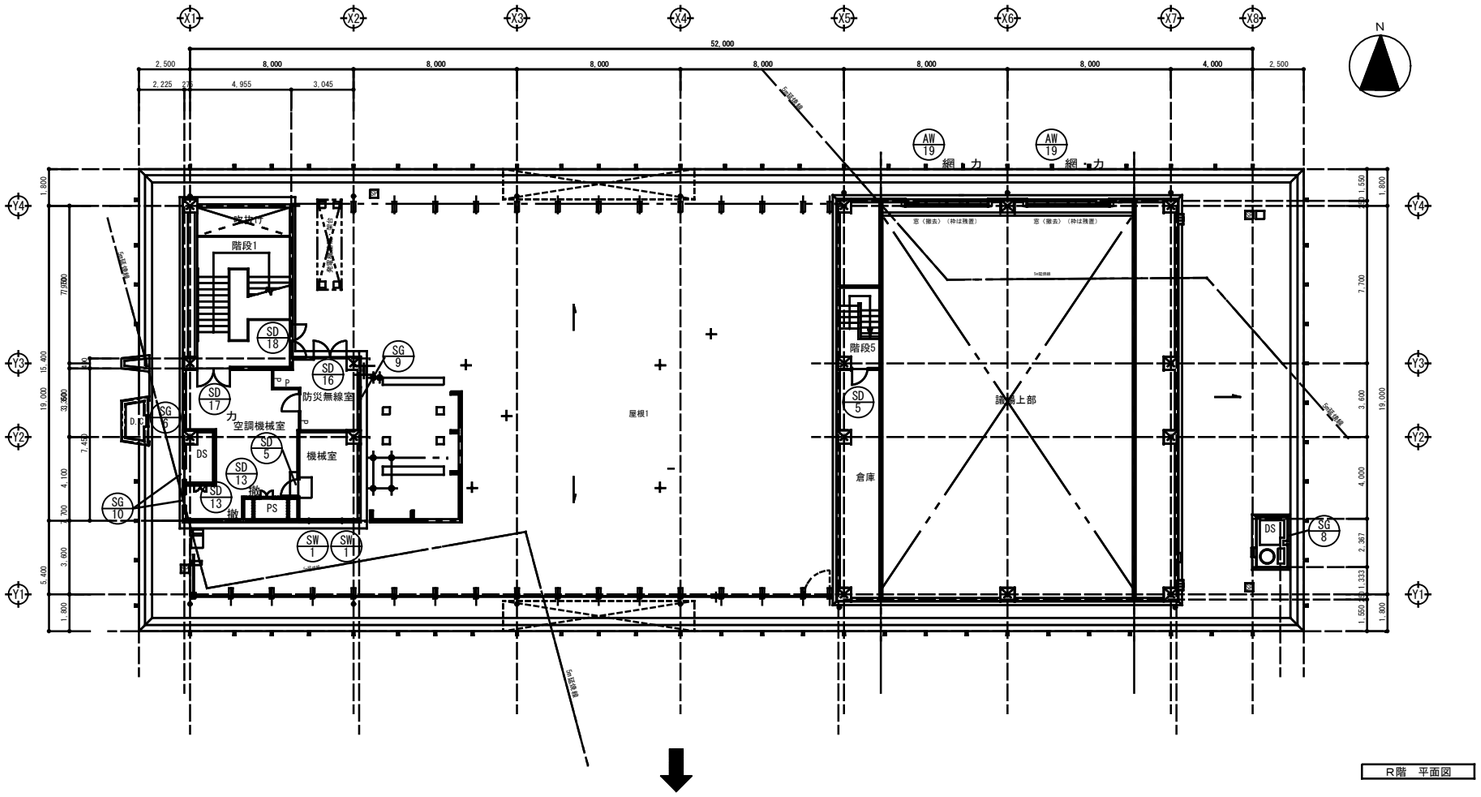
【改修後】３階平面図

凡例

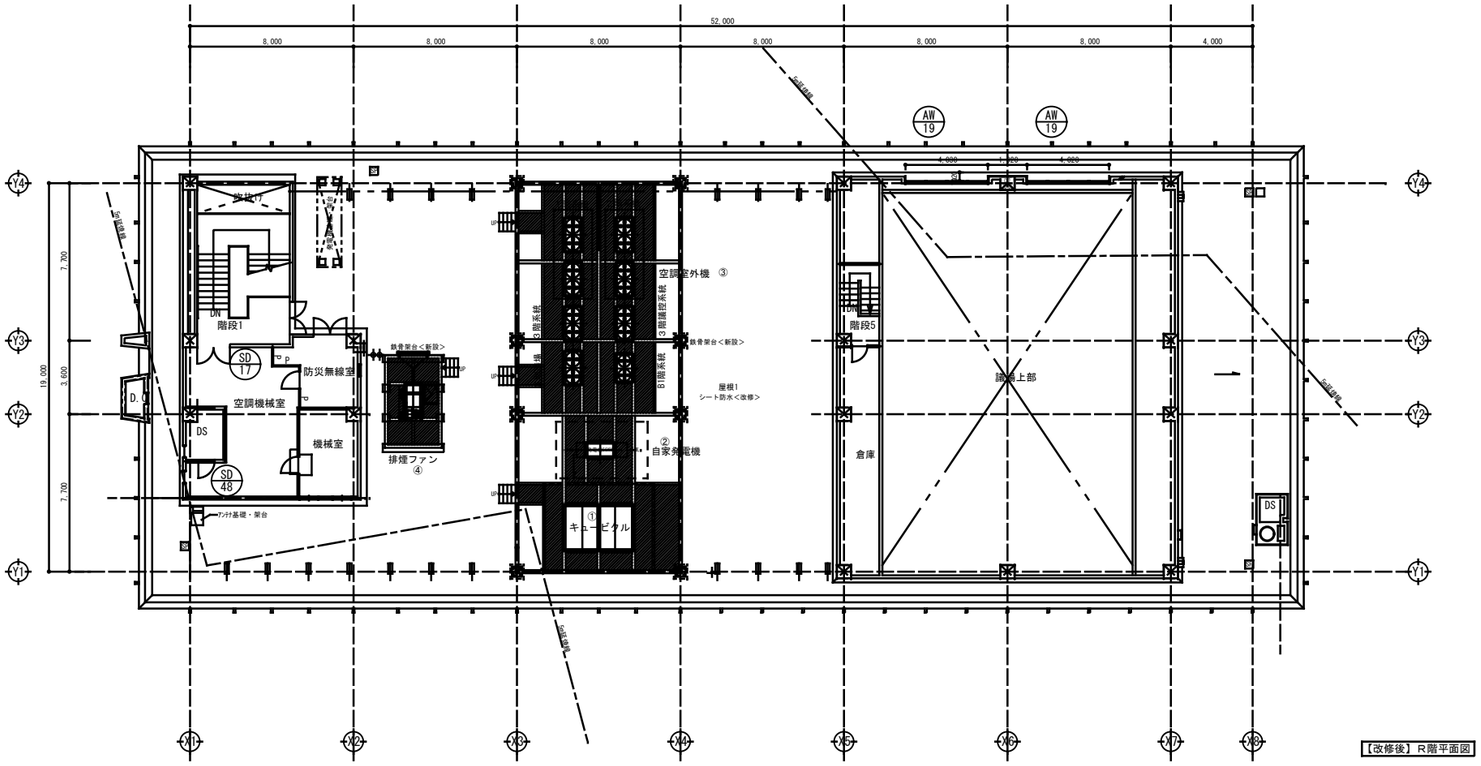
- 網　建具　網入ｶﾞﾗｽ　PW6.8
- 撤　撤去建具（枠共全撤去）
- カ　撤去建具（枠以外撤去）カバー工法により改修
- ▽　非常用進入口（3階のみ）W750×H1200以上

代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和 7年 10月
図面名称	【現況】【改修後】3階　建具配置図　縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)	整理番号	図面番号
		— —	A-91



R階　平面図



【改修後】R階平面図

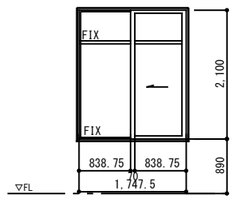
凡例

- 網　建具　網入ｶﾞﾗｽ　PW6.8
- 撤　撤去建具（枠共全撤去）
- 力　撤去建具（枠以外撤去）カバー工法により改修

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和 7年 10月	A-92
					図面名称 【現況】【改修後】R階　建具配置図　縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)	整理番号 — —		

記号	室名	数量	AW 1-1	1F　外周全般	現況 改修後	23 23

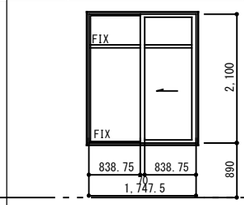
姿図



型式	見込	材料	片引き窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 1-2	1F外周全般	現況 改修後	13 13

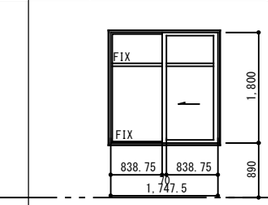
姿図



型式	見込	材料	片引き窓	70		アルミ
仕上	ガラス				網入り桟下ﾄｰﾒｲ t=6.8㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 2-1	2F・3F外周全般	現況 改修後	30 30

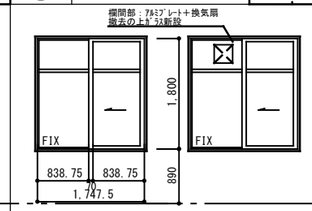
姿図



型式	見込	材料	片引き窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 2-2	2F・3F外周全般	現況 改修後	8 8

姿図

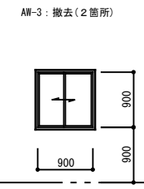


欄間部換気扇なし　7か所　　欄間部換気扇付き　1か所

型式	見込	材料	片引き窓	70		アルミ
仕上	ガラス				網入り桟下ﾄｰﾒｲ t=6.8㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 3-1	外周全般	現況 改修後	13 11

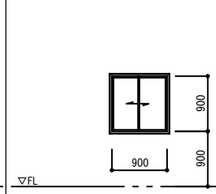
姿図



型式	見込	材料	引違い窓	70		アルミ
仕上					トーメイ t＝5㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 3-2	1F・2F・3F便所等	現況 改修後	13 13

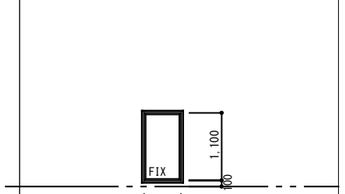
姿図



型式	見込	材料	引違い窓	70		アルミ
仕上					網入りﾄｰﾒｲ t＝6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 4	議場	現況 改修後	8 8

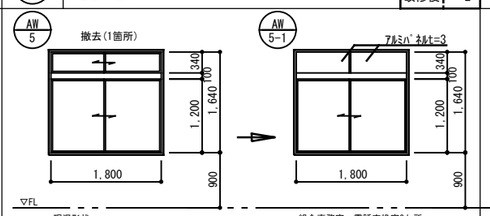
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上					網入りﾄｰﾒｲ t＝6.8㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 5	文書室、電話交換室 組合事務局	現況 改修後	3 2

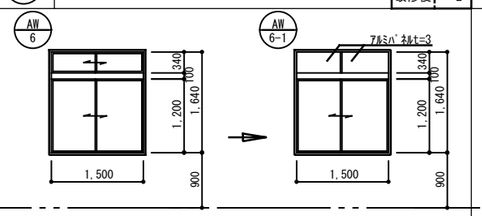
姿図



型式	見込	材料	引違い窓ランマ付	70		アルミ
仕上	ガラス				網入りﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 6	用務員室(倉庫5)、宿直室	現況 改修後	2 2

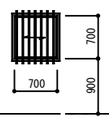
姿図



型式	見込	材料	引違い窓ランマ付	70		アルミ
仕上	ガラス				網入りﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 7 新	シャワー室	現況 改修後	1 1

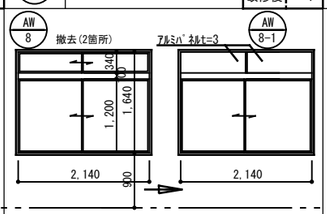
姿図



型式	見込	材料	引違い窓	70		アルミ
仕上					網入り型板 t=6.8㎜	
金物			クレセント、引手			
備考			アルミ格子			

記号	室名	数量	AW 8	休憩室	現況 改修後	2 1

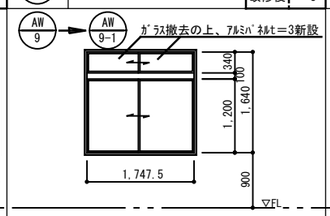
姿図



型式	見込	材料	引違い窓ランマ付	70		アルミ
仕上					トーメイ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 9	食堂	現況 改修後	3 3

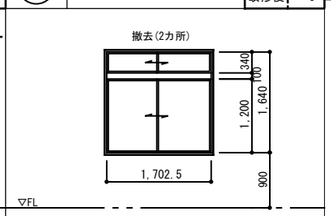
姿図



型式	見込	材料	引違い窓ランマ付	70		アルミ
仕上					トーメイ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 10	食堂	現況 改修後	2 0

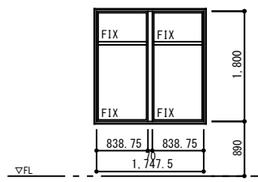
姿図



型式	見込	材料	ランマ付引違い窓	70		アルミ
仕上					トーメイ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 12	2F総務課、3F大阪維新の会	現況 改修後	2 2

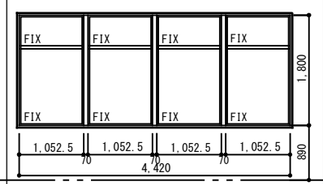
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 13	階段1	現況 改修後	1 1

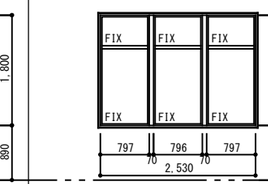
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 14	チームみんなの交野	現況 改修後	1 1

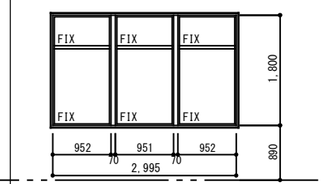
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 15 新	階段4	現況 改修後	1 1

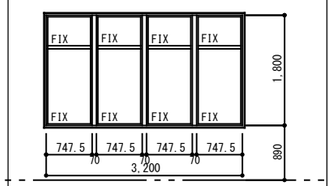
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上	ガラス				網入り桟下ﾄｰﾒｲ6.8㎜、桟上ﾄｰﾒｲ6.8㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 16 新	階段2	現況 改修後	1 1

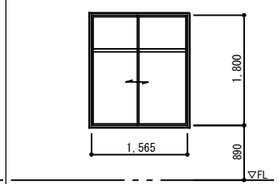
姿図



型式	見込	材料	嵌め殺し窓	70		アルミ
仕上	ガラス				桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物						
備考						

記号	室名	数量	AW 17	理事者控え室	現況 改修後	2 2

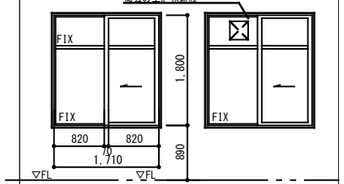
姿図



型式	見込	材料	引違い窓	70		アルミ
仕上					桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 18	応接室2	現況 改修後	2 2

姿図

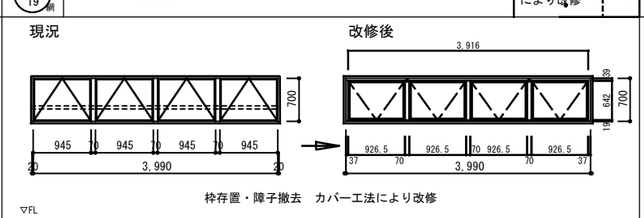


欄間部換気扇なし　1か所　　欄間部換気扇付き　1か所

型式	見込	材料	片引き窓	70		アルミ
仕上					桟下ﾄｰﾒｲ t＝5㎜、桟上ﾄｰﾒｲ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AW 19 新	議場上部	カバー工法により改修	2

姿図



型式	見込	材料	突出窓(連動)	70		アルミ
仕上	ガラス				網入りﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			手動開閉装置(ハンドルにて開閉)			
備考						

記号	室名	数量	AD 1-1	外周	現況 改修後	6 6

姿図

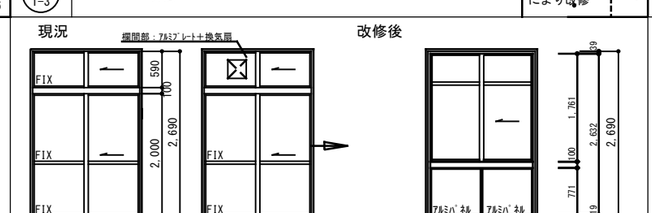


欄間部換気扇付き　1か所
欄間部換気扇なし　7か所

型式	見込	材料	外倒窓(連動)	70		アルミ
仕上	ガラス				網入りﾄｰﾒｲ t=6.8㎜	
金物			ワンタッチ開放オペレーター、付属金物一式			
備考			防火設備			

記号	室名	数量	AD 1-3	外周	カバー工法により改修	4

姿図

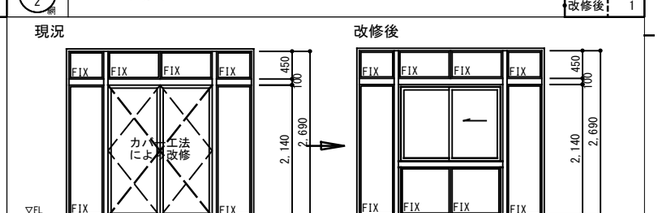


枠存置・扉撤去　カバー工法により改修
欄間部換気扇付き　2か所
欄間部換気扇なし　3か所

型式	見込	材料	片引き戸ランマ付き	70		アルミ
仕上	ガラス				トーメイ５㎜、ランマトーメイ３㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量	AD 2 新	バルコニー	現況 改修後	1 1

姿図



型式	見込	材料	片引き戸ランマ付き	70		アルミ
仕上	ガラス				トーメイ５㎜、ランマトーメイ３㎜	
金物			クレセント、引手			
備考						

記号	室名	数量				

型式	見込	材料	片引き戸ランマ付き	70		アルミ
仕上	ガラス				トーメイ５㎜、ランマトーメイ３㎜、アルミパネルt=3	
金物			クレセント、引手、付属金物一式			
備考						

記号	室名	数量				

型式	見込	材料	両開き戸・両袖ランマ嵌め殺し窓付き	70		アルミ
仕上					網入りﾄｰﾒｲ t＝5㎜、ランマトーメイ t＝3㎜	
金物			シリンダー、握玉、錠、ドアーチェック、フランス落し			
備考						

記号	室名	数量				

型式	見込	材料	片引き窓・両袖、ランマ、腰嵌め殺し窓付き	70		アルミ
仕上					網入りﾄｰﾒｲ t＝5㎜、ランマトーメイ t＝3㎜	
金物			クレセント、引手、付属金物一式			
備考						

※　既存建具の改修内容
　片引窓、引違窓、片開戸：クレセント取替、ガラス止めシーリング打替え、建具清掃、建具開閉調整、ガラスクリーニング
　FIX窓：ガラス止めシーリング打替え、建具清掃、ガラスクリーニング

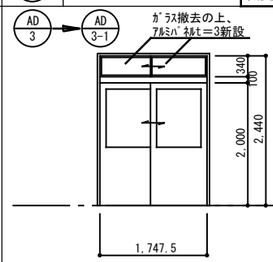
※　欠番：AW-11・20

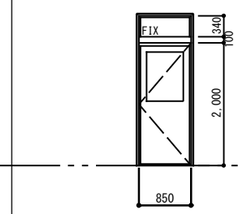
代表者	照　査	担　当		

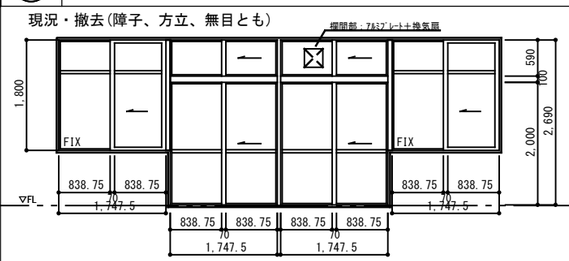
工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-93
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	— —	

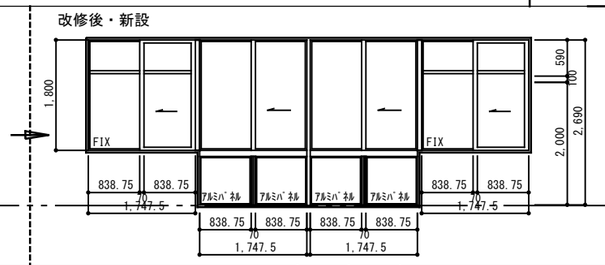
記号	室名	数量			
AD 3	食堂	現況	1		
		改修後	1		
AD 4 網	用務員室	現況	1		
		改修後	1		
AW 21	2F X6-7、X6-7	枠共撤去・新設	2		
AD 1-2	外周	現況	2		
		改修後	2		

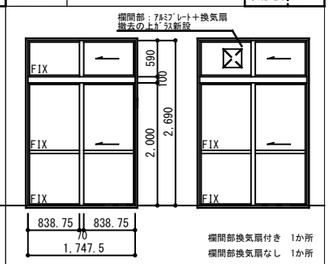
姿図







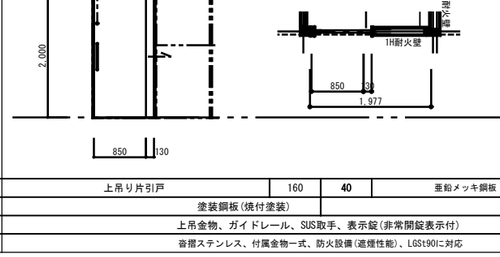




型式	見込	材料																					
			引違い戸ランマ付	70		アルミ	片開戸ランマ付	70		アルミ	片引窓・片引戸ランマ付(連窓)	70		アルミ	片引窓・腰嵌め殺し窓付(連窓)	70		アルミ	片引戸ランマ付き	70		アルミ
仕上	ガラス			トｰﾊﾒｲ t＝5㎜、ﾗﾝﾏﾄｰﾊﾒｲ t＝3㎜			網入りﾄｰﾊﾒｲ t＝6.8				網入りﾄｰﾊﾒｲ t＝6.8㎜、ﾗﾝﾏﾄｰﾊﾒｲ t＝6.8㎜				網入りﾄｰﾊﾒｲ t＝6.8㎜、ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3							網入り桟下ﾄｰﾊﾒｲ t=6.8㎜、桟上ﾄｰﾊﾒｲ t=6.8㎜	
金物			シリンダー握玉錠、引手				シリンダー握玉錠				クレセント、引手				クレセント、引手				クレセント、引手			
			金物取替、ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ打替え、建具清掃、ｶﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、開閉建付調整				金物取替、ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ打替え、建具清掃、ｶﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、開閉建付調整								防火設備							

記号	室名	数量			
AW 22	地階 警備員室	新設	1		

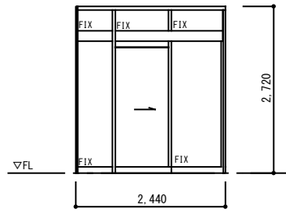
姿図

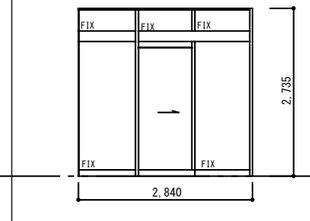


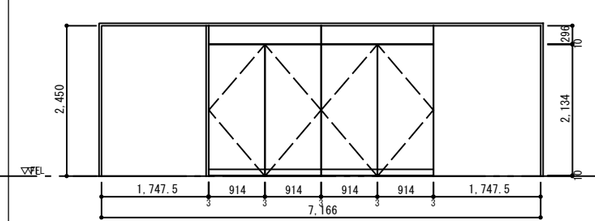
型式	見込	材料			
			引分戸ランマ付	70	アルミフロントサッシ
仕上	ガラス		FL5		
金物			上吊り金物、自動施錠型引手、引戸錠、ガイドローラー、その他付属金物一式		
			自動閉鎖＋解放保持機能、引分連動機能		

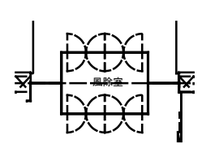
記号	室名	数量			
ATD 1	1F ポーチ	現況	1		
		改修後	1		
ATD 2	1F ポーチ	現況	1		
		改修後	1		
TGD 1	1F 玄関	現況	1		
		改修後	1		

姿図







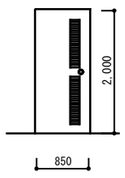


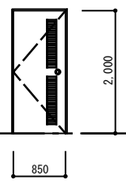
型式	見込	材料																					
			棚間付自動ドア	100		アルミ	棚間付自動ドア	100		アルミ	フレームレス自由開き戸 4コ 両袖ランマ嵌め殺し付			容揩ステンレス巾180	ステンレス								
仕上	ガラス			FIX:線入りｶﾞﾗｽt6.8 扉:強化ｶﾞﾗｽ				FIX:線入りｶﾞﾗｽt6.8 扉:強化ｶﾞﾗｽ			強化ガラス t＝１２㎜											
金物			上吊り金物、レール、下部ガイドなど				上吊り金物、レール、下部ガイドなど				フロアーヒンジ（計８コ）、シリンダー本締錠(計4つ)トップヒボット、ドアーハンドル(ステンレス製L=600)												
			自動ドアエンジン、ベルト、センサー、表示ラベルなど				自動ドアエンジン、ベルト、センサー、表示ラベルなど																

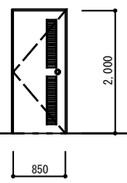
記号	室名	数量			
LSD 1	1階多目的トイレ	新設	1		
LSD 2	地階女子トイレ	新設	2		
LSD 3	2階 財務課、副市長室	新設	2		
LSD 4	3階 日本共産党 未来創生会、大阪維新の会	新設	3		
LSD 5	2階 秘書政策課 3階 第1・第2委員会室	新設	3		
LSD 6	１階男子トイレ	新設	1		

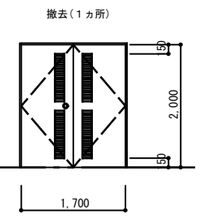
姿図

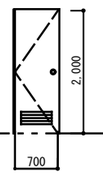
LSG壁内蔵タイプ











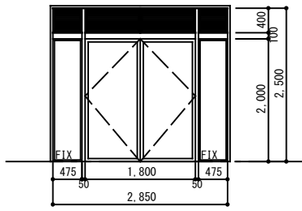
型式	見込	材料																					
			上吊り片引戸	160	**40**	亜鉛メッキ鋼板	片引戸	120	**40**	亜鉛メッキ鋼板	片引戸	120	**40**	亜鉛メッキ鋼板	片引戸	120	**40**	亜鉛メッキ鋼板	両開戸	120	**40**	亜鉛メッキ鋼板	片引戸	120	**40**	亜鉛メッキ鋼板
仕上	ガラス		塗装鋼板(焼付塗装)				塗装鋼板(焼付塗装)				塗装鋼板(焼付塗装)				塗装鋼板(焼付塗装)				塗装鋼板(焼付塗装)				塗装鋼板(焼付塗装)			
金物			上吊金物、ガイドレール、SUS取手、表示錠(非常開錠表示付)				SUS握玉、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				SUS握玉、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				SUS握玉、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				SUS握玉、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				SUS握玉、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			
			容揩ステンレス、付属金物一式、防火設備(遮煙性能)、LGSt90に対応				容揩ステンレス、アルミ製ガラリ、付属金物一式				容揩ステンレス、アルミ製ガラリ、付属金物一式				容揩ステンレス、アルミ製ガラリ、付属金物一式				フランス落し、容揩ステンレス、アルミ製ガラリ、付属金物一式				容揩ステンレス、アルミ製ガラリ、付属金物一式			

代表者	照 査	担 当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-94
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト２ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	— —	

SD-1 地階ポーチ　現況 1 / 改修後 1

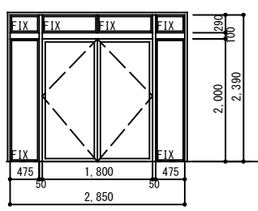
姿図



型式	見込	材料				
自由開き戸、両袖、ﾗﾝﾏﾁﾞﾗ付	100		スチール			
仕上	ガラス	OPよりDPに塗替え		ﾌﾟﾚｰﾄｳｲﾝﾄｰ　6.8mm		
金物		ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(2個)、ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙｽﾃﾝﾚｽ製H600				
備考						

SD-2 2Fポーチ　現況 1 / 改修後 1

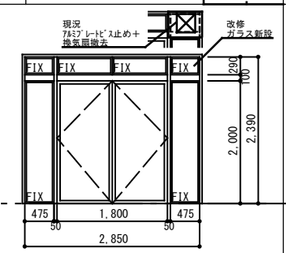
姿図



型式	見込	材料				
自由開き戸、両袖、ﾗﾝﾏﾁ付	100		スチール			
仕上	ガラス	OPよりDPに塗替え		ﾌﾟﾚｰﾄｳｲﾝﾄｰ　6.8mm　ﾗﾝﾏﾄｰﾒｲ　t＝3mm		
金物		ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(2個)　ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙｽﾃﾝﾚｽ製H600				
備考						

SD-3 3Fポーチ　現況 1 / 改修後 1

姿図



型式	見込	材料				
自由開き戸、両袖、ﾗﾝﾏﾁ付	100		スチール			
仕上	ガラス	OPよりDPに塗替え		ﾌﾟﾚｰﾄｳｲﾝﾄｰ　6.8mm　ﾗﾝﾏﾄｰﾒｲ　t＝3mm		
金物		シリンダー本締錠(2個)　フロアーヒンジ、ドアハンドルステンレス製H600				
備考		欄間部端部1か所：アルミブレート＋換気扇撤去の上、ガラス新設				

SD-4 BF 倉庫2 / 2F男子便所、女子便所、会議室　現況 4 / 改修後 2

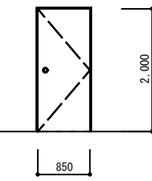
姿図



型式	見込	材料				
片引き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス				

SD-5 R階 機械室　現況 1 / 改修後 1

姿図



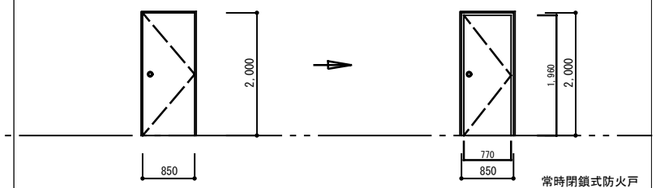
型式	見込	材料				
片引き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス				

SD-6 BF 物置　カバー工法により改修 1

現況　　改修後

枠存置・扉撤去　カバー工法により改修

姿図



型式	見込	材料							
片引き戸	100	40	スチール	片引き戸	100	40	スチール		
仕上		OP			SOP				
金物		ドアチェック、握玉			ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス			容摺　ステンレス、防火設備(遮煙性能)				

SD-7 3F 女子便所、男子便所　現況 2 / 改修後 0

姿図



型式	見込	材料				
片開き戸	100	40	スチール			
仕上	ガラス	OP				
金物		ピボットヒンジ ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス				

SD-8 3F応接室2　カバー工法により改修 1

現況　　改修後

枠存置・扉撤去　カバー工法により改修

姿図



型式	見込	材料				
片開き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒 ドアチェック、ピボットヒンジ				
備考		容摺　ステンレス				

SD-9 BF文書置き場　現況 1 / 改修後 1

姿図



型式	見込	材料				
両開き戸	100	40	スチール			
仕上		スチールOP				
金物		シリンダー円筒錠 ドアチェック、ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-10 BF 書庫 / 3F 空調機械室　現況 2 / 改修後 2

姿図



型式	見込	材料				
親子開き戸	100	40				
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒錠 ドアチェック、ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-11 BF 倉庫4、電気室　現況 2 / 改修後 2

姿図



型式	見込	材料				
両開き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-12 1F 金融機関　現況 1 / 改修後 1

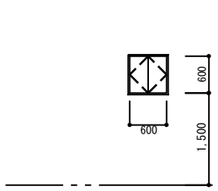
姿図



型式	見込	材料				
片引き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒 ピボットヒンジ ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス				

SD-13 1F、2F、3F、RF、PS、DS　現況 8 / 改修後 3

姿図



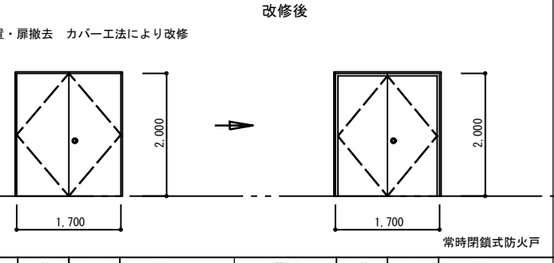
型式	見込	材料				
両開き片面戸	100	40	スチール			
仕上	ガラス	OP				
金物		掛金物、丁番				
備考						

SD-15 BF 空調機械室　カバー工法により改修 1

現況　　改修後

枠存置・扉撤去　カバー工法により改修

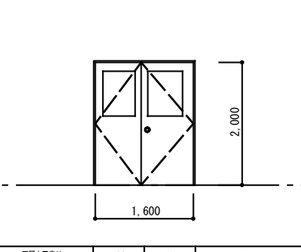
姿図



型式	見込	材料							
両開き戸	100	40	スチール	両開き戸	100	40	スチール		
仕上		OP			SOP				
金物		シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し			シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し、順位調整器				
備考		容摺　ステンレス			容摺　ステンレス、防火設備(遮煙性能)				

SD-16 RF 空調機械室　現況 1 / 改修後 1

姿図



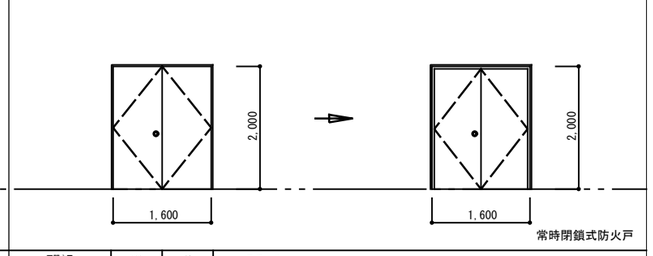
型式	見込	材料				
両開き戸窓付	100	40	スチール			
仕上		OP		型板　t＝4mm		
金物		シリンダー円錠 ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-17 RF 空調機械室　カバー工法により改修 1

現況　　改修後

枠存置・扉撤去　カバー工法により改修

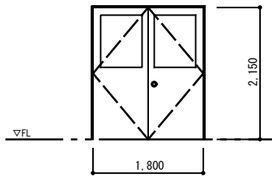
姿図



型式	見込	材料				
両開き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒錠 ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-18 3F 空調機械室　現況 1 / 改修後 1

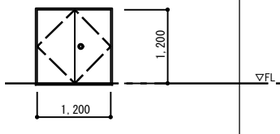
姿図



型式	見込	材料				
両開き戸窓付	100	40	スチール			
仕上	ガラス	OP		型板　t＝4mm		
金物		シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-19 1F DC　現況 1 / 改修後 1

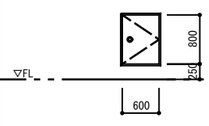
姿図



型式	見込	材料				
両開き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		掛金物、丁番、握玉				
備考						

SD-20 BF DS受水槽　現況 1 / 改修後 1

姿図



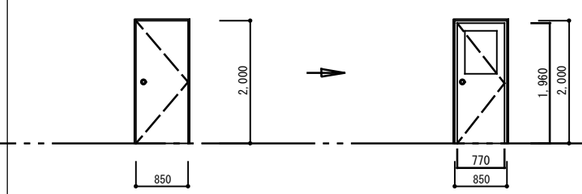
型式	見込	材料				
片開き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		掛金物、丁番、握玉				
備考						

SD-21 3階 階段2　カバー工法により改修 1

現況　　改修後　　非常用進入口に改修

枠存置・扉撤去　カバー工法により改修

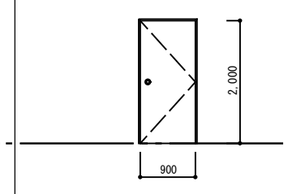
姿図



型式	見込	材料							
片引き戸	100	40	スチール	片引き戸窓付	100	40	スチール		
仕上		OP			SOP				
金物		ドアチェック、握玉			ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス			容摺　ステンレス、防火設備(遮煙性能)				

SD-23 BF 耐火書庫　現況 1 / 改修後 1

姿図

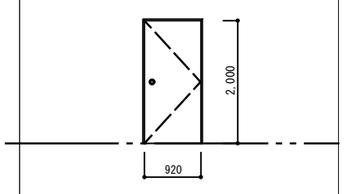


型式	見込	材料				
片引き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒錠 ピボットヒンジ、フランス落し				
備考		容摺　ステンレス				

SD-26 2F 副市長室　現況 1 / 改修後 0

撤去

姿図



型式	見込	材料				
片引き戸	100	40	スチール			
仕上		OP				
金物		シリンダー円筒錠　ピボットヒンジ ドアチェック、握玉				
備考		容摺　ステンレス				

※　既存建具の改修内容
　窓付戸：ガラス止めシーリング打替え、建具清掃、建具開閉調整、枠共SOP(外部建具はDP)に塗替え、ガラスクリーニング
　フラッシュ戸：建具清掃、建具開閉調整、枠共SOP(外部建具はDP)に塗替

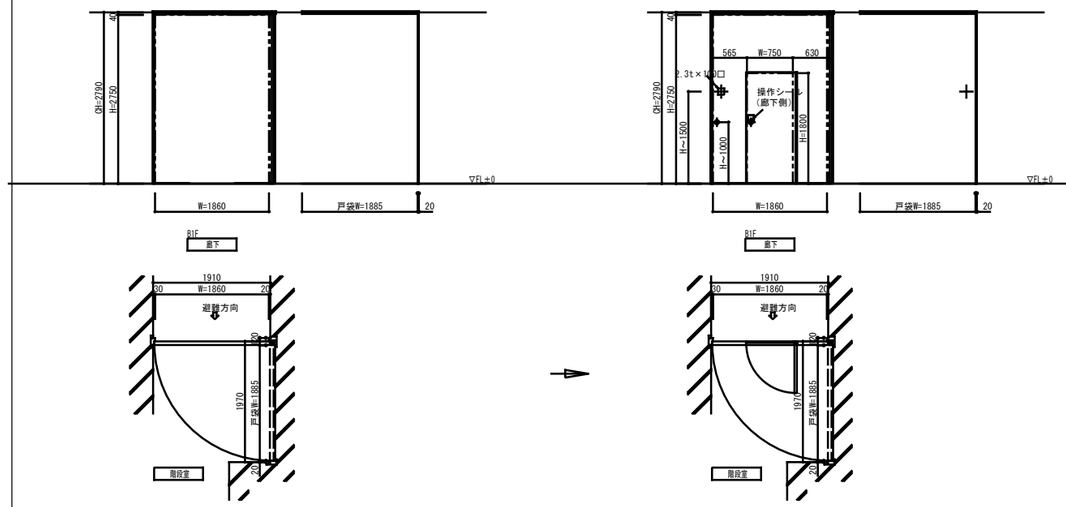
※　欠番：SD-14・22・24・25・27～30

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和 7年 10月
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト3　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	図面番号
		— —	A-95

記号	室名	数量			
SD 31	地階　廊下	枠共撤去・新設	1		

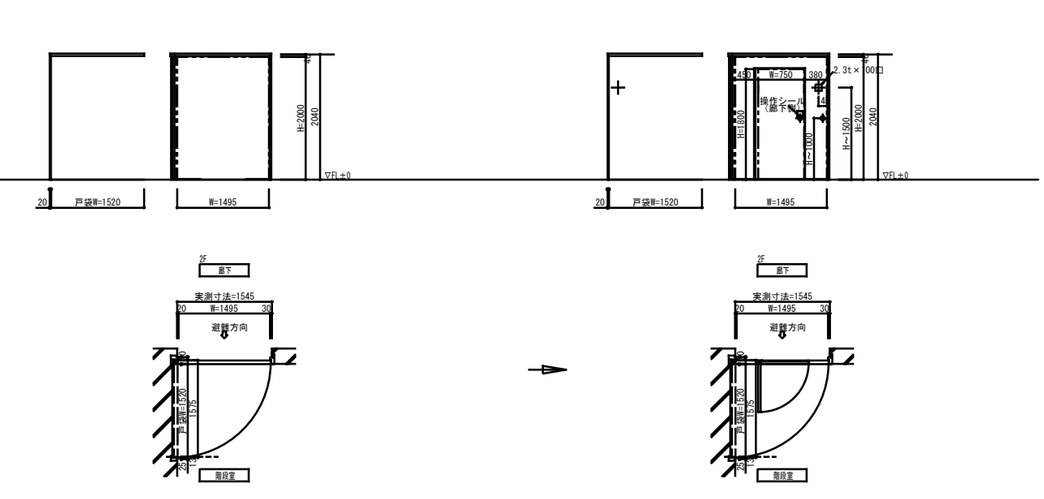
姿図



姿図

型式	見込	材料								
戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール			
仕上	ガラス	OP		SOP						
金物		ヒンジクローザー、その他金物		ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物						
		常時開放防火設備（温度ヒューズ付）		常時開放煙感知器連動防火設備						

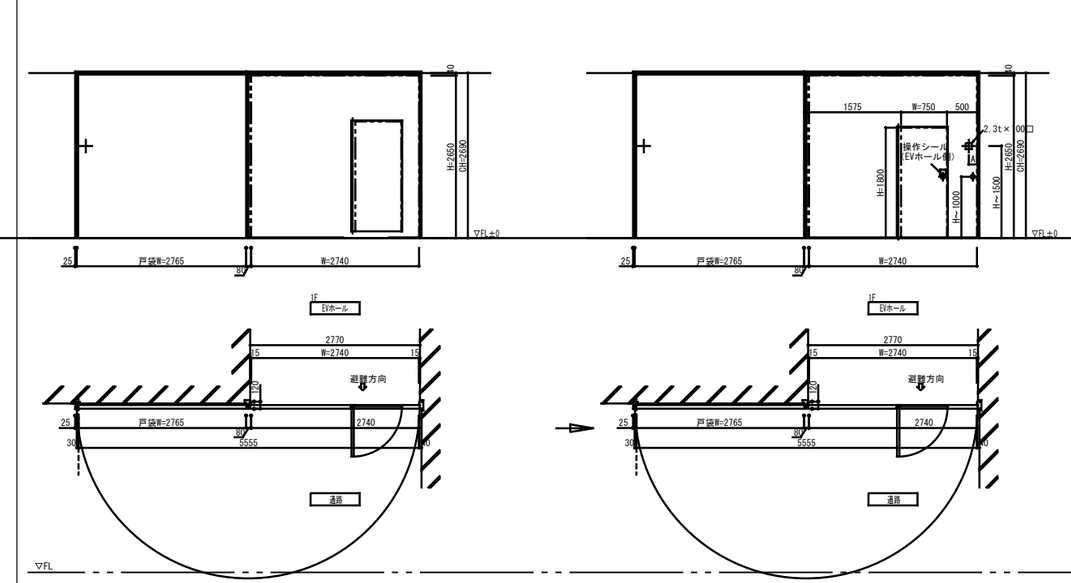
記号	室名	数量			
SD 32	地階　階段1	枠共撤去・新設	1		



型式	見込	材料								
戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール			
仕上		OP		SOP						
金物		ヒンジクローザー、その他金物		ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物						
		常時開放防火設備（温度ヒューズ付）		常時開放煙感知器連動防火設備						

記号	室名	数量			
SD 33	1階　玄関ホール	枠共撤去・新設	1		

姿図

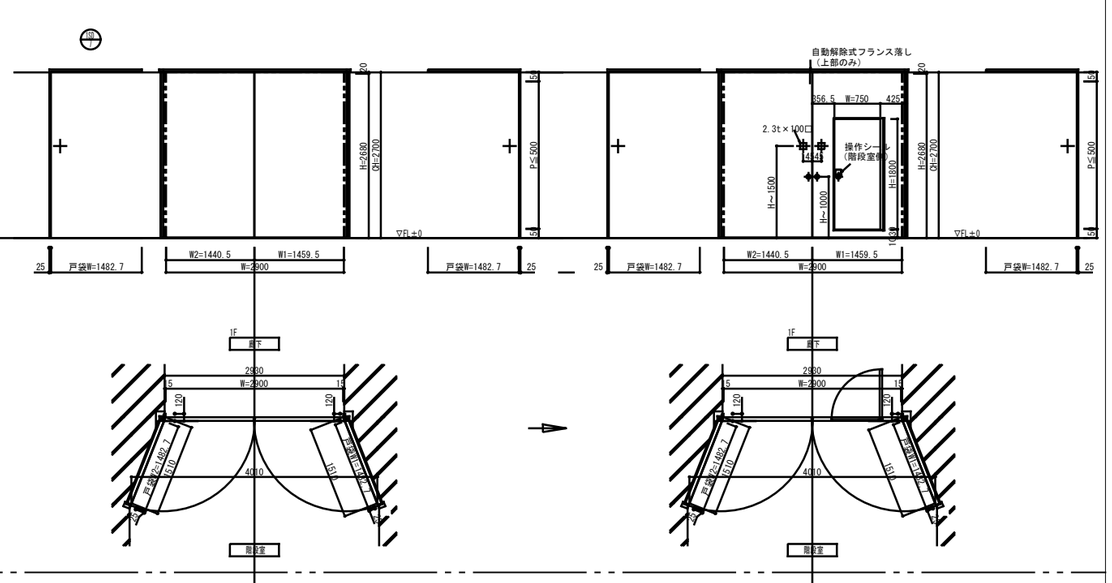


姿図

材料

型式	見込	材料								
戸袋付防火戸	120	60	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール			
仕上	ガラス	OP		SOP						
金物		ヒンジクローザー、その他金物		ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物						
		常時開放防火設備（温度ヒューズ付）		常時開放煙感知器連動防火設備						

記号	室名	数量			
SD 34	1階　階段２	枠共撤去・新設	1		



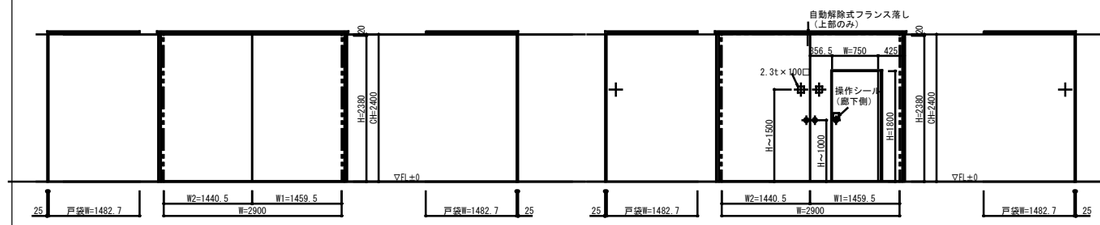
型式	見込	材料								
戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール			
仕上		OP		SOP						
金物		ヒンジクローザー、その他金物		ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物						
		常時開放防火設備（温度ヒューズ付）		常時開放煙感知器連動防火設備						

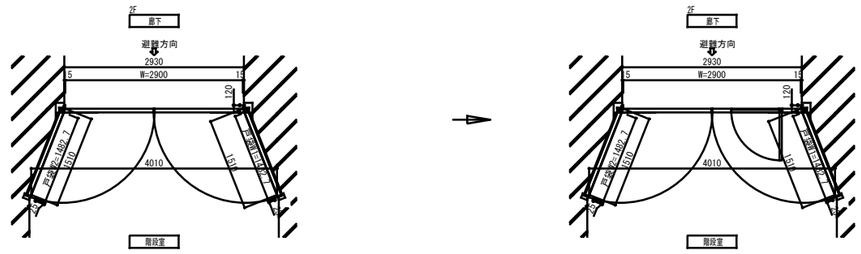
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-96
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト４ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—

記号	室名	数量
SD 35	2階　階段4	枠共撤去・新設 1

姿図

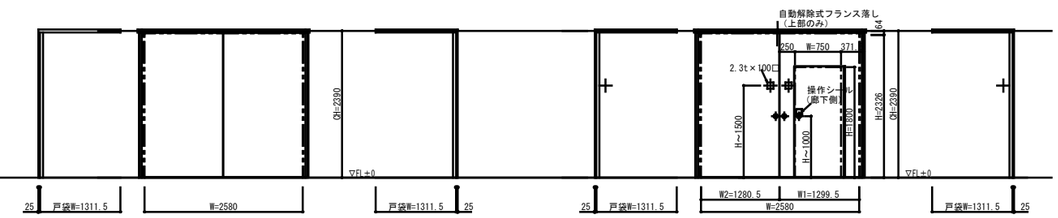


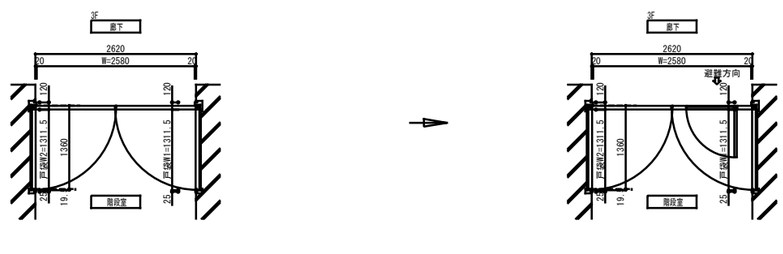


型式	見込	材料									
			戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール	
仕上	ガラス		OP				SOP				
金物			ヒンジクローザー、その他金物				ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物				
			常時開放防火設備（温度ヒューズ付）				常時開放煙感知器連動防火設備				

記号	室名	数量
SD 36	2階、3階　廊下	枠共撤去・新設 2

姿図

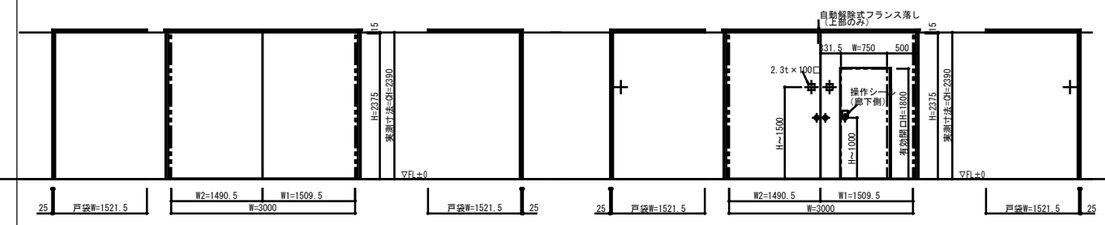


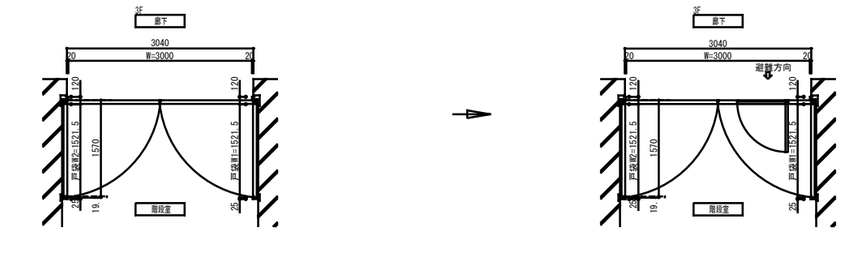


型式	見込	材料									
			戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール	
仕上	ガラス		OP				SOP				
金物			ヒンジクローザー、その他金物				ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物				
			常時開放防火設備（温度ヒューズ付）				常時開放煙感知器連動防火設備				

記号	室名	数量
SD 37	3階　階段4・廊下	枠共撤去・新設 1

姿図

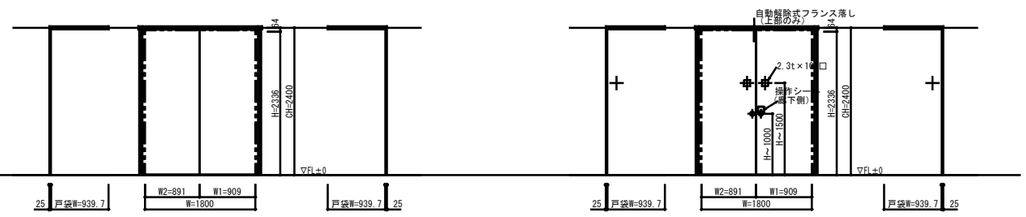


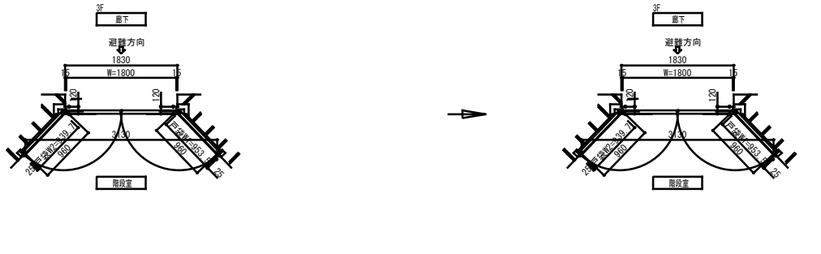


型式	見込	材料									
			戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール	
仕上	ガラス		OP				SOP				
金物			ヒンジクローザー、その他金物				ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物				
			常時開放防火設備（温度ヒューズ付）				常時開放煙感知器連動防火設備				

記号	室名	数量
SD 38	3階　廊下	枠共撤去・新設 1

姿図





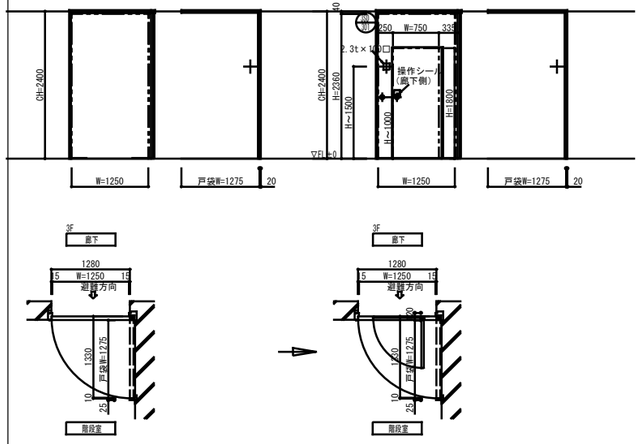
型式	見込	材料									
			戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール	
仕上	ガラス		OP				SOP				
金物			ヒンジクローザー、その他金物				ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物				
			常時開放防火設備（温度ヒューズ付）				常時開放煙感知器連動防火設備				

代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-97
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト５ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—

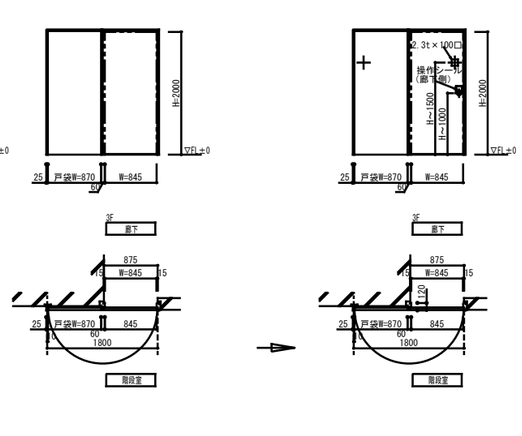
記号	室名	数量			
SD 39	3階　ロビー	枠共撤去・新設	1		

姿図



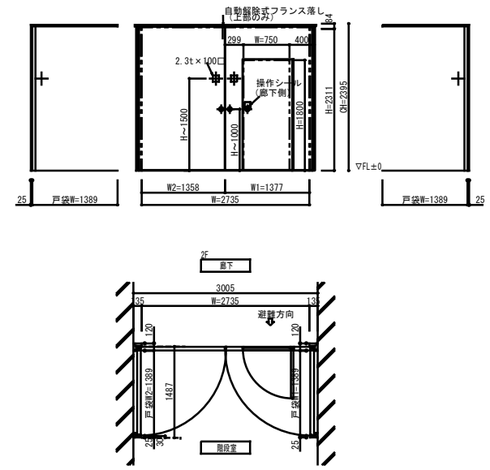
型式	見込	材料				
仕上	ガラス		OP			
金物			ヒンジクローザー、その他金物			
			常時開放防火設備（温度ヒューズ付）			

記号	室名	数量			
SD 40	3階　ロビー	枠共撤去・新設	1		



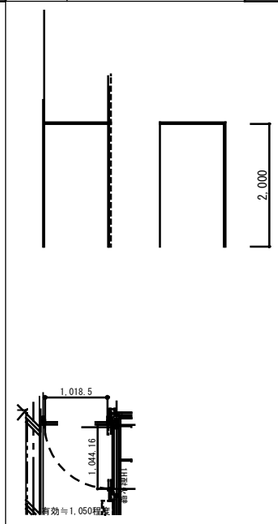
戸袋付防火戸	120	40	スチール	戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	
OP							
ヒンジクローザー、その他金物				ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、その他付属金物			
常時開放防火設備（温度ヒューズ付）				常時開放煙感知器連動防火設備			

記号	室名	数量			
SD 41	2階　階段4	新設	1		



戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール
OP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

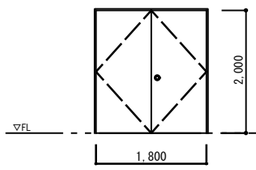
記号	室名	数量			
SD 43	1階　男子便所	新設	1		



戸袋付遮煙防火戸潜戸付	130	40	
SOP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

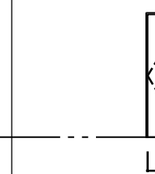
記号	室名	数量			
SD 47	地階　消火ポンプ室	新設	1		

姿図



型式	見込	材料				
仕上	ガラス		SOP			
金物			シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し			
			沓摺　ステンレス			

記号	室名	数量			
SD 48	1・2・3階便所、空調機械室	新設	7		

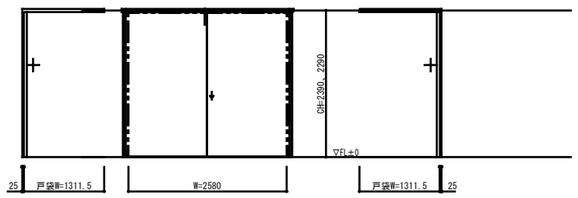


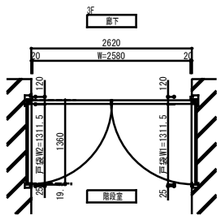
常時閉鎖式防火戸

片開き戸	100	40	スチール
SOP			
シリンダー円筒 ピボットヒンジ、ドアチェック			
沓摺　ステンレス			

記号	室名	数量			
SD 42	地階・2階　廊下	枠共撤去	2		

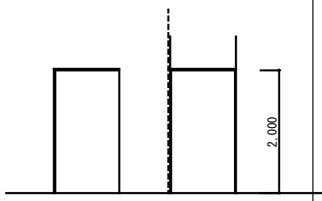
SD 42-1　地階廊下　W2580×H2290
SD 42-2　2階廊下　W2580×H2390

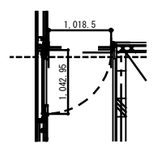




戸袋付遮煙防火戸潜戸付	120	60	スチール
SOP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、表示シール、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

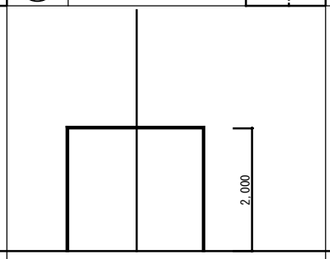
記号	室名	数量			
SD 44	1階　女子便所	新設	1		

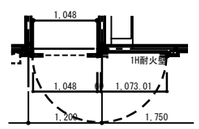




戸袋付遮煙防火戸潜戸付	130	40	
SOP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

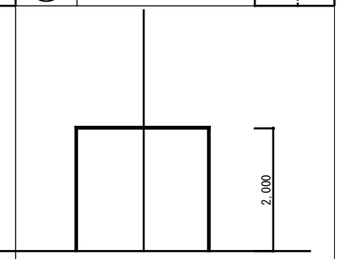
記号	室名	数量			
SD 45	2階　男子便所	新設	1		

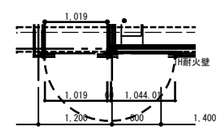




戸袋付遮煙防火戸潜戸付	130	40	
SOP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

記号	室名	数量			
SD 46	3階　女子便所	新設	1		

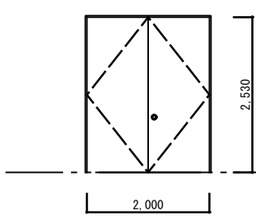




戸袋付遮煙防火戸潜戸付	130	40	
SOP			
ヒンジクローザー、ケースハンドル、エアタイトゴム、その他付属金物			
常時開放煙感知器連動防火設備			

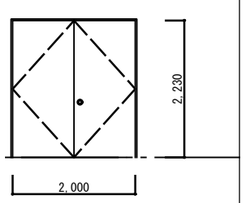
記号	室名	数量			
SD 49	1階　換気機械室	新設	1		

姿図



型式	見込	材料				
仕上	ガラス		SOP			
金物			シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し			
			沓摺　ステンレス			

記号	室名	数量			
SD 50	2階　換気機械室	新設	1		



両開き戸	100	40	スチール
SOP			
シリンダー円筒 ピボットヒンジ、フランス落し			
沓摺　ステンレス			

片開き戸	100	40	スチール
SOP			
シリンダー円筒 ピボットヒンジ、ドアチェック			
沓摺　ステンレス			

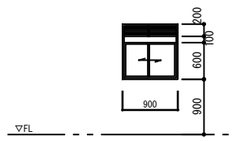
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-98
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト6　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—

記号	室名	数量	現況	改修後
SW-1	RF 機械室		2	2
SW-2	1階 金融機関		1	1
SW-3	1階 金融機関		1	1
SSK-1	地階 食堂		1	1

SW-1

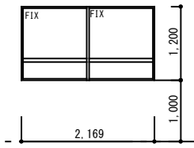
姿図



型式	見込	材料			
引違い窓ガラリ付	86		スチール		
仕上	ガラス	0Pより下地調整の上DPに塗替え	型板 t＝4mm		
金物	クレセント、引手				

SW-2

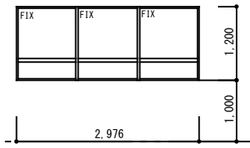
姿図



型式	見込	材料			
嵌め殺し窓	100		スチール		
仕上	ガラス		桟下ﾄｰｲ t＝5mm		

SW-3

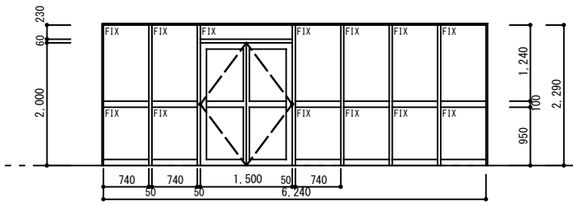
姿図



型式	見込	材料			
嵌め殺し窓	100		スチール		
仕上	ガラス		桟下ﾄｰｲ t＝5mm		

SSK-1

姿図

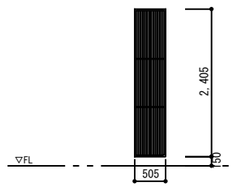


型式	見込	材料			
両開き戸、嵌め殺し両袖ランマ付(スチール)	100				
仕上	ガラス	スチールOP	腰プレートワイヤー、腰プレートワイヤー上部トウメイ t＝5mm		
金物	シリンダー円筒錠、ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				

記号	室名	数量	現況	改修後
SG-1	1階 D.S		1	1
SG-2	1階 廊下東側DS		1	0
SG-3	2階 廊下東側DS		1	0
SG-4	2階 D.S		1	1
SG-5	3階 D.S		1	1
SG-6	R階 D.C		1	1
SG-7	2階 空気取入れ口		1	1

SG-1

姿図



DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

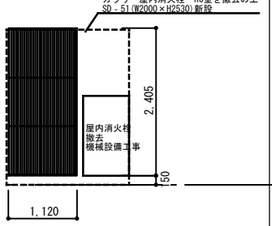
型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-2

撤去

ガラリ・屋内消火栓・RC壁を撤去の上
SD－51(W2000×H2530)新設

姿図



DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

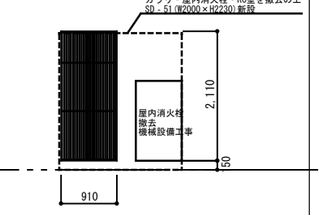
型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	スチールOP			

SG-3

撤去

ガラリ・屋内消火栓・RC壁を撤去の上
SD－51(W2000×H2230)新設

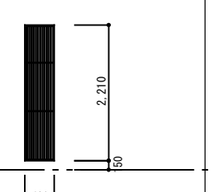
姿図



型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	スチールOP			

SG-4

姿図

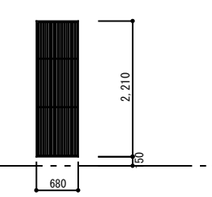


DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-5

姿図

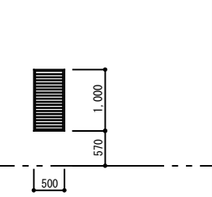


DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-6

姿図

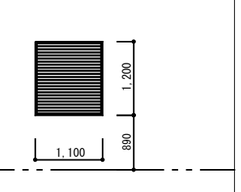


DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-7

姿図



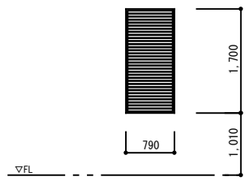
DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

記号	室名	数量	現況	改修後
SG-8	R階 D.S		1	1
SG-9	R階 蓄電池室		1	0
SG-10	R階 空調機械室、DS		2	2
SG-11	1階 トイレ		1	0
SG-12	1階 トイレ		1	0
SG-13	2階 トイレ		1	0

SG-8

姿図



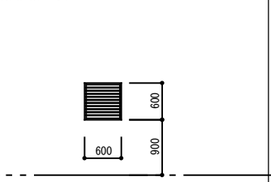
DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-9

撤去(機械設備工事)

姿図

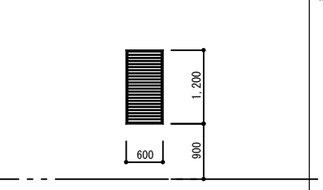


DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-10

姿図



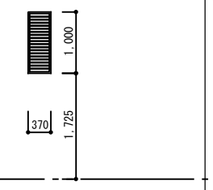
DS内よりガラリ全面に鋼板t1.6をガラリ枠にビス止めを行う

型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	下地調整の上OPよりSOPに塗替え			
金物					

SG-11

撤去

姿図

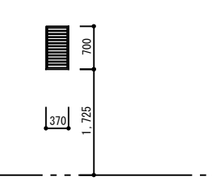


型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	スチールOP			
金物					

SG-12

撤去

姿図

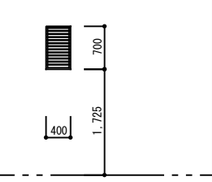


型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	スチールOP			
金物					

SG-13

撤去

姿図



型式	見込	材料			
固定ガラリ	70				
仕上	ガラス	スチールOP			
金物					

記号	室名	

姿図

型式	見込	
仕上	ガラス	
金物		

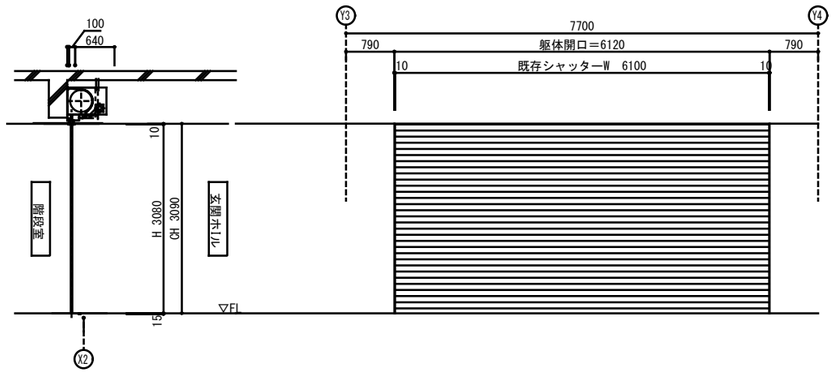
※ 既存建具の改修内容
窓付戸：金物全て取替、ガラス止めシーリング打替え、建具清掃・枠共SOPに塗替え、ガラスクリーニング、開閉建付調整
フラッシュ戸：金物全て取替、建具清掃・枠共SOPに塗替、開閉建付調整

代表者	照 査	担 当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和 7年 10月
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト7 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —	図面番号 A-99

記号	室名	数量
SS 1	1階　玄関ホール	撤去 1

姿図

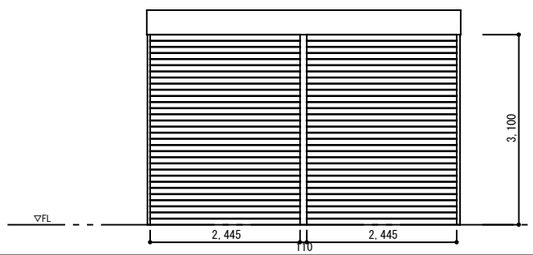


▽FL

型式	見込	材料	重量防火シャッター(電動式)		スチール
仕上	ガラス		OP		
金物			附属金物一式　ガイドレールステンレス		

記号	室名	数量 RF
SS 3	地階　空調機械室	現況 1 / 改修後 1

姿図



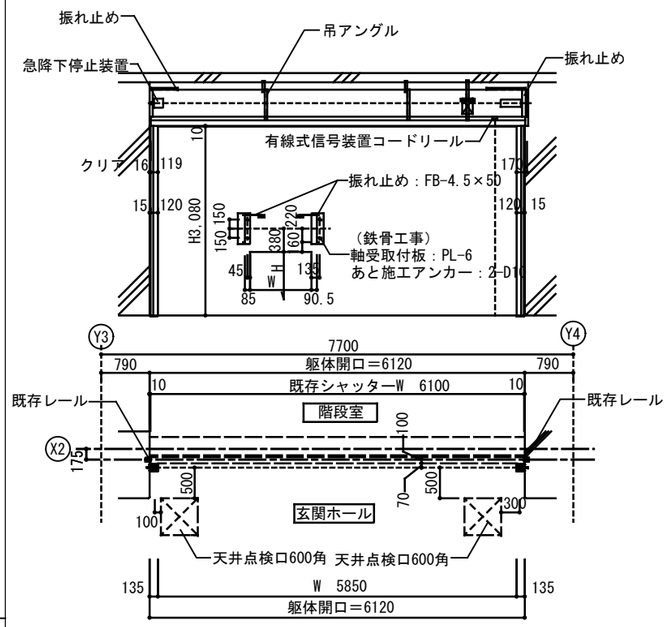
型式	見込	材料	シャッター(手動式)		スチール
仕上	ガラス		附属金物一式　スチールガイドレール、中央ガイドレール取外し式、シャッターボックス付		
金物					

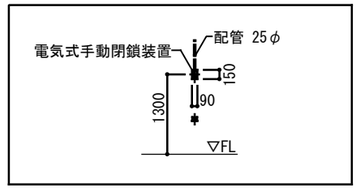
記号	室名	数量

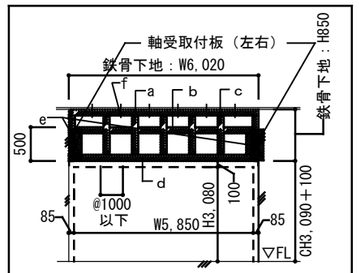
姿図

▽FL

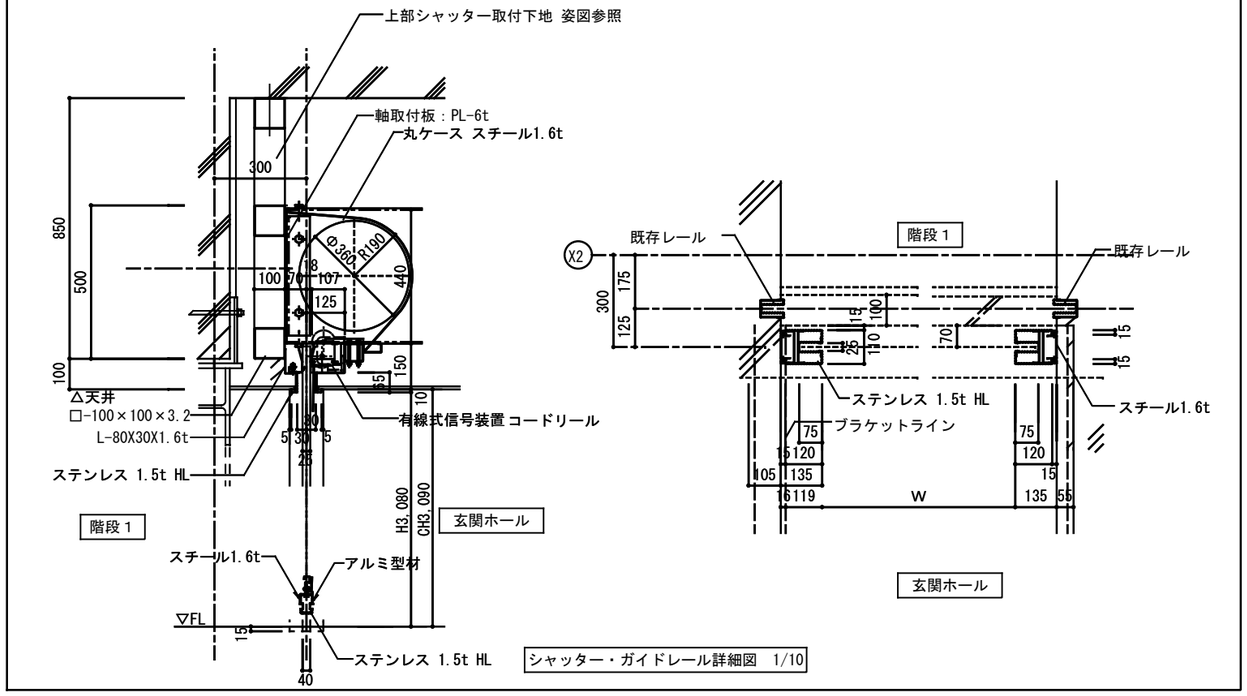
SS 2	1階　玄関ホール	新設 1







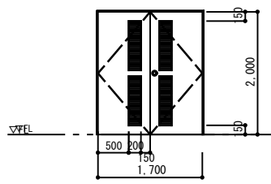
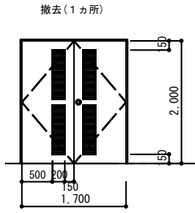
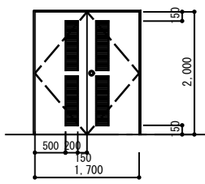
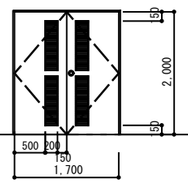
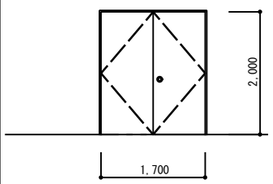
＜シャッター取付下地 姿図（鉄骨工事範囲）＞
a・b・c・d・e：□-100X100X3.2
f：あと施工アンカー D10@1000以下
軸受取付板：スチールプレート　6t-200X500

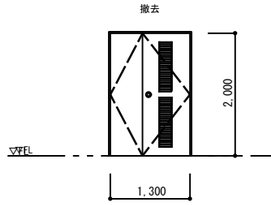
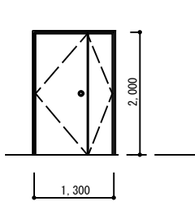
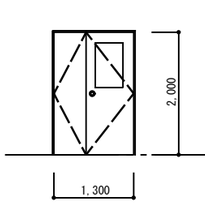
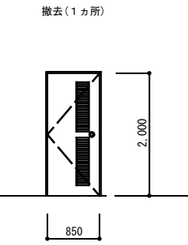
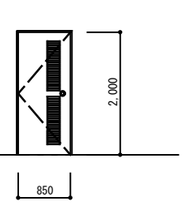


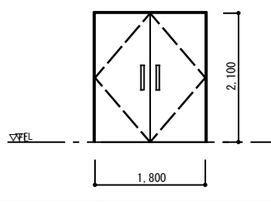
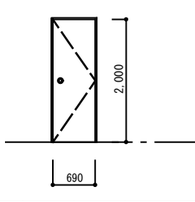
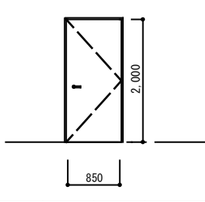
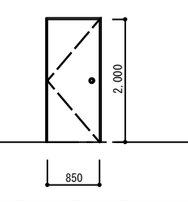
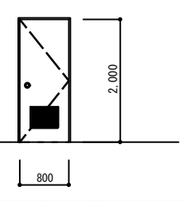
型式	見込	材料	重量防火シャッター(電動式)		スチール
仕上	ガラス		SOP		
金物			附属金物一式、ガイドレールステンレス		
			煙感知器連動常時開放防火シャッター(竪穴区画)、電動式		

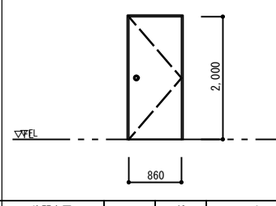
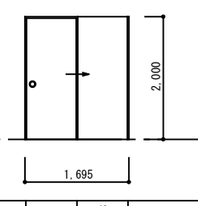
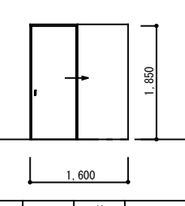
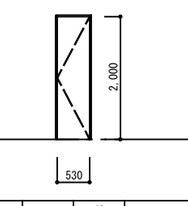
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-100
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト８ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	— —	

記号	室名	数量			
WD 1-1	3階　議会事務局	現況	2		
		改修後	2		
WD 1-2	2階 秘書政策課 3階　議会事務局	現況	2		
		改修後	1		
WD 1-3	2階　秘書政策課 3階　第二委員会室	現況	2		
		改修後	0		
WD 1-4	3階　第一委員会室	現況	2		
		改修後	1		
WD 1-5	2階　秘書政策課 3階　正副議長室	現況	3		
		改修後	2		
WD 1-6	2階　第二会議室	現況	1		
		改修後	1		
WD 2-1	地階　男子ロッカー室、女子ロッカー室、視聴室、電話交換室	現況	5		
		改修後	5		
姿図					
型式	両開き戸ガラリ付	120	40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸ランマ付	120	40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸ランマ付	120	40	木	
仕上	ガラス	外側OP	内側プリント合板		
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸ランマ付	120	40		
仕上	ガラス	外側クロス	内側プリント合板		
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸	120	40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ドアチェック、握玉				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸	120	40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ドアチェック、握玉				
	容摺ステンレス				
型式	親子開き戸ランマ付	120	40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				

記号	室名	数量			
WD 2-2	1階　応接室	現況	1		
		改修後	0		
WD 2-3	2階　第二会議室	現況	1		
		改修後	1		
WD 2-4	地階　組合事務室	現況	1		
		改修後	1		
WD 3-1	地階　文書室、男子便所 3階　階段5上	現況	3		
		改修後	2		
WD 3-2	3階　チームみんなの交野、 にじいろ対話の会、 文書室、議会事務局	現況	4		
		改修後	4		
WD 3-3	3階　大阪維新の会、 未来創生会、 日本共産党、公明党	現況	5		
		改修後	1		
WD 3-4	地階　用務員室、浴室、化粧室 2階　第一会議室	現況	5		
		改修後	3		
姿図					
型式	親子開き戸ランマ付	120	40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し				
	容摺ステンレス				
型式	親子開き戸	40	120	木	
仕上	ガラス	クロス			
金物	ドアチェック、握玉				
	容摺ステンレス				
型式	親子開き戸窓付	120	40	木	
仕上	ガラス	OP	型板 t=4mm		
金物	シリンダー円筒錠　ピボットヒンジ ドアチェック、握玉				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸ガラリ付	120	40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	両開き戸ガラリ付	120	40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸ガラリ付	120	40	木	
仕上	ガラス	クロス			
金物	シリンダー円筒錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸	120	40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ドアチェック、レバーハンドル				
	容摺ステンレス				

記号	室名	数量			
WD 4	3F　議場	現況	2		
		改修後	2		
WD 5	2階 市長室 3階　正副議長室	現況	4		
		改修後	4		
WD 6	2階　財産管理室	現況	1		
		改修後	0		
WD 7	3階　傍聴室	現況	2		
		改修後	2		
WD 8	3階 便所	現況	1		
		改修後	1		
WD 9	3階 議場	現況	2		
		改修後	2		
WD 10	1階 市民課	現況	1		
		改修後	1		
姿図					
型式	両開き防音扉		60	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック(軸吊りタイプ)木製ドアハンドル				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸		40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	シリンダー円筒錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸		40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ドアチェック、レバーハンドル				
	容摺ステンレス				
型式	片開き防音扉		40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック(軸吊りタイプ)シリンダー円筒錠				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸ガラリ付		40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸		40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	シリンダー円筒錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸	100	40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	シリンダー円筒 ピボットヒンジ、ドアチェック				
	容摺ステンレス				

記号	室名	数量			
WD 11	地階 警備員室	現況	1		
		改修後	1		
WD 12	地階 休憩室1	現況	1		
		改修後	1		
WD 13	地階 宿直室	現況	1		
		改修後	1		
WD 14	地階　倉庫1	現況	1		
		改修後	1		
WD 22	3階　理事者控室	新設	2		
WW 1	地階　警備員室	現況	1		
		改修後	0		
姿図					
型式	片開き戸		40	木	
仕上	ガラス	OP			
金物	シリンダー円筒錠　ピボットヒンジ ドアチェック、握玉				
	容摺ステンレス				
型式	片引き戸		40		
仕上	ガラス	OP			
金物	底車、堀込引手				
	容摺ステンレス				
型式	片引き戸		40		
仕上	ガラス	OP			
金物	底車、堀込引手				
	容摺ステンレス				
型式	片開き戸		40		
仕上	ガラス	OP			
金物					
	容摺ステンレス、有孔ベニヤフラッシュ芯内外共、ロックウール充填の上、フォームラバー張				
型式	片開き防音扉		40	木	
仕上	ガラス	プリント合板			
金物	ピボットヒンジ、ドアチェック(軸吊りタイプ)シリンダー円筒錠				
	容摺ステンレス				
型式	受付窓		210	木	
仕上	ガラス	既込	透明 t=3mm		
金物					
	カウンター：木製フラッシュ				



※　既存建具の改修内容
　戸部：建具開閉調整、塗装仕上げ部　塗替え、突板及びシート貼り部　清掃、クロス貼り部　張替
　戸部以外：建具清掃、枠塗装塗替え、塗装仕上げ部塗替え、突板及びシート貼り清掃、クロス貼り部張替

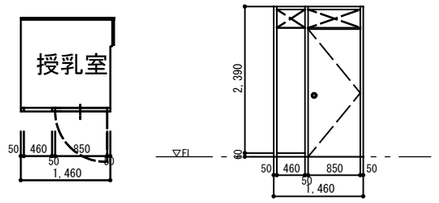
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-101
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト9　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号	—	—

| 記号 | 室名 | 数量 | | |

記号	室名	数量					
P-1	1階 授乳室	現況 1 / 改修後 1					

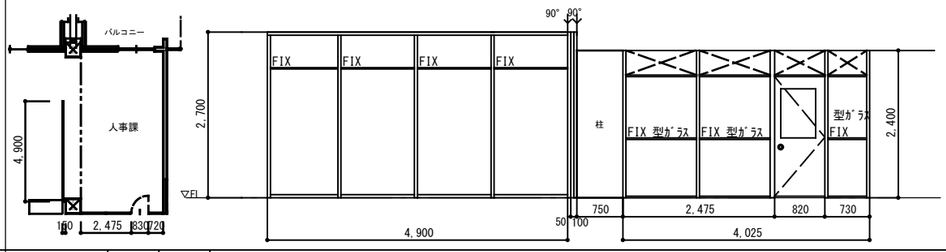
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

記号	室名	数量		
P-2	2階　人事課	仮撤去・復旧	1	

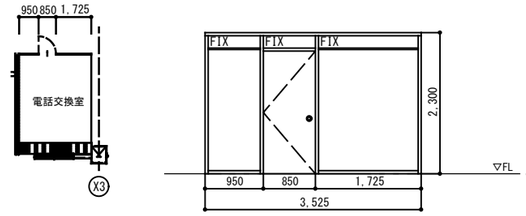
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

記号	室名	数量		
P-3	地階　電話交換室	仮撤去・復旧	1	

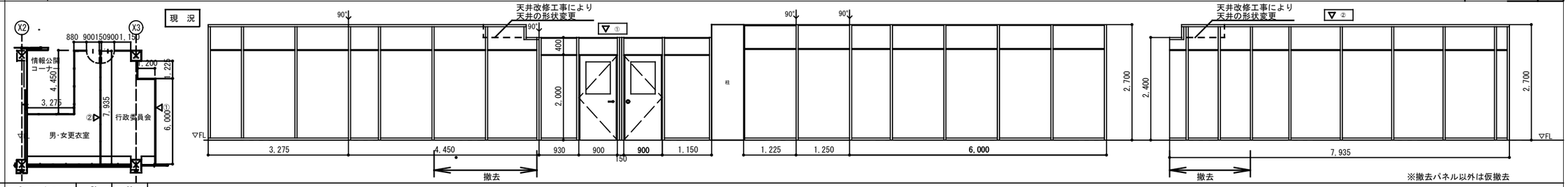
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

記号	室名	数量		
P-4	2階　行政委員会、男・女更衣室	仮撤去・復旧 一部撤去・新設	1	

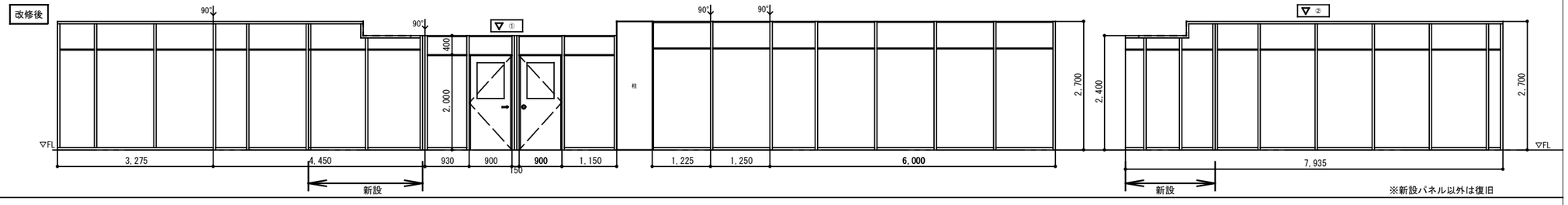
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

記号	室名	数量		

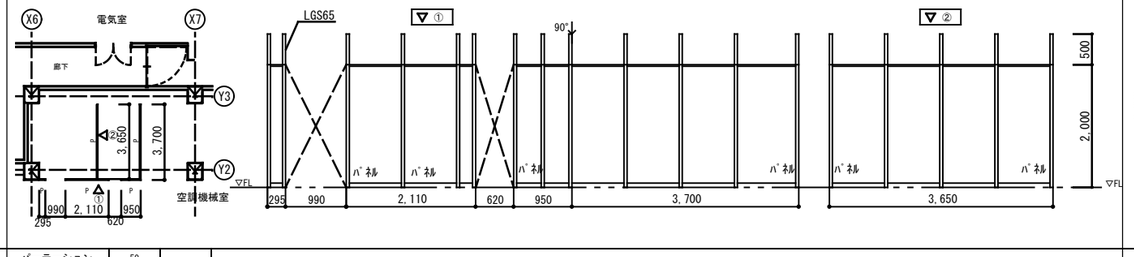
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

記号	室名	数量		
P-6	地階 空調機械室	撤去	1	

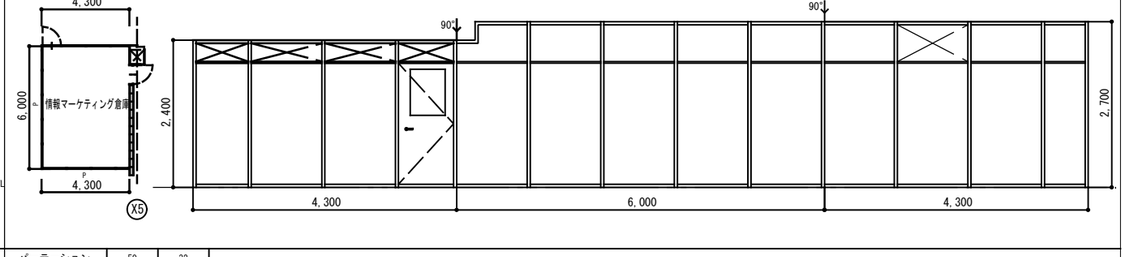
姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50		
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物					
		仮設的に作製したパーティション　骨材：LGS65、パネル：木製など			

記号	室名	数量		
P-7	2階　情報マーケティング課倉庫	撤去	1	

姿図



型式	見込	材料			
		パーテーション	50	32	
仕上	ガラス	亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)			
金物		丁番、ロック、ドアチェック、その他			
		骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)　芯材　ペーパーコア			

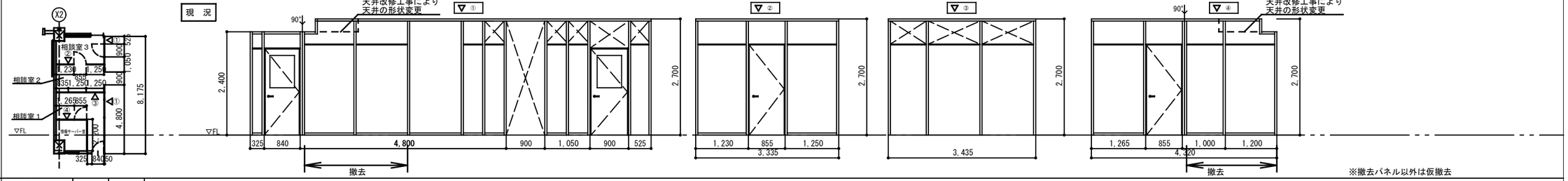
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト１１ 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	—	令和 7年 10月	A-103
		整理番号	—	—

記号	室名	数量		
			P/5	2階　情報サーバー室、相談室1、2、3

仮撤去・復旧
一部撤去・新設　1

姿図



型式	見込	材料	パーテーション	50	32
仕上	ガラス		亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装仕上）		
金物			丁番、ロック、ドアチェック、その他		
			骨材：アルミ押出型材、パネル：表面材　亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装仕上）　芯材　ペーパーコア		

記号	室名	数量

姿図

型式	見込	材料
仕上	ガラス	
金物		

記号	室名	数量

姿図

型式	見込	材料
仕上	ガラス	
金物		

記号	室名	数量
SD/1		

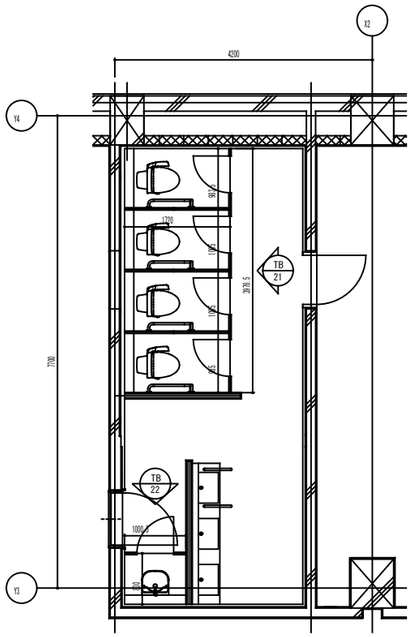
姿図

型式	見込	材料
仕上	ガラス	
金物		

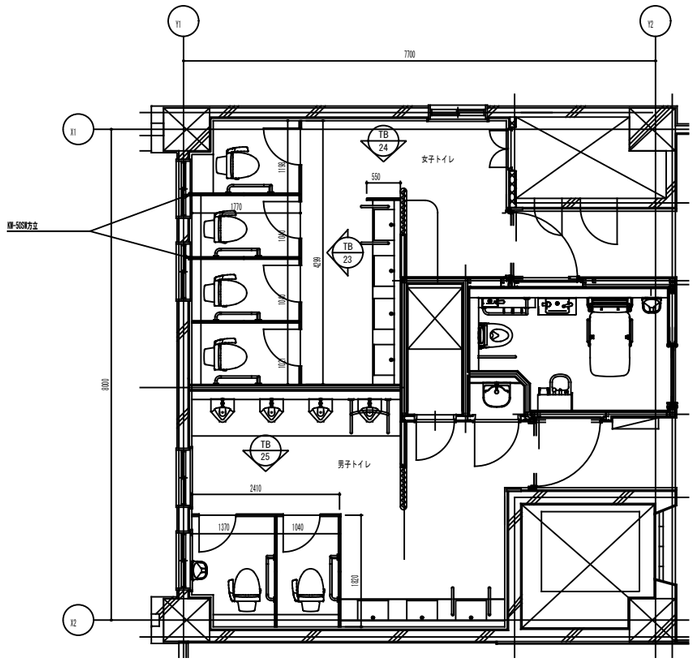
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
		—	令和 7年 10月	A-104
図面名称	【現況】【改修後】建具リスト１２　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号		
	＊＊＊	—	—	

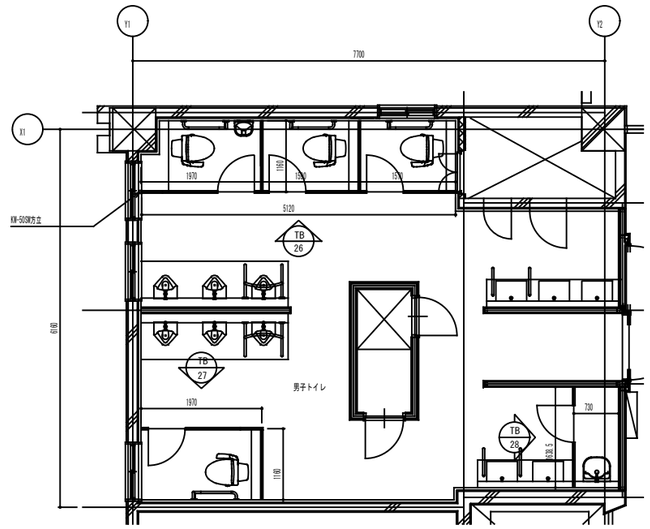
平面図・展開図（Ｓ＝１／５０）



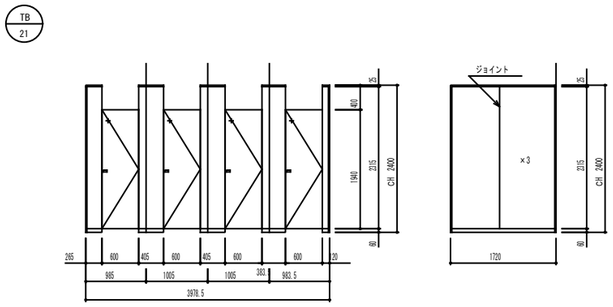
地階女子トイレ

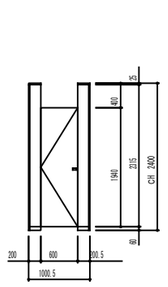


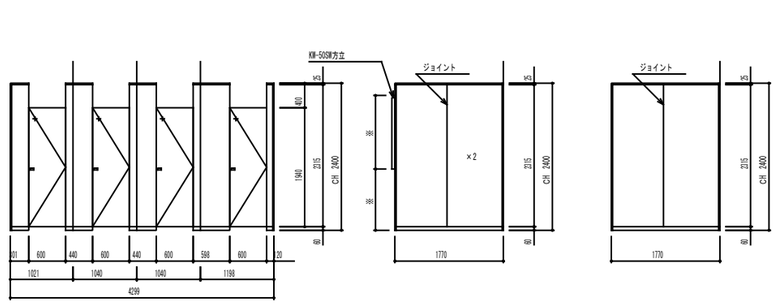
1階トイレ

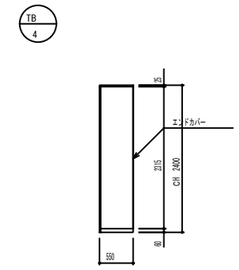


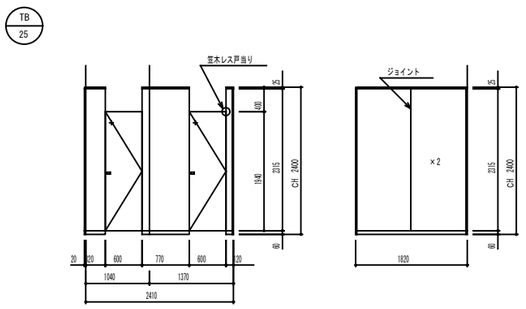
2階男子トイレ

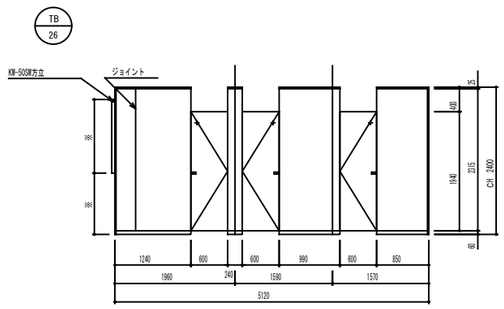


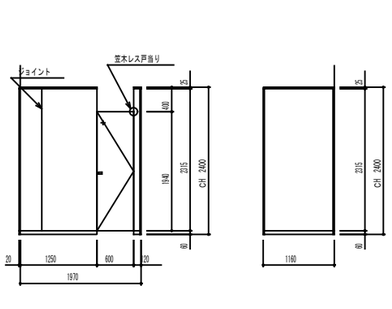


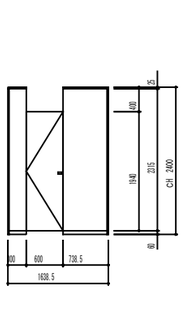










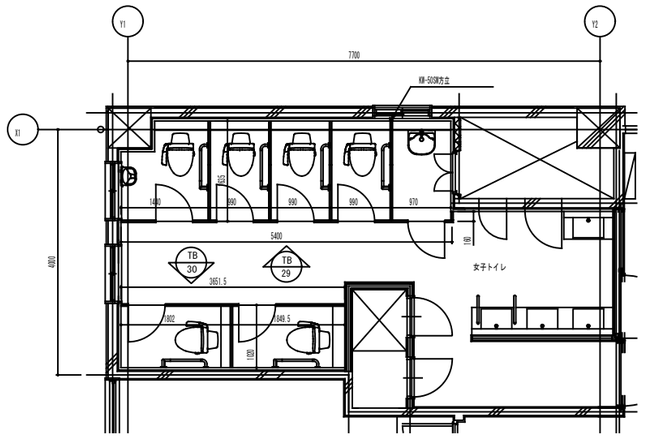


代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和 7年 10月
図面名称	【改修後】　建具リスト１３　（トイレブース）	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)
		整理番号	— —
		図面番号	A-105

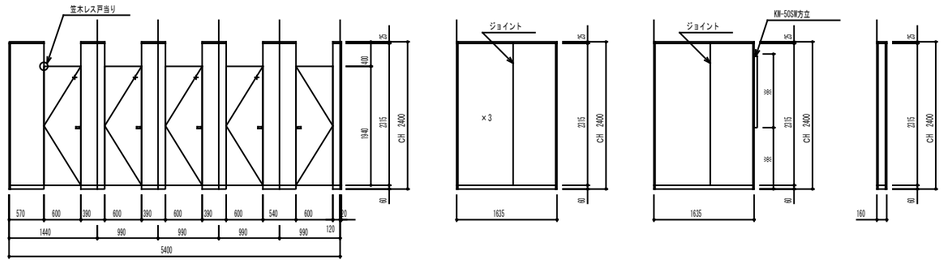
KWPC08438/55141190P001
25-06-17/16:35:26

平面図・展開図（S＝1／50）

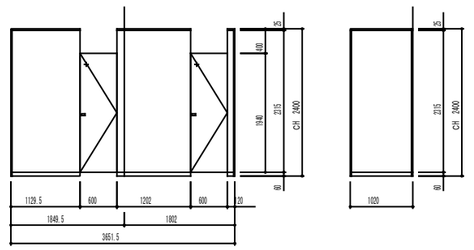


3階女子トイレ

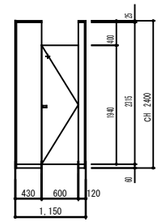
TB 29



TB 30

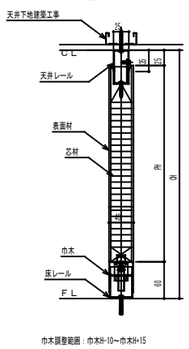


TB 31 ３階男子トイレ

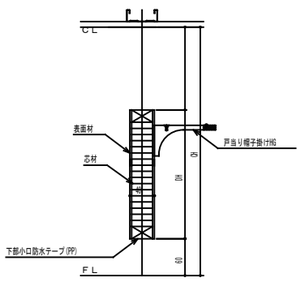


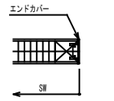
断面図（S＝1／5）

パネル詳細

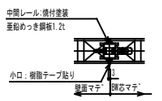


扉詳細





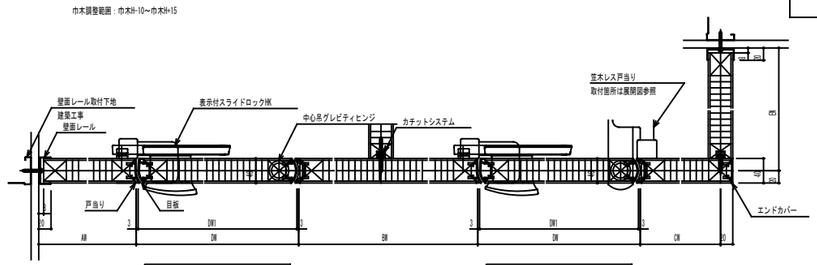
スクリーン端部



ジョイント

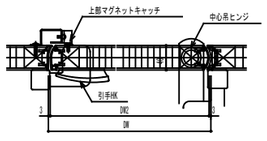
◇仕様表

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯　材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈焼付塗装仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス　0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	天井レール	亜鉛めっき鋼板　1.2mm 〈焼付塗装仕上〉
	壁面レール／エンドカバー	アルミ押出形材 〈焼付塗装仕上〉
	ヒンジ　／SWヒンジ	中心吊グレビティヒンジ　　／中心吊ヒンジ
	ロック	表示付スライドロック(BK
	その他金物	戸当り帽子掛けH65　　／引手(BK

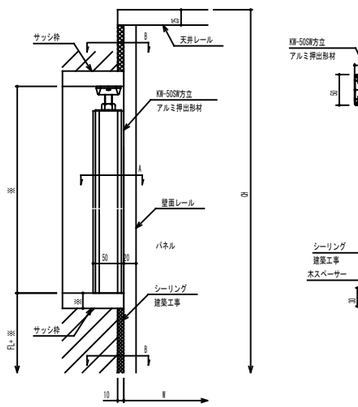


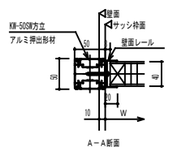
内開きトイレ用扉

内開きトイレ用扉

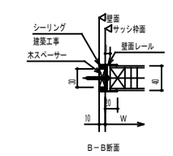


ＳＫ・物入れ用片開き扉





A－A断面

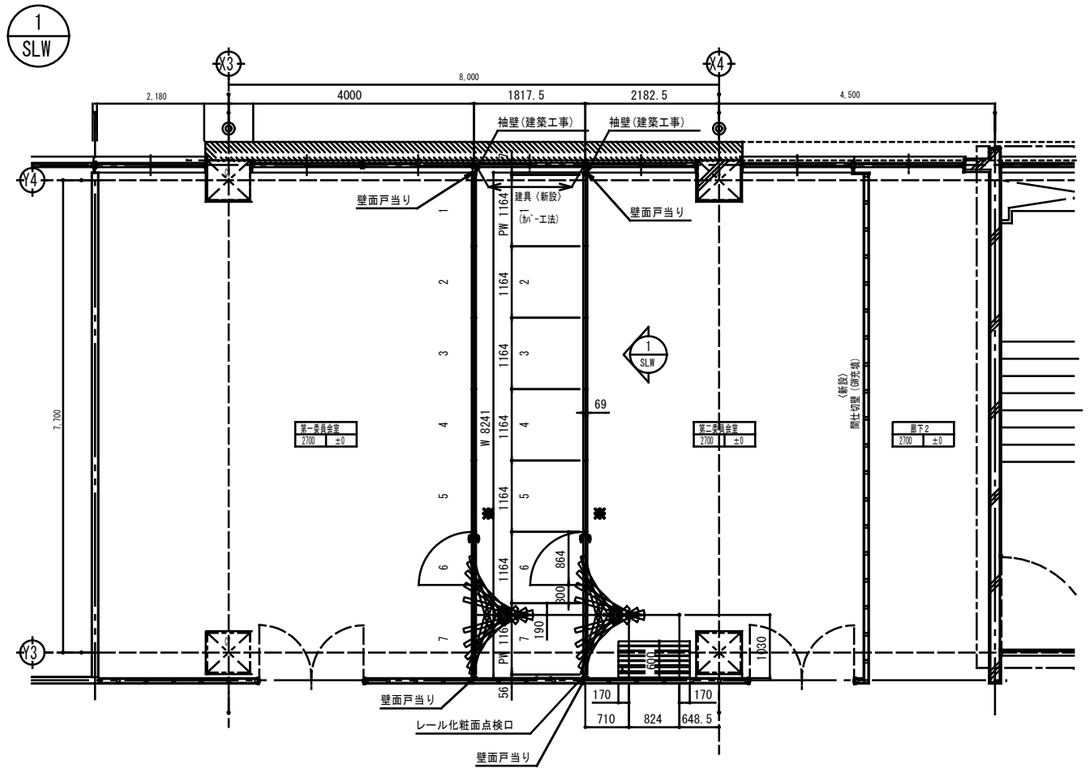


B－B断面

サッシ際　サッシ上アルミ方立納まり詳細

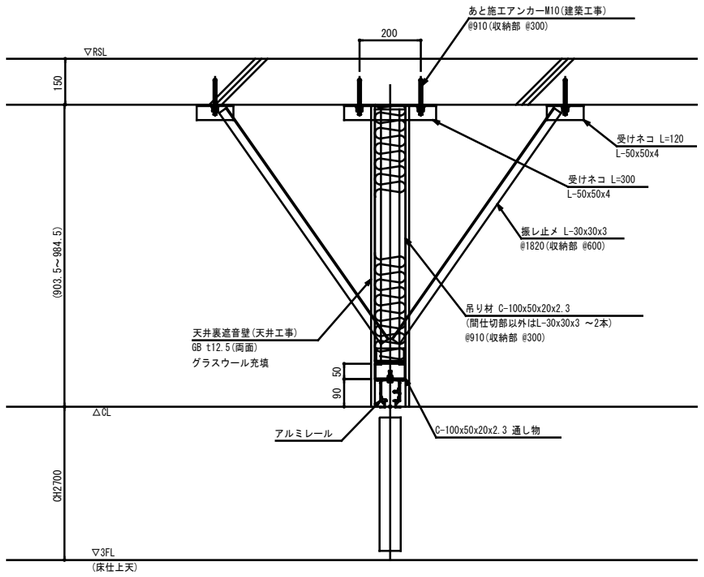
代表者	照　査	担　当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和 7年 10月
図面名称	【改修後】　建具リスト１４　（トイレブース）	縮尺 1/50, 1/5(A1) 1/100, 1/10(A3)	整理番号 — —
			図面番号 A-106



3階平面図 S=1:50

※操作口取付側

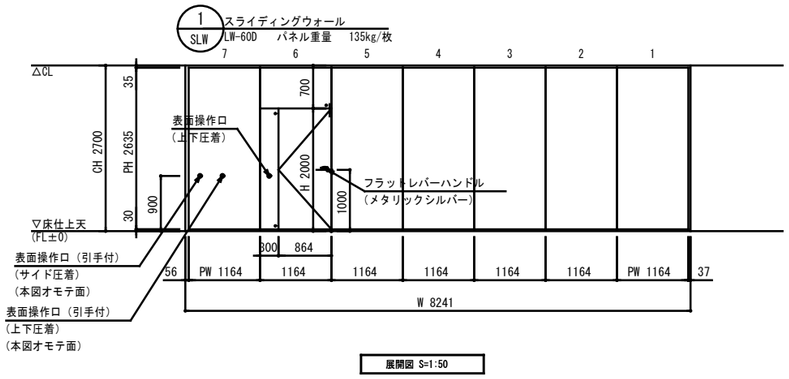


レール取付断面図 S=1:10

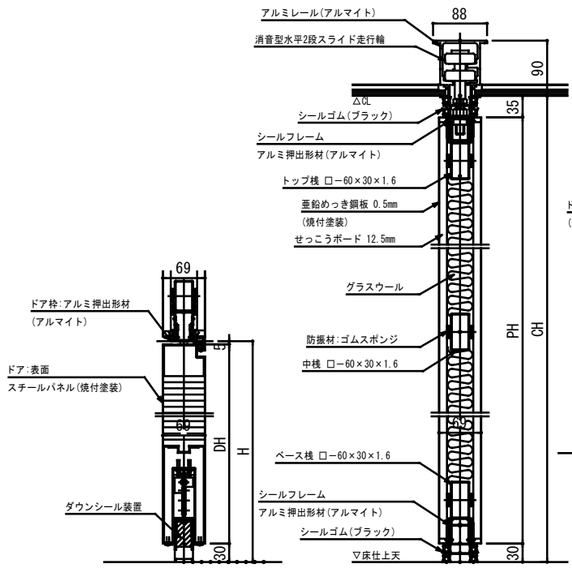
スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D)

1
SLW

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型	

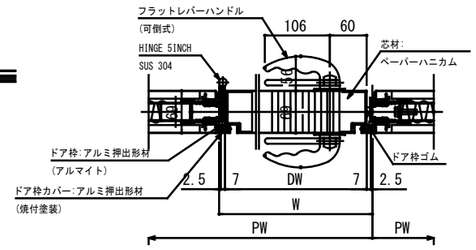


展開図 S=1:50

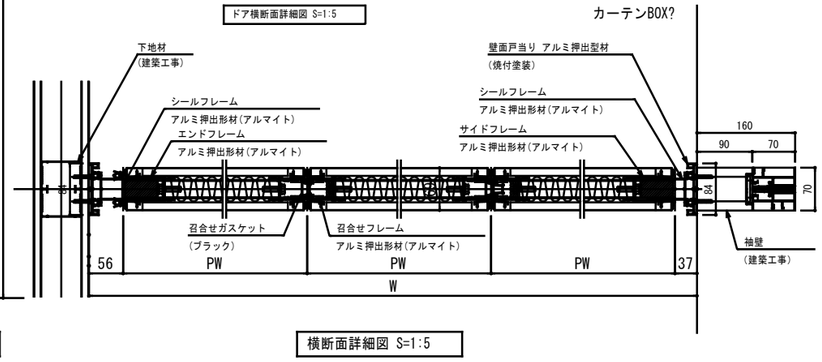


ドア縦断面詳細図 S=1:5

縦断面詳細図 S=1:5



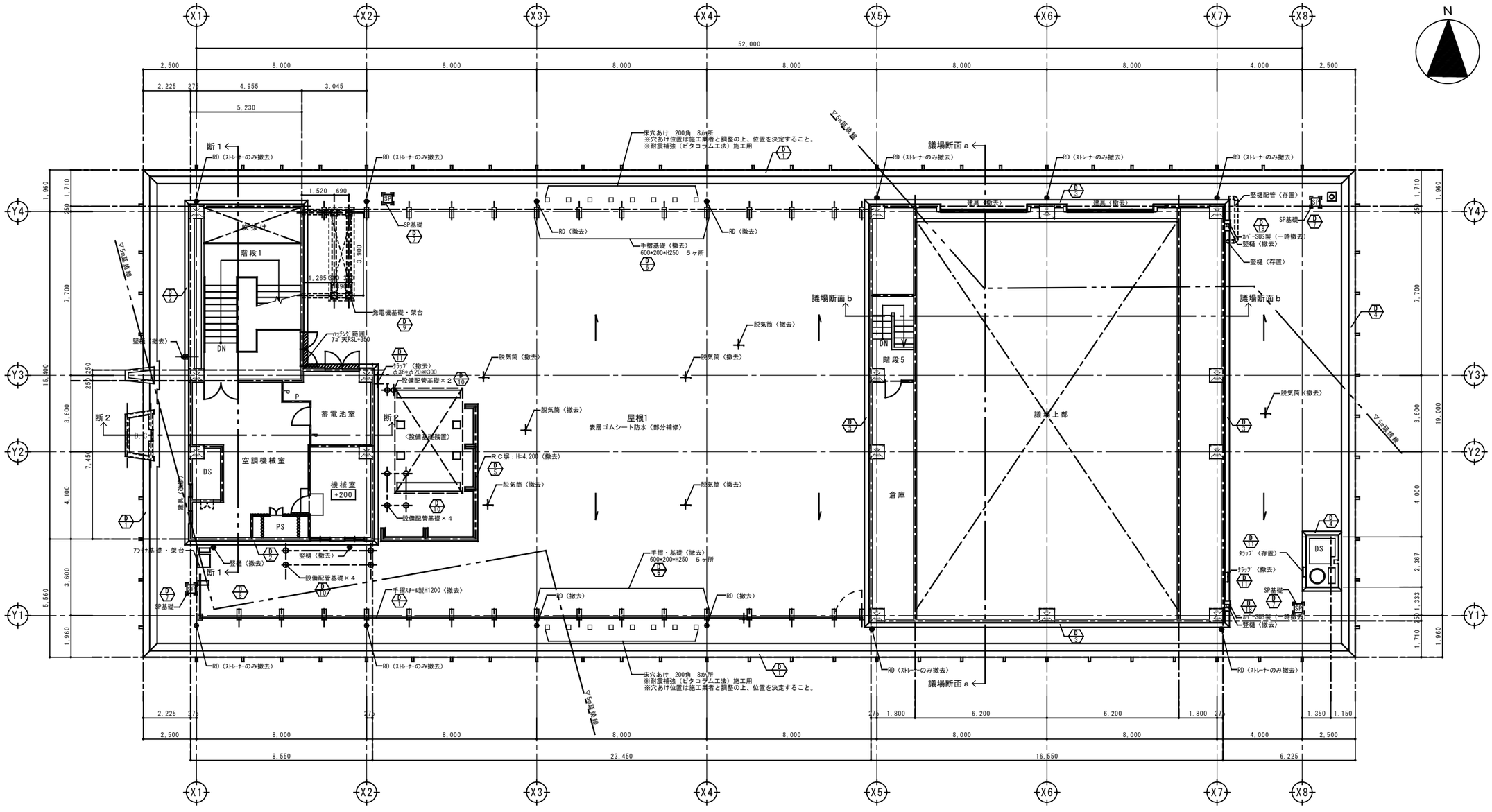
ドア横断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

<スライディングウォール 厚み69mm> (LW-60D)

代表者	照 査	担 当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
							—	令和 7年 10月	A-107
					図面名称	【改修後】 建具リスト１５ (スライディングウォール)	縮尺 1/30,1/10,1/5(A1) 1/60,1/20,1/10(A3)	整理番号 — —	



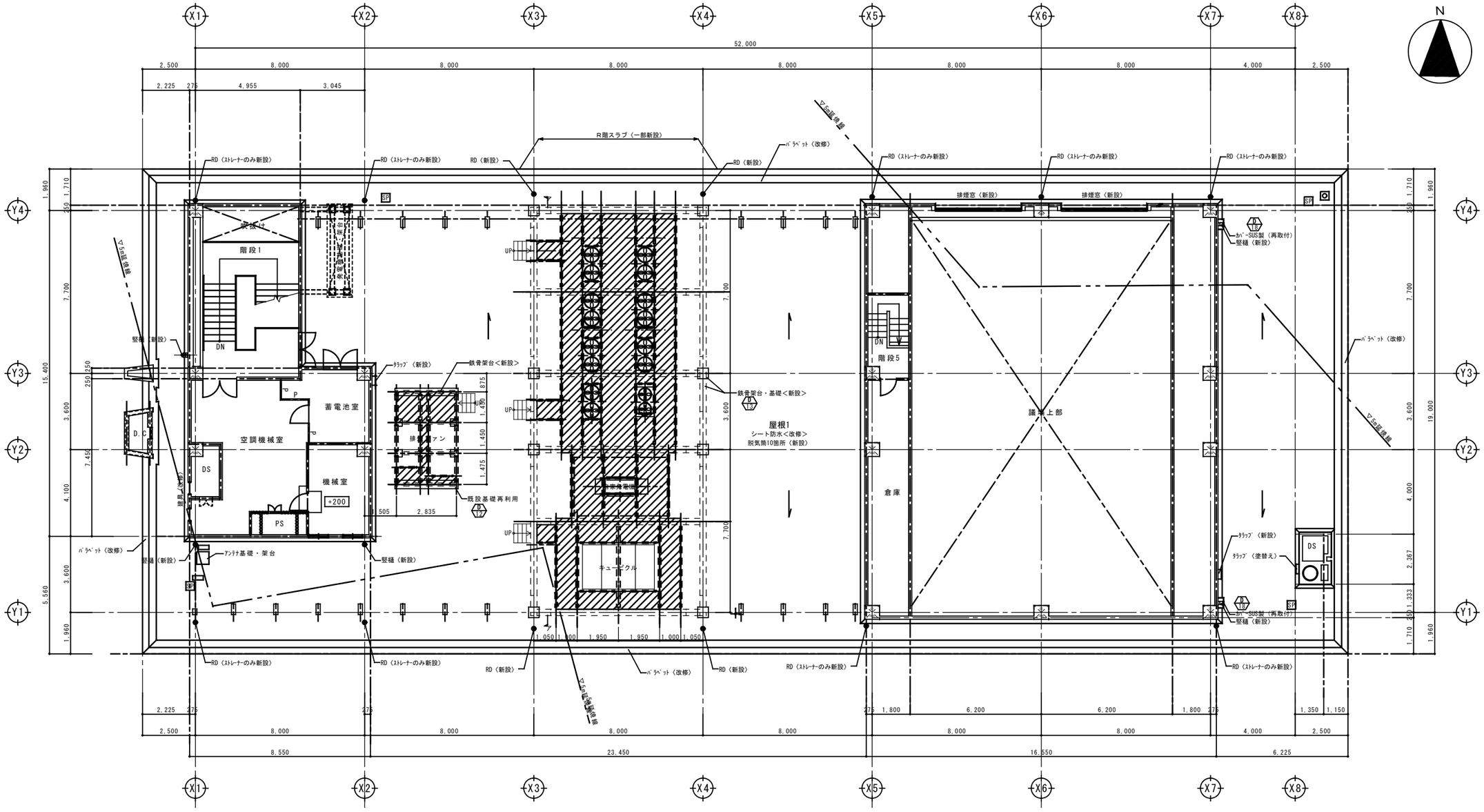
【現況】R階平面図

注） ＊ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

記号	既設仕上	改修方法	記号	既設仕上	改修後
㋐	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	ⓚ		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋑	窯変小ロタイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	ⓛ		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
㋒	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修箇所吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】	ⓜ		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
㋓	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	ⓝ		バルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
㋔	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	ⓞ		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
㋕	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】	ⓟ		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
㋖	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】	①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
㋗	ベニヤ型枠コンクリート打放し コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】		②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
㋘	防水モルタル立ち押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	③	建具：アルミ製 【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4面)、【一部、新設・改修】
㋙	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング 鋼製シャッターは既存のまま
㋚	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】	⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
㋛	天 端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】	⑥	幅縁・水切：アルミ製	既存のまま
㋜	平 場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCON の上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】	⑦	雑カバー：ステンレス製t1.2 礼 内部：GPφ100 OP塗【耐震補強部 撤去】	雑カバー再取付け、雑カバーVPφ100新設 揚み金具新設
㋝	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】	⑧	雑：GPφ100 (OP塗【撤去】 揚み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】 揚み金物：ステンレス製【新設】
㋞	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】	⑨		竪樋：カラーVPφ100【新設】 揚み金物：ステンレス製【新設】
㋟	平 場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法） 【新設】	⑩	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
㋠	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法） 【新設】	⑪	化粧型枠コンクリート打放し 7本コン2回 吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
㋡	平 場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】	⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗 H1080【新設】
㋢	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法） 【新設】	⑬		
㋣	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま			

部位	仕上	
	現況	改修後
屋根1	平 場：均しモルタルt20＋アスファルト防水層＋軽量コンクリートt80＋防水モルタルこて押え ＋ゴムシート防水【部分補修】	既存ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 不具合部分（15%）補修＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
	天 端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
	竪型ルーフドレイン：鋳鉄製 φ100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
	脱気筒：ステンレス製【撤去】	ステンレス製【新設】
	スチール手摺【撤去】、基礎ブロック【一部撤去】	
	目隠し壁：CB t150化粧積の上、モルタルこて押え【撤去】	
	各種設備基礎【既設のまま】	
		鉄骨架台：CON基礎＋鉄骨架台（亜鉛メッキ品）＋デッキプレート敷＋鉄骨階段【新設】※一部、既設CON基礎使用
	耐震補強取付部【撤去】	躯体同形状に復旧【新設】
		平 場：軽量コンクリートの上、塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
		立上り：軽量コンクリートの上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
		笠 木：モルタルこて押えの上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】

代表者	照 査	担 当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-108
				図面名称 【現況】防水改修図１（Ｒ階平面図） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【改修後】R階平面図

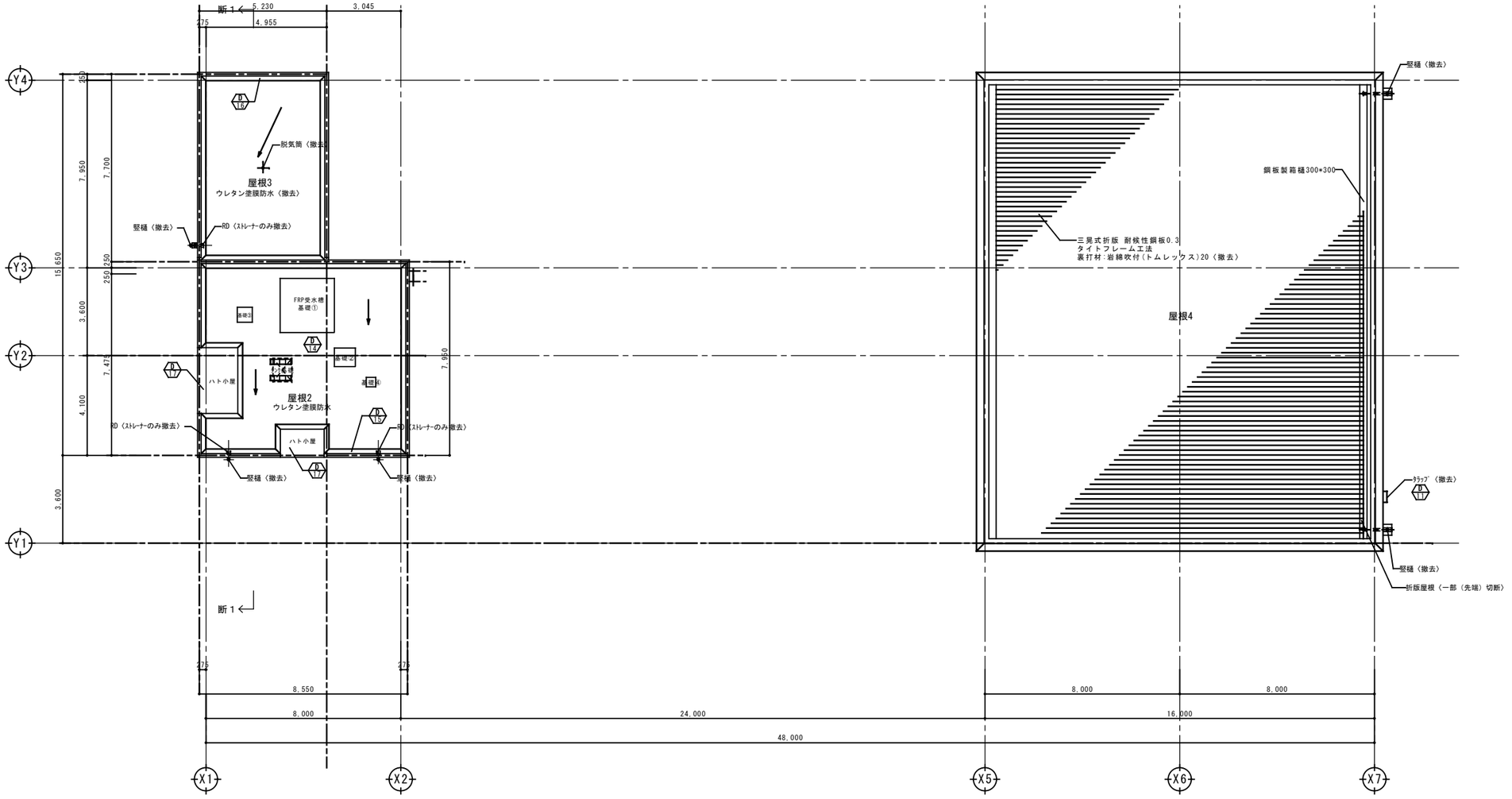
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

記号	既設仕上	改修方法
㋐	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋑	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋒	化粧型枠コンクリート打放のよ、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
㋓	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋔	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋕	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
㋖	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
㋗	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
㋘	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋙	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋚	水切：段物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋛	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
㋜	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押え:ON)の上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
㋝	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
㋞	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50+塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
㋟	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
㋠	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
㋡	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
㋢	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
㋣	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま

記号	既設仕上	改修方法
㋤		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
㋥		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
㋦		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
㋧		バルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
㋨		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
㋩		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4箇)、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレスエ法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	鋼線・水切：アルミ製	既存のまま、
⑦	雑カバー：ステンレス製t1.2 ℓL 内部：GP⌀100 OP塗【耐震補強部 撤去】	雑カバー再取付け、雑カバーVP⌀100新設　掴み金具新設
⑧	雑：GP⌀100 OP塗【撤去】 掴み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVP⌀100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪樋：カラーVP⌀100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し ﾌﾗｯｼｭ回 吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

部位	仕上 現況	仕上 改修後
屋根1	平　場：均しモルタルt20＋アスファルト防水層＋軽量コンクリートt80＋防水モルタルこて押え＋ゴムシート防水【部分補修】	既存ｺﾞﾑｼｰﾄ防水 不具合部分（15%）補修＋塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0（密着補強布工法）【新設】
	竪型ルーフドレイン：鋳鉄製　⌀100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナー⌀100用【新設】
	脱気筒：ステンレス製【撤去】	ステンレス製【新設】
	スチール手摺【撤去】、基礎ブロック【一部撤去】	
	目隠し壁：CB t150化粧積の上、モルタルこて押え【撤去】	
	各種設備基礎【既設のまま】	
		鉄骨架台：ON基礎＋鉄骨架台（亜鉛メッキ品）＋デッキプレート敷＋鉄骨階段【新設】※一部、既設ON基礎使用
	耐震補強取付部【撤去】	躯体同形状に復旧【新設】
		平　場：軽量コンクリートの上、塩ビシート防水t1.5（機械固定工法）【新設】
		立上り：軽量コンクリートの上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
		笠　木：モルタルこて押えの上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-109
				図面名称 【改修後】防水改修図２（Ｒ階平面図） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



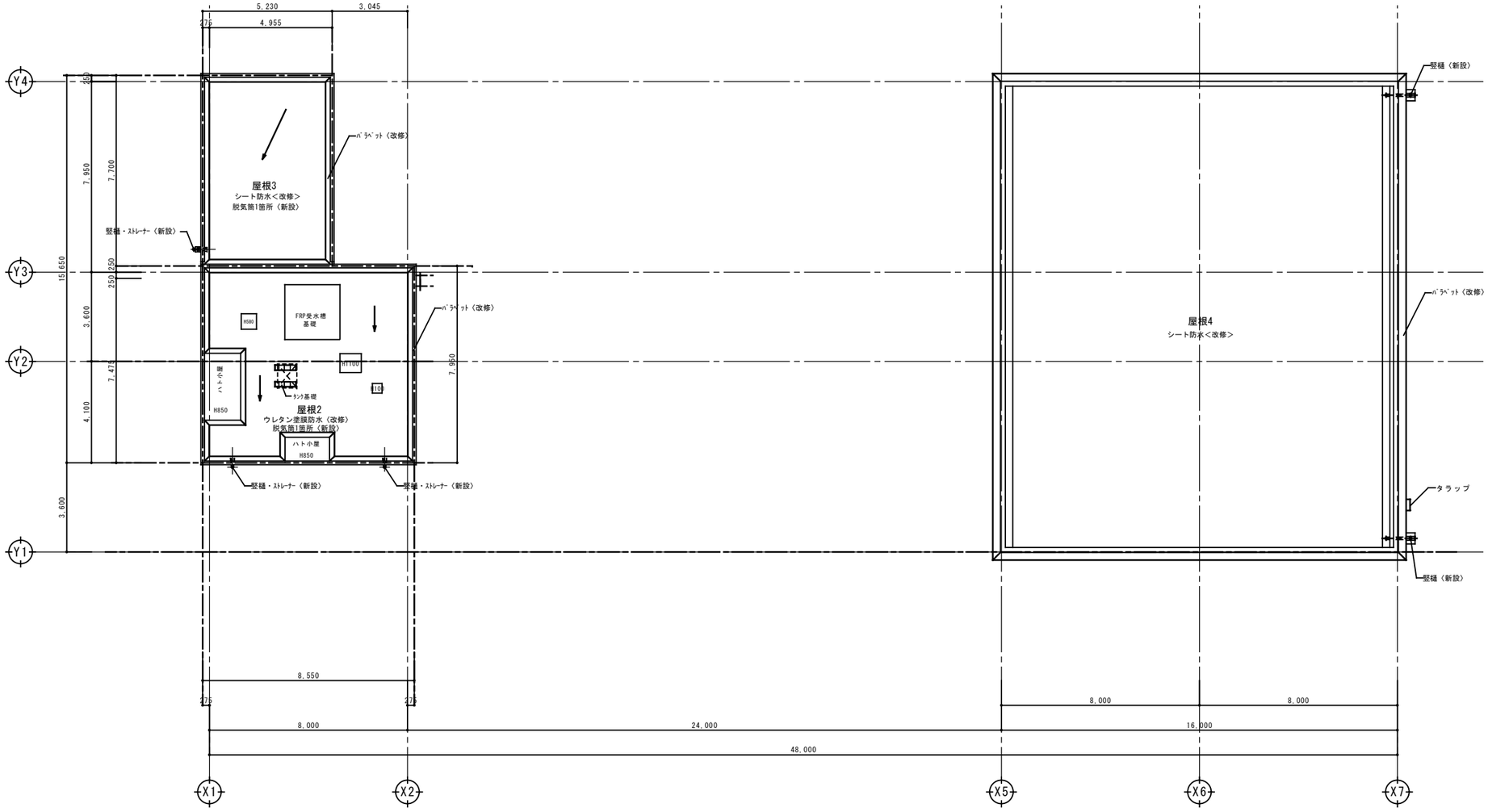
【現況】屋根伏図

記号	既設仕上	改修方法
A	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
B	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
C	化粧型枠コンクリート打放の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
D	モルタル下地の上、セラカット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
E	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
F	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
G	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
H	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
I	防水モルタル立ち押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
J	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
K	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
L	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル(t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
M	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押え(CON)の上、仮防水＋絶縁シート(t1.0＋塩ビシート防水(t1.5（機械固定工法）【新設】
N	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタル(t1.0下地処理の上、塩ビシート防水(t1.5（接着工法）【新設】
O	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォーム(t50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法）【新設】
P	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ）（接着工法）【新設】
Q	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0(ノンスリップ）（接着工法）【新設】
R	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタル(t1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法）【新設】
S	玄関庇天端：キータンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
T	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま

記号	既設仕上	改修方法
U		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
V		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シート(t1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法）【新設】
W		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シート(t1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法）【新設】
X		バルコニー床：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
Y		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床（ノンスリップ）【新設】
Z		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法）【新設】
1	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
2	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
3	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
4	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
5	正面出入口：テンバーライト フレームレス工法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
6	樋縁・水切：アルミ製	既存のまま
7	樋カバー：ステンレス製t1.2 礼　内部：GP塗100　DP塗【耐震補強部　撤去】	樋カバー再取付け、樋カバーVPφ100新設　揚み金具新設
8	樋：GPφ100　DP塗【撤去】　揚み金物：スチール製【撤去】	竪樋：カラーVPφ100【新設】　揚み金物：ステンレス製【新設】
9		竪樋：カラーVPφ100【新設】　揚み金物：ステンレス製【新設】
10	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
11	化粧型枠コンクリート打放し 7本ｽﾘ2回 吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
12	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
13		

部　位	仕　上	
	現　況	改　修　後
屋根2	平　場：均しモルタルt20+アスファルト防水層+軽量コンクリートt80+防水モルタルこて押え +ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（絶縁工法）【新設】
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	各種設備基礎【既設のまま】	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去】	横引きルーフドレイン：塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
屋根3	平　場：均しモルタルt20+アスファルト防水層+軽量コンクリートt80+防水モルタルこて押え +ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
屋根4	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
	立上り：天端：ゴムシート防水　端部：塩ビ鋼板（水下側：鋼製笠木）	既設躯体の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
		塩ビ鋼板　70×40×10　裏打ちシーリング共（水下側：アルミ笠木W300）【新設】
	内樋：耐候製鋼板t0.4　W300×H300	内樋：既設耐候製鋼板の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4【新設】

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計書号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-110
					図面名称 【現況】防水改修図３（屋根伏図） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



【改修後】屋根伏図

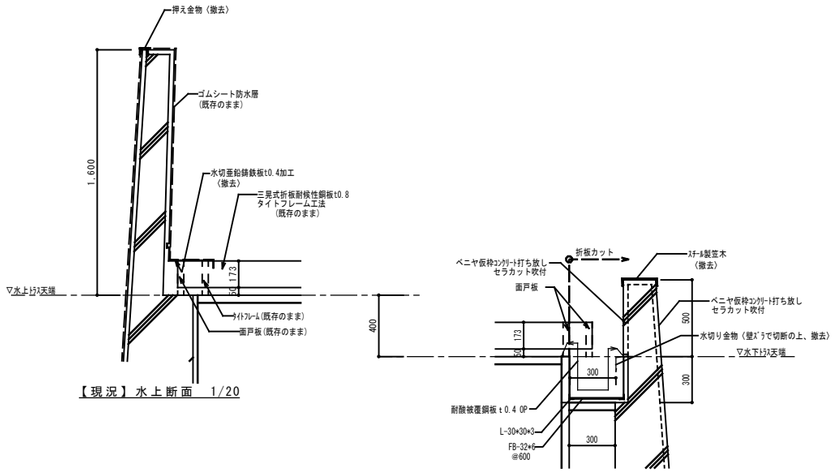
記号	既設仕上	改修方法
ⓐ	47角磁器施釉タイル貼【一部浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓑ	窯変小口タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓒ	化粧型枠コンクリート打放のよ、セララット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓓ	モルタル下地の上、セララット吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓔ	**モルタル下地の上、セラスキン吹付【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】**	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓖ	ベニヤ型枠コンクリート打放し	既設コンクリート面補修の上、下地調整＋フッ素樹脂塗料吹付【新設】
ⓗ	ベニヤ型枠コンクリート打放し　コンクリート斫り仕上【X3-7間：躯体共撤去】	
ⓘ	防水モルタルコテ押え【一部、浮き部分撤去】	既設防水モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓙ	モルタルこて押え【一部、クラック補修周囲吹付のみ撤去】	既設モルタル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓚ	水切：役物タイル【一部、浮き部分撤去】	既設タイル面補修の上、下地調整＋防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓛ	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(密着補強布工法)【新設】
ⓜ	平　場：アスファルト防水＋軽量コンクリートの上、ゴムシート防水	既設押えCONの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
ⓝ	立上り：ゴムシート防水層【撤去】	樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
ⓞ	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5(機械的固定工法)【新設】
ⓟ	平　場：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0/(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
ⓠ	立上り：防水モルタルこて押え	下地調整の上、ウレタン塗膜防水ｔ2.0/(ノンスリップ)（接着工法）【新設】
ⓡ	平　場：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
ⓢ	玄関庇天端：キーストンプレートt1.0＋シート防水【撤去】	既設下地の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）【新設】
ⓣ	庇鼻先・軒天：鉄骨下地の上、アルミPLt1.0加工（電解着色）	既存のまま

記号	既設仕上	改修方法
ⓤ		壁：新設コンクリート打放の上、防水型複層塗材ＣＥ吹付【新設】
ⓥ		屋上床：新設押えコンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
ⓦ		屋上立上り：新設コンクリートの上、仮防水＋絶縁シートt1.0＋塩ビシート防水t1.5(機械固定工法)【新設】
ⓧ		バルコニー床：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
ⓨ		バルコニー立上り：モルタルの上、塗床(ノンスリップ)【新設】
ⓩ		天端：モルタルこて押えの上、ウレタン塗膜防水t2.0(接着工法)【新設】
①	手摺：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗
②	タラップ：スチール製【一部、撤去】	下地調整＋ＤＰ塗、ステンレス製【新設】
③	建具：アルミ製　【一部、撤去】	建具廻りシーリング(4周)、【一部、新設・改修】
④	建具：鋼製ＯＰ塗	下地調整＋ＤＰ塗、建具廻りシーリング　鋼製シャッターは既存のまま
⑤	正面出入口：テンパーライト フレームレスエ法ドア	既存のまま、建具廻りシーリング
⑥	笠縁・水切：アルミ製	既存のまま、
⑦	雑カバー：ステンレス製t1.2　ℓL　内部：GPφ100　OP塗【耐震補強部　撤去】	雑カバー再取付け、雑カバーVPφ100新設　掴み金具新設
⑧	雑：GPφ100　OP塗【撤去】　掴み金物：スチール製【撤去】	竪雑：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑨		竪雑：カラーVPφ100【新設】　掴み金物：ステンレス製【新設】
⑩	飾り方立：亜鉛鉄板(下地金物等)【撤去】	
⑪	化粧型枠コンクリート打放し　ﾌｶｺﾝ2回　吹付	下地調整の上、可とう形外装薄塗材Ｅ吹付【新設】
⑫	落下防止柵：スチール製＋ＯＰ　H1080【撤去】	落下防止柵：スチール製＋ＤＰ塗　H1080【新設】
⑬		

部位	仕上 現況	仕上 改修後
屋根2	平　場：均しモルタルt20＋アスファルト防水層＋軽量コンクリートt80＋防水モルタルこて押え ＋ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（絶縁工法）【新設】
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	各種設備基礎【既設のまま】	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去】	横引きルーフドレイン：塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
屋根3	平　場：均しモルタルt20＋アスファルト防水層＋軽量コンクリートt80＋防水モルタルこて押え ＋ウレタン塗膜防水	既設押えCONの上、仮防水+絶縁シートｔ1.0+塩ビシート防水ｔ1.5（機械固定工法）【新設】
	立上り：ウレタン塗膜防水	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、塩ビシート防水ｔ1.5（接着工法）【新設】
	天　端：防水モルタルこて押え	目荒し＋樹脂モルタルt1.0下地処理の上、ウレタン塗膜防水t3.0（接着工法）【新設】
	横引きルーフドレイン：鋳鉄製　φ100【ストレーナーのみ撤去・管内部高圧洗浄】	塩ビ製ストレーナーφ100用【新設】
屋根4	屋根：折板葺き：耐候性鋼板t0.8（裏打材：岩綿吹付t20）	既設折板の上、硬質ウレタンフォームt50＋塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
	立上り・天端：ゴムシート防水　端部：塩ビ鋼板（水下側：鋼製笠木）	既設躯体の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
		塩ビ鋼板　70×40×10　裏打ちシーリング共（水下側：アルミ笠木W300）【新設】
	内樋：耐候製鋼板t0.4　W300×H300	内樋：既設耐候製鋼板の上、絶縁シートt1.0+塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）【新設】
	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4	樋落し口：防水モルタルの上、耐候性鋼板t0.4【新設】

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-111
					図面名称 【改修後】防水改修図４（屋根伏図） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

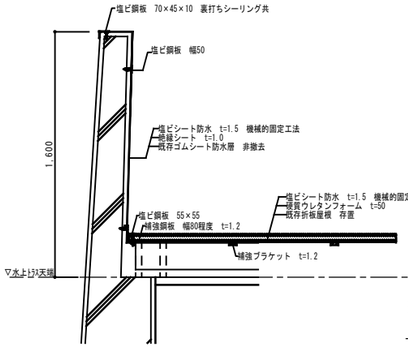
【現況】



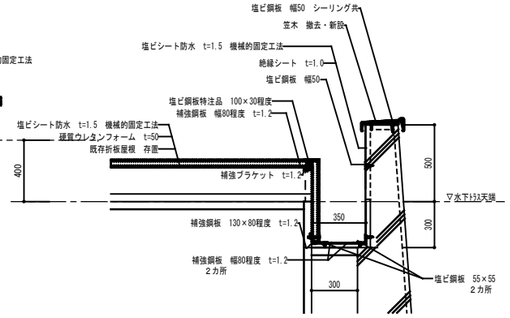
【現況】水上断面　1/20

【現況】水下断面　1/20

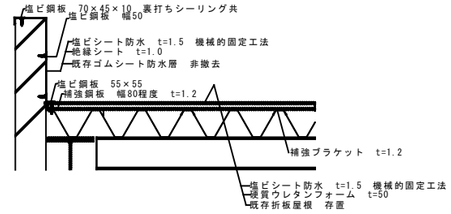
【改修後】



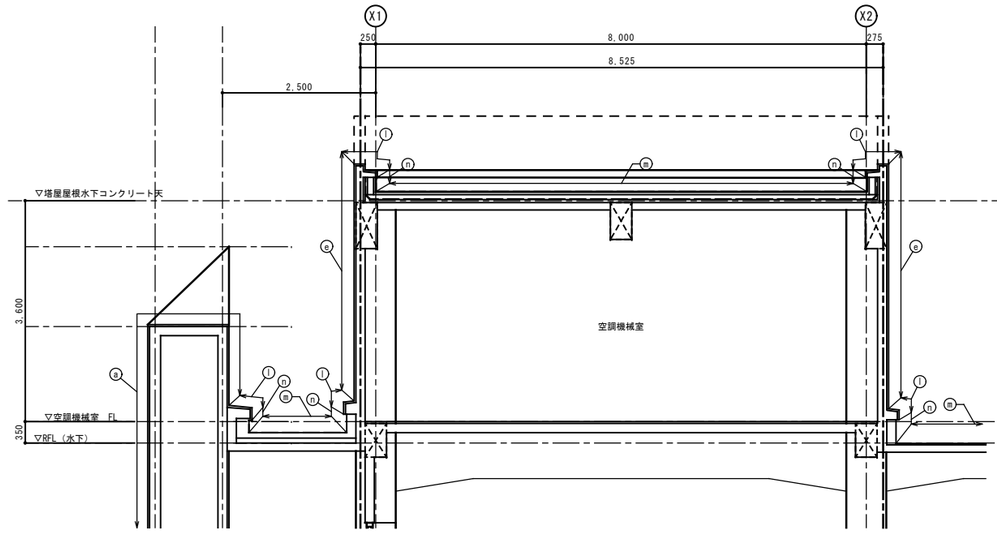
【改修後】水上断面　1/20



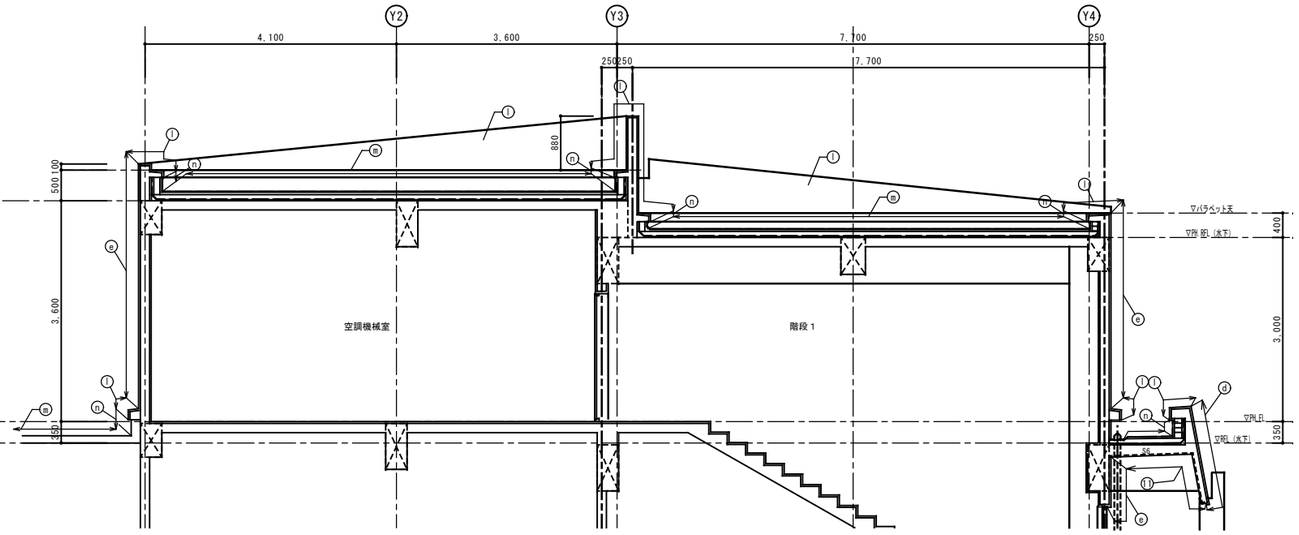
【改修後】水下断面　1/20



【改修後】Y通り側　立上り断面　1/20



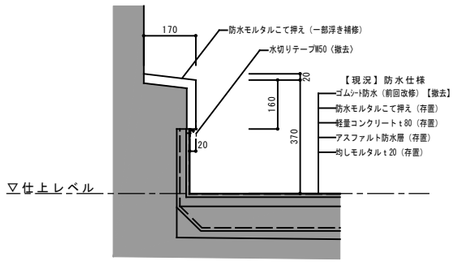
断面２　1/50



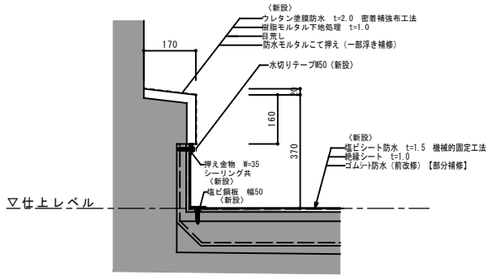
断面１　1/50

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和**年　**月	A-112
					図面名称 【現況】【改修後】防水改修図５（断面詳細図）　縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 ― ―		

D2 屋上塔屋防水立ち上がり部　詳細図　1/10

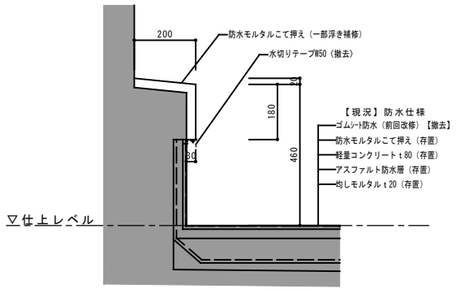


【現況】[断面図]　1/10

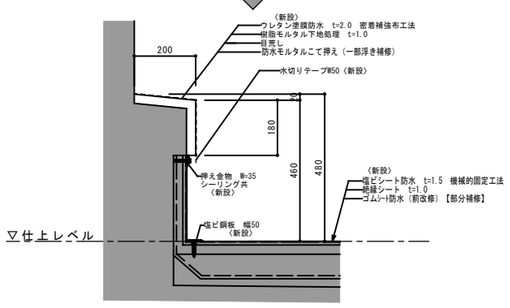


【改修後】[断面図]　1/10

D3 屋上議場塔屋防水立ち上がり部　詳細図　1/10

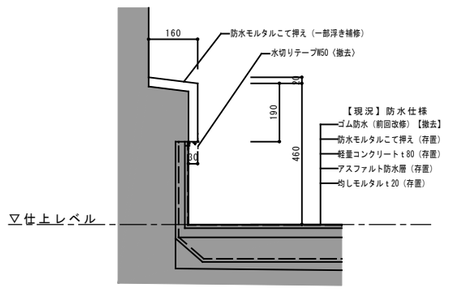


【現況】[断面図]　1/10

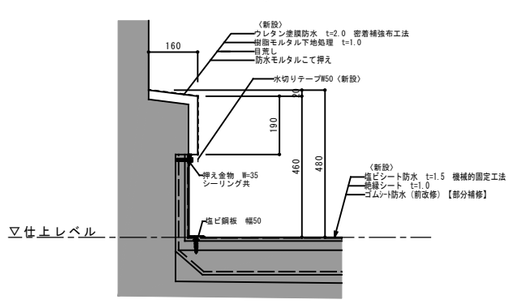


【改修後】[断面図]　1/10

D4 屋上ＤＳ防水立ち上がり部　詳細図　1/10

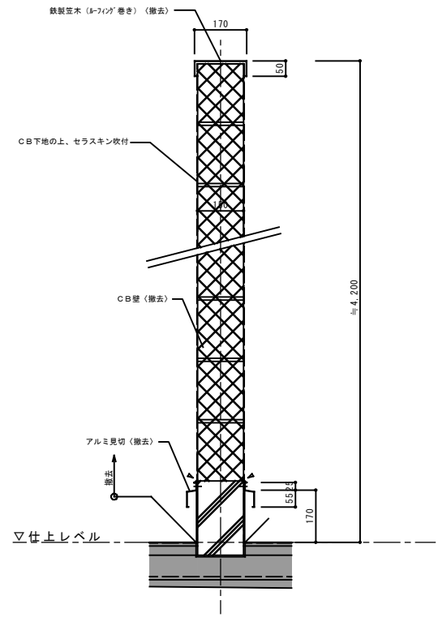


【現況】[断面図]　1/10

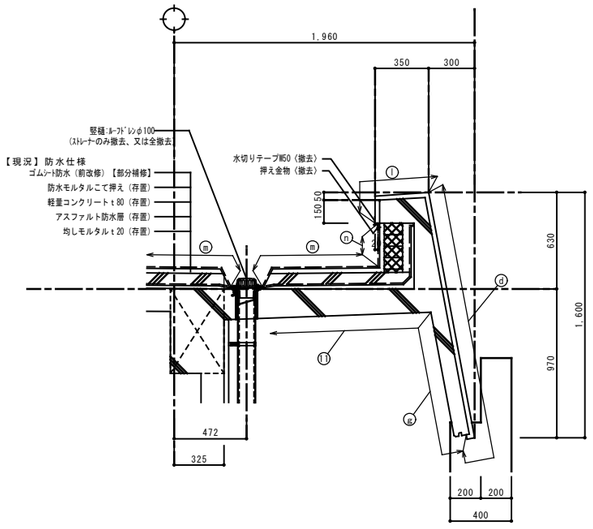


【改修後】[断面図]　1/10

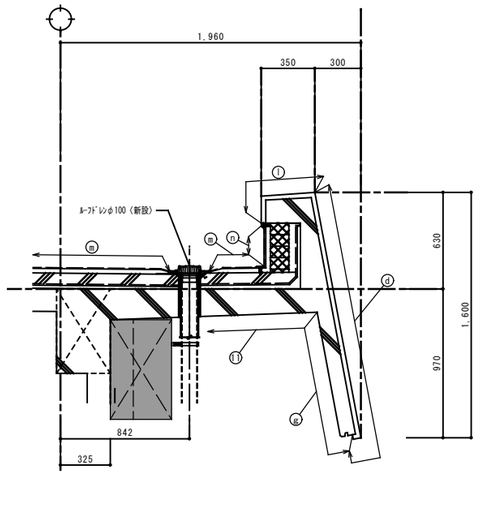
D5 ＲＣ塀　詳細図【全撤去】　1/10



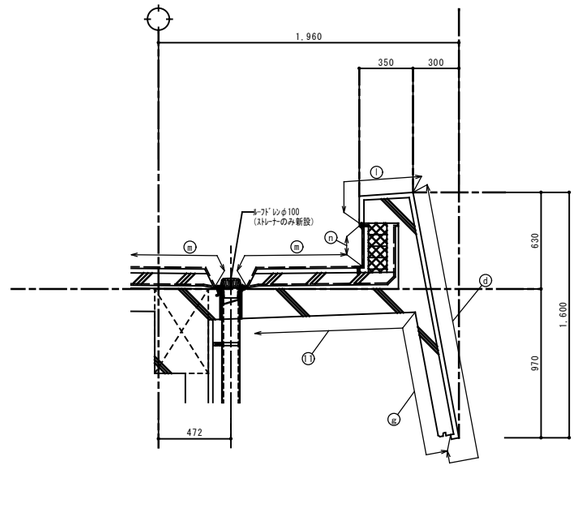
D1 屋上外周パラペット　詳細図　1/10.1/20



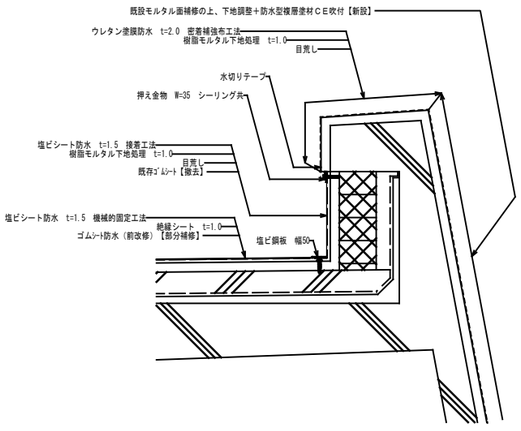
【現況】[断面図]　1/20



【改修後】[耐震補強部　断面図]　1/20



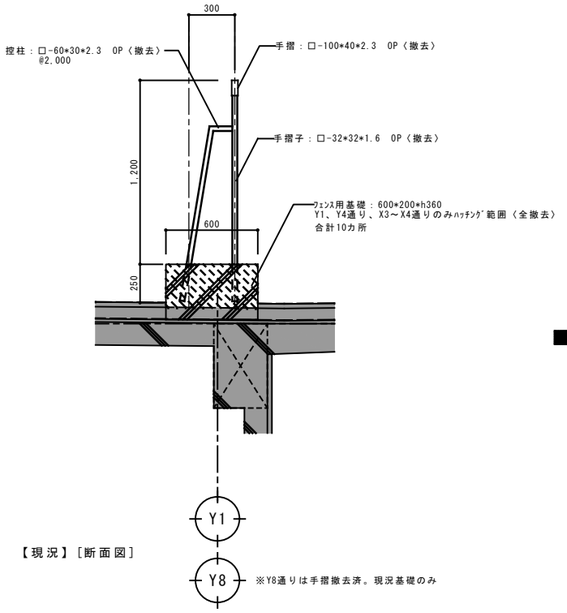
【改修後】[断面図]　1/20



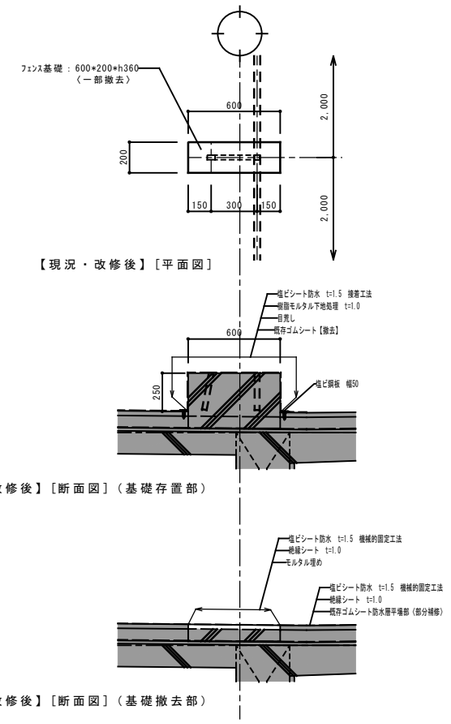
【改修後】[断面詳細図]　1/10

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-113
					図面名称 【現況・改修後】防水改修図６（Ｒ階部分詳細１）　縮尺 1/10,1/20(A1) 1/20,1/40(A3)	整理番号 — —		

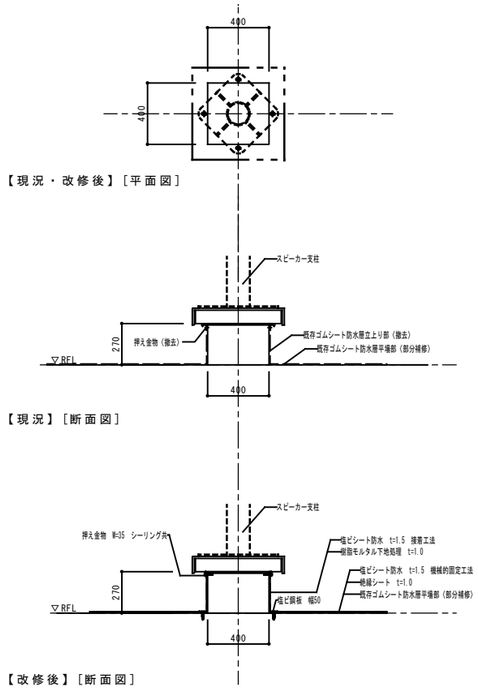
D6 屋上手摺・手摺基礎　詳細図　1/20



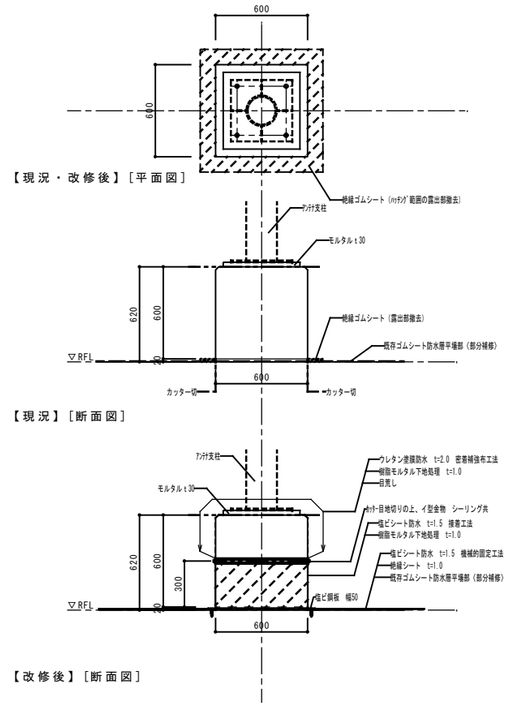
【現況】［断面図］



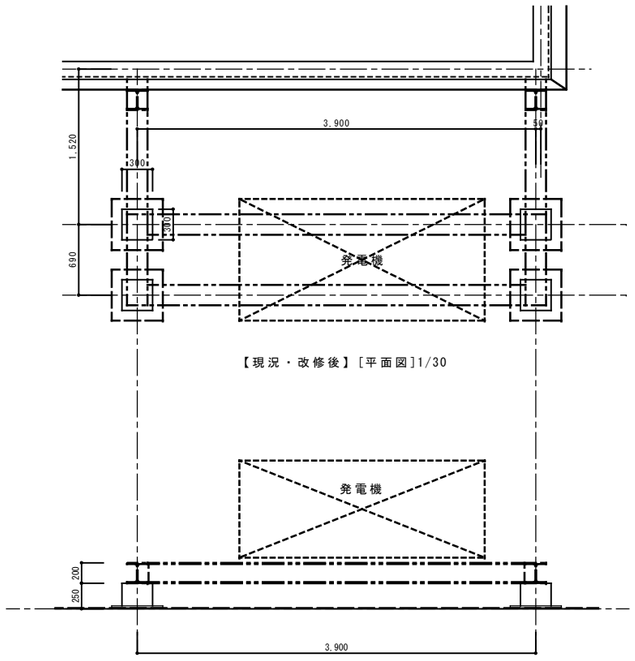
D7 スピーカー基礎　詳細図　1/20

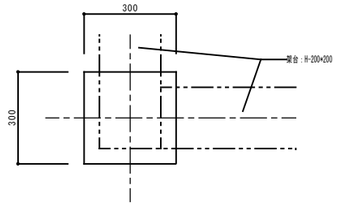


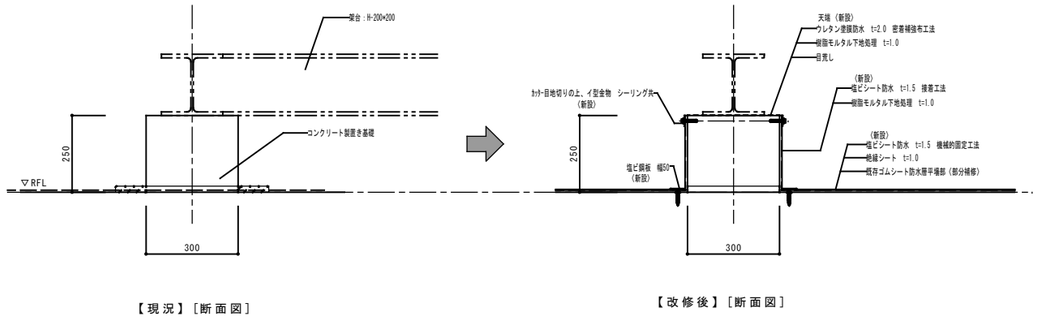
D8 アンテナ基礎　詳細図　1/20



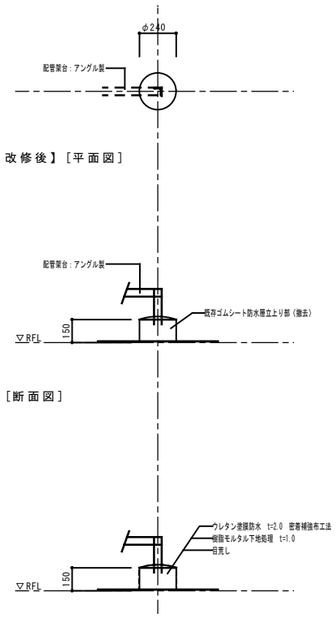
D9 既設発電機基礎　詳細図　1/10, 1/30





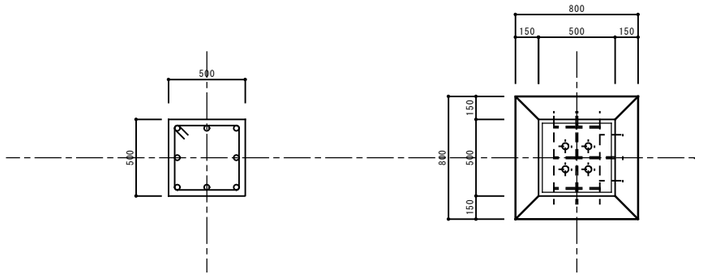


D10 設備配管基礎　詳細図　1/20



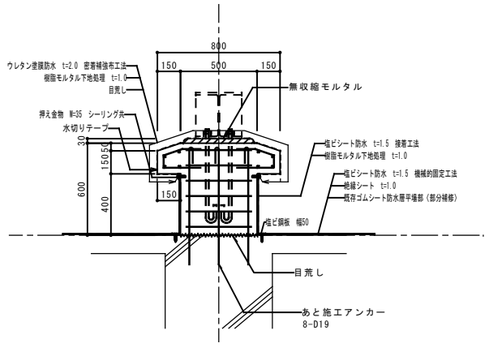
代表者	照査	担当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計書号	設計年月日	図面番号
				図面名称	【現況・改修後】防水改修図７（R階部分詳細２） 縮尺 1/20,1/30(A1) 1/40,1/60(A3)	―	令和**年　**月	A-114
						整理番号	― ―	

D12 新設柱型（PD1）詳細図（新設）　1/20



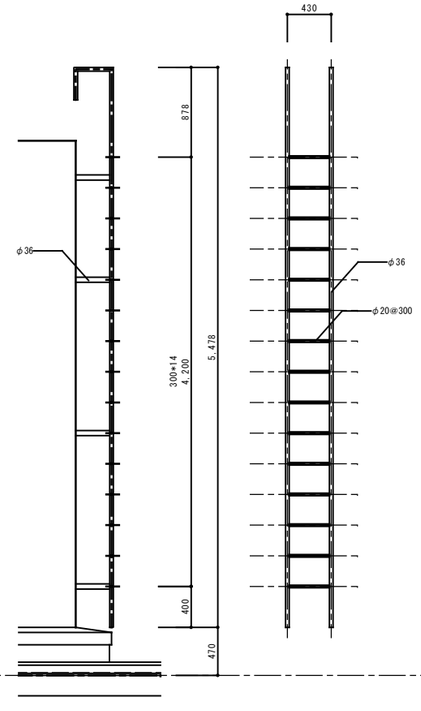
柱部分　1/20

上部分　1/20



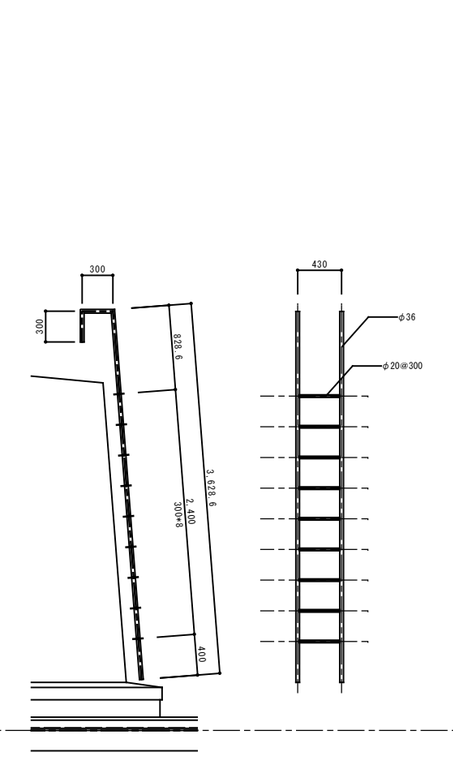
断面図　1/20

D11 タラップ　詳細図　1/20



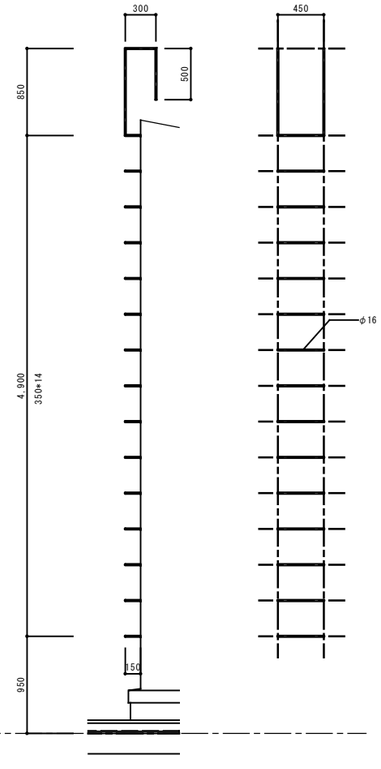
タラップ３詳細　1/30

※撤去の上、同等品新設



タラップ１詳細　1/30

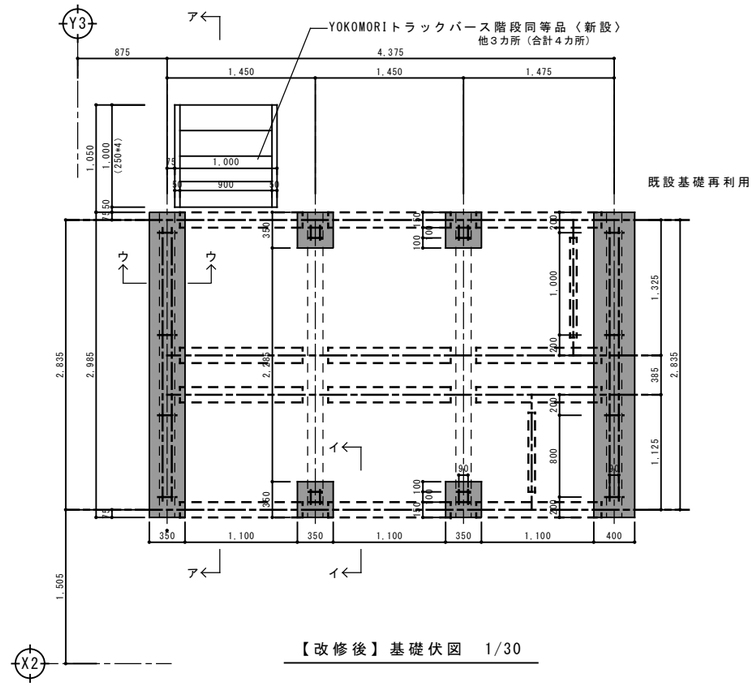
※撤去の上、同等品新設



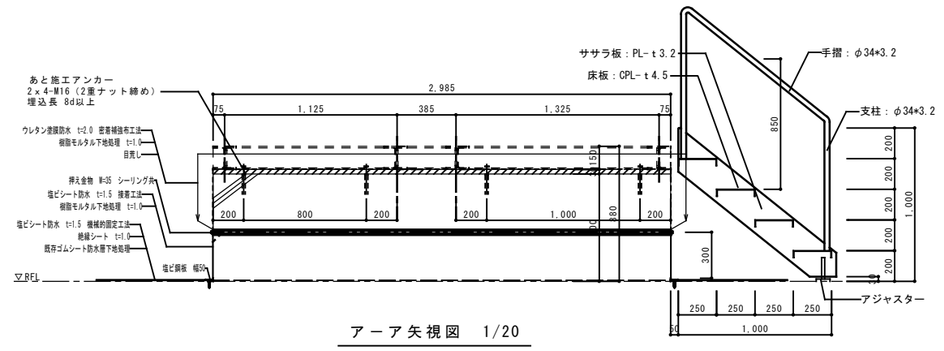
タラップ２詳細　1/30

※既設再塗装

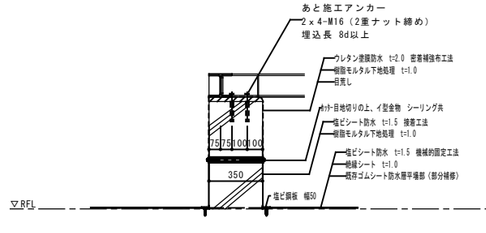
D13 【改修後】自家発電機基礎（既設）詳細図　1/20,1/30



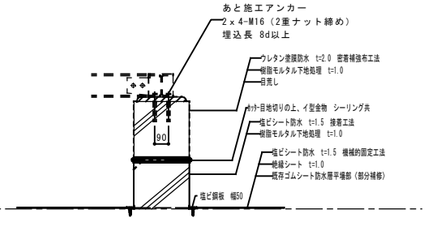
【改修後】基礎伏図　1/30



アーア矢視図　1/20



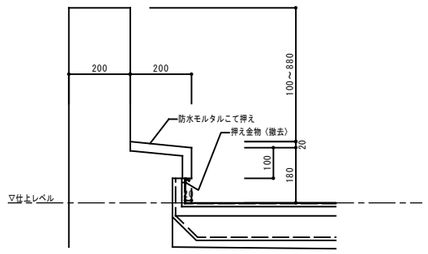
イーイ矢視図　1/20



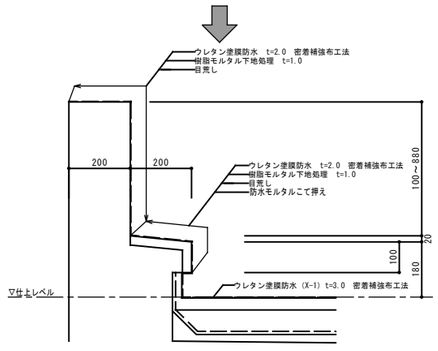
ウーウ矢視図　1/20

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-115
					図面名称 【現況】【改修後】防水改修図８（R階部分詳細3）　縮尺 1/20,1/30(A1) 1/40,1/60(A3)	整理番号 — —		

D15 塔屋防水立ち上がり部 詳細図 1/10

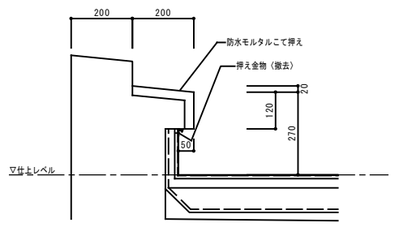


【現況】[断面図] 1/10

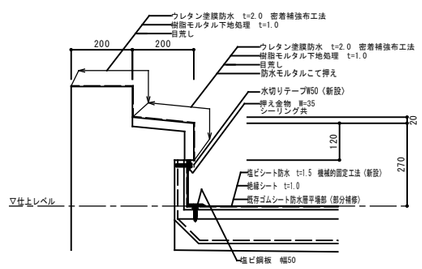


【改修後】[断面図] 1/10

D16 塔屋防水立ち上がり部 詳細図 1/10

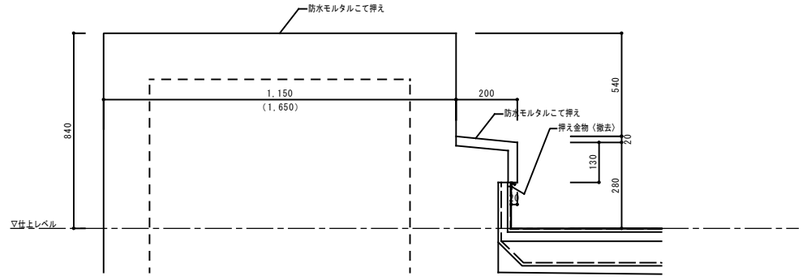


【現況】[断面図] 1/10

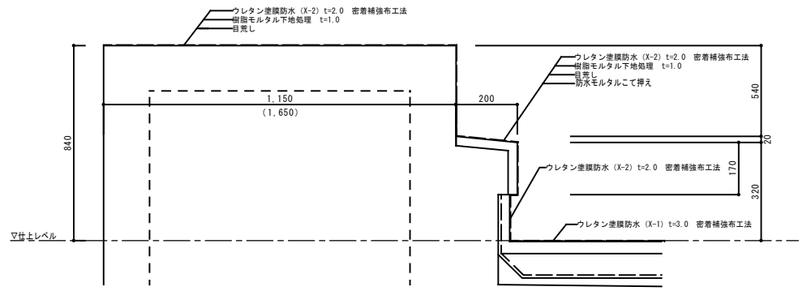


【改修後】[断面図] 1/10

D17 ハト小屋 詳細図 1/20

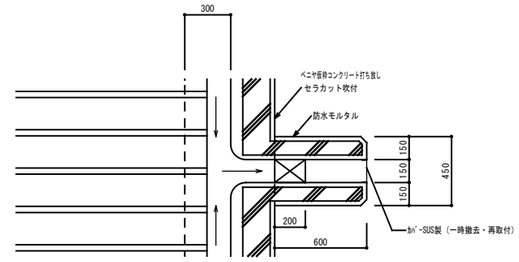


【現況】[断面図] 1/10

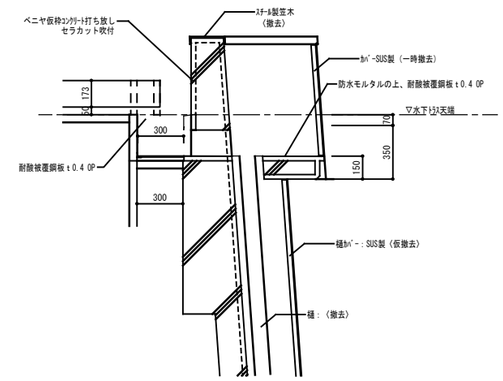


【改修後】[断面図] 1/10

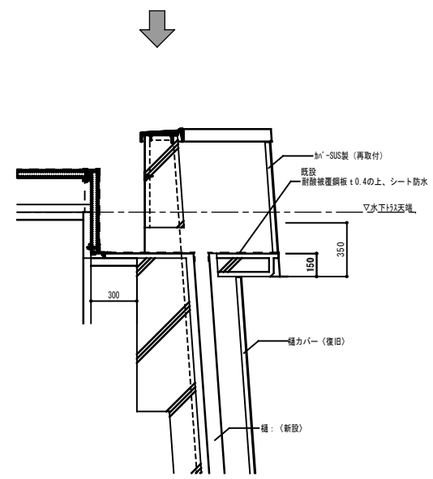
D18 樋落口 詳細図 1/20,1/60



樋落口平面詳細図

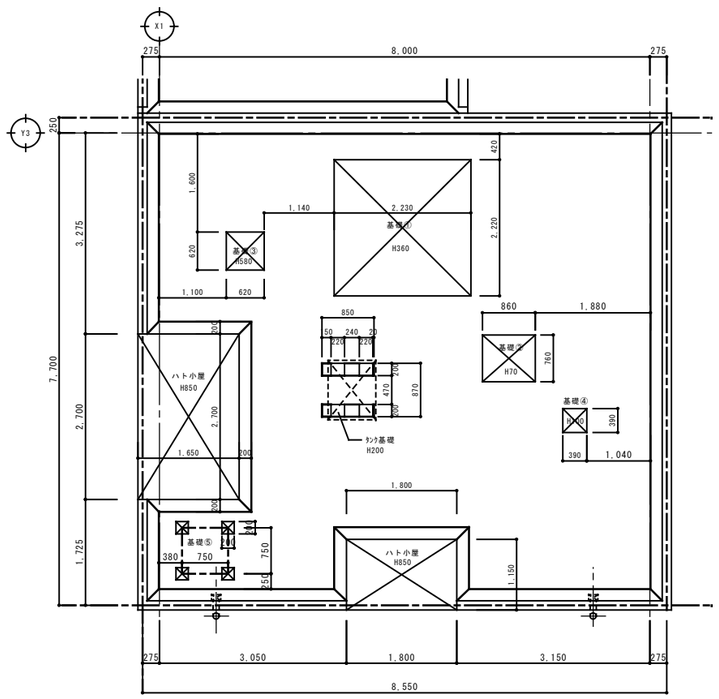


【現況】水下断面 1/20



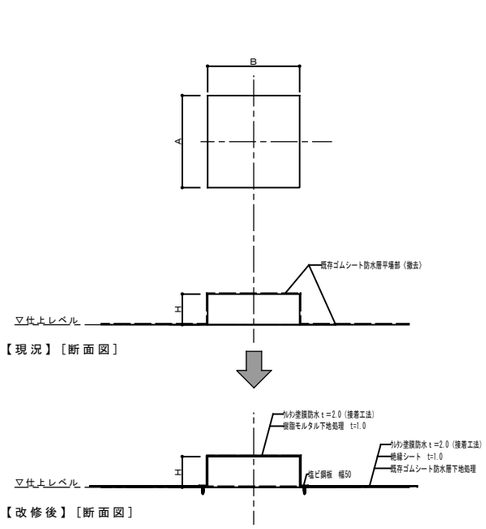
【改修後】水下断面 1/20

D14 塔屋屋上 各基礎 詳細図 1/20,1/60

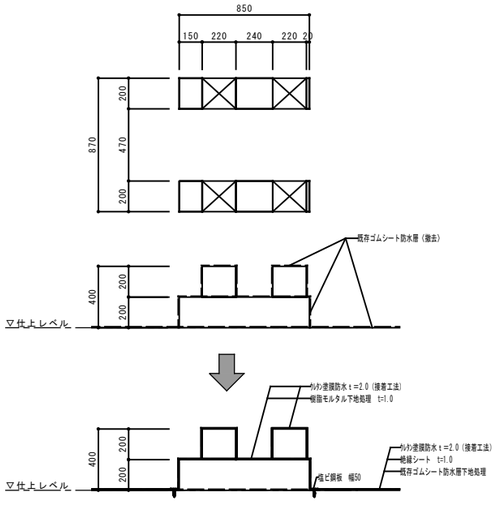


基礎 配置図 1/50

PHR階 基礎リスト			
基礎番号	A	B	H
①	2,230	2,220	360
②	860	760	1,000
③	620	620	580
④	390	390	100
⑤×4	200	200	70



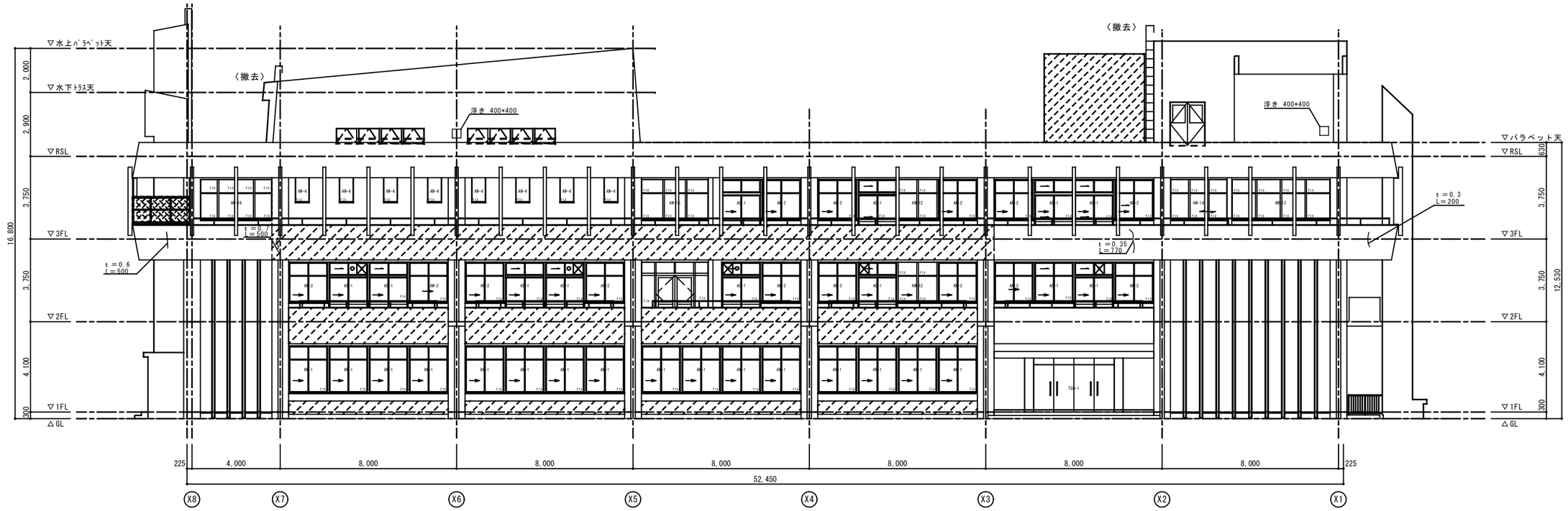
基礎①～⑤ 詳細図 1/20



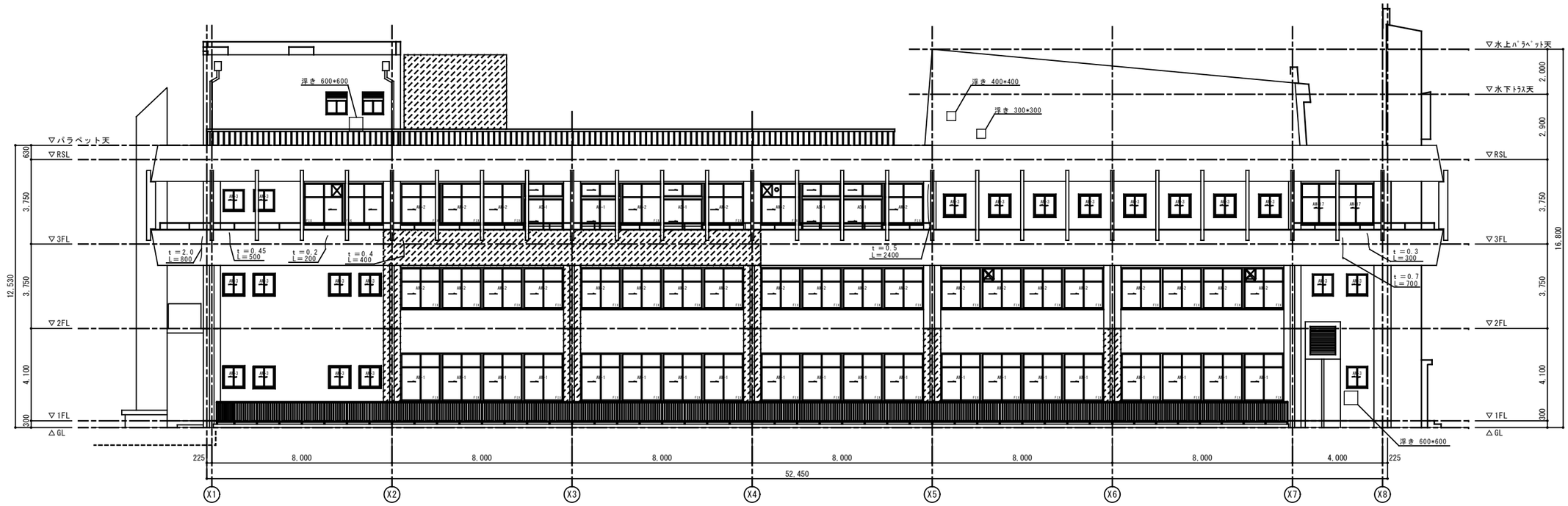
タンク基礎 詳細図 1/20

代表者	照査	担当	

工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事		設計番号 —	設計年月日 令和**年 **月
図面名称 【現況】【改修後】防水改修図 9（PHR階部分詳細）	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —	図面番号 A-116



【現況】北側立面図

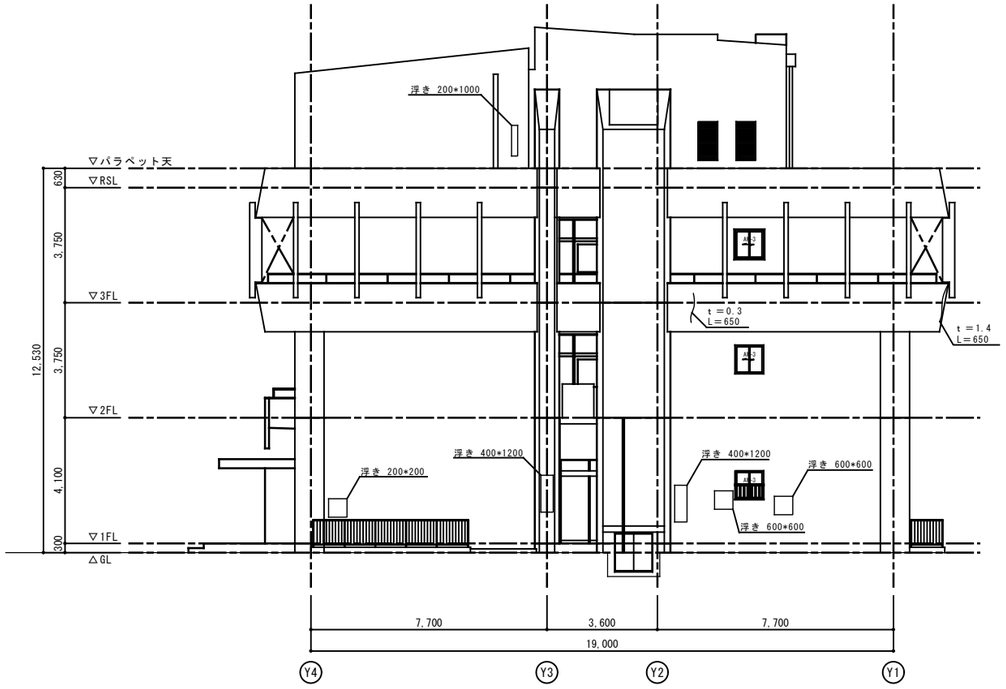


【現況】南側立面図

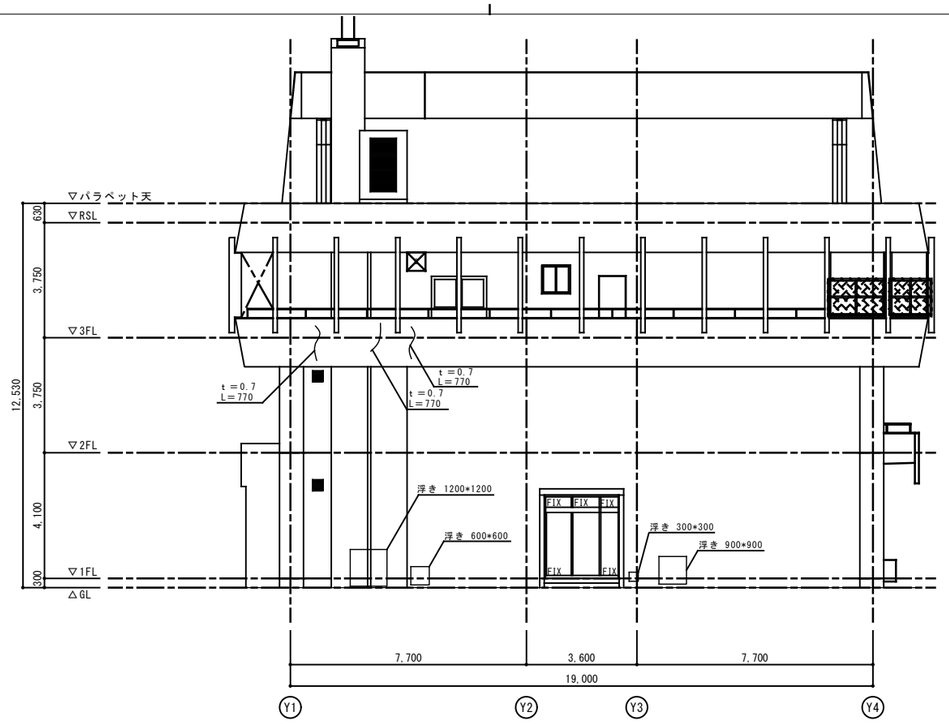
モルタル	クラック	t＝0.2	t＝0.3	t＝0.35	t＝0.4	t＝0.5	t＝0.6	t＝0.7	t＝0.8	t＝1.0	t＝1.4
		計 1m	計 1.15m	計 0.77m	計 0.4m	計 38.4m	計 0.5m	計 3.51m	計 7m	計 3.5m	計 0.65m
モルタル	浮き	計2.49㎡									
タイル	浮き	計5.01㎡									

代表者	照査	担当		

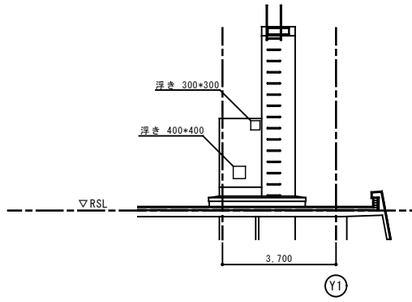
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-117
図面名称 【現況】劣化補修１（立面図１） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	—	—
* * *			



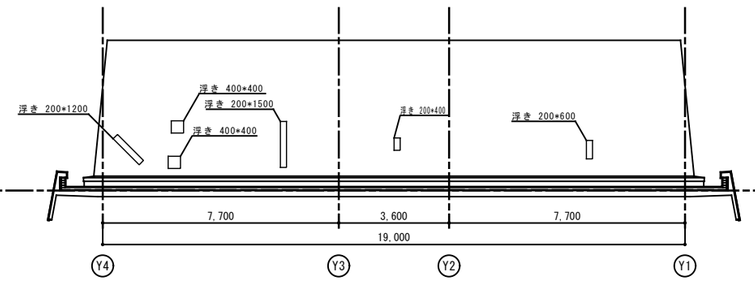
【現況】西側立面図



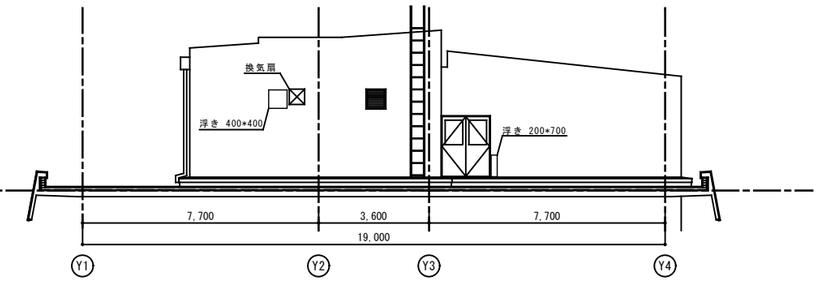
【現況】東側立面図



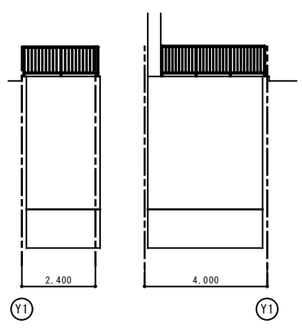
【現況】R階　西側立面図（DS面）



【現況】R階　西側立面図（議場面）

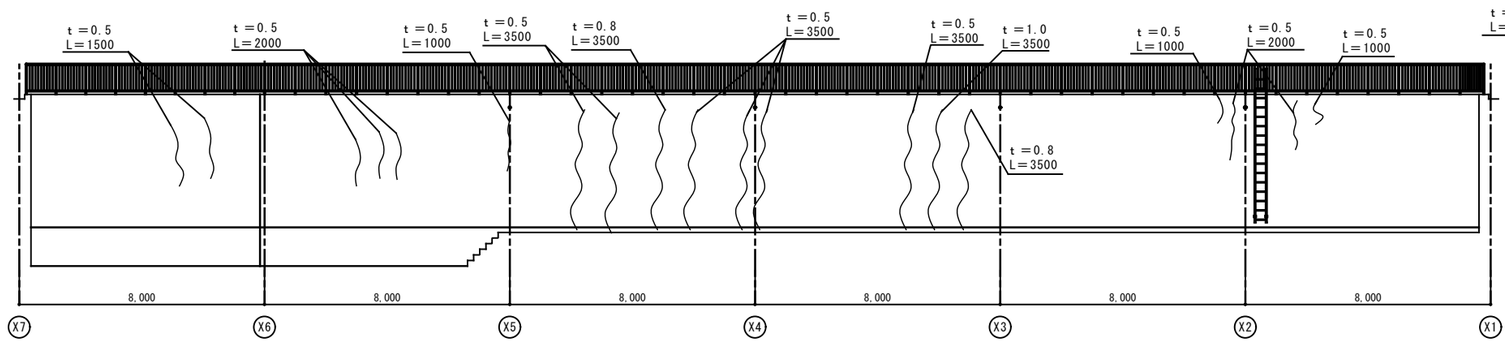


【現況】R階　西側立面図（機械室西面）

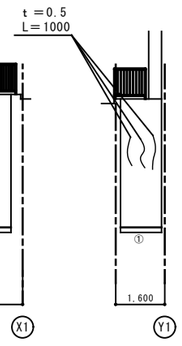


③面　立面図

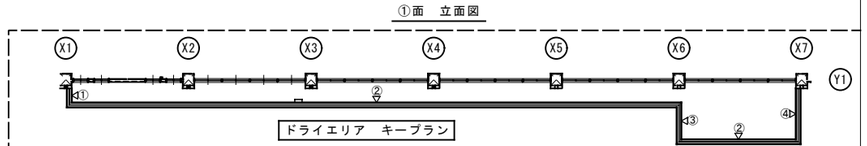
④面　立面図



【現況】ドライエリア立面図 北面

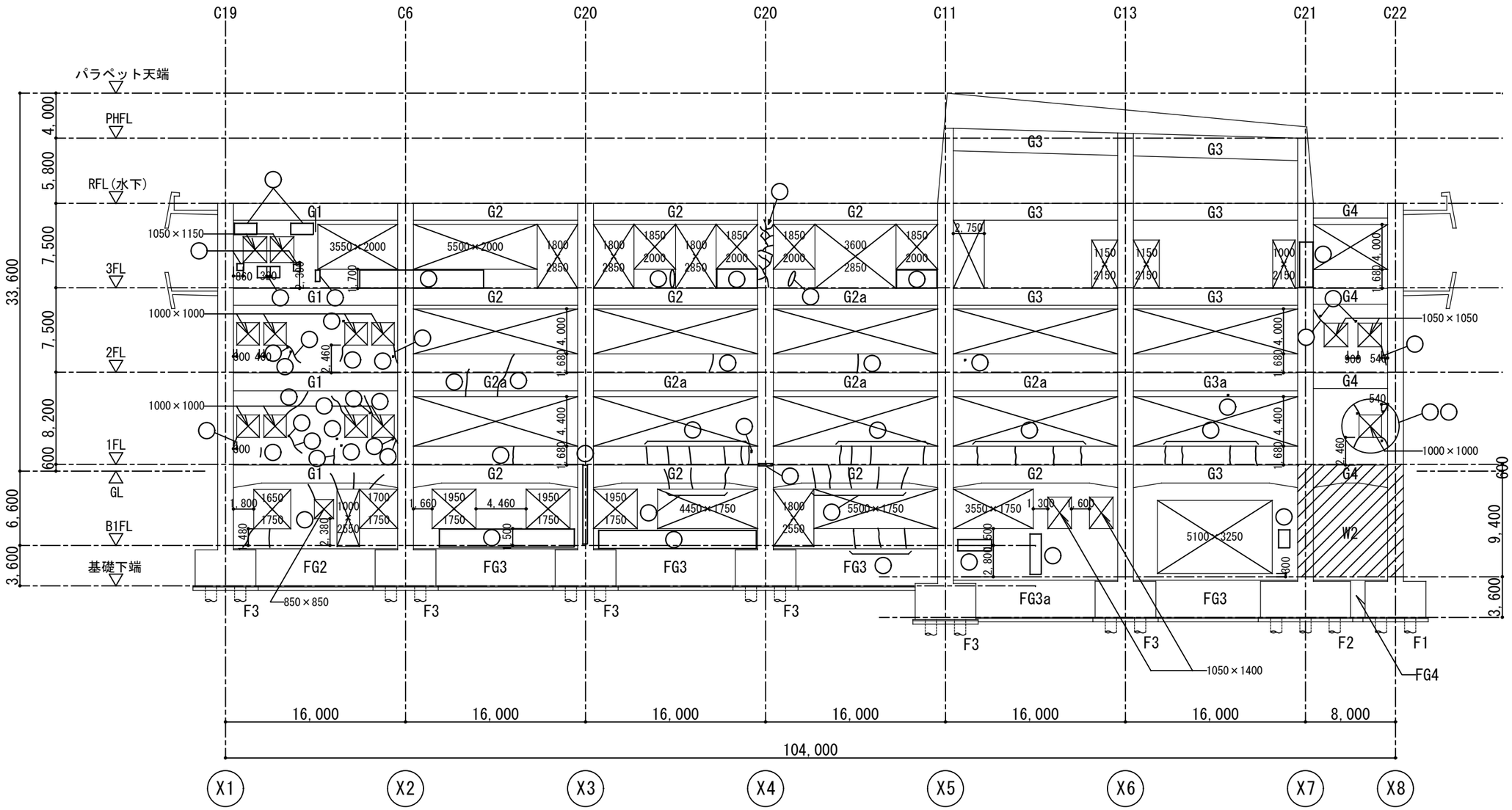


①面　立面図



ドライエリア　キープラン

代表者	照　査	担　当		工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
						—	令和**年　**月
				図面名称	【現況】劣化補修２（立面図２） 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	図面番号
						— —	A-118



Y1通　軸組図　S=1/200

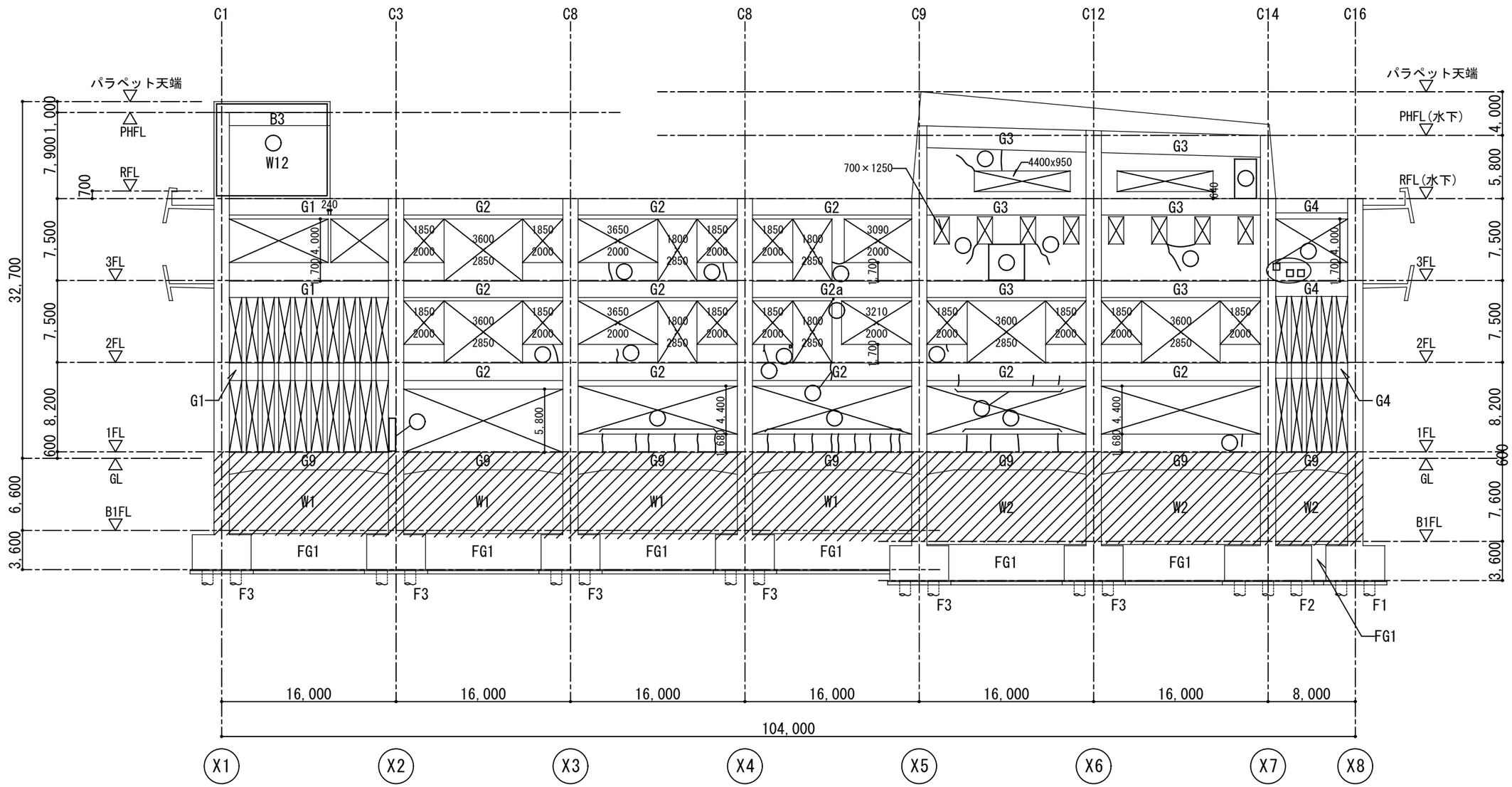
*南面外壁の損傷･劣化を示す。

凡例

- ：目視不能範囲
- ：ひび割れ
- ：その他損傷･劣化
- ：損傷･劣化の位置を示す

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修３（軸組図１） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-119
							整理番号	—	—



Y4通　軸組図　S=1/200

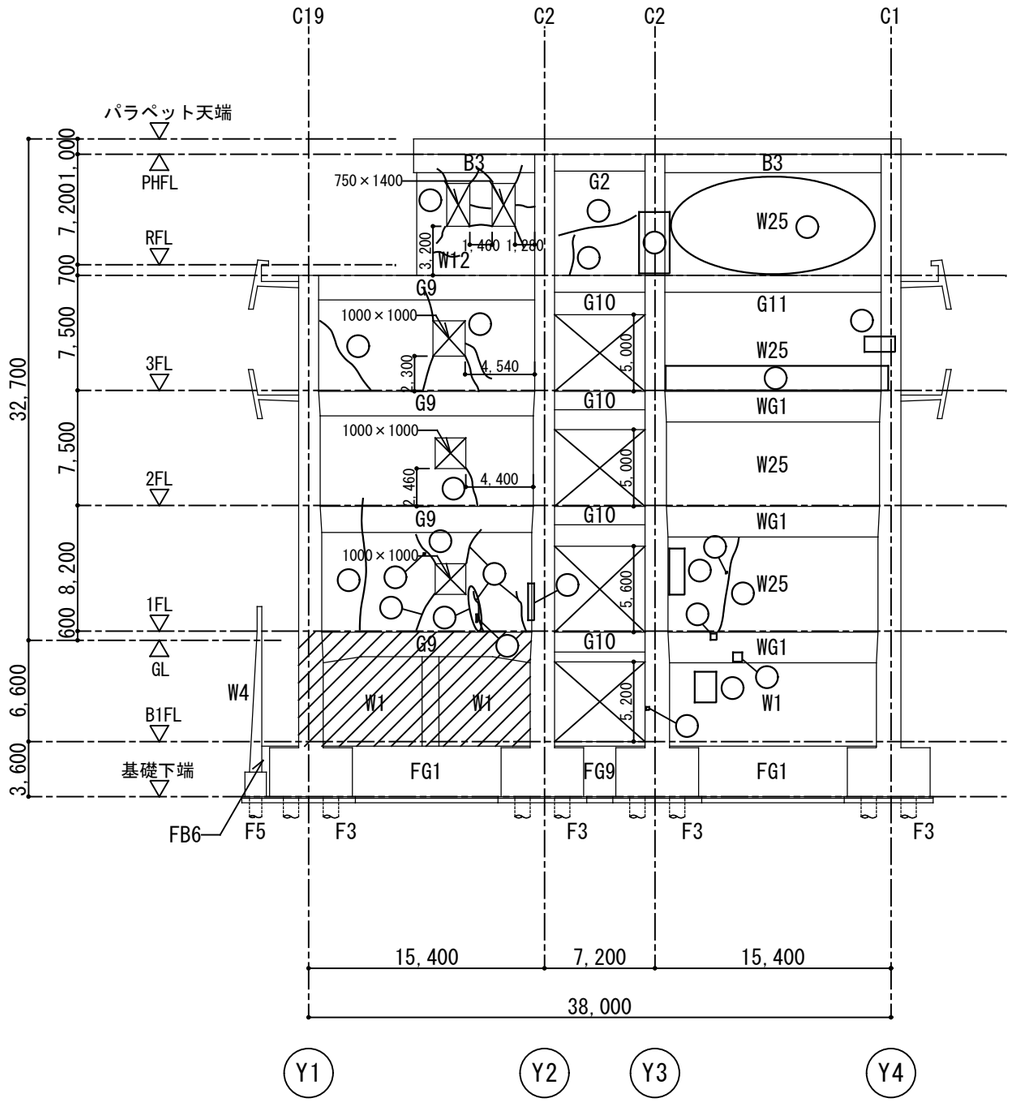
*北面外壁の損傷･劣化を示す。

凡例

- ：目視不能範囲
- ：ひび割れ
- ：その他損傷･劣化
- ：損傷･劣化の位置を示す

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修４（軸組図２） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-120
							整理番号	— —	



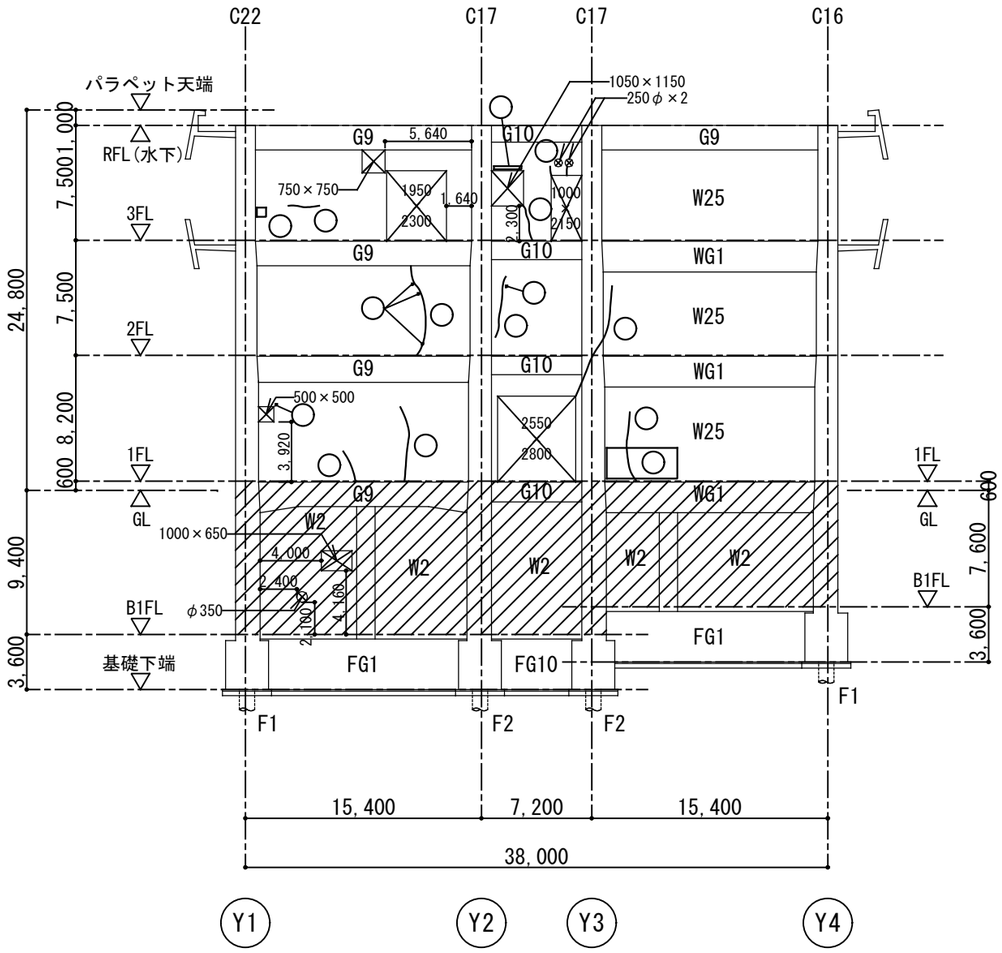
X1通　軸組図　S=1/200

*西面外壁の損傷･劣化を示す。

凡例
- ：目視不能範囲
- ：ひび割れ
- ：その他損傷･劣化
- ：損傷･劣化の位置を示す

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修５（軸組図３） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-121
							整理番号	—	—



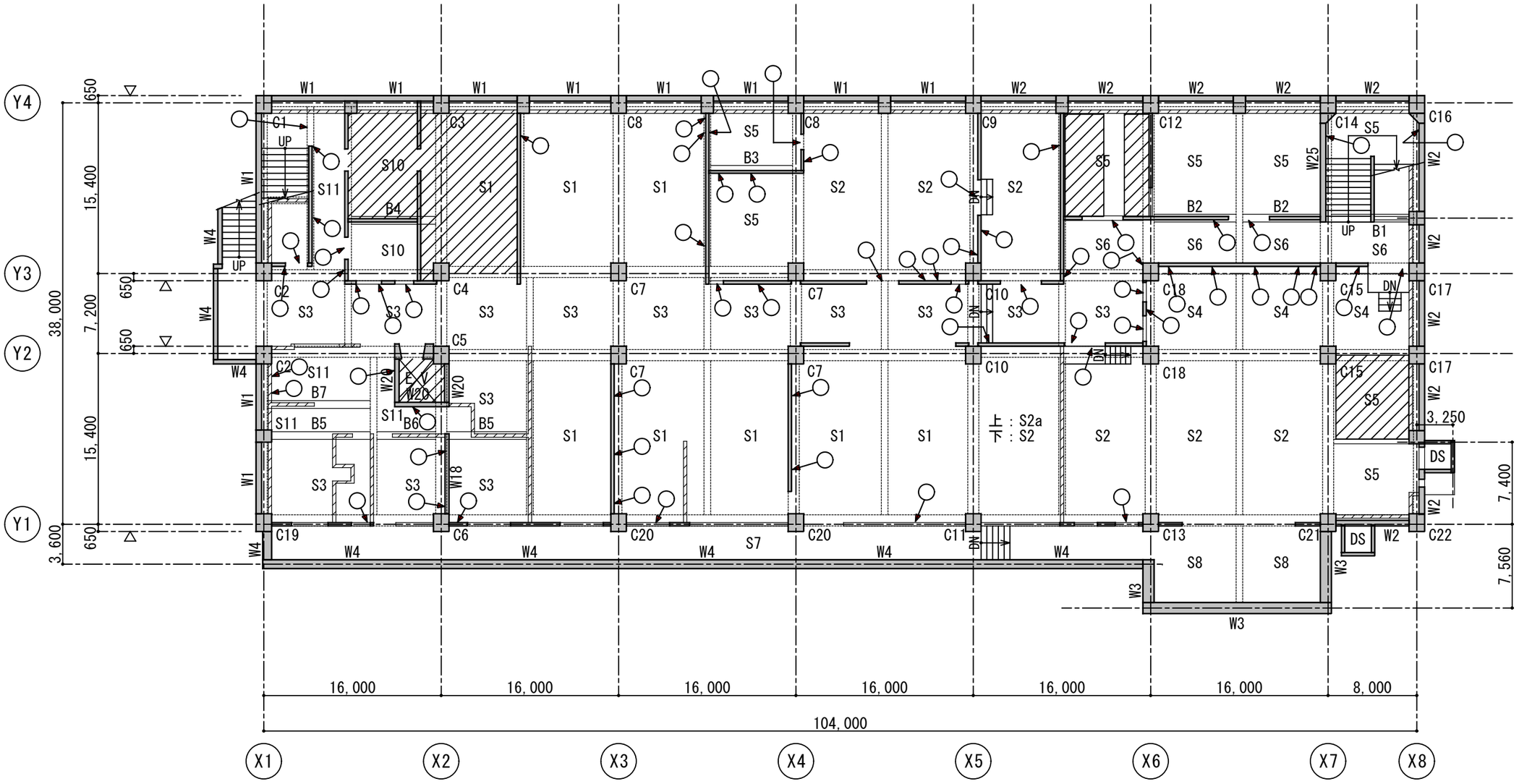
X8通　軸組図　S=1/200

*東面外壁の損傷･劣化を示す。

凡例
- ：目視不能範囲
- ：ひび割れ
- ：その他損傷･劣化
- ：損傷･劣化の位置を示す

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修６（軸組図４） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-122
							整理番号 — —		



B1階柱壁B1階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

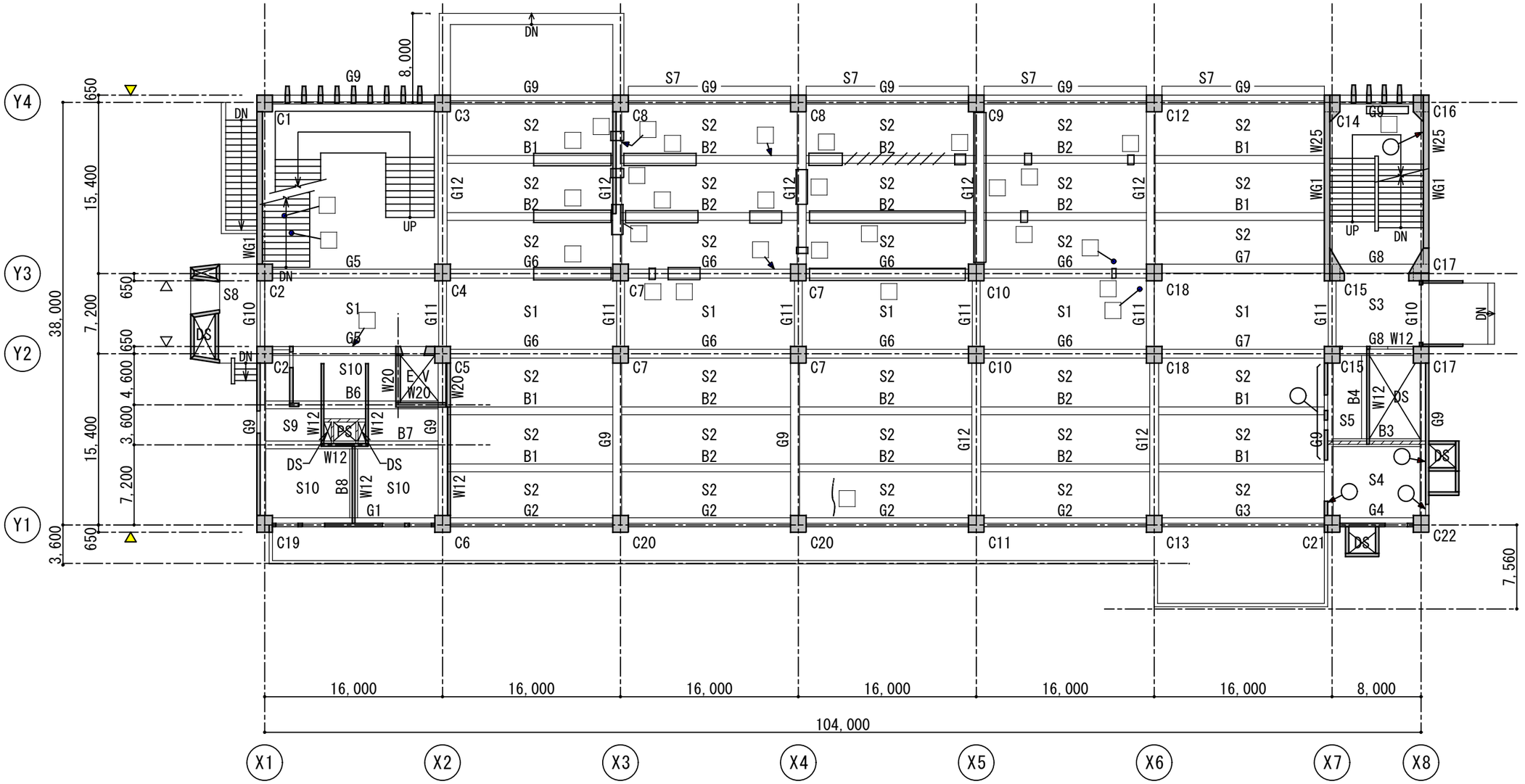
凡例

：目視不能範囲

：※B1階柱･壁の損傷･劣化の位置を示す。

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事及び基本・詳細設計	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修７（伏図１） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-123
							整理番号	— —	



1階柱壁1階床梁伏図　S=1/200

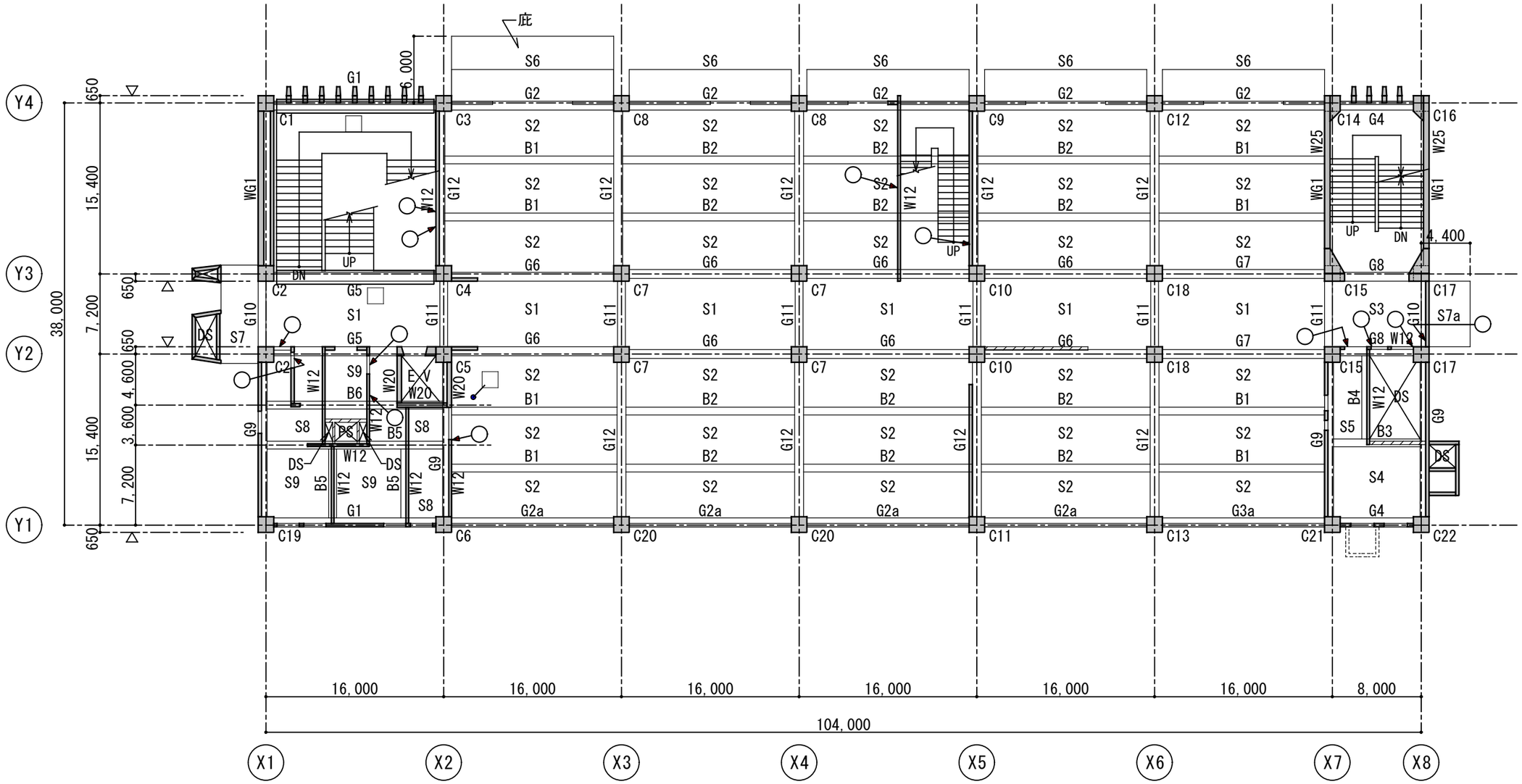
※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

凡例

- ：目視不能範囲
- ：1階床下面のひび割れ
- ：1階柱・壁の損傷･劣化位置を示す。
- ：1階床・梁の損傷･劣化位置を示す。

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事 及び基本・詳細設計	—	令和7年1月30日	A-124
					図面名称 【現況】劣化補修８（伏図２） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		



2階柱壁2階床梁伏図　S=1/200

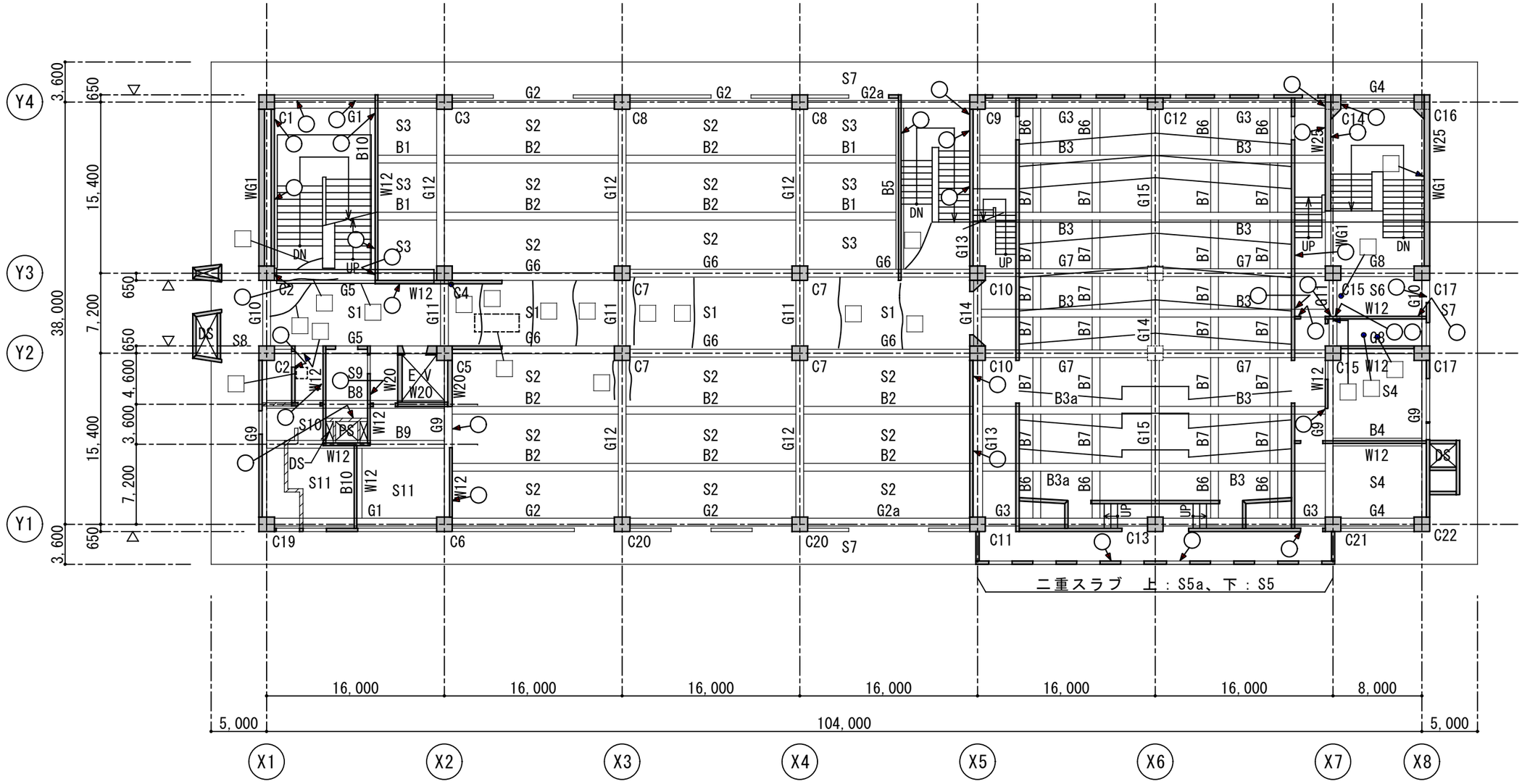
※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

凡例

- ▨ ：目視不能範囲
- ～ ：2階床下面のひび割れ
- ○ ：2階柱・壁の損傷･劣化位置を示す。
- □ ：2階床・梁の損傷･劣化位置を示す。

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修９（伏図３） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-125
							整理番号	— —	



3階柱壁3階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

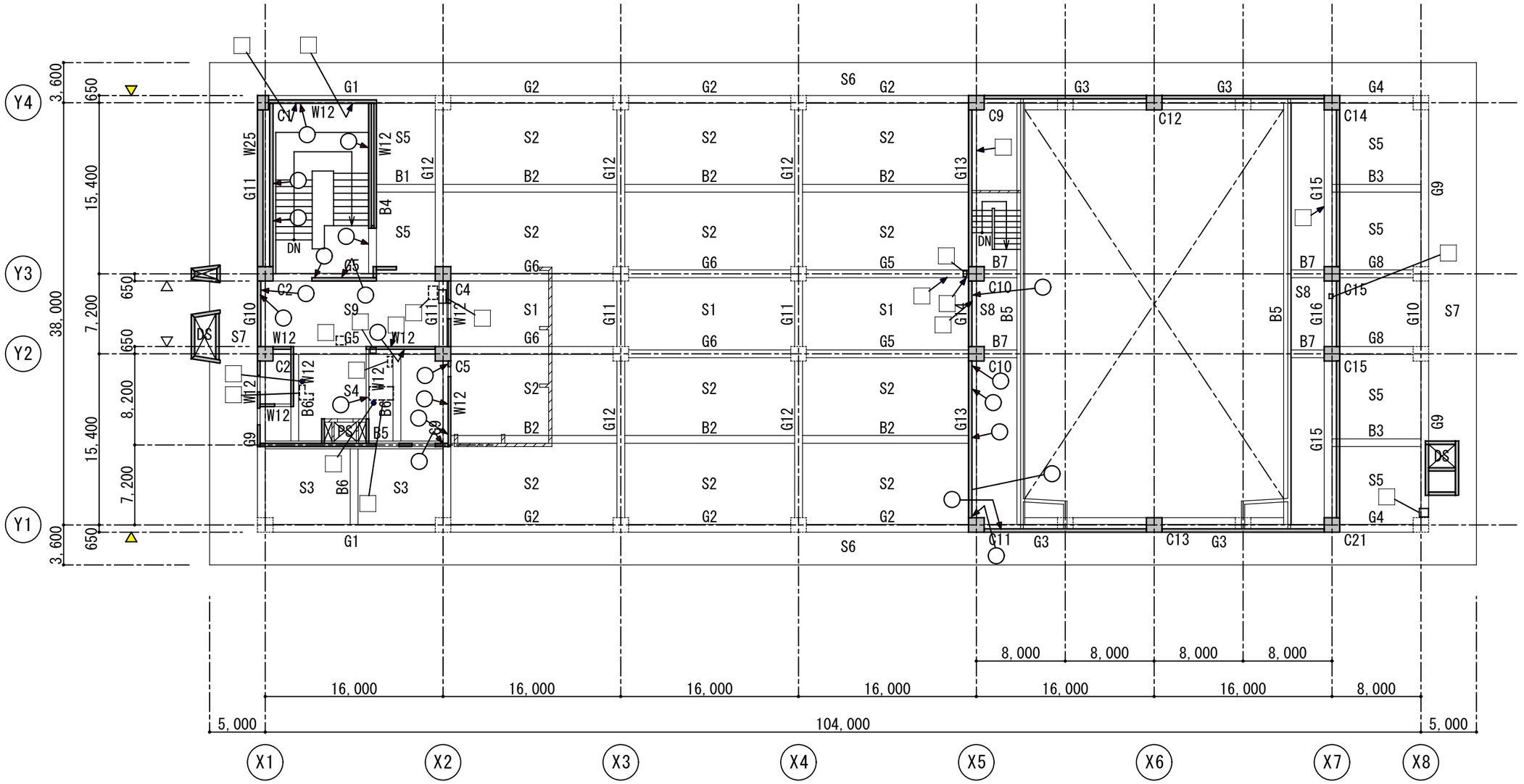
凡例

- ：目視不能範囲
- ：3階床下面のひび割れ
- ：3階床上面のひび割れ
- ：3階柱・壁の損傷･劣化位置を示す。
- ：3階床・梁の損傷･劣化位置を示す。

※破線は床下面の損傷･劣化状況を示す。

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修10（伏図４） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	—	令和7年1月30日	A-126
							整理番号 — —		



R階柱壁R階床梁伏図　S=1/200

凡例

▨ ：目視不能範囲

○ ：R階柱・壁の損傷･劣化位置を示す。

□ ：R階床・梁の損傷･劣化位置を示す。

※破線は床下面の損傷･劣化状況を示す。

目視調査結果図

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	【現況】劣化補修11（伏図５） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号	令和7年1月30日	A-127

損傷･劣化状況 総合集計表

外部・内部			外部										内部									
調査範囲/損傷･劣化状況/仕上材			Y1通り(南面)		Y4通り(北面)		X1通り(西面)		X8通り(東面)		合計		B1階		1階		2階		3階		R階		合計	
タイル	ひび割れ	0.3㎜未満	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0.20 m	2 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.20 m	2 箇所
		0.3㎜以上	31.50 m	40 箇所	10.25 m	28 箇所	15.00 m	8 箇所	14.70 m	5 箇所	71.45 m	81 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		0 m2	0 箇所	0.01 m2	1 箇所	2.28 m2	7 箇所	2.39 m2	2 箇所	4.68 m	10 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		0.045 m2	17 箇所	0.003 m2	1 箇所	0.018 m2	3 箇所	0.013 m2	5 箇所	0.08 m	26 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
ペイント	ひび割れ	0.3㎜未満	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	36.80 m	44 箇所	76.60 m	65 箇所	3.70 m	3 箇所	9.35 m	7 箇所	2.20 m	2 箇所	128.65 m	121 箇所
		0.3㎜以上	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	36.90 m	36 箇所	23.10 m	17 箇所	0 m	0 箇所	11.40 m	8 箇所	0 m	0 箇所	71.40 m	61 箇所
	鉄筋露出		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	12.71 m2	3 箇所	0.60 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	13.31 m	4 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0.24 m2	1 箇所	2.70 m2	3 箇所	0 m2	0 箇所	3.50 m2	4 箇所	0 m2	0 箇所	6.44 m	8 箇所
	塗膜劣化		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	11.55 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	11.55 m	1 箇所
	欠損		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
吹付タイル	ひび割れ	0.3㎜未満	0 m	0 箇所	0.60 m	1 箇所	9.00 m	5 箇所	1.50 m	1 箇所	11.10 m	7 箇所	4.20 m	3 箇所	0 m	0 箇所	2.80 m	5 箇所	0.80 m	2 箇所	1.20 m	1 箇所	9.00 m	11 箇所
		0.3㎜以上	19.70 m	28 箇所	7.25 m	7 箇所	40.50 m	32 箇所	0.60 m	2 箇所	68.05 m	69 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	20.35 m	19 箇所	29.72 m	22 箇所	17.10 m	12 箇所	67.17 m	53 箇所
	鉄筋露出		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		21.69 m2	18 箇所	5.51 m2	5 箇所	8.50 m2	3 箇所	0.09 m2	1 箇所	35.79 m	27 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	6.00 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	6.00 m	1 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		0 m2	0 箇所	0.45 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.45 m	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	6.64 m2	2 箇所	2.58 m2	4 箇所	9.22 m	6 箇所
	塗膜劣化		0 m2	0 箇所	18.45 m2	2 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	18.45 m	2 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
モルタル	ひび割れ	0.3㎜未満	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所
		0.3㎜以上	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	鉄筋露出		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	17.61 m2	2 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	17.61 m	2 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	8.00 m2	1 箇所	0.30 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	8.30 m	2 箇所
	塗膜劣化		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
打放し	ひび割れ	0.3㎜未満	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	2.90 m	3 箇所	1.40 m	2 箇所	0 m	0 箇所	0.60 m	2 箇所	4.80 m	4 箇所	9.70 m	11 箇所
		0.3㎜以上	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所	16.80 m	10 箇所	1.20 m	1 箇所	0 m	0 箇所	1.90 m	3 箇所	11.80 m	9 箇所	31.70 m	23 箇所
	鉄筋露出		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0.01 m2	1 箇所	0.08 m2	4 箇所	0 m2	0 箇所	0.82 m2	5 箇所	1.56 m2	21 箇所	2.46 m	31 箇所
	浮き		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m2	0 箇所	0.49 m2	1 箇所	0.25 m2	1 箇所	1.37 m2	4 箇所	2.11 m	6 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		0.70 m2	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.70 m	1 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	1.74 m2	3 箇所	1.74 m	3 箇所
	塗膜劣化		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.30 m2	2 箇所	0.06 m2	2 箇所	0.32 m2	2 箇所	0.68 m	6 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	1.72 m2	2 箇所	0.38 m2	4 箇所	2.10 m	6 箇所
クロス	ひび割れ	0.3㎜未満	m	箇所	m	箇所	m	箇所	m	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.70 m	2 箇所	7.40 m	7 箇所	0 m	0 箇所	8.10 m	9 箇所
		0.3㎜以上	m	箇所	m	箇所	m	箇所	m	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	2.55 m	2 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	2.55 m	2 箇所
	鉄筋露出		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	塗膜劣化		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
Pタイル	ひび割れ	0.3㎜未満	m	箇所	m	箇所	m	箇所	m	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	32.30 m	13 箇所	0 m	0 箇所	32.30 m	13 箇所
		0.3㎜以上	m	箇所	m	箇所	m	箇所	m	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0 m	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	鉄筋露出		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	浮き		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	漏水跡･ｴﾌﾛﾚｯｾﾝｽ		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	塗膜劣化		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	欠損		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所
	ｼﾞｬﾝｶ		m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	m2	箇所	0.00 m	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0 m2	0 箇所	0.00 m	0 箇所

※補修部分の仕上は、周囲W100まで撤去すること。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-128
					図面名称 【現況】劣化状況 集計表 縮尺 NON(A1) NON(A3)	整理番号		
					* * *	—	—	

N

凡例

：改修対象建築物

駐車場

第２別館

別館庁舎

正面玄関

口庇

敷地境界線

水路に放流

歩道

道路境界線

宅内最終桝

既設

公共下水へ排水

道路中心線

車道（幅員＝5,160）

接道長 L=94,400

歩道（幅員＝2,160）

DN

UP

ATM

ゴミ庫

駐車場（１０台）

駐車場（７台）

駐輪場A

駐輪場B

車道

不陸部分（撤去）
300角t60擬石ﾌﾞﾛｯｸ＋
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ（t100：D10@200）

会所：A・B・C・B・A、排水管（撤去）

旧消防庁舎

ﾊｯﾁﾝｸﾞ範囲（一時撤去）
300角t50擬石ﾌﾞﾛｯｸ

HP100

HP150

HP200

花壇（撤去）

本館庁舎

路盤表層ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装（撤去）
（設備工事）

駐車場（６台）

□500 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋

□500 ｱﾙﾐﾃﾞｯｷ蓋

ﾋｭｰﾑ管

屋根（撤去）

駐車場

駐輪スペース

植栽

車道

歩道境界線

5,000

19,000

4,000

10,000

6,350

52,000

X1

X8

Y4

Y1

ﾎﾟｰﾁ床：御影石（一般、撤去）
ｽﾛｰﾌﾟ：擬製 L1500×H1000×t200【撤去】

L＝30*30*4　PCﾌﾞﾛｯｸ蓋+60　コンクリート製U字溝

ﾀﾃ，ｽ39φ@250

内部ﾓﾙﾀﾙ塗り

一般会所 断面詳細図 1/20

一般会所 断面詳細図 1/20

L＝30*30*4　ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋

N会所 断面詳細図 1/20

L会所 断面詳細図 1/20

M会所 断面詳細図 1/20

ﾌﾞﾛｯｸ2段

縁石

a－a 植樹帯断面 S=1/50

代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-129
			図面名称 【現況】外構平面図 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

N

凡例

：改修対象建築物

敷地境界線

水路に放流

別館庁舎

第２別館

駐車場

口庭

正面玄関

宅内最終桝

既設

歩道

道路境界線

道路中心線

車道（幅員＝5,160）

接道長 L=94,400

歩道（幅員＝2,160）

会所：A・B・C・B・A、排水管〈新設〉

旧消防庁舎

ﾊｯﾁﾝｸﾞ範囲（復旧）
300角t50擬石ﾌﾞﾛｯｸ

ATM

ｺﾞﾐ庫

駐車場（１０台）

駐車場（７台）

駐輪場A

駐輪場B

不陸部分〈新設〉
300角t60擬石ﾌﾞﾛｯｸ＋
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ（t100：D10@200）

本館庁舎

ｽﾛｰﾌﾟ〈新設〉

路盤表層ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装〈復旧〉

段差〈新設〉

ｽﾛｰﾌﾟ〈新設〉

駐車場（６台）

植栽

駐輪スペース

車道

ﾋｭｰﾑ管

□500 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋

HP150　VP100　VP150　VP200　VP150　VP150

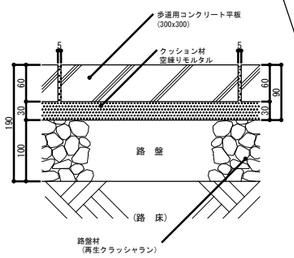
UP　DN

Y4　Y1

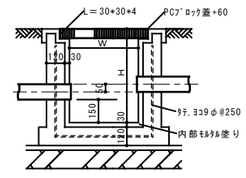
19,000

4,000

会所リスト		
記号	W	H
A	450	450
B	450	490
C	450	530
D	450	570



300角t60擬石ﾌﾞﾛｯｸ詳細図　1/5



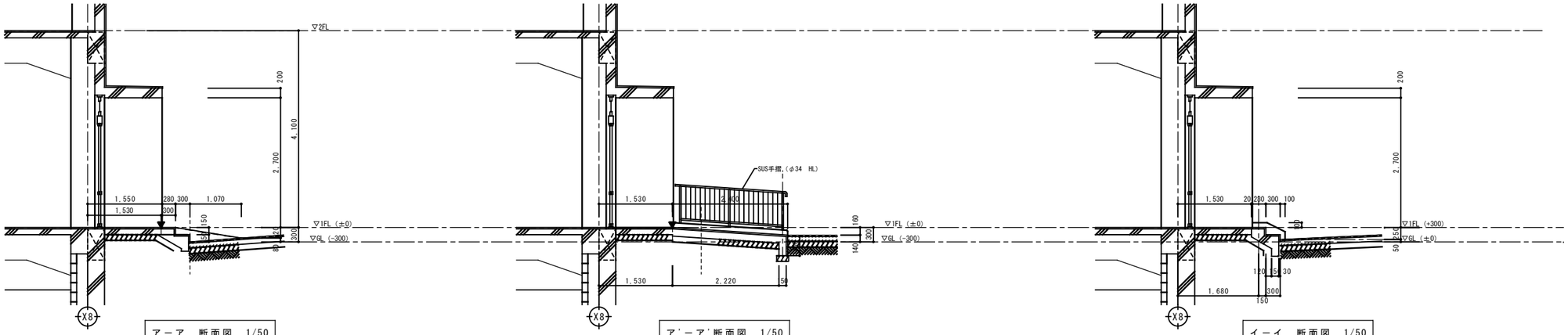
【新設】会所 断面詳細図　1/20

X1　X8

52,000

代表者	照査	担当		

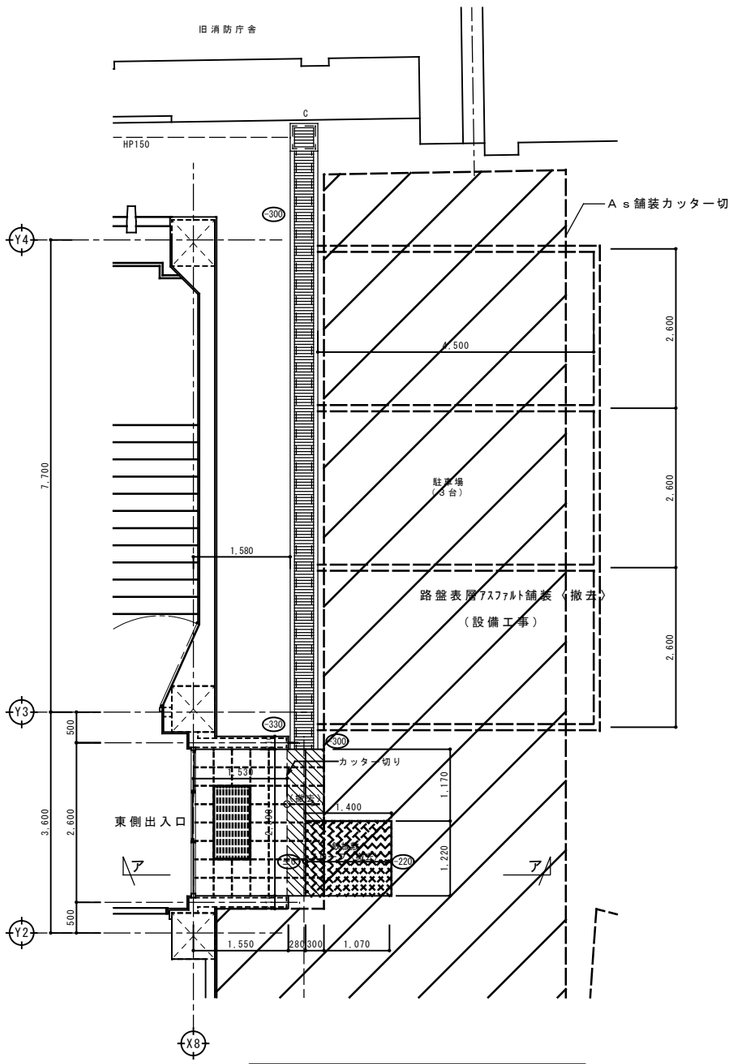
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-130
図面名称 【改修後】外構平面図　縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		



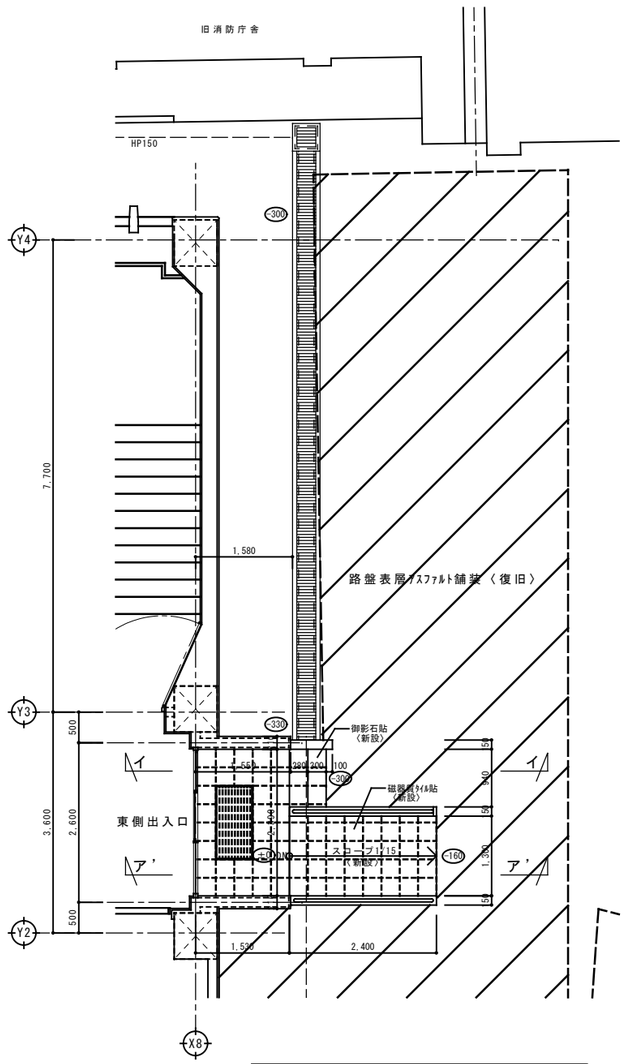
アーア 断面図 1/50

ア'ーア'断面図 1/50

イーイ 断面図 1/50

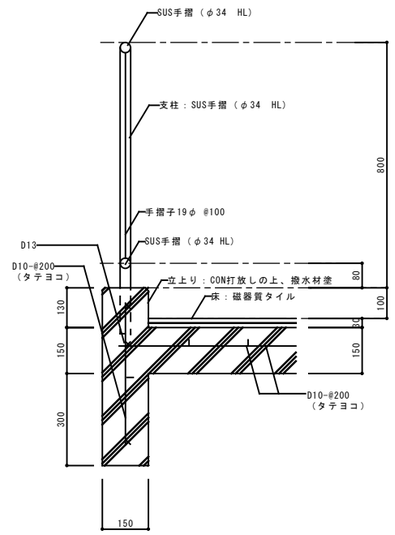


【現況】東側出入口廻り 平面詳細図 1/50

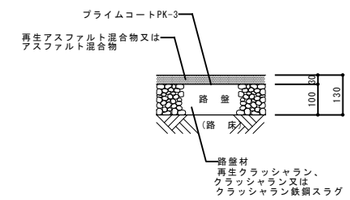


【改修後】東側出入口廻り 平面詳細図 1/50

※磁器質タイルは、LIXL・ピアッツア300角スロープ用又は同等品

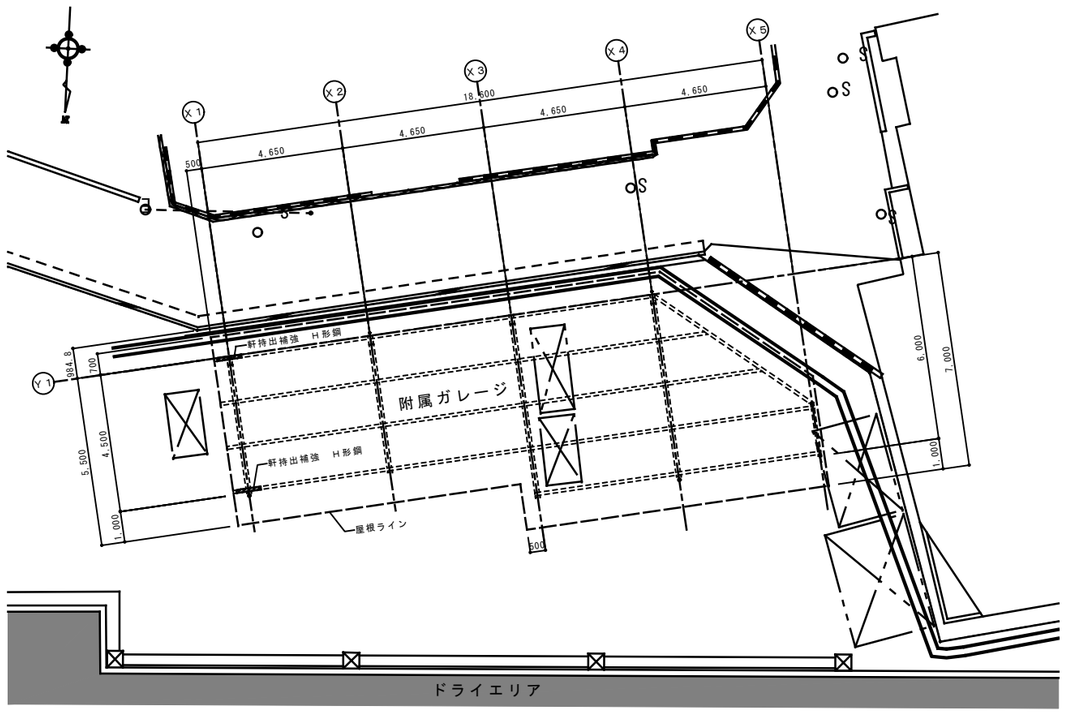


手摺詳細図 1:10

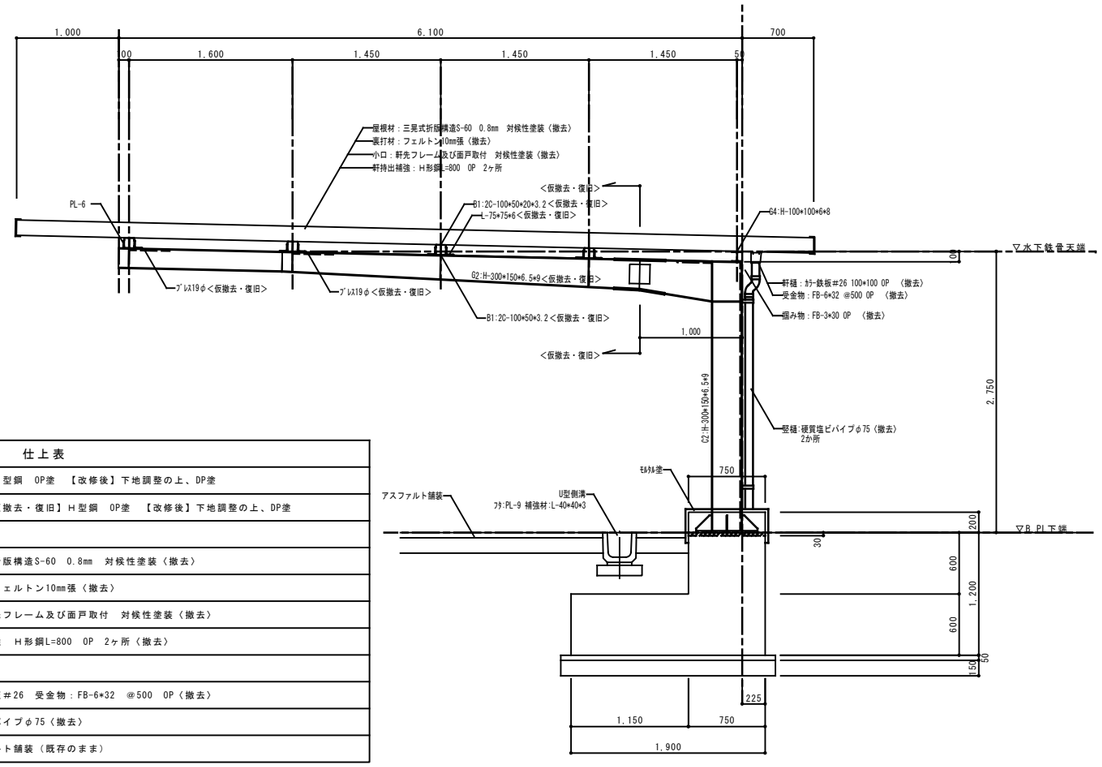


【現況】【改修後】ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装詳細図 1:10

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年 **月	A-131
					図面名称 【現況】【改修後】外構詳細図1 (東出入口廻り) 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

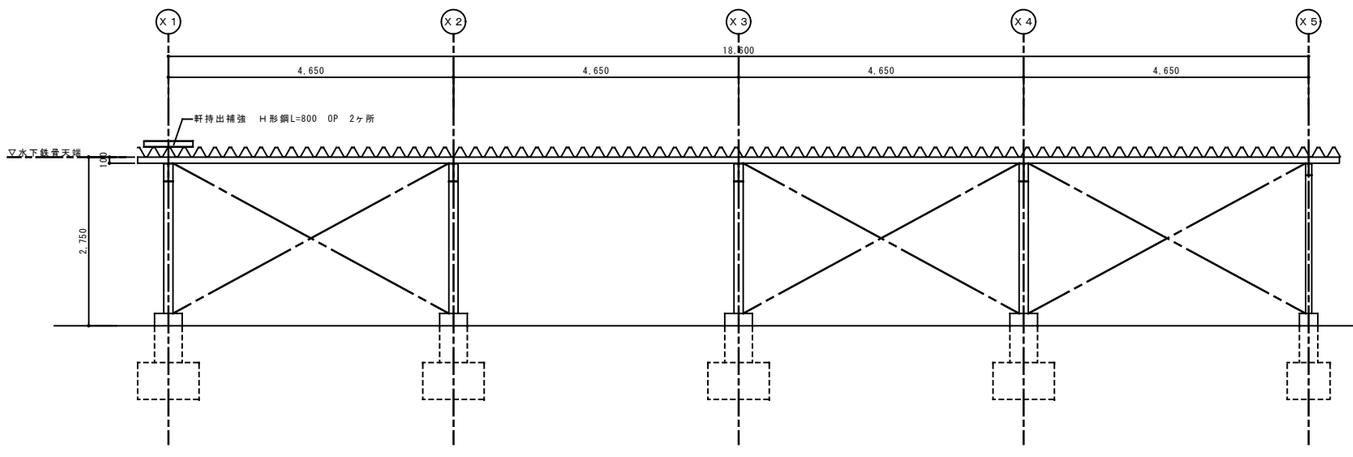


配置・平面図　1/100

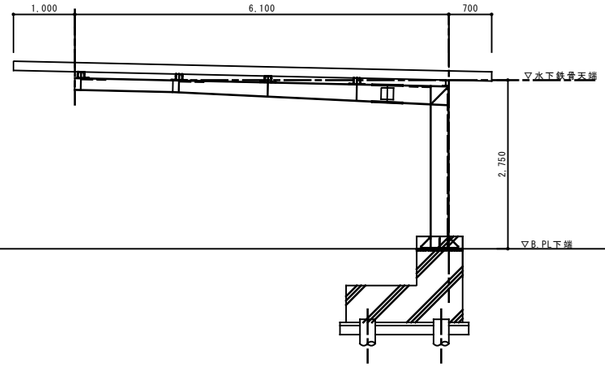


仕上表	
柱	【現況】H型鋼　OP塗　【改修後】下地調整の上、DP塗
梁	【一部、仮撤去・復旧】H型鋼　OP塗　【改修後】下地調整の上、DP塗
外壁	
屋根	三晃式　折版構造S-60　0.8mm　対候性塗装（撤去）
	裏打材　フェルトン10mm張（撤去）
	小口　軒先フレーム及び面戸取付　対候性塗装（撤去）
	軒持出補強　H形鋼L=800　OP　2ヶ所（撤去）
軒樋	カラー鉄板＃26　受金物：FB-6*32　@500　OP（撤去）
竪樋	硬質塩ビパイプφ75（撤去）
床	アスファルト舗装（既存のまま）

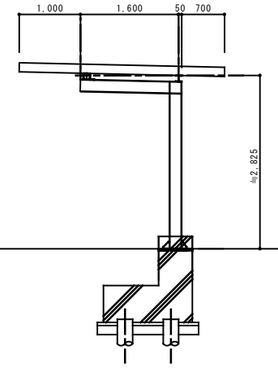
X3、X4通り　断面詳細図　1/30



立面図　1/50

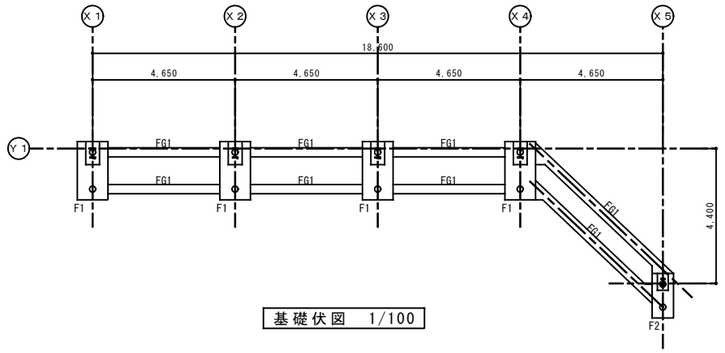


X1、X2通り　断面図　1/50

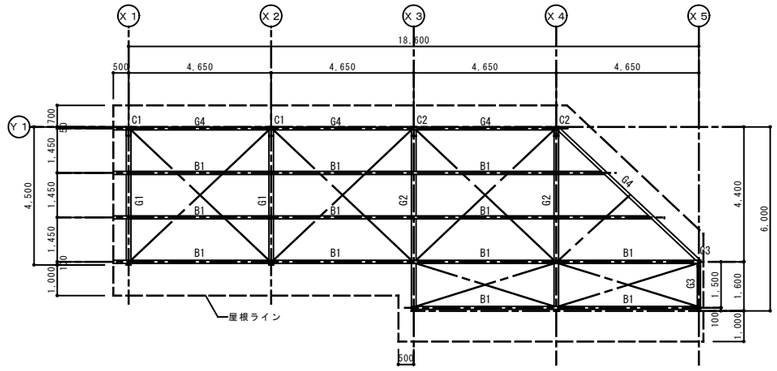


X5通り　断面図　1/50

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和**年　**月	A-132
					図面名称　【現況】【改修後】外構詳細図２（車庫）　縮尺　図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	

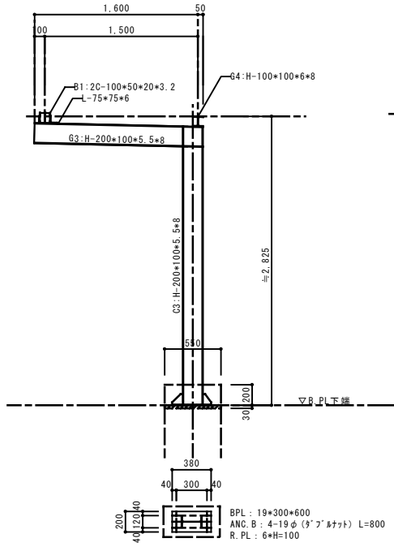


基礎伏図　1/100

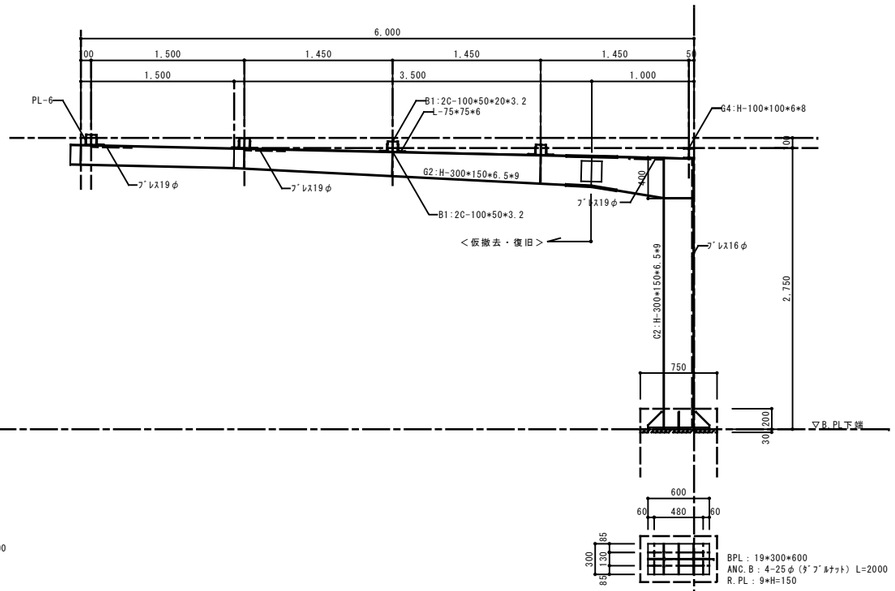


小屋伏図　1/100　水平ﾌﾞﾚｰｽ 16φ

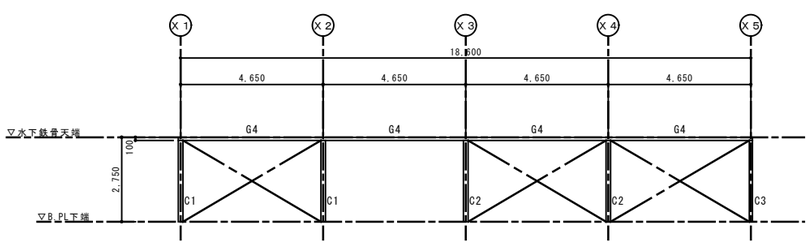
部材リスト	
記 号	部 材
G1・G2	H-300×150×6.5×9
G3	H-200×100×5.5×8
G4	H-100×100×6×8
B1	2C-100*50*20*3.2
C1・C2	H-300×150×6.5×9
C3	H-200×100×5.5×8



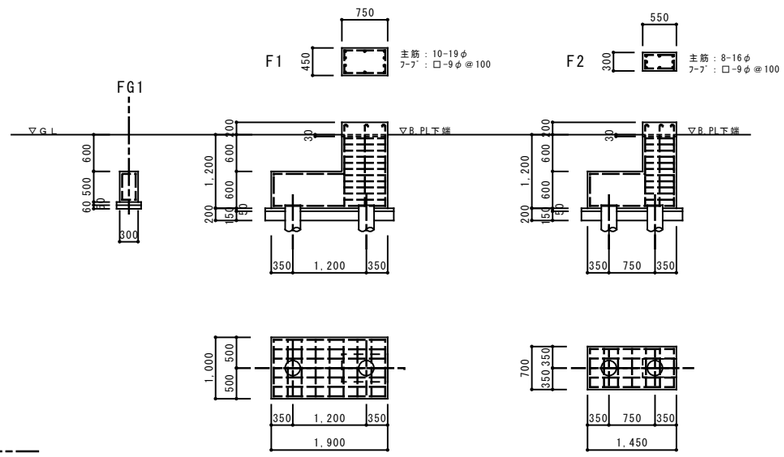
X5通り　架構詳細図　1/30



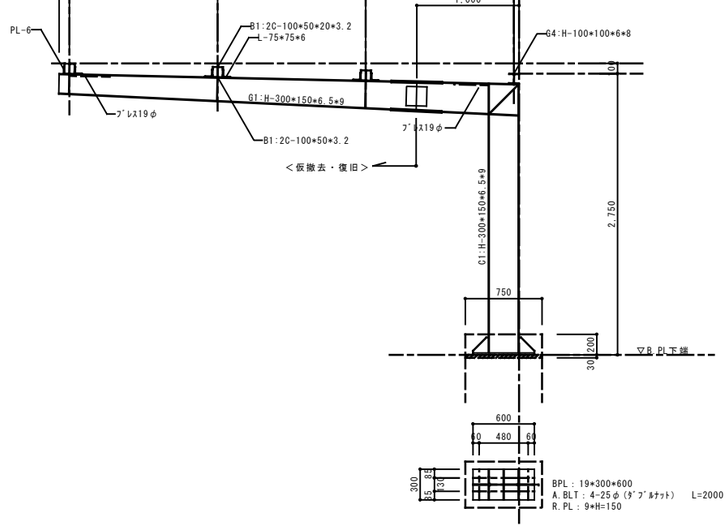
X3、X4通り　架構詳細図　1/30



小屋伏図　1/100　桁行立面ﾌﾞﾚｰｽ 16φ

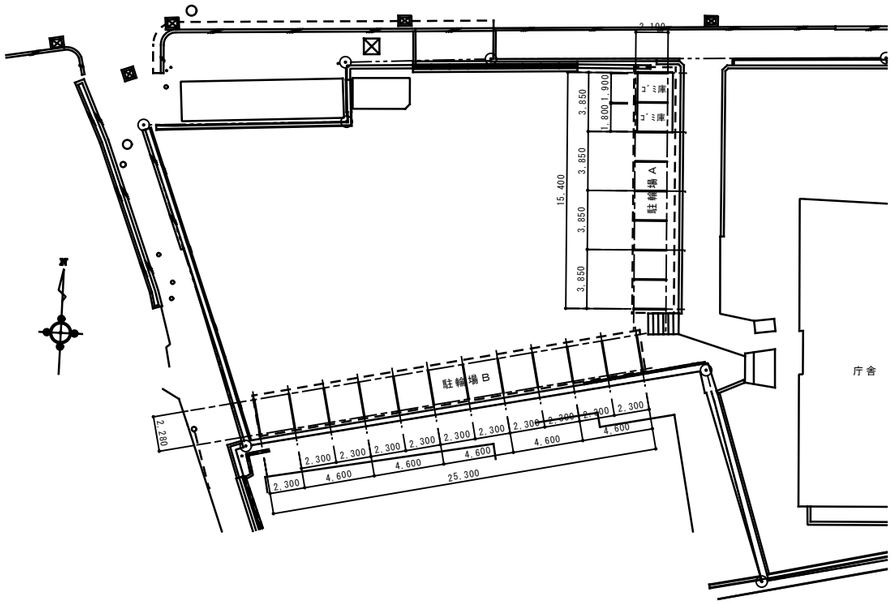


基礎リスト　1/50

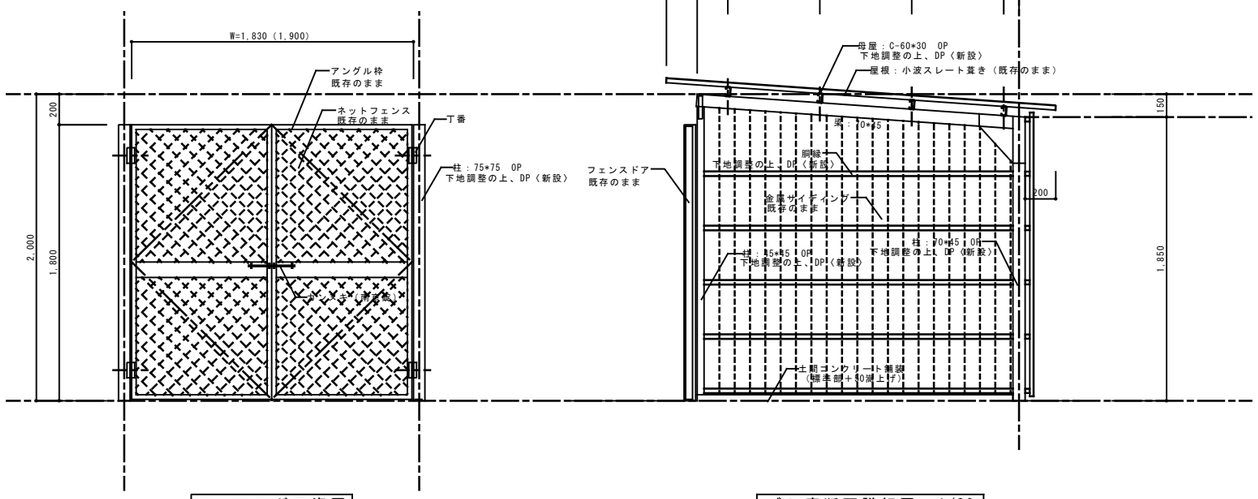


X1、X2通り　架構詳細図　1/30

代表者	照 査	担 当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和**年　**月	A-133
					図面名称 【現況】【改修後】外構詳細図３（車庫構造）　縮尺 図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	

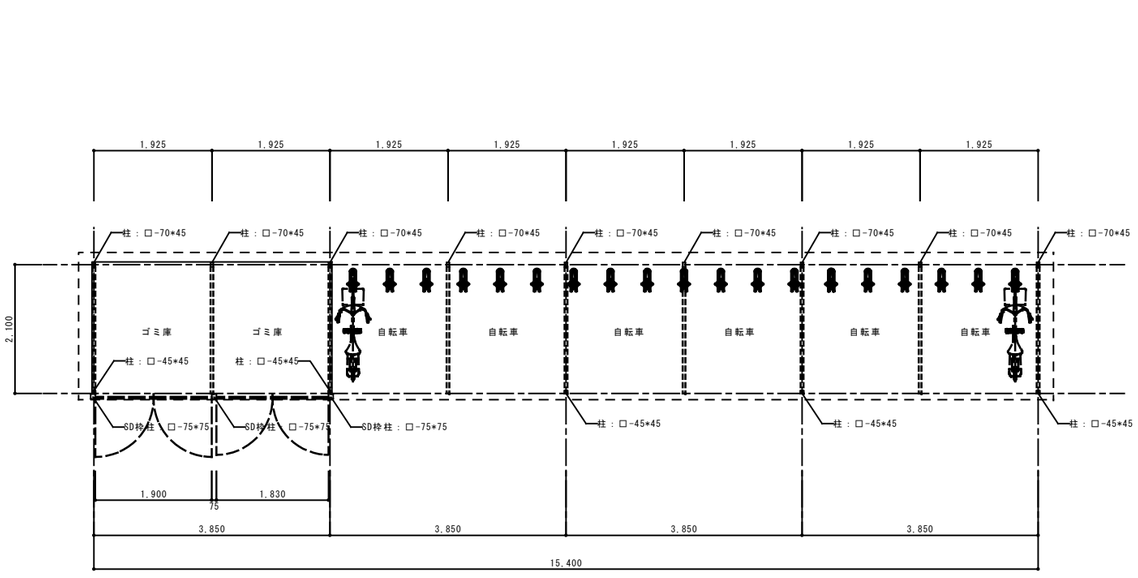


配置図　1/200

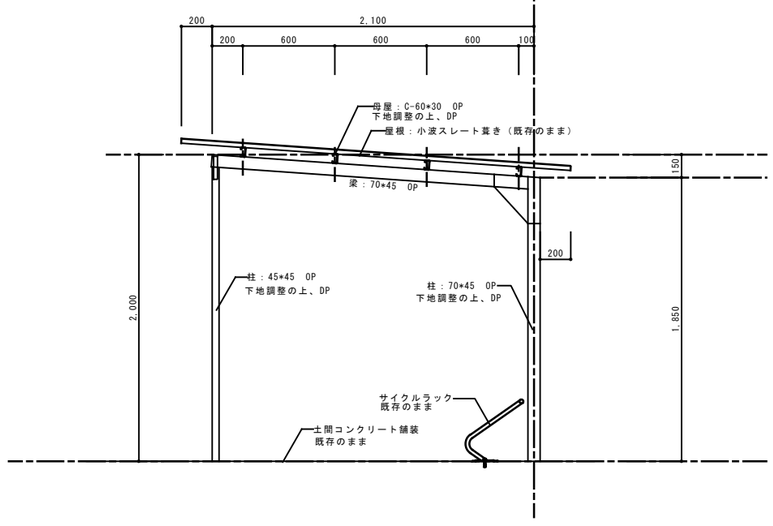


フェンスドア姿図

ゴミ庫断面詳細図　1/20



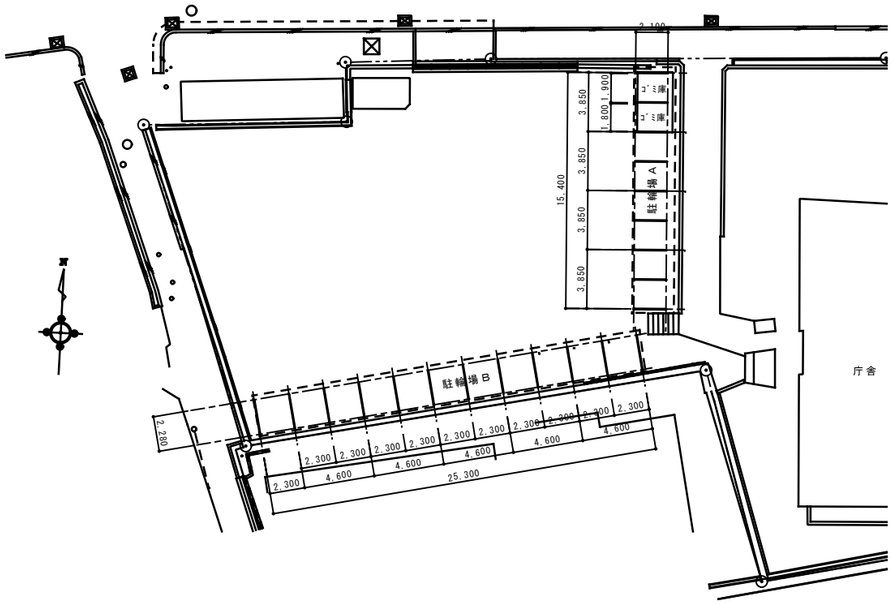
平面図　1/50



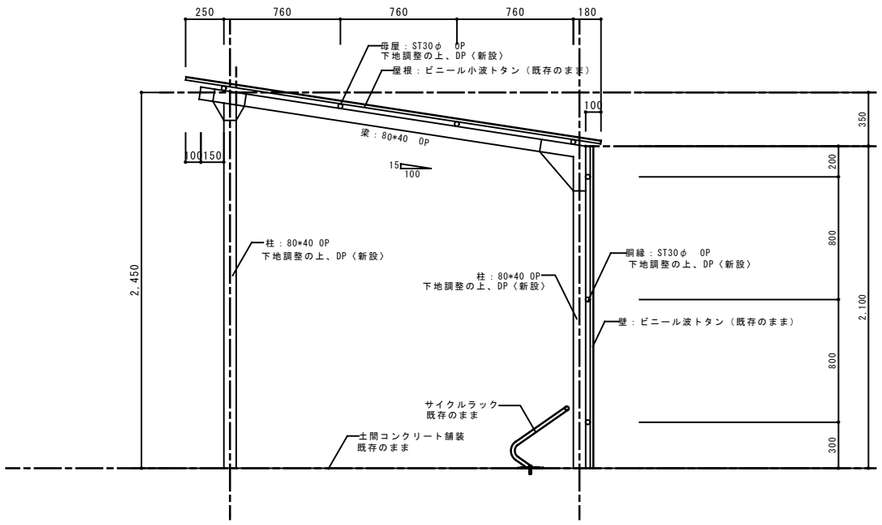
駐輪場断面詳細図　1/20

【現況】仕上表		【改修後】仕上表	
柱	ST□－70*45　OP塗	柱	ST□－70*45　下地調整の上、DP塗
梁	ST□－45*45　OP塗	梁	ST□－45*45　下地調整の上、DP塗
外壁	駐輪場：ﾋﾞﾆｰﾙ波ﾄﾀﾝ（撤去）　ｺﾞﾐ庫　金属製ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	外壁	駐輪場：ﾋﾞﾆｰﾙ波ﾄﾀﾝ（新設）　ｺﾞﾐ庫：金属製ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ（既存のまま）
屋根	小波スレート葺き（撤去）	屋根	ﾋﾞﾆｰﾙ波ﾄﾀﾝ（新設）
床	土間コンクリート舗装	床	土間コンクリート舗装（既存のまま）

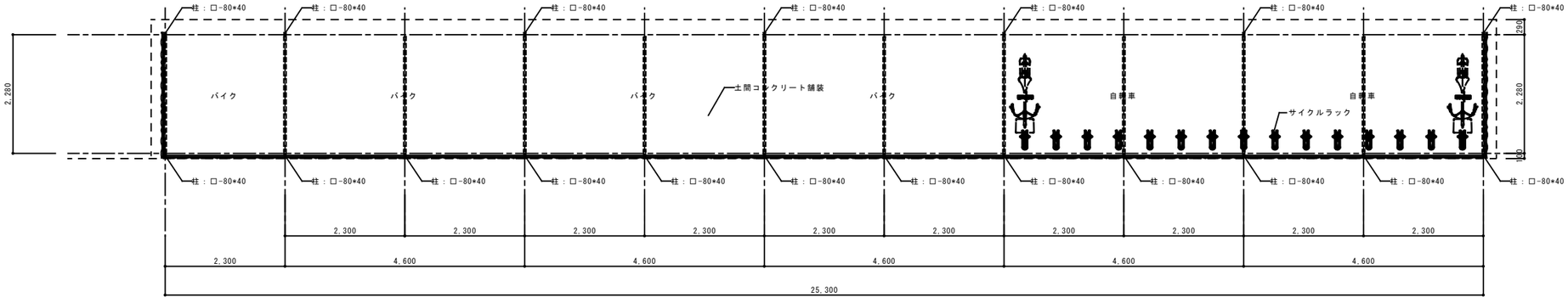
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計書号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和**年　**月	A-134
					図面名称　【現況・改修後】外構詳細図４（駐輪場Ａ）　縮尺　図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号		
					＊＊＊	―	―	



配置図　1/200



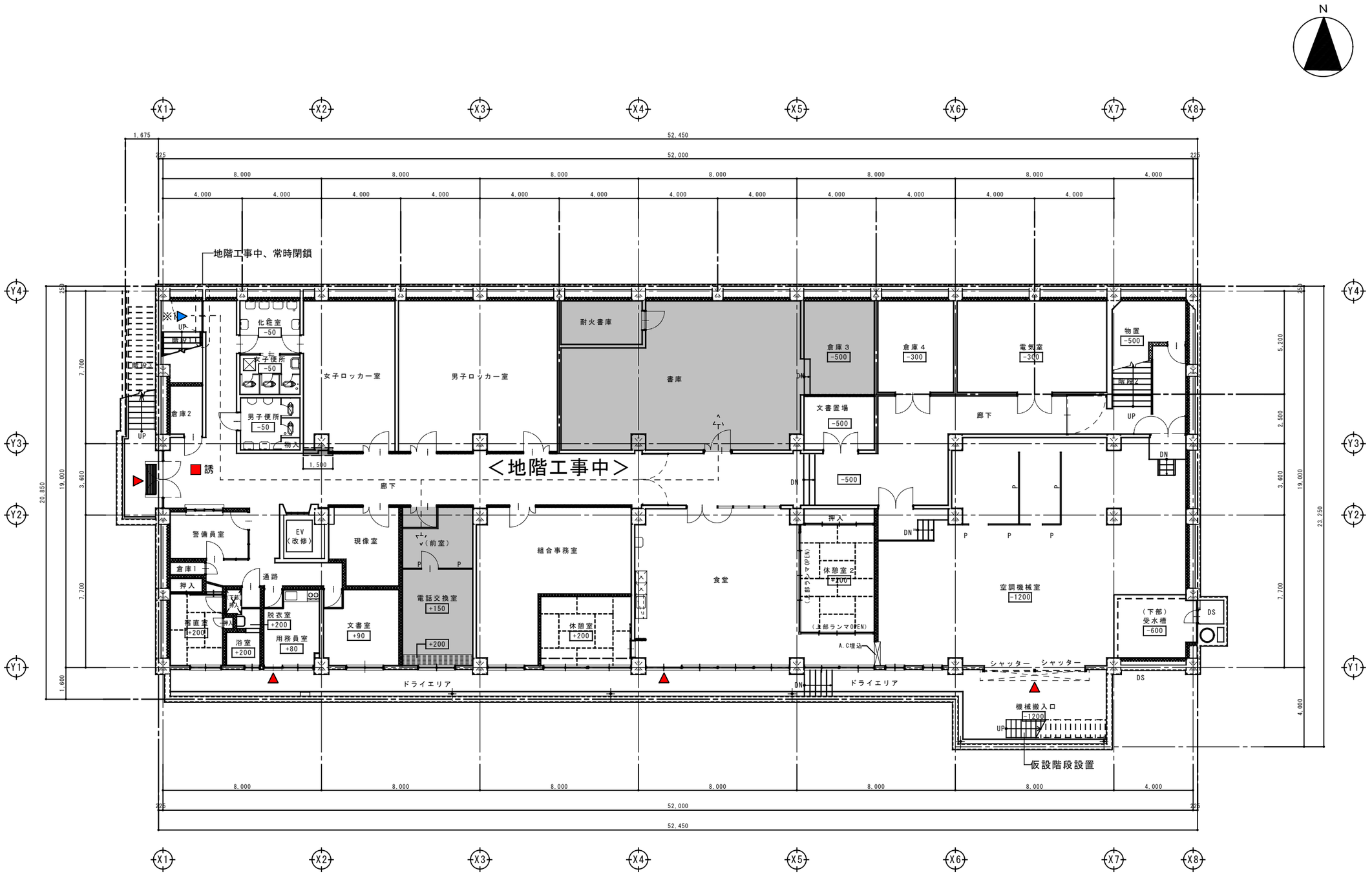
断面詳細図　1/20



平面図　1/50

【現況】仕上表		【改修後】仕上表	
柱	ST□－80*40　OP塗	柱	ST□－80*40　下地調整の上、DP塗
梁	ST□－80*40　OP塗	梁	ST□－80*40　下地調整の上、DP塗
外壁	ビニール波トタン（撤去）	外壁	ビニール波トタン（新設）
屋根	ビニール波トタン（撤去）	屋根	ビニール波トタン（新設）
床	土間コンクリート舗装	床	土間コンクリート舗装（既存のまま）

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和**年　**月	A-135
					図面名称 【現況・改修後】外構詳細図５（駐輪場Ｂ） 縮尺 図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号		
					＊＊＊	―	―	



※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

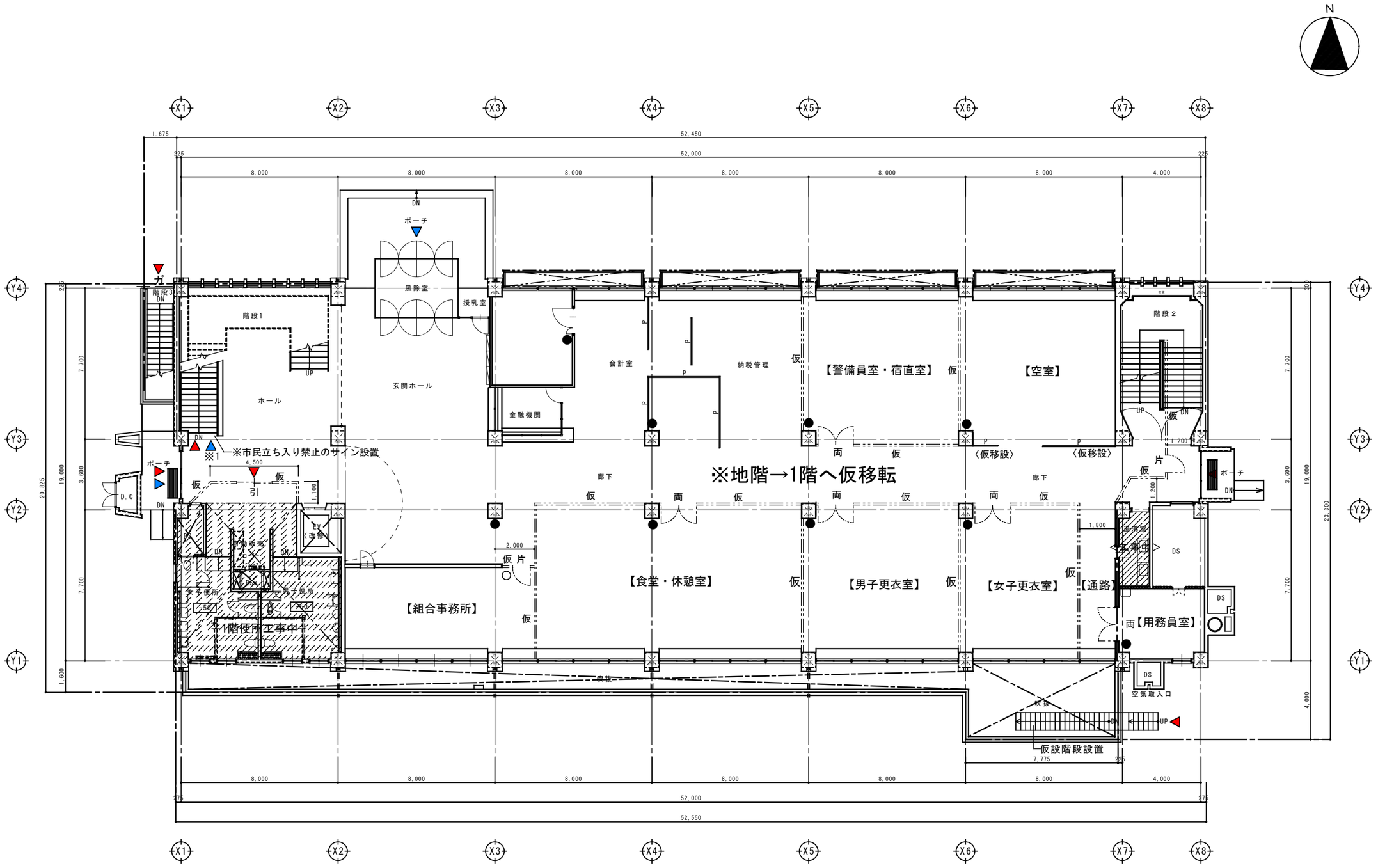
【現況】地階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、使用する部屋を示す。
- ~~工事中の部分を示す。~~
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（A種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- ~~現況 照明スイッチの位置を示す。~~
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

第一段階：地階工事中
＜地階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	A-151
					図面名称 仮移転計画図１ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					［第一段階：地階工事中］＜地階＞	—	—	



【現況】１階平面図

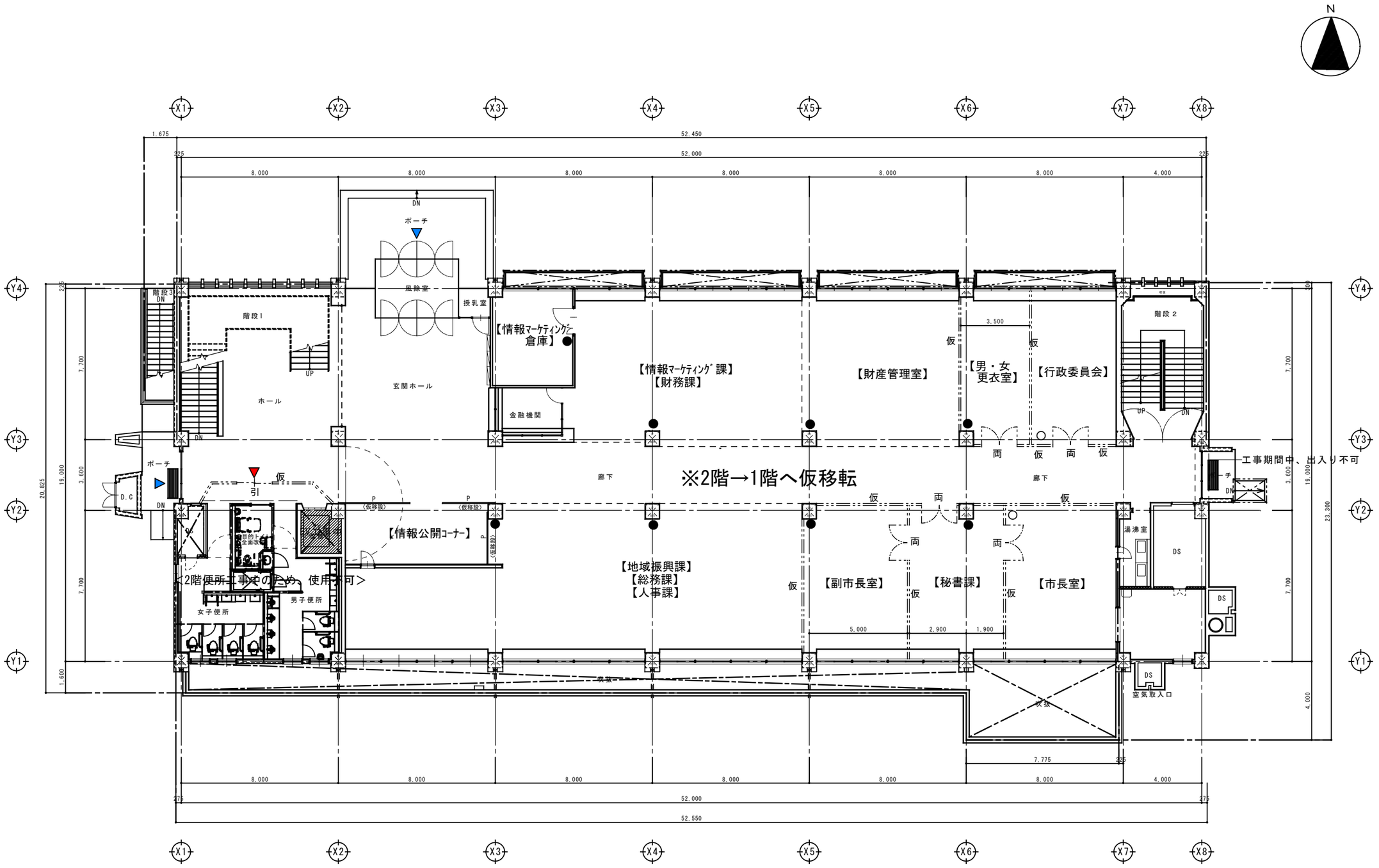
注）● 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、執務使用する部屋を示す。
- 執務中の工事エリア部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第一段階：地階工事中
＜1階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	仮移転計画図２ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	—	令和７年１０月	A-152
						［第一段階：地階工事中］＜１階＞	整理番号	—	—



【現況】１階平面図

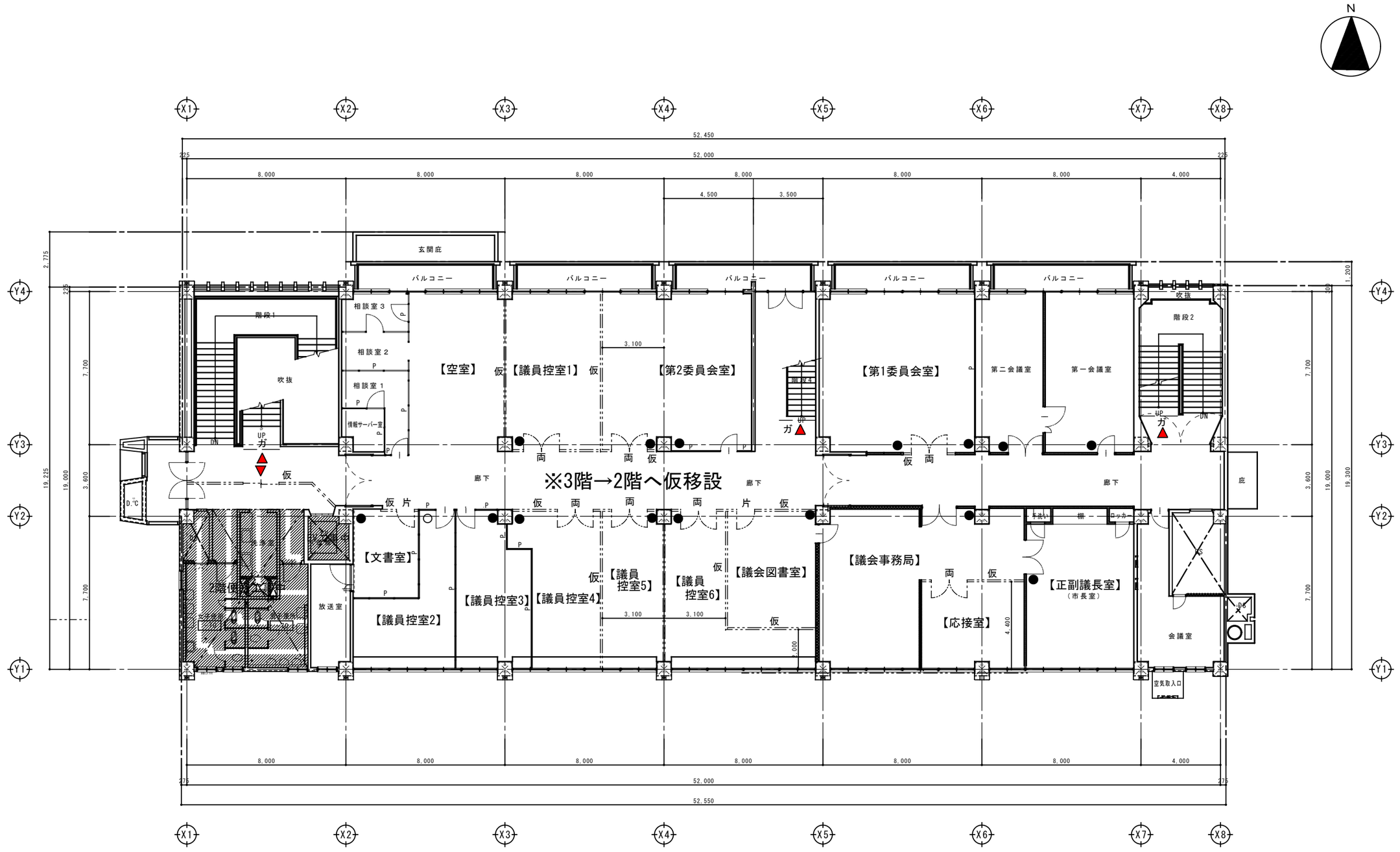
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第二段階：3階工事中
＜1階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	A-153
					図面名称 仮移転計画図３ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					［第二段階：３階工事中］＜１階＞	—	—	



【現況】２階平面図

注）★ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

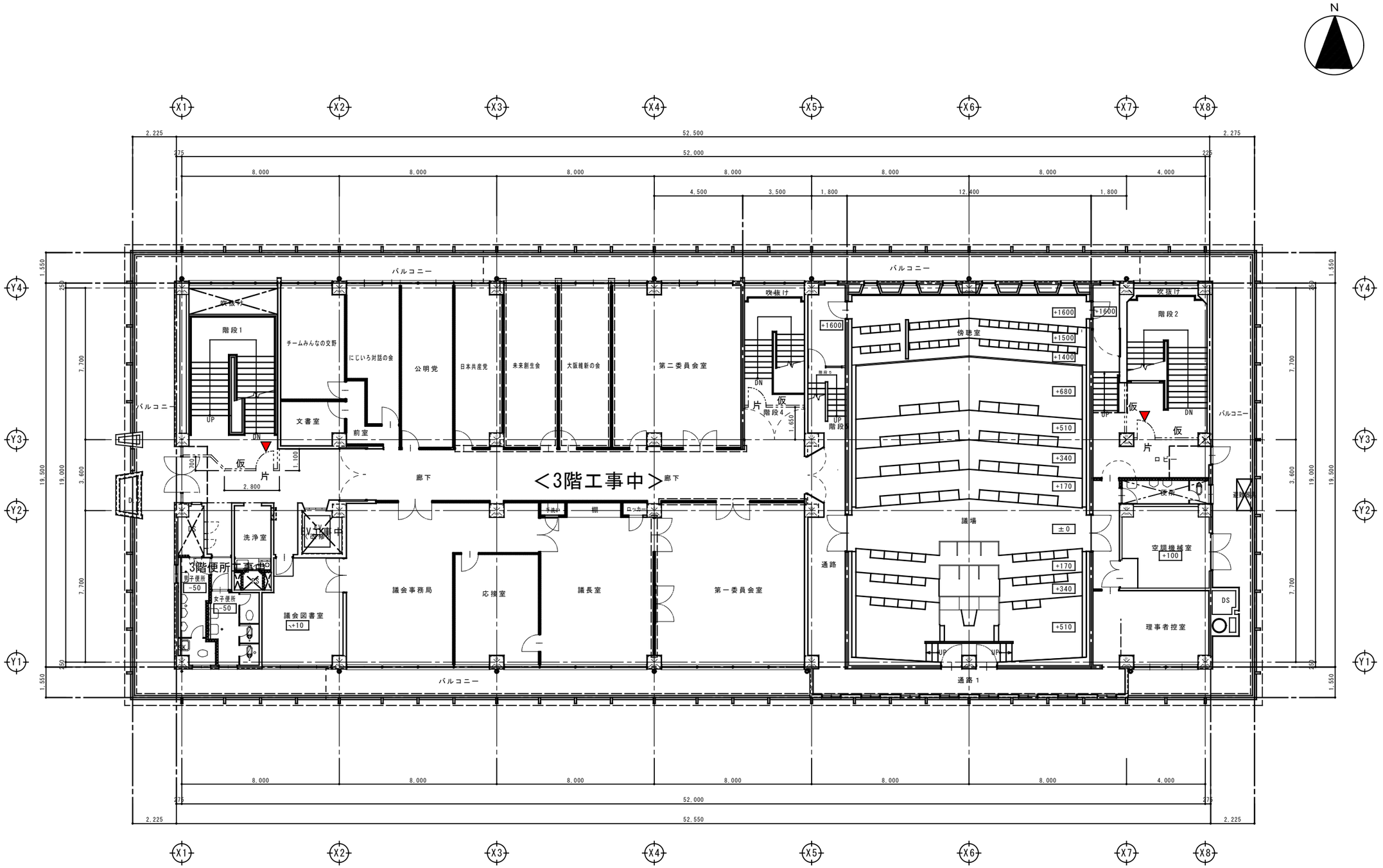
- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第二段階：3階工事中

＜2階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-154
					図面名称 仮移転計画図４ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					［第二段階：３階工事中］＜２階＞	—	—	



【現況】３階平面図

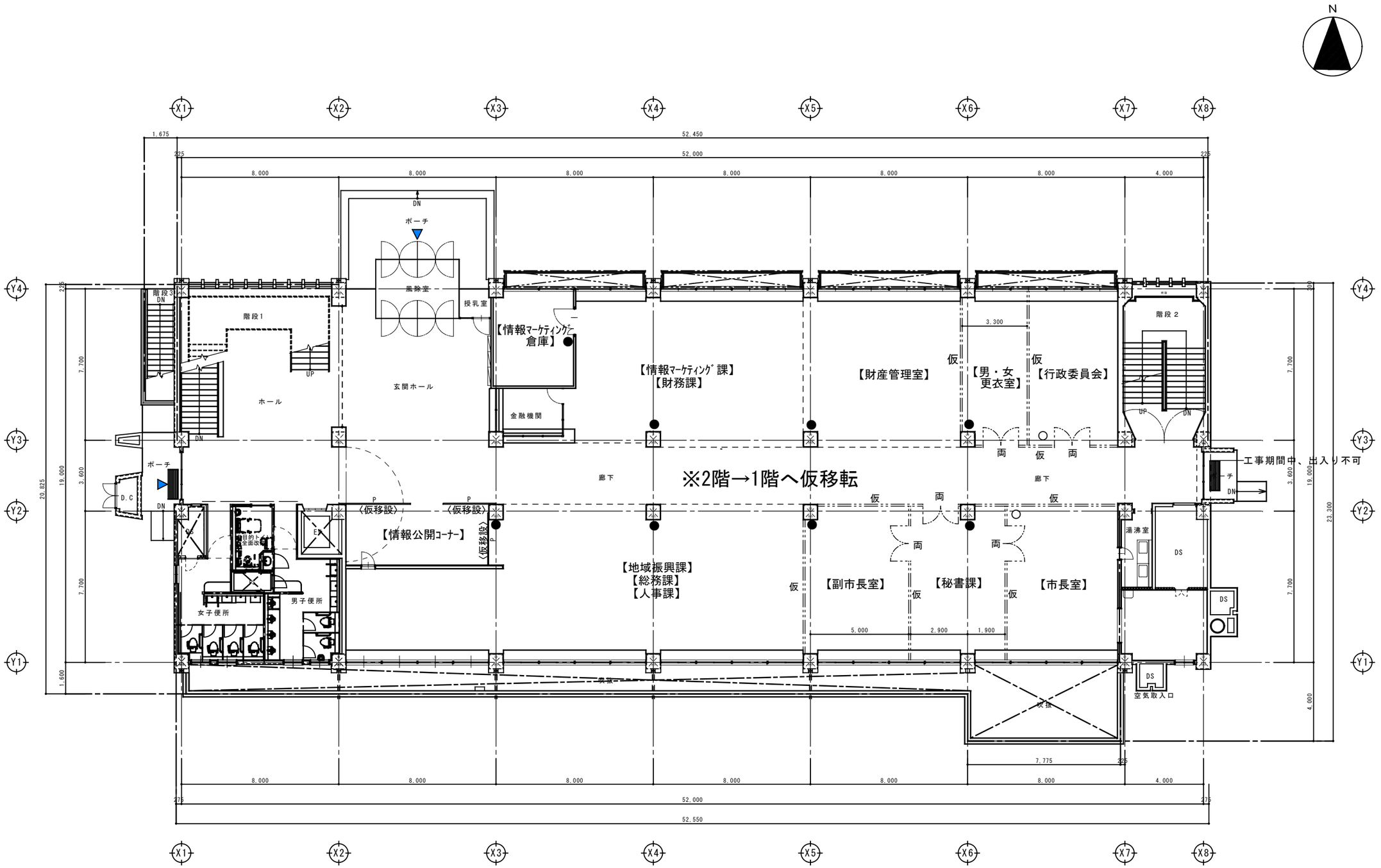
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第二段階：3階工事中
＜3階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-155
					図面名称 仮移転計画図５ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					［第二段階：３階工事中］＜３階＞	—	—	



【現況】１階平面図

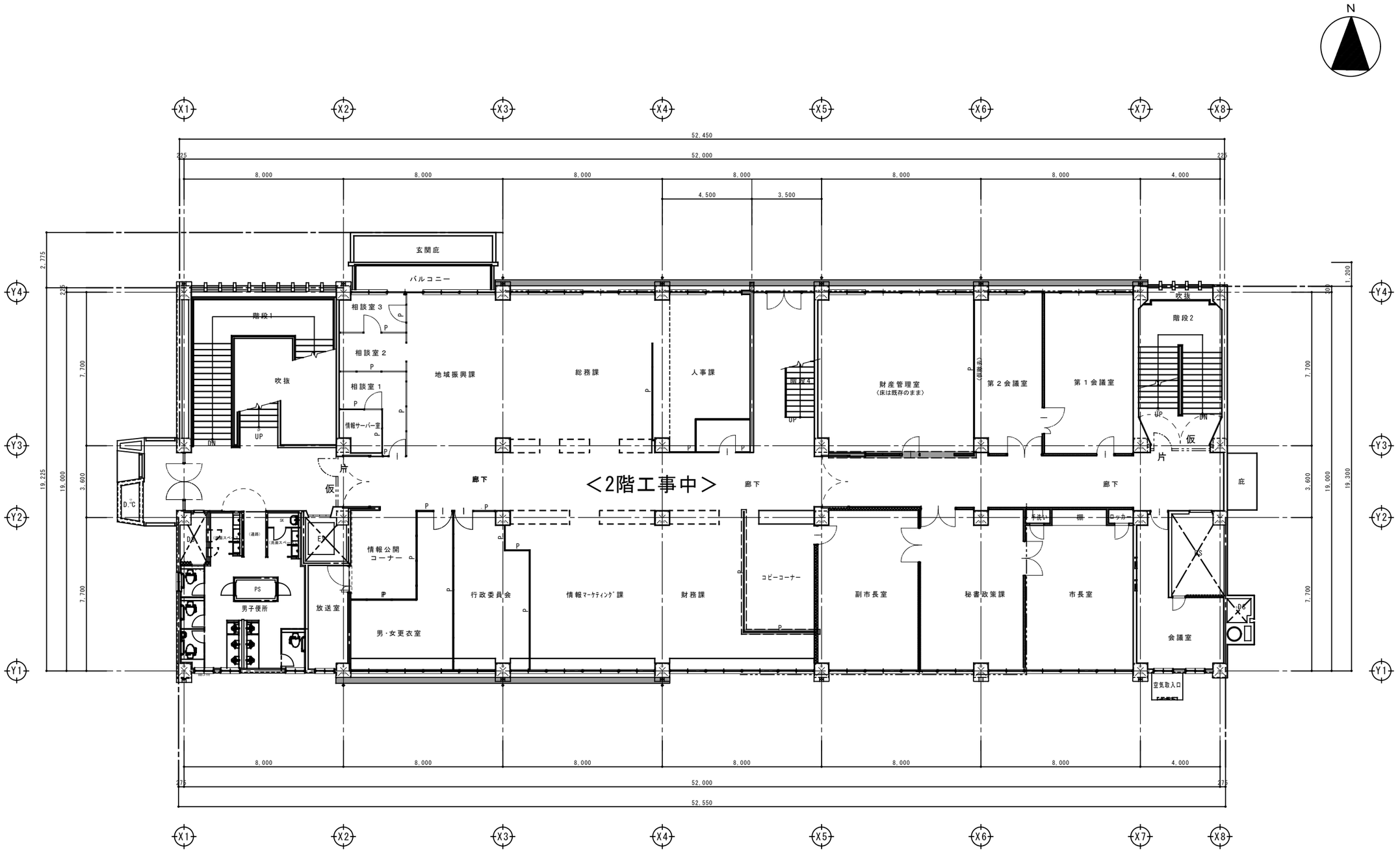
注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第三段階：2階工事中
＜1階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	A-156
					図面名称 仮移転計画図６ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					［第三段階：２階工事中］＜１階＞	—	—	



【現況】２階平面図

注）★ 床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

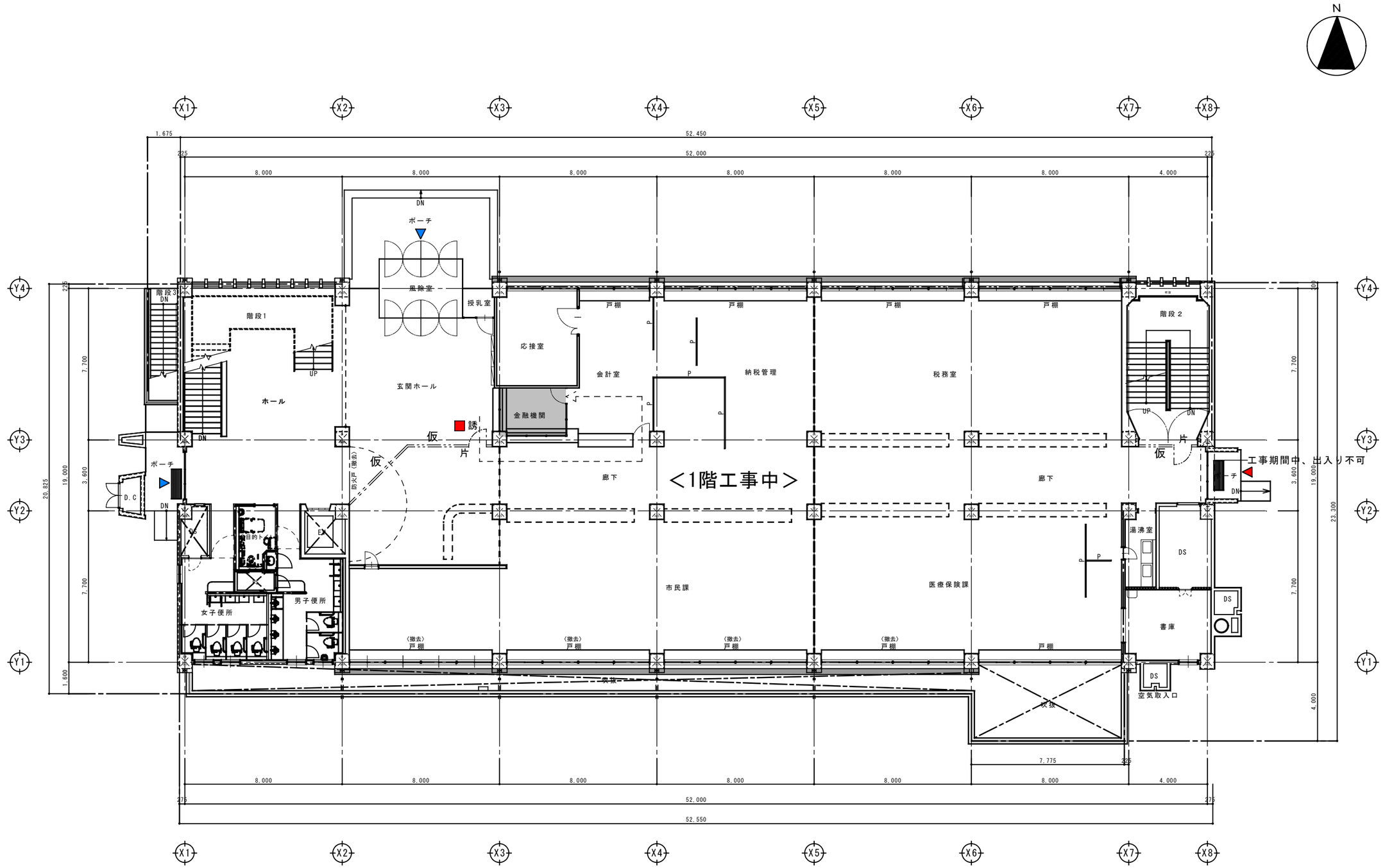
- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮設両開き戸を示す。
- 仮設片開き戸を示す。
- 仮設引き違い戸を示す。
- ガードフェンスを示す。
- 現況 照明スイッチの位置を示す。
- 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第三段階：2階工事中

＜2階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-157
					図面名称 仮移転計画図７ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		
					［第三段階：２階工事中］＜2階＞			



【現況】１階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

- 工事中、使用する部屋を示す。
- 工事中の部分を示す。
- 誘 交通誘導員の配置場所を示す。
- 工事関係者の出入口を示す。
- 市民・職員関係者の出入口を示す。
- ※1 地下執務職員関係者のみの出入口を示す。
- 工事エリア内の職員動線を示す。
- 仮設目地切壁（Ａ種）を示す。
- 仮 両 仮設両開き戸を示す。
- 片 仮設片開き戸を示す。
- 引 仮設引き違い戸を示す。
- ガ ガードフェンスを示す。
- ● 現況 照明スイッチの位置を示す。
- ○ 仮設 照明スイッチの位置を示す。

※共用部の改修工事については、工事時期等は市担当者と協議の上工事工程を作成し施工を行うこと。

第四段階：1階工事中

＜1階平面図＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	A-158
					図面名称 仮移転計画図８ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号	—	—
					［第四段階：１階工事中］＜１階＞			

凡例

- 改修建物を示す
- 仮 仮囲いA（万能鋼板）H3.0m
- ガ ガードフェンス（上部シート張）H1.8m
- パ パネルゲートW6.3m×H3.0
- キ アルミキャスターゲートW6.0m×H2.0m
- 養生鉄板敷 t 19　※工事エリア内の車両通行部分全て設置（　部分）
- 計 騒音振動計　北：1か所　南：1か所
- ▼ 工事出入口
- ▼ 利用者出入口
- 交 交通誘導員
- 工事車両動線・工事関係者（一般）車両動線
- 利用者車両動線

N

交

歩道

車道（幅員＝5,160）

歩道（幅員＝2,160）

仮囲いに支障ある部分は
枝伐採　※市と調整必要

仮囲いに支障ある部分は
枝伐採　※市と調整必要

別館庁舎

第２別館

駐車場

正面玄関

旧消防庁舎

本館庁舎

ATM

コミ庫

駐車場（10台）

現場事務所
駐車場（7台）

駐輪場A

駐輪場

駐車場（6台）

駐輪スペース

屋根（撤去）

物置

花壇（撤去）

植栽

車道

道路境界線

敷地境界線

水路に放流

UP

DN

門塀・片引き門扉［撤去］［新設］

<工事エリア内>
工事完了後、既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装（表層t50）［撤去］［新設］

<駐車場内全面>
工事完了後、既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装（表層t50）・区画線
［撤去］［新設］

9,500

2,000

26,000

X1　X8

凡例

：改修対象建築物

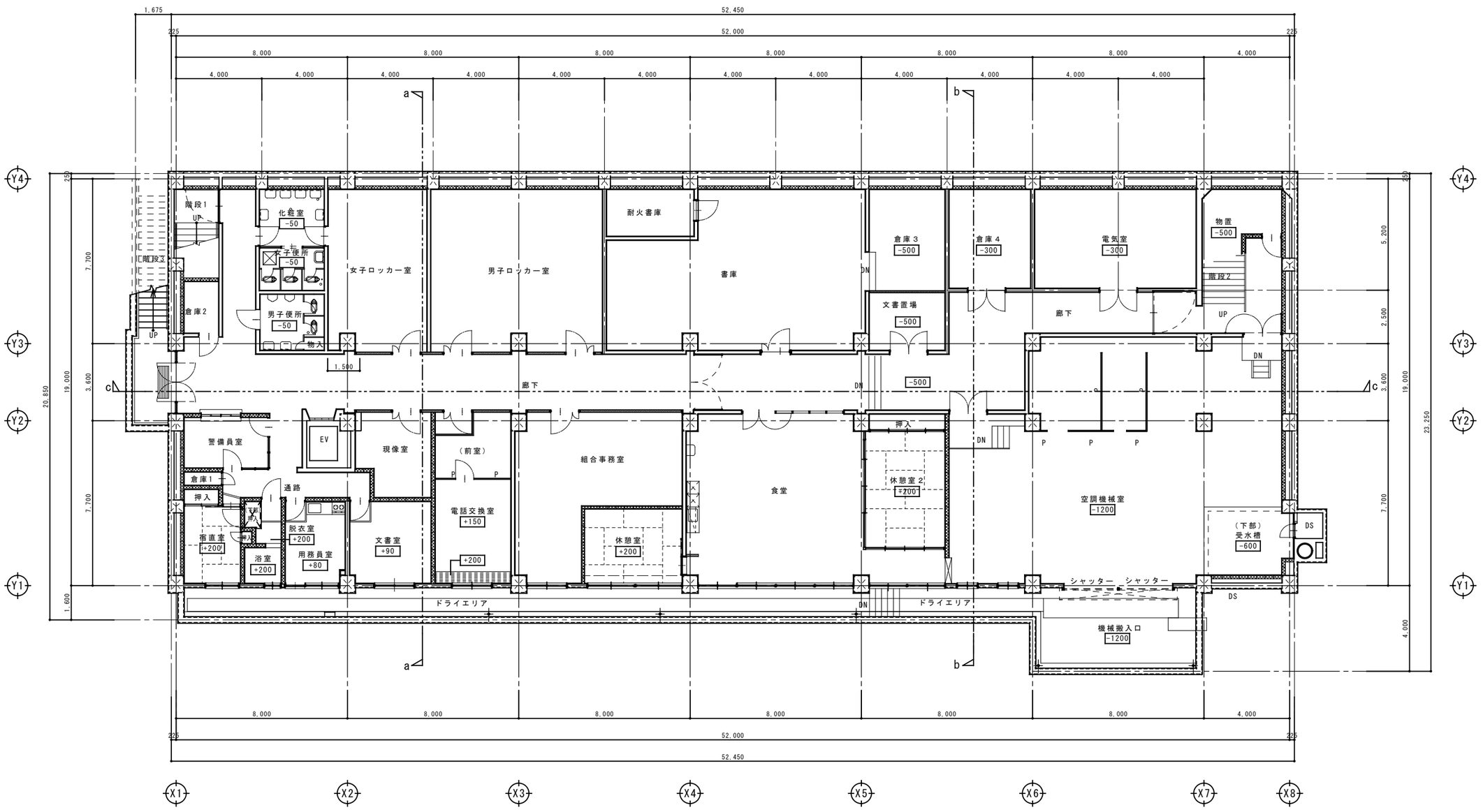
【現況】配置図

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-159
				図面名称 仮設計画図１［配置］　縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

■足場リスト

番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）
1	枠組足場 W600	19.2	6.3	１０	枠組足場 W600	2.4	13.9	１９	枠組足場 W1200	22.1	2.2	２８	枠組足場 W600	3.2	6.6	３７	枠組足場 W1200	4.0	2.2
2	枠組足場 W900	20.5	6.3	１１	枠組足場 W900	35.7	13.9	２０	枠組足場 W900	1.8	7.1	２９	枠組足場 W900	1.8	6.6	３８	枠組足場 W900	9.5	6.6
3	枠組足場 W600	19.2	6.3	１２	枠組足場 W900	9.0	13.9	２１	枠組足場 W900	5.4	7.1	３０	枠組足場 W900	4.8	6.6	３９	枠組足場 W900	9.5	6.5～10.2
4	枠組足場 W900	20.5	6.3	１３	枠組足場 W900	53.2	2.2	２２	枠組足場 W900	1.8	7.1	３１	枠組足場 W600	5.4	6.6	４０	枠組足場 W900	10.5	6.6
5	枠組足場 W600	7.8	6.3	１４	枠組足場 W1200	16.5	2.2	２３	枠組足場 W600	37.5	6.6	３２	枠組足場 W900	7.9	10.0	４１	枠組足場 W900	7.8	6.6
6	枠組足場 W900	49.1	6.3	１５	枠組足場 W600	5.0	2.2	２４	枠組足場 W900	36.2	6.6	３３	枠組足場 W900	10.0	10.0	４２	枠組足場 W900	31.1	2.2
7	枠組足場 W900	106.9	13.9	１６	枠組足場 W1200	2.6	2.2	２５	枠組足場 W600	40.1	6.6	３４	枠組足場 W600	41.2	10.0	４３	枠組足場 W1200	4.0	2.2
8	枠組足場 W600	5.4	13.9	１７	枠組足場 W900	4.3	2.2	２６	枠組足場 W900	21.3	6.6	３５	枠組足場 W900	8.4	6.6		朝顔：100㎡		
9	枠組足場 W900	11.0	13.9	１８	枠組足場 W900	32.3	2.2	２７	枠組足場 W900	1.8	6.6	３６	枠組足場 W900	11.6	6.6				

※枠組足場周囲は防音シート張りとする。



【現況】地階平面図

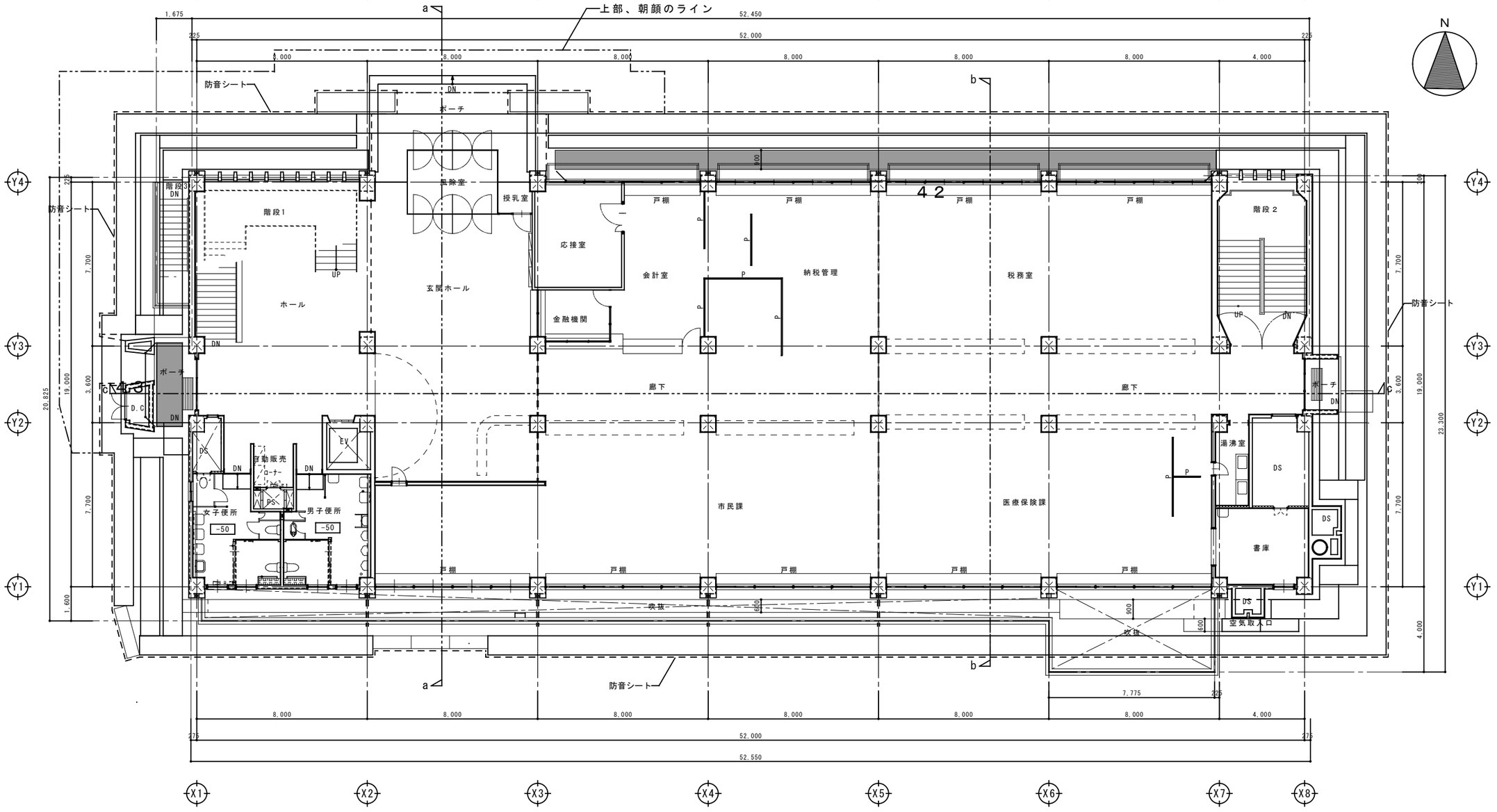
<参考>

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-160
					図面名称 仮設計画図２［地階］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

■足場リスト

番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）
1	枠組足場 W600	19.2	6.3	１０	枠組足場 W600	2.4	13.9	１９	枠組足場 W1200	22.1	2.2	２８	枠組足場 W600	3.2	6.6	３７	枠組足場 W1200	4.0	2.2
2	枠組足場 W900	20.5	6.3	１１	枠組足場 W900	35.7	13.9	２０	枠組足場 W900	1.8	7.1	２９	枠組足場 W900	1.8	6.6	３８	枠組足場 W900	9.5	6.6
3	枠組足場 W600	19.2	6.3	１２	枠組足場 W900	9.0	13.9	２１	枠組足場 W900	5.4	7.1	３０	枠組足場 W900	4.8	6.6	３９	枠組足場 W900	9.5	6.5～10.2
4	枠組足場 W900	20.5	6.3	１３	枠組足場 W900	53.2	2.2	２２	枠組足場 W900	1.8	7.1	３１	枠組足場 W600	5.4	6.6	４０	枠組足場 W900	10.5	6.6
5	枠組足場 W600	7.8	6.3	１４	枠組足場 W1200	16.5	2.2	２３	枠組足場 W600	37.5	6.6	３２	枠組足場 W900	7.9	10.0	４１	枠組足場 W900	7.8	6.6
6	枠組足場 W900	49.1	6.3	１５	枠組足場 W600	5.0	2.2	２４	枠組足場 W900	36.2	6.6	３３	枠組足場 W900	10.0	10.0	４２	枠組足場 W900	31.1	2.2
7	枠組足場 W900	106.9	13.9	１６	枠組足場 W1200	2.6	2.2	２５	枠組足場 W600	40.1	6.6	３４	枠組足場 W600	41.2	10.0	４３	枠組足場 W1200	4.0	2.2
8	枠組足場 W600	5.4	13.9	１７	枠組足場 W900	4.3	2.2	２６	枠組足場 W900	21.3	6.6	３５	枠組足場 W900	8.4	6.6		朝顔：100㎡		
9	枠組足場 W900	11.0	13.9	１８	枠組足場 W900	32.3	2.2	２７	枠組足場 W900	1.8	6.6	３６	枠組足場 W900	11.6	6.6				

※枠組足場周囲は防音シート張りとする。



【現況】１階平面図

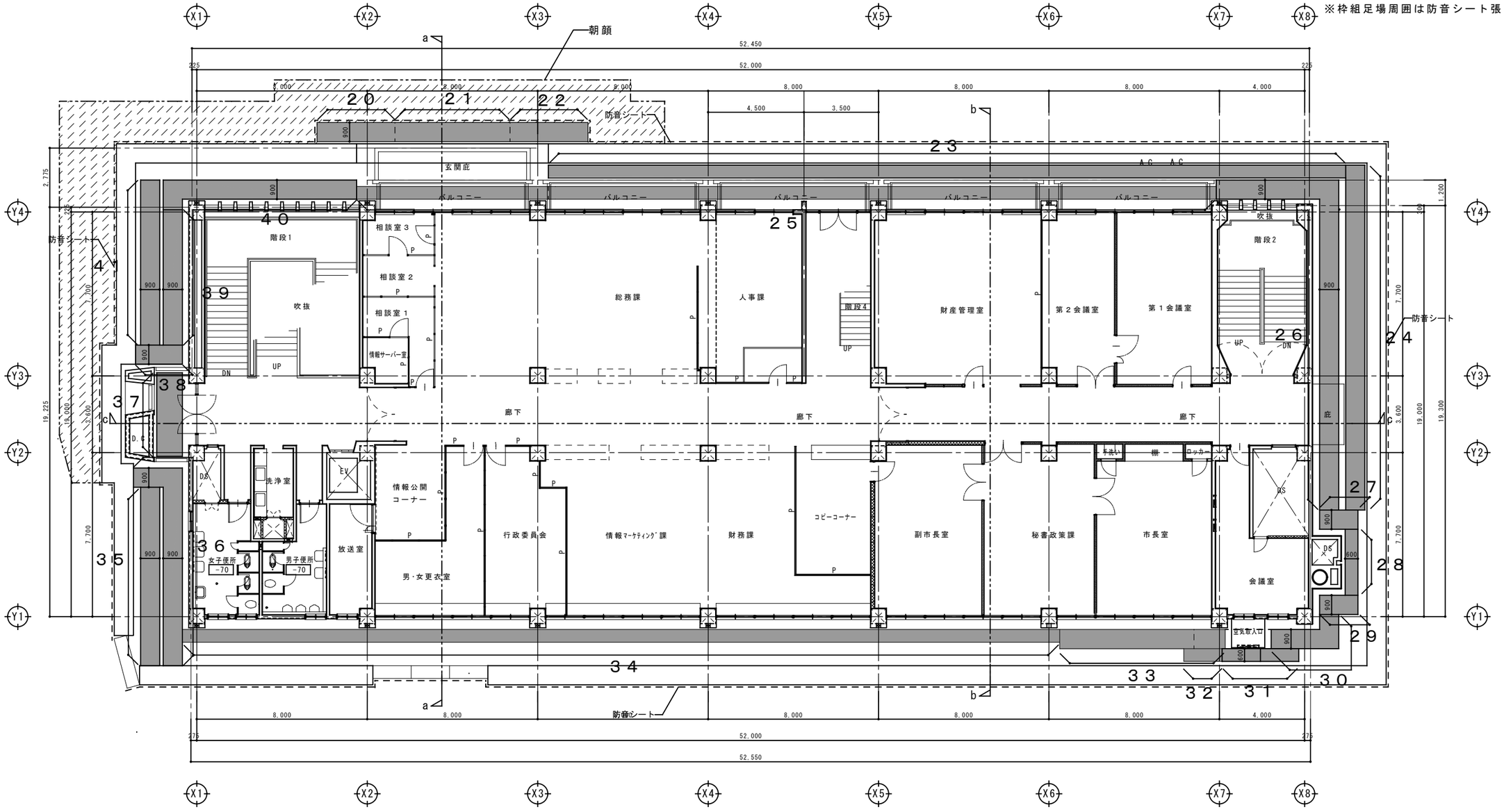
＜参考＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-161
					図面名称 仮設計画図３［１階］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

■足場リスト

番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）
1	枠組足場 W600	19.2	6.3	１０	枠組足場 W600	2.4	13.9	１９	枠組足場 W1200	22.1	2.2	２８	枠組足場 W600	3.2	6.6	３７	枠組足場 W1200	4.0	2.2
2	枠組足場 W900	20.5	6.3	１１	枠組足場 W900	35.7	13.9	２０	枠組足場 W900	1.8	7.1	２９	枠組足場 W900	1.8	6.6	３８	枠組足場 W900	9.5	6.6
3	枠組足場 W600	19.2	6.3	１２	枠組足場 W900	9.0	13.9	２１	枠組足場 W900	5.4	7.1	３０	枠組足場 W900	4.8	6.6	３９	枠組足場 W900	9.5	6.5～10.2
4	枠組足場 W900	20.5	6.3	１３	枠組足場 W900	53.2	2.2	２２	枠組足場 W900	1.8	7.1	３１	枠組足場 W600	5.4	6.6	４０	枠組足場 W900	10.5	6.6
5	枠組足場 W600	7.8	6.3	１４	枠組足場 W1200	16.5	2.2	２３	枠組足場 W600	37.5	6.6	３２	枠組足場 W900	7.9	10.0	４１	枠組足場 W900	7.8	6.6
6	枠組足場 W900	49.1	6.3	１５	枠組足場 W600	5.0	2.2	２４	枠組足場 W900	36.2	6.6	３３	枠組足場 W900	10.0	10.0	４２	枠組足場 W900	31.1	2.2
7	枠組足場 W900	106.9	13.9	１６	枠組足場 W1200	2.6	2.2	２５	枠組足場 W600	40.1	6.6	３４	枠組足場 W600	41.2	10.0	４３	枠組足場 W1200	4.0	2.2
8	枠組足場 W600	5.4	13.9	１７	枠組足場 W900	4.3	2.2	２６	枠組足場 W900	21.3	6.6	３５	枠組足場 W900	8.4	6.6		朝顔：100㎡		
9	枠組足場 W900	11.0	13.9	１８	枠組足場 W900	32.3	2.2	２７	枠組足場 W900	1.8	6.6	３６	枠組足場 W900	11.6	6.6				

※枠組足場周囲は防音シート張りとする。



【現況】２階平面図

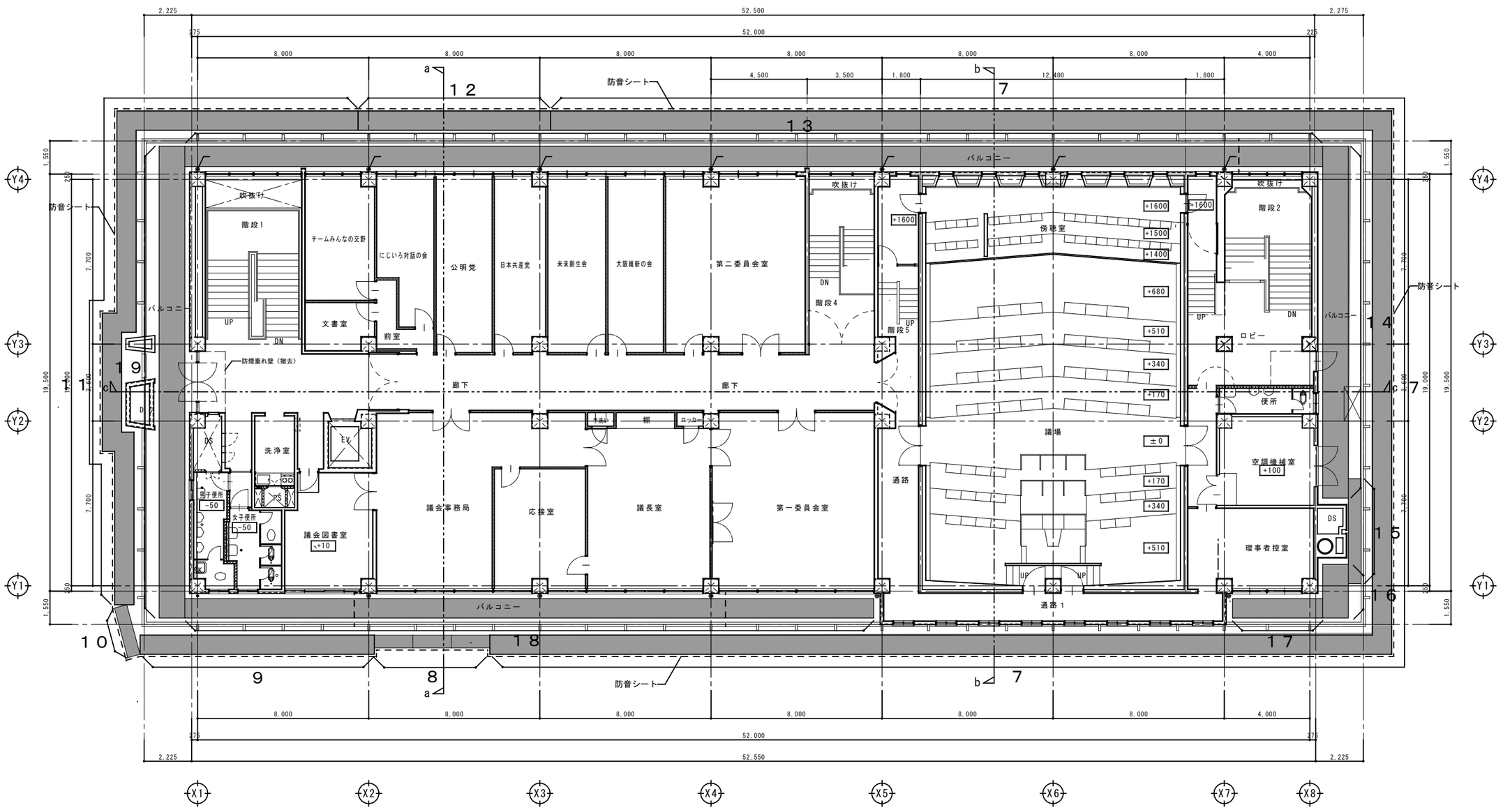
<参考>

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-162
					図面名称 仮設計画図４［２階］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

■足場リスト

番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）
1	枠組足場 W600	19.2	6.3	１０	枠組足場 W600	2.4	13.9	１９	枠組足場 W1200	22.1	2.2	２８	枠組足場 W600	3.2	6.6	３７	枠組足場 W1200	4.0	2.2
2	枠組足場 W900	20.5	6.3	１１	枠組足場 W900	35.7	13.9	２０	枠組足場 W900	1.8	7.1	２９	枠組足場 W900	1.8	6.6	３８	枠組足場 W900	9.5	6.6
3	枠組足場 W600	19.2	6.3	１２	枠組足場 W900	9.0	13.9	２１	枠組足場 W900	5.4	7.1	３０	枠組足場 W900	4.8	6.6	３９	枠組足場 W900	9.5	6.5～10.2
4	枠組足場 W900	20.5	6.3	１３	枠組足場 W900	53.2	2.2	２２	枠組足場 W900	1.8	7.1	３１	枠組足場 W600	5.4	6.6	４０	枠組足場 W900	10.5	6.6
5	枠組足場 W600	7.8	6.3	１４	枠組足場 W1200	16.5	2.2	２３	枠組足場 W600	37.5	6.6	３２	枠組足場 W900	7.9	10.0	４１	枠組足場 W900	7.8	6.6
6	枠組足場 W900	49.1	6.3	１５	枠組足場 W600	5.0	2.2	２４	枠組足場 W900	36.2	6.6	３３	枠組足場 W900	10.0	10.0	４２	枠組足場 W900	31.1	2.2
7	枠組足場 W900	106.9	13.9	１６	枠組足場 W1200	2.6	2.2	２５	枠組足場 W600	40.1	6.6	３４	枠組足場 W600	41.2	10.0	４３	枠組足場 W1200	4.0	2.2
8	枠組足場 W600	5.4	13.9	１７	枠組足場 W900	4.3	2.2	２６	枠組足場 W900	21.3	6.6	３５	枠組足場 W900	8.4	6.6		朝顔：100㎡		
9	枠組足場 W900	11.0	13.9	１８	枠組足場 W900	32.3	2.2	２７	枠組足場 W900	1.8	6.6	３６	枠組足場 W900	11.6	6.6				

※枠組足場周囲は防音シート張りとする。



【現況】３階平面図

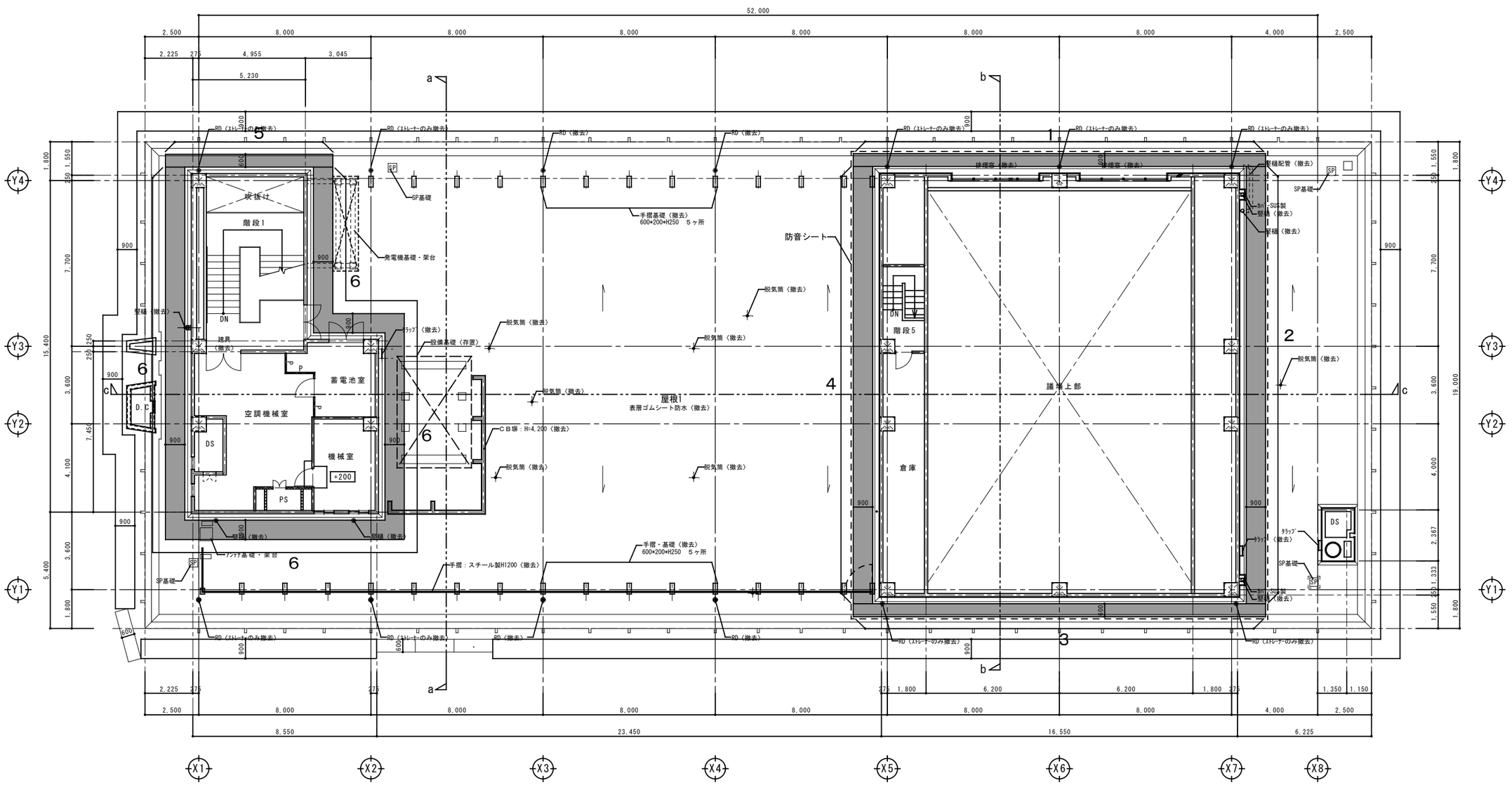
＜参考＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-163
					図面名称 仮設計画図５［３階］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

■足場リスト

番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）	番号	種類	L（m）	H（m）
1	枠組足場 W600	19.2	6.3	１０	枠組足場 W600	2.4	13.9	１９	枠組足場 W1200	22.1	2.2	２８	枠組足場 W600	3.2	6.6	３７	枠組足場 W1200	4.0	2.2
2	枠組足場 W900	20.5	6.3	１１	枠組足場 W900	35.7	13.9	２０	枠組足場 W900	1.8	7.1	２９	枠組足場 W900	1.8	6.6	３８	枠組足場 W900	9.5	6.6
3	枠組足場 W600	19.2	6.3	１２	枠組足場 W900	9.0	13.9	２１	枠組足場 W900	5.4	7.1	３０	枠組足場 W900	4.8	6.6	３９	枠組足場 W900	9.5	6.5～10.2
4	枠組足場 W900	20.5	6.3	１３	枠組足場 W900	53.2	2.2	２２	枠組足場 W900	1.8	7.1	３１	枠組足場 W600	5.4	6.6	４０	枠組足場 W900	10.5	6.6
5	枠組足場 W600	7.8	6.3	１４	枠組足場 W1200	16.5	2.2	２３	枠組足場 W600	37.5	6.6	３２	枠組足場 W900	7.9	10.0	４１	枠組足場 W900	7.8	6.6
6	枠組足場 W900	49.1	6.3	１５	枠組足場 W600	5.0	2.2	２４	枠組足場 W900	36.2	6.6	３３	枠組足場 W900	10.0	10.0	４２	枠組足場 W900	31.1	2.2
7	枠組足場 W900	106.9	13.9	１６	枠組足場 W1200	2.6	2.2	２５	枠組足場 W600	40.1	6.6	３４	枠組足場 W600	41.2	10.0	４３	枠組足場 W1200	4.0	2.2
8	枠組足場 W600	5.4	13.9	１７	枠組足場 W900	4.3	2.2	２６	枠組足場 W900	21.3	6.6	３５	枠組足場 W900	8.4	6.6		朝顔：100㎡		
9	枠組足場 W900	11.0	13.9	１８	枠組足場 W900	32.3	2.2	２７	枠組足場 W900	1.8	6.6	３６	枠組足場 W900	11.6	6.6				

※枠組足場周囲は防音シート張りとする。

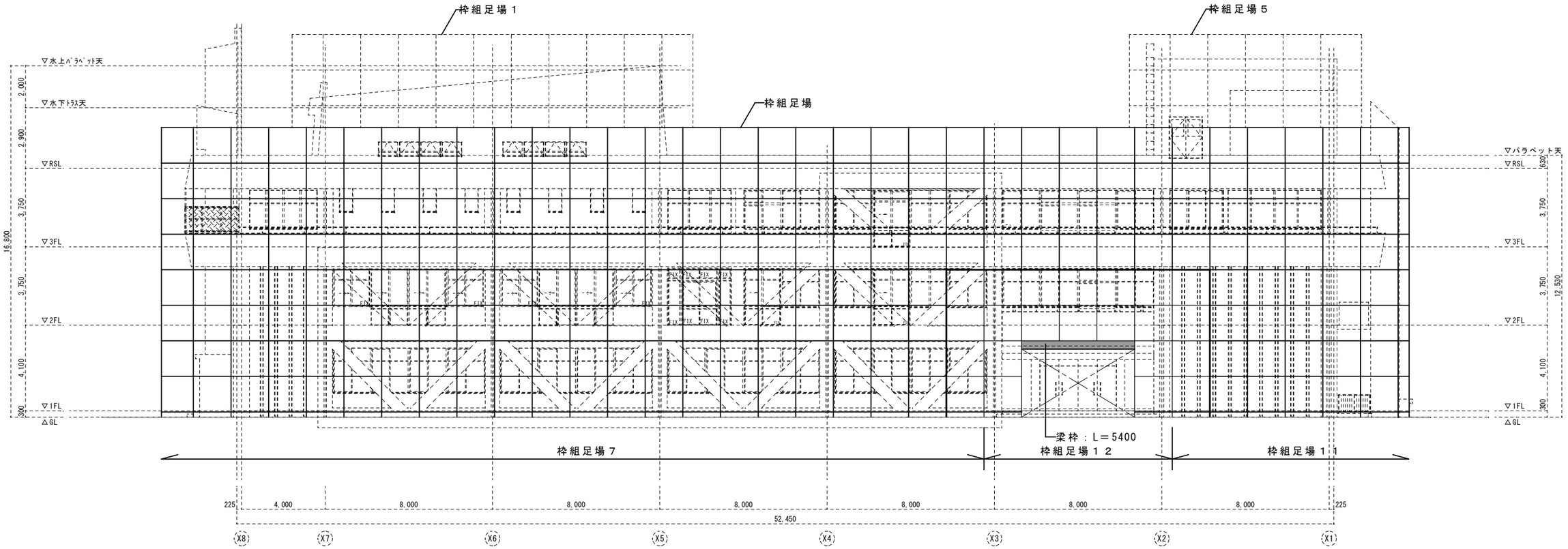


【現況】R階平面図

注）［＊］床レベルを示す。
※特記なき限りFL±0とする。

<参考>

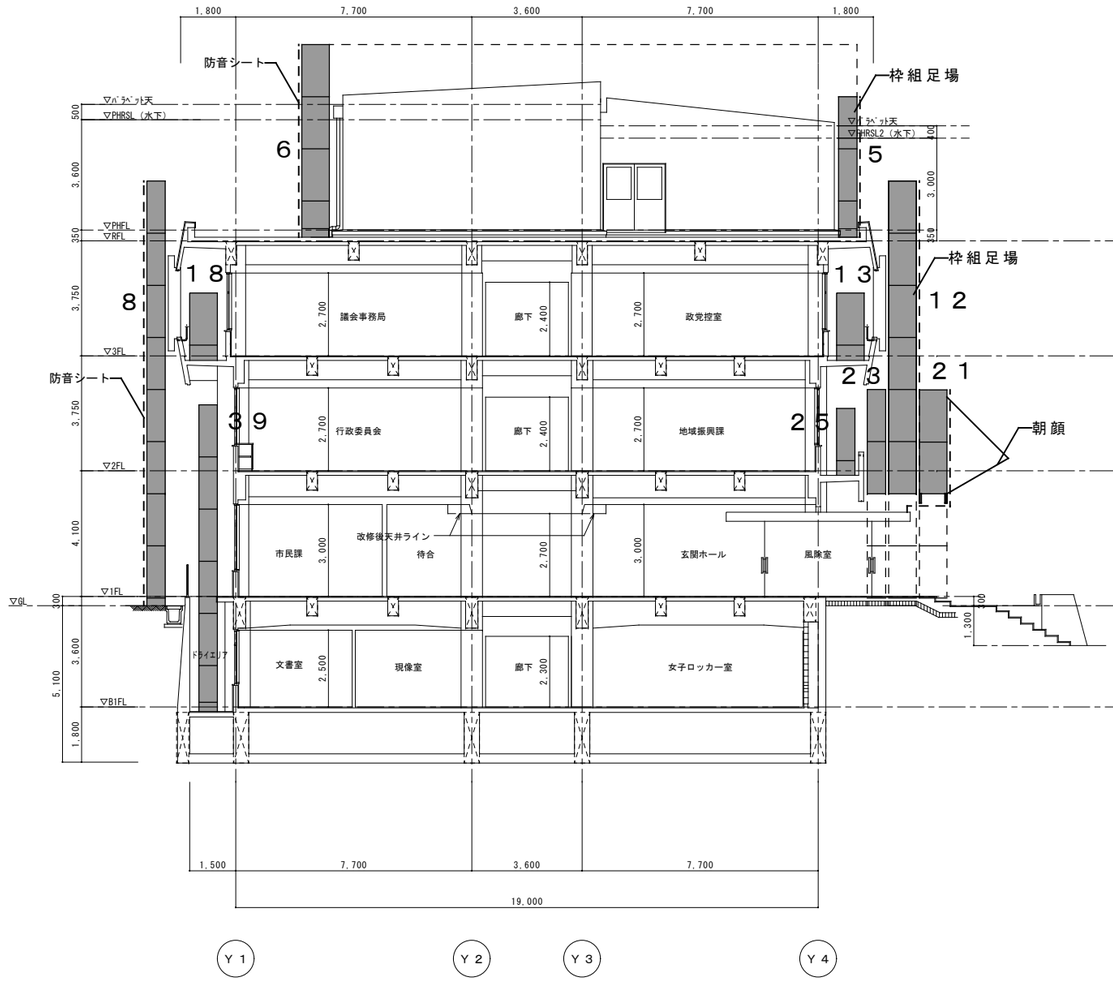
代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-164
					図面名称 仮設計画図６［Ｒ階］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 —	—	



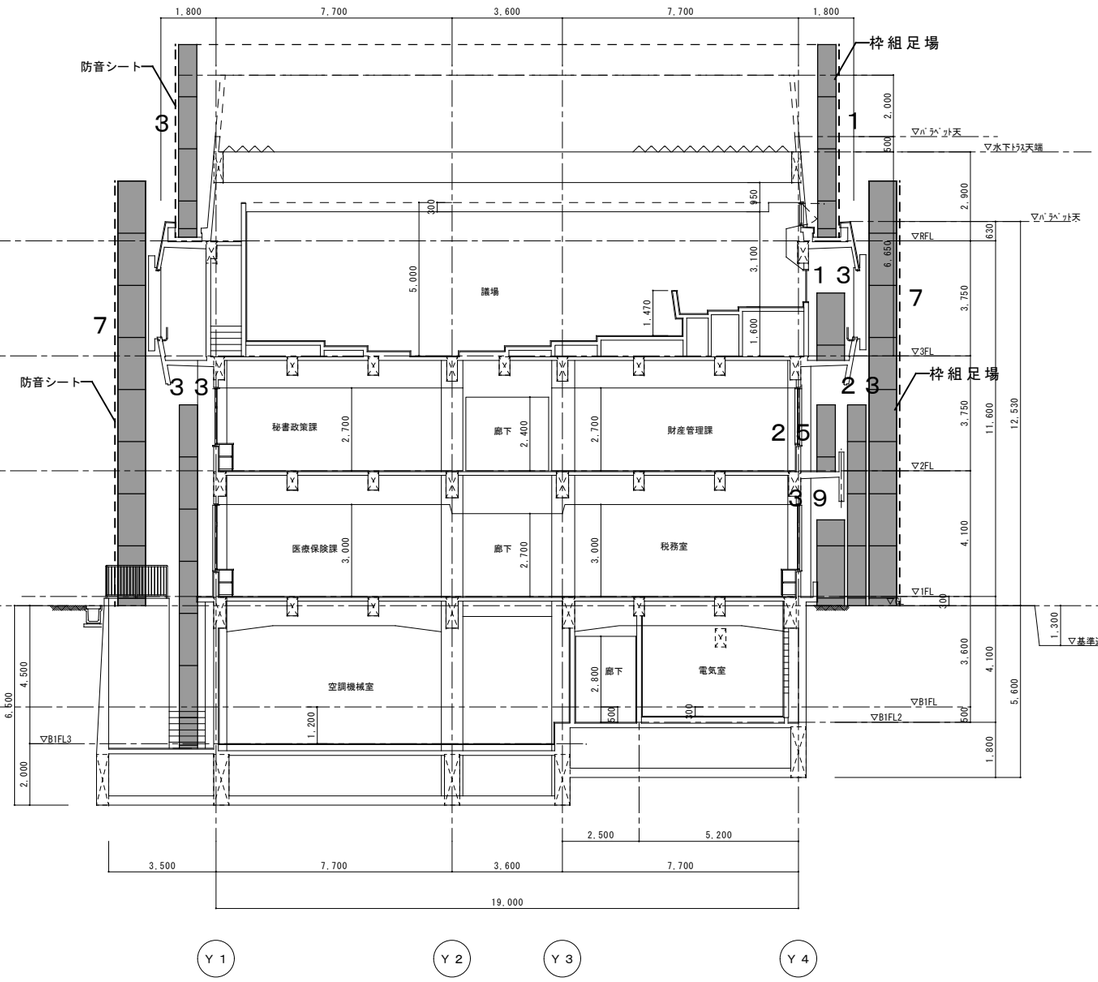
【改修後】北側立面図

<参考>

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-165
					図面名称 仮設計画図７［北側立面］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	



ａ－ａ 断面図

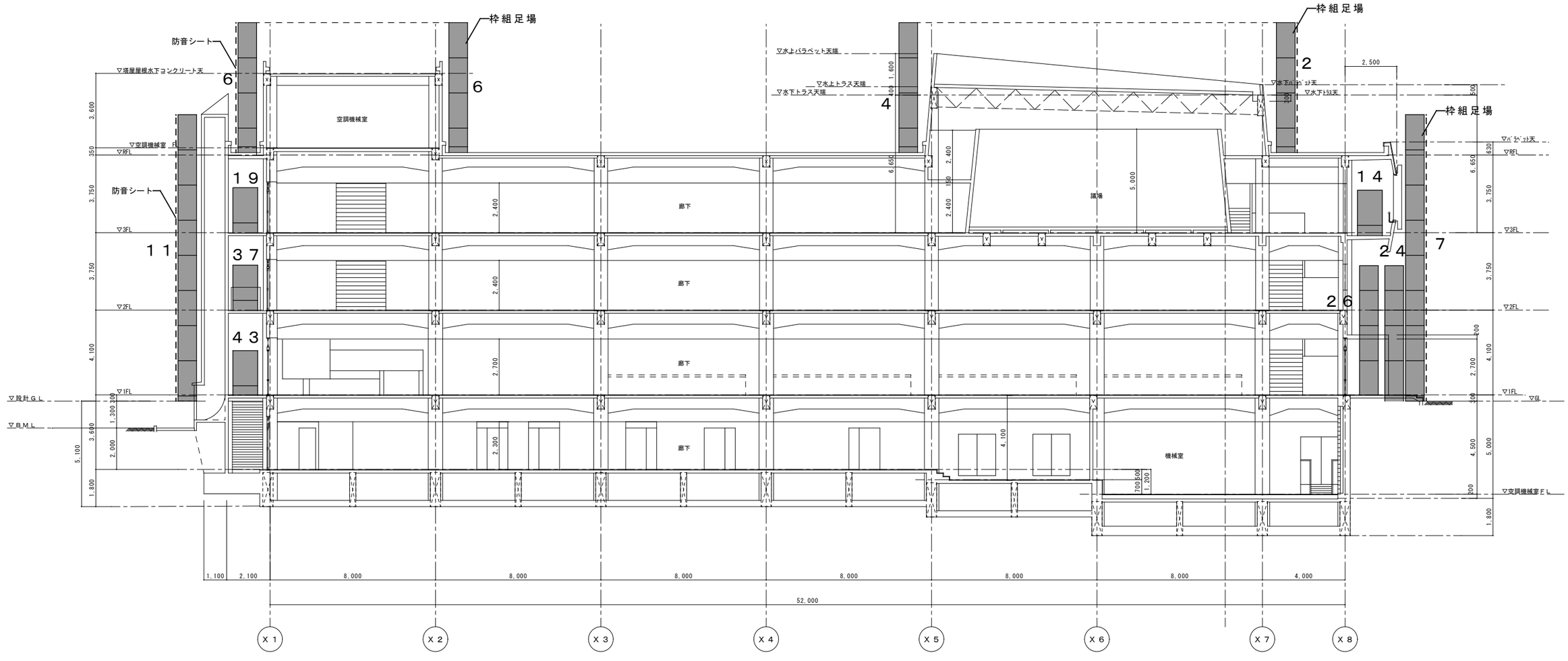


ｂ－ｂ 断面図

【現況】断面図１

＜参考＞

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-166
					図面名称 仮設計画図８［断面１］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		



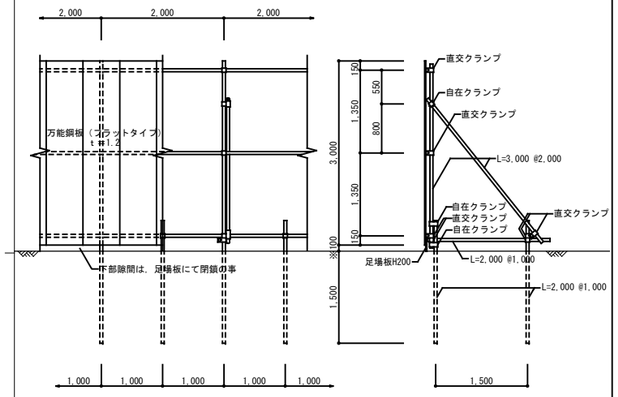
ｃ－ｃ 断面図

【現況】断面図２

<参考>

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-167
				図面名称 仮設計画図９［断面２］ 縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	整理番号 — —		

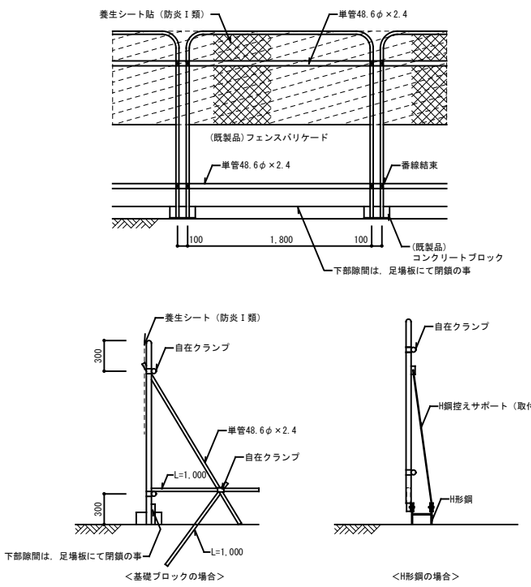
仮囲いA　詳細図　1/50



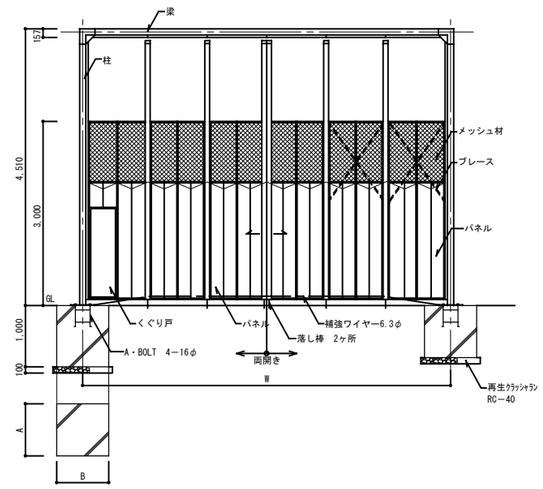
カラー鋼板　H=3,000

鋼管支柱仮囲い　（仮囲鋼板ｔ1.2　溶融亜鉛メッキカラー塗装品）
支柱・胴縁等の単管パイプは全て外径48.6φ×ｔ2.4とする。
仮囲鋼板は　鈴東（株）、日本セイフティー（株）、日本機電（株）又は同等品以上とする。

カードフェンス　詳細図　1/30



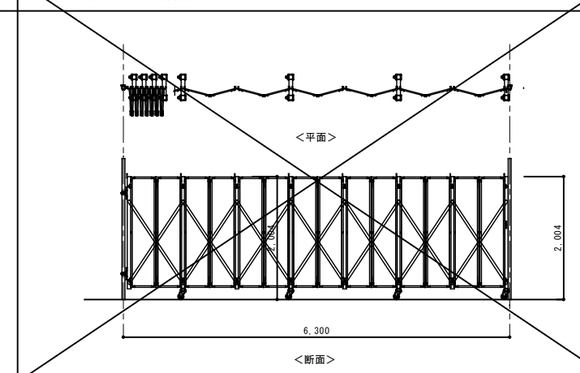
パネルゲート　詳細図　1/50



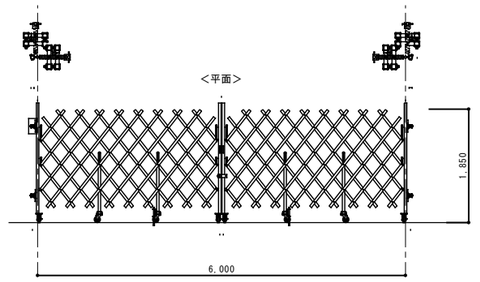
適応		○			
	W=5,000	W=6,300	W=7,000	W=8,000	W=9,000
柱	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3
梁	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3
基礎A	700	850	850	900	900
基礎B	700	850	850	900	900

基礎コンクリート設計基準強度　Fc=18N/mm²、スランプ15cm
施錠金物及び南京錠付。
門扉本体については日本機電(株)(NKパネルゲートPGN型)、太陽工業(株)(パネルゲート)、
オカモト産業(株)(OKパネルゲート54型)、又は同等品以上とする。

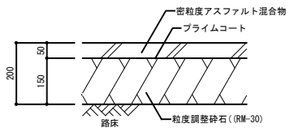
パネルキャスターゲート　詳細図　1/30



キャスターゲート　詳細図　1/30

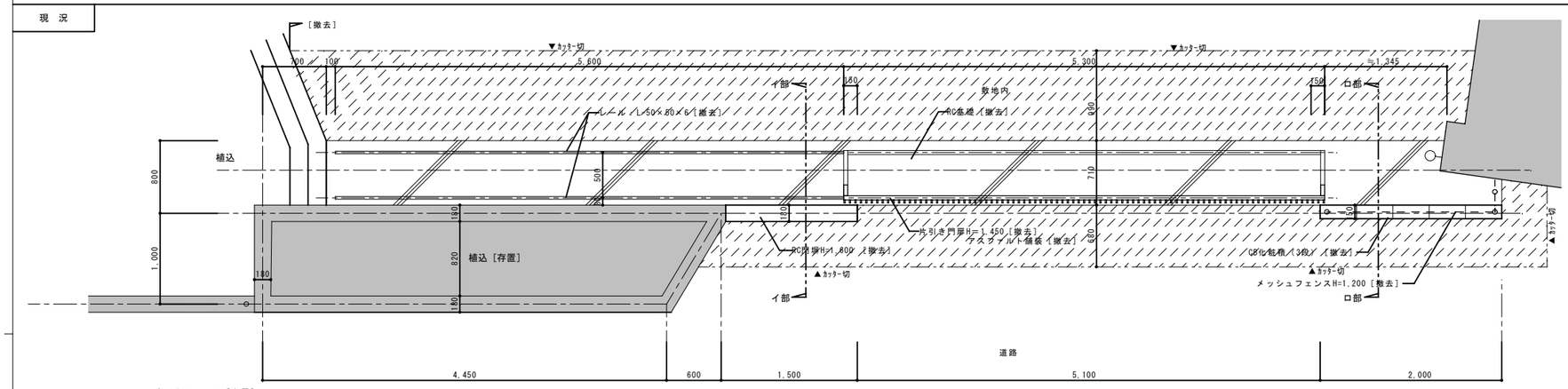


アスファルト舗装　詳細図　1/10

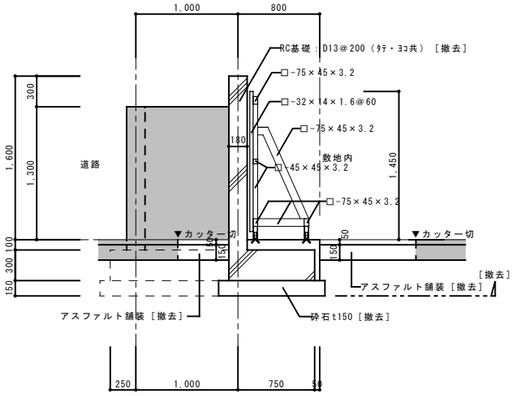


代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-168
					図面名称　仮設詳細図１　縮尺　図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号 — —		

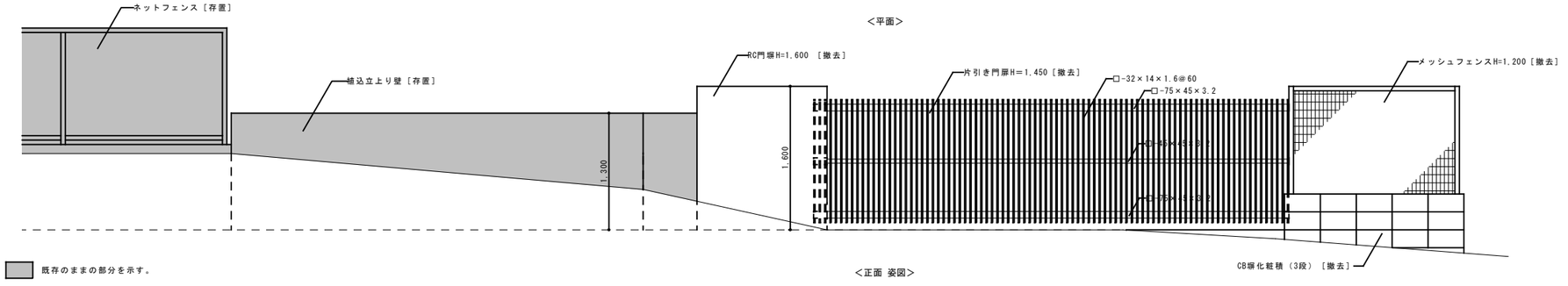
現　況



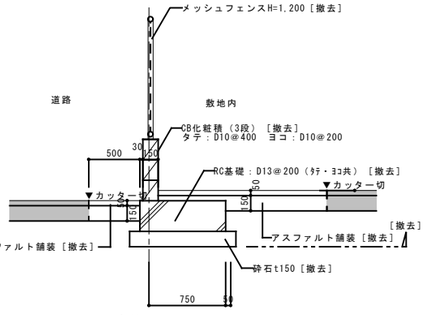
＜平面＞



＜イ部断面＞



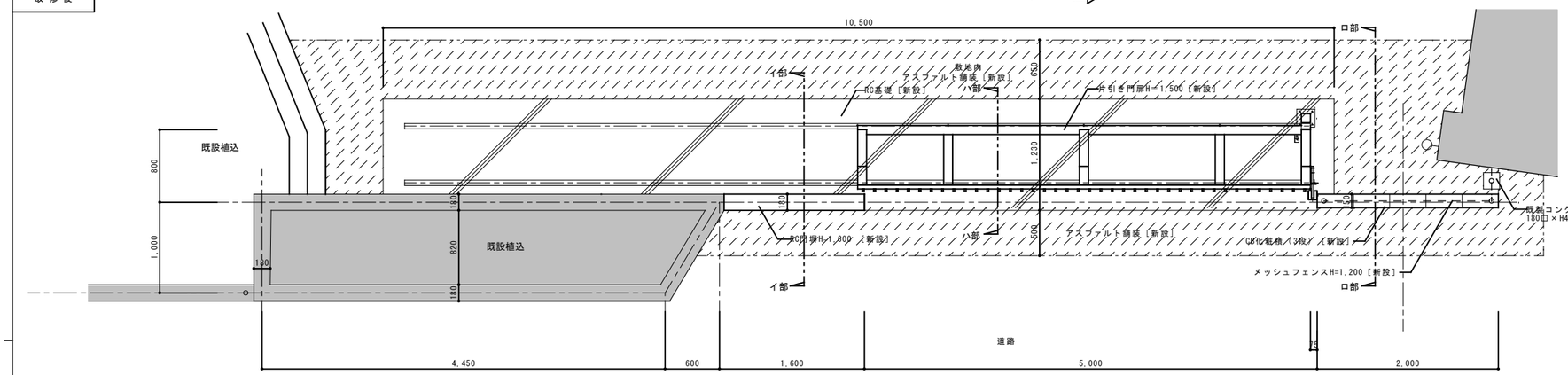
＜正面 姿図＞



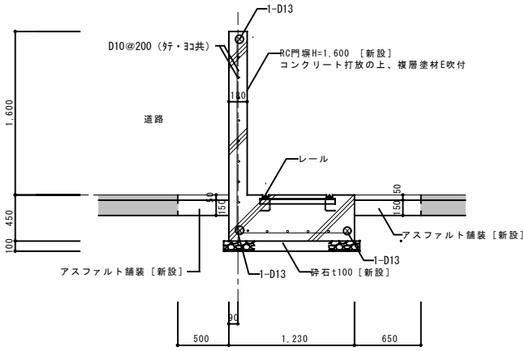
＜ロ部断面＞

既存のままの部分を示す。

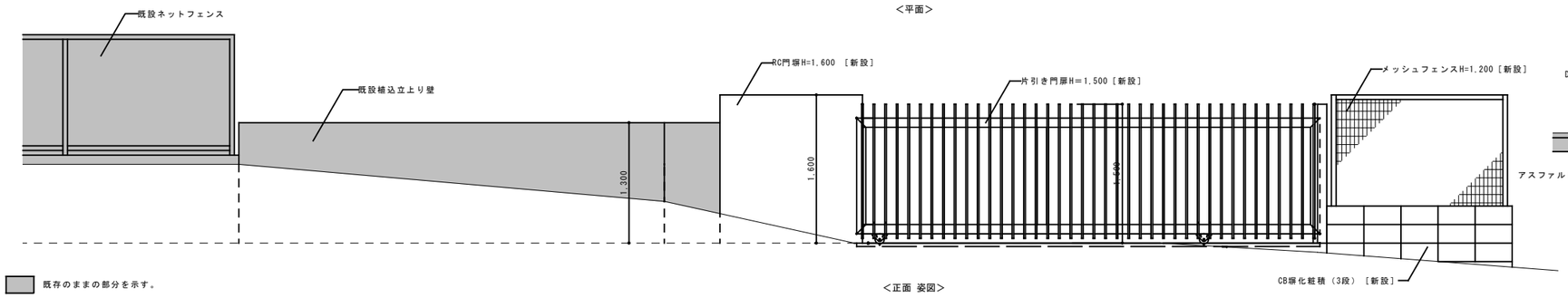
改 修 後



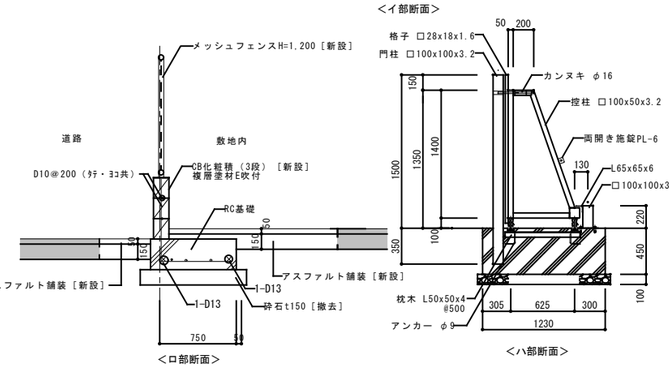
＜平面＞



＜イ部断面＞



＜正面 姿図＞



＜ロ部断面＞

＜ハ部断面＞

既存のままの部分を示す。

※片引き門扉は、JFE建材㈱・大型引戸TH-65（特注）又は同等品。
※メッシュフェンスは、㈱朝日スチール工業・UNフェンス又は同等品。
※コンクリート設計基準強度　24N/mm2　スランプ18cm
※鉄筋はSD-295A

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備改修工事	—	令和７年１０月	A-169
					図面名称　仮設詳細図２　縮尺　図示(A1) 図示/2(A3)	整理番号 —	—	

N

敷地境界線

水路に放流

別館庁舎

駐車場

第２別館

口庇

正面玄関

宅内最終桝

既設

公共下水へ排水

道路境界線

道路中心線

車道（幅員＝5,160）

接道長 L=94,400

歩道（幅員＝2,160）

ATM

ゴミ庫

UP

DN

駐車場（１０台）

駐車場（７台）

駐輪場A

駐輪場B

車道

旧消防庁舎

HP150

HP125

HP250

HP175

1～2F

1～3F

1F

※鋼板を台車にてトロリー直下まで移動

※北面鋼板工事時施工ヤード

4tトラック

スロープ（撤去）

本館庁舎

駐車場（６台）

植栽

駐輪スペース

ヒューム管

25tラフター

<屋根仮撤去・復旧>

<上屋鉄骨<一部仮撤去・復旧>

5,000

19,000

4,000

10,000

9,920

6,350

52,000

X1

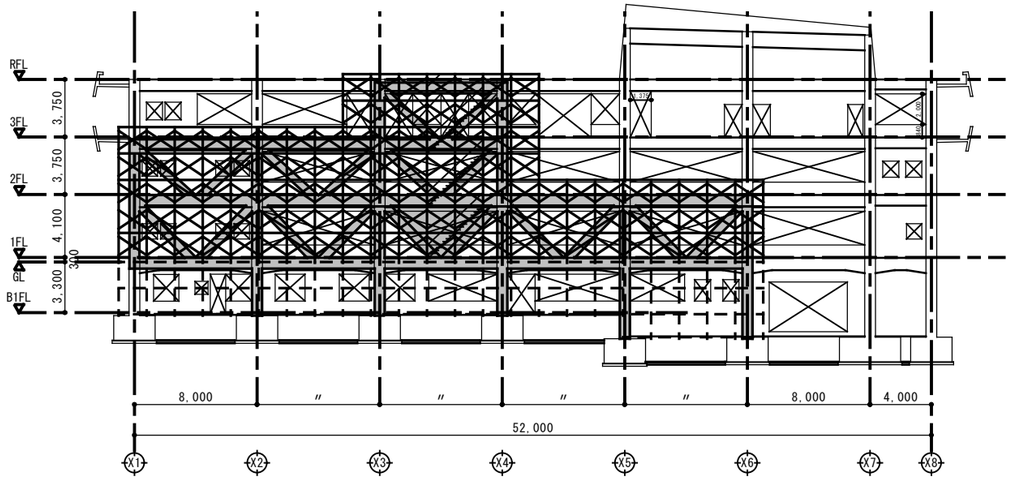
X8

【現況】配置図

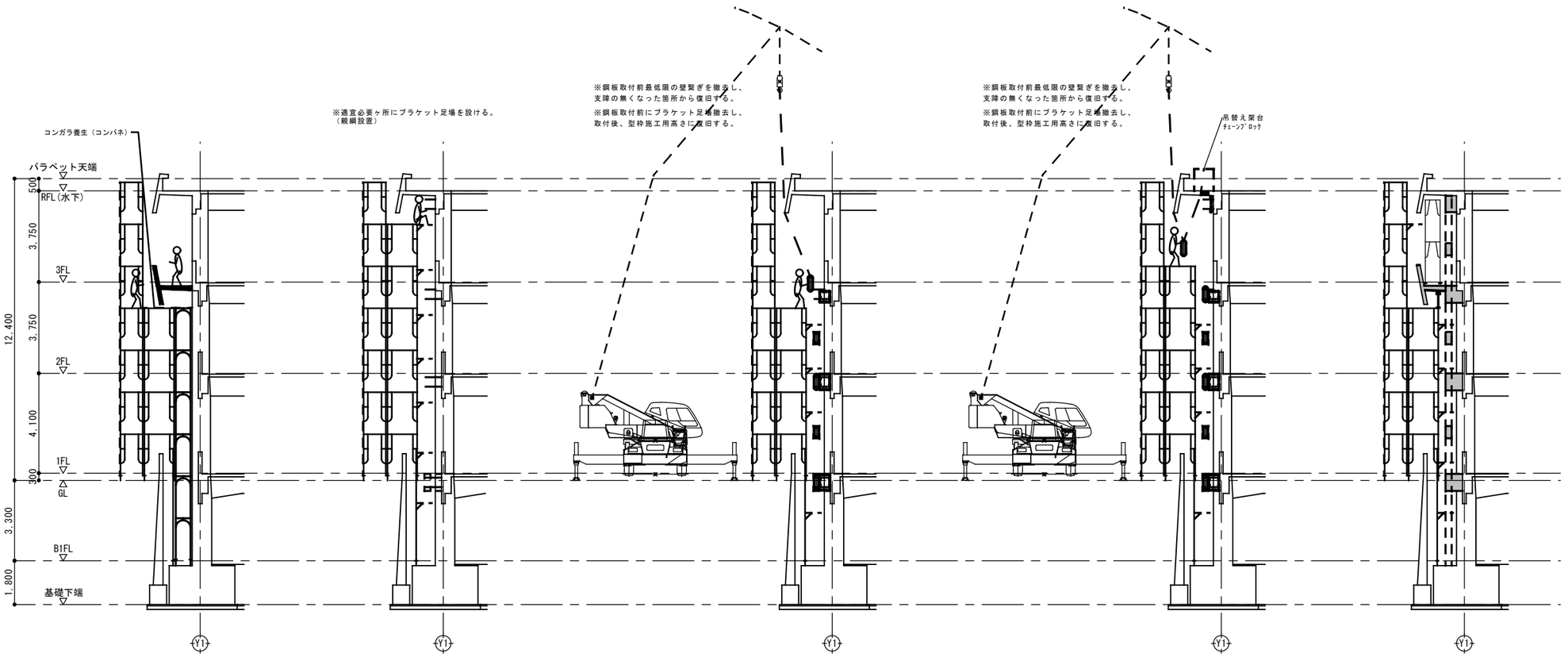
<参考>

代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備改修基本方針及び基本・詳細設計	設計番号 —	設計年月日 令和７年１０月
図面名称	仮設計画図（ピタコラム工法）１ 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —	図面番号 A-170



南側立面図（Y1通） 1/200

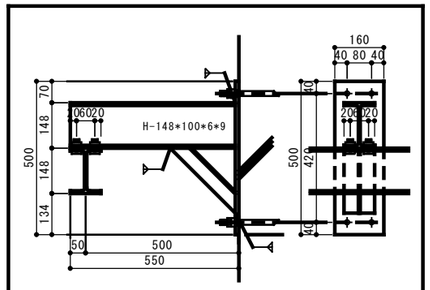


<3階バルコニー撤去作業時>　<目荒し・アンカー作業時>　<鋼板・鉄筋仕舞作業時>　<鋼板・鉄筋仕舞作業時>　<3階バルコニー復旧時>

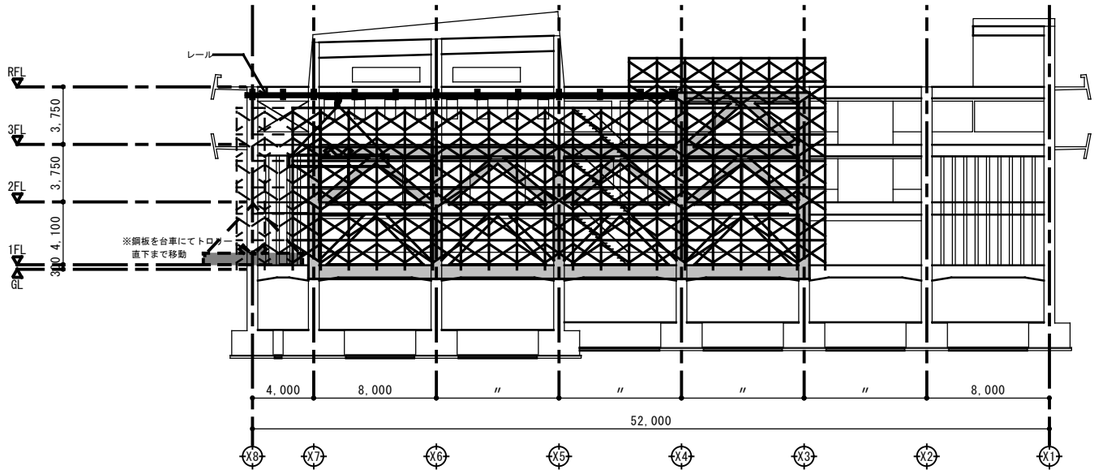
各段階断面図　1/100

＜参考＞

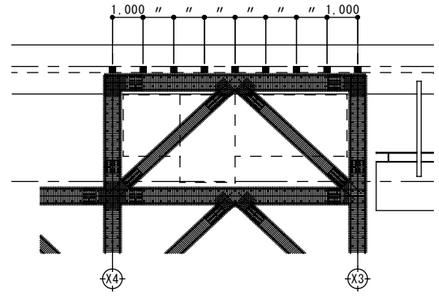
代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備改修基本方針及び基本・詳細設計	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	仮設計画図（ピタコラム工法） 2　縮尺 1/100 1/200(A1) 1/200 1/400(A3)	整理番号	令和７年１０月	A-171



<ホイスト用ブラケット・レール（参考）1/10>



北側立面図（Y4通）1/200

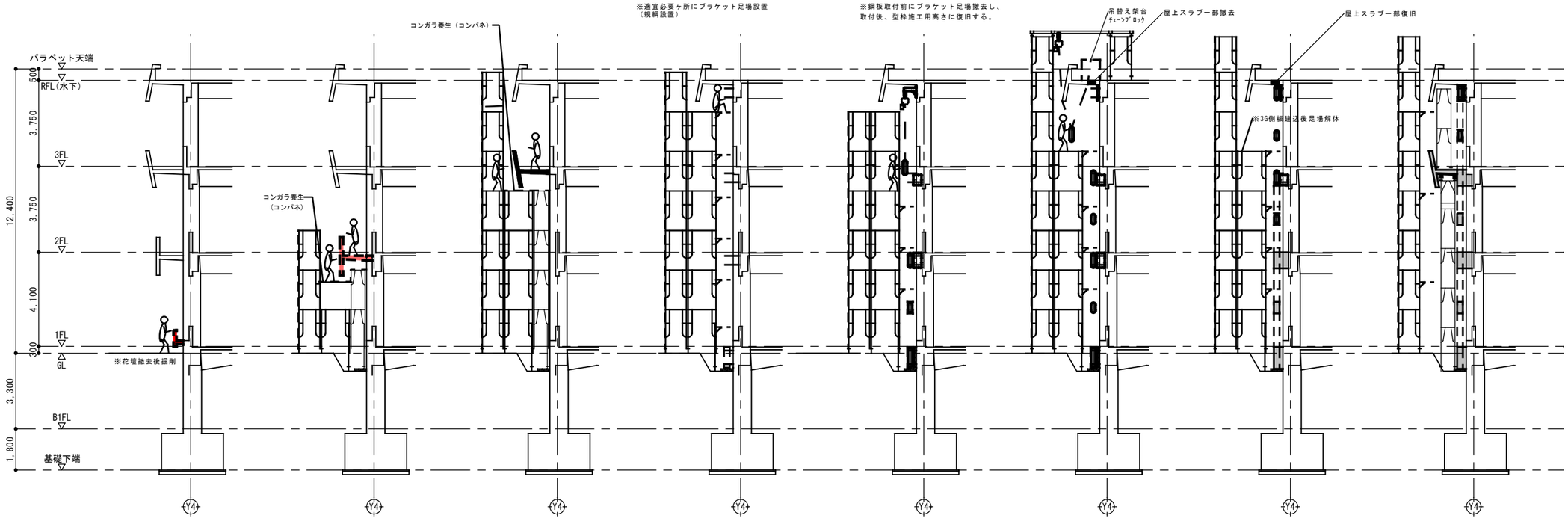


屋上スラブ一部撤去・復旧　1/100

※適宜必要ヶ所にブラケット足場設置（親綱設置）

※鋼板取付前最低限の壁繋ぎを撤去し、支障の無くなった箇所から復旧する。

※鋼板取付前にブラケット足場撤去し、取付後、型枠施工用高さに復旧する。



<花壇撤去作業時>　<2階バルコニー撤去作業時>　<3階バルコニー撤去作業時>　<目荒し・アンカー作業時>　<鋼板・鉄筋仕舞作業時>（２層補強部分）　<鋼板・鉄筋仕舞作業時>（３層補強部分）　<3階バルコニー復旧前>　<3階バルコニー復旧時>

各段階断面図　1/100

<参考>

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備改修基本方針及び基本・詳細設計	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	仮設計画図（ピタコラム工法）３ 縮尺 1/10 1/100 1/200(A1) 1/10 1/100 1/200(A3)	整理番号	令和７年１０月	A-172

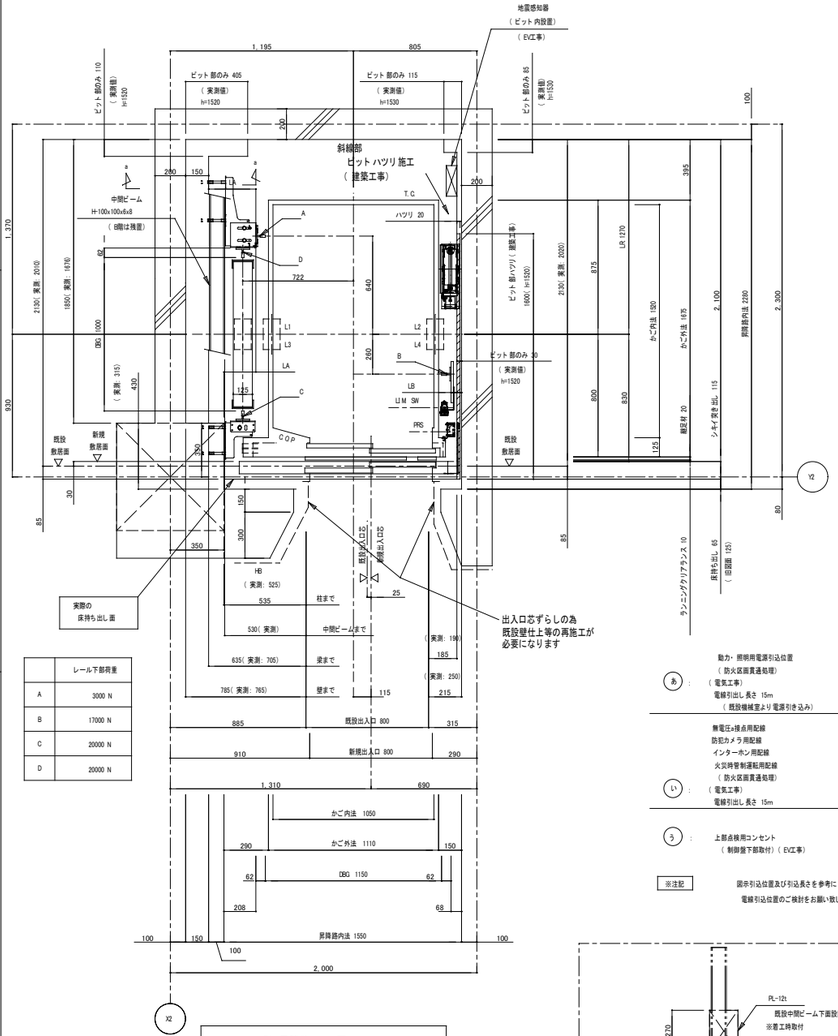
各段階の工事の流れ

＜地階→3階→2階→1階＞

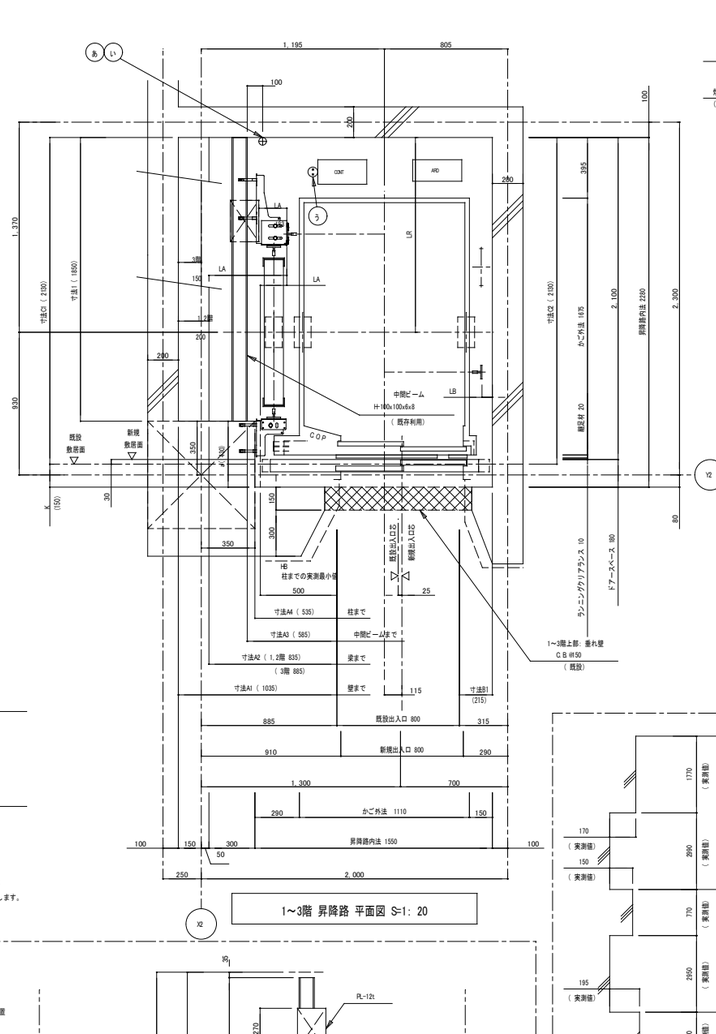
段階		項目	想定 各工事期間（月）※1
準備期間①		別館1・3階 → 別施設へ移動 ↓ 1階各室 → 別館1・3階へ移動 ↓ 地階各室 → 1階へ移動 （仮設間仕切・扉等設置：警備員室）	≒1.5カ月
準備段階	1 2 3 4 5 6 7	地階天井全面撤去 屋上設備基礎・架台設置 受水槽・各種水中ポンプ更新 給水・ガス引込替え又は迂回 雨水迂回 汚水迂回 幹線迂回	≒2.5カ月
第一段階 （地階）	1 2 3 4	地階内部工事（建築・電気・機械） 地階・1階便所工事（建築・電気・機械） ※2・3階便所使用不可 地階耐震補強工事（柱補強、外部開口閉塞・増打） 耐震補強工事（外壁廻り） 議場：アスベスト除去（各議会開催間の休会の間） ※2	≒4.5カ月
準備期間②		1階移動の地階 → 地階へ戻る ↓ 2階各室 → 1階へ移動 3階各室 → 2階へ移動 （仮設間仕切・扉等盛替え）	≒1.25カ月
第二段階 （3階）	1 2 3 4 5 6 1	3階内部工事（建築・電気・機械） 2・3階便所改修（建築・電気・機械） ※1階便所使用不可 ただし、地階便所は使用可能 耐震補強工事（外壁廻り） 外壁補修・吹替工事 EV工事 3階議場エリア内部工事（建築・電気・機械）【1/3】 ※3 R階機械室AHU撤去（3階用）・PH階高架水槽撤去	≒5.5カ月
準備期間③		2階移動の3階 → 3階へ戻る	≒0.5カ月
	1	3階議場エリア内部工事（建築・電気・機械）【2/3】 ※3	
第三段階 （2階）	1 2 3	2階内部工事（建築・電気・機械） 3階議場エリア内部工事（建築・電気・機械）【3/3】 ※3 屋上キュービクル設置	≒5.5カ月
準備期間④		1階移動の2階 → 2階へ戻る 地階ダクト関係撤去工事	≒0.5カ月
第四段階 （1階）	1 2	1階内部工事（建築・電気・機械） 屋上防水工事	≒5.5カ月
準備期間⑤		別館移動の1階 → 1階へ戻る	≒0.5カ月
	1 2 3	地階電気室→屋上キュービクルに受電切り替え・各階幹線切り替え、地階動力盤撤去 地階天井工事 竣工書類等作成	≒2.25カ月
竣　工			計 ≒30カ月

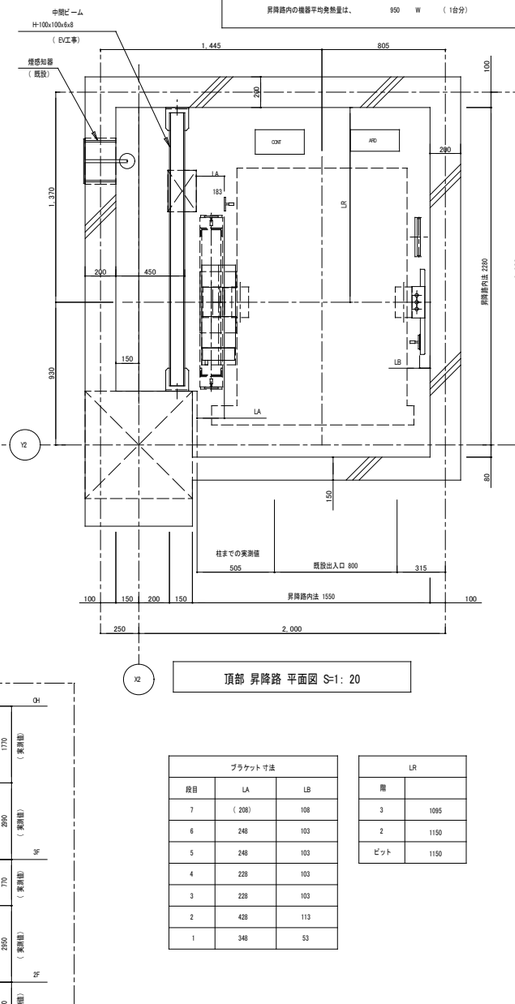
※1：上記、想定 各工事期間はあくまで目安のため、工事契約後、すみやかに請負業者にてマスター工程を作成の上、発注者と調整を行うこと。
※2：議場天井内のアスベスト除去は各議会間の議会が行われていない間に行うこと。
※3：議場エリア内部工事は、議会を一時休会とし工事を行うが時期については発注者側と十分協議の上工事を行うこと。

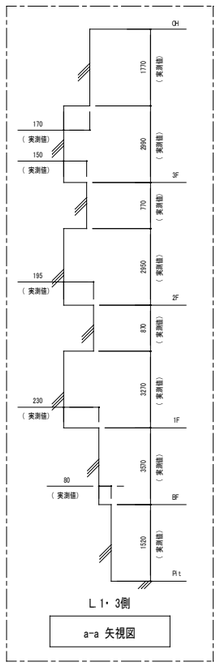
代表者	照　査	担　当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和７年１０月	図面番号 A-173
					図面名称 各段階工事の流れ（案） 縮尺 －(A1) －(A3)	整理番号 — —		



	レール下部荷重
A	3000 N
B	17000 N
C	20000 N
D	20000 N





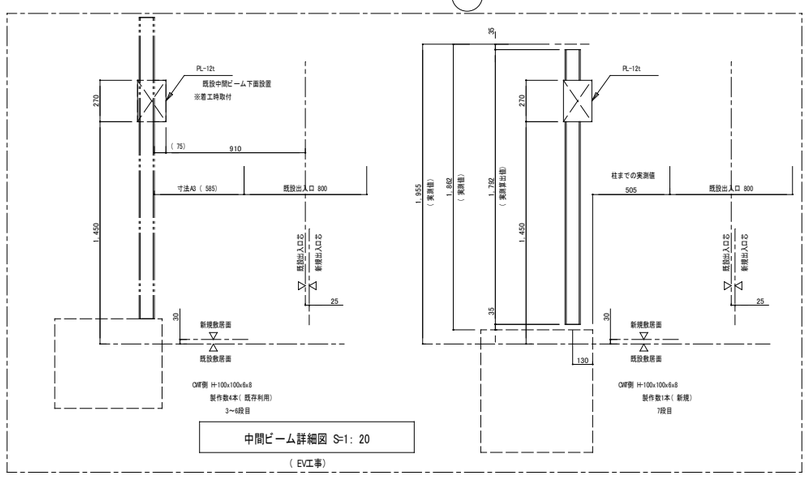


助力・照明用電源引込位置
（防火区画貫通処理）
（電気工事）
電線引出し長さ 15m
（既設機械室より電源引き込み）

無電圧a接点用配線
防犯カメラ用配線
インターホン用配線
火災時管制運転用配線
（防火区画貫通処理）
（電気工事）
電線引出し長さ 15m

上部点検用コンセント
（制御盤下部取付）（EV工事）

※注記
図中引込位置及び引込長さを参考に
電線引込位置のご検討をお願い致します。



実測値

	a	寸法A1	寸法A2	寸法A3	寸法A4	寸法B1	寸法C1	寸法C2
RF	–	–	–	–	–	–	–	–
3F	350	1020	865	545	505	245	1955	1962
2F	350	1020	820	585	510	240	1974	1968
1F	400	1000	775	565	500	240	1970	1968

実測値

	寸法1	K
RF	–	–
3F	1862	220
2F	1823	160
1F	1780	160（L1・3） 120（L2・4）

防犯カメラ用配管配線（電気工事）

映像出力先 — 5D-2V — ELV昇降路

インターホン用配管配線（電気工事）

B 階 管備員詰所 — CPEV 0.9- 5 P — ELV昇降路

火災管制運転用自火報接点配管配線（電気工事）

自火報 発信機 — HP-1.2-2C — ELV昇降路

エレベーター用電源設備容量（電気工事）（ 1 台 1回線）

1. 動力用電源 3φ3W　210V 60Hz　（トランス容量　3.7　kVA）
電線　5.5　mm²×3　アース線（IV2B用)種　）　2.0　mm²
最大電線長さ　62　m以内とする　MCCB　容量 3P　30　A
2. 照明用電源 1φ　100V　1 kVA

※ 電源電圧の変動率は昇降路受電端において±5%以内としてください。

昇降路内の機器平均発熱量は、　950　W　（1台分）

エレベーター仕様

基本仕様	用途	乗用（車いす用）
	制御方式（回路種別）	可変電圧可変周波数制御方式（回生ドライブ付） ※PWMコンバーター（自励三相ブリッジ）
	操作方式	方向性乗合全自動方式
	積載量	600　kg（　9 名）
	速度	60　m／min
	電動機	AC　3.7 kW
	戸の形式	2枚片引き戸
	主索	t3.3 x W60 x 3本　（ 2：1）
	停止箇所	4 箇所　（　B，1 ～ 3　階　）
	昇降行程	11450　mm
	かご内法	間口　1050 x　奥行　1520 mm
	出入口	幅　800 x　高さ　2000 mm
特記事項	・常時主索検査装置（パルスシステム）	
	・国交省新安全基準対応（戸開走行保護装置付）	
	・昇降機耐震設計・施工指針2016年版対応（耐震設計：A14）	
	・長周期地震対策付	
	・地震時管制運転（P-S波センサー）3段設定［リスタート運転機能付］	
	・地震時自動診断・復旧システム（保守契約で対応可能）	
	・停電時自動着床装置（バッテリー運転）	
	・聴覚障がい者仕様	
	・視覚障がい者仕様（点字，利用銘板，音声合成アナウンス装置［エレボア］）	
	・かごドア引き込まれ防止装置（ハンドタッチセンサー）	
	・火災時管制運転（避難階：1階）	
	・全階　遮煙乗場ドア（大臣認定番号：QAS-0663）	
	・車いす仕様（手すり（2方向），多光軸ドアセンサー（MEDS） 専用操作盤（主・副），専用乗場ボタン，背面中央パネル-SUS鏡面）	
	・車いす利用銘板	
	・インターホン呼びボタン乱用防止カバー　付	
	・かごボタン登録取消し機能	
	・かご荷揃（ステンレスヘアライン仕上　H=300）	
	・パーキングスイッチ付　1箇所（8階乗場ボタン組込み）	
	・防犯カメラ（録画装置　店所手配）	
	・防犯カメラ用昇降路内配線	
	・防犯モニター 5.6インチ カバー付壁掛式（1階のみ）	
	・映像分配器（2分配）	
	・シーケンシャルスイッチャー	
	・インターホン親機（ 8階：警備員詰所）	
	・回生電力対策（DBR）	
	・EV制御盤ELCB対応	
	・点検時給油不要エレベーター	
	・出入口高さ 2000mm	
	・絶縁トランス	
	・かご上ローラーガイド φ100	
	・マシン二重防振	
	・中間ビーム	

ブラケット寸法		
段目	LA	LB
7	（ 208）	108
6	248	103
5	248	103
4	228	103
3	228	103
2	428	113
1	348	53

LR	
階	
3	1095
2	1150
ピット	1150

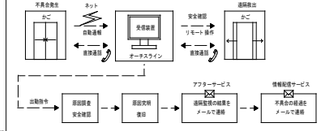
地震時による　レール反力（ KH=0.6）（ 耐震設計：A14）			
		Rt	R2
Rt R2	カー　側	3000 N	1500 N
	カウンター側	4700 N	2400 N

既設コンクリート強度：18N／mm²（ 普通コンクリート ）

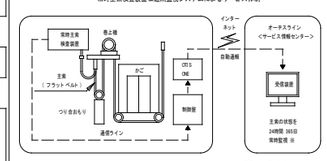
（ 建物竣工：1993年11月）

改修工事概要
既設エレベーターを撤去し新設する工事とする。

リモートリカバリーサービス　※本サービスは保守契約有償オプション

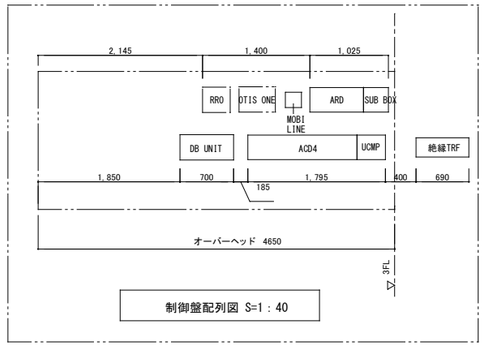


常時主索検査装置＆遠隔監視システムによるサービス体制

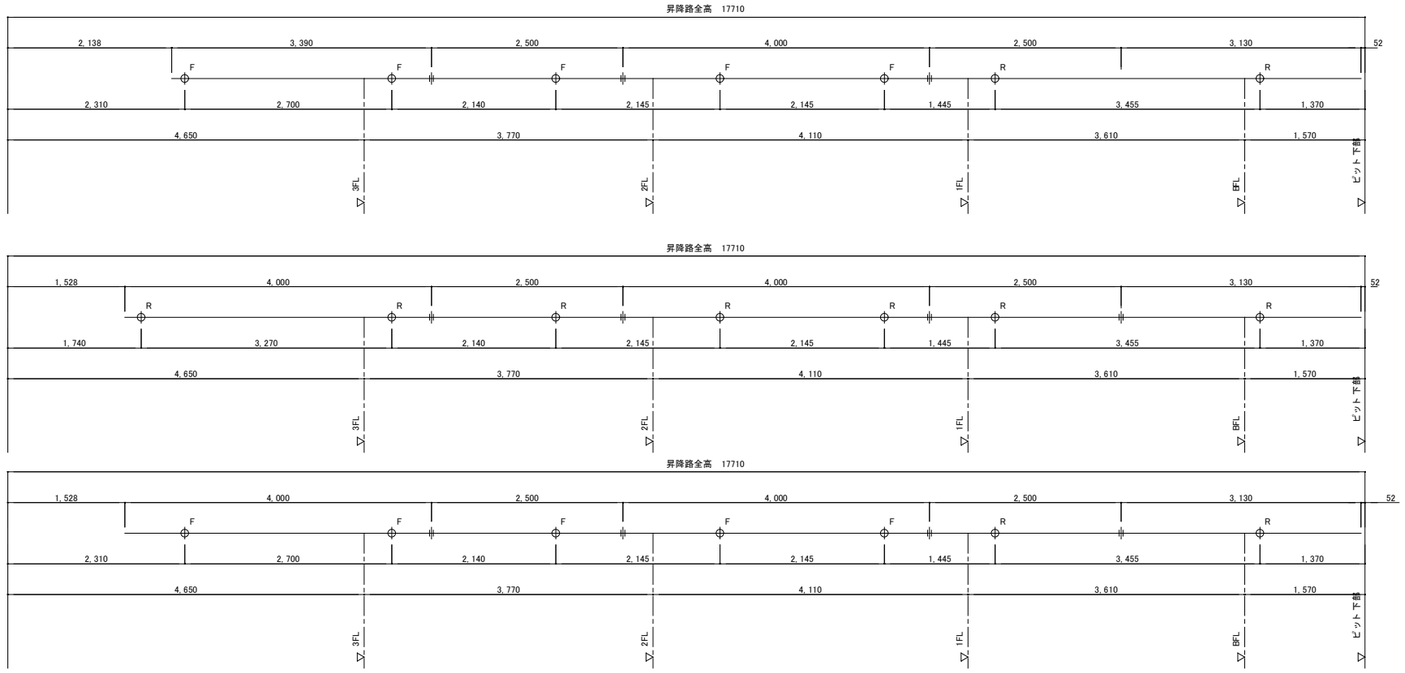


※この サービス体制には
日本オーチス・エレベータ（ 株）
との保守点検契約が必要です

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	——	令和 7 年 10 月	EV-01
				図面名称　昇降路 平面図　　縮尺　1/20(A1)　1/40(A3)	整理番号	——	——
				＊ ＊ ＊			



制御盤配列図 S=1：40



レール継目 Ⓘ　レールブラケット取付位置

カウンターレール立て図　S=1：40

レール継目 Ⓘ　レールブラケット取付位置

L2／L4側（ LB側）

カーレール立て図　S=1：40

レール継目 Ⓘ　レールブラケット取付位置

L1／L3側（ LA側）

カーレール立て図　S=1：40

昇降路 断面図 S=1：40

かご先端すき間図

動力・照明用電源引込位置
（防火区画貫通処理）
あ：（電気工事）
電線引出し長さ 15m
（既設機械室より電源引き込み）

防犯カメラ用配線
インターホン用配線
火災時管制運転用配線
（防火区画貫通処理）
い：（電気工事）
電線引出し長さ 15m

う：上部点検用コンセント
（制御盤下部取付）（EV工事）

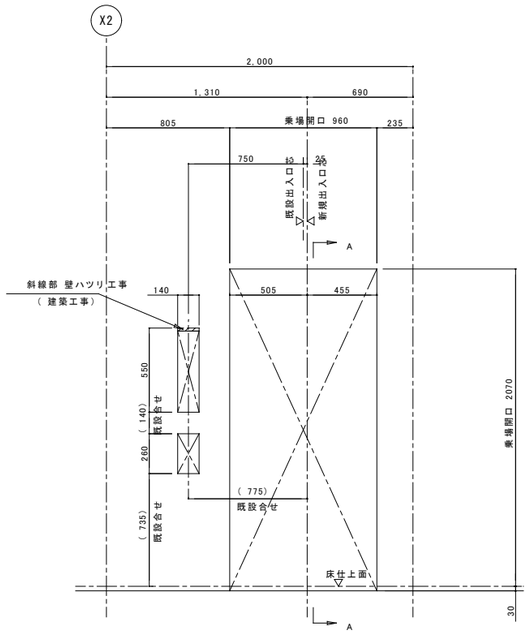
※注記　図示引込位置及び引込長さを参考に
電線引込位置のご検討をお願い致します。

頂部すき間については　平成12年　建設省告示　第1423号　第1　ロによる
ピット深さについては　平成12年　建設省告示　第1423号　第1　イただし書きによる

最大カーレール取付間隔	3600
最大カウンターレール取付間隔	3600
（ 中間ストッパー付）	

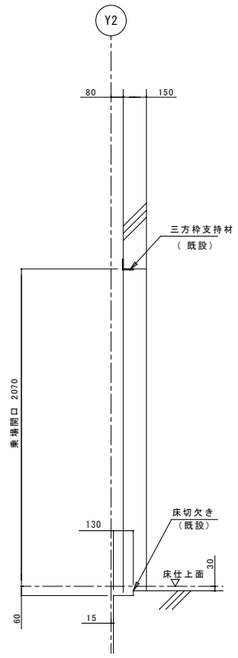
ピット衝撃荷重		
カー　側（短期）	57000	N
カウンター側（短期）	44000	N

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和７年１０月	EV-02
				図面名称　昇降路 断面図・レール立て図　縮尺 1/40(A1) 1/80(A3)	整理番号		
				＊＊＊	―	―	

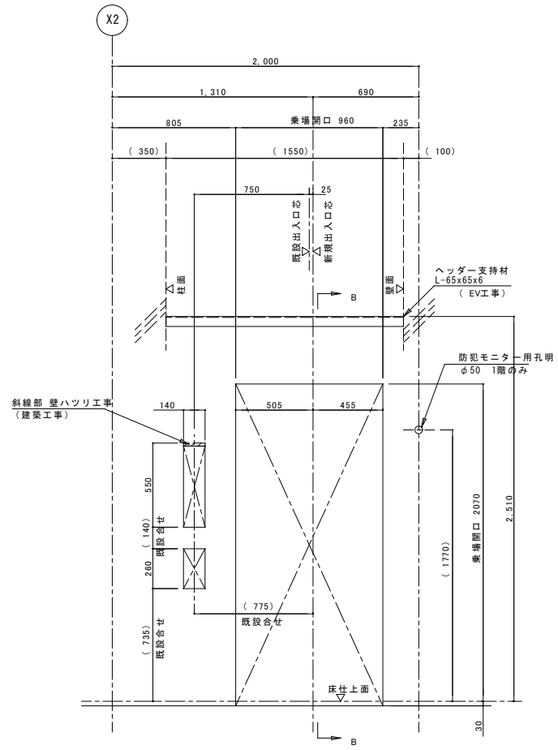


B階 出入口 孔明図 S=1：20

（ 建築工事）

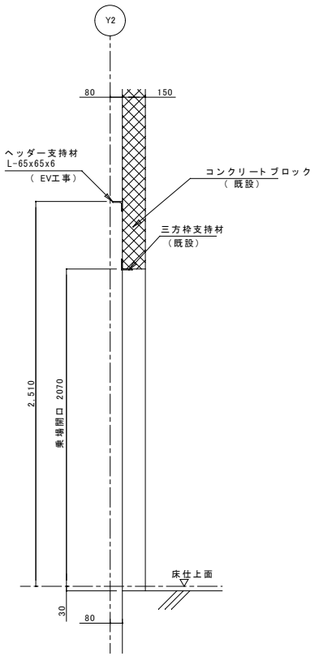


矢視 A-A



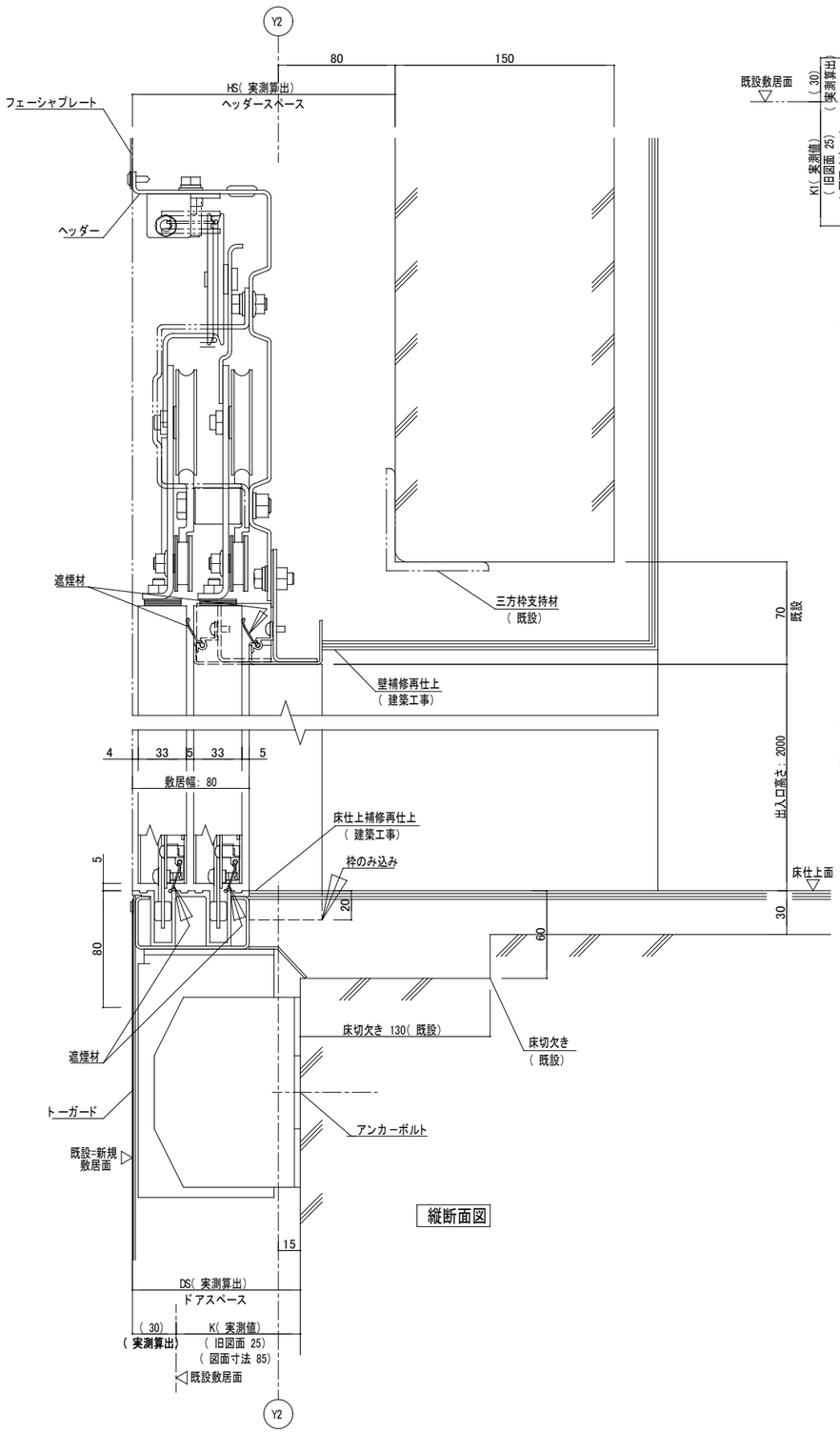
1～3階 出入口 孔明図 S=1：20

（ 建築工事）

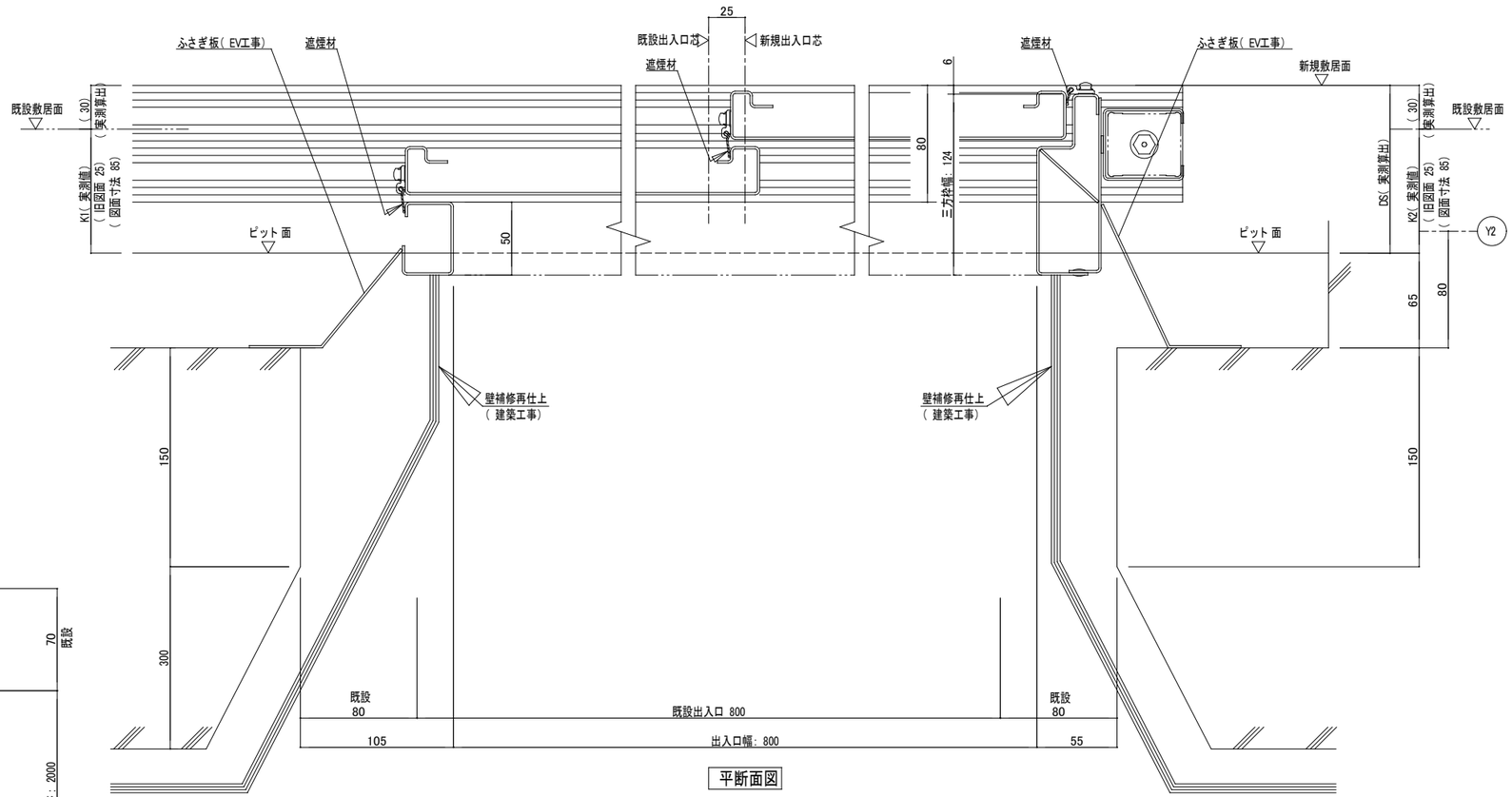


矢視 B-B

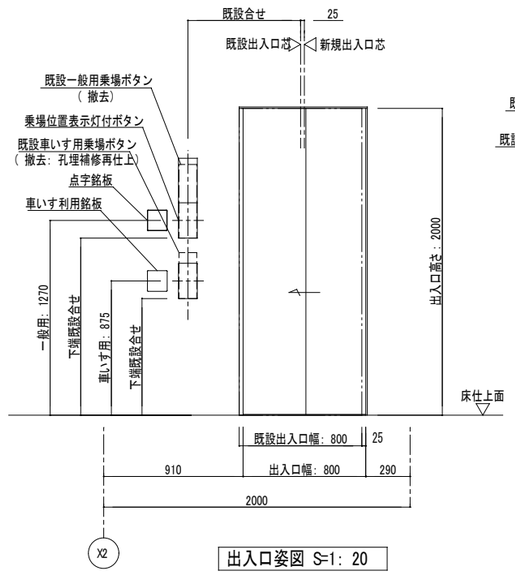
代表者	照 査	担 当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和７年１０月
					図面名称 出入口 孔明図	縮尺 1/20(A1) 1/40(A3)	整理番号 — —
					＊＊＊		図面番号 EV-03



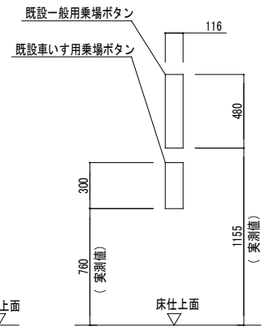
縦断面図



平断面図



出入口姿図 S=1: 20

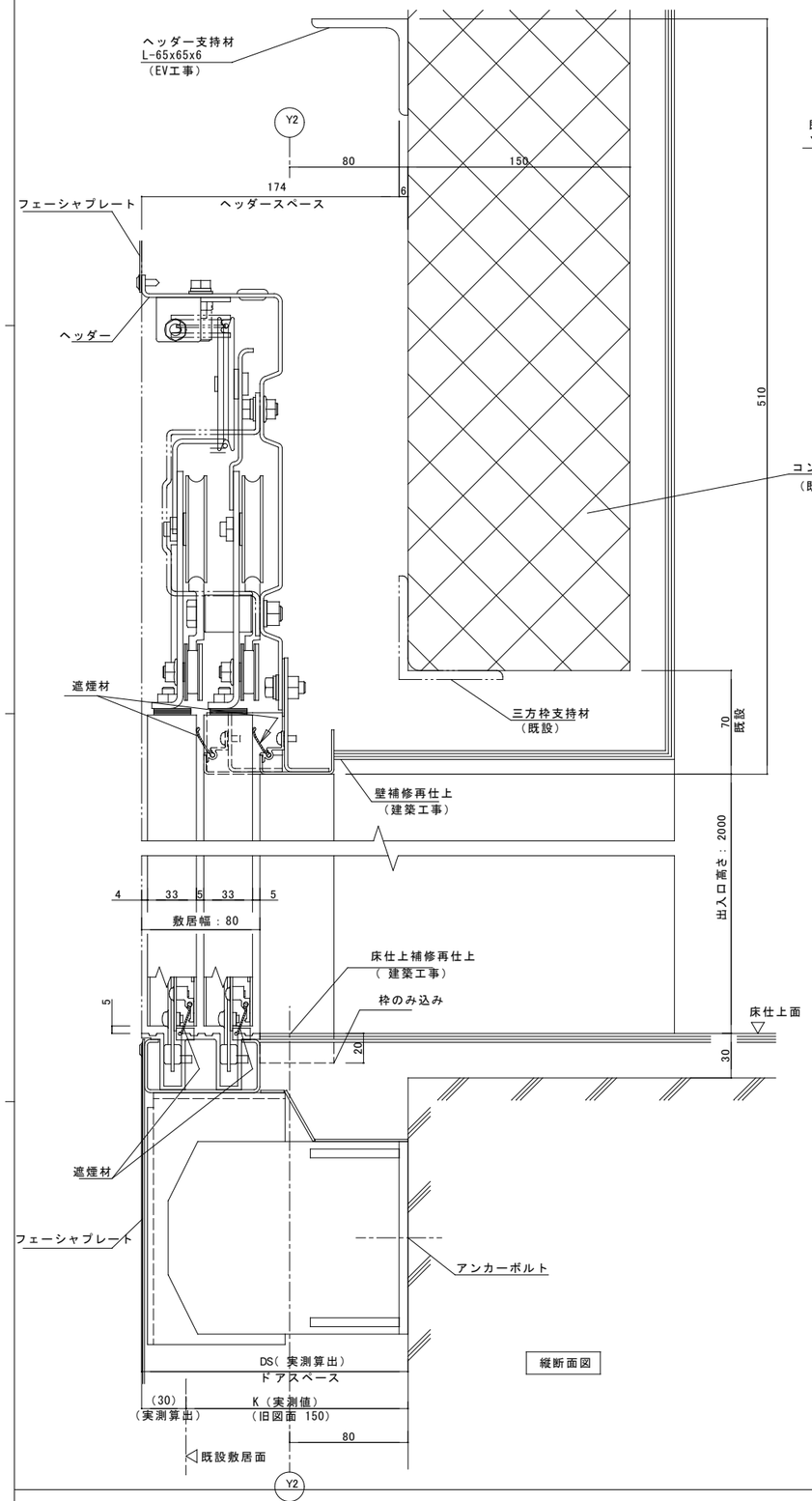


実測値		
	既設ﾄﾞｱｽﾍﾟｰｽ	
	K1	K2
B階	(85)	105

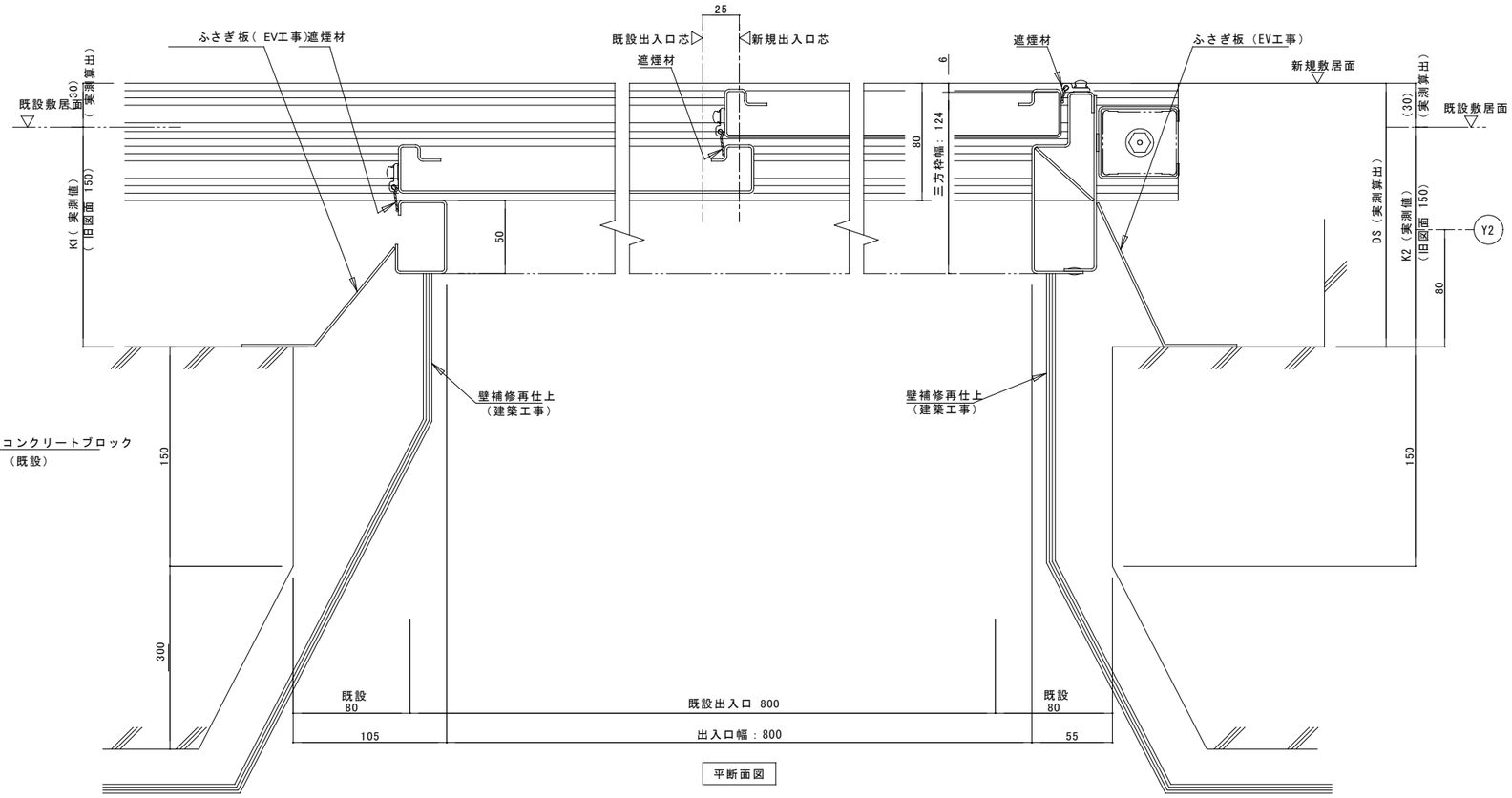
実測算出		
	新規ﾄﾞｱｽﾍﾟｰｽ	新規ﾍｯﾀﾞｰｽﾍﾟｰｽ
	DS	HS
B階	115	180

仕様要項				
名 称	板厚	材 質	仕 上	仕上色・つや
三方枠	t 1.6	鋼板	塗装	( )・7分つや
乗場ﾄﾞｱ	t 1.6	鋼板	塗装	( )・7分つや
敷 居		硬質アルミニウム		

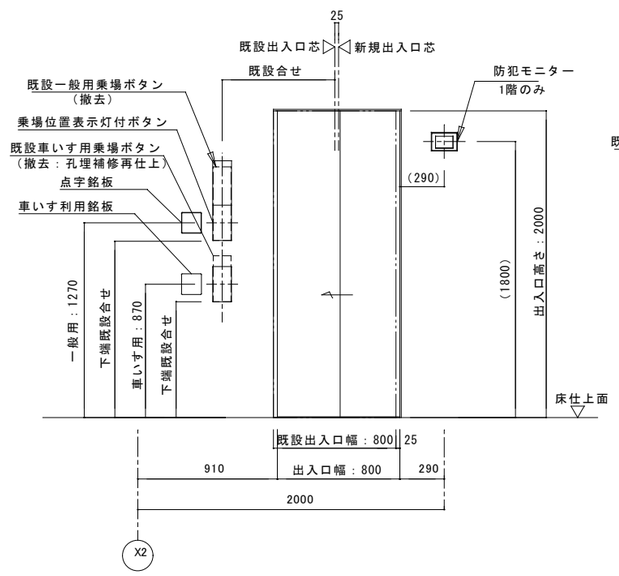
代表者	照 査	担 当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-04
			図面名称 地階出入口廻り 詳細図	縮尺 1/2(A1) 1/4(A3)	整理番号 — —	
			* * *			



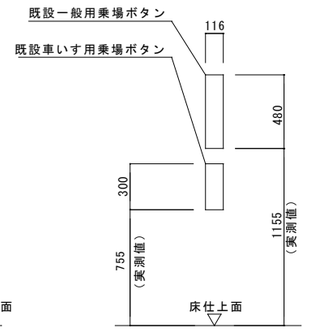
縦断面図



平断面図



出入口姿図 S=1：20



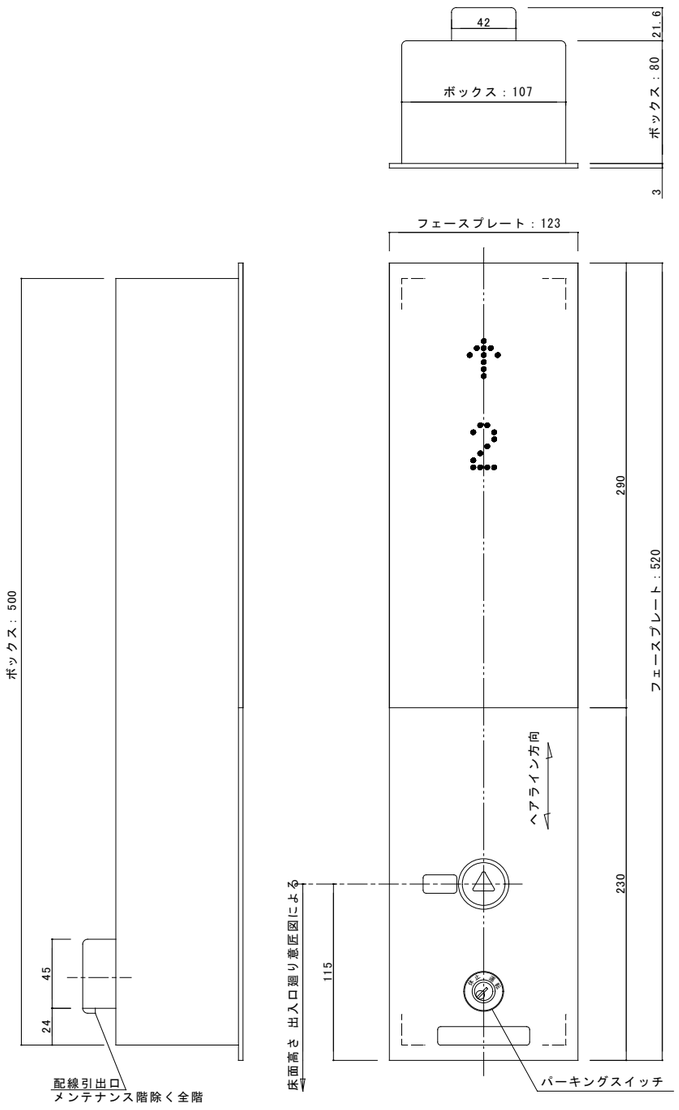
	実測値	
	既設ﾄﾞｱｽﾍﾟｰｽ	
	K1	K2
3階	220	－
2階	160	－
1階	160	(130)

	実測算出	
	新規ﾄﾞｱｽﾍﾟｰｽ	新規ﾍｯﾀﾞｰｽﾍﾟｰｽ
	DS	HS
3階	250	174
2階	190	174
1階	160	174

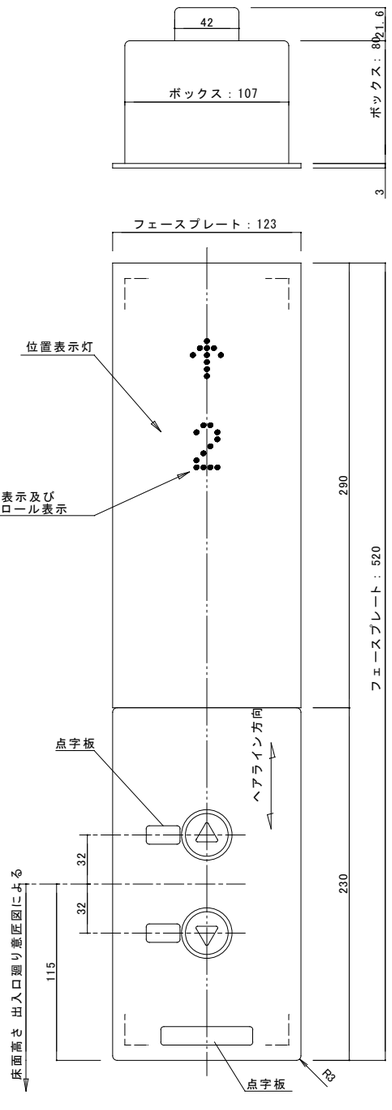
仕様要項				
名　称	板厚	材　質	仕　上	仕上色・つや
三方枠	t1.6	鋼板	塗装	（　　）・7分つや
乗場ドア	t1.6	鋼板	塗装	（　　）・7分つや
敷　居		硬質アルミニウム		

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-05
					図面名称 1～3階出入口廻り 詳細図	縮尺 1/2(A1) 1/4(A3)	整理番号	
					＊＊＊		— —	

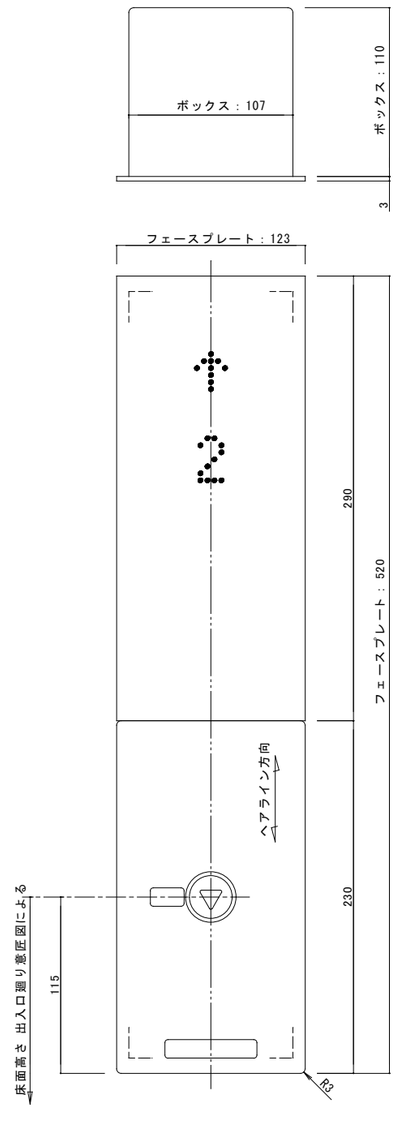
仕　様　要　項	
名　称	仕　様
フェースプレート B階	材質：ステンレス t3 仕上：ヘアライン
フェースプレート 1～3階	材質：ステンレス t0.5（樹脂製基材付） 仕上：ヘアライン
ボタン	マイクロストローク式 Gen2 TYPE キートップ：ステンレス 点灯部（矢形部）：ホワイト（点灯時）
位置表示灯	グラス（材質）：スモークアクリル 方向表示灯　：ホワイト（点灯時） 階床表示　：ホワイト（点灯時） スクロール表示：ホワイト（点灯時） 運転状況：休止・満員・専用・ペット 管制運転：地震・停電・火災
点字板	材質：ポリカーボネート 仕上：シルバーグレー 取付：両面接着テープ



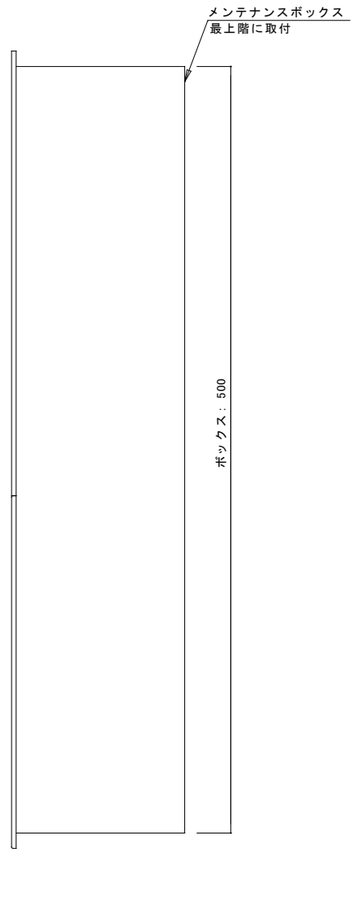
B階



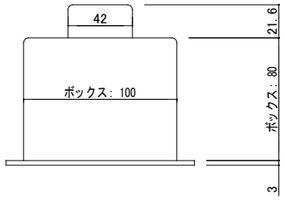
1，2階

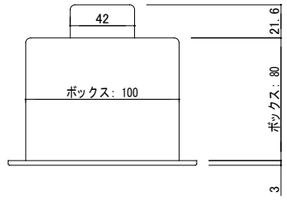


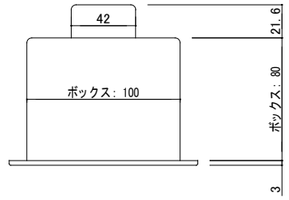
3階

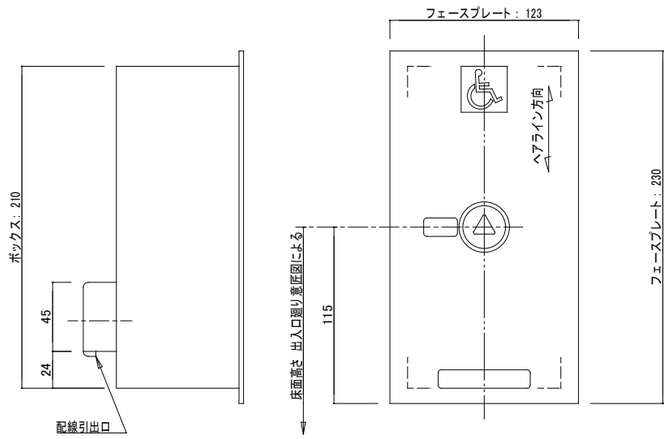


代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和７年１０月	EV-06
				図面名称　乗場位置表示灯付ボタン　詳細図　縮尺 1/2(A1) 1/4(A3)	整理番号		
				＊＊＊	―	―	

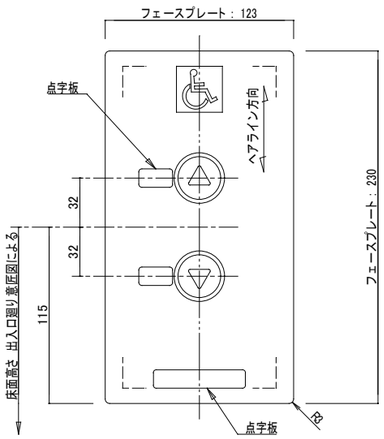




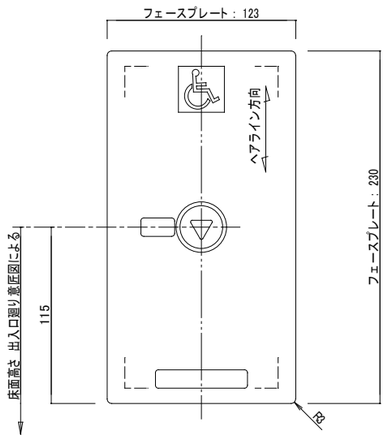




B階



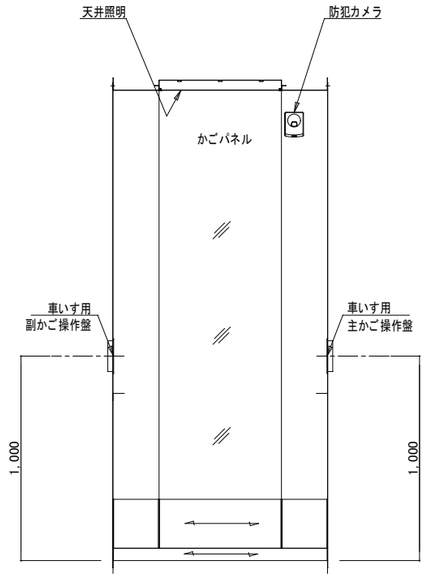
1,2階



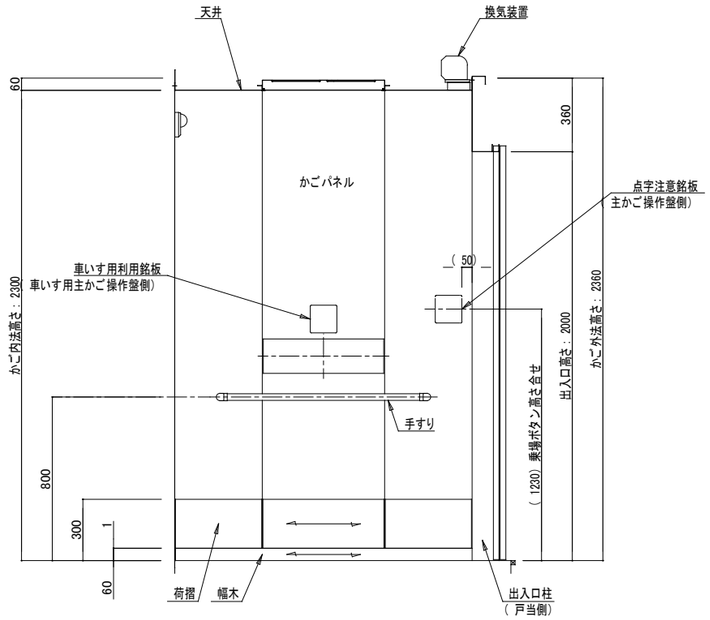
3階

仕 様 要 項	
名 称	仕 様
フェースプレート B階	材質：ステンレス t3 仕上：ヘアライン
フェースプレート 1～3階	材質：ステンレス t0.5(樹脂製基材付) 仕上：ヘアライン
ボタン	マイクロストロークス式 Gen2 TYPE キートップ：ステンレス 点灯部(矢形部) ：ホワイト (点灯時)
国際シンボルマーク	材質：0.4mm厚 アルミ板 仕様：青色シルク印刷(図形は地色) 取付：両面接着テープ
点字板	材質：ポリカーボネート 仕上：シルバーグレー 取付：両面接着テープ

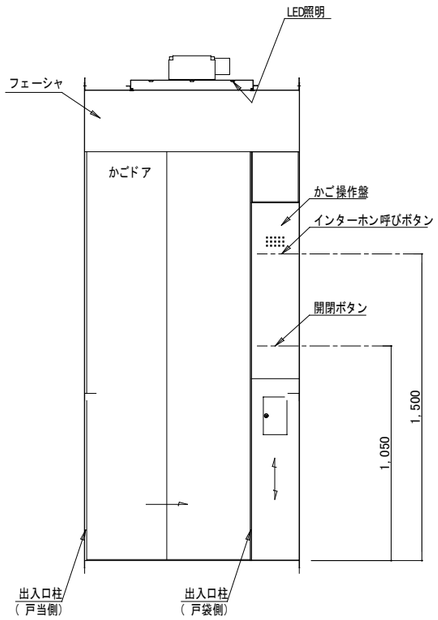
代表者	照 査	担 当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-07
				図面名称 車いす用乗場ボタン 詳細図 縮尺 1/2(A1) 1/4(A3)	整理番号		
				＊＊＊	—	—	



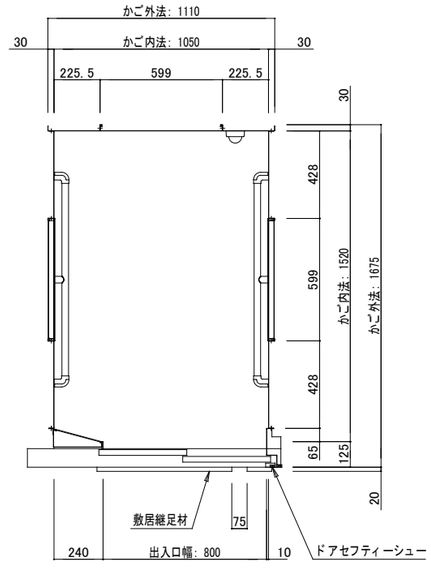
背面図



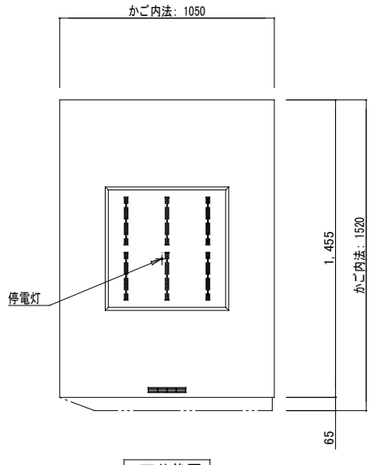
側面図



出入口側



平面図

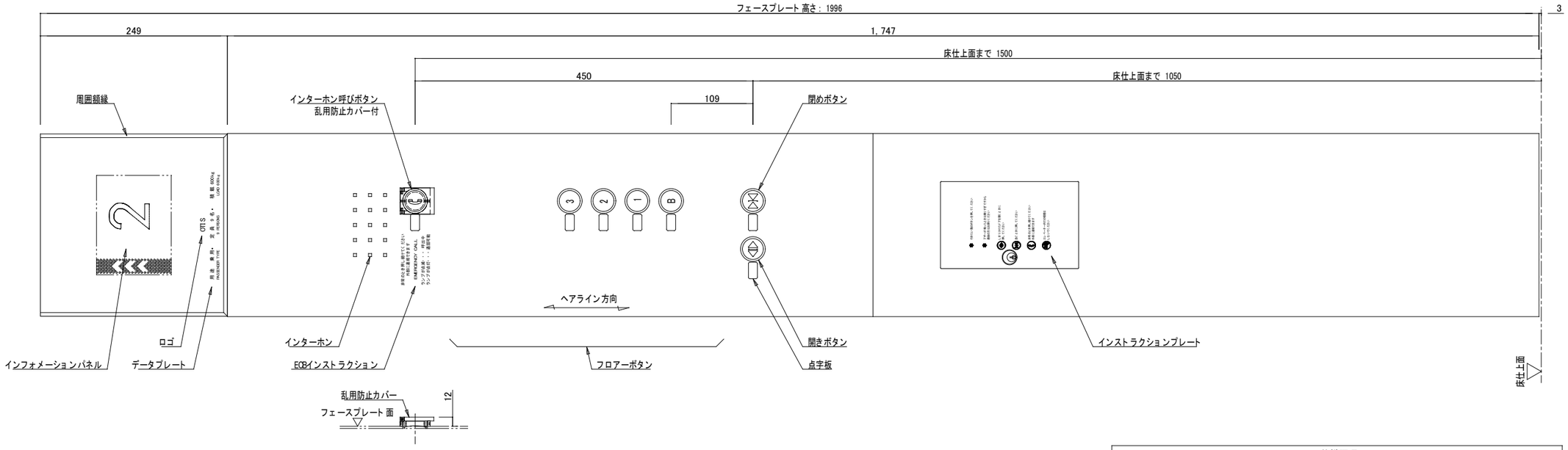


天井伏図

仕様要項			
名　称		材　質	仕　上
かごパネル		合成樹脂化粧鋼板	
かごドア			
フェーシャ			
出入口柱	戸袋側	アルミニウム	ヘアライン＆ステンレス調アルマイト
	戸当側	合成樹脂化粧鋼板	
天　井		合成樹脂化粧鋼板	
天井照明		乳白色アクリルカバー(平面型) 照明器具：ライン形LED(昼白色)x2ユニット 停電灯：LED DC12V-4.2Wx1灯	
幅　木		ステンレス	ヘアライン
敷　居		硬質アルミニウム	
床仕上		樹脂タイル(軟質ビニル)	
手すり	中央部	φ32 ステンレスパイプ	ヘアライン
	両端部	亜鉛ダイキャスト	銀色塗装
鏡(かご背面中央パネル)		ステンレス	鏡　面
荷　摺		ステンレス	ヘアライン
敷居継足材		硬質アルミニウム	
備考		・かごドア引き込まれ防止装置(ハンドタッチセンサー)付 ・敷居間隙間：10mm ・多光軸ドアセンサー(MBDS)付(ドアセフティシュー組込)	

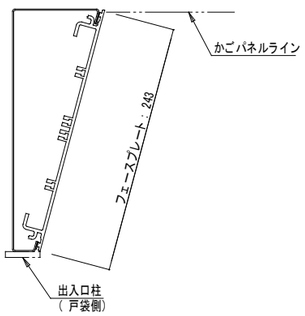
代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-08
図面名称 かご 詳細図　縮尺 1/15(A1) 1/30(A3)	整理番号		
＊＊＊	— —		

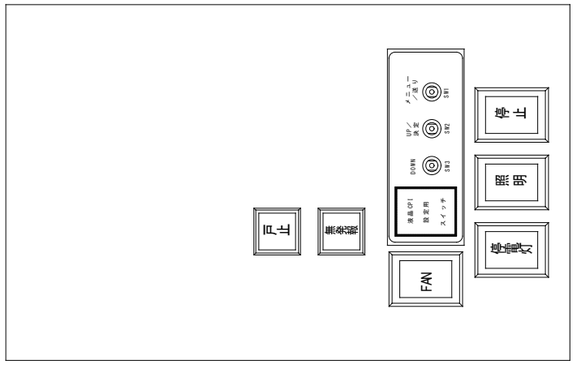


用途	乗用▪	定員	9名▪	積載	600kg
PASSENGER TYPE		9 PERSONS		LOAD	600kg

データプレート拡大図



かご操作盤取付詳細

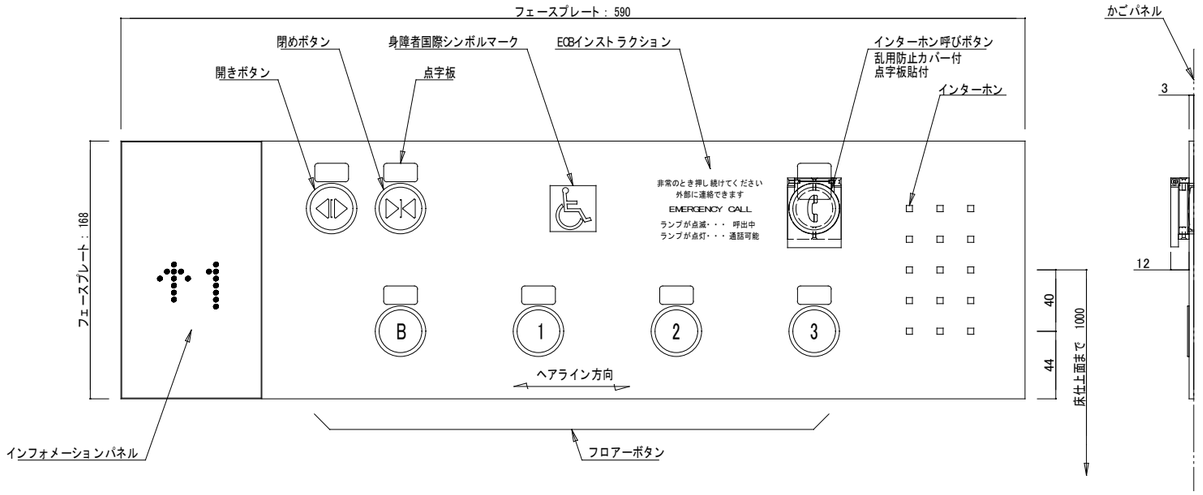


- 戸止めスイッチ
- FANスイッチ
- 停止スイッチ
- 照明スイッチ
- 停電灯スイッチ（テスト用）
- 無発報スイッチ（点検時用）
- 液晶調整用スイッチ

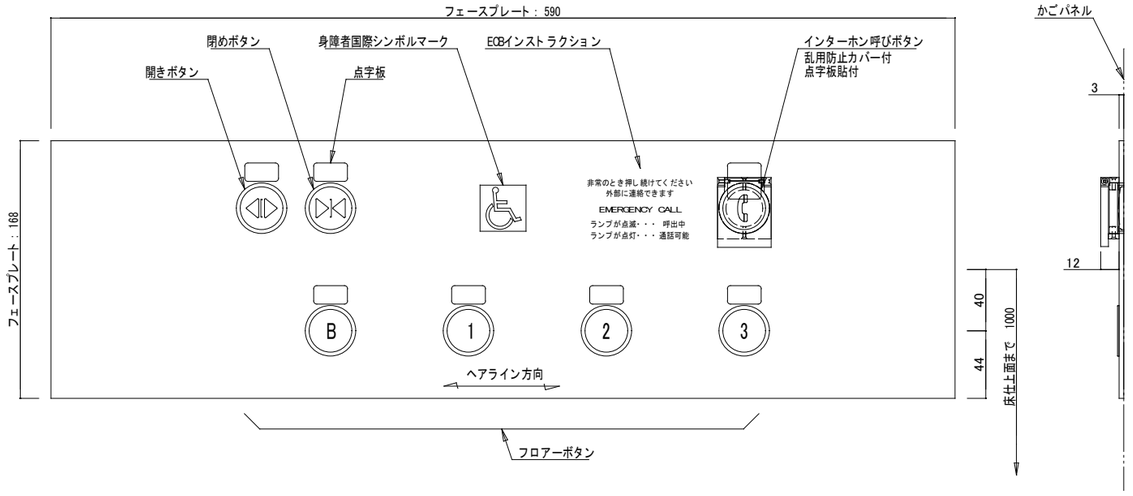
スイッチパネル詳細

仕様要項	
名　称	仕　様
フェースプレート	材質：アルミニウム 仕上：ヘアライン＆ステンレス調アルマイト
インフォメーションパネル	グラス材質：スモークアクリル 液晶ディスプレイ：6.5インチカラーモニター 表示内容：方向表示・階床表示・定員超過表示（ホワイト） 管制運転表示（ホワイト、背地レッド） 表示言語：1か国語（日） 周囲額縁：鋼板黒色塗装仕上
データプレート・ロゴ	シルクスクリーン印刷（文字色は白色）
ボタン	マイクロストロークス式　Gen2 TYPE 点灯色：ホワイト（浮出文字点灯） キートップ：オレンジ（インターホン呼びボタン）・グリーン（開きボタン） ステンレス（フロアー及び閉めボタン）
インストラクションプレート	シルクスクリーン印刷（文字色は黒色）
EOBインストラクション	シルクスクリーン印刷（文字色は黒色）
点字板	材質：ポリカーボネート 仕上：シルバーグレー 取付：両面接着テープ
乱用防止カバー	材質：透明アクリル

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-09
					図面名称 かご操作盤 詳細図	縮尺 1/3(A1) 1/6(A3)	整理番号	
					＊＊＊		— —	



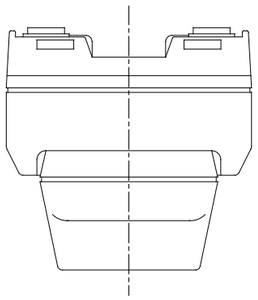
主かご操作盤

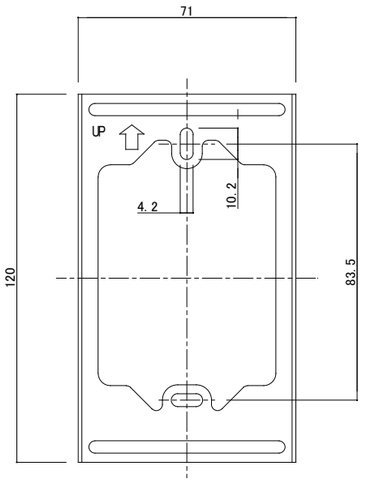


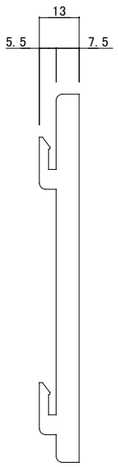
副かご操作盤

仕様要項	
名　称	仕　様
フェースプレート	材質：アルミニウム 仕上：ヘアライン＆ステンレス調アルマイト
インフォメーションパネル	グラス材質：スモークアクリル 表示内容　：方向表示・階床表示（ホワイト，ドット表示）
ボタン	マイクロストロークス式　Gen2 TYPE 点灯色：ホワイト（浮出文字点灯） キートップ：オレンジ（インターホン呼びボタン）・グリーン（開きボタン） ステンレス（フロアー及び閉めボタン）
ECBインストラクション	シルクスクリーン印刷（文字色は黒色）
身障者国際シンボルマーク	材質：0.4mm厚　アルミ板 仕様：青色シルク印刷（図形は地色） 取付：両面接着テープ
点字板	材質：ポリカーボネート 仕上：シルバーグレー 取付：両面接着テープ
乱用防止カバー	材質：透明アクリル

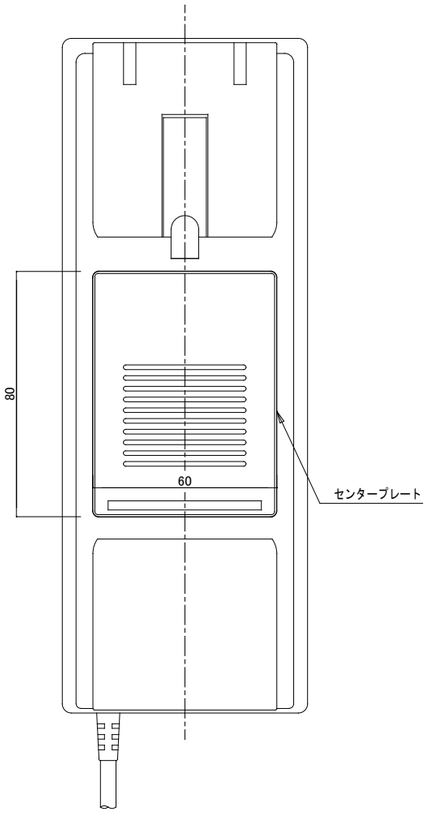
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-10
					図面名称　車いす用主副かご操作盤 詳細図　縮尺 1/2(A1) 1/4(A3)	整理番号		
					＊＊＊	—	—	

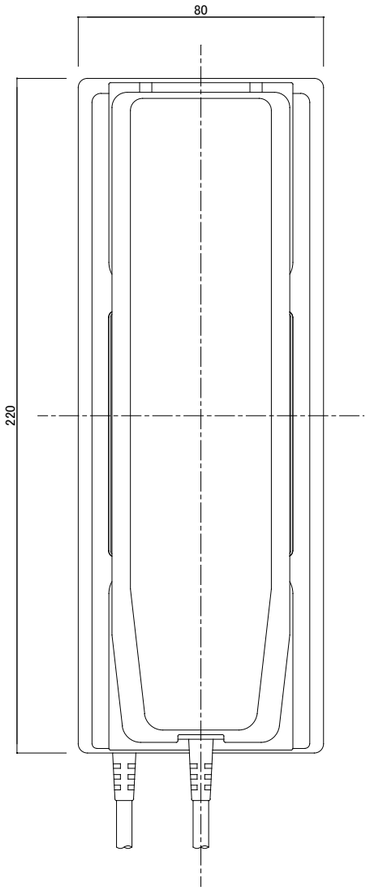


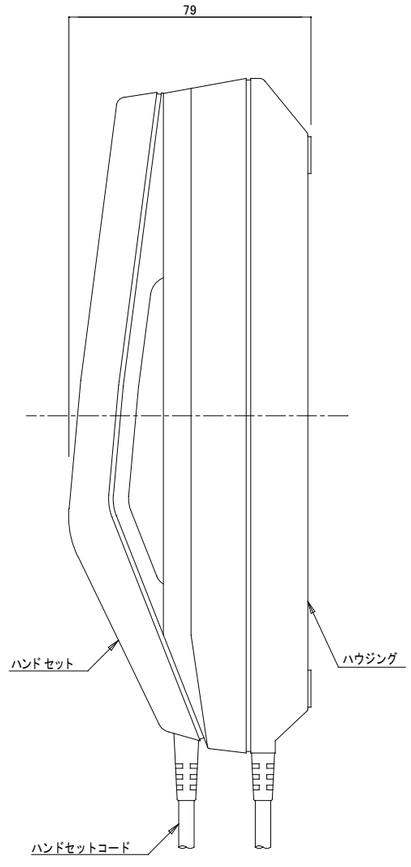


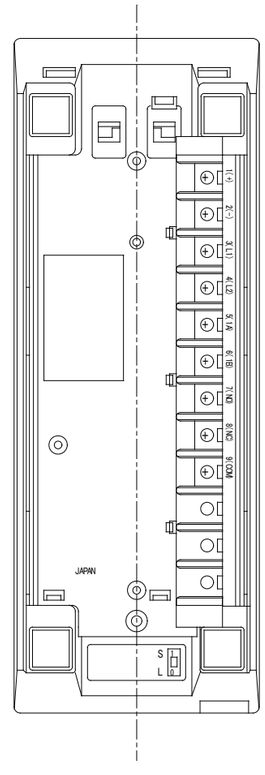


取付金具



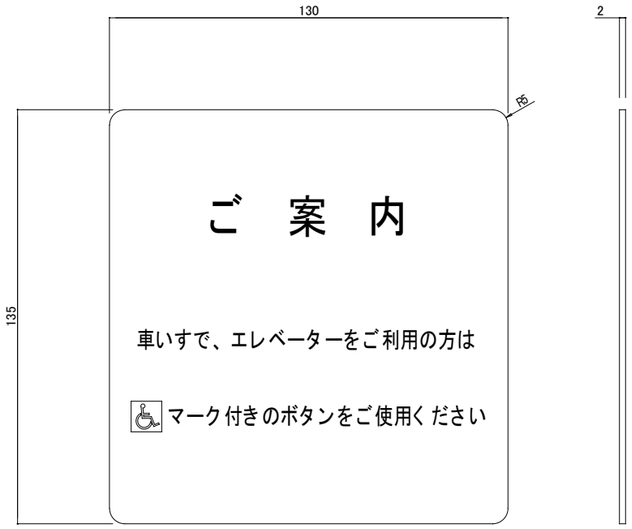






仕 様 要 項	
名 称	仕 様
ハンドセット	色: ワームブラウン
ハウジング	色: 白
ハンドセットコード	色: アイボリー
設置場所	B階: 警備員詰所
NIC製 親機 1局用	

代表者	照 査	担 当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	EV-11
					図面名称 インターホン親機 詳細図 縮尺 1/***(A1) 1/***(A3)	整理番号		
					* * *	—	—	



車いす用利用銘板

仕様要項	
名称	仕様・備考
車いす用利用銘板	材質：透明アクリル板（ 背地：銀色） 仕様：裏面印刷（ 文字：黒色　シンボルマーク：青色） 取付：両面接着テープ
取付枚数	乗場　：4枚 かご内：1枚

点字内容

ﾁｭｰｲ

ﾄﾞｱﾆ　ﾊｻﾏﾚﾅｲﾖｰ　ﾁｭｰｲ

ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ。

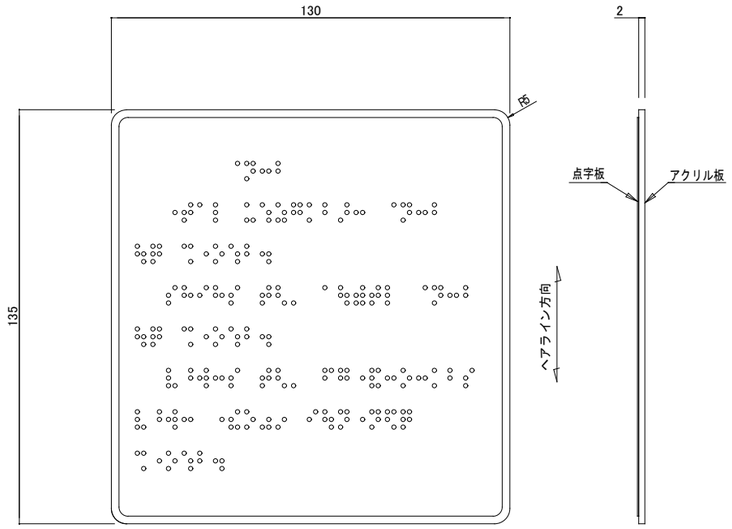
ﾉﾘｵﾘﾉ　ﾄｷﾜ　ｱｼﾓﾄﾆ　ﾁｭｰｲ

ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ。

ﾋｼﾞｮｰﾉ　ﾄｷﾜ　ｴﾚﾍﾞｰﾀｰﾅｲﾉ

ﾋｼﾞｮｰ　ﾎﾞﾀﾝﾇ　ｵｼﾂﾂﾞｹﾃ

ｸﾀﾞｻｲ。



点字注意銘板

仕様要項	
名称	仕様・備考
点字銘板	材質：アルミニウム，仕上：ヘアライン 仕様：透明アクリル板（ 背地：銀色）に貼付け 取付：両面接着テープ
取付枚数	乗場　：4枚 かご内：1枚

代表者	照　査	担　当		

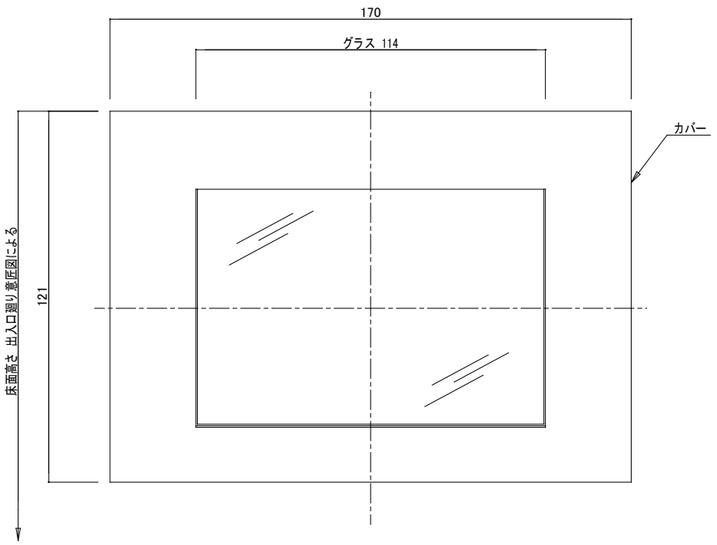
工事名称：交野市本庁舎耐震・設備等改修工事

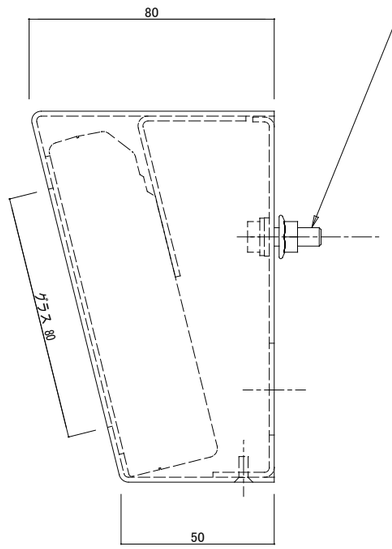
図面名称：身障者用利用銘板 詳細図　縮尺 1/1(A1) 1/2(A3)

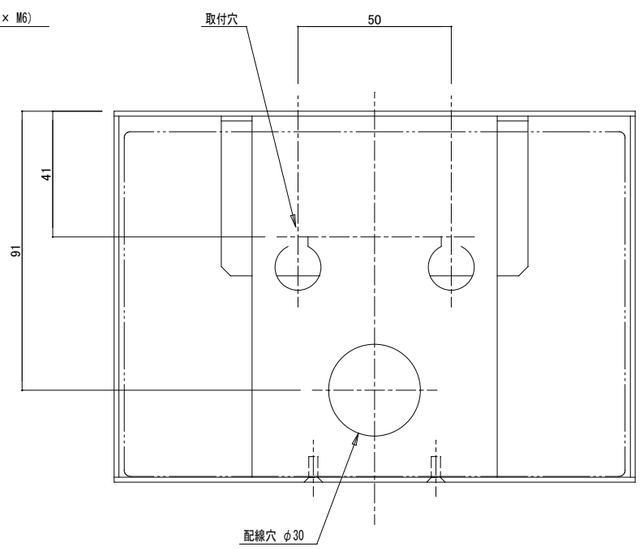
＊＊＊

設計番号	設計年月日	図面番号
—	令和７年１０月	EV-12

整理番号：— —







仕 様 要 項	
名 称	仕 様
カバー	材質: 鋼板 仕上: 塗装(E-5N(7分つや))
グラス	材質: 透明アクリル
モニター	5.6インチ液晶カラーモニター (CAMOS製: CM-562ED)
設置場所	1階: EVホール

代表者	照 査	担 当			工事名称 交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和７年１０月	図面番号 EV-13
					図面名称 テレビモニター 詳細図 縮尺 1/1(A1) 1/2(A3)	整理番号 — —		
					＊＊＊			

既存建物耐震改修工事仕様書（１）　２０２５年度版

§１　一般事項

1－1 適用範囲
既存建物（鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造）の耐震補強に関する鉄筋工事，コンクリート工事及び鉄骨工事に適用する。

1－2 図面寸法
現況図面は参考図面とし，現地再調査のうえ現地寸法に合わせること。
本仕様書に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1－3 使用材料
使用材料は原則としてＪＩＳ規格適合品又は大臣認定品とする。

1－4 施工順序
既存設備の配置等実測した後，工事計画書及び施工図を作成し，工事監理者の承諾を得ること。

1－5 耐火被覆
鋼板補強，炭素繊維補強を行った部分は別途仕様書により耐火被覆を行う。

1－6 補修
ｴﾎﾟ部の断面欠損，耐震壁増設部のすきま，鉄筋の露出，あと施工アンカー打設不良搾孔及びクラック等があれば樹脂モルタル等にて補修する。

1－7 打設面の処理
耐震壁を増設する部分等に接する既設部分は目荒らし（深さ5mm程度を目安とする）を行い，ｴﾎﾟ粉，粉塵などはワイヤブラシ又は水洗いにより完全に除去する。

1－8 コンクリート打設時の注意事項
既設部分と接する箇所はコンクリート打設前に充分な水湿を行う。
コンクリート打設にはバイブレーターの使用，又はタタキにより密実にコンクリートを締め固める。
梁下の耐震壁等は梁下200~300程度までコンクリートを打設し，壁頂部は無収縮モルタル圧入とする。

1－9 参考図書
以下の参考図書は現場に常備すると共に十分理解し適用すること。
(一財)日本建築防災協会
　改訂版　既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説
　改訂版　既存鉄筋鉄骨コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説
　改訂版　既存鉄骨造建築物の耐震改修設計施工マニュアル
(一財)建築保全センター
　建築改修工事標準仕様書
　建築改修工事監理指針

1－10 その他
各種工程における検査等の費用は工事者の負担とする。

§２　使用材料

（選択項目は⊙印による。）

2－1 コンクリート

設計基準強度	⊙ Fc 21 N/mm²		⊙ Fc 30 N/mm² （ピタコラム工法廻り）		
セメント	⊙ 普通ポルトランドセメント	•			
粗骨材	⊙ 砂利	⊙ 砕石	最大径(mm)	⊙ 20	• 25
混和材	• ＡＥ減水剤	⊙ 高性能ＡＥ減水剤	• 膨張材		
スランプ（cm）	⊙ 18cm				
水セメント比（%）	⊙ 65%以下				
単位水量（kg/m³）	⊙ 185kg/m³以下				

圧縮強度試験（各工程につき）　JASS-5「品質管理・検査」に準じる。試験は公的機関によって行う。

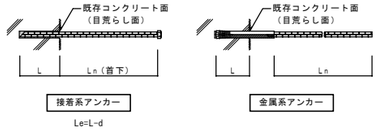
2－2 無収縮モルタル
無収縮モルタルは原則としてプレミックスタイプを使用する。
設計基準強度　FC30N/mm²(既存躯体同等程度)以上とする。
圧縮強度試験（各工程につき）　JIS1108とし、公的機関によって行う。

2－3 鉄筋
D 16　以下　ＳＤ２９５
D 19　以上　ＳＤ３４５

2－4 スパイラル筋
• ＳＳ４００⊙ ＳＲ２３５• ＳＤ２９５

適用	壁厚	径	外径	ピッチ	備考
⊙	120～150	⊙6φ D6	60～80	50	
•	180	6φ D6	100		
•	200	6φ D6	120		
•	250	6φ D6 D10	150		
•	300	6φ D6 D10	200		

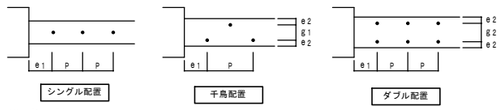
2－5 あと施工アンカー
あと施工アンカーの施工は工事内容に相応した施工管理技術者及び十分な経験と技能を有する技術者により実施する。
アンカーの設置に先立って鉄筋探査を行い，既存鉄筋が干渉しない位置で穴明けを行う。また孔内のコンクリート粉，粉塵を圧搾空気などにより，完全に除去した後に取り付ける。
• 接着系アンカー　カプセル型の有機系又は無機系のものとしメーカーによりアンカー筋の母材強度が保証されたもの。本体はSD295，SD345 としナット付きとする。
• 金属系アンカー　拡張部打込み型のものとしメーカーによりアンカー筋の母材強度が保証されたもの。本体はJISG3101，3123，3445，4805の規格品とする。
　接合筋はSD295，SD345 とする。
　定着作業の終了したアンカー筋は24時間以上衝撃等与えない様に養生する。



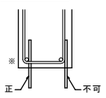
接着系 アンカー筋径	Ln (20d)	L (8d) (アンカー埋込み長さ)	ピッチ	※設計用引張強度 kN/本 Fc=18.1 (3階)	Fc=19.4 (1階)	Fc=21.1 (B1,2階)
⊙ D13	260	110 以上	200	—	—	20
			—	—	—	—
⊙ D16	320	130 以上	150	—	30	—
			200	—	—	31
⊙ D19	380	190 以上 (10d)	—	70	—	—
			—	—	—	—
⊙ M16	—	130 以上	—	23	—	—
⊙ M20	—	160 以上	—	36	—	—
⊙ M22	—	220 以上(10d)	—	44	—	—

金属系 アンカー径	接合筋径	Ln (30d)	L (5d) (アンカー埋込み長さ)	ピッチ	※設計用引張強度 kN/本 Fc=15	Fc=18	Fc=21
• 13φ	D10	390	65 以上				
• 16φ	D10,D13	480	80 以上				
• 19φ	D13	570	95 以上				
• 22φ	D16	660	110 以上				

※　コーン状破壊による引き抜き耐力とする。



e1　≧　5da
e2　≧　2.5da　かつ柱，梁主筋の内側※
g1　≧　4da
g2　≧　5.5da
P　≧　7.5da　かつ 300 以下
da はアンカー筋の径を示す。



アンカー固着力試験
アンカーの固着力の検査は，全数を打音検査する。またあと施工アンカー協会（ＪＣＡＡ）の試験方法により1 日に施工されたものの各径毎を1ロットとしこの中から3本以上引張試験を行う。引張試験は非破壊試験により，設計用引張強度の2/3程度以上の荷重に対してアンカーが抜け出す等の過大な変形が生じなければ合格とする。検査のうち１本でも不合格のものがある場合は，全数の20%以上を再試験し，さらにその中に不合格のものがあれば全数を試験する。不合格となったものは新たに施工し直すことを原則とする。打音検査は上記引張試験に合格となったアンカーを叩いて，音及び感触をつかみこれと比較して検査する。

接着系アンカーの埋込み長さの測定(超音波パルス反射法による)
• する　• しない
する場合原則全数測定とする。減じる場合は特記する。

2－6 鋼材

規格名称	鋼材名		柱	ダイア	大梁	ブレース	小梁	他
一般構造用圧延鋼材	⊙ SS400	•				○	○	○
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A	• SM490A						
建築構造用圧延鋼材	• SN400A							
	• SN400B	⊙ SN490B				○		
	• SN400C	• SN490C						
一般構造用角形鋼管	• STKR400	• STKR490						
冷間成形角形鋼管	• BCR295							
	• BCP235	• BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B	• SHC400C						
一般構造用炭素鋼管	• STK400	• STK490						
一般構造用軽量形鋼	• SSC400	•						

2－7 炭素繊維補強
炭素繊維補強の工法は国土交通省告示，又は日本建築センターの認定工法，日本建築防災協会の技術評価を受けた工法とする。
高強度炭素繊維

引張強さ	• 3400N/mm² 以上	• 2700N/mm² 以上
繊維重量	• 200g/m²	• 300g/m²
材料巾	• 250	•
巻数	• 1層	• 層

3－1 標準仕様
(一財)日本鋼構造協会・(一財)日本建築防災協会 編による既存鉄骨造建築物の耐震改修施工マニュアル（改訂版）及び(一財)日本建築学会Ｊ・ＡＳＳ６による。

3－2 改修箇所
⊙印で示す

1）架構全体の改修
　1－1　軸組構面の改修
　　• 筋かいの新設　• 耐震フレームの設置
　　• 耐震間柱の新設　• 柱・梁接合部の方杖補強
　1－2　水平構面の改修
　　⊙ 水平筋かいの新設　• 火打ちの新設
2）部材断面の改修
　2－1　柱の耐力増大
　　• コンクリートによる補強　• カバープレート，形鋼による補強
　　• 日の字形断面柱の補強
　2－2　梁の耐力増大
　　• 梁フランジ溶接部の補強　• 梁フランジの補強
　　• 梁ウェブの補強
　2－3　トラス梁の耐力増大
　　• 部材断面の増大　• トラス構面の外座屈の補剛
　　• トラス構面の内座屈の補剛　• トラス端束仕口補強
　2－4　筋かいの耐力増大
　　• 引張筋かいの部材交換　• 圧縮筋かいの部材交換
　　• ボルト接合部の補強　• ガセットプレートの補強
3）柱脚の改修
　3－1　鋼板巻きによる補強
　　• 隅角部柱脚の補強　• 中央部柱脚の補強
　3－2　ＲＣ根巻による補強
　　• 接着系アンカーによる補強　• 既存主筋と接合する補強
　3－3　ＲＣ柱とＳ梁の接合部補強
　　• アンカーボルトの増設　• 貫通ボルトによる補強
　　• アンカーボルトのはしあき補強
4）柱頭の改修
　4－1
　　• ＲＣ柱頂部のＳ柱・梁接合部の補強　• ＲＣ柱頂部とＳ梁の接合部の補強

3－3 現場作業要領
1）前処理
　補強する部位は塗料，コンクリート，耐火被覆，その他の異物を除去する。
2）高力ボルト接合
　高力ボルトは高力六角ボルトまたはトルシア形高力ボルトとする。
　孔明けは電気ドリルを原則とするが，やむをえずガス加工による場合はリーマ通しを行う。
　摩擦面の処理は，グライングダ掛けを原則とし，さび発生状態を標準とする。
3）溶接接合
　溶接方法は被膜アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
　完全溶込溶接の端部はエンドタブを使用し，隅肉溶接の端部は回し溶接を行う。
　溶接と高力ボルト接合が併用される場合は高力ボルト接合を先行する。
4）接合部の調査
　高力ボルトの検査はＪＡＳＳ６　６節による。
　溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験をする。
　隅肉溶接および部分溶込溶接は全数目視検査とする。

§３　鉄骨造補強

(一財)日本鋼構造協会・(一財)日本建築防災協会 編による既存鉄骨造建築物の耐震改修施工マニュアル（改訂版）及び(一財)日本建築学会Ｊ・ＡＳＳ６による。

1）架構全体の改修
　1－1　軸組構面の改修
　　• 筋かいの新設　• 耐震フレームの設置
　　• 耐震間柱の新設　• 柱・梁接合部の方杖補強
　1－2　水平構面の改修
　　⊙ 水平筋かいの新設　• 火打ちの新設
2）部材断面の改修
　2－1　柱の耐力増大
　　• コンクリートによる補強　• カバープレート，形鋼による補強
　　• 日の字形断面柱の補強
　2－2　梁の耐力増大
　　• 梁フランジ溶接部の補強　• 梁フランジの補強
　　• 梁ウェブの補強
　2－3　トラス梁の耐力増大
　　• 部材断面の増大　• トラス構面の外座屈の補剛
　　• トラス構面の内座屈の補剛　• トラス端束仕口補強
　2－4　筋かいの耐力増大
　　• 引張筋かいの部材交換　• 圧縮筋かいの部材交換
　　• ボルト接合部の補強　• ガセットプレートの補強
3）柱脚の改修
　3－1　鋼板巻きによる補強
　　• 隅角部柱脚の補強　• 中央部柱脚の補強
　3－2　ＲＣ根巻による補強
　　• 接着系アンカーによる補強　• 既存主筋と接合する補強
　3－3　ＲＣ柱とＳ梁の接合部補強
　　• アンカーボルトの増設　• 貫通ボルトによる補強
　　• アンカーボルトのはしあき補強
4）柱頭の改修
　4－1
　　• ＲＣ柱頂部のＳ柱・梁接合部の補強　• ＲＣ柱頂部とＳ梁の接合部の補強

3－3 現場作業要領
1）前処理
　補強する部位は塗料，コンクリート，耐火被覆，その他の異物を除去する。
2）高力ボルト接合
　高力ボルトは高力六角ボルトまたはトルシア形高力ボルトとする。
　孔明けは電気ドリルを原則とするが，やむをえずガス加工による場合はリーマ通しを行う。
　摩擦面の処理は，グライングダ掛けを原則とし，さび発生状態を標準とする。
3）溶接接合
　溶接方法は被膜アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
　完全溶込溶接の端部はエンドタブを使用し，隅肉溶接の端部は回し溶接を行う。
　溶接と高力ボルト接合が併用される場合は高力ボルト接合を先行する。
4）接合部の調査
　高力ボルトの検査はＪＡＳＳ６　６節による。
　溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験をする。
　隅肉溶接および部分溶込溶接は全数目視検査とする。

（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http：／／www．kse―web．com／
2024年2月1日作成

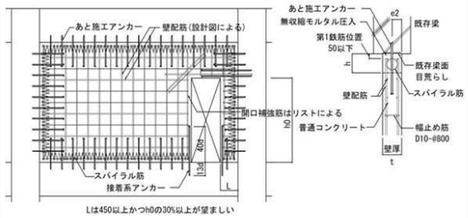
（不許複製）

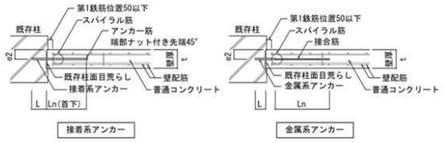
代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－01
			図面名称 既存建物耐震改修工事仕様書（１） 縮尺 -(A1) -(A3)	整理番号 — —		

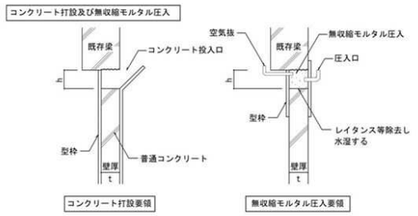
既存建物耐震改修工事仕様書(2)　２０２５年度版

§4 壁補強要領

4-1 増設壁



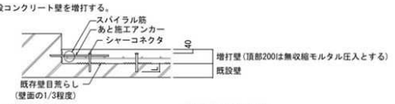




壁 厚	h
t≦300	200
t>300	300

4-2 増打壁

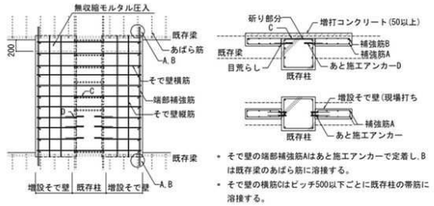
既設コンクリート壁を増打する。



シャーコネクタ　　(　)は既設壁t20の場合

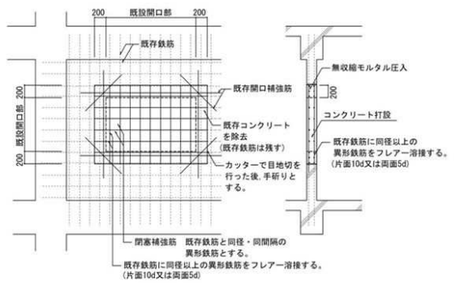
	シャーコネクタ	定着長さL
接着系アンカー	D13-@500クロス	110(80)
金属系アンカー	13φ-@500クロス	65

4-3 そで壁増設

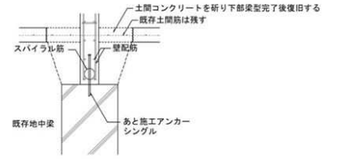


- そで壁の端部補強筋Aはあと施工アンカーで定着し,Bは既存梁のあばら筋に溶接する。
- そで壁の横筋Cはピッチ500以下ごとに既存柱の帯筋に溶接する。

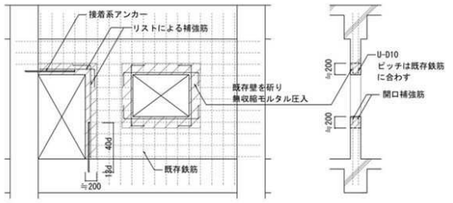
4-4 開口部の閉塞



4-5 地中梁上に新設壁を設ける



4-6 既存壁開口新設(耐震壁を除く)



4-7 スリット増設



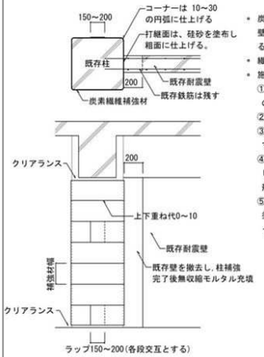
- スリットは原則としてカッター切りとし、コア抜き併用も可能とする。
- 建具のある場合のカッター切りは、原則として建具の外部水切及び面台下端までとし、建具を破損しないよう留意し施工すること。

4-6

特記なき限り新設開口の開口補強筋は以下とする。

既存壁厚	既存配筋	既設開口補強筋(タテ・ヨコ筋)	新設開口補強筋(タテ・ヨコ筋)
W12	9φ250S	1-D16	1-D16
W15	9φ300D	2-D13	2-D13

5-4 炭素繊維補強

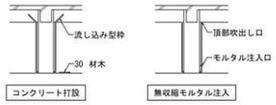


- 炭素繊維補強材の幅は 250 を標準とする。ただし,耐震壁が取付いている場合は壁筋をさけて補強材を巻き付ける必要があるため,壁筋のピッチを考慮して決める。
- 繊維補強材の巻数は図示による。
- 施工手順
  ①耐震壁が取付いている場合は,既存壁を柱面から 200 の範囲でカッター目地切りの上,斫りとる。
  ②既存柱の仕上げは全て撤去する。
  ③コーナー部を半径10~30の円弧に仕上げ,全面プライマー塗布の上,樹脂モルタルにて下地調整を行う。
  ④各工法の技術資料に基づき,シート含浸接着剤を塗布し炭素繊維補強材を巻き付け,さらにシート含浸接着剤を上塗りする。必要に応じてこれを繰り返す。
  ⑤壁撤去部分に型枠を設置し,補強材の打継面に硅砂を塗布し粗面に仕上げ,打継面の付着性能の向上をはかった上,無収縮モルタルを充填する。

5-5 腰壁,たれ壁補強範囲



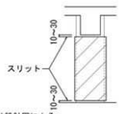
5-6 コンクリート打設無収縮モルタル注入法



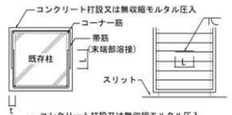
§5 柱補強工事要領

5-1 共通事項(炭素繊維補強は除く)

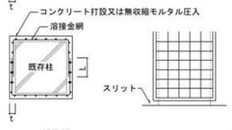
1. 既設仕上材を撤去する。
2. 既設柱のコンクリート面の1/3程度を目荒しする。
3. 補強材取り付け用の支持金物を設ける。
4. 柱の躯体寸法を測定し加工寸法を決める。
5. 補強部分は床上面及び梁下面に30程度のスリットを設ける。

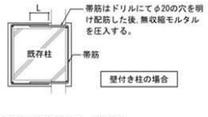


5-2 帯筋補強溶接金網補強

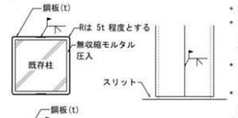


- 補強筋,溶接金網等は設計図による。
- 帯筋の溶接長さは片面10d以上とする。
- 溶接金網の継手長さは200以上とする。
- 増打コンクリート又はモルタル厚さは設計図によるが,被覆は30以上とする。

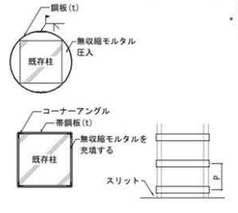




5-3 鋼板補強



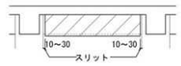
- 鋼板厚さは図示による。(t≧4.5)
- 鋼板と躯体面との間には30以上のクリアランスを設ける。ただし,補強鋼板の厚さが9mm以上の場合には,既存躯体の4隅角部を10程度面取りする。
- 無収縮モルタル充填作業及び充填の確認が行えるよう適当な箇所に圧入孔,エアー抜き孔を設ける。
- 裏当て金が既存躯体に当たる部分は既存躯体を少し斫り既存躯体と裏当て金とのクリアランスを5以上確保する。
- 補強鋼板を高さ方向に分割する場合には,鉛直方向を優先する。



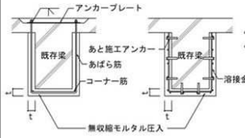
§6 梁補強工事要領

6-1 共通事項(炭素繊維補強は除く)

1. 既設仕上材を撤去する。
2. 既設梁のコンクリート面の1/3程度を目荒しする。
3. 補強材取り付け用の支持金物を設ける。
4. 梁の躯体寸法を測定し加工寸法を決める。
5. 補強部分は梁の両端部に30程度のスリットを設ける。

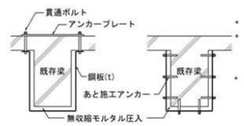


6-2 あばら筋補強溶接金網補強



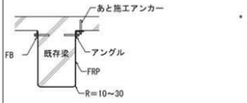
- 補強筋,溶接金網等は設計図による。
- モルタル厚さは設計図によるが,被覆は30以上とする。

6-3 鋼板補強



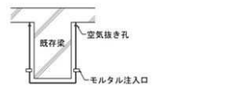
- 鋼板厚さは図示による。(t≧4.5)
- 鋼板と躯体面との間には30以上のクリアランスを設ける。ただし,補強鋼板の厚さが9mm以上の場合には,既存躯体の隅角部を10程度面取りする。
- 無収縮モルタル充填作業及び充填の確認が行えるよう適当な箇所に圧入孔,エアー抜き孔を設ける。

6-4 炭素繊維補強



- 施工手順
  ①既存梁の仕上げは全て撤去する。
  ②コーナー部を半径10~30の円弧に仕上げ,全面プライマー塗布の上,樹脂モルタルにて下地調整を行う。
  ③各工法の技術資料に基づき,シート含浸接着剤を塗布し炭素繊維補強材を巻き付けさらにシート含浸接着剤を上塗りする。必要に応じてこれを繰り返す。

6-5 無収縮モルタル注入



§7 鉄骨ブレース補強要領

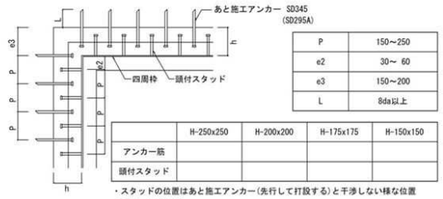
7-1 使用材料 形 状

使用材料・形状等は設計図による。

7-2 頭付スタッド



7-3 アンカー筋 頭付スタッド ピッチ

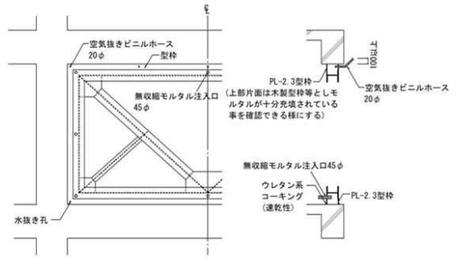


	P	150~250
	e2	30~ 60
	e3	150~200
	L	8da以上

	H-250x250	H-200x200	H-175x175	H-150x150
アンカー筋				
頭付スタッド				

- スタッドの位置はあと施工アンカー(先行して打設する)と干渉しない様な位置を決めて打設する。
- hはアンカー径,スタッド径を考慮して決定する。

7-4 無収縮モルタル注入

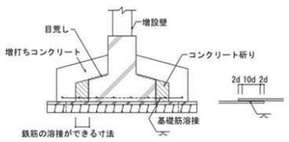


7-5 割裂補強

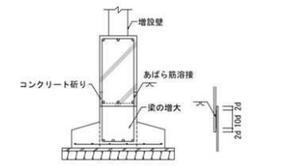


§8 基礎の補強

8-1 基礎底版の拡幅



8-2 基礎の増設



（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http：／／www. kse-web. com／
2025年2月1日作成　（不許複製）

代表者	照 査	担 当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	既存建物耐震改修工事仕様書（２） 縮尺 -(A1) -(A3)	整理番号	令和７年１０月	S－02

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） ２０２５年度版

§１ 一般事項

1－1 基本事項

1．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021)」による。
3．本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。

1－2 その他

4．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

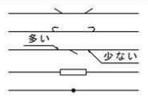
§２ 共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

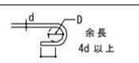
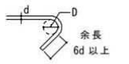
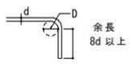
記号	•	×	∅	●	○	⊙	⊠	◎	⊕	✦	⊗
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43	47

○ フックのない場合
○ フックのある場合
○ 本数に差がある場合
○ 機械式継手表示
○ ガス圧接、溶接継手表示



2－2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径 (D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋 帯筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD295	D16以下	3d以上
			SD345	D19～D41	4d以上
135°			SD390	D41以下	5d以上
90°			SD490	D25以下	5d以上
				D29～D41	6d以上

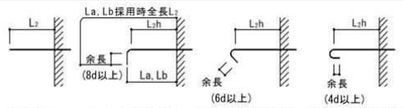
（SD490は90°のみ）

2－3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm²）	重ね継手の長さ 上段 直線 L_1 下段 フック付き L_1h	定着の長さ 一般 上段 直線 L_2 下段 フック付き L_2h, La	定着の長さ 小梁・床スラブ 上端筋 フック付き Lb	定着の長さ 小梁・床スラブ 下端筋 L_3, L_3h
SD295 SD345 ()はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d 30d，20d	15d (20d)	L_3=20d L_3h=10d 床ｽﾗﾌﾞの場合 L_3=10d かつ 150 以上 片持ちｽﾗﾌﾞ 片持ち梁の場合 L_3=25d SD490は適用外
	21	40d(45d) 30d	35d 25d，15d(20d)		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)，15d(20d)	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d，15d		
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d)，15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d，15d		
SD390 (SD490) ()は適用外	21	50d(－) 35d(－)	40d(－) 30d(－)，20d(－)	20d (－)	
	24～27	45d(55d) 35d(40d)	40d(45d) 30d(35d)，20d(25d)		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)，20d(25d)	15d (－)	
	39～45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)，15d(20d)		
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)，15d(20d)		

一般定着の直線L_2またはフック付きのL_2h, La, Lbの図



直線定着　90°フック付き定着　135°フック付き定着　180°フック付き定着

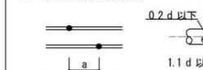
1．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL_1h は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2．軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5ｄを加算する。

2－4 継手一般

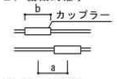
3．構造特記仕様書2-2で令第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは左下表L1かつ40ｄ(軽量コンクリートを使用する場合は50ｄ)とする。
4．構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2024とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)にL_1, L_3を示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。

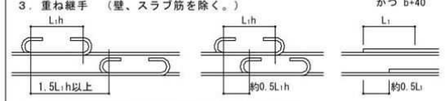
1．ガス圧接、溶接継手



2．機械式継手



3．重ね継手　（壁、スラブ筋を除く。）



4．D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。
　（ガス圧接、溶接、機械式継手等による）
5．溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2－5 鉄筋のフック

○ 下記の１．～７．に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
1．あばら筋及び帯筋　　2．煙突の鉄筋
3．柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の鉄筋（下図参照）



上図の⊙印の鉄筋の重ね継手末端にはフックが必要。

4．片持ちスラブの上端筋の先端
5．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭２本打以上の場合）
7．鉄骨柱の脚部の基礎柱の四隅、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2－6 鉄筋のあき

○ 鉄筋のあきａは原則として下記による。
　呼び名の数値dの　1.5 倍以上
　粗骨材の最大寸法の 1.25 倍以上　} かつ 25 以上
※D a D
※Dは最外径を示す
○ 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
○ 二段筋のあきは1.5d且つ粗骨材最大値の1.25倍以上とする。

2－7 かぶり厚さ

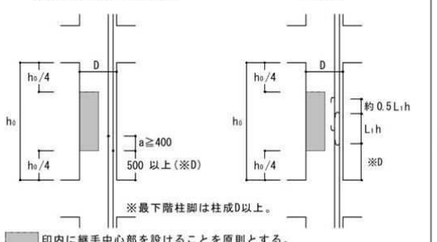
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30(20)	30(20)
		屋外	30(20)	40(30)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40(30)	40(30)
		屋外	40(30)	50(40)
	擁壁		※1 50 (40)	※1 50 (40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		※2 50 (40)	
	基礎・擁壁		※2 70 (60)	

1．(　) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3．※1　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。
4．※2　軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5．柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

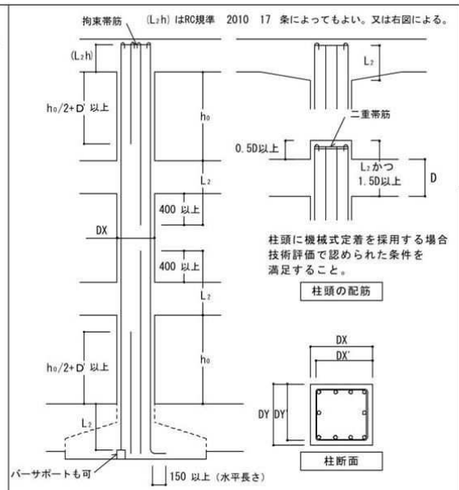
§３ 柱

3－1 主筋の継手

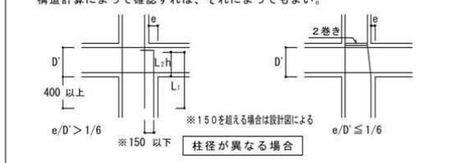


○ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
　設計者判断により、認定を取得した工法ではa=0とできる。

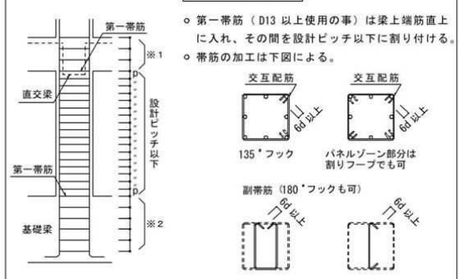
3－2 主筋の定着



※ 余長 D' は柱有効成（DX' DY' の大きい方）とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



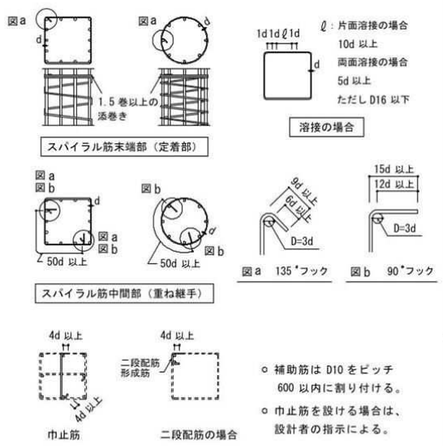
3－3 帯筋 副帯筋



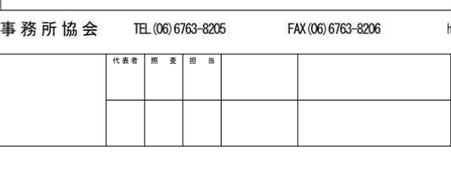
○ 第一帯筋（D13 以上使用の事）は梁上端筋直上に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ 帯筋の加工は下図による。

○ パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量(pw)は 0.2%以上とする。
※1．設計ピッチの 1.5 倍以下とする。▭ 形以上の場合は同径同材質で ▭ 形@100以下とする。
※2．基礎梁部分は、同径で ▭ 形@150以下とする。

○ スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
1．末端は 1.5 巻以上の添巻きをし、図a のフックをつける。
2．重ね継手は重ね長さ 50d 以上とし、図a 又は図b のフックをつける。



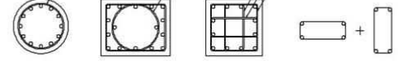
3－4 補助筋



○ 補助筋は D10 をピッチ 600 以内に割り付ける。
○ 巾止筋を設ける場合は、設計者の指示による。

3－5 柱のコンファインド補強

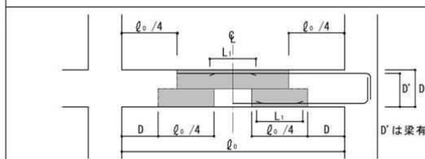
補強する柱は設計図による。（柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。）



a スパイラル帯筋 @60～75　（有効間隔50 程度）
b 溶接閉鎖型帯筋 @60～75　（有効間隔50 程度）

§４ 梁

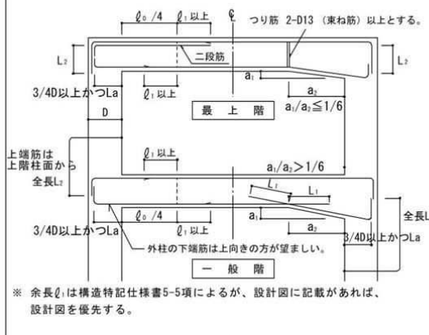
4－1 主筋の継手



○ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。（告示平　12 第 1463 号使用基準参照）溶接継手の場合でも柱面より 500 以上はなすこと。
○ 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

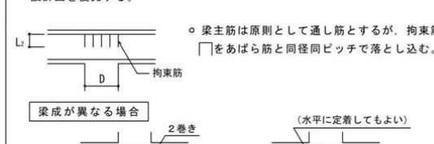
4－2 主筋の定着及び余長

外柱



※ 余長ℓ_1は構造特記仕様書5-5項によるが、設計図に記載があれば、設計図を優先する。

中柱



○ 梁主筋は原則として通し筋とするが，拘束筋 ▭ をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

4－3 あばら筋 副あばら筋



○ 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ あばら筋の加工は下図①又は⑧による。②③⑤⑥⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
○ ⑨⑩は梁成の大きい場合。
○ ①はピッチ 2p で交互配置とする。
○ 135° フックは 180° フックでも可とする。
○ 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL_2とする。

⑩ は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※ 柱面より梁成の範囲は、180° フック又は 135°フックが望ましい。

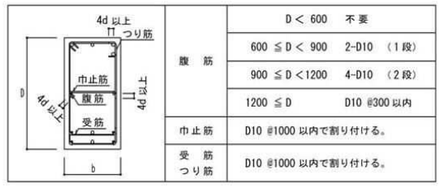
（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http://www.kse-web.com/
2025年2月1日作成

（不許複製）

代表者	照査	担当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号 —	設計年月日 令和７年１０月	図面番号 S－03
					図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） 縮尺 －(A1) －(A3)	整理番号 — —		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） ２０２５年度版

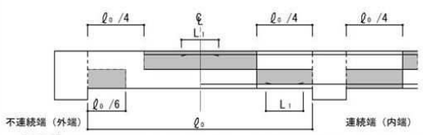
4－4 補助筋



腹筋	D＜600	不要
	600≦D＜900	2-D10 （１段）
	900≦D＜1200	4-D10 （２段）
	1200≦D	D10 @300 以内
巾止筋	D10 @1000 以内で割り付ける。	
受筋つり筋	D10 @1000 以内で割り付ける。	

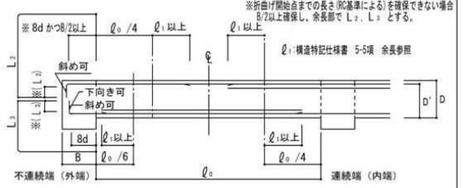
4－5 小梁及び片持梁

a) 小梁継手



○ ▨ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より 500 以上はなすこと。

定着



b) 片持梁定着継手

○ 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。

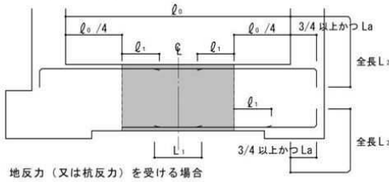


4－6 基礎梁及び基礎小梁

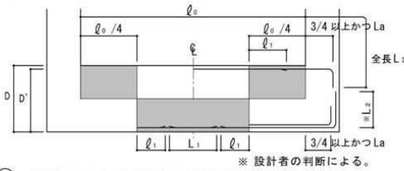
※ 地反力を受ける梁は構造特記仕様書5-5項および設計図に示す。
余長ℓ1は設計図に記載があれば、設計図を優先する。

a) 基礎梁の継手及び定着

① 一般（独立基礎、杭打独立基礎）



② 地反力（又は杭反力）を受ける場合



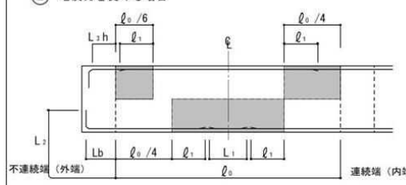
※ 設計者の判断による。

③ 上載荷重が大きい場合は②の主筋継手位置を上下逆にする。

b) 基礎小梁の継手及び定着

① 地反力を受けない場合は (4-5) による。

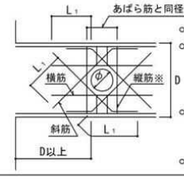
② 地反力を受ける場合



○ ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より 500 以上はなすこと。Lb とれない場合 4-5ａ定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

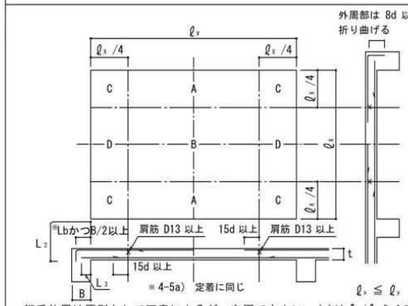
1．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
2．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計図による。



○ 梁貫通孔は梁成の 1/3 以下とする。
○ 孔が複数の場合は中心間隔を径 (φ) の 3倍以上とする。
○ また位置は原則として柱面から梁成 D 以上はなし、梁成の中央 D/2の範囲内とする。
○ φが 100㎜未満、かつ D/10以下の場合は補強を省略することができるが、孔際の両側にかぶり厚さを確保してあばら筋を追加する。
○ ※縦筋はあばら筋加工とする。

§５ スラブ

5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着

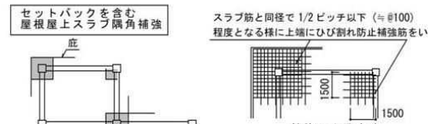


継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。（ ）は ℓy/ℓx ≧4の長辺方向

5－2 継手

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B D
	長辺方向	A B
下端筋	短辺・長辺方向	A (B) C D

5－3 片持ちスラブ



5－4 補強筋

開口補強　A：開口面積



注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

段違床

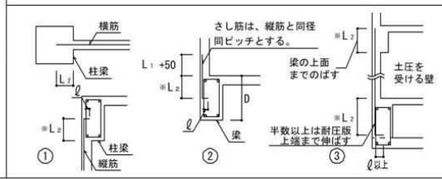
RC壁・CB壁が床にのる場合

セットバックを含む屋根屋上スラブ隅角補強



§６ 壁

6－1 定着及び継手

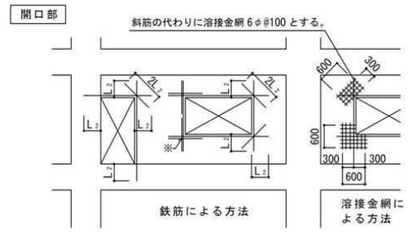


6－2 壁配筋

○ 定着長さは L_2、及び継手長さは L_1 とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=8d かつ 150 以上 45°～90°折り曲げ、定着長さは L_2 かつ D/2 以上とする。
（通し配筋の場合は不要）
○ 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
○ 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は 5-2 項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
壁の配筋は設計図書による。
○ ダブル配筋では巾止筋を縦横共 D10@1000 以内を標準とする。

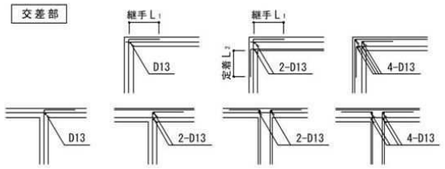
6－3 補強筋

開口部

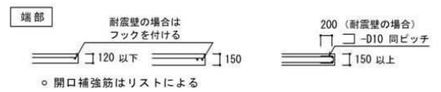


○※ 斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計図による。
○ 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

交差部

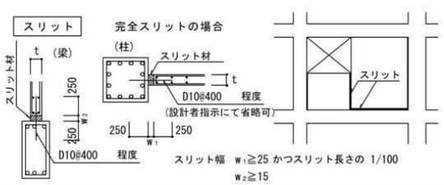


端部



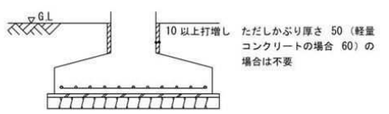
○ 開口補強筋はリストによる

スリット

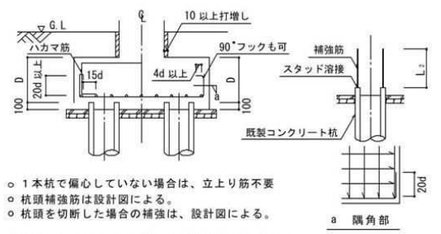


§７ 基礎

7－1 独立基礎



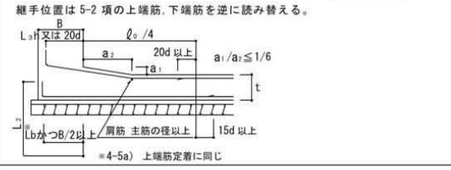
7－2 杭基礎



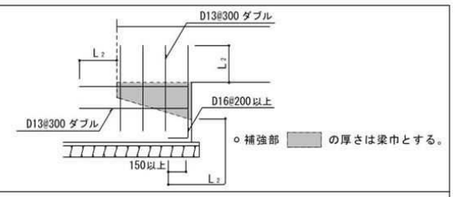
○ 1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
○ 杭頭補強筋は設計図による。
○ 杭頭を切断した場合の補強は、設計図による。

7－3 べた基礎継手及び定着

継手位置は 5-2 項の上端筋、下端筋を逆に読み替える。



7－4 基礎と基礎梁

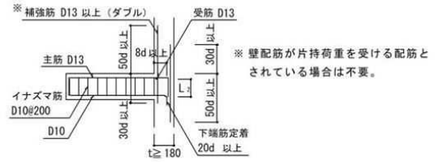


○ 補強部 ▨ の厚さは梁巾とする。

§８ その他

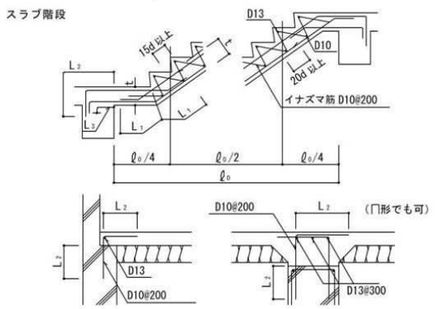
8－1 階段

片持階段

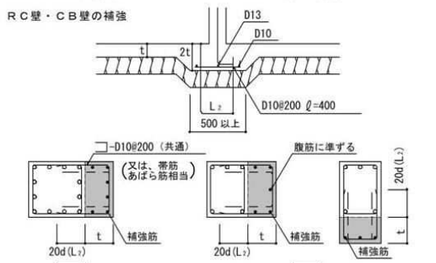


※ 壁配筋が片持荷重を受ける配筋とされている場合は不要。

スラブ階段



RC壁・CB壁の補強

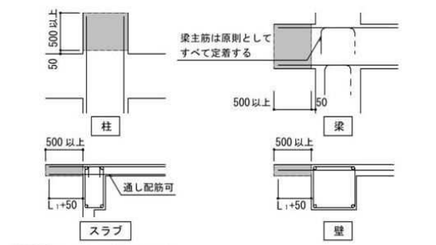


○ ▨ は打増し部分を示す。- - -と配筋してもよい。
○ 補強筋 定着は 20d(L2)（ ）は、主要な耐力壁等が取付く場合で設計図による。
t＜ 70 補強なし　　70≦t≦100 D13@300
100＜t≦200 D16@300　　200＜t≦300 D16@200
t＞300 設計図による
原則として、構造図に記載された個所以外に打増ししてならない。

8－2 土間コンクリート

8－3 打増し補強

8－4 増築予定



○ ▨ は、はつり部分を示す。
○ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http：／／www. kse-web. com／
2025年2月1日作成

（不許複製）

代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－04
			図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） 縮尺 -(A1) -(A3)	整理番号 — —		

鉄 骨 工 作 標 準 図　　2025年度版

§1 一般事項

1－1 基本事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１－２－４、５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3) 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1－2 その他

§2 共通事項

2－1 略号

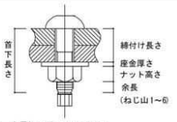
○AB	アンカーボルト	○SPL	スプライスプレート	○GPL	ガセットプレート
○BPL	ベースプレート	○WPL	ウェブプレート	○RPL	リブプレート
○DFPL	ダイアフラム	○BH	組立てＨ形鋼	○TB	ターンバックル
○FPL	フランジプレート	○CHPL	チェッカープレート	○W$_{1\sim9}$	溶接記号（§４参照）
○HTB	高力ボルト	○FB	フラットバー		

§3 ボルト接合

3－1 高力ボルト

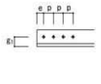
ボルトの長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	F8T,F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



1. 特記以外はすべて S10T（トルシア形高力ボルト、上図）又は F10T とする。
2. 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締付け摩擦面を平グラインダ掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 亜鉛メッキボルトの場合はすべてF8Tとする。

3－2 高力ボルトのピッチ



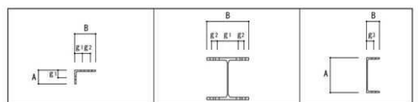
呼び径			M16	M20	M22	M24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	P	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40(50)	40(55)	45(60)
最小縁端距離	せん断縁、手動ガス切断縁		28	34	38	44
	圧延縁、自動ガス切断縁等		22	26	28	32

（）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。



ゲージ	千鳥打ちのピッチ b	
g_1	M16,20,22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3－3 形鋼のゲージ



A or B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊B =300は千鳥打ちとする。
＊＊ 印の欄のｇ及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§4 溶接接合

4－1 隅肉溶接



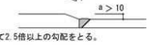
t	6 以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24

断続隅肉溶接の長さ L



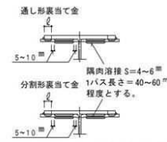
4－2 完全溶込み溶接（突合せ溶接）

1) 板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）



クレーンガーダの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

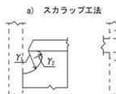
2) エンドタブ



両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。エンドタブの長さℓは25mm以上とする。エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5～10 mm はなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接抜量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。

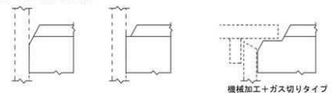
3) 開先加工　（下図は参考とする。）

a) スカラップ工法



- スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ1は 35 程度、γ2は 10 以上とする。なお複合円弧は滑らかに仕上げること。
- 完全溶込み溶接部以外のスカラップは γ=25程度とする。

b) ノンスカラップ工法



4) 開先形状

小文字は管理許容差（）は限界許容差を示す　※十分な品質管理を行う

記号	形状	適用板厚	寸法	アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接
W2 MC-BL-1B GC-BL-1B	裏当て 25 以上 9 以上	6～	G	9 +4 (+6) −2 (−2)	7 +4 (+6) −2 (−2)
			R	2 +1 (+2) −2 (−2)	2 +1 (+2) −2 (−2)
			α1	35° +10° (+20°) −5° (−5°)	35° +10° (+20°) −5° (−5°)
W2 MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり	6～	G	0 +2.5 (+4) −0 (−0)	0 +2 (+2) −0 (−0)
			R	2 +2 (+3) −2 (−2)	2 +2 (+3) −2 (−2)
			α1	45° +10° (+20°) −5° (−5°)	45° +10° (+20°) −5° (−5°)
W4 MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり	16～	G	0 +2.5 (+4) −0 (−0)	0 +2 (+2) −0 (−0)
			d1	1/4 (T−R)	1/4 (T−R)
			R	2 +2 (+3) −2 (−2)	2 +2 (+3) −2 (−2)
			d2	1/4 (T−R)	1/4 (T−R)
			α1	45° +10° (+20°) −5° (−5°)	45° +10° (+20°) −5° (−5°)
			α2	60° +10° (+20°) −5° (−5°)	60° +10° (+20°) −5° (−5°)
W5 MC-B1-1B GC-B1-1B	裏当て FB-4.5×19	3～6	G	T +10 (+20) −2 (−2)	T +10 (+20) −2 (−2)

MC … はアーク手溶接　GC … はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4－3 部分溶け込み溶接

片面溶接 W_6										両面溶接 W_7
12 ≦ t ≦ 40										16 ≦ t ≦ 40
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t−2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	
t/4 ≦ S ≦ 10										

4－4 フレア溶接

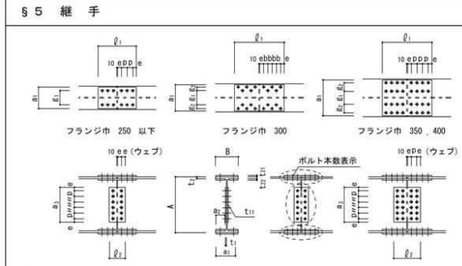
丸鋼等溶接 W_8	軽量形鋼等溶接 W_9
	t≧3のとき a=t t<3のとき a=3

4－5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビードをしてはならない。

§5 継手

5－1 継手リスト

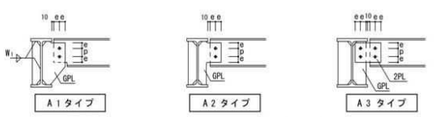


材種	主材	高力ボルト径	フランジ ボルト	フランジ 外側添板	フランジ 内側添板	ウェブ ボルト	ウェブ 添板	ピッチ
			総本数	2PL− $t_{21}\times a_1\times \ell_1$	4PL− $t_{22}\times a_2\times \ell_2$	総本数	2PL− $t_{11}\times a_1\times \ell_2$	
	H− × × t1 × t2			× ×	× ×		× ×	
	BH− × × t1 × t2			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × ×			× ×	× ×		× ×	

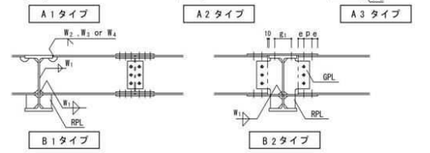
1. フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2. a_2は原則として梁成の 2/3 以上確保すること。

5－2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ



剛接合 Bタイプ



1. GPL、RPLは材種、板厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

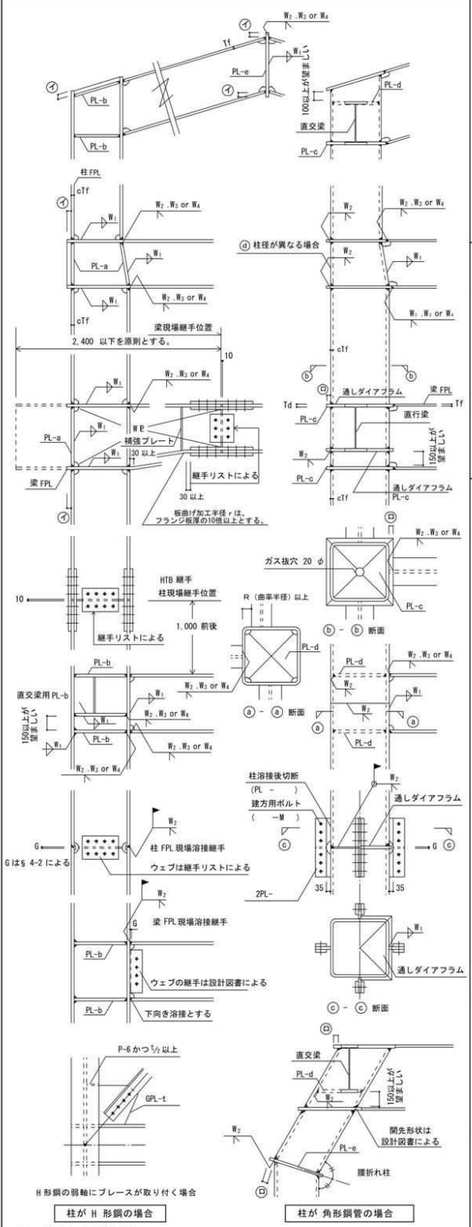
6－1 勾配屋根

6－2 梁通し

6－3 仕口と継手

6－4 柱通し

§6 柱梁接合部及び継手



6－5 現場溶接継手

6－6 その他

1) パネルゾーンのPLの厚さ

1. PL-a （鉛直スチフナ）　上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
2. PL-b （水平スチフナ）　仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
3. PL-c （通しダイアフラム）　仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
4. PL-d （内ダイアフラム）　仕口部に集結する梁の最大FPLより1～2サイズUP以上
5. PL-e （折れ曲がり部）　梁（柱）のFPLより1サイズUP以上

2) 出寸法

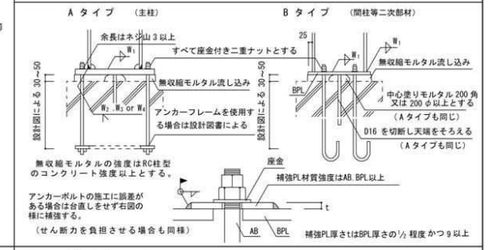
ⓐ 25mm かつ cTf 以上
ⓑ cTf≦25の場合 25
cTf≧28の場合 30

3) 注記

1. ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、通しダイアフラムはSN490Cとし、内ダイアフラムはSN490Bとする。板厚が40mmを超える場合はTMCP鋼とする。
   但し、架構にF値325を超える鋼材を使用する場合は設計図による。
2. ⓓ（6-2項）上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
3. ハンチ部でFPL を折曲げる場合は R≧10Tf とし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合（1/6程度）は不要。
4. ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。（告示 1464 ）
5. 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

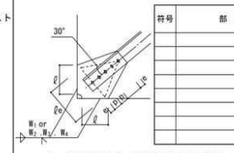
7－1 一般柱脚

§7 柱脚



8－1 ブレースリスト

§8 壁面ブレース

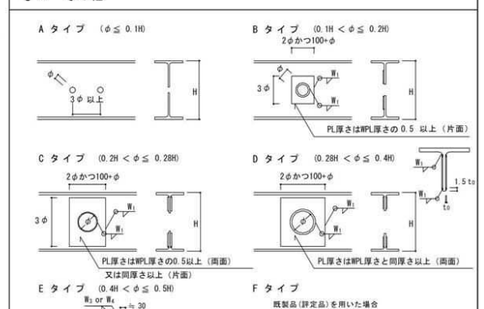


符号	部材	高力ボルト 径	高力ボルト 本数	GPL t	GPL ℓe	溶接 脚長	溶接 Σℓ

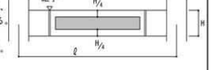
1. GPLの最小幅 ℓe が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2. 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共ＪＩＳ規格適合品を使用する。
3. 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

9－1 貫通補強

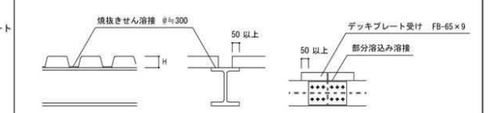
§9 その他



1. 既製品を用いた場合は許定内容による。
   在来補強の場合、特記無き限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は0.5H以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。
   （これを満足できない場合は設計者の指示による。）
2. 貫通孔を設ける範囲は右図の［　］部分を原則とする。

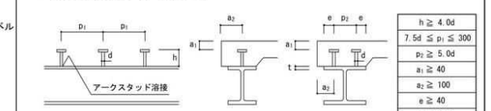


9－2 デッキプレート



○ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

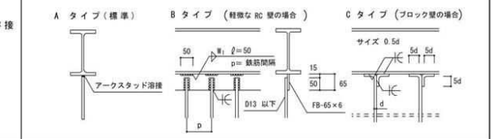
9－3 スタッドジベル



h ≧ 4.0d
7.5d ≦ p_1 ≦ 300
p_2 ≧ 5.0d
a_1 ≧ 40
a_2 ≧ 100
e ≧ 40
d ≦ 2.5t

h, p_1, p_2 設計図書による。

9－4 壁筋の溶接



（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http：／／www. kse－web. com／
2025年2月1日作成　（不許複製）

代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－05
			図面名称 鉄骨工作標準図　縮尺 －(A1) －(A3)	整理番号 — —		

鉄骨ブレース接着工法特記仕様書

1. 一般事項

（1）適用範囲

・（財）日本建築防災協会　技術評価書　建防災発第２２０９９号に基づく「鉄骨ブレース接着工法設計施工指針」による。

（2）施工計画

・工事の着手に先立ち、下記の事項について充分検討し施工計画を作成して、監督職員に提出する。

工程計画
資材・機材の搬入および保管
鉄骨の製作取付
現場養生
関連する別契約の工事との取り合い納まり等仮設計画
施工については別途工事で行う支障架空線移設工事後の施工とする。
ベランダ・屋上構造物等の撤去工事は極力低騒音、低振動での工法を選定すること。

（3）専門工事会社

・本工法に関する施工は、1.（1）に記載された専門工事会社による。

2. 材料仕様

（1）鋼材

・本工法で用いる鋼材は、特別の場合を除き、下記の15種類とする。

一般構造用圧延鋼材　SS400級
溶接構造用圧延鋼材　SM400級、SM490級
建築構造用圧延鋼材　SN400級、SN490級
一般構造用軽量形鋼　SSC400級
一般構造用炭素鋼管　STK400級
建築構造用炭素鋼管　STKN400級
建築構造用低降伏点鋼　LY100級、LY225級
一般構造用角形鋼管　STKR400級、STKR490級、BCR295、BCP325、BCP325T

（2）シール用樹脂

・低臭タイプの製品を使用する。（本工法設計施工指針に記載された製品）
・シール用樹脂は、本工法設計施工指針に記載された製品、かつ製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。
・シール用樹脂のパテ状エポキシ樹脂は、コンクリートと鉄骨枠の接着性を充分確保できるもので、間隙充填時に垂れ下がりのないものとする。
・製造日から１年以内のものを使用する。
・製造ロット毎の材料試験成績書を提出する。

パテ状エポキシ樹脂の品質規格

項　目	単　位	試験方法	規格値
圧縮降伏強度	N/mm52	JIS K 7208	60　以上
引　張　強　度	N/mm52	JIS K 7113	20　以上
引張せん断接着強度	N/mm52	JIS K 6850	10　以上

＃101ＴＫ(低臭タイプ)（ショーボンドマテリアル㈱）同等以上

（3）注入接着用エポキシ樹脂

・低臭タイプの製品を使用する。（本工法設計施工指針に記載された製品）
・注入接着用エポキシ樹脂は、本工法設計施工指針に記載された製品、かつ製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。
・製造日から１年以内のものを使用する。
・製造ロット毎の材料試験成績書を提出する。

注入接着用エポキシ樹脂の品質規格

項　目	単　位	試験方法	規格値
圧縮降伏強度	N/mm52	JIS K 7208	60　以上
引　張　強　度	N/mm52	JIS K 7113	20　以上
引張せん断接着強度	N/mm52	JIS K 6850	10　以上

グラウトＴＫ-Ⅱ(低臭タイプ)（ショーボンドマテリアル㈱）同等以上

（4）防錆塗料

・鉄骨接着接合面の防錆塗料

防錆塗料の種別は、下記を標準とし、接着性能が確認されている塗料を使用する。

JIS K 5633（長期暴露形エッチングプライマー2種）
接着性能：JIS K 6850（接着剤の引張せん断接着強さ試験方法）による引張せん断接着強さが10N／mm52以上で、材令によって低下しないこと。
指定材料：メタラクトH15（関西ペイント㈱）
又は、注入接着用エポキシ樹脂との適合性が確認されたものによる。

・鉄骨接着接合面以外の防錆塗料

☐ 屋外仕様

常温亜鉛メッキＺＲＣ工法（建築施工技術・技術審査証明を受けたもの）
工場塗装とする。
素地調整を行った鉄骨部材にＺＲＣを乾燥皮膜厚７６μｍ以上塗布すること。

☑ 屋内仕様

☑ JIS K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）

（5）既存躯体コンクリートの断面補修材

・既存躯体コンクリートの断面補修材（ポリマーセメントモルタルは、充分な接着強度と既存コンクリートと同等以上の圧縮強度を有する材料とする。
・断面補修材は製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。

断面補修材の品質規格（Fc:コンクリートの設計基準強度）

項　目	単　位	試　験　方　法	規格値
圧縮強度	N/mm52	JIS A 1108に準拠	Fc以上
		JIS A 1171	1.2Fc以上
コンクリートとの接着強さ	N/mm52	JIS A 1171、JIS A 6203 JIS A 6909に準拠 （建研式付着強さ試験）	0.38$\sqrt{Fc}$ 以上

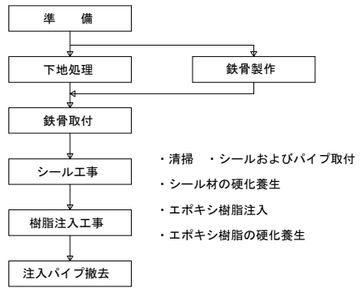
NAモルタル（住友大阪セメント㈱）同等以上

（6）その他の材料

・既存躯体コンクリートの部分的な断面欠損などの修復に使う修復材（ポリマーセメントモルタル）は、充分な接着強度と既存コンクリートと同等以上の圧縮強度を有する材料を使用する。
・既存躯体コンクリートのひび割れ補修を行う場合のひび割れ注入材は、ひび割れの深部まで浸透し、コンクリートを一体化するために充分な接着強度を有し、ひび割れから供給される水を遮断する性能を持つ材料を使用する。

3. 施工

（1）施工手順



（2）準備

・既存コンクリートのひび割れ･欠損･脆弱部、その他の損傷部を調査記録して報告書を提出する。
なお、既存部材に欠損などが有り、補強が必要と思われる場合は、監督職員と協議する。
・既存躯体の寸法を記録し、鉄骨製作に反映させる。
・事前に、施工対象部の記録写真を撮影する。

（3）下地処理

・表面仕上げ材を撤去し、構造体コンクリートを露出する。
・ひび割れは、エポキシ樹脂などを注入して補修する。
・コンクリートの欠損部は、2.(5)のポリマーセメントモルタルで補修する。
・鉄筋が露出している場合は、鉄筋の錆を除去して防錆材を塗布した後に修復する。
・コンクリートの豆板や劣化部などは、健全な下地まではつり取り、2.(5)のポリマーセメントモルタルで補修する。
・コンクリート表面の突起や段差部などは、ディスクサンダーなどで除去し、平坦にする。
なお、必要に応じて、2.(5)のポリマーセメントモルタルで平坦に補修する。
・コンクリート表面の風化層、レイタンス、汚れ、油分、型枠剥離材などは、ディスクサンダーや高圧水洗浄などを用いて除去し、清浄な面にする。
・表面研磨時に生じた埃などは、エアーブロー、吸引器、ウェスなどで除去する。
・下地の状態や使用する断面補修材によって適宜水打ち、吸水調整材、プライマーを用いる。
・既存躯体は、鉄骨の取付に支障のないように不陸修正を2.(5)のポリマーセメントモルタルで行う。厚さは、原則として30mm以下とする。
・ドライアウト防止として、ポリマーセメントモルタルにて不陸修正直後に、養生シート（スリーエムジャパン　コンクリート保水テープ2227HP）を用いて24時間以上養生を行う。
ただし、1.(3)の専門工事会社が養生シートによる養生が必要でないと認めた材料についてはこの限りではない。
・躯体面や不陸修正材の表面の乾燥状態は8%以下を目安とし最大10%以下とする。

（4）鉄骨製作

・既存躯体の調査寸法を考慮し、クリアランスが所定の寸法となるように鉄骨枠寸法を決定する。（6.標準詳細図参照）
・鉄骨枠の接着接合面は、ブラスト処理（ISO Sa2 1/2(SSPC SP-10)）以上とし、ブラスト後、錆を発生させないようにし、速やかに2.(4)に指定された防錆塗料を塗布する。

（5）鉄骨取付

・取付に必要なレベル墨および出入り墨を出す。
・鉄骨枠部材は、チェーンブロックなどにより所定の位置に取り付ける。
・鉄骨ブレースの面外方向に対する倒れ止めを適宜設ける。施工途中においても外力等で転倒の危険性が無いように処置を施す。

（6）シールおよび注入パイプの取付

・計量容器や混合用具類は、乾燥して清浄であること。
・パテ状エポキシ樹脂の一回の混合量は、シール長さ等を考慮して可使時間以内に使用できる量とする。
・可使時間を過ぎたパテ状エポキシ樹脂は、使用してはならない。
・既存コンクリートと鉄骨枠部材の間隙に、注入パイプの取付と、エポキシ樹脂の流出防止シールを行う。
・エポキシ樹脂の注入パイプと空気抜きパイプを、エアだまりの無い様に、シール材で取り付ける。
・施工は原則として、5℃以上の環境で行う。5℃以下で施工する場合は、適切な保温対策を行う。
・外壁に面する場所での補強は、雨天の場合施工を中止するか、雨水の掛からない対策を行う。
・硬化養生の時間は、施工後24時間以上を目途とし、指触確認を行う。

（7）接着用エポキシ樹脂の注入

・計量容器や混合用具類は、乾燥して清浄であること。
・接着用エポキシ樹脂の一回の混合量は．注入作業等を考慮して可使時間以内に使用できる量とする。
・可使時間を過ぎた接着用エポキシ樹脂は、使用してはならない。
・混合したエポキシ樹脂を注入器に入れ、最下部の注入パイプから徐々に加圧しながら連続して注入する。
・エポキシ樹脂が隣接の空気穴から流出してきたら、当該の空気抜きパイプを密栓し引き続きエポキシ樹脂を注入する。または、注入していたパイプを密栓し、続いてエポキシ樹脂が流出したパイプからエポキシ樹脂を注入する。
・この注入作業を順次繰り返して、すべての注入作業を終了する。空隙が出来た場合は、再注入する。
・木ハンマーなどで鉄骨枠を軽く打診して、エポキシ樹脂の未注入部がないことを確認する。
・施工は原則として、5℃以上の環境で行う。5℃以下で施工する場合は、適切な保温対策を行う。
・外壁に面する場所での注入は、雨天の場合、施工を中止するか．雨水の掛からない対策を行う。
・硬化養生時間は、施工後24時間以上とする。

（8）注入パイプ撤去

・エポキシ樹脂の硬化後、鉄骨枠を打診して未注入部が無いことを確認して、パイプ等を除去する。
・壁や建具等取付のためファスナーをエポキシ樹脂注入後に接着部近傍の鉄骨に溶接しないこととする。

4. 品質検査

（1）使用する材料の品質検査は、製造所の試験成績書を提出する。
（2）使用した材料の品質検査は、下記による。

材　料	主な検査方法		判　定	試験回数
注入接着用樹脂	圧縮強度	JIS K 7208	注入接着用エポキシ樹脂の品質規格による	工事期間中 １回以上 かつ 製造ロット毎

5. 施工記録

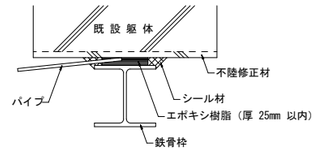
・下記の事項について施工記録を作成し、監督職員に提出する。

作業工程
施工方法
天候、気温
品質検査記録
工事記録写真

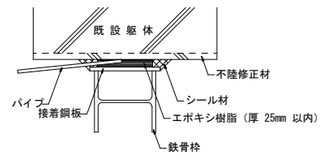
6. 標準詳細図

・接着接合部取付詳細図

＜鉄骨枠材強軸方向＞



＜鉄骨枠材弱軸方向＞



採用項目に ☑ を記す

代表者	照　査	担　当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	鉄骨ブレース接着工法特記仕様書　縮尺 -(A1) -(A3)	整理番号	令和７年１０月	S－06

鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法　特記仕様書　1

〇総則〇

特記仕様書の運用方法

（1）□印を付した事項は■印を付した事項のみを適用する。

（2）表中の数字、文字、または記号を記入する事項は記入してある事項のみを適用する。

（3）═══で抹消した章および項目の当該特記事項はすべて適用しない。

（4）特記された材料、製造所、製品名、施工業者などの取扱いは、特記されたもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものを使用する場合は、工事監理者の承諾を受ける。

〇鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法コンセプト〇

（1）鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法とは既存鉄筋コンクリート構造建物躯体の外面に、鋼板を内蔵したＲＣ部材を固着力およびあと施工アンカーにて固定・一体化し、既存建物の靭性改善・耐力向上をはかる工法をいう。

〇鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法施工手順〇

（1）標準的な施工手順を以下に示す。なお作業上の都合により手順が入れ替わってもよいものとする。



1．使　用　材　料

1．1補強鋼板

（1）材質　ＪＩＳＧ３１３６　■ＳＮ４００Ｂ　□ＳＮ４００Ｃ　□他（　　）

ＪＩＳＧ３１０１　□ＳＳ４００　□他（　　）

ＪＩＳＧ３１０６　□ＳＭ４００Ｂ　□ＳＭ４００Ｃ　□他（　　）

（2）板厚　□9㎜　□12㎜　■16㎜　□19㎜　□22㎜　■25㎜

（3）接合方法　■高力ボルト接合（Ｓ１０Ｔ）□溶接接合

1．2座金

（1）材質　ＳＳ４００相当

1．3鉄筋

（1）アンカー筋　径　□Ｄ１６　■Ｄ１９　□Ｄ２２

材質　ＳＤ３４５

（2）組立筋　径　Ｄ１３

材質　ＳＤ２９５

（3）乱れ防止筋　径　Ｄ１０

材質　ＳＤ２９５

（4）割裂防止筋　径　Ｄ６

材質　ＳＤ２９５

径　Φ６（JIS G 3551 に適合するもの）

材質　ＷＦＰ，ＷＦＣ，ＢＦＳＲ２３５，ＢＦＳＲ２９５，ＢＦＳＤ２９５

（5）打増し部補強筋　径　補強詳細図による

材質　ＳＤ２９５

1．4コンクリート

（1）種類　■普通コンクリート　□流動化コンクリート

□その他（　　）

（2）設計基準強度　（　３０　）Ｎ／㎟

（3）最大粗骨材寸法　２０㎜又は、２５㎜

（4）使用混和剤　高性能ＡＥ減水剤

（5）スランプ　２１ｃｍ

（6）その他、コンクリートに関する規定はＪＡＳＳ５に準ずるものとする。

1．5あと施工アンカー

（1）種類　接着系あと施工アンカー

（2）下記メーカーもしくは同等品以上、またはＪＣＡＡ認証品とする

・日本ヒルティ株式会社　ＨＶＵ-Ｇ/ＥＡ，ＨＶＵ-Ｇ/ＥＡ２，ＨＩＴアンカー[ＲＥ型]

・旭化成株式会社　ＡＲケミカルセッター［ＡＰシリーズ，ＨＰアンカー］

・日本デコラックス株式会社　ケミカルアンカー［Ｒタイプ，ＲＸタイプ］

・前田工繊株式会社　ボルトメイト［ＴＧシリーズ］

・フィッシャー　フィッシャーレジンアンカー［ＲＭタイプ］

・エヌパット株式会社　パーフィクス［レジンカプセル］

2．部　材　規　定

2．1　あと施工アンカー

（1）鋼板取付き側端部処理

□ Ｄ１６……Ｍ１６（5／8”）のネジ加工

■ Ｄ１９……Ｍ２０（3／4”）のネジ加工

□ Ｄ２２……Ｍ２２（7／8”）のネジ加工

（2）有効埋め込み深さ　１０ｄａ　※ｄａは鉄筋の呼び径

（3）へりあき　２．５ｄａ以上かつ既存躯体の主筋の内側

（4）ふちあき　あと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（5）ピッチ　７．５ｄａ以上かつあと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（6）ゲージ　通常は５．５ｄａ以上、千鳥状配置の場合は４ｄａ以上かつあと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（7）配列　配列は２列以上とし、部材に均等ピッチで配置する

2．2　鋼板

（1）入り隅処理　ｒ＝３０mm以上のコーナー加工

（2）アンカー用孔

□Ｄ１６……Φ３５mm以下　■Ｄ１９……Φ４０mm以下　□Ｄ２２……Φ４５mm以下

（3）鋼板ふちあき　５０mm以上

2．3　割裂防止筋

（1）形状など　形状　□楕円　■長円のループ形状（■閉鎖型　□スパイラル）

■Ｕ型形状　■柱梁接合部（　□Ｉ型形状　□メッシュ筋　■両方可）　□図面による

（2）ループ形状の場合の端部処理

■重ね継手　□フラッシュバット溶接

※重ね継手の場合は、重ね長さ１０ｄａ以上とし、溶接長さは片面６ｄａとする

（3）下記メーカーもしくは同等品以上とする

・株式会社テクノサポート　製作品

・ジャパンライフ株式会社　製作品

・有限会社東洋建材工業所　製作品

2．4　組立筋

（1）本数

補強部材せい（$_{B}$Ｄ）mm	本数
■　$_{B}$Ｄ＜６００	４本
■　６００≦$_{B}$Ｄ＜９００	６本
■　９００≦$_{B}$Ｄ＜１２００	８本
□　１２００≦$_{B}$Ｄ	３００ピッチ以下

2．5　座金

（1）形状　□Φ５０以上　■□４５×４５以上

（2）厚み　９mm

3．施　工

3．1　既存部下地処理工事

（1）補強部材が取付く部分の既存躯体表面は構造体コンクリートを露出させ、適切な目荒しなどの処理を行う。

（2）目荒し深さと範囲

ａ）チッパーの場合

目荒し深さは既存躯体面から５～１０mm程度の凹みとし、目荒し面積は接合面の全面に渡り面積比で３０～５０％程度の目荒しを行う。

ｂ）ビシャン、水圧（ウォータージェット）の場合

目荒し深さは既存躯体面から５mm程度の凹みとし、目荒し面積は接合面の全面に渡り面積比で９５～１００%の目荒しを行う。（水圧による目荒しを実施する場合には、試験にて水圧を調整すること。）

（3）既存躯体がウォールガーダーもしくは打放しコンクリートに直塗装である場合の目荒し方法は、アンカー貫通の低減と塗料残存影響の低減を図るため、ピシャン又は、ウォータージェットによる目荒しとする。

（4）目荒しは他の部分に影響を与えないよう、目荒しの境界にカッターを入れ、不要な範囲の損傷は避ける。

また、目荒しは、必要最小限となるような方法とし、鉄筋が露出するほど斫りすぎないように注意する。

3．2　アンカー工事

（1）あと施工アンカーの施工は、アンカーについての十分な知識を持ち訓練された技能を持った者が実施する。

あと施工アンカーの施工に際しては、ＪＣＡＡ「(社)日本建築あと施工アンカー協会」の資格取得者（主任技士，技術管理士，第１種施工士のいずれか）、もしくはＡＡＣ「あと施工アンカー工事協同組合」の資格取得者（専）を現場毎に１名以上配置する。

（2）既存躯体の鉄筋その他の埋設物を損傷しないよう、事前に鉄筋探査を行い穿孔する。

（3）既存躯体内の埋設物（鉄筋・配線・配管等）に当たった場合は以下の対応を行う。

ａ）主筋に当たった場合：最外端の主筋の内側へ納まるよう再穿孔する。

ｂ）せん断補強筋に当たった場合：上下左右いずれかの方向へ再穿孔する。

ｃ）配線，配管に当たった場合：最外端の主筋の内側へ納まるよう、再穿孔する。

ｄ）穿孔に失敗した孔の処理は原則として、工事監理者の指示によりコンクリートと同等の性状が得られる材料（モルタル，樹脂）を充填することとする。

（4）アンカーの埋め込み深さを確認するため、穿孔時に深さを実測し確認する。確認数量は工事監理者の指示による。

（5）アンカーの検査は以下により行う。

ａ）打音検査は、アンカーの全数について行う。

ｂ）引張試験は、１ロットに対して本数の０．５%以上かつ３本以上とし、ロットから無作為に抜き取る。１ロットは棟ごと、アンカー径ごと、既存コンクリート強度の異なる層ごとに、当該作業員が１日に施工したものとする。

引張試験荷重は下記程度とする。（引張荷重は接着系アンカー1本当りの引張耐力の２/３程度とする。）

尚、基礎上部ずれ防止用あと施工アンカーについては引張試験は行わないものとする。

ｃ）有効埋込み深さが１０ｄａ以外のアンカー及び引張力を期待するアンカーについては、別途詳細図にて引張荷重を示す。

柱の引張試験荷重	既存コンクリート強度（Ｎ／㎟）				
アンカー径	１３．５	１５	１８．１	１９．４	２０．６
Ｄ１６	□４３　（　階）	□４６　（　階）	□４６　（　階）	□４６　（　階）	□４６　（　階）
Ｄ１９	□６１　（　階）	□６４　（　階）	■６７　（３階）	■６７　（１階）	■６７　（２階）
Ｄ２２	□８２　（　階）	□８６　（　階）	□９０　（　階）	□９０　（　階）	□９０　（　階）

（単位：ｋＮ）

梁の引張試験荷重	既存コンクリート強度（Ｎ／㎟）				
アンカー径	１３．５	１５	１８．１	１９．４	２０．６
Ｄ１６	□４３　（　層）	□４６　（　層）	□４６　（　層）	□４６　（　層）	□４６　（　層）
Ｄ１９	□６１　（　層）	□６４　（　層）	■６７　（４層）	■６７（１，２層）	■６７　（３層）
Ｄ２２	□８２　（　層）	□８６　（　層）	□９０　（　層）	□９０　（　層）	□９０　（　層）

（単位：ｋＮ）

（6）既存部下地処理及びアンカー打設の両作業終了後、既存躯体表面の水洗いを行う。

3．3　鋼板加工・取付け工事

（1）鋼板の表面に付着した油膜などの、付着力を低下させる付着物は除去する。

（2）鋼板の取付けは、鋼板１ピースあたり、４本以上のアンカーにより取付ける。その際、座金・ナットの設置については、補強詳細図による。なお、詳細図に記載がない場合は、以下の（3）を基準とする。

（3）鋼板ピース端部に配置するあと施工アンカーおよび、２．０m以下の間隔で固定するためのあと施工アンカーは、鋼板の両側に座金・ナットを用いて固定する。また、柱梁接合部および、ブレース交差部の引張力を負担するあと施工アンカーは、鋼板の外部側に座金・ナットを取付ける。その他のあと施工アンカーには、座金・ナットを設置しなくてよい。

（4）鋼板取付けのナット締付け量はモンキーレンチなどを用い、手締めとする。締付けトルクは指定しない。

（5）あと施工アンカーと鋼板の孔が合わない場合は、原則としてあと施工アンカーを台直しして収める。やむを得ず、鋼板の孔をふかす場合は、工事監理者の承認を得ることとし、ふかしが大きくなる場合は欠損部に相当する添え板を鋼板面に溶接補強する。

（6）建て入れ直しは以下による。

ａ）面内方向

建て入れ直しは、レバーブロックなどにより行い、建て入れの精度は鋼板接合部が全数取付けられ、所定のかぶり厚さが確保できる範囲であれば、支障はない。

ｂ）面外方向

建て入れ直しは、あと施工アンカーにセットされたナットと座金を用いて行ってもよい。建て入れ直しの精度は、頂部の鋼板から下げ降りを下げるなどして、面外方向の出入りは正規の位置より±３mm以内とする。ただし、既存躯体の精度が悪いときは、工事監理者の指示による。

代表者	照　査	担　当		

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－07
図面名称　鋼板内臓コンクリート構造による補強工法　特記仕様書　その１　縮尺　No Scale(A1) No Scale(A3)	整理番号	—	—

鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法　特記仕様書　２

３．４　鉄筋工事

（１）組立筋の継手は、位置は特に規定はしないが、鋼板接合部位置からずらすことが望ましい。組立筋は３本以上が交差することのないよう配慮する。３本交差する場合は、梁の組立筋を切断することが望ましい。

（２）Ｕ型割裂防止筋の定着長さはその部材に使用する標準割裂防止筋の長径＋１５０mm以上とする。

（３）柱・梁共に打増しがある場合、材軸方向筋は原則として柱筋を通し配筋とし、梁筋の柱への定着は規定しない。

３．５　コンクリート工事

（１）調合はＪＡＳＳ５による。

（２）発注は、レディーミクストコンクリートとする。また、工場はＪＩＳ表示許可を受けていなければならない。

（３）コンクリートの打ち込み、締め固めはＪＡＳＳ５による。

（４）養生は以下による。

ａ）早強ポルトランドセメントおよび普通ポルトランドセメントを使用する場合は、コンクリートの圧縮強度が１０Ｎ／mm²以上となることを確認すれば、せき板・支保工の撤去および以降の湿潤養生を打ち切ることができる。

ｂ）湿潤養生期間中の上階へのコンクリート打設は、下階の養生状態に対して影響が少ないため連日にわたり行っても良い。但し、直下階の養生は打ち切ってはならない。

ｃ）上階に日々連続してコンクリートを打設する場合も、前日打設したコンクリートに悪影響を与えないよう、作業の管理を行う。

（５）品質管理の検査項目は、ＪＡＳＳ５に規定されている項目のうち、圧縮強度，スランプ，空気量，コンクリート温度，塩化物量とする。

（６）圧縮強度の試験は、コンクリート打設日毎に３台の運搬車からテストピースを採取し、標準養生の７日（４週強度推定用），２８日（「構造体コンクリート強度推定試験用」，〔「使用するコンクリートの調合強度管理のための試験」を兼ねるものとする〕）について各３本づつ行う。その他、型枠脱型用、予備など必要に応じて採取するものとし、目的に準じた養生方法で管理する。

３．６　型枠工事

（１）せき板の材料および種類はＪＡＳＳ５による。

（２）型枠の加工および組立ては以下による。

ａ）セパレータの取付けは鋼板を利用してもよい。

ｂ）補強部材には、打ち継ぎ部分には打ち継ぎ目地を設け、また適宜に化粧目地を設ける。

ｃ）補強部材には、目地の設置を考慮し２５mm程度の打増しは可とする。

３．７　防水工事

（１）シーリングを必要とする目地は以下による。

ａ）既存躯体と補強体の新旧コンクリートの打ち継ぎ面の目地幅（幅２５mm，深さ２０mm）

ｂ）補強体に設けた、化粧目地（幅１５mm，深さ１５mm）

ｃ）その他、防水上必要と認められる目地および補強体と他材料との接合部

ｄ）笠木などの防護策を講じた場合の防水上必要と認められる目地

（２）シーリング材を充填する目地

ａ）目地幅は、シーリング材がムーブメントに対する追従性を確保できる寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。

ｂ）目地深さは、シーリング材の接着性、耐久性を十分に確保でき、硬化阻害を起こさない寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。

ｃ）その他、ＪＡＳＳ８に準ずる。

３．８　打増しの規定

（１）補強部材取付けに伴う打増し部分に適用する配筋は打増し厚により以下に規定する。

打増し厚	配　筋　規　定
□　０mm～５０mm未満	配筋不要
□　５０mm以上～１００mm未満	メッシュ筋（φ６@１００シングルクロス）
■　１００mm以上	補強詳細図による

３．９　庇・バルコニー・片持ち梁などがある場合の規定

（１）補強部材が連層で設置される場合で、庇やバルコニー・片持ち梁などのはね出し部材がある場合は、補強部材が連続するよう、連結部分のはね出し部材を斫り取り、鋼板が連続し応力伝達が可能となるような対処を行わねばならない。

（２）庇・バルコニー・片持ち梁等の根元を撤去・復旧する場合は、必ず支保工等で充分に養生すること。

（３）庇・バルコニー・片持ち梁等のはね出し部材を復旧する場合は、原則として既存鉄筋を接合復旧できる長さ（梁面から３００mm以上）を残して撤去し、復旧方法の詳細は図面による。

３．１０　検査

（１）３．１～３．９の各工事について、ピタコラム工法協会の検査員の検査を受けること。ただし、３．７防水工事は除くものとする。

４．その他

４．１　既存躯体不良の処置

（１）既存躯体の不良については、工事監理者と処置方法を協議する。

４．２　補強部材の仕上げ

（１）小地震時の微小変形やコンクリートの乾燥収縮によるひび割れの対応として、耐久性の確保の為に、仕上げ材は防水形複層塗材Ｅ(JISA6909)とする(但し、石・タイル・パネル等の仕上げ材の場合はその限りでない)。

４．３　施工作業に対する配慮事項

（１）掘削範囲

アンカー打設のため、掘削法尻位置は　既設柱面から1000mm以上必要とする。但し、バルコニー等がある場合は足場建地、パイプサポートの設置位置を検討の上、法尻位置を考慮すること。

（２）庇・スラブ開口

庇・スラブを存置させて施工する場合、切欠き等を不可とされる場合を除き、補強体の直上階ではコンクリート打設用及び鋼板吊り込み用の開口を適宜設ける必要がある。〔 例）数：1ﾊﾟﾝ当り3～5箇所　，大きさ：150mm×(補強厚+150mm)〕

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－08
					図面名称　鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法　特記仕様書　その２　縦尺　No Scale(A1) No Scale(A3)	整理番号 — —		

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ　設計・施工標準　JFE 建材 株式会社　同等品

1 型式・質量および断面性能

JF75 ⇒熊谷工場製造
JF75W⇒神戸工場製造

	型式	板厚 [mm]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚/m]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/m²]	断面性能 I [x10⁴mm⁴/m]	断面性能 Z [x10³mm³/m]
□	ＪＦ７５－０８	0.8	7.95	12.6	120	18.7
	ＪＦ７５Ｗ－０８		7.97	12.6		
□	ＪＦ７５－１０	1.0	9.88	15.7	150	24.4
	ＪＦ７５Ｗ－１０		9.88	15.7		
■	ＪＦ７５－１２	1.2	11.8	18.7	180	29.4
	ＪＦ７５Ｗ－１２		11.8	18.7		
□	ＪＦ７５－１４	1.4	13.7	21.8	206	34.4
	ＪＦ７５Ｗ－１４		13.6	21.6		
□	ＪＦ７５－１６	1.6	15.7	24.9	232	39.3
	ＪＦ７５Ｗ－１６		15.5	24.6		

(注) JF75（熊谷工場）とJF75W（神戸工場）の使い分けについて：製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します

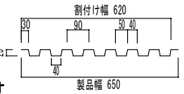
ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗの設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
ＪＦ７５評価番号［評価 第911-0100A003号］

種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量 (両面)[g/m²]	使用材料
SGCC	□ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
SGHC	□ Z27	275	
SZACC SZAHC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
□ その他（　　）			

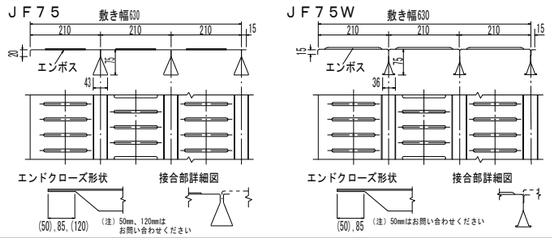
(注) 断面性能のＩは、断面2次モーメント(全断面有効)、Ｚは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

キーストンプレート
原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L=350~1,200mm)※板厚：0.8mm



キーストンプレート				
板厚 mm	全断面有効 断面2次モーメント I x10⁴mm⁴/m	有効幅考慮 断面係数 Zx10³mm³/m	製品質量 亜鉛めっき(Z12) kg/m	製品質量 亜鉛めっき(Z27) kg/m
0.8	12.2	9.80	5.89	6.07

2 製品仕様

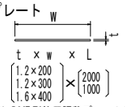


製品長さ・エンドクローズ寸法

種類	エンドクローズ長さ	製品長さ
ＪＦ７５	85、(50、120) mm	1000~4900 mm
ＪＦ７５Ｗ	85、(50) mm	1000~4900 mm

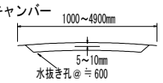
(注) 50mm、120mmはお問い合わせください

調整プレート

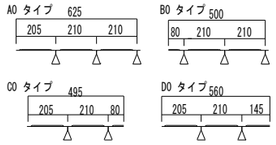


(注) RC梁型枠用調整プレートには釘孔加工(@600mm)有り

キャンバー



役物デッキプレート



3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

項目		算定式
曲げ応力 (N/mm²)	[Ｓ造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$
	[RC・SRC造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$
たわみ (mm)		$\delta = \frac{5WL^4}{384EI} \times 10^3 \leqq \frac{Lx10^3}{180} + 5$
支圧耐力 (N/m)		$P = WL \leqq Pa$

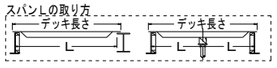
記号説明

σ	曲げ応力度	(N/mm²)
f_b	許容曲げ応力度　f_b= 205	(N/mm²)
M	最大曲げモーメント	(N・mm/m)
Z	断面係数（有効幅５０ｔ考慮）	(mm³/m)
δ	最大たわみ	(mm)
C	たわみ算定用係数　(C=1.6)	
W	設計（上載）荷重	(N/m²)
L	スパン	(m)
E	鋼材のヤング係数E=2.05×10⁵ N/mm²	(N/mm²)
I	断面２次モーメント(全断面有効)	(mm⁴/m)
α	施工割増係数[別表参照]	
P	ＪＦデッキリブ支圧荷重	(N/m)
Pa	許容支圧荷重[別表参照]	(N/m)

許容支圧荷重Pa（幅1m当たり）

板厚 (mm)	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重 (N/m)	9,800	14,700	19,600

スパンの取り方



設計荷重 W

W=W₁+ W₂+ W₃　W₁：スラブ自重=（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W₂：フラットデッキ自重　W₃：作業荷重(下記)

施工時作業荷重	■ 1,470N/m² [ポンプ工法]　□ 2,450N/m² [ホッパー・バケット工法] □（　　N/m²）[　　]
コンクリート[鉄筋コンクリート単重]	■ 普通コンクリート[24kN/m³]　□ 軽量コンクリート[20kN/m³] □（　　）[　　kN/m³]

施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

施工状況の種類	施工割増係数(α)	施工条件など
■ Ⅰ類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ Ⅱ類	1.25	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚1.0mmまたは板厚1.2mmのフラットデッキを使用する場合
□ Ⅲ類	1.5	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚0.8mmのフラットデッキを使用する場合

スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

建物の構造		S造、RC・SRC造 Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0]					Ⅱ類[α=1.25]		Ⅲ類[α=1.5]
RC・SRC造 施工状況の種類	板厚 t / スラブ厚S(mm)	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,090	2,420	2,650	1,940
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640

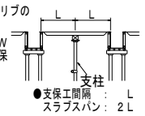
1) □ 部は、たわみで決定する範囲を示す。　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数		α=1.0			α=1.25		α=1.5
	板厚 t / スラブ厚S(mm)	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

(単位：mm)

1) 上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン２Ｌを示す
2) ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗを支持する場合、スラブスパンが３．０ｍを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3) ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ製品仕様の最大長さは４．９ｍ

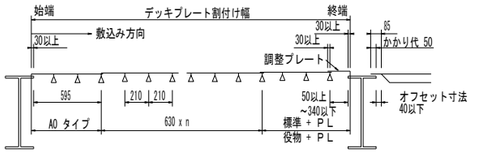


4 納まり例

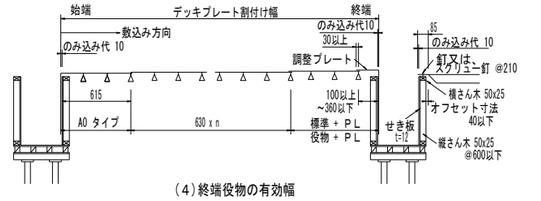
4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

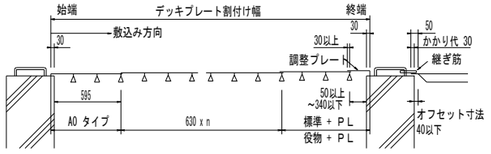
(1) 鉄骨造（Ｓ造）



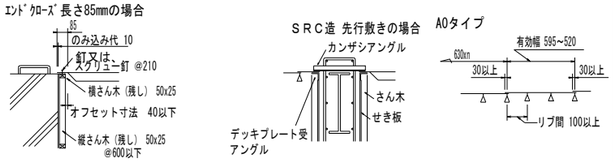
(2) 鉄筋コンクリート造（ＲＣ造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）



(3) ＲＣ置きスラブ（地中梁）



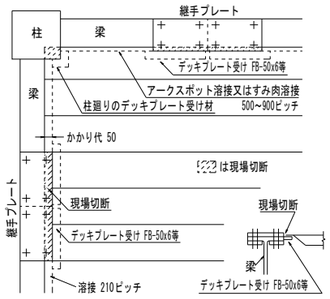
(4) 終端役物の有効幅



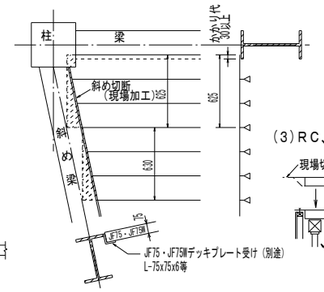
4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

(1) Ｓ造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



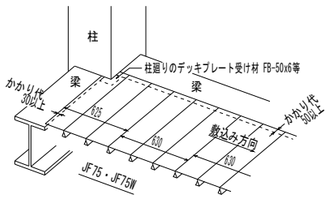
(2) Ｓ造斜め梁の納まり



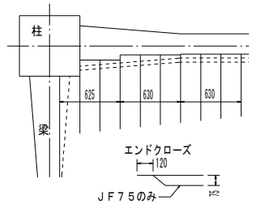
(3) ＲＣ、ＳＲＣ造斜め梁



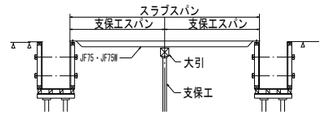
(4) Ｓ造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工



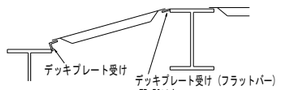
(5) Ｓ造水平ハンチの納まり



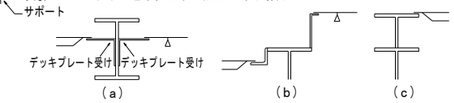
4-3 中間支保工設置



(6) Ｓ造梁の段差（レベル差）がある場合



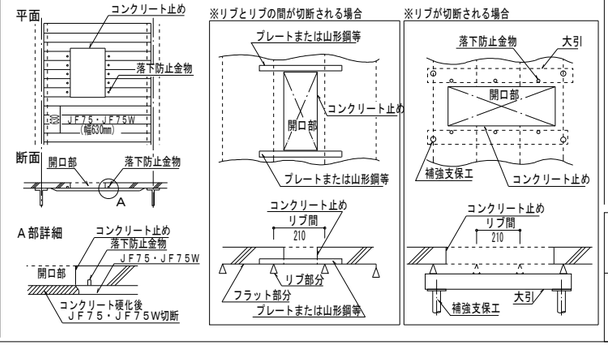
(7) Ｓ造床板と梁に段差のある場合



4-4 開口部納まり例

配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断　　B)コンクリート打設前に開口部切断



5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

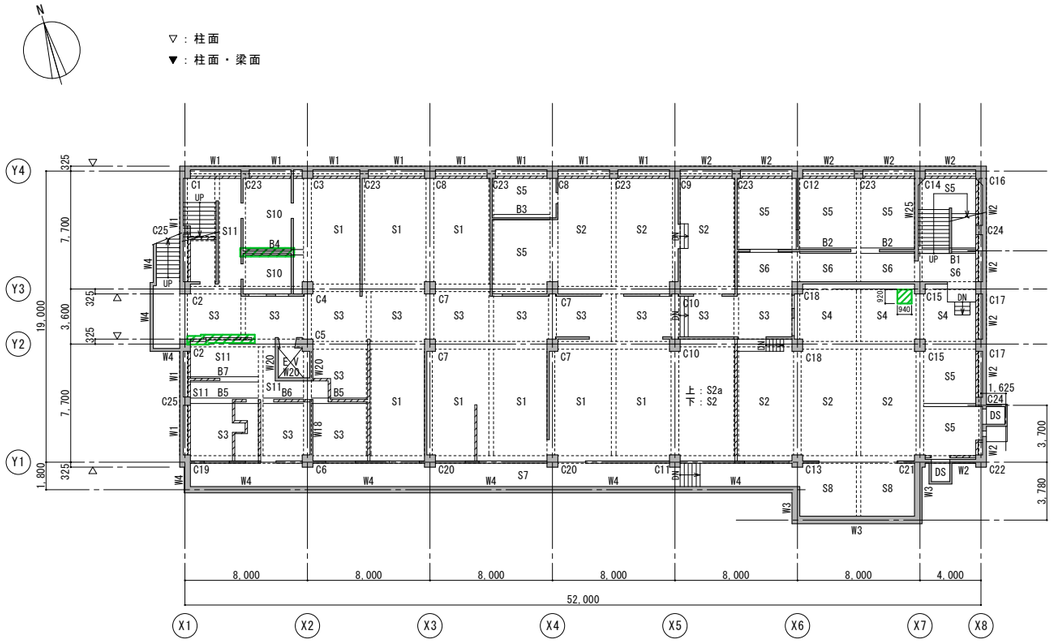
項目	内容
1 保管	(1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める (2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1)骨組の組立順序との関連を十分検討する (2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する (3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1)始端かかり位置、中間位置(デッキ５枚位の位置)終端位置をマーキングする (2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4)かかり寸法は厳守する (5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8~1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8~1.0mmは注意する
5 コンクリート打設	(1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする

特記(施工)	

2022／07／21

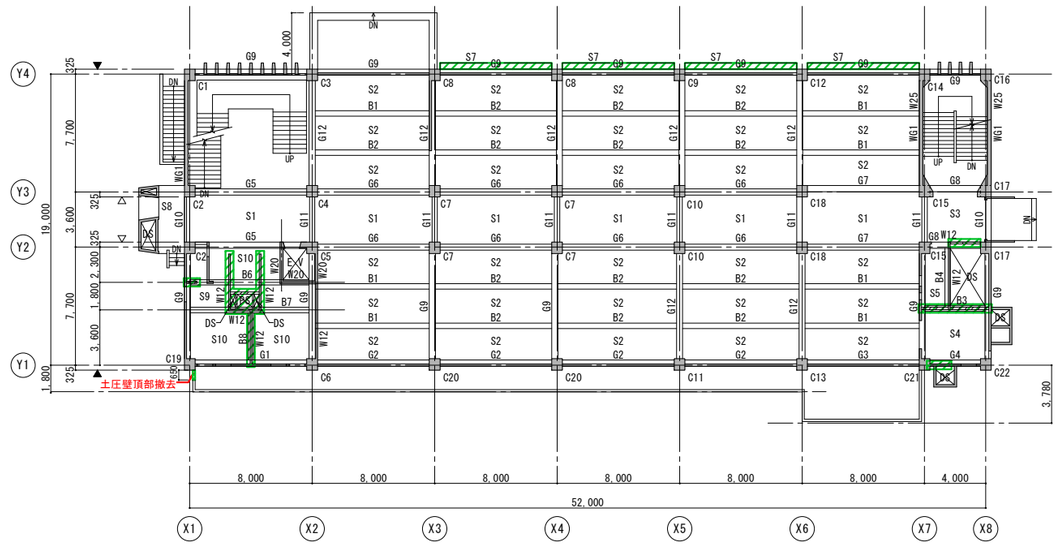
代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－09
				図面名称 フラットデッキ 特記仕様書　縮尺 -(A1) -(A3)	整理番号 — —		

改修前



B1階柱壁B1階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。



1階柱壁1階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

補強凡例

：壁・スラブ撤去

改修後



B1階柱壁B1階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

補強凡例

：ピタコラムブレース

：梁横増打

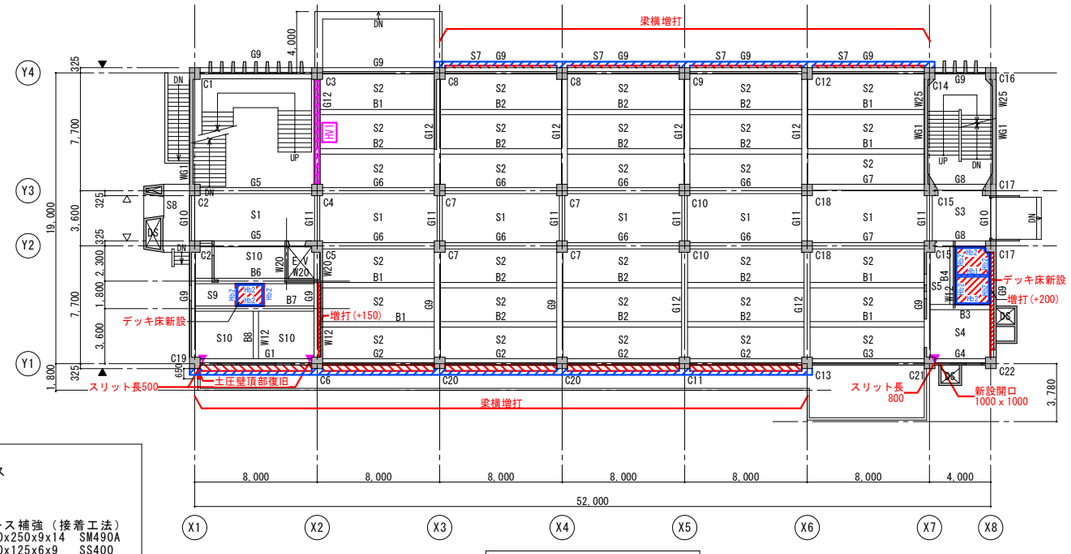
：HV1 枠組鉄骨ブレース補強（接着工法）
枠・ブレース　：H250x250x9x14　SM490A
座屈止め　　：H250x125x6x9　SS400

▼：耐震スリット

：開口閉塞

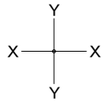
：RC増打壁(+150)

：鋼板巻き補強（PL-9）



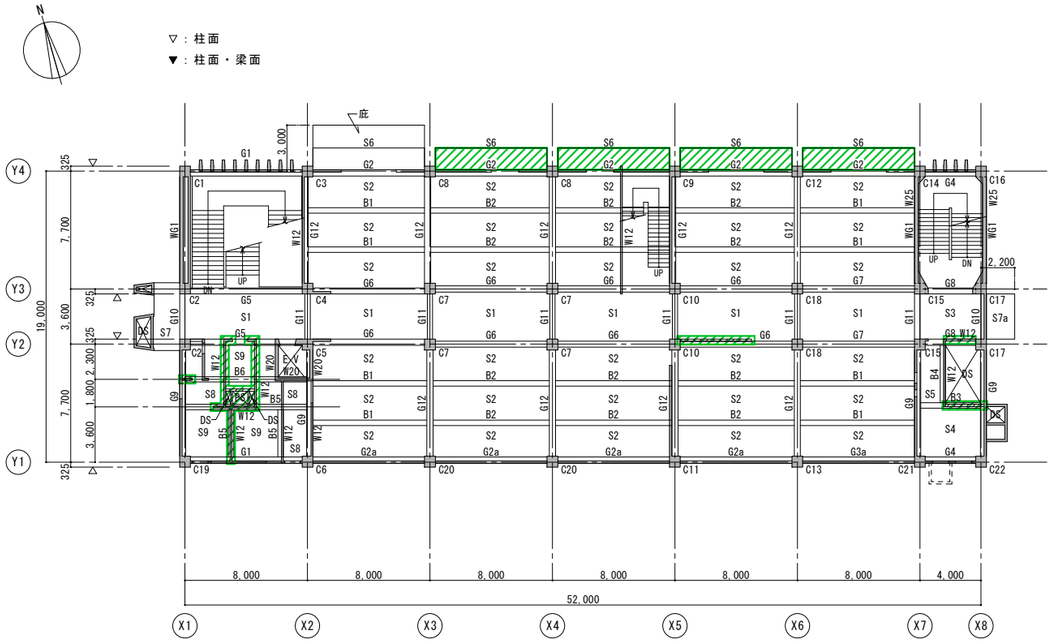
1階柱壁1階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。



代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－10
				図面名称　改修前・改修後伏図（１）　縮尺　1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号	—	—

改修前



2階柱壁2階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。



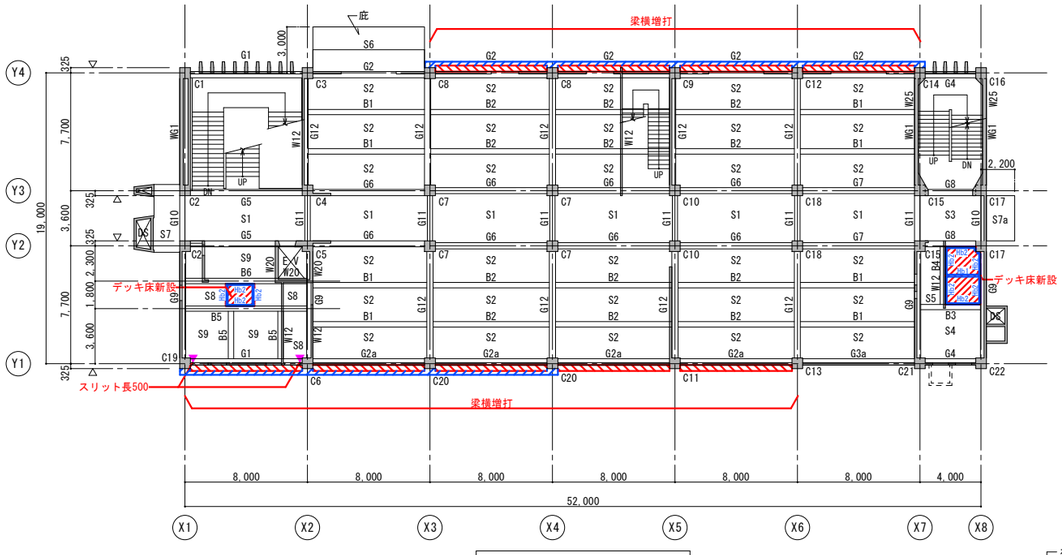
3階柱壁3階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

補強凡例

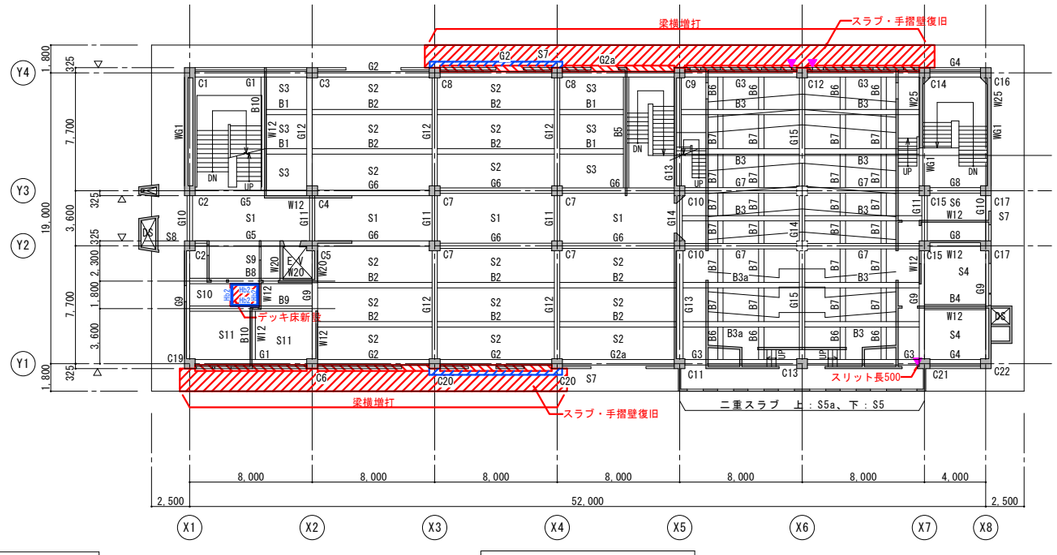
：壁・スラブ撤去

改修後



2階柱壁2階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。



3階柱壁3階床梁伏図　S=1/200

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

補強凡例

：ピタコラムブレース

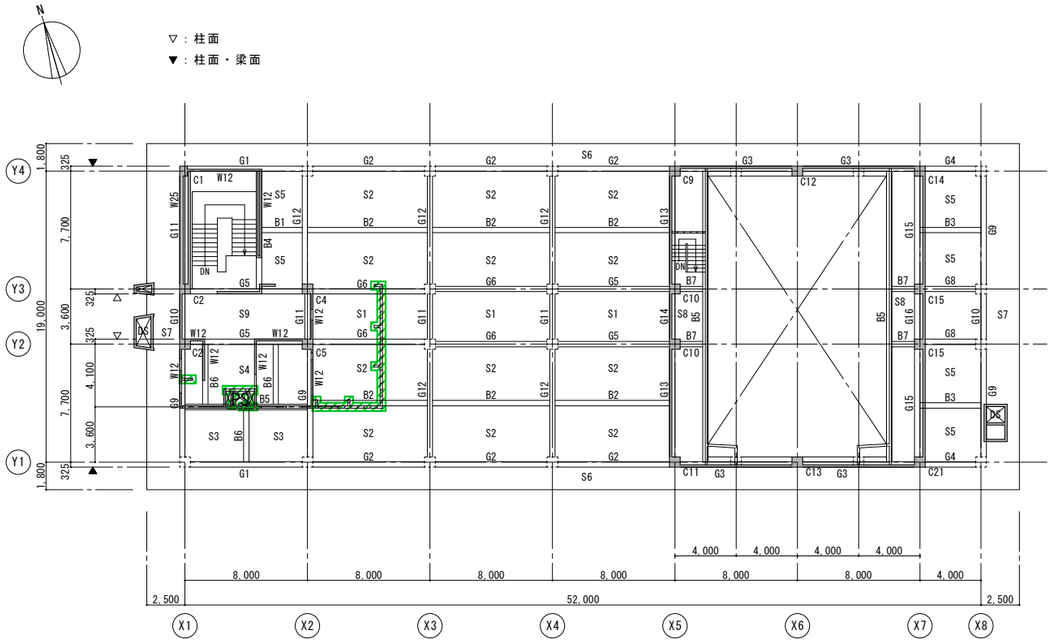
：梁横増打

▼：耐震スリット

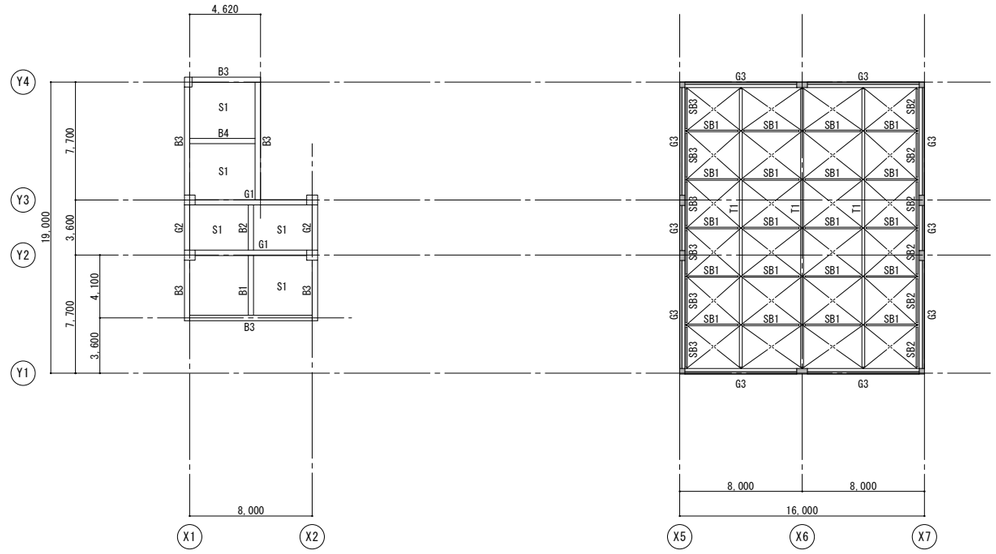
Y
X X
Y

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－11
				図面名称 改修前・改修後伏図（２） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

改修前



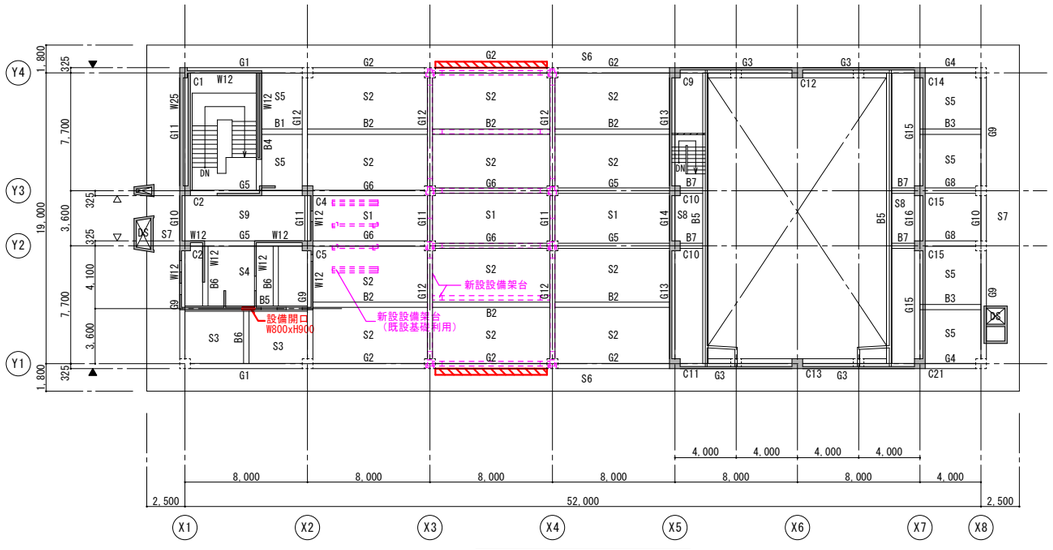
R階柱壁R階床梁伏図　S=1/200



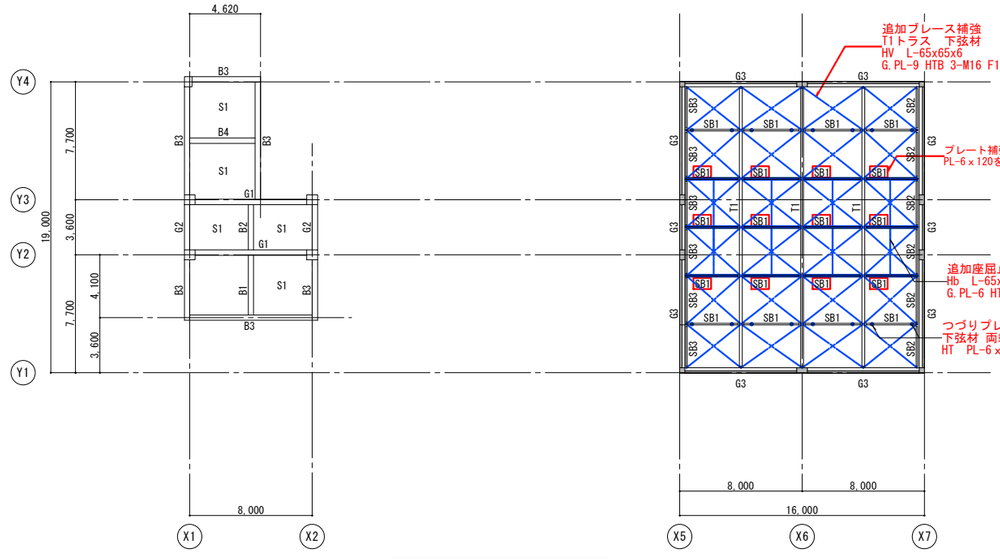
PH階柱壁PH階床梁伏図　S=1/200

補強凡例
：壁撤去

改修後



R階柱壁R階床梁伏図　S=1/200



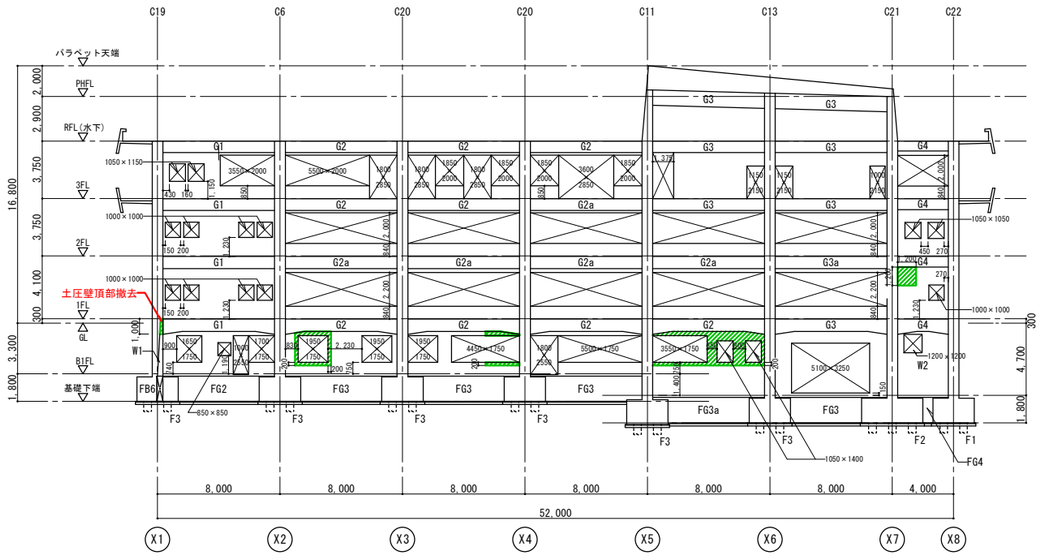
PH階柱壁PH階床梁伏図　S=1/200

補強凡例
：梁横増打

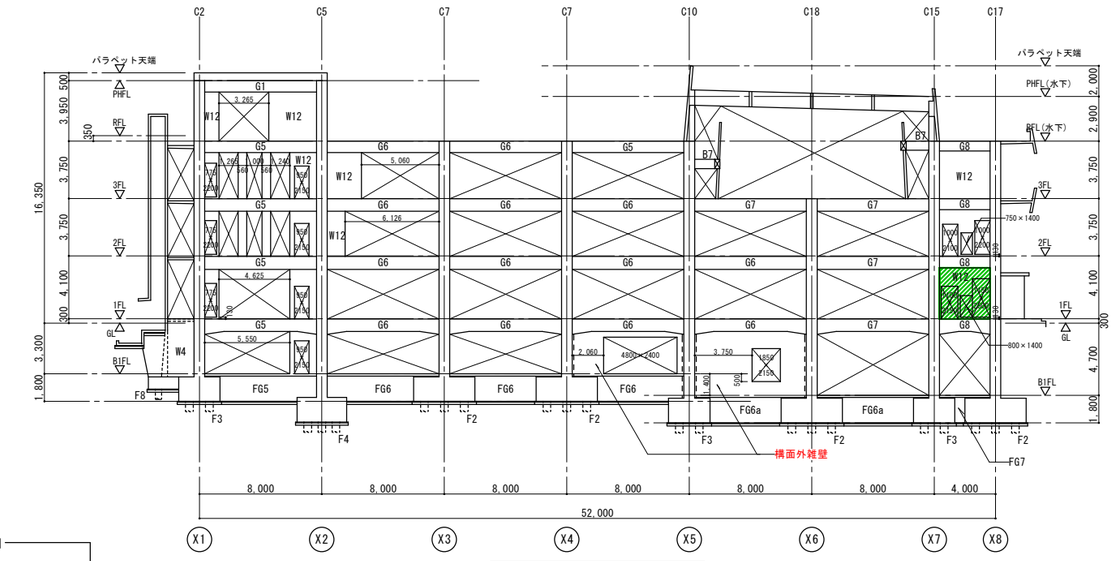
Y
X　X
Y

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－12
					図面名称　改修前・改修後伏図（３）　縮尺　1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

改 修 前



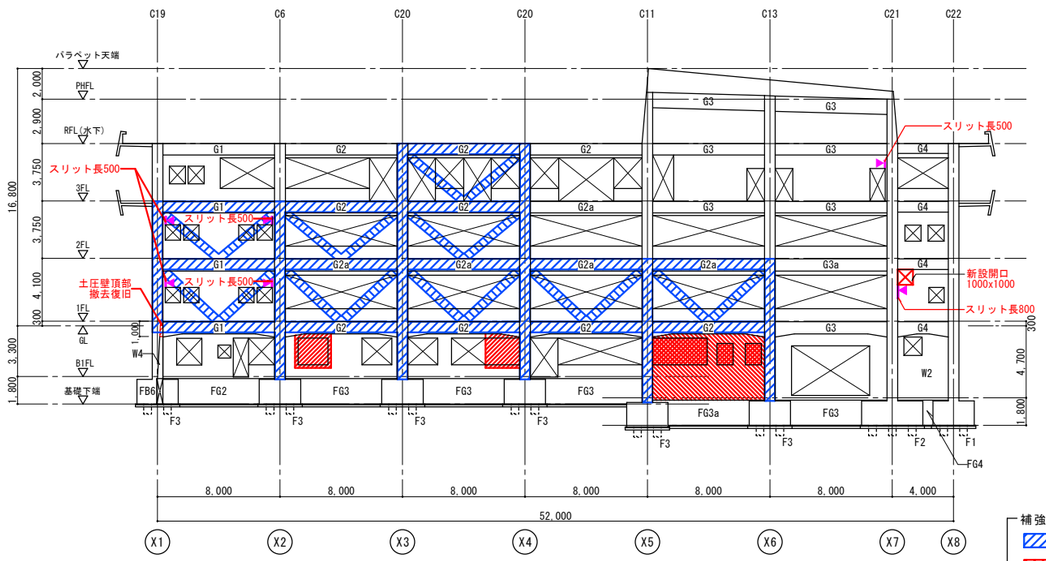
Y1通　軸組図　S=1/200



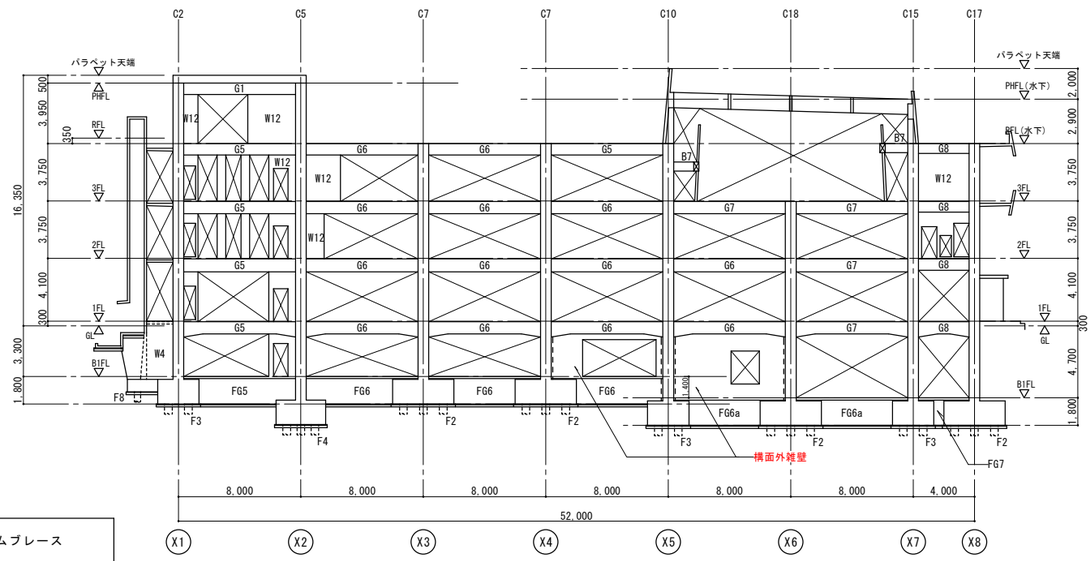
Y2通　軸組図　S=1/200

補強凡例
: 壁撤去

改 修 後



Y1通　軸組図　S=1/200



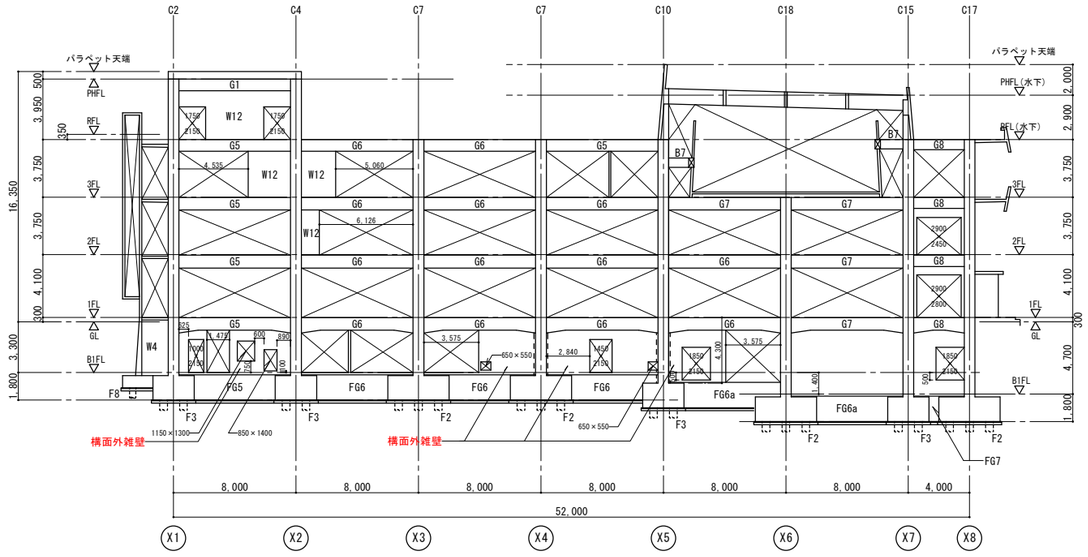
Y2通　軸組図　S=1/200

補強凡例
: ピタコラムブレース
: 開口閉塞
: RC増打壁(+150)
: 耐震スリット

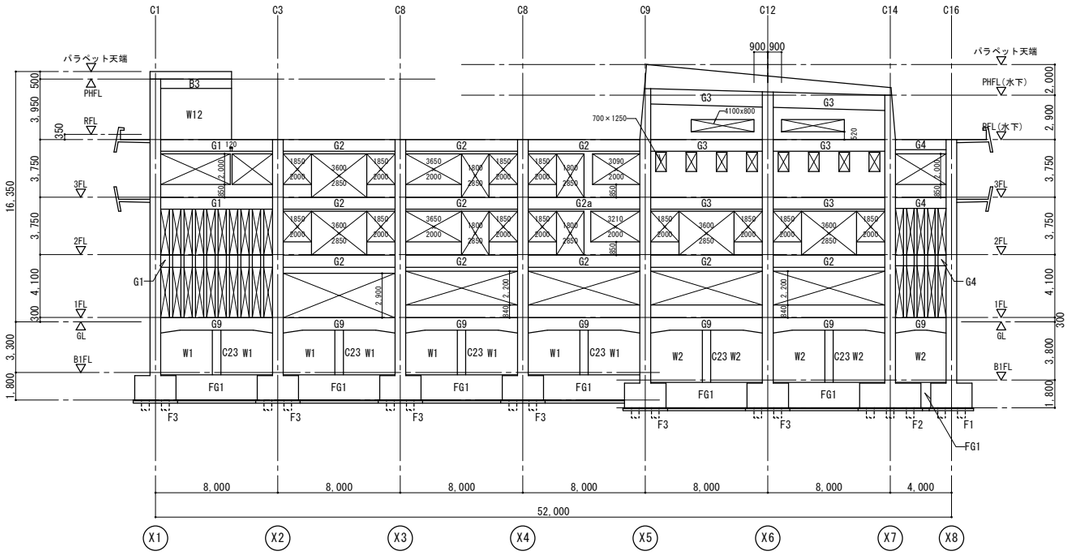
※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－13
					図面名称 改修前・改修後軸組図（１） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

改 修 前

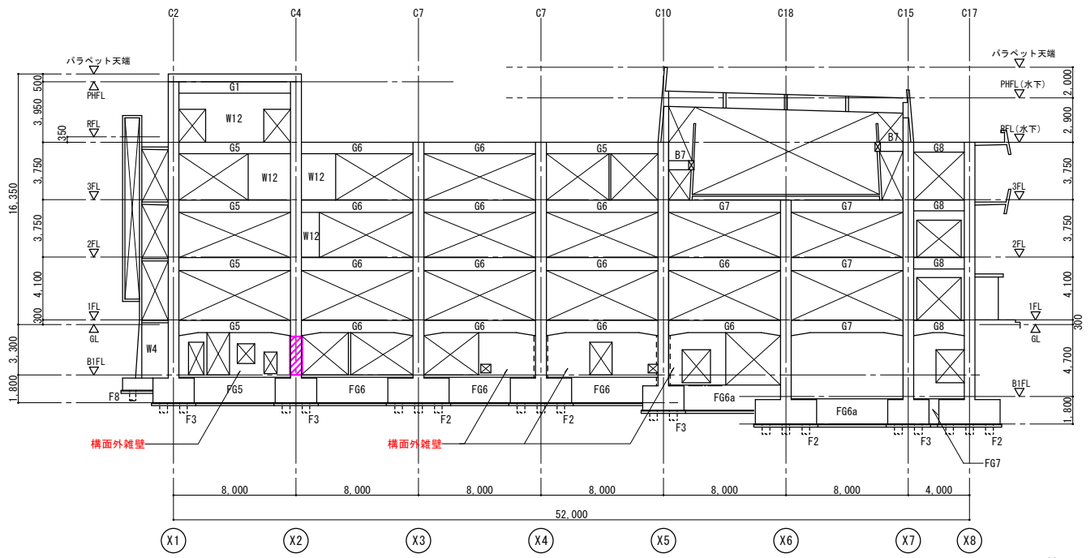


Y3通　軸組図　S=1/200

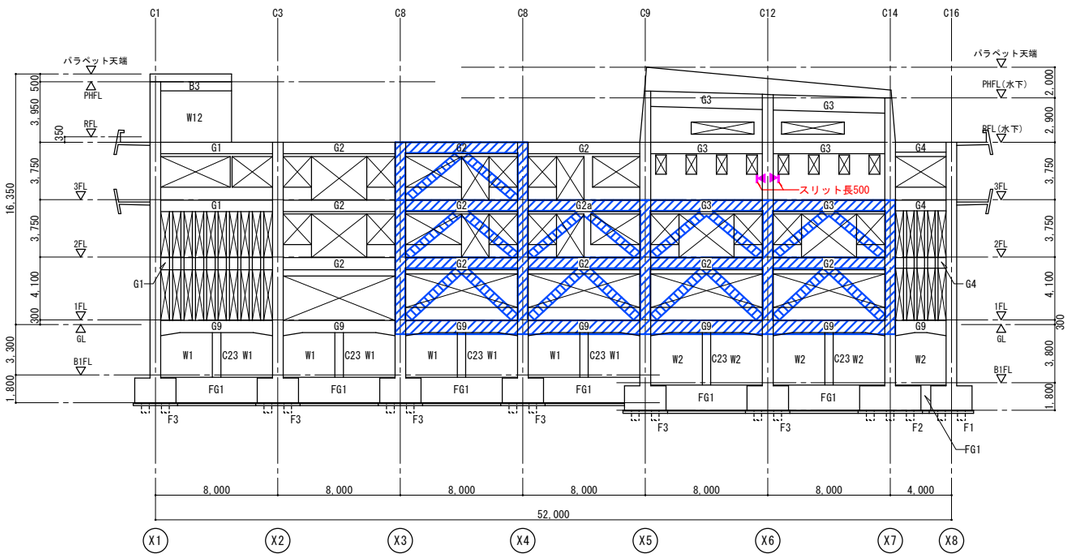


Y4通　軸組図　S=1/200

改 修 後



Y3通　軸組図　S=1/200



Y4通　軸組図　S=1/200

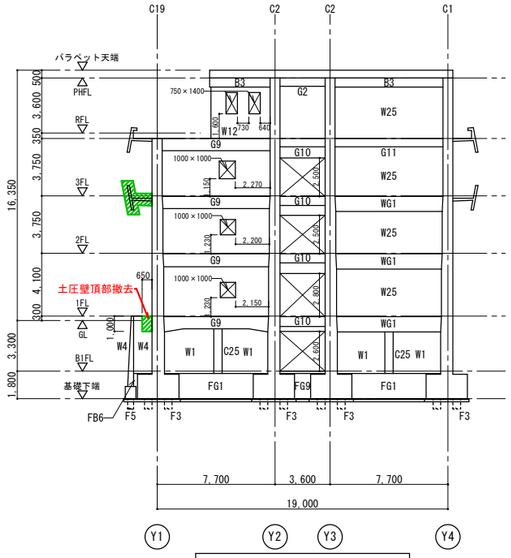
補強凡例

- ：ピタコラムブレース
- ：耐震スリット
- ：鋼板巻き補強（PL-9）

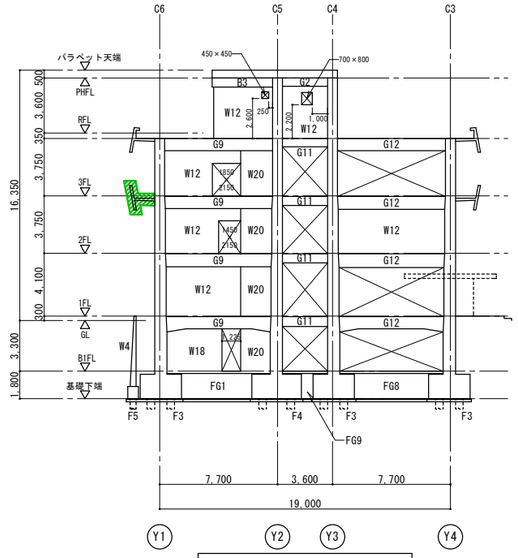
※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－14
					図面名称 改修前・改修後軸組図（２） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

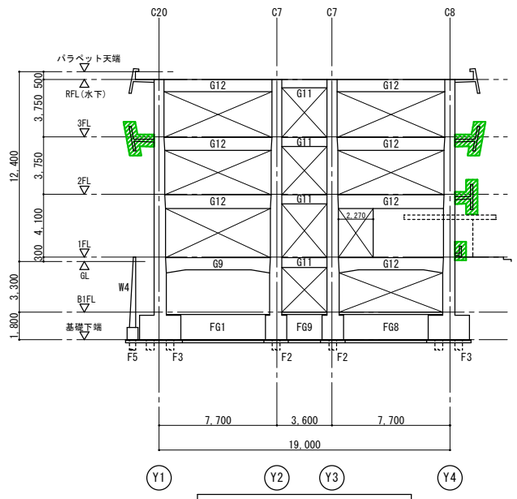
改 修 前



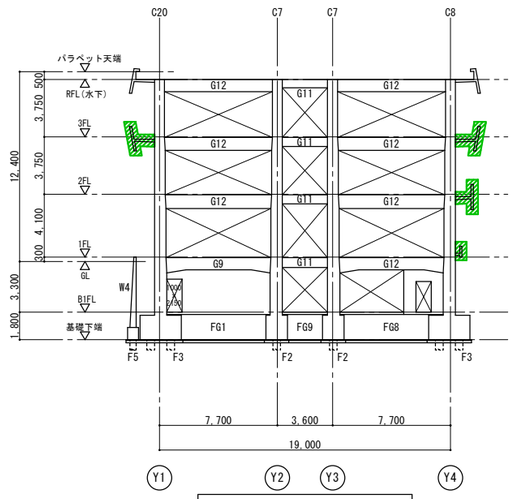
X1通　軸組図　S=1/200



X2通　軸組図　S=1/200



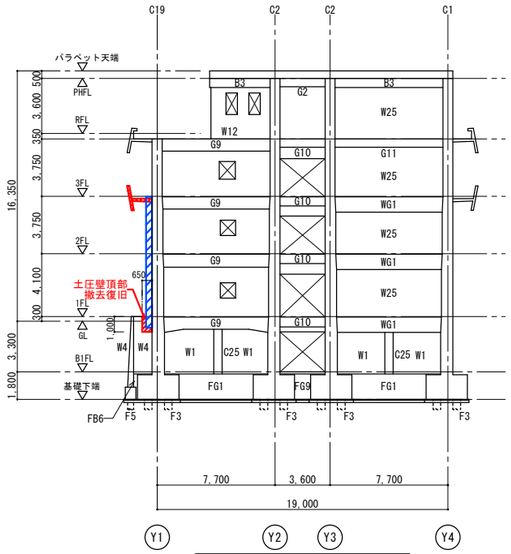
X3通　軸組図　S=1/200



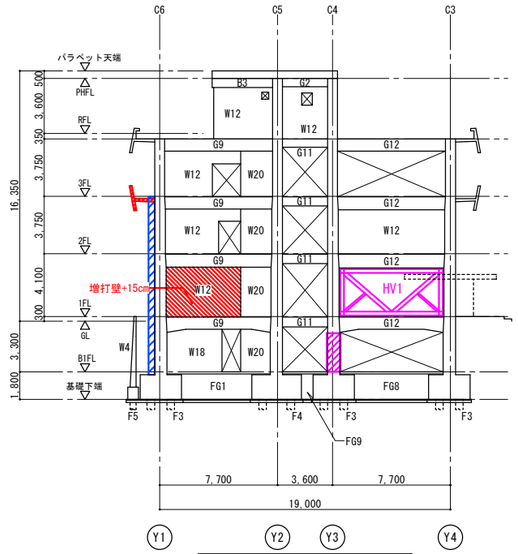
X4通　軸組図　S=1/200

補強凡例
- ：壁・スラブ撤去

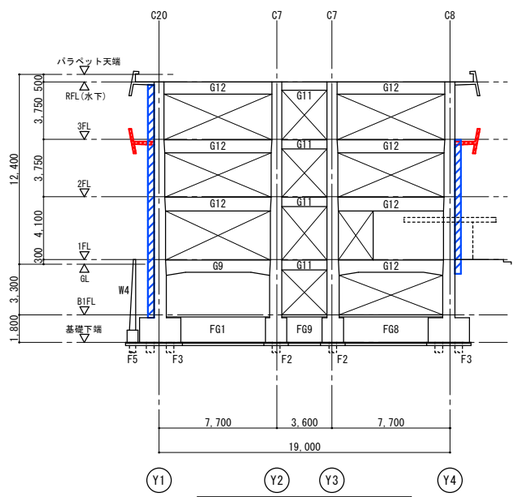
改 修 後



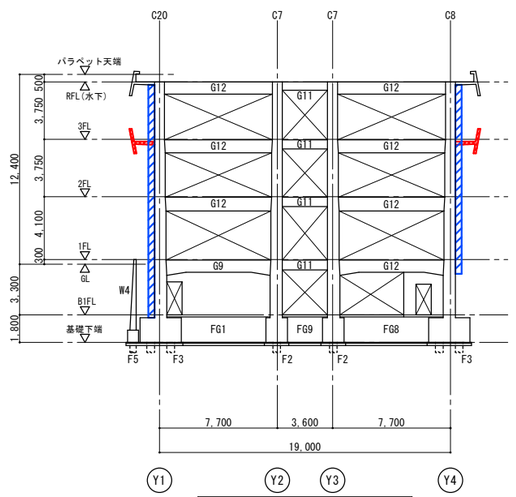
X1通　軸組図　S=1/200



X2通　軸組図　S=1/200



X3通　軸組図　S=1/200



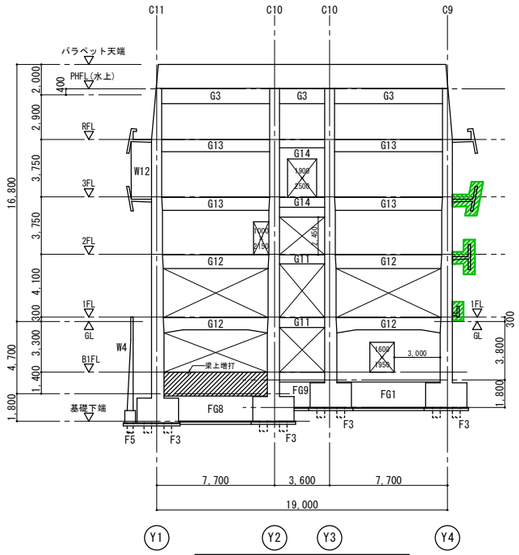
X4通　軸組図　S=1/200

補強凡例
- ：ピタコラムブレース
- ：HV1 枠組鉄骨ブレース補強（接着工法）
  枠・ブレース：H250x250x9x14　SM490A
  座屈止め　　：H250x125x6x9　SS400
- ：鋼板巻き補強（PL-9）
- ：スラブ・パラペット・腰壁復旧
- ：RC増打壁

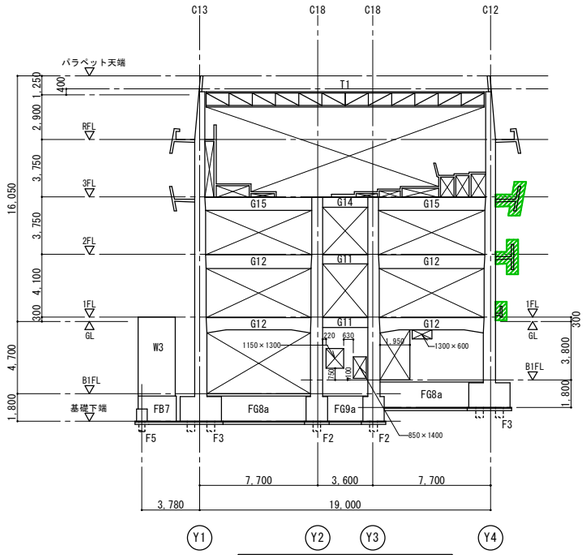
※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－15
					図面名称 改修前・改修後軸組図（３） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

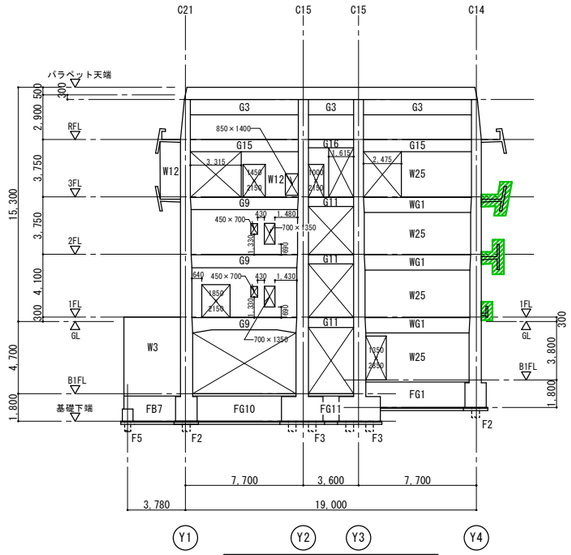
改修前



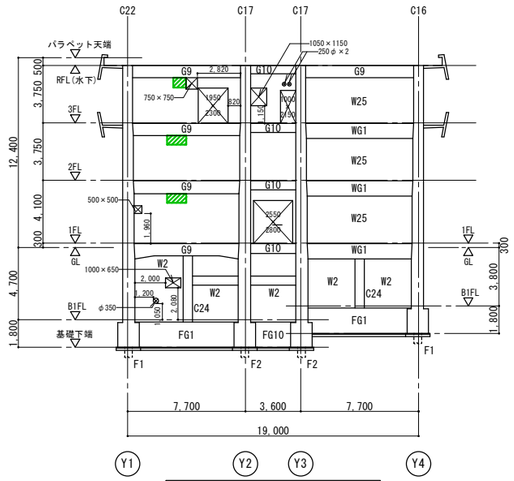
X5通　軸組図　S=1/200



X6通　軸組図　S=1/200



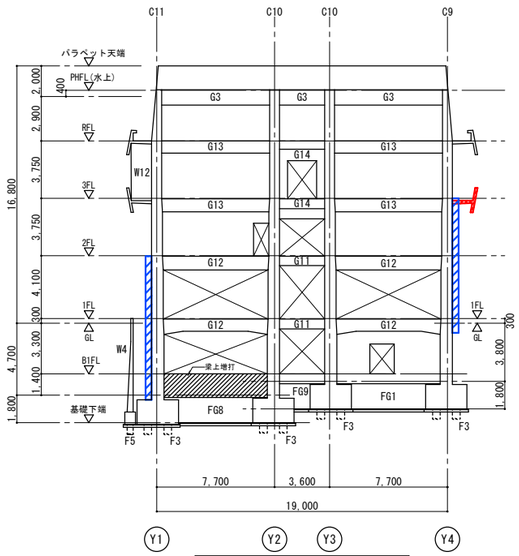
X7通　軸組図　S=1/200



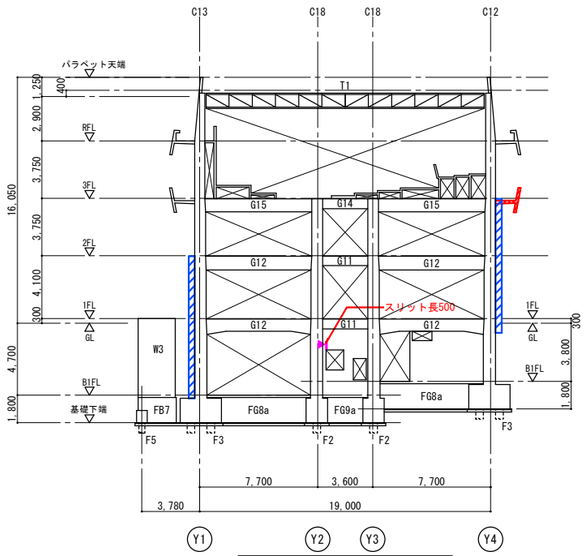
X8通　軸組図　S=1/200

補強凡例
- ：壁・スラブ撤去

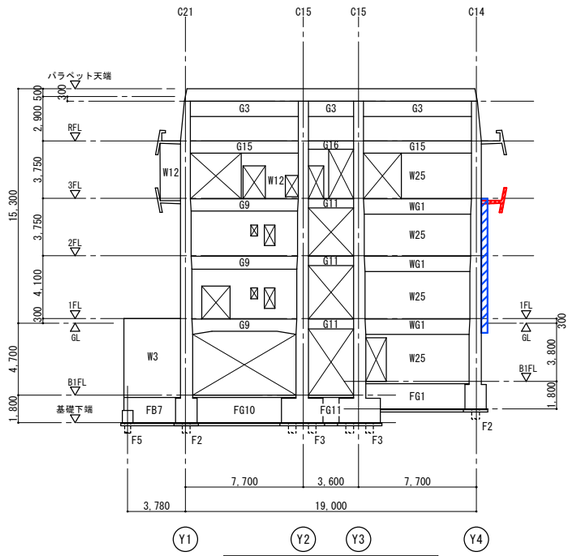
改修後



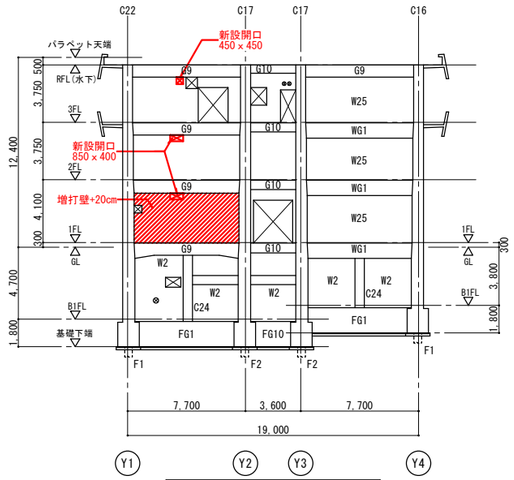
X5通　軸組図　S=1/200



X6通　軸組図　S=1/200



X7通　軸組図　S=1/200

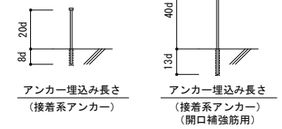


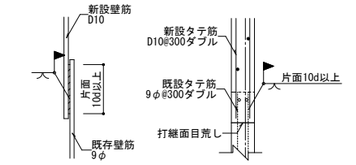
X8通　軸組図　S=1/200

補強凡例
- ：ピタコラムブレース
- ：RC増打壁
- ：スラブ・パラペット・腰壁復旧

※特記なき限り、壁厚はW15(t=150)とする。

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－16
				図面名称 改修前・改修後軸組図（４） 縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)	整理番号 — —		

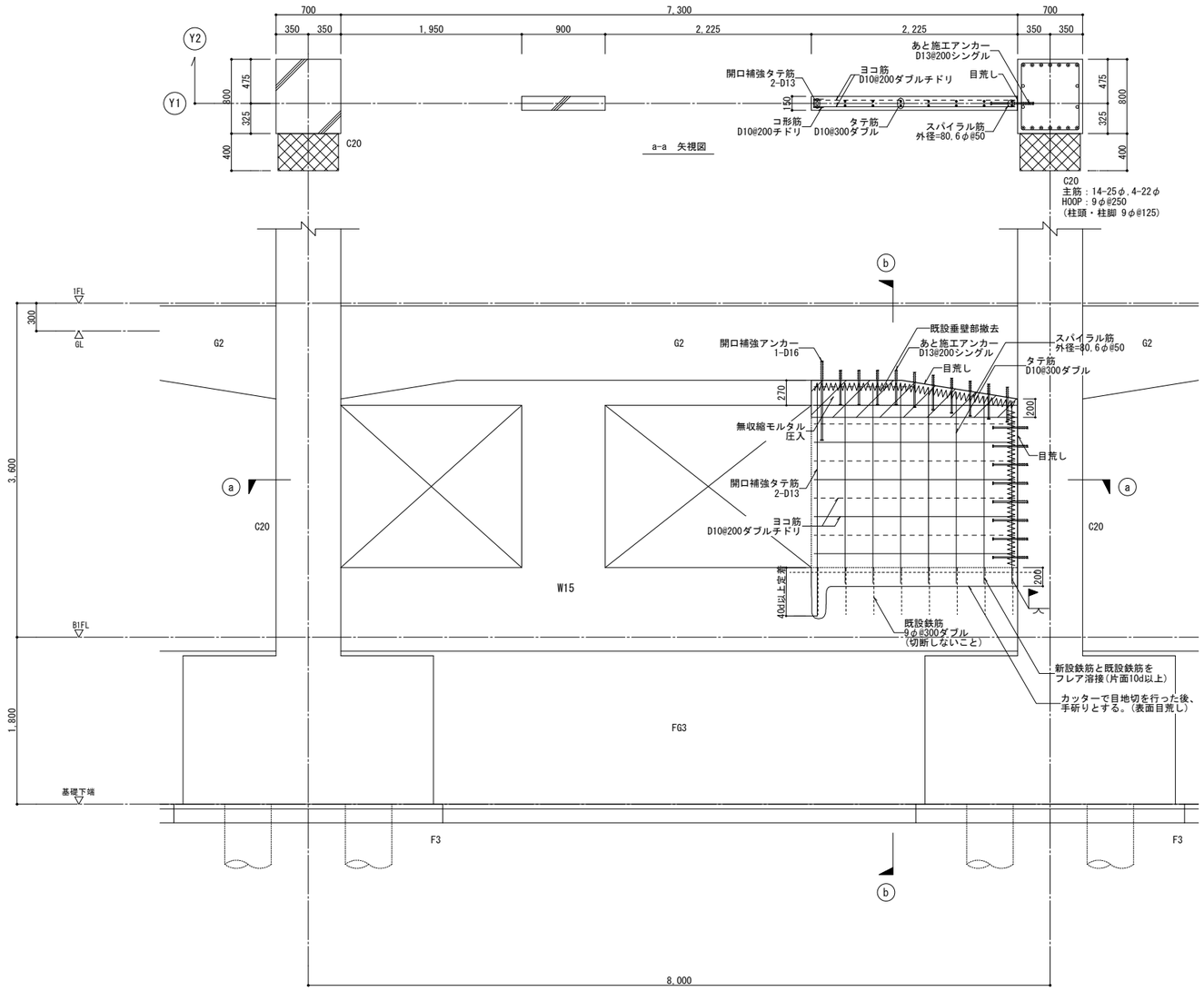




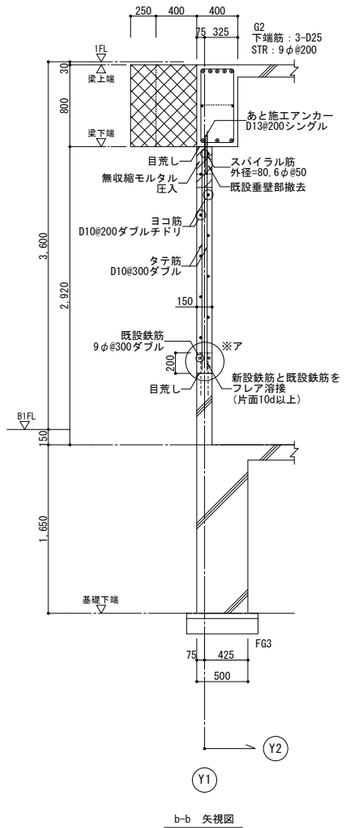
※ア 詳細図(1/20)

使用材料	
コンクリート	：FC21 スランプ18cm
無収縮モルタル	：Fm30
鉄　　筋	：SD295

注）▨ 部分はピタコラム工法による補強を示し S-***を参照とする。



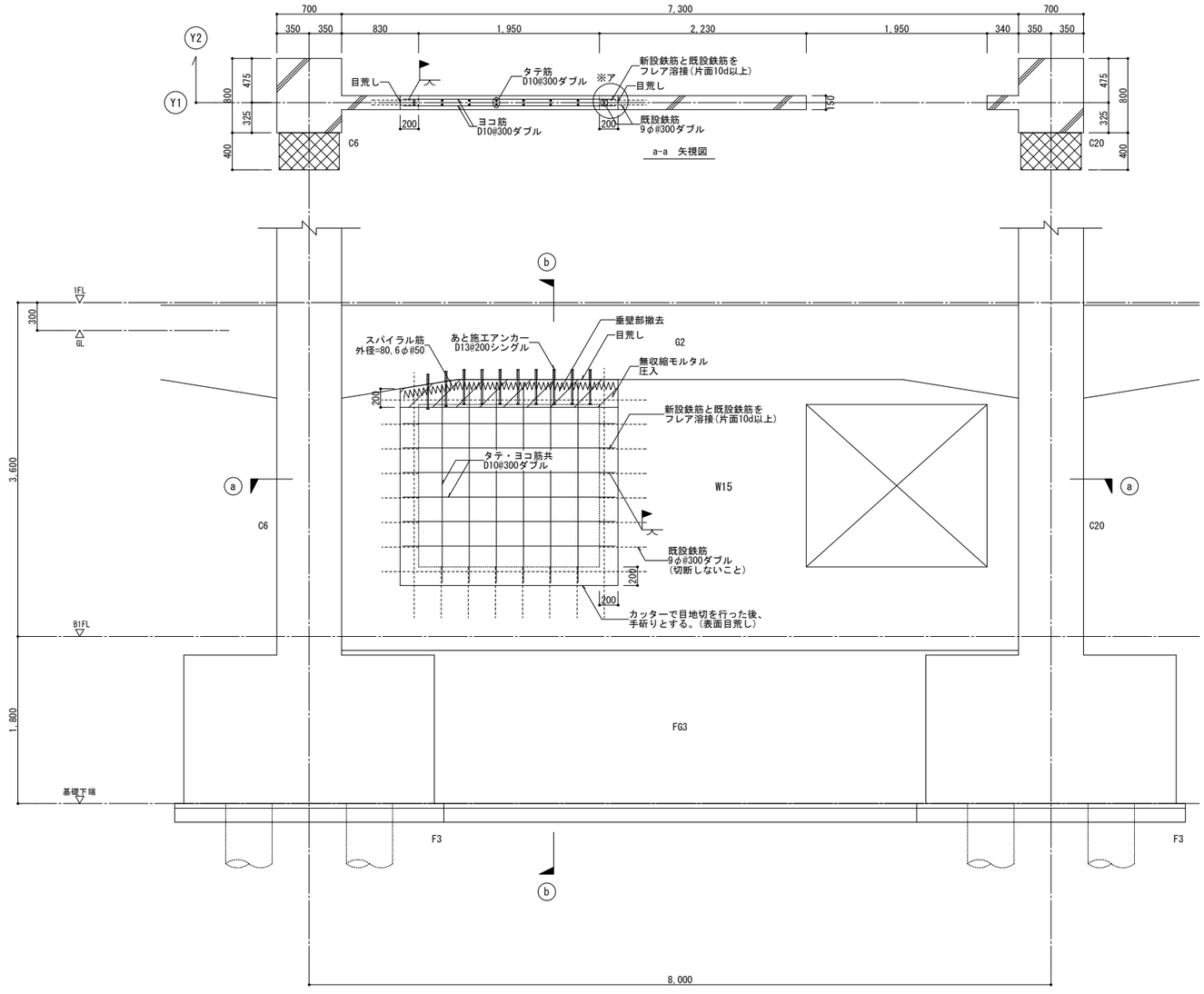
開口閉塞 補強詳細図(1)

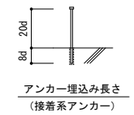


b-b 矢視図

代表者	照　査	担　当		

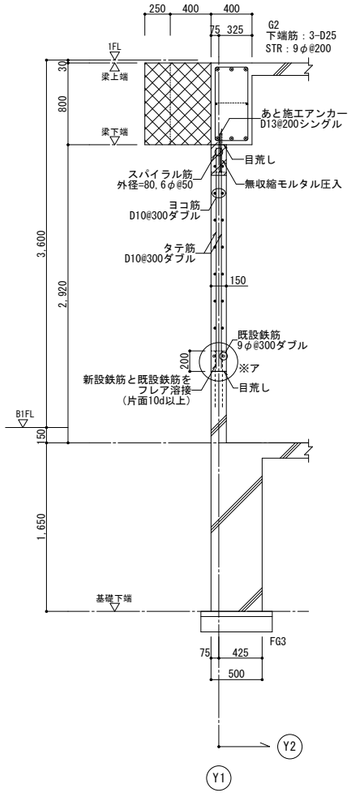
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－17
図面名称 開口閉塞 補強詳細図(1) BIF Y1通　X3-X4通間	縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —	



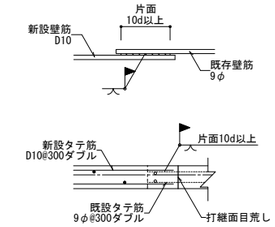


アンカー埋込み長さ
(接着系アンカー)

注) ⊠ 部分はピタコラム工法による補強を示し
S-***を参照とする。



b-b 矢視図



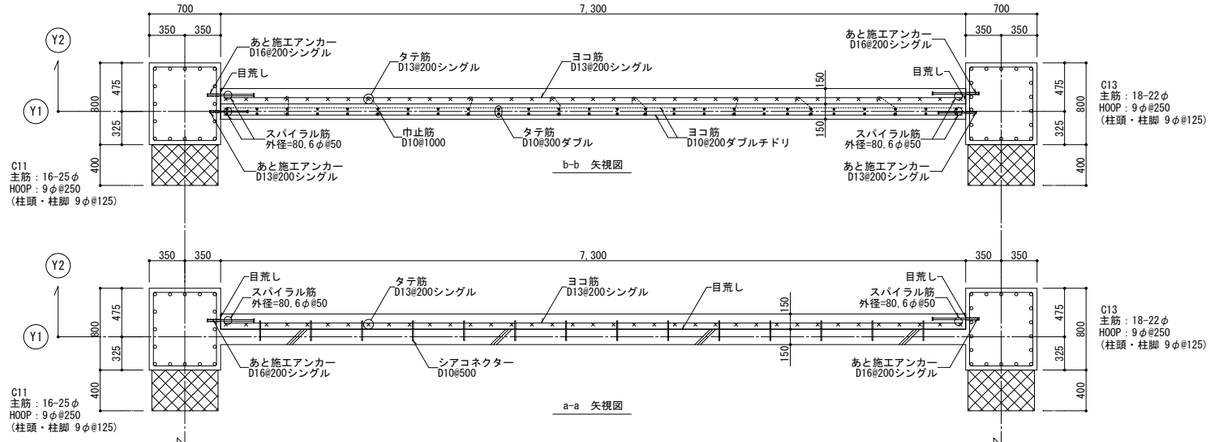
※ア 詳細図(1/20)

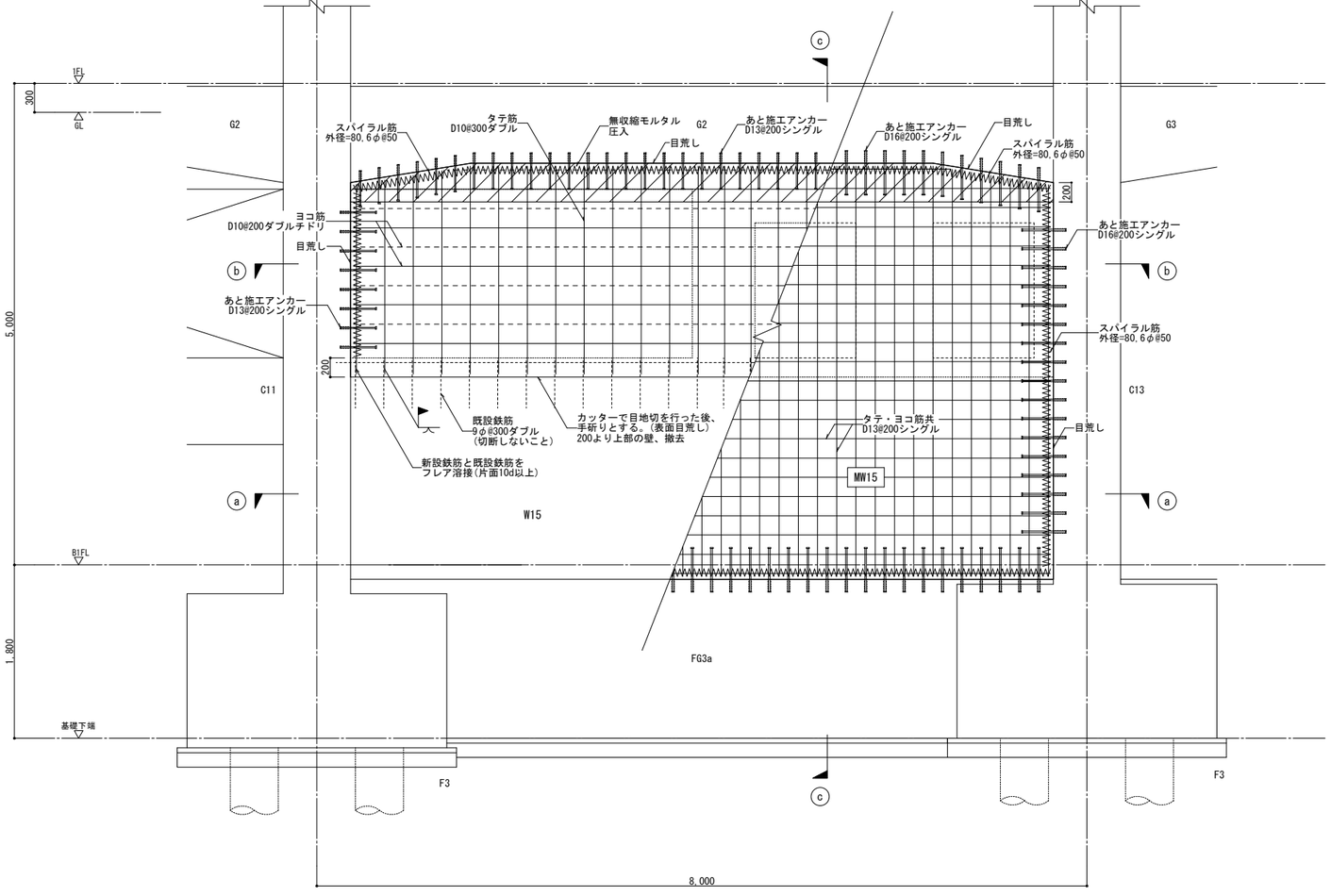
使用材料

コンクリート	Fc21 スランプ18cm
無収縮モルタル	Fm30
鉄筋	SD295

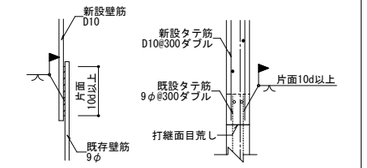
開口閉塞 補強詳細図(2)

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－18
				図面名称 開口閉塞 補強詳細図(2) B1F Y1通 X2-X3通間	縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —	





増打壁、開口閉塞 補強詳細図



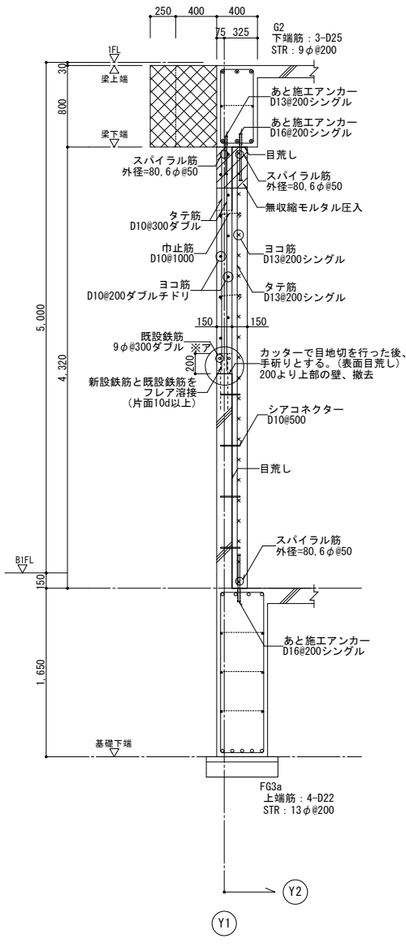
※ア 詳細図(1/20)

アンカー埋込み長さ
(接着系アンカー)

注) ⊠ 部分はビタコラム工法による補強を示し
S-***を参照とする。

使用材料

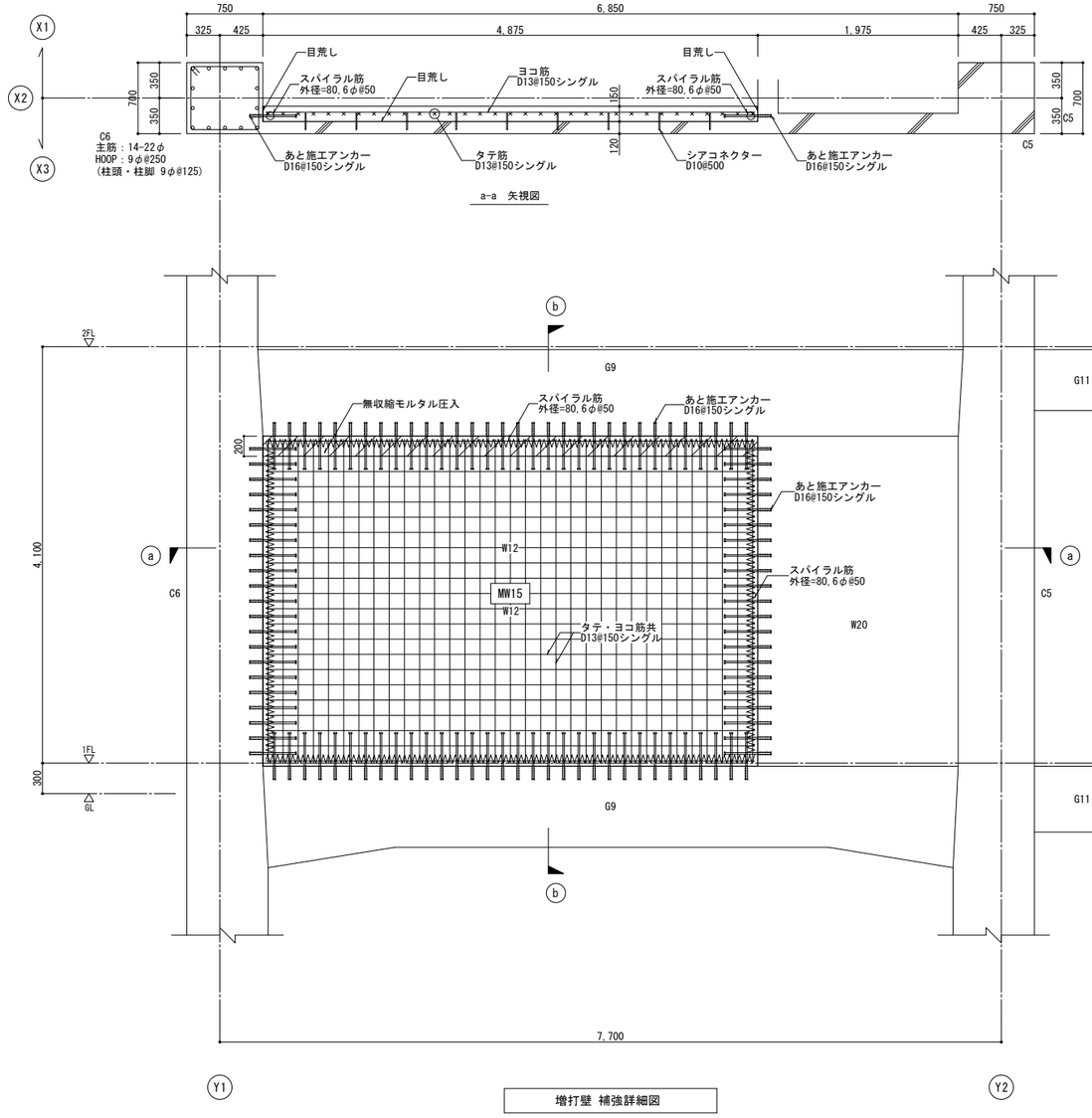
コンクリート	：FC21 スランプ18cm
無収縮モルタル	：Fm30
鉄筋	：SD295



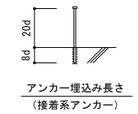
c-c 矢視図

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－19
				図面名称 増打壁、開口閉塞 補強詳細図 B1F Y1通 X5-X6通間	縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —	

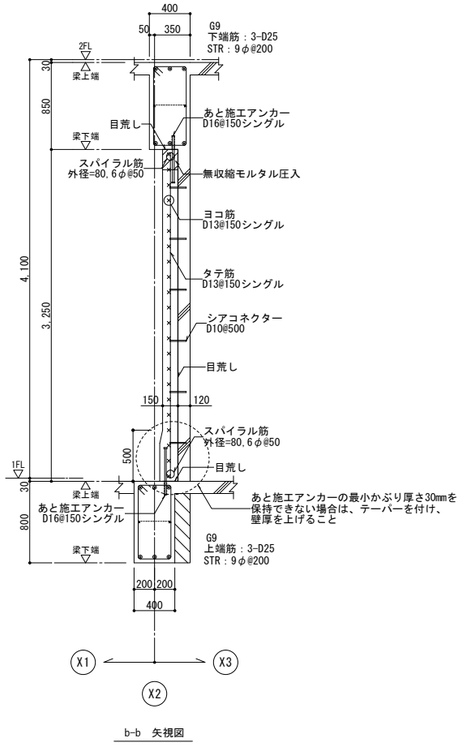
使用材料	
コンクリート	：FC21　スランプ18cm
無収縮モルタル	：Fm30
鉄　　筋	：SD295



増打壁 補強詳細図



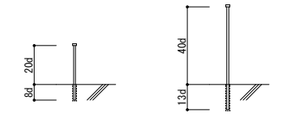
アンカー埋込み長さ
（接着系アンカー）



b-b　矢視図

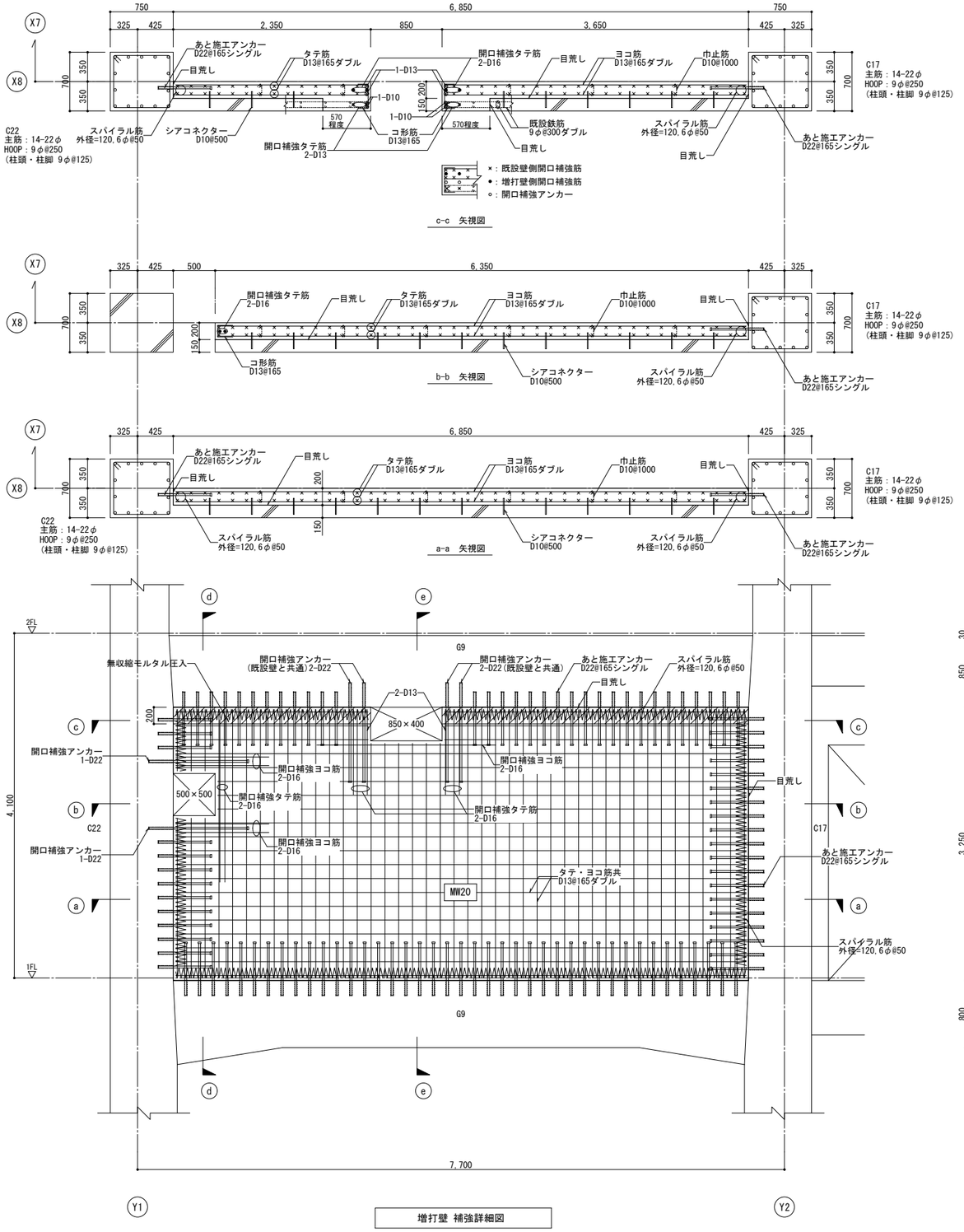
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－20
					図面名称　増打壁補強詳細図 1F X2通 Y1-Y2通間　縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —		

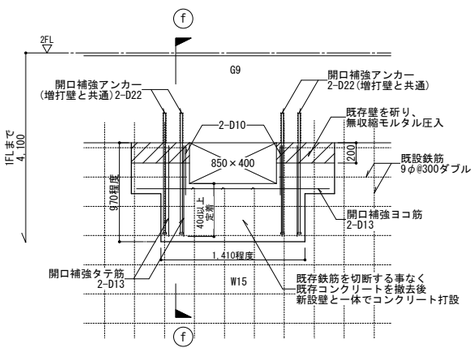
使用材料	
コンクリート	：FC21　スランプ18cm
無収縮モルタル	：Fm30
鉄　　筋	：SD295, SD345



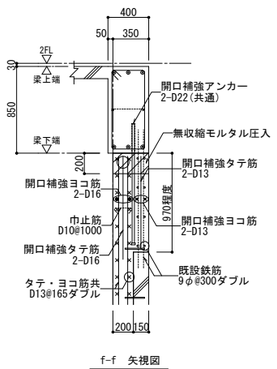
アンカー埋込み長さ
（接着系アンカー）

アンカー埋込み長さ
（接着系アンカー）
（開口補強筋用）



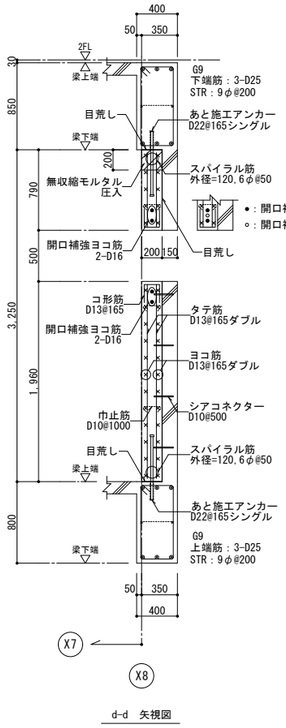


既設壁 新設開口詳細図

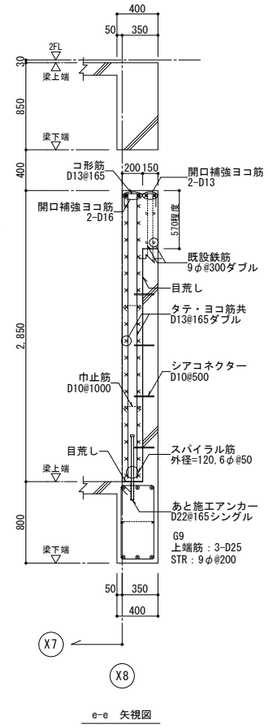


f-f　矢視図

増打壁 補強詳細図



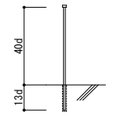
d-d　矢視図



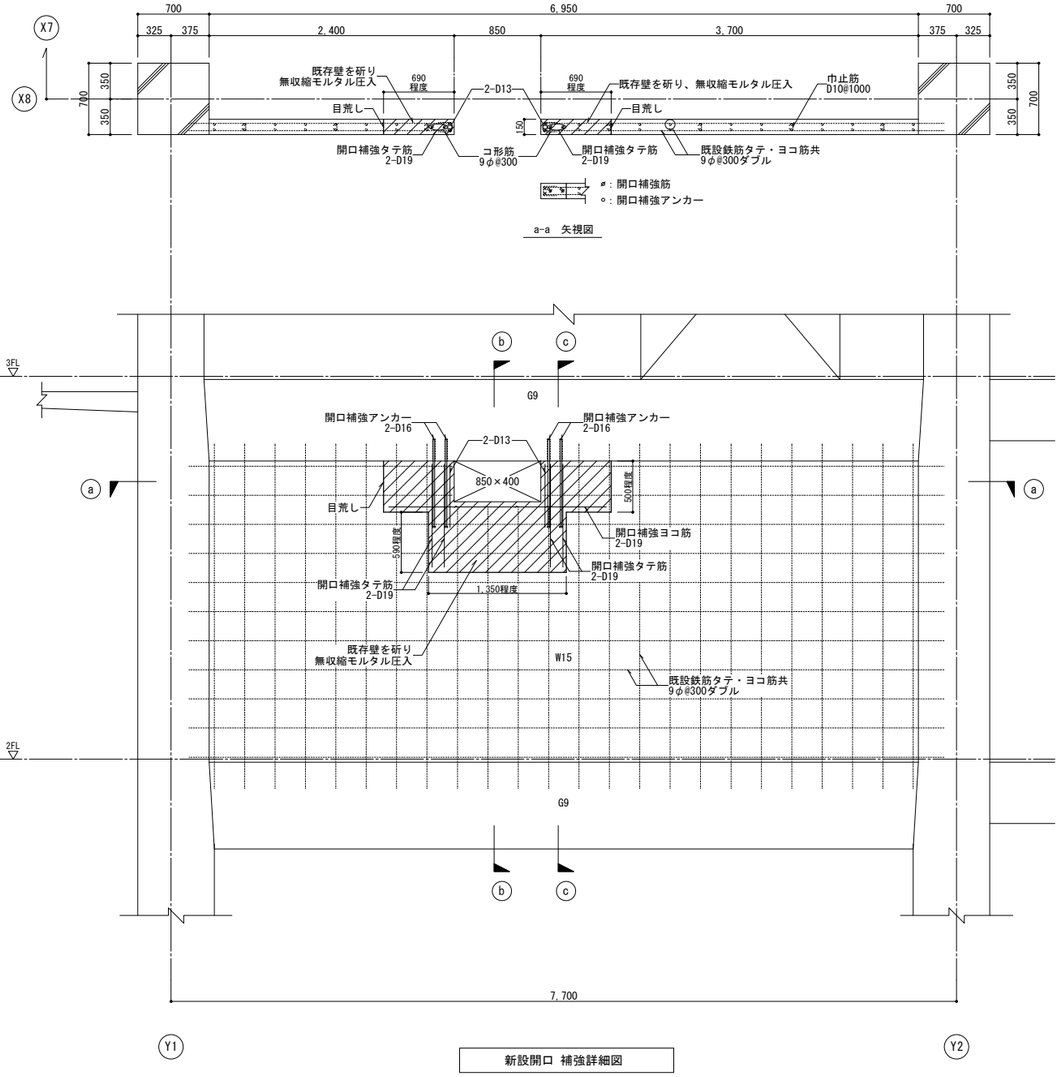
e-e　矢視図

代表者	照　査	担　当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－21
				図面名称　増打壁補強詳細図 1F X8通 Y1-Y2通間　縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —		

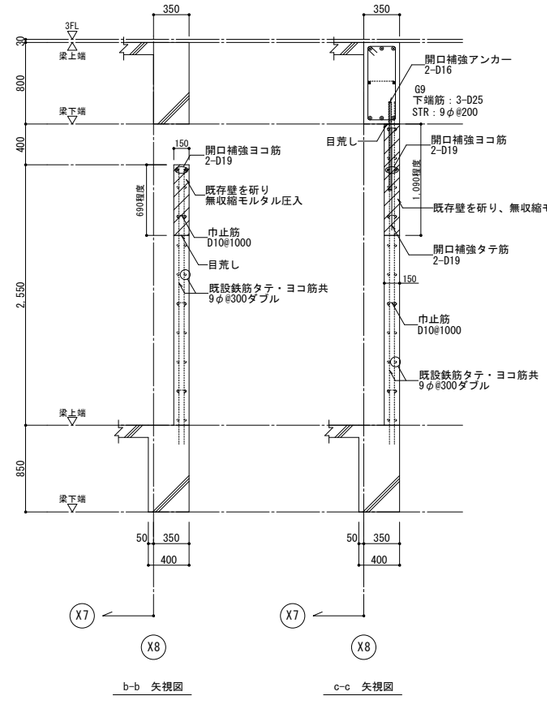
使用材料	
コンクリート	：FC21　スランプ18cm
無収縮モルタル	：Fm30
鉄　　筋	：SD295、SD345



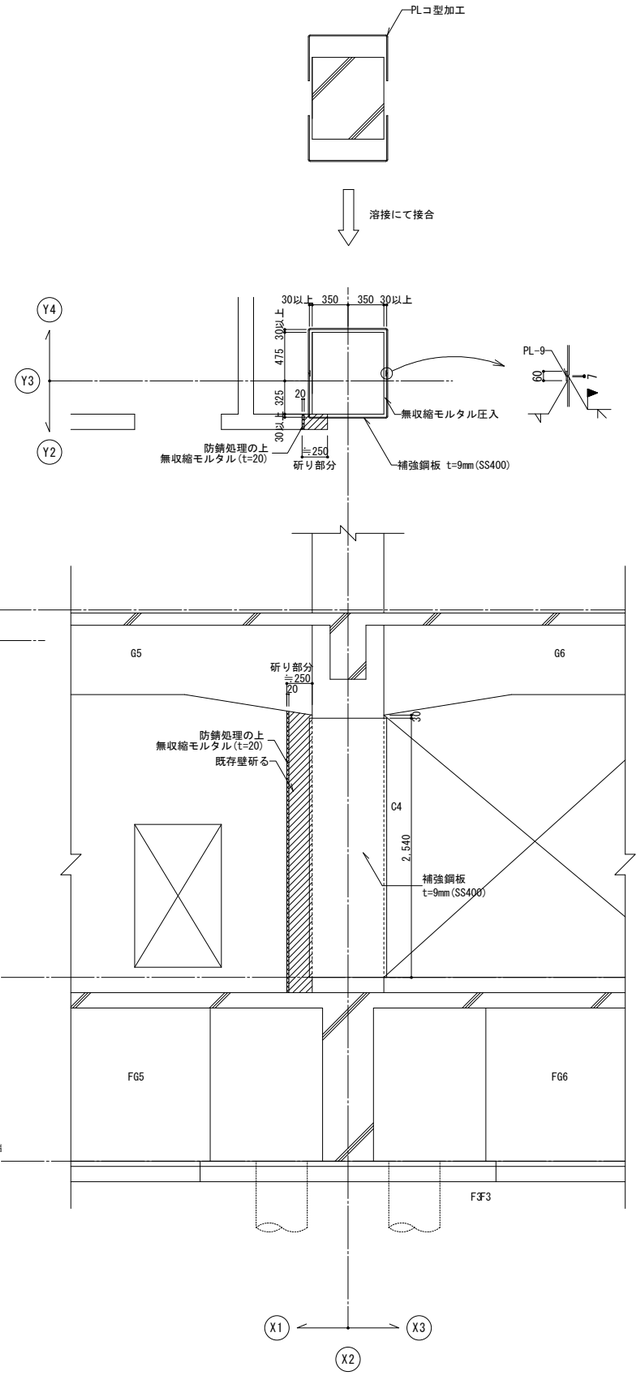
アンカー埋込み長さ
（接着系アンカー）
（開口補強筋用）

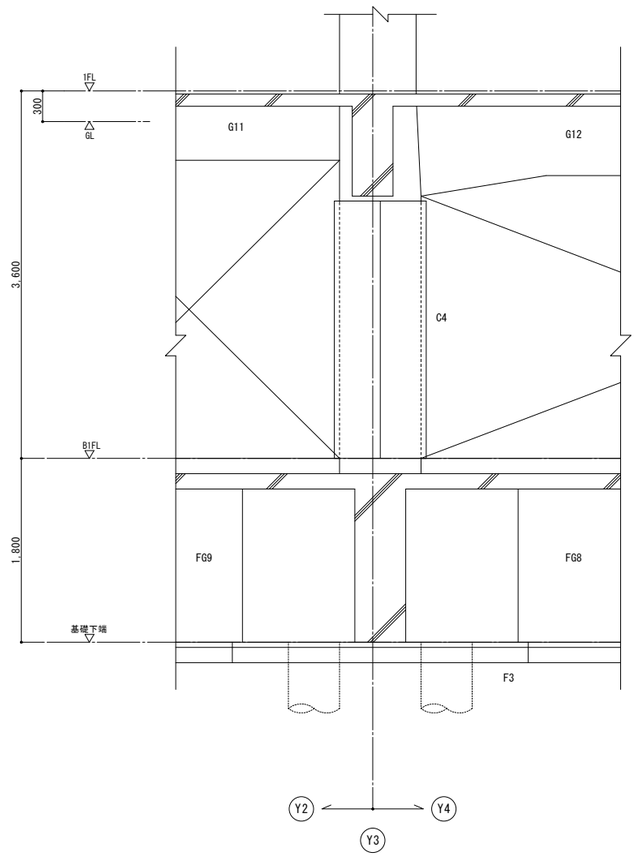


新設開口 補強詳細図



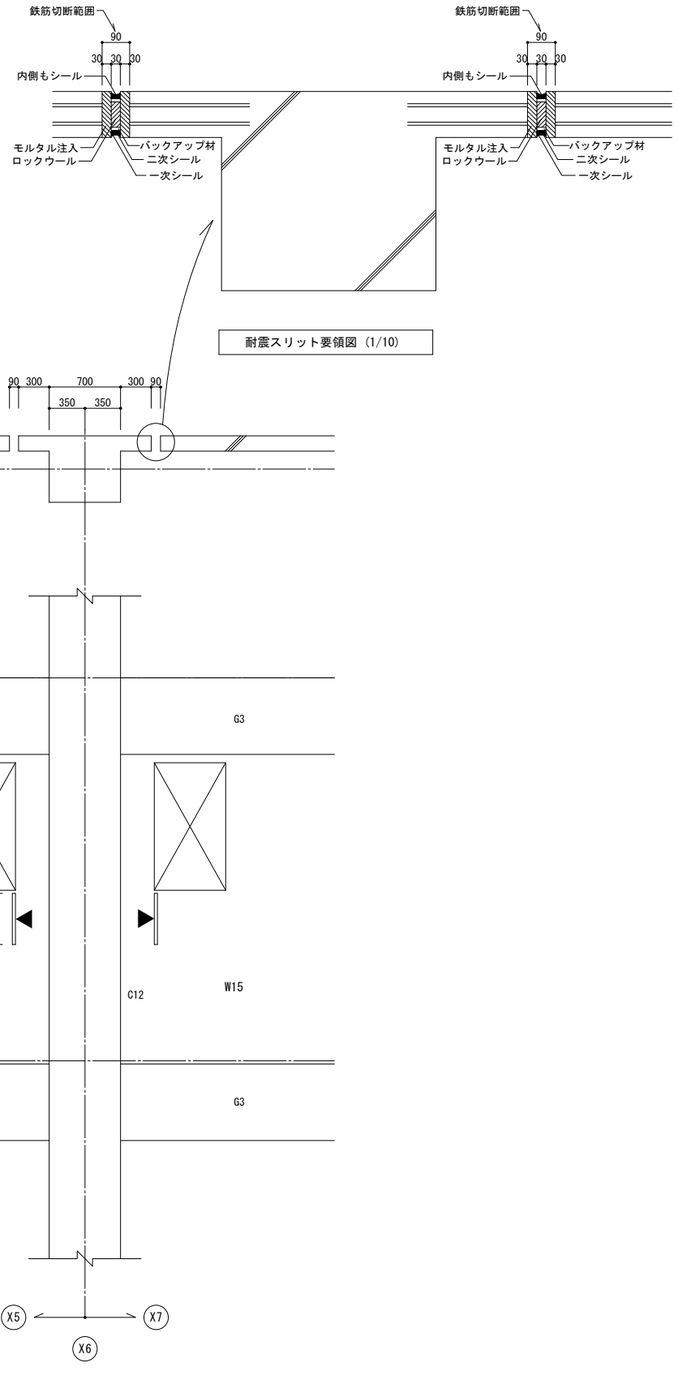
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－22
					図面名称　新設開口補強詳細図　2F X8通　Y1-Y2通間　縮尺　1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号	—	—





鋼板巻き補強詳細図

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－23
					図面名称 柱鋼板巻き補強詳細図 B1F X2-Y3通柱 縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —		

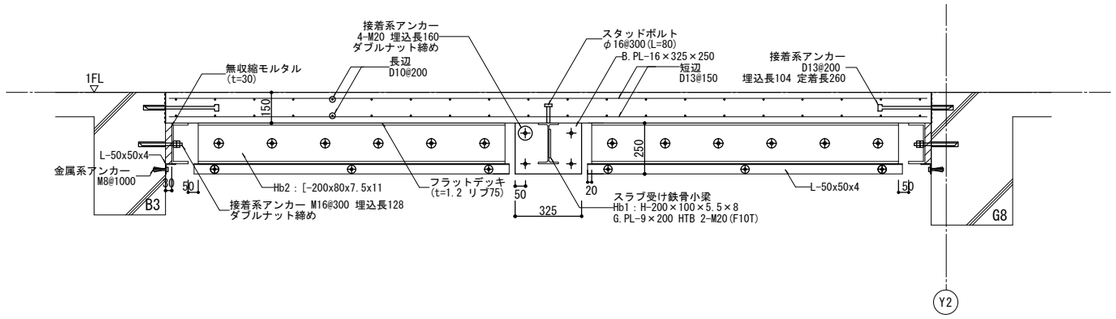


耐震スリット要領図 (1/10)

スリット詳細図

デッキ床新設詳細図 (1/15)

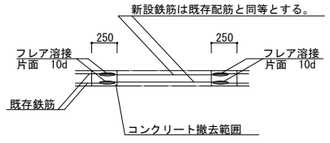
(1～3階)



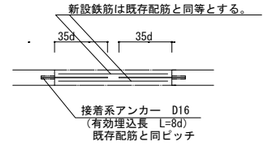
床開口閉塞要領図

スラブ中央部の開口を閉塞する場合

・重ね継手の場合

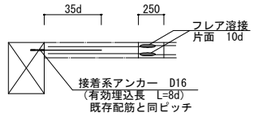


・あと施工アンカーの場合

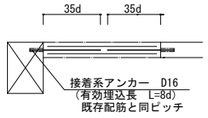


既存梁に接した開口を閉塞する場合

・重ね継手の場合



・あと施工アンカーの場合

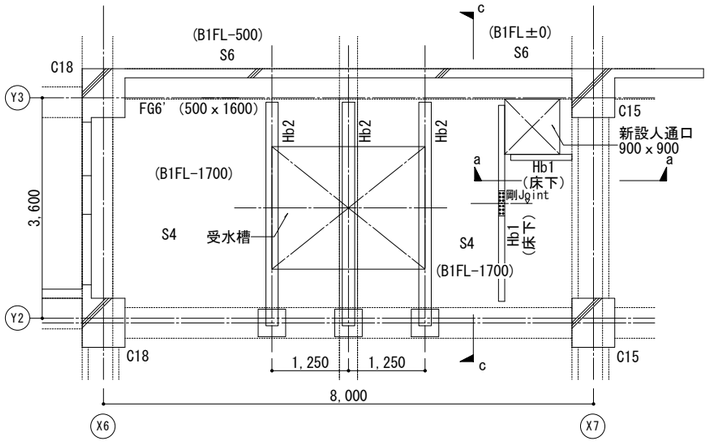


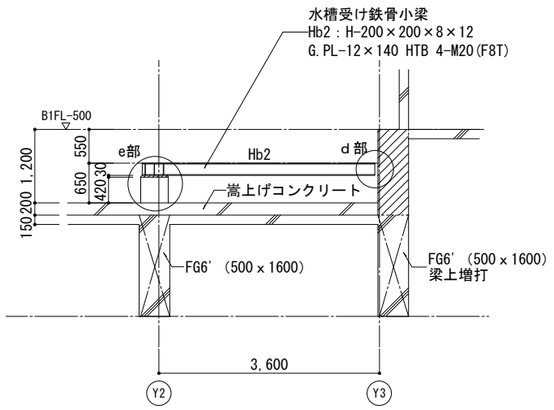
※位置は意匠図による。

代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－24
					図面名称 スリット 3F Y4通-X6通柱・床新設詳細図 縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —		

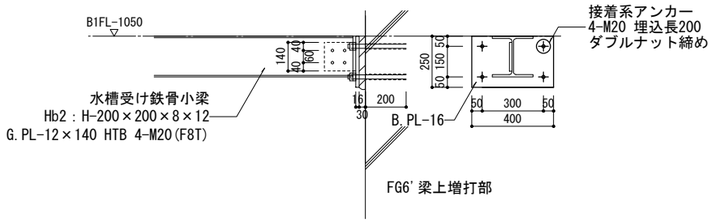
特記事項

1. スラブ切断面は防錆処理をし、無収縮モルタル(t=20)を施す。
2. 鉄骨材質はSS400とし、溶融亜鉛メッキとする。
   ボルトはメッキ高力ボルトF8T（大臣認定品）とする。
3. 鉄骨長さ・アンカー位置は、現場実測・鉄筋探査の上、決定のこととする。



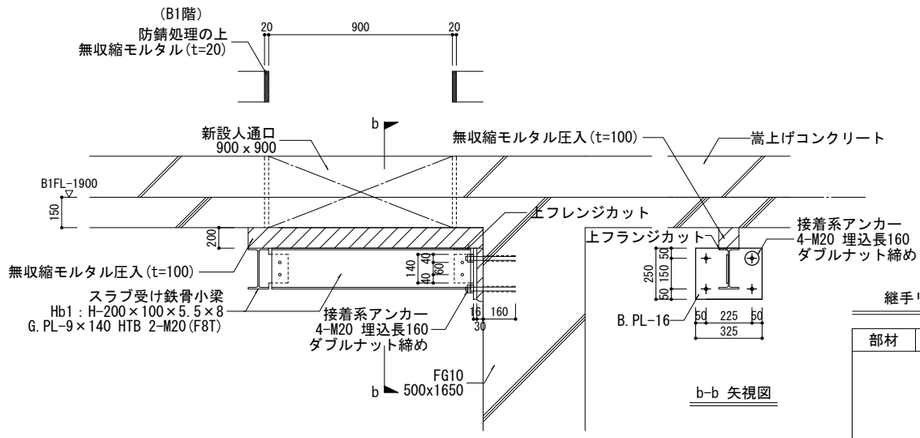


c-c 矢視図



d部 詳細図(1/15)

床新設開口詳細図 (1/15)



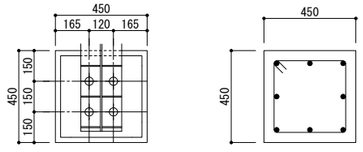
a-a 矢視図

b-b 矢視図

継手リスト

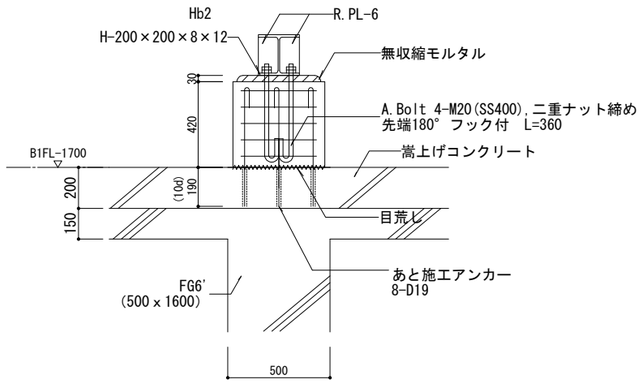
部材	H-200×100×5.5×8	SS400
	S=1:30	
フランジ	2PL-12×100×410	F8T HTB 24-M16
ウェブ	2PL−6×140×290	F8T HTB 8-M16

e部 詳細図(1/15)

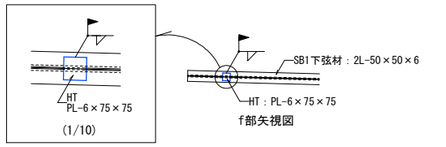


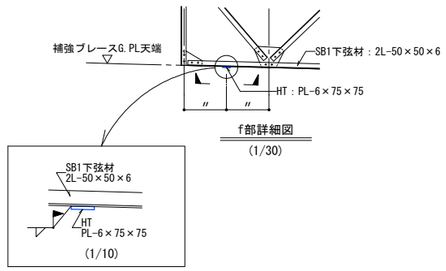
Dx×Dy=450×450
主筋：8-D19(SD345 四隅180° フック)
既設柱柱頭部分にあと施工アンカー
(有効埋長10d以上)
HOOP：□-D10@100(SD295)

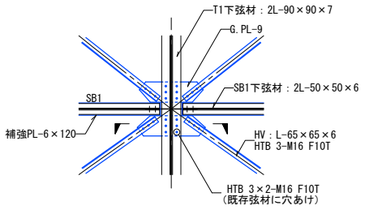
コンクリート仕様：Fc21,スランプ18cm

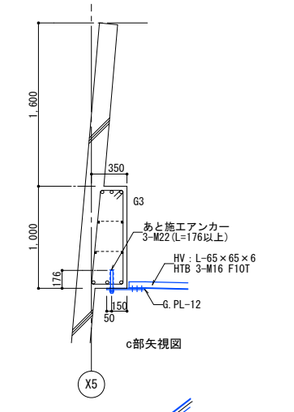


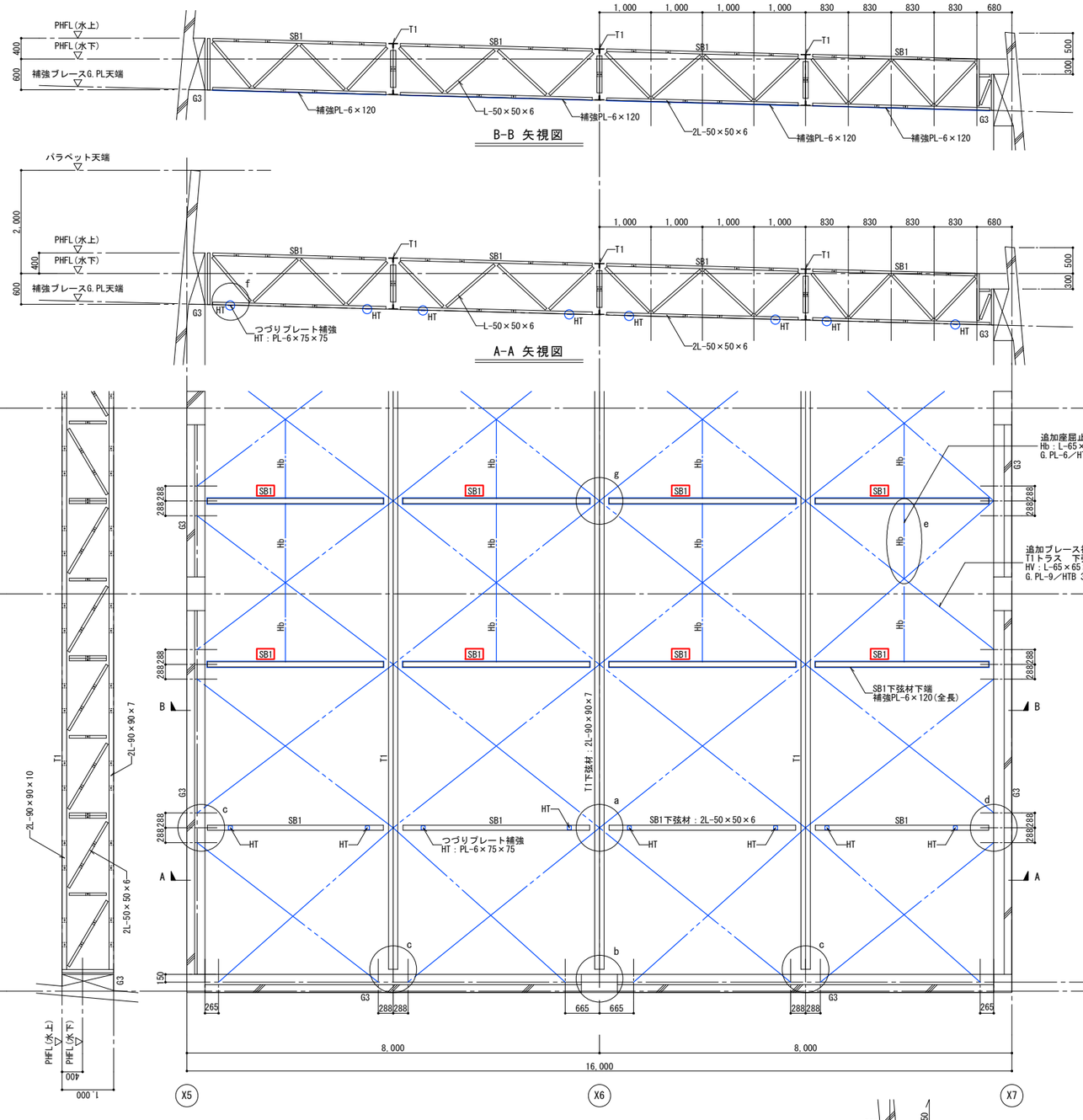
代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S−25
					図面名称 B1F 水槽受け小梁・床補強詳細図 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —		

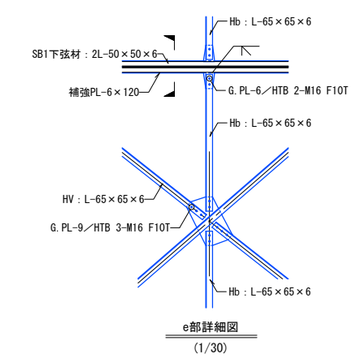


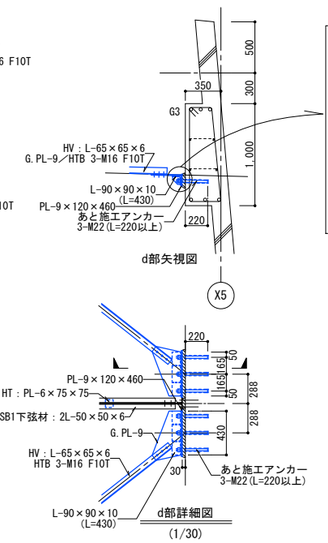


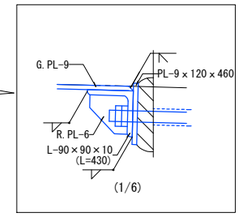


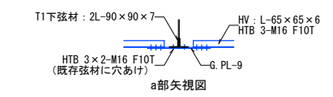


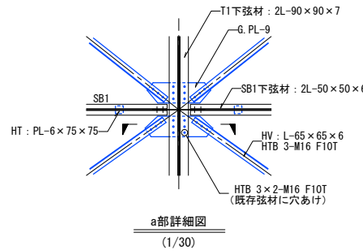


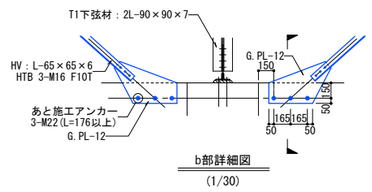


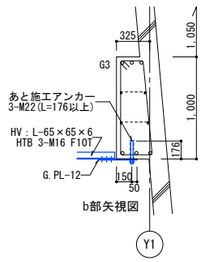












議場上部屋根ブレース補強詳細図

注）各寸法は現場実測の上、決定すること。
　　特記無き限り、使用鋼材はSS400、HTBはS10Tとする。

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	―	令和７年１０月	S－26
				図面名称 屋根ブレース補強詳細図　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 ― ―		

鉄骨部材リスト

符号	形　状	接合部	備　考
SB1	[-125×65×6×8	G.PL-9,HTB 2-M16	—
SB2	H-200×100×5.5×8	G.PL-9,HTB 2-M16	—
SB3	H-250×125×6×9	G.PL-9,HTB 3-M22	—
SB4	H-244×175×7×11	G.PL-12,HTB 4-M22	2列　ボルトピッチ90
SB5	H-300×300×10×15		剛接合
SB6	H-150×150×7×10	G.PL-12,HTB 2-M20	—
根太	L-65×65×6@500	G.PL-9,HTB 2-M16	根太ピッチ500 span max 2000

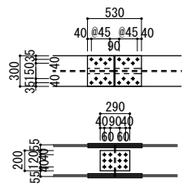
特記事項

1. 鉄骨材質はSS400とし、ボルトはメッキ高力ボルトF8T（大臣認定品）とする。
2. 鉄骨長さ・アンカー位置は、現場実測・鉄筋探査の上、決定のこととする。
3. ガセットプレートは、母材と同材質とする。
4. 屋外露出となる部材は、全て溶融亜鉛メッキ550g/m3以上とする。
5. ボルトピッチは、60mmとする。

継手リスト

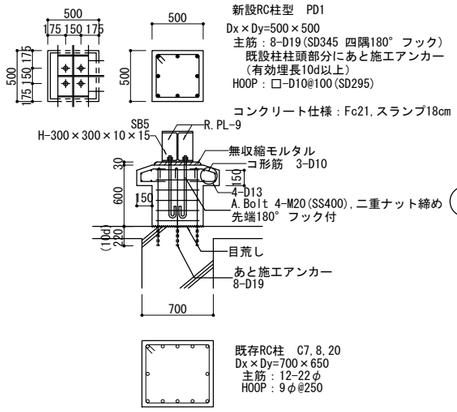
部材	H-300×300×10×15	SS400
フランジ	2PL−9×300×530	F8T
	4PL−12×110×530	HTB 40-M20
ウェブ	2PL−9×200×290	F8T HTB 12-M20

S=1:30



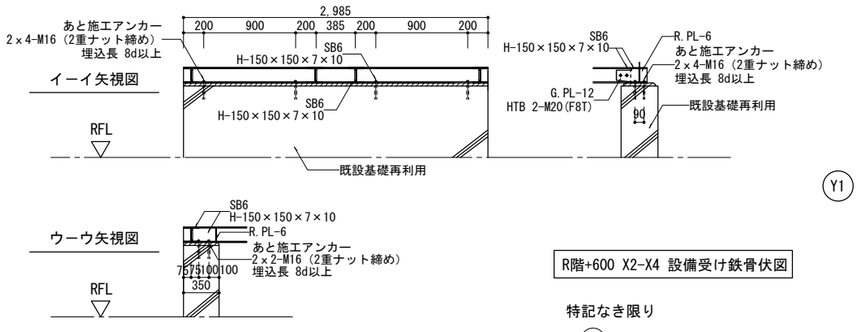
新設柱型（PD1）詳細図

S=1:30



排気ファン基礎（既設）詳細図

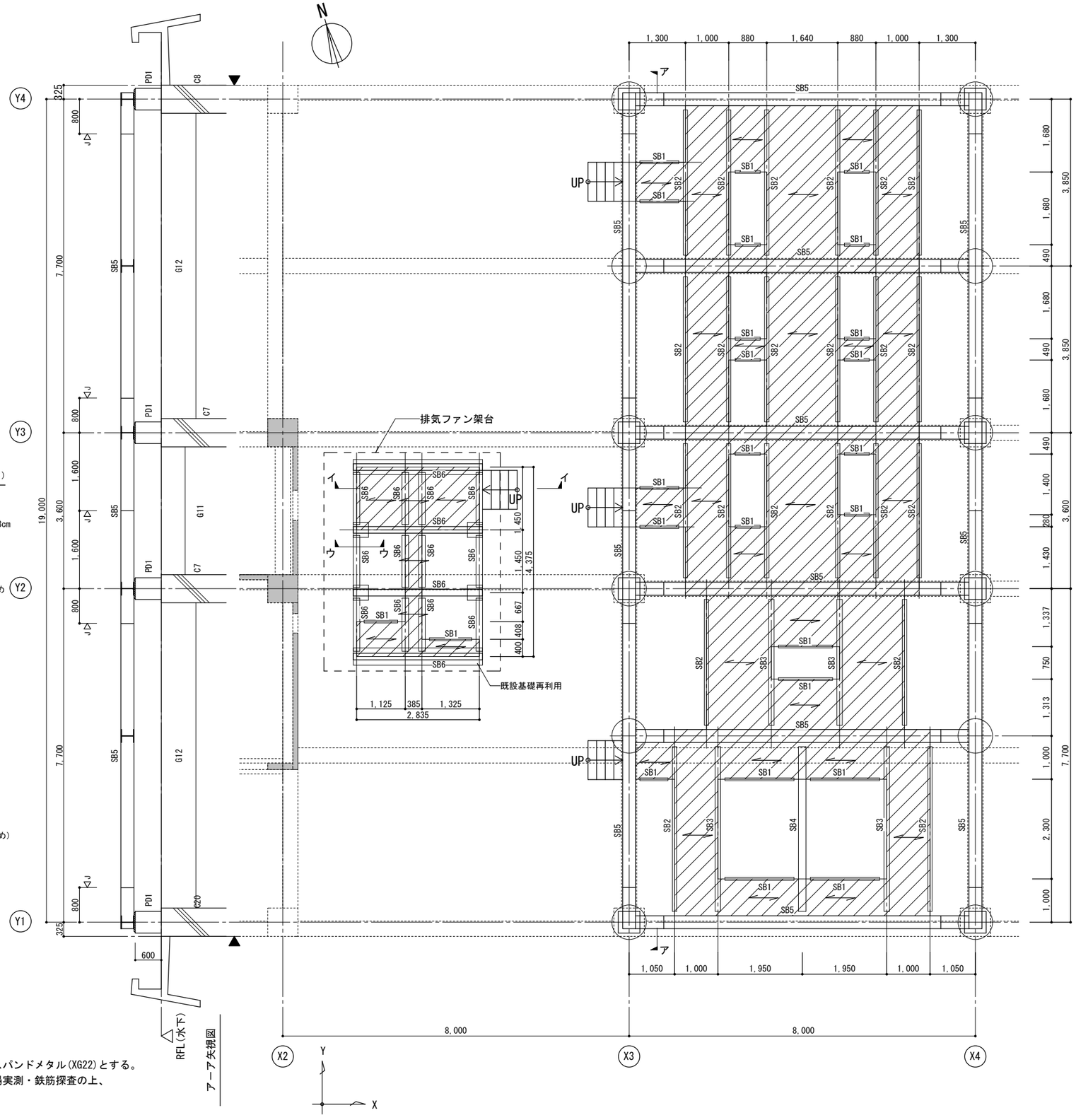
S=1:30



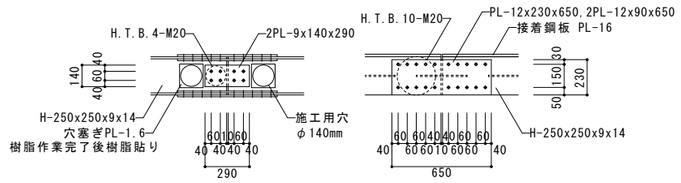
R階+600 X2-X4 設備受け鉄骨伏図

特記なき限り

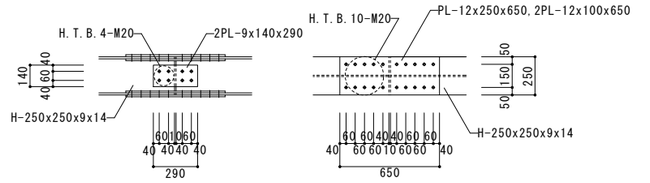
1. ◯は剛接合を示す。
2. Jは現場継手位置を示す。
3. ⌇ は根太方向を示し、床はエキスパンドメタル(XG22)とする。
4. 鉄骨長さ・アンカー位置は、現場実測・鉄筋探査の上、決定のこととする。



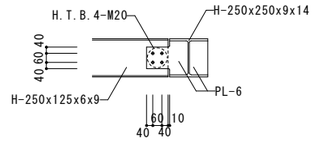
代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S−27
					図面名称 RF　設備機器鉄骨支持架台詳細図　縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)	整理番号 — —		



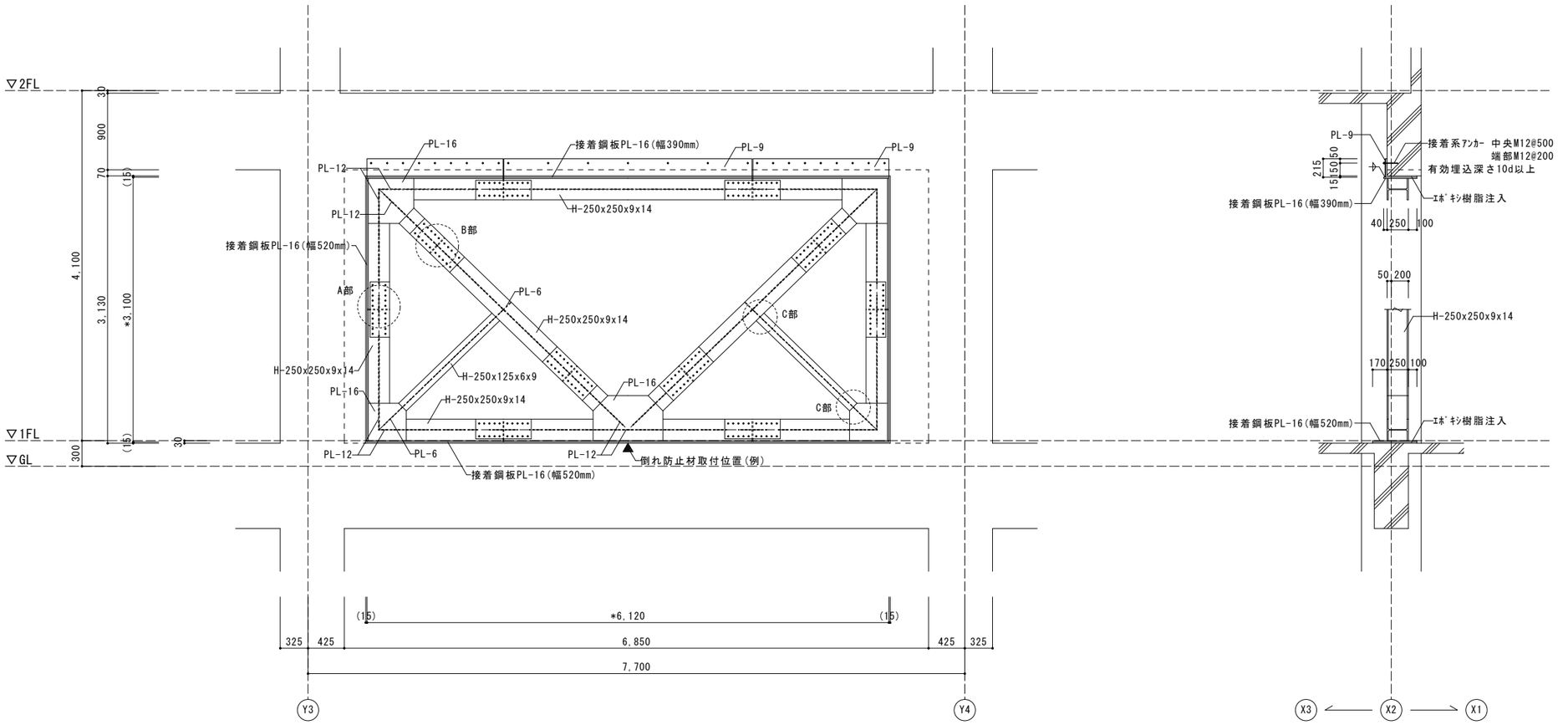
A部詳細図 1:20



B部詳細図 1:20



C部詳細図 1:20



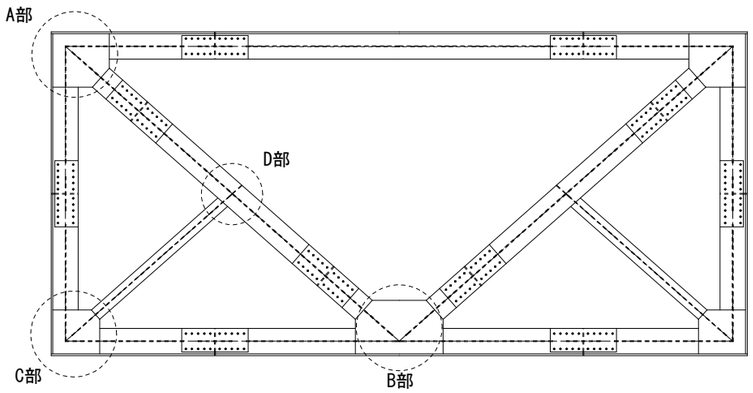
X2通　鉄骨ブレース詳細図　1:30

注）＊印寸法は現場実測の上、決定すること。
特記無き限り、使用鋼材はSN490B、HTBはS10Tとする。
(15)寸法は標準を15mmとし25mm以内で決定すること。
鉄骨継手位置は現場条件を考慮し決定すること。
倒れ防止材の形状及び取付位置は、現場条件を考慮し決定すること。

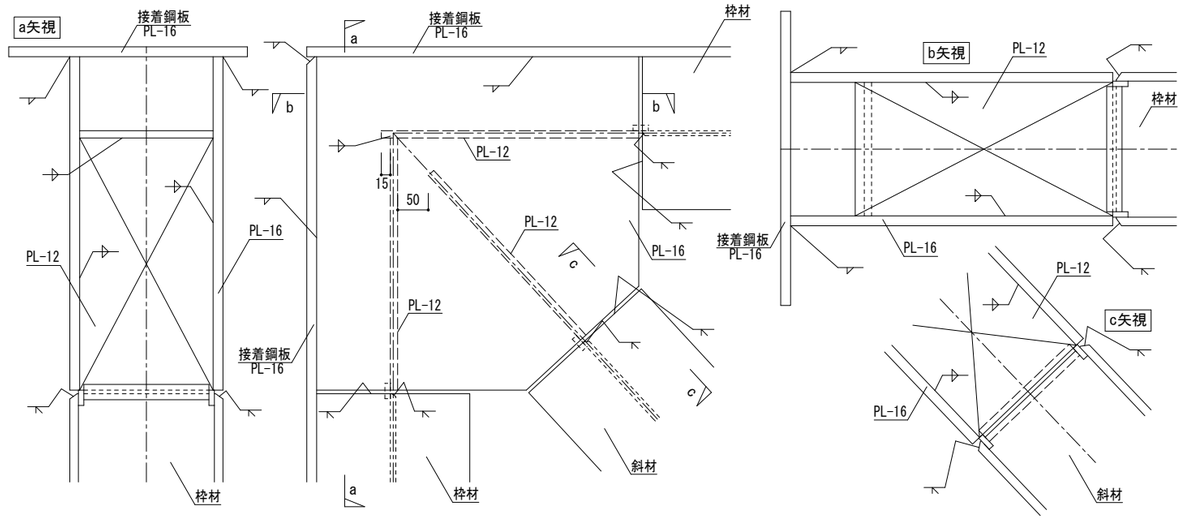
代表者	照査	担当		

工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日
		—	令和７年１０月
図面名称	鉄骨ブレース接着工法詳細図(1) 縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号	図面番号
		— —	S－28

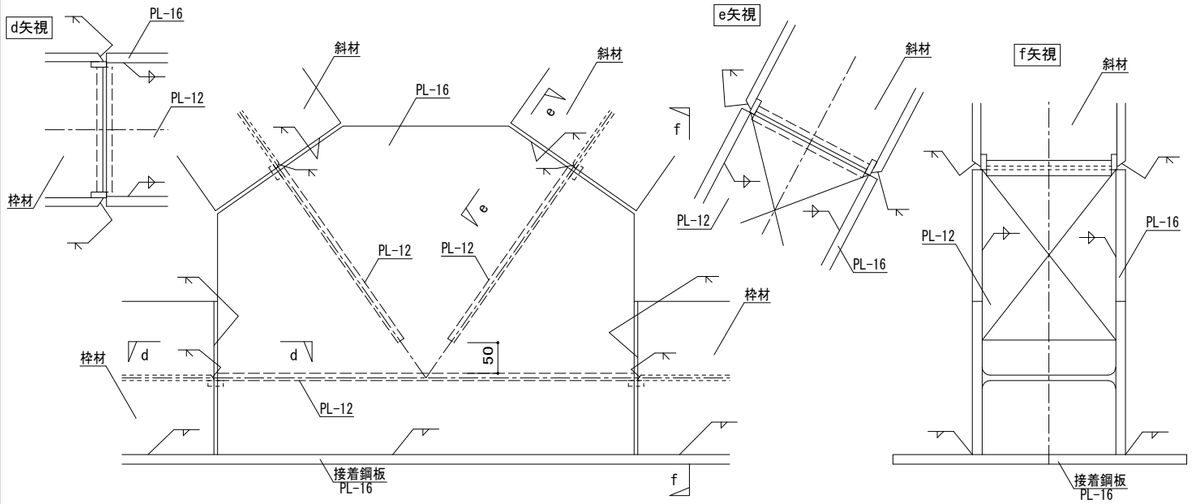
姿　図



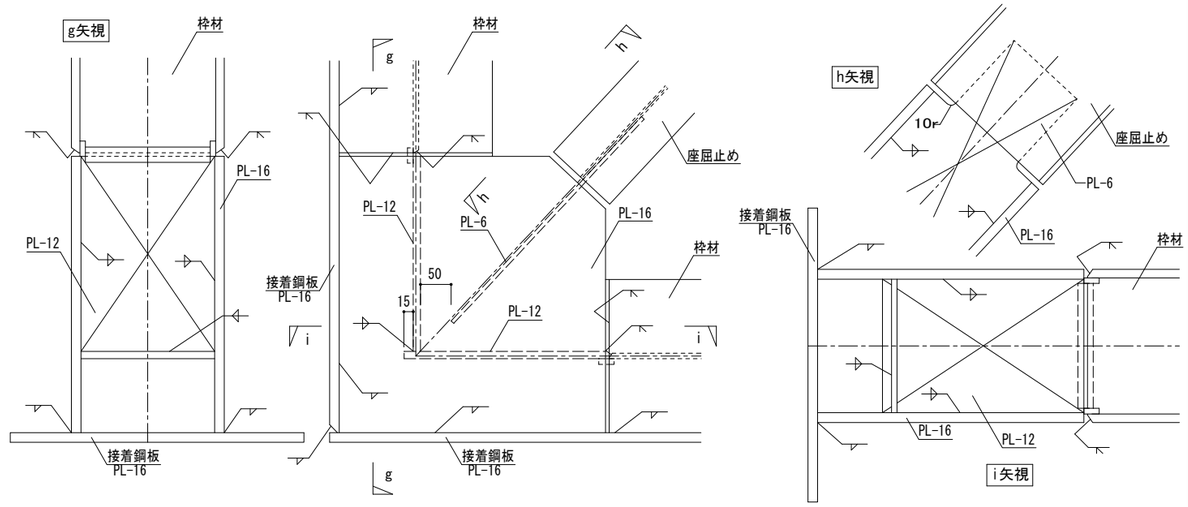
A部　詳細



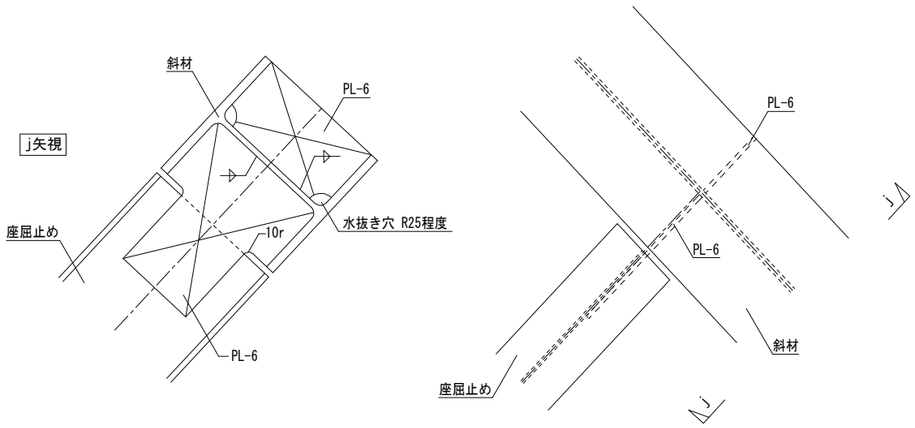
B部　詳細

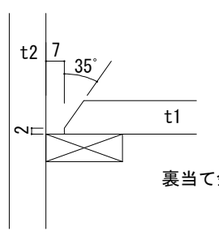
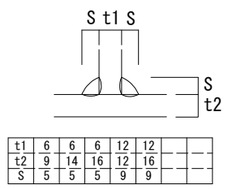
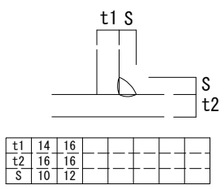


C部　詳細



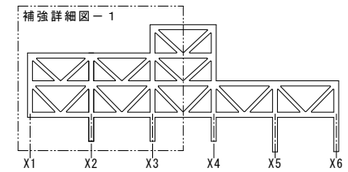
D部　詳細



完全溶込溶接　t≦16	すみ肉溶接	すみ肉溶接
ノンスカラップ標準  裏当て金=FB-9x25	 t1 6 6 6 12 12 t2 9 14 16 12 16 S 5 5 5 9 9 余長は(1+0.1S)mm以下とする	 t1 14 16 t2 16 16 S 10 12 余長は(1+0.1S)mm以下とする

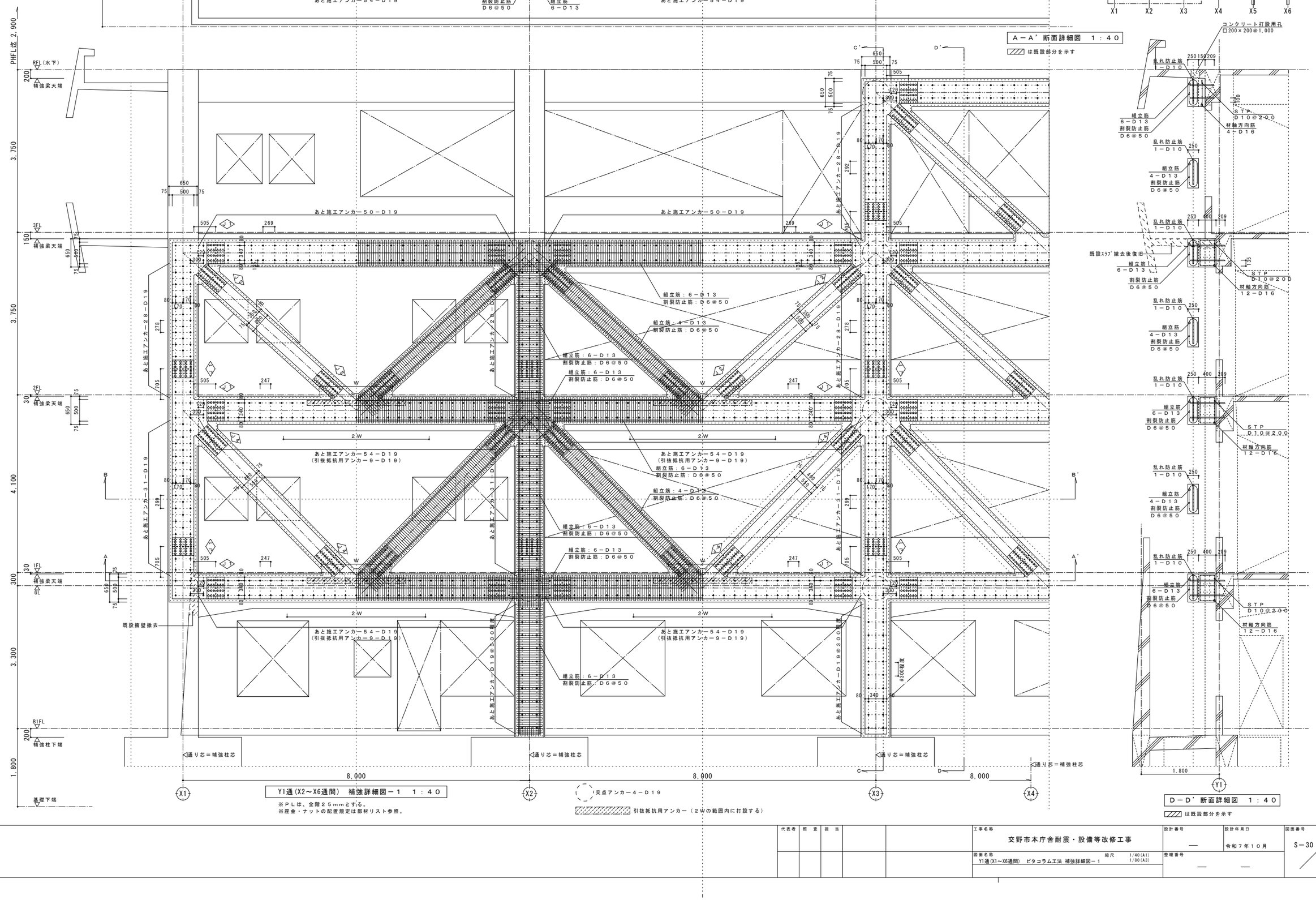
代表者	照査	担当	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
			交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－29
			図面名称 鉄骨ブレース接着工法詳細図(2)　縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	整理番号 — —		

補強詳細図－１



Ａ－Ａ’断面詳細図　１：４０

▨ は既設部分を示す



Y1通(X2～X6通間)　補強詳細図－１　１：４０

※ＰＬは、全厚２５ｍｍとする。
※座金・ナットの配置規定は部材リスト参照。

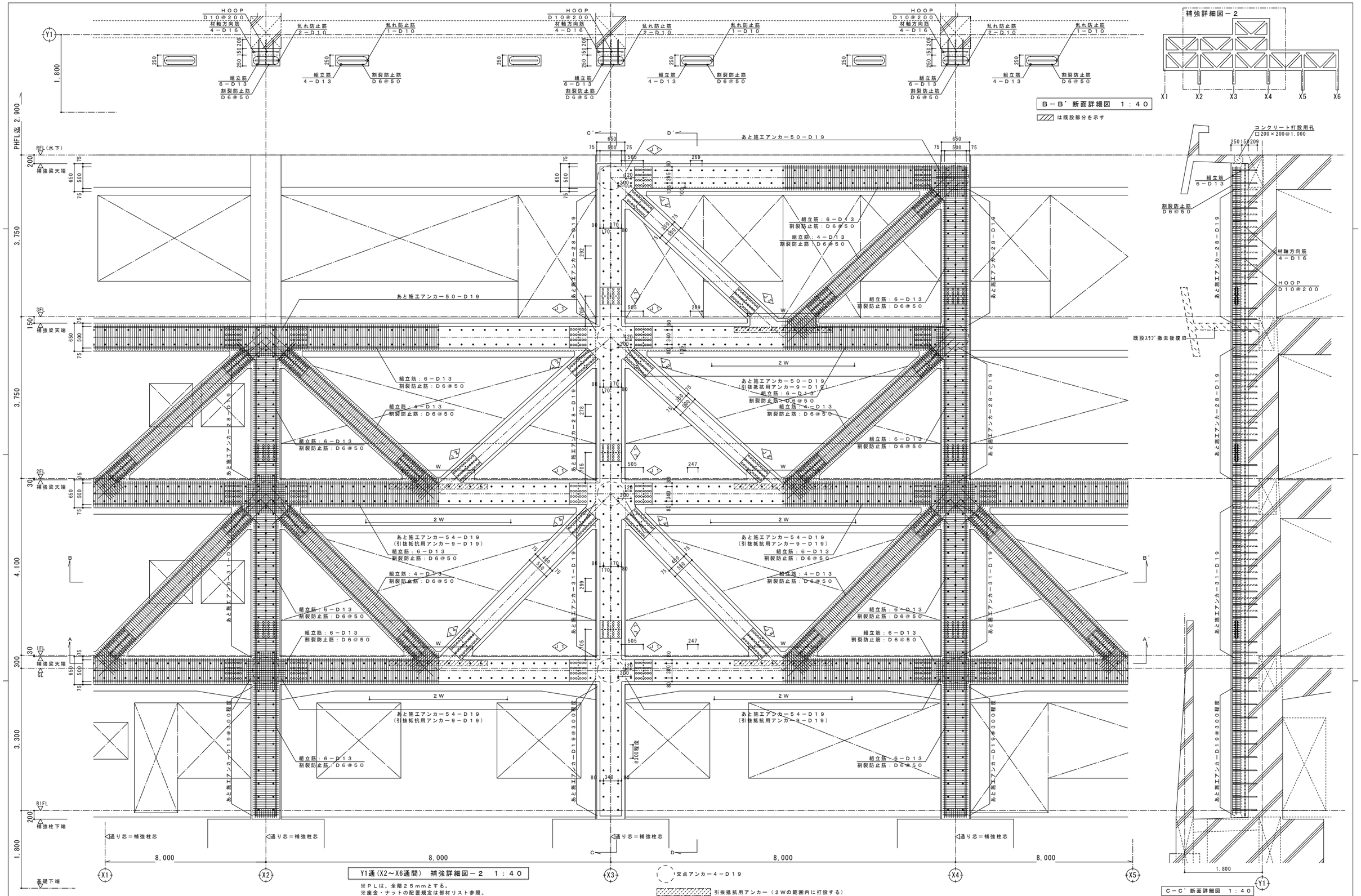
◁ 交点アンカー４－Ｄ１９

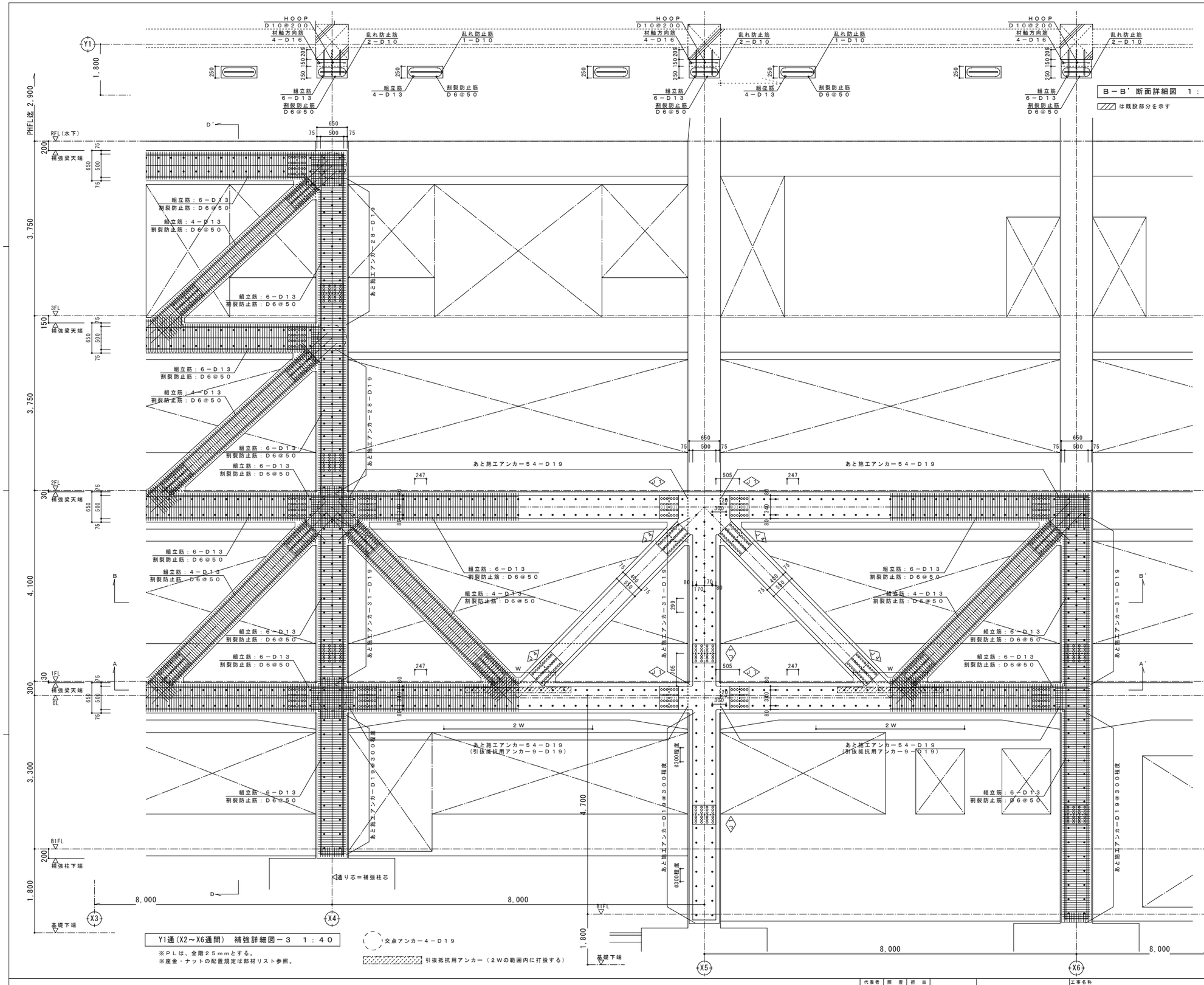
▨ 引抜抵抗用アンカー（２Ｗの範囲内に打設する）

Ｄ－Ｄ’断面詳細図　１：４０

▨ は既設部分を示す

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－30
					図面名称　縮尺 1/40(A1) 1/80(A3) Y1通(X1～X6通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－１	整理番号 — —		


Y1
X1
X2
X3
X4
X5
X6
HOOP
D10@200
材軸方向筋
4－D16
乱れ防止筋
2－D10
1－D10
組立筋
6－D13
4－D13
割裂防止筋
D6@50
1,800
PHFL 2,900
3,750
3,750
4,100
3,300
1,800
RFL（水下）
3FL
2FL
1FL
BL
B1FL
基礎下端
補強梁天端
補強柱下端
200
150
30
300
あと施工アンカー50－D19
あと施工アンカー28－D19
あと施工アンカー31－D19
あと施工アンカー54－D19
（引抜抵抗用アンカー9－D19）
組立筋：6－D13
割裂防止筋：D6@50
組立筋：4－D13
割裂防止筋：D6@50
2W
W
あと施工アンカー50－D19
（引抜抵抗用アンカー9－D19）
あと施工アンカー31－D19@300程度
@300程度
通り芯＝補強柱芯
8,000
C
D
C'
D'
B
B'
A
A'
J1
J2
J3
J4
J5
J6
J7
J8
J9
J10
J11
J12
J13
J14
J15
J16
J17
J18
J19
J20
J21
J22
J23
J24
J25
J26
J27
J28
J29
J30
J31
J32
J33
J34
J35
J36
J37
J38
J39
J40



Y1通(X2～X6通間)　補強詳細図－３　１：４０

※ＰＬは、全階２５ｍｍとする。
※座金・ナットの配置規定は部材リスト参照。

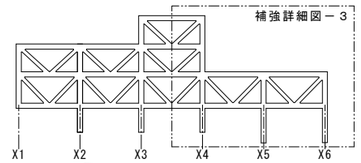
交点アンカー４－Ｄ１９

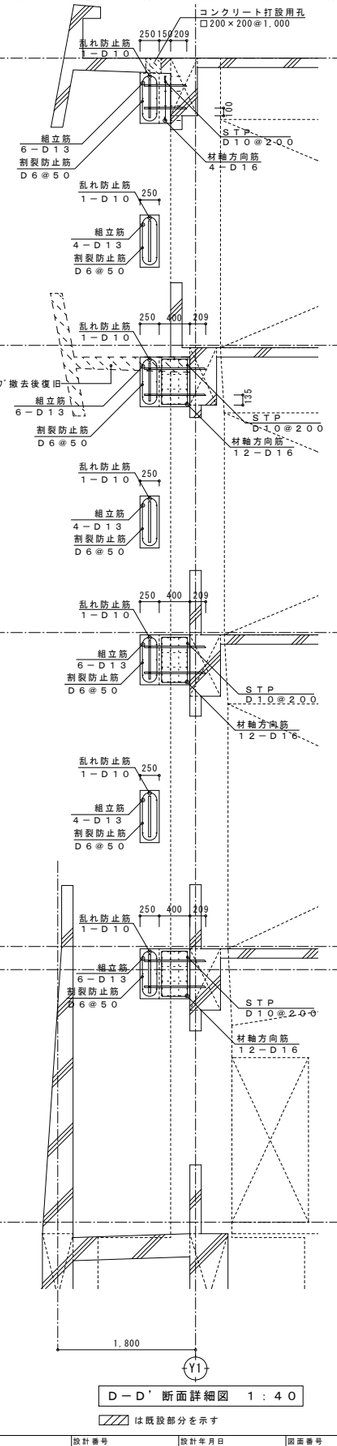
引抜抵抗用アンカー（２Ｗの範囲内に打設する）

Ｂ－Ｂ’断面詳細図　１：４０

は既設部分を示す

補強詳細図－３



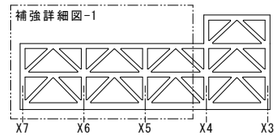


Ｄ－Ｄ’断面詳細図　１：４０

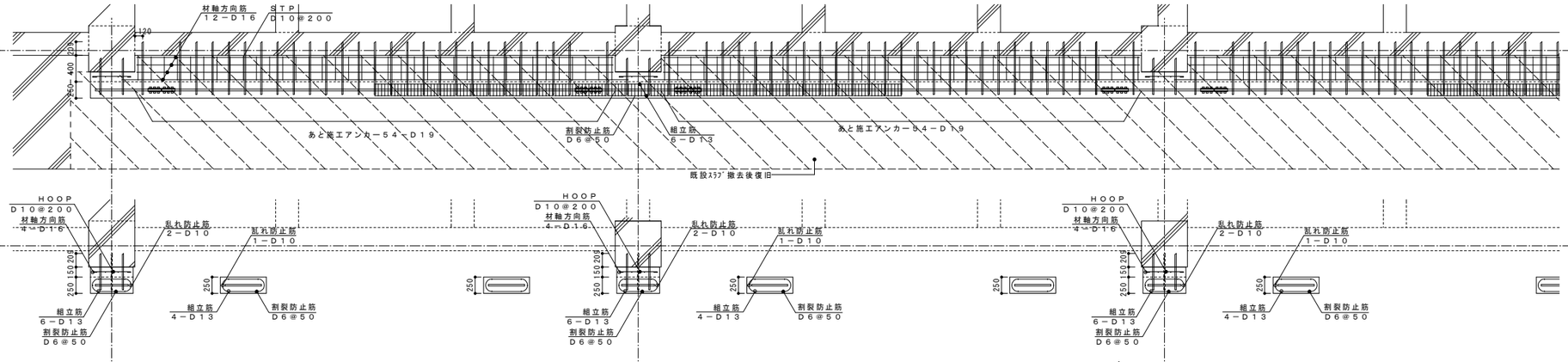
は既設部分を示す

代表者	照査	担当		工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
				交野市本庁舎耐震・設備等改修工事		令和７年１０月	S－32
				図面名称 Y1通(X1～X6通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－３	縮尺 1/40(A1) 1/80(A3)	整理番号 — —	

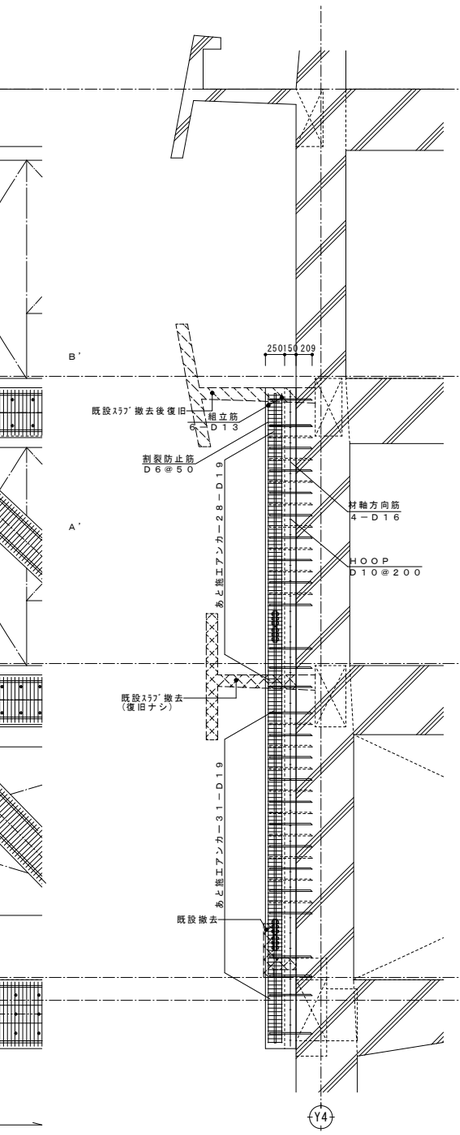
補強詳細図-1

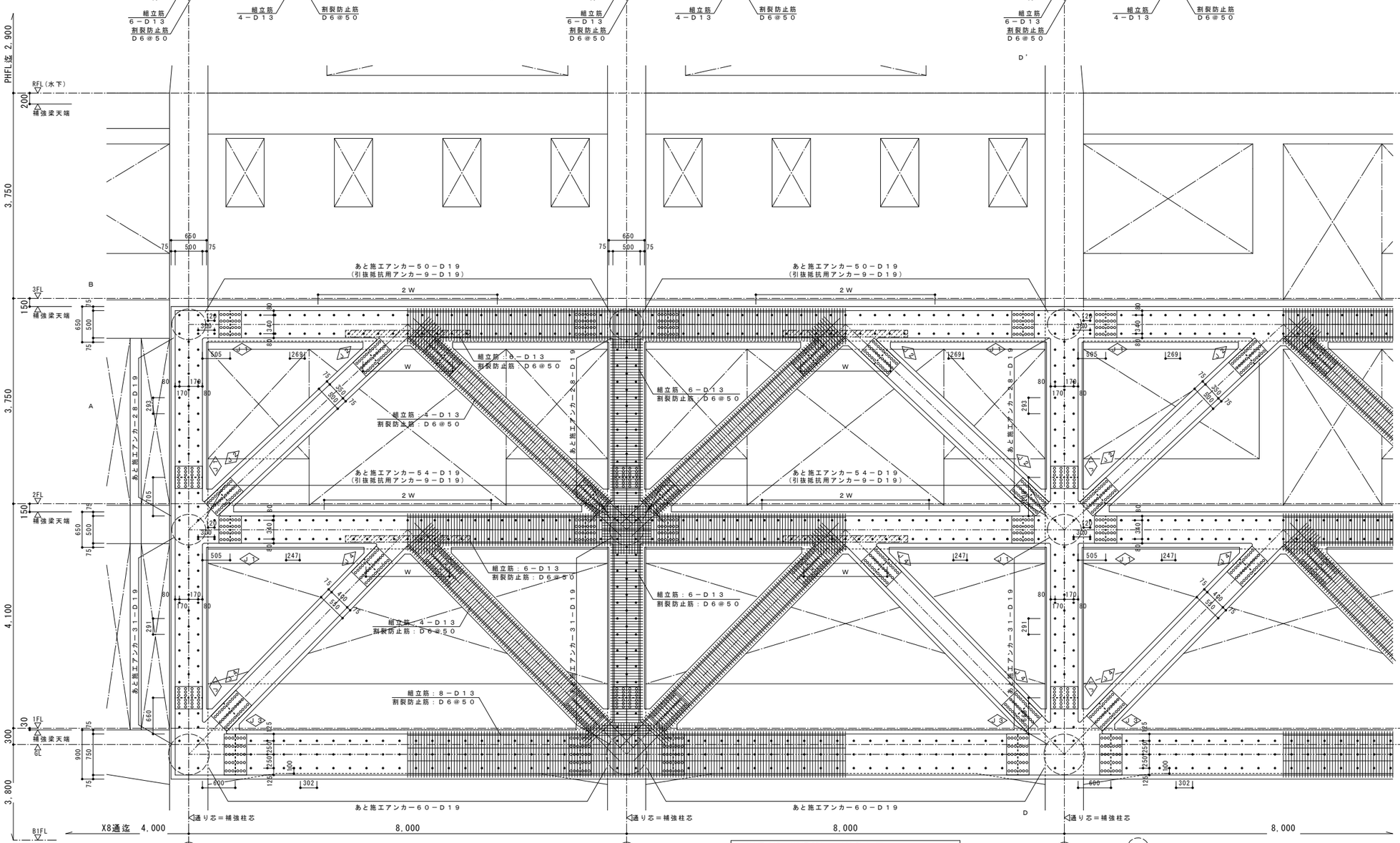


Ｂ－Ｂ' 断面詳細図　１：４０



Ａ－Ａ' 断面詳細図　１：４０





Y4通(X7～X3通間)　補強詳細図－１　１：４０

※ＰＬは、全厚２５ｍｍとする。
※座金・ナットの配置規定は部材リスト参照。

交点アンカー４－Ｄ１９

引抜抵抗用アンカー（２Ｗの範囲内に打設する）

Ｄ－Ｄ' 断面詳細図　１：４０

は既設部分を示す

代表者	照　査	担　当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－33
					図面名称　縮尺 1/40(A1) 1/80(A3) Y4通(X7～X3通間)　ピタコラム工法 補強詳細図－１	整理番号 — —		

補強詳細図-2

X7 X6 X5 X4 X3

Y4

材軸方向筋 4－D16　STP D10@200

コンクリート打設用孔 □200×200@1,000

あと施工アンカー50－D19

割裂防止筋 D6@50

組立筋 6－D13

C－C' 断面詳細図 1：40

は既設部分を示す

材軸方向筋 12－D16　STP D10@200

既設ｽﾗﾌﾞ撤去

あと施工アンカー50－D19

割裂防止筋 D6@50

組立筋 6－D13

B－B' 断面詳細図 1：40

は既設部分を示す

HOOP D10@200　材軸方向筋 4－D16

乱れ防止筋 2－D10

乱れ防止筋 1－D10

組立筋 6－D13

組立筋 4－D13

割裂防止筋 D6@50

A－A' 断面詳細図 1：40

は既設部分を示す

コンクリート打設用孔 □200×200@1,000

STP D10@200

材軸方向筋 4－D16

既設ｽﾗﾌﾞ撤去後復旧

既設ｽﾗﾌﾞ撤去（復旧ナシ）

既設撤去

PHFL或 2,900

3,750

4,100

3,800

RFL（水下）

補強梁天端

3FL

2FL

1FL

BFL

C　D'　E'　C'　B　B'　A　A'　D　E

あと施工アンカー50－D19（引抜抵抗用アンカー5－D19）

あと施工アンカー50－D19（引抜抵抗用アンカー9－D19）

あと施工アンカー54－D19（引抜抵抗用アンカー9－D19）

あと施工アンカー60－D19

あと施工アンカー28－D19

あと施工アンカー31－D19

組立筋：6－D13　割裂防止筋：D6@50

組立筋：4－D13　割裂防止筋：D6@50

組立筋：8－D13　割裂防止筋：D6@50

通り芯＝補強柱芯

X6通芯 8,000　8,000　8,000　X2通芯 8,000

X5　X4　X3

交点アンカー4－D19　引抜抵抗用アンカー（2Wの範囲内に打設する）

Y4通（X7～X3通間） 補強詳細図－2 1：40

E－E' 断面詳細図 1：40

は既設部分を示す

※ＰＬは、全厚２５ｍｍとする。
※座金・ナットの配置規定は部材リスト参照。

代表者	照査	担当		

工事名称：交野市本庁舎耐震・設備等改修工事

設計番号：―　設計年月日：令和７年１０月

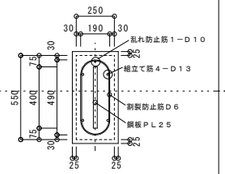
図面名称：Y4通(X7～X3通間) ピタコラム工法 補強詳細図－２　縮尺 1/40(A1) 1/80(A3)

整理番号：― ―

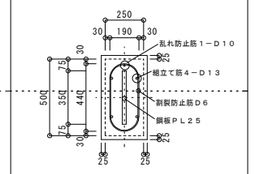
図面番号：S－34

補強ブレースリスト　1：20

1階

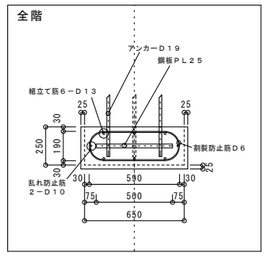


２～３階



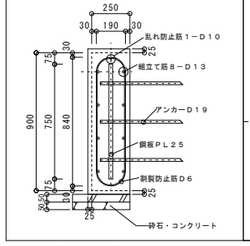
補強柱リスト　1：20

全階

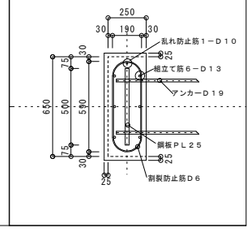


補強梁リスト　1：20

Ｆ層(Y4通り)



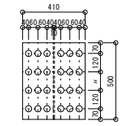
Ｆ層(Y1通り)，２～４層



※土に接する部分は、最小かぶり厚さ４０mmを確保すること。
※地中部には目地を設けない。

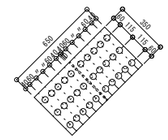
継手リスト　1：20

Ｊ１



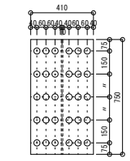
２ＰＬ－１６，ＨＴＢ２４－Ｍ２２

Ｊ２



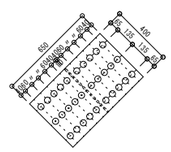
２ＰＬ－１６，ＨＴＢ３０－Ｍ２２

Ｊ３



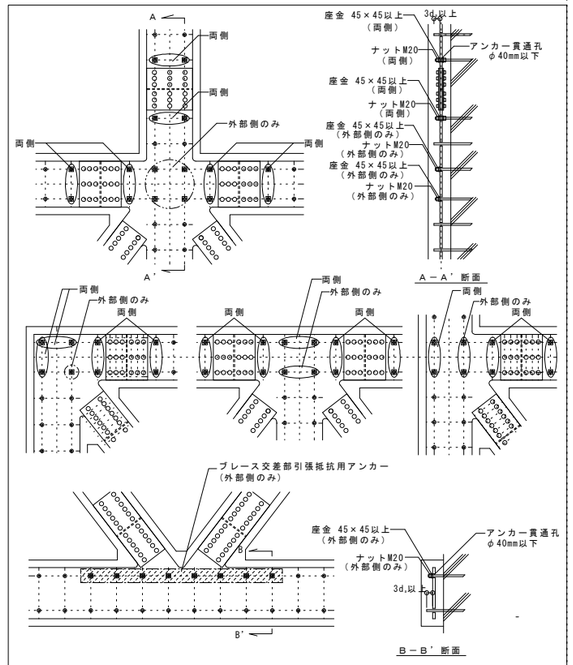
２ＰＬ－１６，ＨＴＢ３０－Ｍ２２

Ｊ４



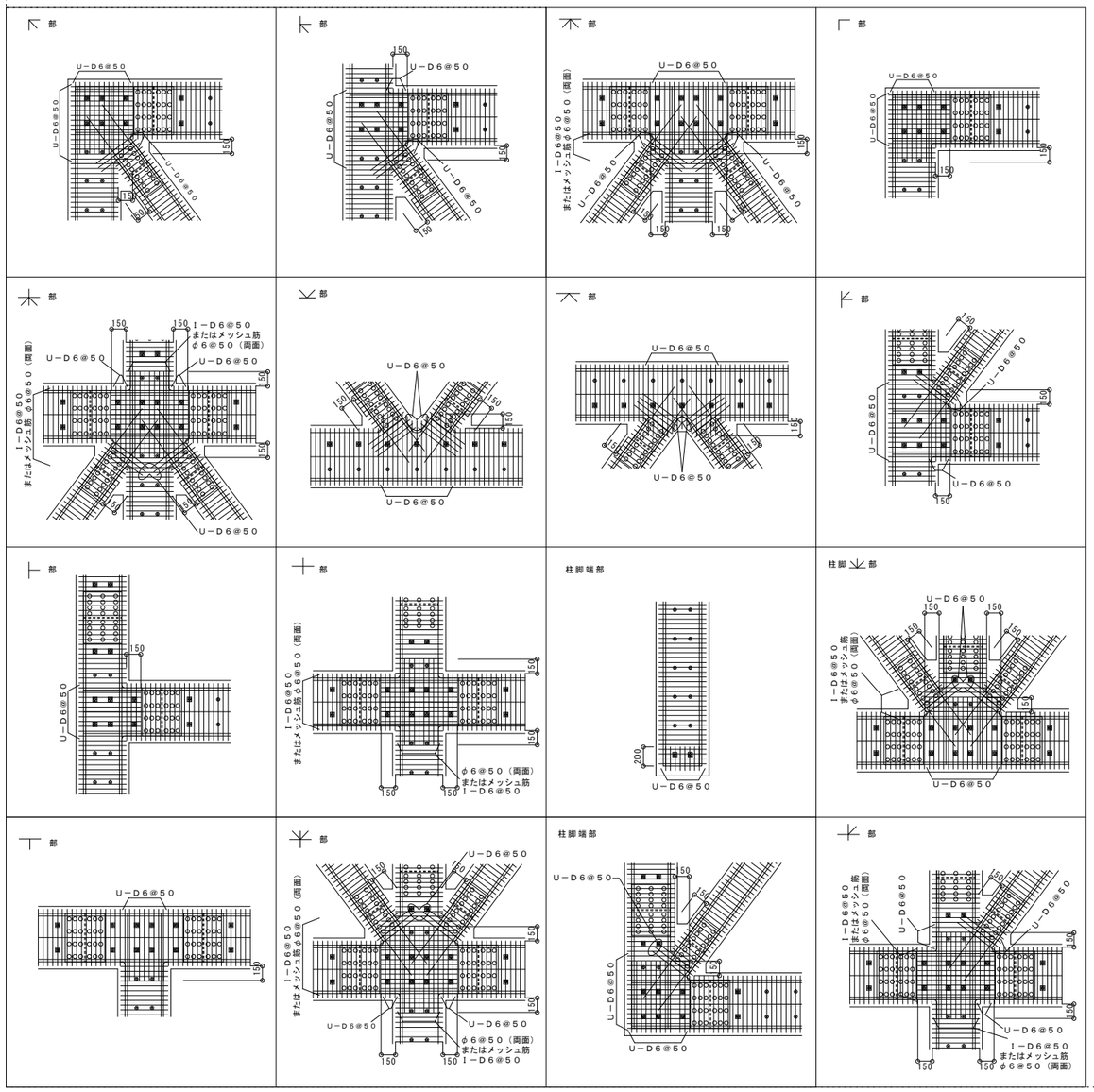
２ＰＬ－１６，ＨＴＢ３０－Ｍ２２

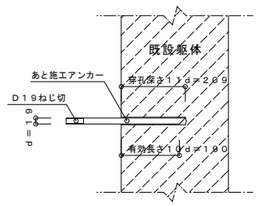
ナット・座金配置標準図



１．座金・ナット取付箇所は以下とする。
　①鋼板外部側のみ配置
　・ブレース交差部引張抵抗用アンカー（補強詳細図参照）
　・柱梁交差部のアンカー（鋼板端部となる部分は両側配置）
　②鋼板両側配置
　・鋼板１ピースの端部のアンカー。鋼板１ピースの長さが縦（横）2.0mを超える場合には2.0m以内に設置する。
２．座金・ナットが取り付かないアンカーの鋼板外面からの突出長さは3d以上とする。
　ただし、突出長さ≦3daは以上確保できない場合には、鋼板外部側に座金・ナットを設置する。

割裂防止筋配筋要領　1：30

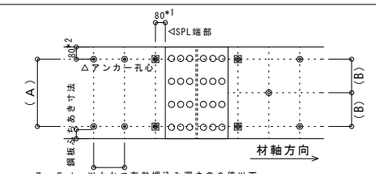




柱・梁：あと施工アンカー埋込み長さ

新設補強体　特記事項

１．使用コンクリート	Ｆｃ＝３０Ｎ／ｍｍ²
２．最大粗骨材寸法	２０ｍｍ又は，２５ｍｍ
３．使用混和剤	高性能ＡＥ減水剤
４．スランプ	２１ｃｍ
５．使用鉄筋	ＳＤ２９５Ａ，Ｂ（Ｄ６，Ｄ１０，Ｄ１３，Ｄ１６）
６．使用アンカー	ＳＤ３４５（Ｄ１９：有効埋込み深さ１０ｄａ）
７．使用鋼材	ＳＮ４００Ｂ（スプライスを含む）
８．使用高力ボルト	Ｓ１０Ｔ（Ｍ２２）
９．目荒らし	目荒らしは，十分行うものとし，範囲，程度に関しては
	特記仕様書による。
１０．施工上留意点	補強鉄材は薄厚であり，配筋が輻かく，高力ボルト接合部もあるため
	コンクリートの表面性が非常に良好される。コンクリート打設において
	では，慎重に行ない，脚心の注意が必要である。このため，鋼径の鉄
	便バイブレータや型枠バイブレータの使用を準備する。



７．５ｄａ以上かつ有効埋込み深さの２倍以下

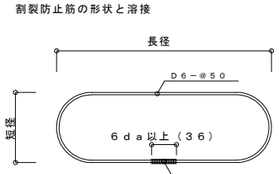
（Ａ）５．５ｄａ以上かつ有効埋込み深さの２倍以下
（Ｂ）４ｄａ以上かつ有効埋込み深さの２倍以下

*1 SPLからのへりあきけ法(80)は上記を標準とするが、既存柱・梁の鉄筋位置により
アンカー打設規定範囲内に限り、適宜移動してよい。

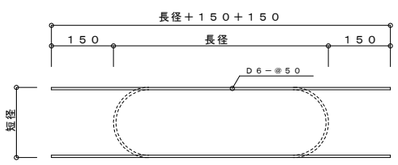
*2 鋼板端部からアンカー心までの標準寸法を示す。
鋼板ふちあきけ法は、特記仕様書に記載する下限値以上とする。

アンカー標準配置

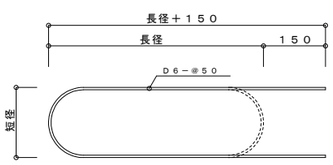
割裂防止筋の形状と溶接



※割裂防止筋は、重ね長さを１０ｄａ以上確保し、
６ｄａ以上の片面溶接を確保する。

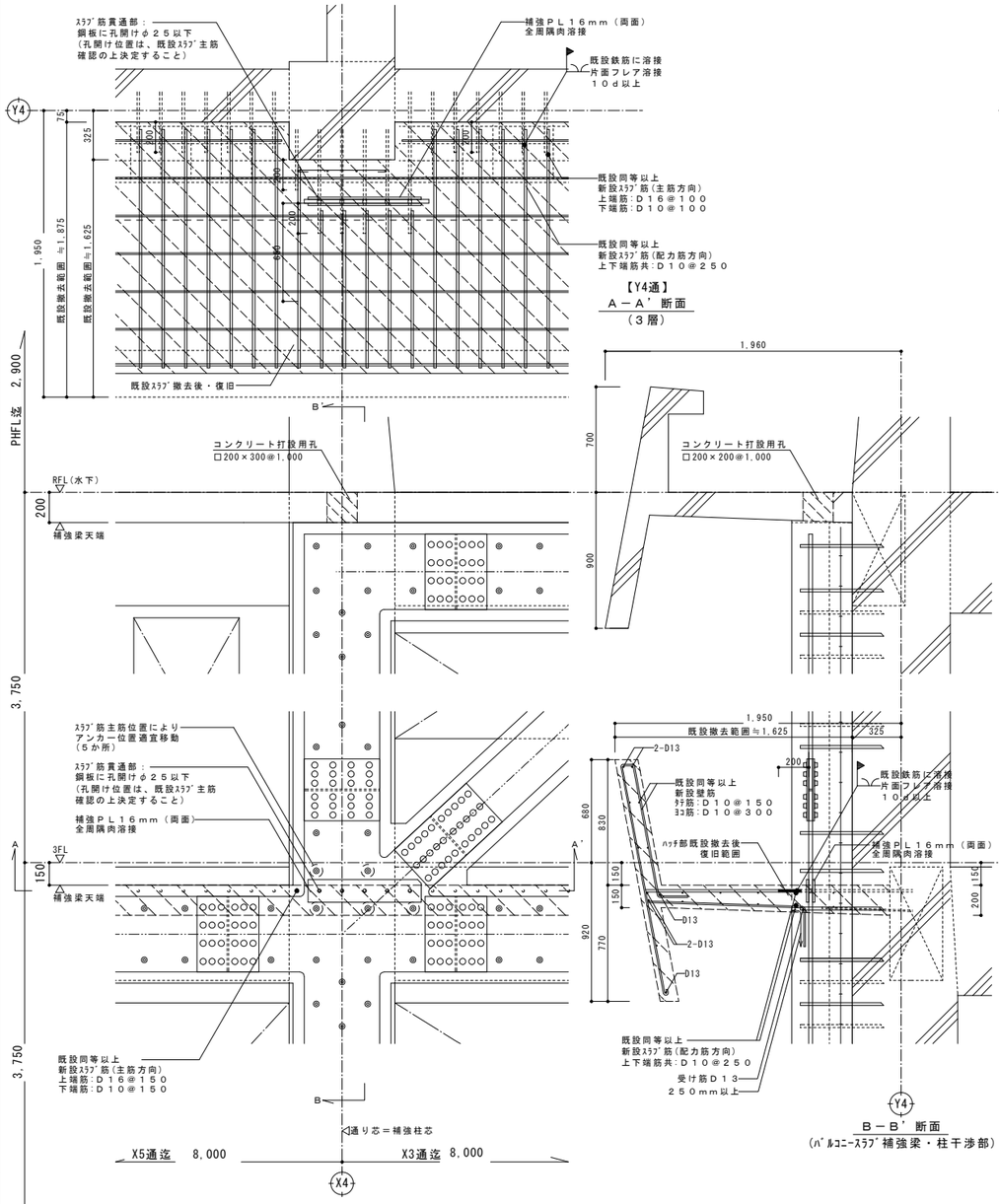


Ｉ型割裂防止筋の形状



Ｕ型割裂防止筋の形状

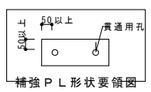
代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－35
					図面名称 ピタコラム工法 補強部材リスト　縮尺 1/40(A1) 1/80(A3)	整理番号 — —		



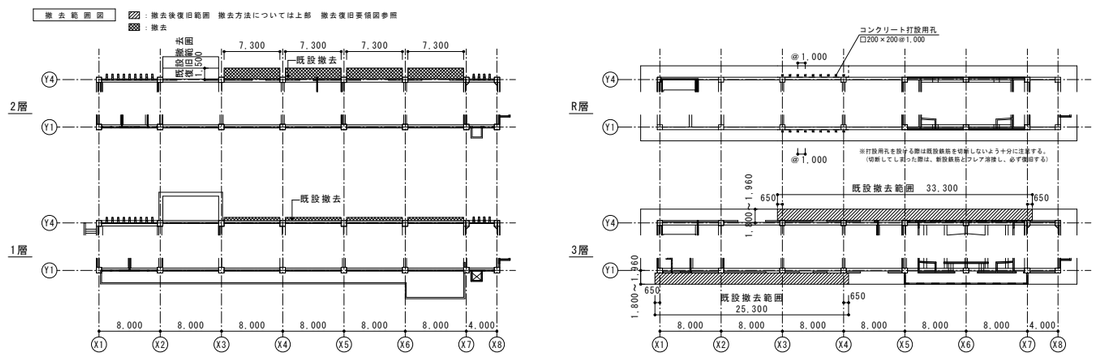
【Y4通】

バルコニースラブ 撤去復旧要領図 １：２０

※復旧配筋は既設鉄筋と同径、同ピッチ以上とする。
※現場実測の上、適宜調整すること。
※補強部材と同時打設により復旧

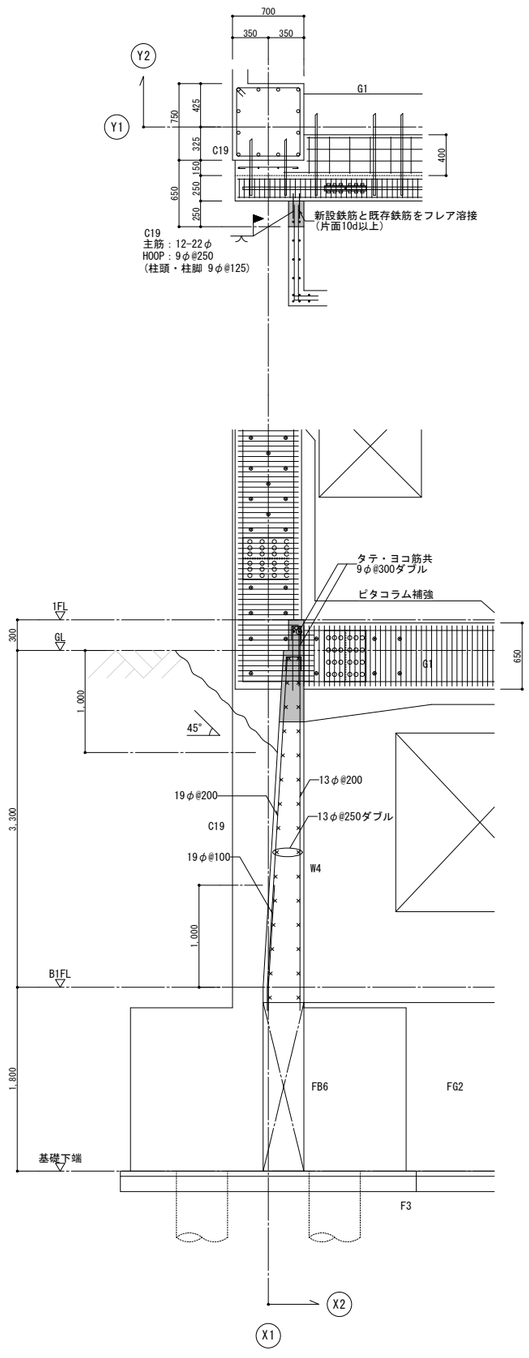


補強ＰＬ形状要領図

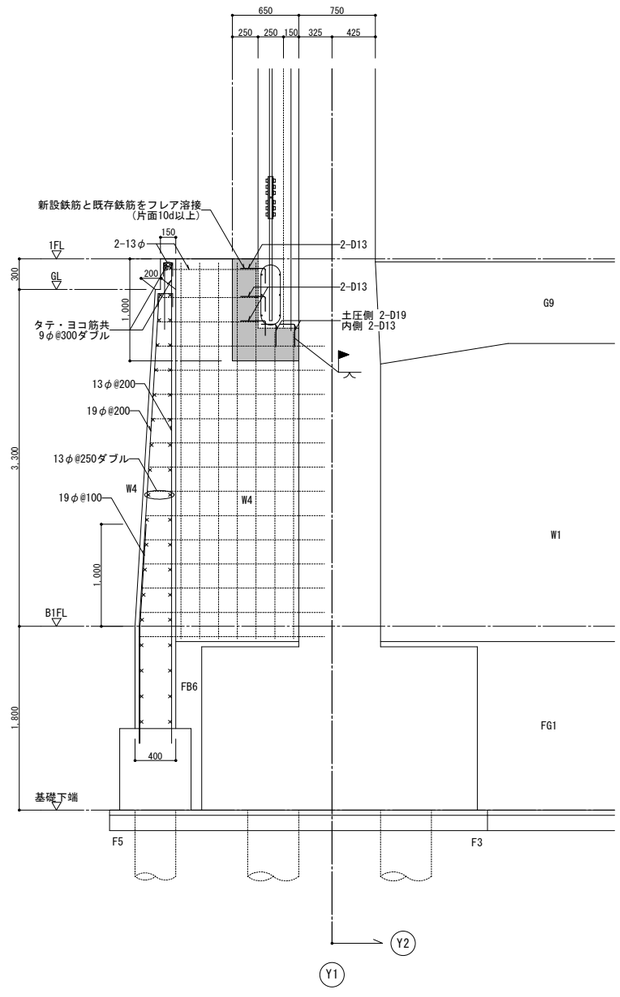


代表者	照査	担当			工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
					交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	—	令和７年１０月	S－36
					図面名称 ピタコラム工法 既設撤去復旧要領図 縮尺 1/20(A1) 1/40(A3)	整理番号 — —		

使用材料	
コンクリート	FC30　スランプ21cm
鉄　　筋	SD295, SD345



：ピタコラム補強施工前に土圧壁W4頂部撤去
ピタコラム補強工事と同時に土圧壁W4頂部復旧



代表者	照　査	担　当			工事名称	交野市本庁舎耐震・設備等改修工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	土圧壁頂部撤去復旧詳細図　　縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	—	令和７年１０月	S－37
							整理番号	—	—